

平成 30 年度
沖縄県小中学生調査報告書

平成 31 年 3 月

沖縄県

調査研究業務 受託者

公立大学法人 大阪府立大学 山野則子研究室

目次

はじめに	1
I 調査概要	2
1.調査の目的	2
2.調査票種別	2
3.調査実施日	2
4.収集方法・回収状況	2
5.調査実施主体	3
6.研究者一覧	3
7.データの扱い	3
II 調査結果	4
第1章 保護者に関する分析	4
1.基本情報	4
2.経済状況	8
3.制度の利用状況	47
4.世帯の状況	55
5.健康	78
6.家庭生活	92
7.学習・進路	103
8.地域や友人とのつながり	107
9.子育て支援の利用状況	116
10.保護者に関する分析まとめ	134
第2章 子どもに関する分析	138
1.基本情報	138
2.経済状況	140
3.健康	142
4.家庭生活	150
5.学習・進路	171
6.地域や友人とのつながり	188
7.子育て支援の利用状況	202
8.子どもに関する分析のまとめ	205
第3章 経年比較(平成27年調査との比較)	208
1.保護者	208
2.子ども	235
3.経年比較に関するまとめ	248
第4章 他地域との比較(大阪府子どもの生活調査)	251
1.保護者	251

2.子ども.....	262
3.他地域との比較のまとめ.....	267
第5章 居場所調査との比較.....	270
1.保護者.....	271
2.子ども.....	276
3.居場所調査との比較に関するまとめ.....	285
Ⅲ 総合考察.....	287
Ⅳ 資料.....	291
1. アンケート調査票.....	291
2. 自由記述欄.....	323
3. 単純集計.....	355

はじめに

子どもの貧困対策を総合的に推進するにあたり、講ずべき施策の基本となる事項およびその他事項を定めた「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が平成 26 年 1 月に施行され、さらに、「子供の貧困対策に関する大綱」（以下「大綱」という。）が平成 26 年 8 月に閣議決定された。

大綱では、「貧困の世代間連鎖の解消と積極的な人材育成」、「子供に視点を置いた切れ目のない施策の実施」、「子供の貧困の実態を踏まえた対策の推進」、「子供の貧困に関する指標を設定しその改善に向けて取り組む」などの方針が明記され、重点施策として、「教育の支援」、「生活の支援」、「保護者の就労支援」、「経済的支援」に取り組むこと、教育の支援においては、学校プラットフォームとした総合的な子供の貧困対策を展開することが明記された。

こうした政府の動きを受けて、各自治体においては、子どもの貧困対策について議論され、さまざまな方策が打ち出され、取り組みが進められている。

沖縄県においても、平成 28 年 1 月に子どもの貧困率が 29.9%と、全国の約 2 倍、3 人に 1 人が貧困状態にあるという深刻な調査結果を公表し、同年 3 月に「沖縄県子どもの貧困対策計画」を策定し、さらに、30 億円の「沖縄県子どもの貧困対策推進基金」を設置するなど、子どもの貧困対策に本格的に着手した。

また、内閣府においても、沖縄の子どもの貧困の深刻な状況に対応するため、①寄り添い型支援を行う「支援員」の配置、②安心して過ごせる「居場所」の確保、③経済的自立に向けた親の「就労」の支援の 3 つを柱とする「沖縄子供の貧困緊急対策事業」に取り組んでおり、全国にはない特徴的な事業となっている。

さらに、沖縄県では、子どもたちを取り巻く家庭環境や経済状況が、子どもや保護者の日常生活に及ぼす影響を把握し、子どもや子育て家庭への支援策に役立てることを目的として、毎年、未就学児、小中学生、高校生と世代を変えて、子どもの生活実態調査を実施している。

今回実施した小中学生調査は、平成 27 年度に引き続き、2 回目となり、こうしたことを背景として、前回調査から 3 年を経て、これまで取り組んできたさまざまな施策の効果がどのくらい見られるのかを問う調査である。ほかにも、調査にあたっては 10 万件の全数に近いデータにおいて分析を行った大阪府調査との比較や「沖縄子供の貧困緊急対策事業」による居場所調査との比較を取り入れ、多角的に分析を行ったことが特徴的である。

本調査では、子どもの貧困に関するタウンゼントの定義を元に Child Poverty Action Group(CPAG) が示している、①所得や資産など経済的資本(capital)の欠如、②健康や教育など人的資本(humancapital:ヒューマンキャピタル)の欠如、③つながりやネットワークなど社会関係資本(social capital: ソーシャルキャピタル)の欠如からなる 3 つの資本の欠如・欠落を基本的な枠組みとし、小中学生の生活実態の把握に努めるものである。子どもの実態把握から、さまざまな施策の評価データとして、貴重なデータとなることと考える。

I 調査概要

1.調査の目的

沖縄県の子どもたちを取り巻く家庭環境や経済状況が、子どもや保護者の日常生活に及ぼす影響を把握し、子どもや子育て家庭への支援策に役立てることを目的とする。

2.調査票種別

- (1) 保護者票(小学1年生、小学5年生、中学2年生対象)
- (2) 子ども票(小学5年生、中学2年生対象)

3.調査実施日

平成30年8月27日~9月14日

4.収集方法・回収状況

市町村や圏域(教育事務所管轄)ごとに均衡を図ったうえで、県内公立学校(129校)に調査票を送付し、学校を通して対象者に調査票を配布・回収いただき、各教育事務所を通じて受託者へ送付。

※宜野湾市、久米島町については、市町独自で同様な調査を実施していることから、今回の調査対象から除いている。

回収状況		子ども票	保護者票
小学1年生	配布枚数(件)	/	3,016
	有効回収数(件)		2,362
	有効回収率(%)		78.3%
小学5年生	配布枚数(件)	3,018	3,018
	有効回収数(件)	2,264	2,276
	有効回収率(%)	75.0%	75.4%
中学2年生	配布枚数(件)	3,020	3,020
	有効回収数(件)	2,122	2,107
	有効回収率(%)	70.3%	69.8%
計	配布枚数(件)	6,038	9,054
	有効回収数(件)	4,386	6,745
	有効回収率(%)	72.6%	74.5%

※ 上記のうち、子ども票・保護者票のマッチングが可能なもの4,241件となっている。

5.調査実施主体

沖縄県(子ども生活福祉部子ども未来政策課)

調査研究業務受託者

公立大学法人 大阪府立大学大学院 人間社会システム科学研究科

6.研究者一覧

担当者 公立大学法人 大阪府立大学 教授 山野 則子(業務責任者)

大阪府立大学 研究員 山下 剛徳

大阪府立大学 研究員 林 萍萍

大阪府立大学 研究員 河瀬 麻里

研究補助者 大阪府立大学 研究員 今井 智子 日高 悠登

同 人間社会システム科学研究科 石田 まり 田中 佑典

同 地域保健学域 教育福祉学類 八上 真也 真鍋 里彩 檜本 実夏 福森 亜季

同 現代システム科学域 環境システム学類 川口 拓馬

7.データの扱い

本報告書のデータについては、「I 調査概要」で述べた方法で収集したものである。調査票では、小・中学生用 27 問、保護者用 37 問を調査項目として設計した。なお、報告書においてはパーセンテージを用いて記述する。この中で、パーセンテージで示される数値同士の加・減・除を行う（合計する、差を把握する、何倍かに着目する）ことがあるが、実際に示された数値で算出しても結果が異なる場合がある。これは、示されている数値は小数点第二位以下を四捨五入しているものであり、算出には四捨五入前の厳密な数値を用いていることによるものである。

また、第 1 章と第 2 章では、各学年の困窮層・非困窮層の 2 群について、カイ二乗検定（数量データの場合は対応のない t 検定）の結果として、p 値の大きさを掲載している。カイ二乗検定で困窮層・非困窮層いずれも 0%の項目があった場合は、「検定不可」として

Ⅱ 調査結果

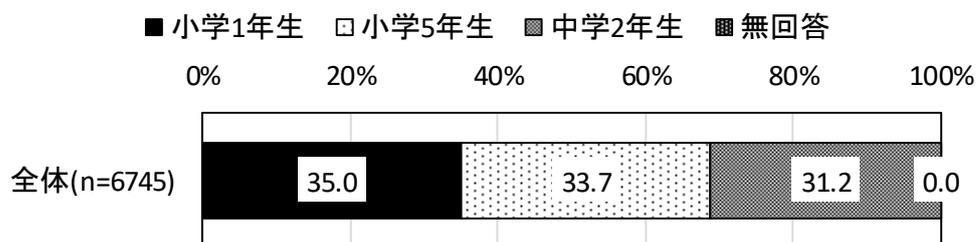
第1章 保護者に関する分析

1.基本情報

【保護者】Q1 調査票を受け取った子どもの学年

調査票を受け取った子どもの学年をみると、「小学1年生」が35.0%、「小学5年生」が33.7%、「中学2年生」が31.2%となっている。

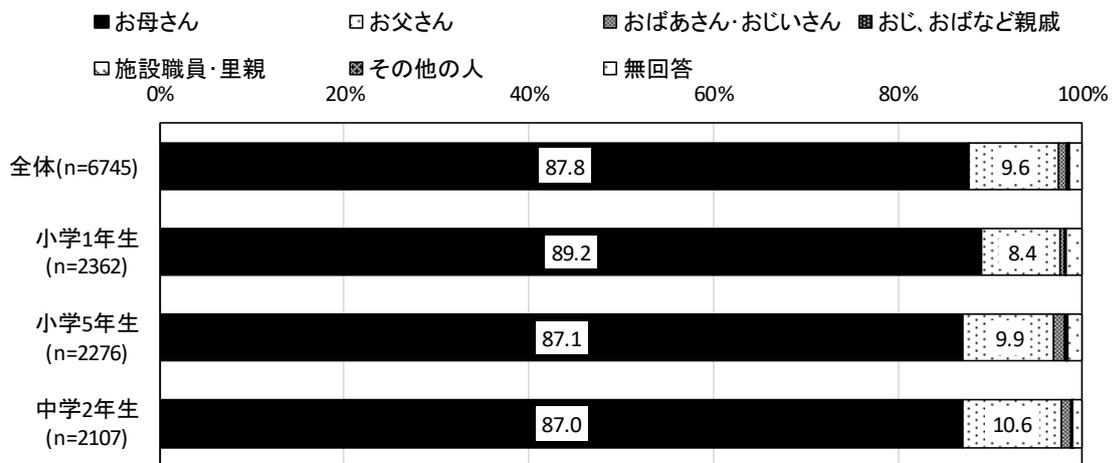
図1 【保護者】Q1 調査票を受け取った子どもの学年



【保護者】 Q1-1 回答者の子どもからみた続柄

回答者の子どもからみた続柄をみると、小学1年生では「お母さん」が89.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「お父さん」が8.4%となっている。小学5年生では「お母さん」が87.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「お父さん」が9.9%となっている。中学2年生では「お母さん」が87.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「お父さん」が10.6%となっている。

図 2 【保護者】 Q1-1 回答者の子どもからみた続柄



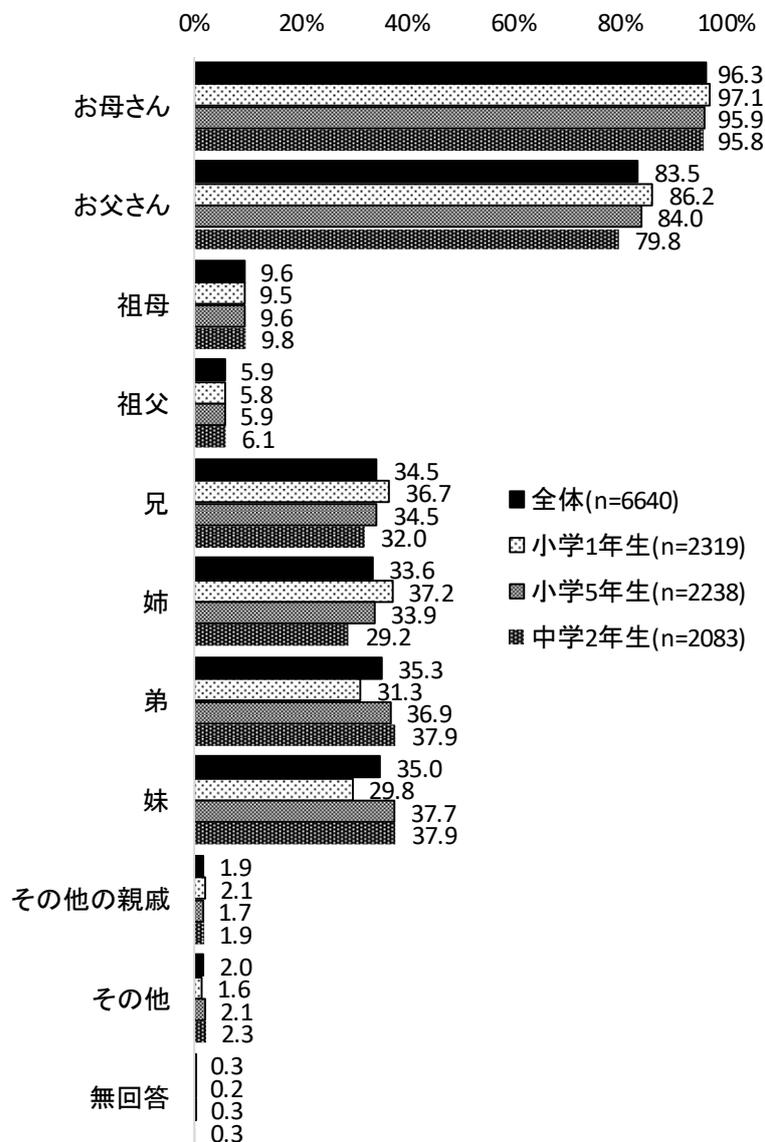
<%表>

	お母さん	お父さん	おばあさん・おじいさん	おじ、おばなど親戚	施設職員・里親	その他の人	無回答
全体 (n=6745)	87.8	9.6	0.9	0.1	0.1	0.1	1.5
小学1年生 (n=2362)	89.2	8.4	0.5	0.1	0.0	0.0	1.8
小学5年生 (n=2276)	87.1	9.9	1.1	0.1	0.1	0.1	1.6
中学2年生 (n=2107)	87.0	10.6	1.0	0.0	0.1	0.1	1.0

【保護者】 Q3 子どもと同居している家族（複数回答）

小学1年生では「お母さん」が97.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「お父さん」が86.2%となっている。小学5年生では「お母さん」が95.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「お父さん」が84.0%となっている。中学2年生では「お母さん」が95.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「お父さん」が79.8%となっている。

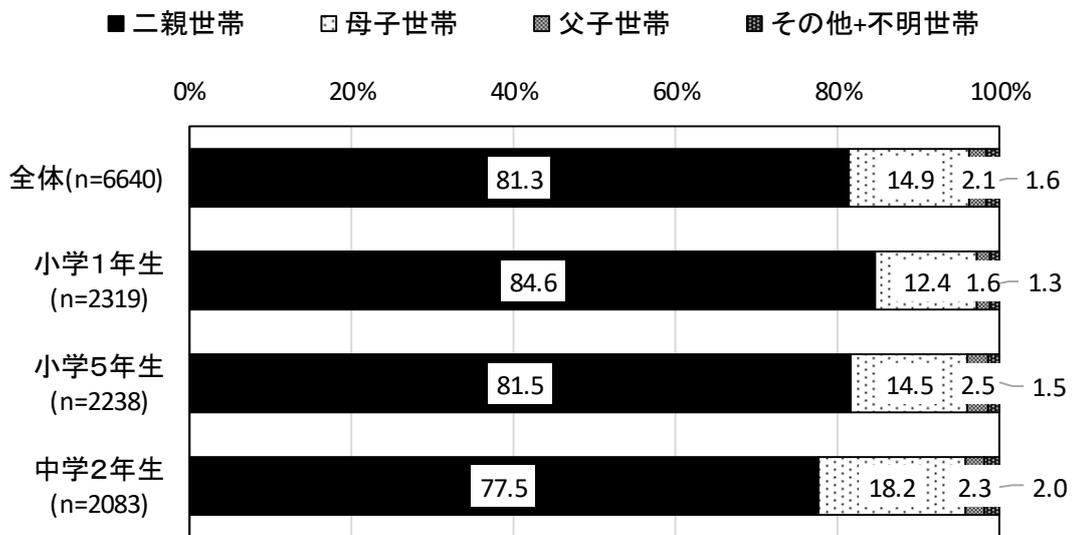
図 3 【保護者】 Q3 子どもと同居している家族



【保護者】 Q3 世帯類型

小学 1 年生では、「二親世帯」が 84.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「母子世帯」が 12.4%となっている。小学 5 年生では、「二親世帯」が 81.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「母子世帯」が 14.5%となっている。中学 2 年生では、「二親世帯」が 77.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「母子世帯」が 18.2%となっている。学年が上がるにつれ、母子世帯の割合が増加する傾向がみられる。

図 4 【保護者】 Q3 世帯類型

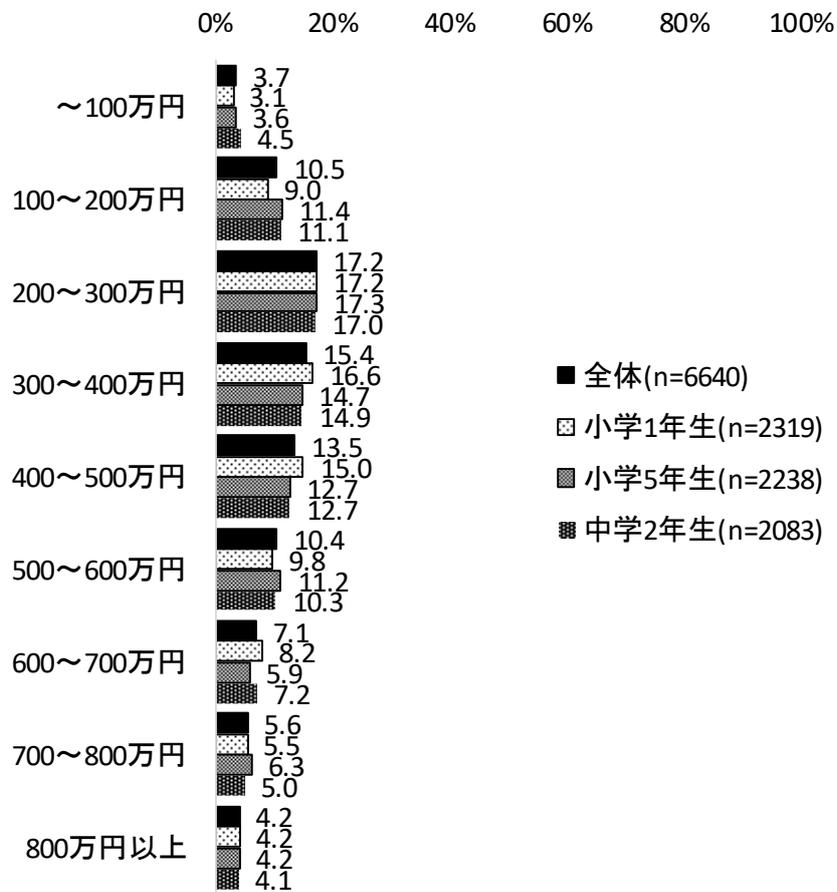


2.経済状況

【保護者】 Q28 世帯収入(合算値)

小学1年生では、「200~300万」が17.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「300~400万」が16.6%となっている。小学5年生では、「200~300万」が17.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「300~400万」が14.7%となっている。中学2年生では、「200~300万」が17.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「300~400万」が14.9%となっている。学年による世帯収入の差はみられない。

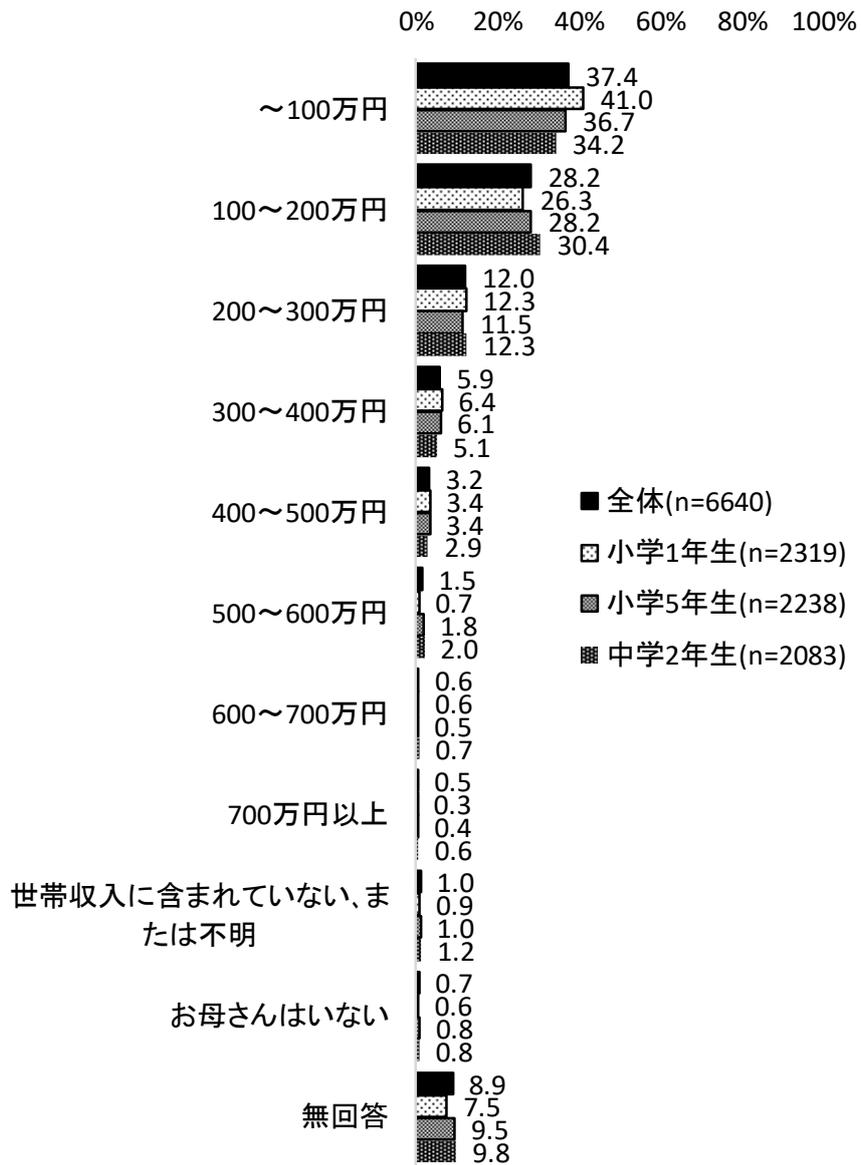
図 5 【保護者】 Q28 世帯収入(合算値)



【保護者】 Q28-2 世帯収入に含まれている母親の年間収入

小学 1 年生では、「~100 万」が 41.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「100~200 万」が 26.3%となっている。小学 5 年生では、「~100 万」が 36.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「100~200 万」が 28.2%となっている。中学 2 年生では、「~100 万」が 34.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「100~200 万」が 30.4%となっている。

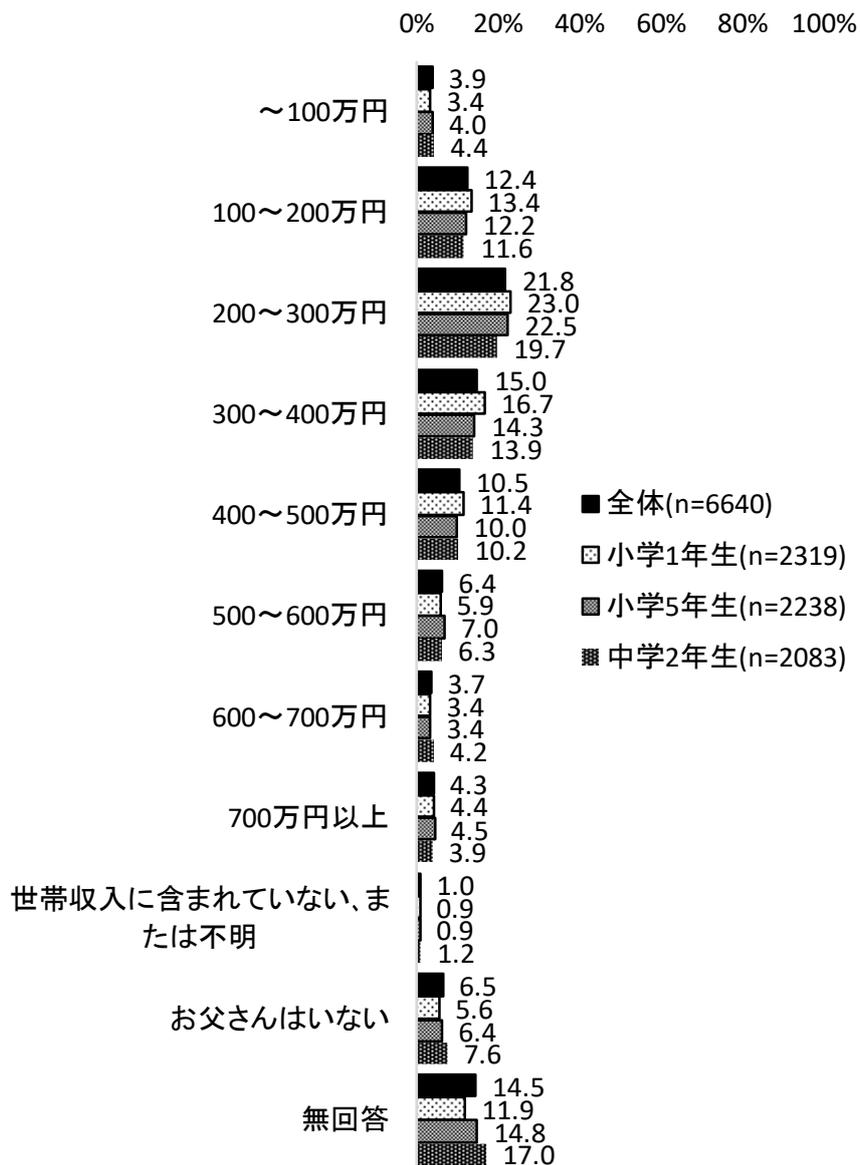
図 6 【保護者】 Q28-2 世帯収入に含まれている母親の年間収入



【保護者】 Q28-3 世帯収入に含まれている父親の年間収入

小学1年生では、「200~300万」が23.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「300~400万」が16.7%となっている。小学5年生では、「200~300万」が22.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「300~400万」が14.3%となっている。中学2年生では、「200~300万」が19.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「300~400万」が13.9%となっている。

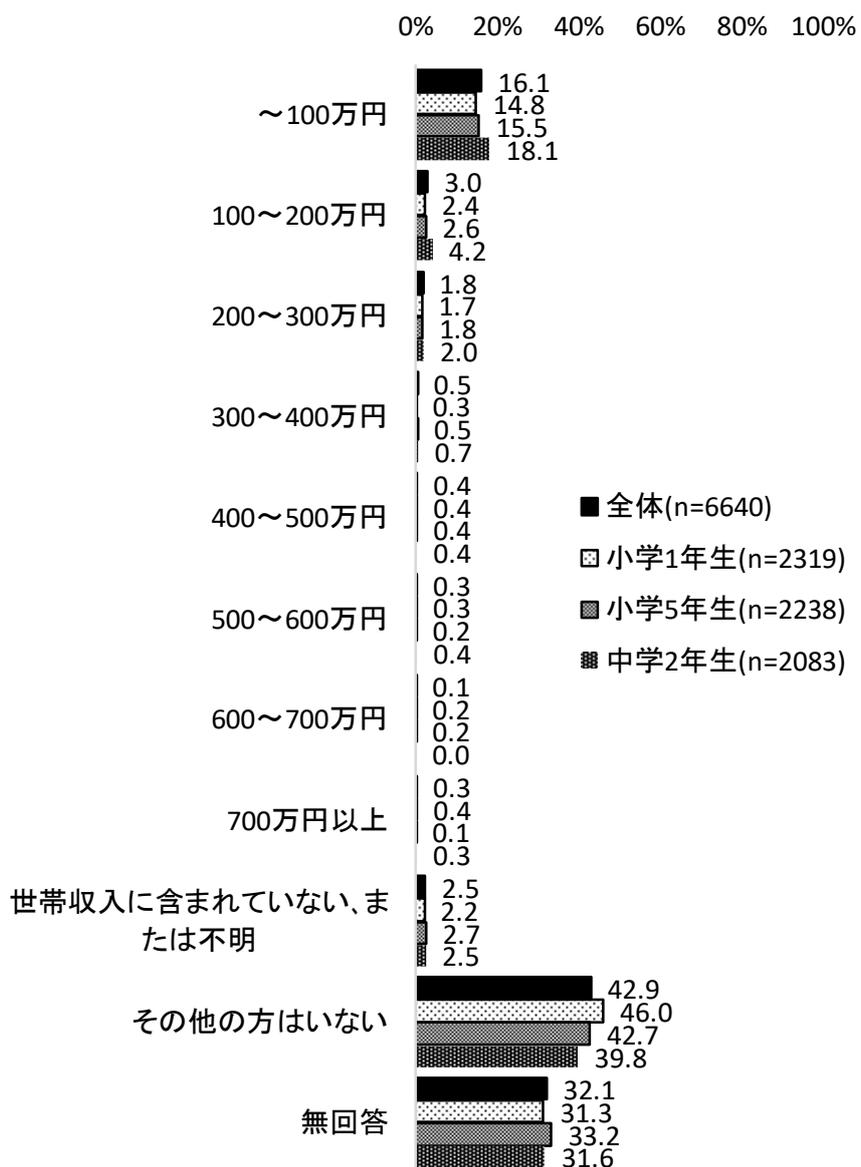
図 7 【保護者】 Q28-3 世帯収入に含まれている父親の年間収入



【保護者】 Q28-4 世帯収入に含まれているその他の年間収入

小学 1 年生では、「その他の方はいない」が 46.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「~100 万」が 14.8%となっている。小学 5 年生では、「その他の方はいない」が 42.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「~100 万」が 15.5%となっている。中学 2 年生では、「その他の方はいない」が 39.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「~100 万」が 18.1%となっている。

図 8 【保護者】 Q28-4 世帯収入に含まれているその他の年間収入

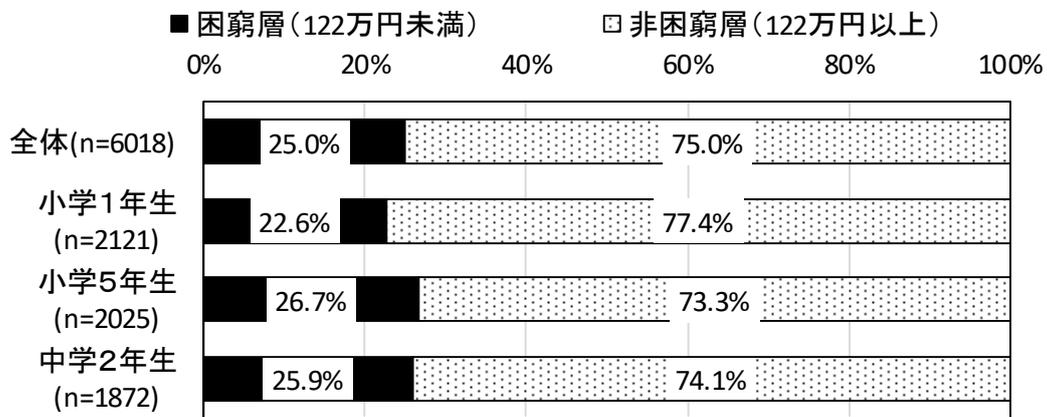


【保護者】等価可処分所得

保護者票の Q28 世帯収入額と Q3 子どもと同居している家族の人数を用いて、等価可処分所得(世帯の可処分所得を世帯人員の平方根で割って調整した所得)を算出した。可処分所得の算出にあたっては、世帯収入の中央値を用いた(例:1~50 万円未満⇒25 万円)。

そのうえで、等価可処分所得について、厚生労働省が公表している「平成 28 年度国民生活基礎調査」における貧困線(122 万円)にもとづき、122 万円未満の世帯を困窮層、それ以外を非困窮層とすると、困窮層が 25.0%、非困窮層が 75.0%となっている。以下の分析では、この 2 群の比較を行っていく。

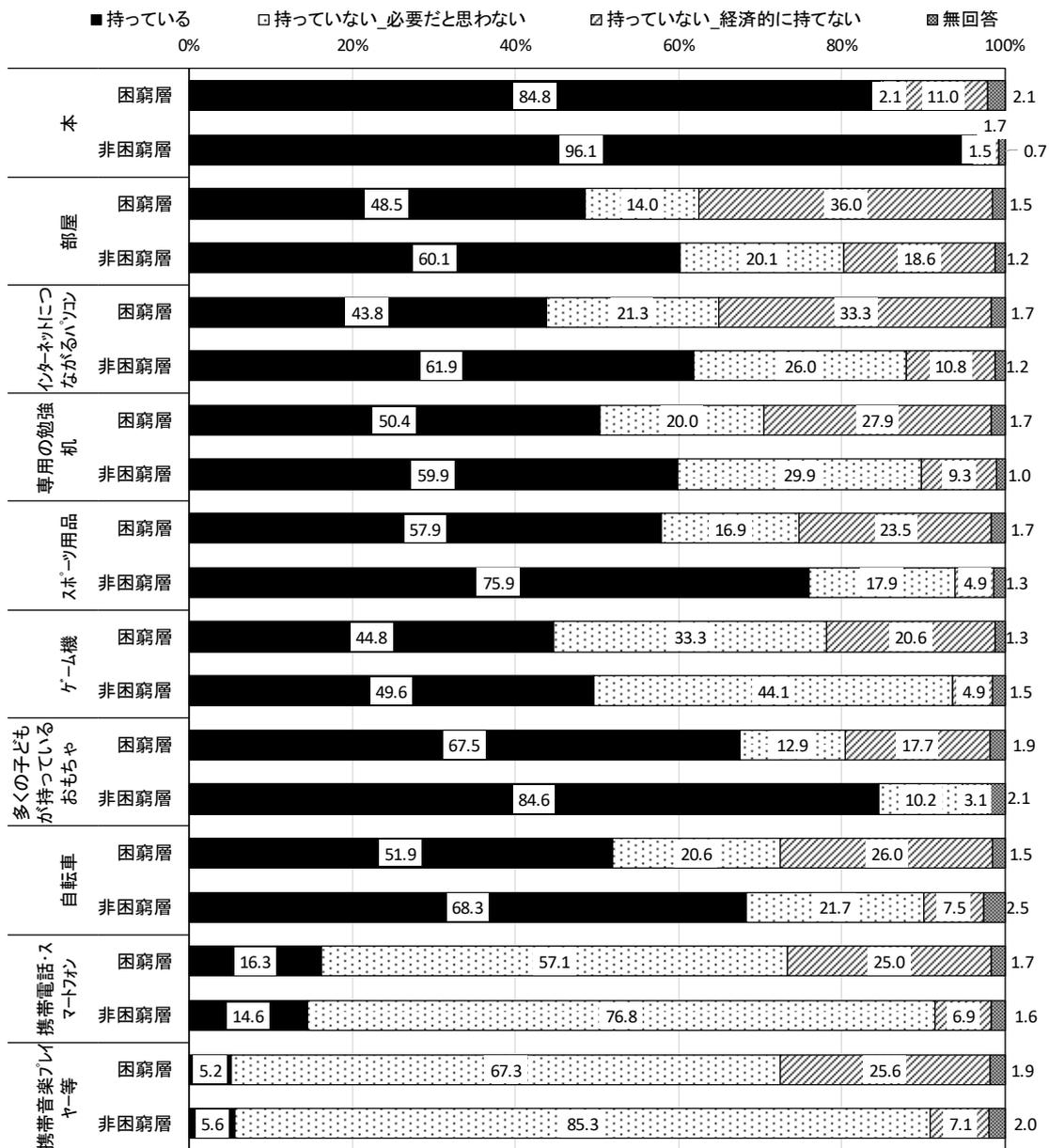
図 9 【保護者】等価可処分所得



【保護者】 Q8 子どもの所有物

「持っている」の割合をみると、「小学1年生-困窮層」では、「本」が84.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「多くの子どもが持っているおもちゃ」が67.5%となっている。「小学1年生-非困窮層」では、「本」が96.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「多くの子どもが持っているおもちゃ」が84.6%となっている。

図 10 【保護者】 Q8 子どもの所有物(小学1年生)

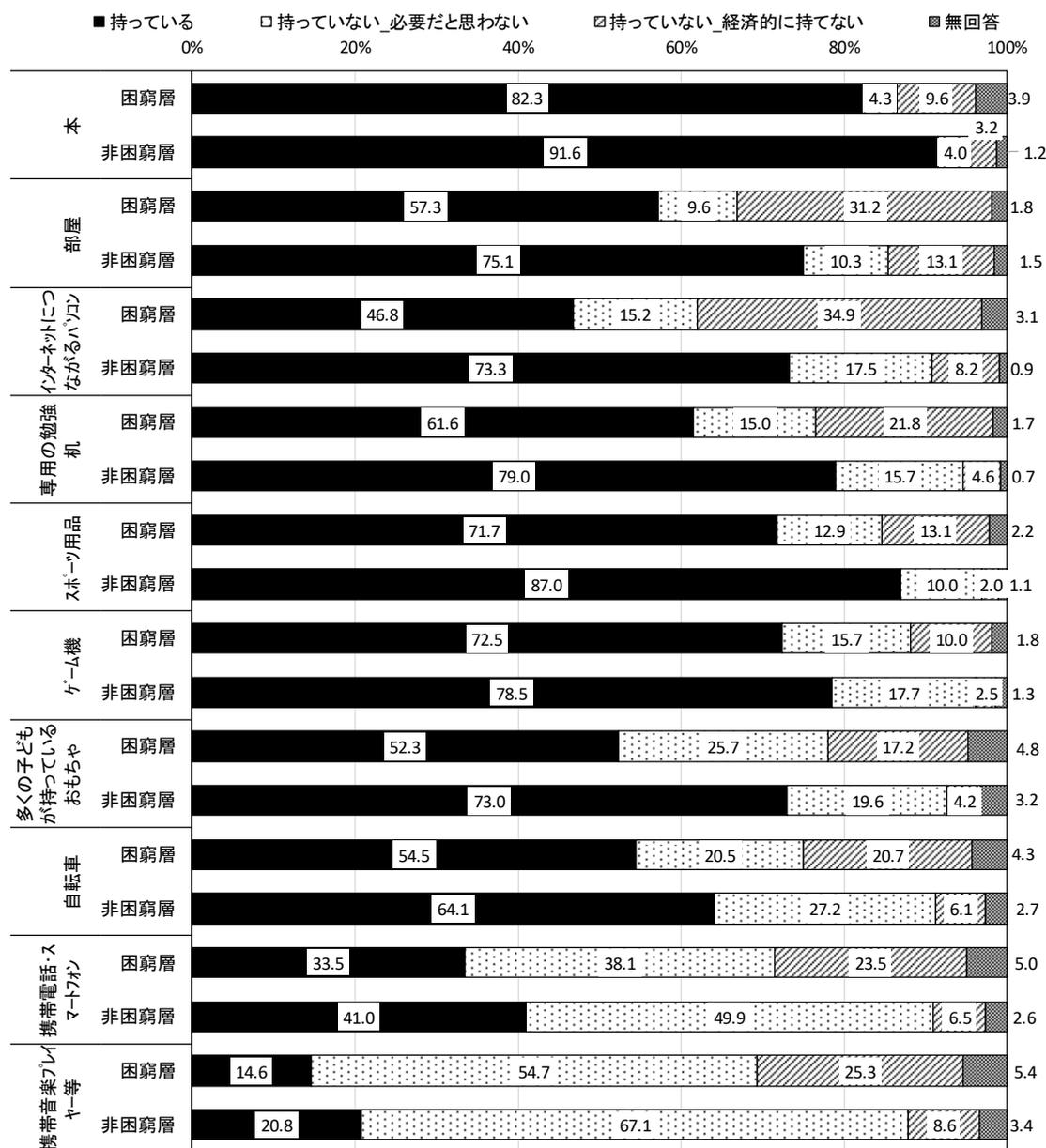


※いずれも p<0.01

※困窮層と非困窮層の差についてカイ二乗検定を行った結果。以下同様。

「持っている」の割合をみると、「小学5年生-困窮層」では、「本」が82.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「ゲーム機」が72.5%となっている。「小学5年生-非困窮層」では、「本」が91.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「スポーツ用品」が87.0%となっている。

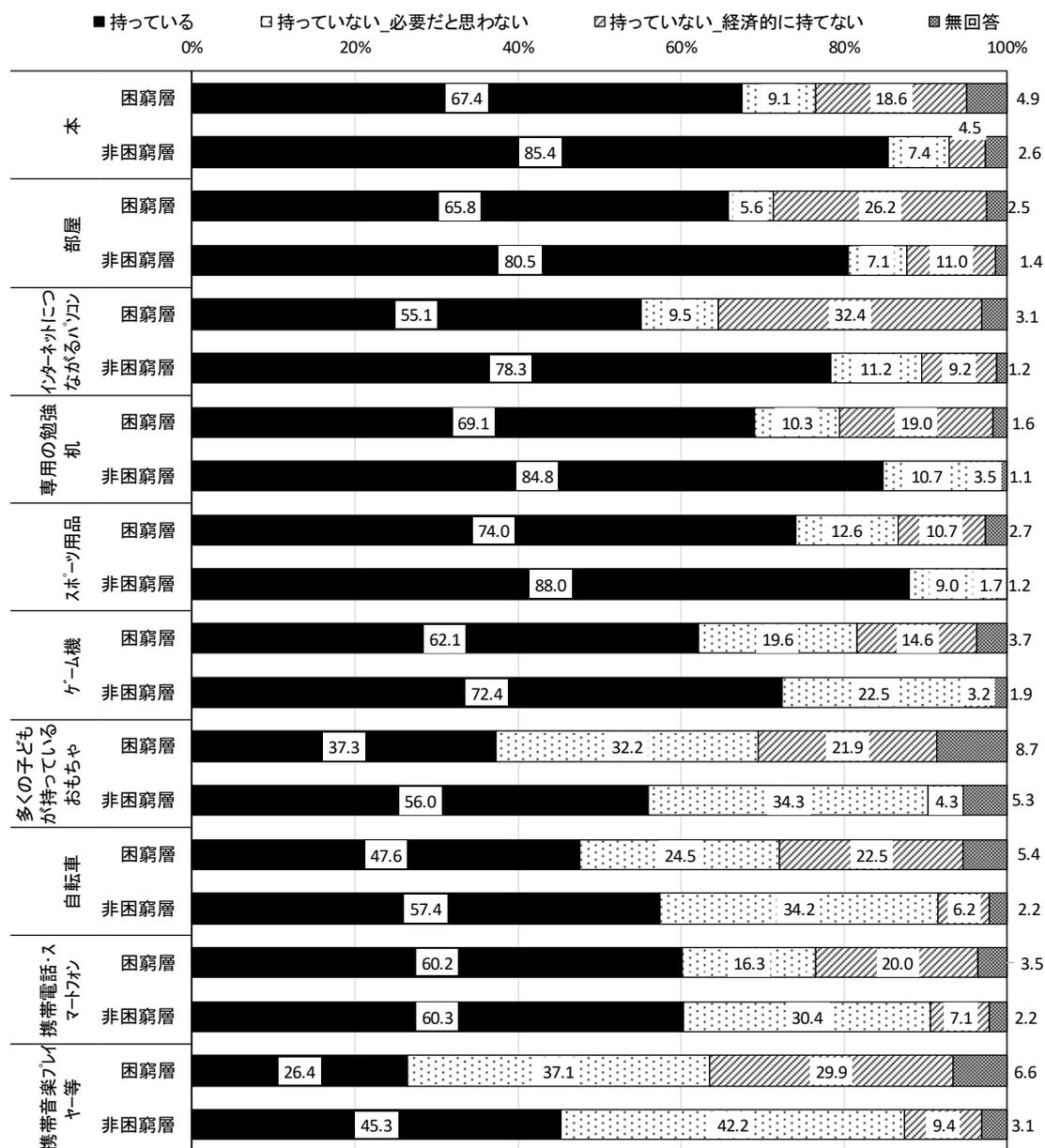
図 11 【保護者】 Q8 子どもの所有物(小学5年生)



※いずれも p<0.01

「中学2年生-困窮層」では、「スポーツ用品」が74.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「専用の勉強机」が69.1%となっている。「中学2年生-非困窮層」では、「スポーツ用品」が88.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「本」が85.4%となっている。

図 12 【保護者】 Q8 子どもの所有物(中学2年生)

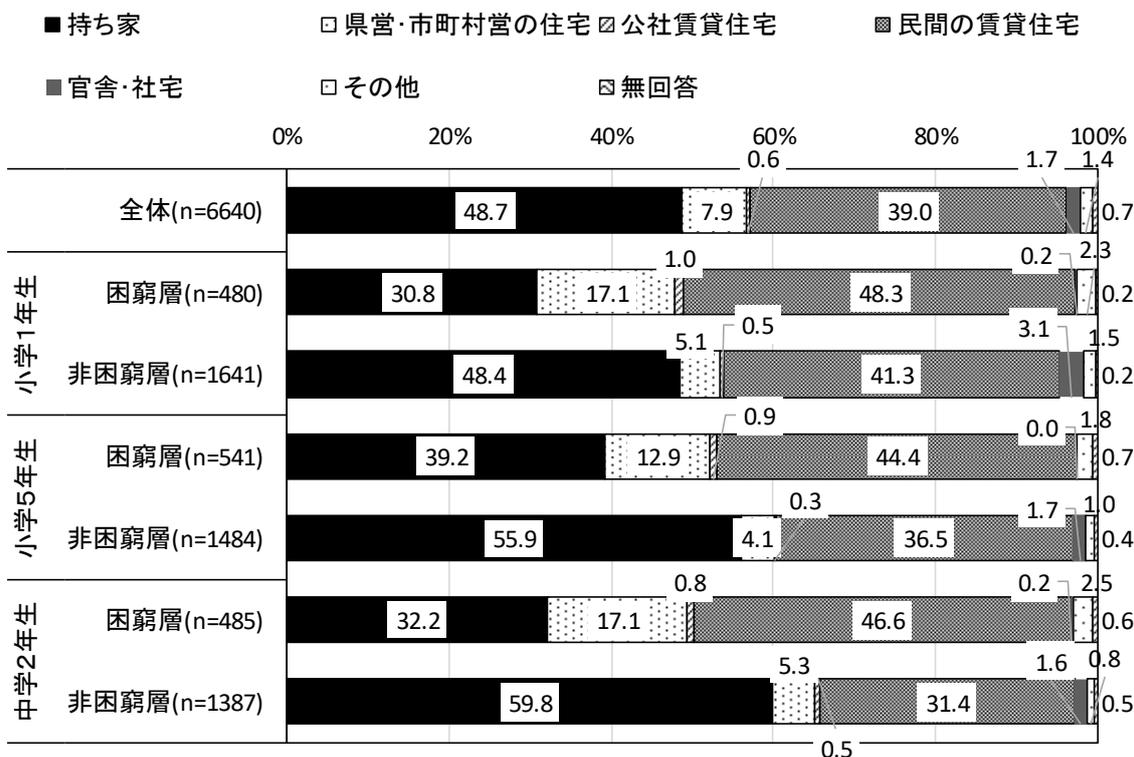


※いずれも p<0.01

【保護者】 Q22 住居形態

「小学 1 年生-困窮層」では、「民間の賃貸住宅」が 48.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「持ち家」が 30.8%となっている。「小学 1 年生-非困窮層」では、「持ち家」が 48.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「民間の賃貸住宅」が 41.3%となっている。「小学 5 年生-困窮層」では、「民間の賃貸住宅」が 44.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「持ち家」が 39.2%となっている。「小学 5 年生-非困窮層」では、「持ち家」が 55.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「民間の賃貸住宅」が 36.5%となっている。「中学 2 年生-困窮層」では、「民間の賃貸住宅」が 46.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「持ち家」が 32.2%となっている。「中学 2 年生-非困窮層」では、「持ち家」が 59.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「民間の賃貸住宅」が 31.4%となっている。

図 13 【保護者】 Q22 住居形態

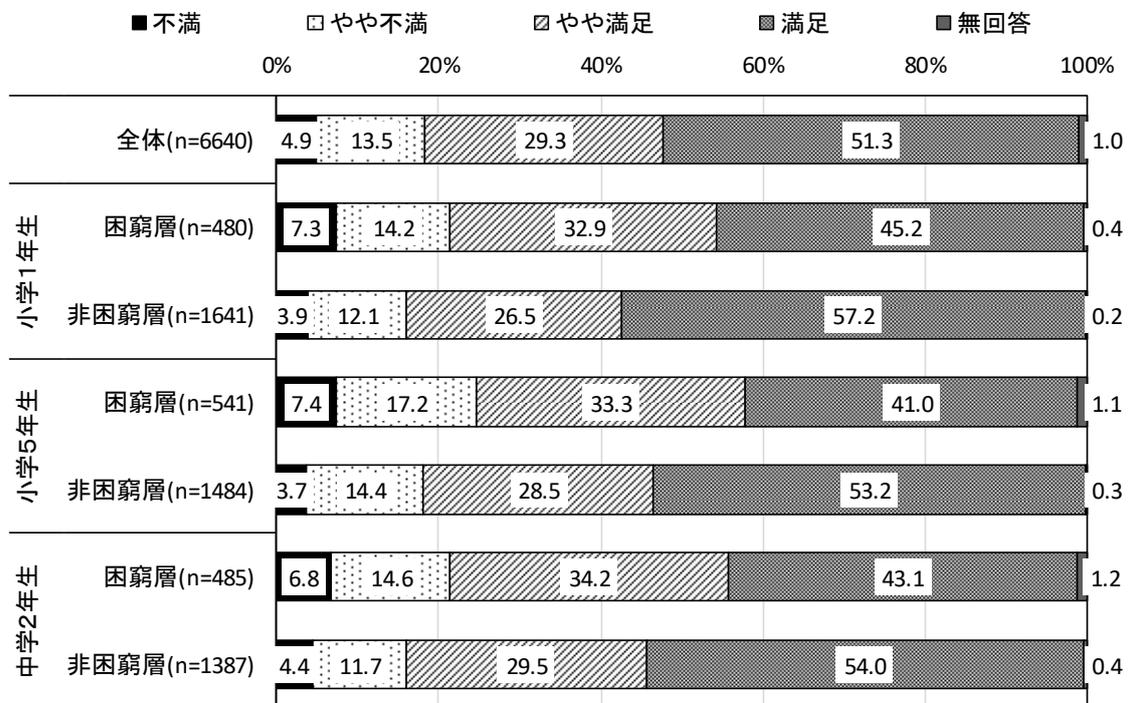


※小学 1 年生 : p<0.01, 小学 5 年生 : p<0.01, 中学 2 年生 : p<0.01

【保護者】 Q23① 満足度:利便性の良さ

「小学1年生-困窮層」では、「満足」が45.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「やや満足」が32.9%となっている。「小学1年生-非困窮層」では、「満足」が57.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「やや満足」が26.5%となっている。「小学5年生-困窮層」では、「満足」が41.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「やや満足」が33.3%となっている。「小学5年生-非困窮層」では、「満足」が53.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「やや満足」が28.5%となっている。「中学2年生-困窮層」では、「満足」が43.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「やや満足」が34.2%となっている。「中学2年生-非困窮層」では、「満足」が54.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「やや満足」が29.5%となっている。

図 14 【保護者】 Q23① 満足度:利便性の良さ

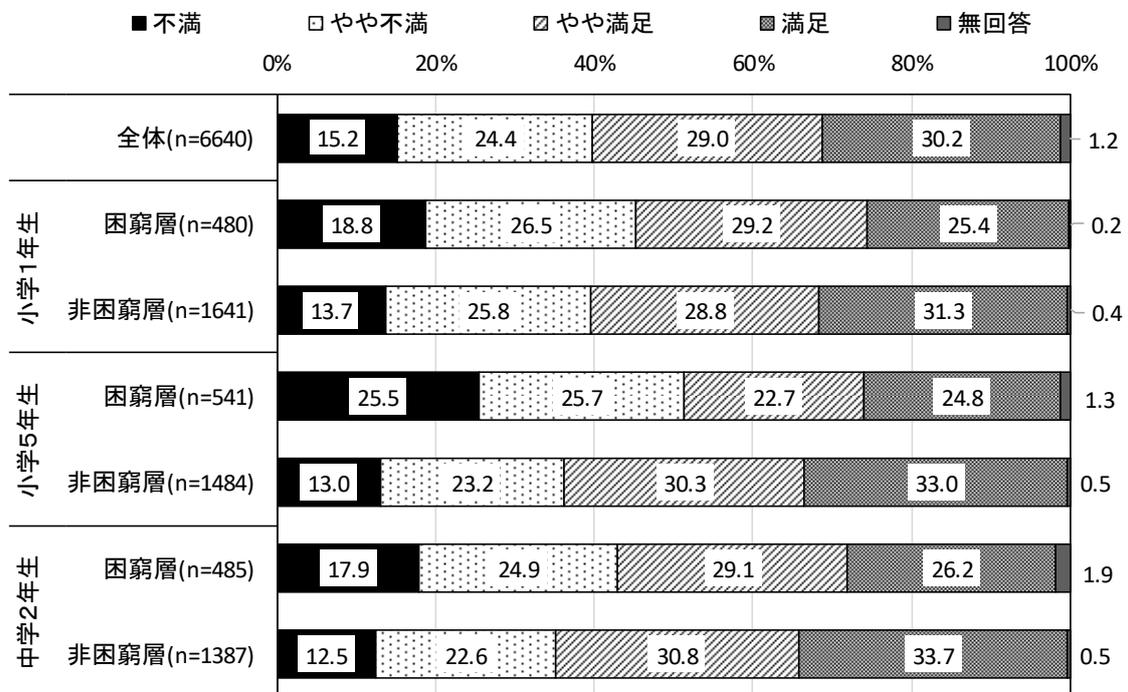


※小学1年生 : p<0.01, 小学5年生 : p<0.01, 中学2年生 : p<0.01

【保護者】 Q23② 満足度:子どもを遊ばせるスペースの十分さ

「小学 1 年生-困窮層」では、「やや満足」が 29.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「やや不満」が 26.5%となっている。「小学 1 年生-非困窮層」では、「満足」が 31.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「やや満足」が 28.8%となっている。「小学 5 年生-困窮層」では、「やや不満」が 25.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「不満」が 25.5%となっている。「小学 5 年生-非困窮層」では、「満足」が 33.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「やや満足」が 30.3%となっている。「中学 2 年生-困窮層」では、「やや満足」が 29.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「満足」が 26.2%となっている。「中学 2 年生-非困窮層」では、「満足」が 33.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「やや満足」が 30.8%となっている。

図 15 【保護者】 Q23② 満足度:子どもを遊ばせるスペースの十分さ

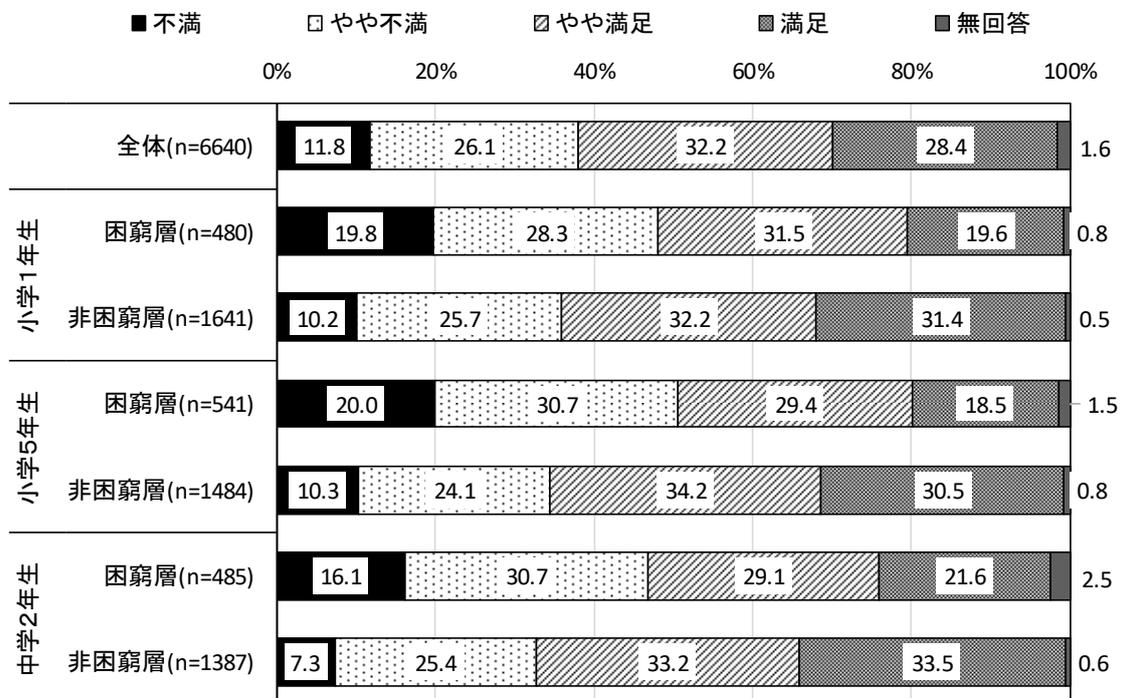


※小学 1 年生 : $p < 0.05$, 小学 5 年生 : $p < 0.01$, 中学 2 年生 : $p < 0.01$

【保護者】 Q23③ 満足度:遮音性

「小学 1 年生-困窮層」では、「やや満足」が 31.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「やや不満」が 28.3%となっている。「小学 1 年生-非困窮層」では、「やや満足」が 32.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「満足」が 31.4%となっている。「小学 5 年生-困窮層」では、「やや不満」が 30.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「やや満足」が 29.4%となっている。「小学 5 年生-非困窮層」では、「やや満足」が 34.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「満足」が 30.5%となっている。「中学 2 年生-困窮層」では、「やや不満」が 30.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「やや満足」が 29.1%となっている。「中学 2 年生-非困窮層」では、「満足」が 33.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「やや満足」が 33.2%となっている。

図 16 【保護者】 Q23③ 満足度:遮音性

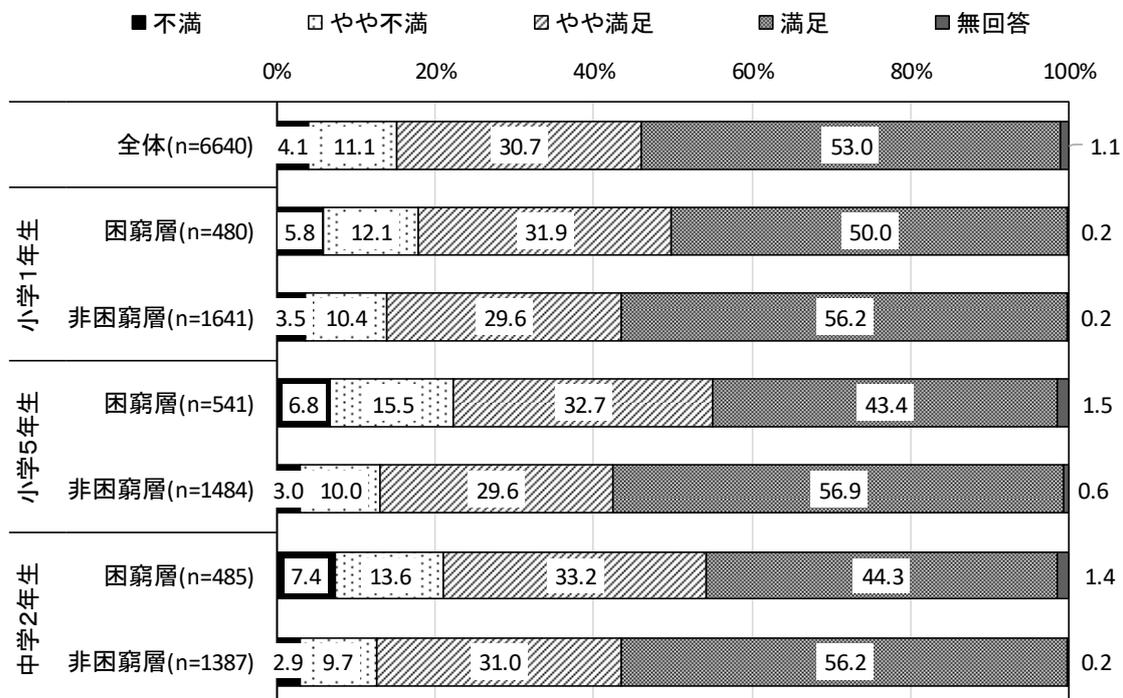


※小学 1 年生 : p<0.01, 小学 5 年生 : p<0.01, 中学 2 年生 : p<0.01

【保護者】 Q23④ 満足度:日当たりのよさ

「小学1年生-困窮層」では、「満足」が50.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「やや満足」が31.9%となっている。「小学1年生-非困窮層」では、「満足」が56.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「やや満足」が29.6%となっている。「小学5年生-困窮層」では、「満足」が43.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「やや満足」が32.7%となっている。「小学5年生-非困窮層」では、「満足」が56.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「やや満足」が29.6%となっている。「中学2年生-困窮層」では、「満足」が44.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「やや満足」が33.2%となっている。「中学2年生-非困窮層」では、「満足」が56.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「やや満足」が31.0%となっている。

図 17 【保護者】 Q23④ 満足度:日当たりのよさ

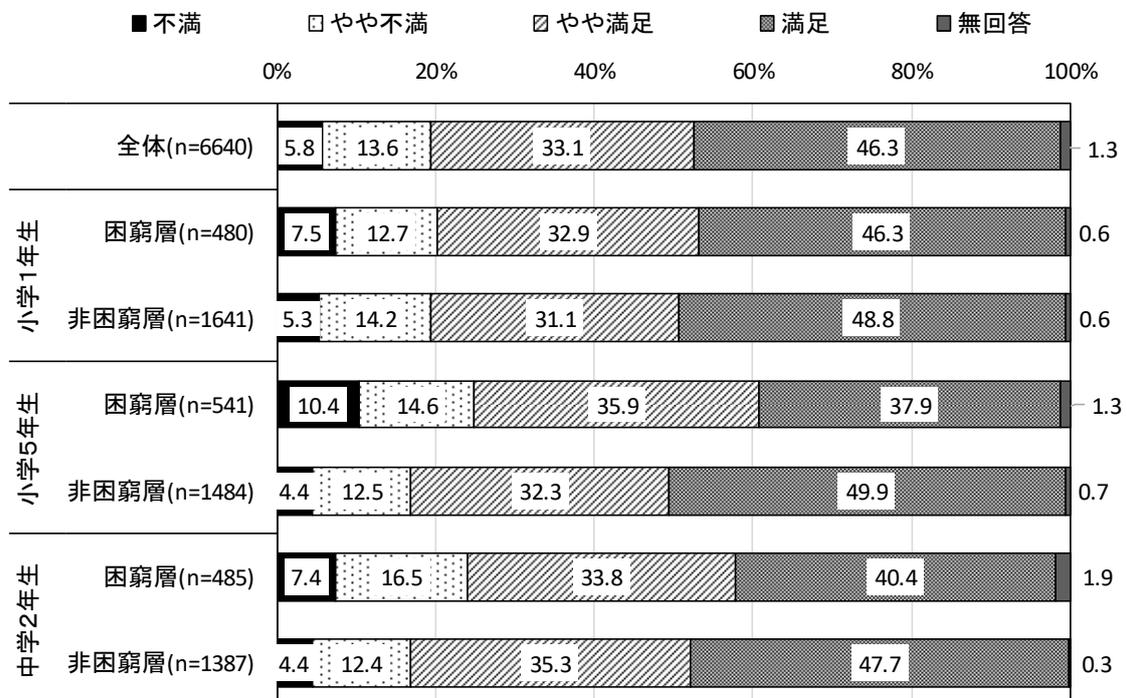


※小学1年生 : p<0.05, 小学5年生 : p<0.01, 中学2年生 : p<0.01

【保護者】 Q23⑤ 満足度:風通しのよさ

「小学1年生-困窮層」では、「満足」が46.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「やや満足」が32.9%となっている。「小学1年生-非困窮層」では、「満足」が48.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「やや満足」が31.1%となっている。「小学5年生-困窮層」では、「満足」が37.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「やや満足」が35.9%となっている。「小学5年生-非困窮層」では、「満足」が49.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「やや満足」が32.3%となっている。「中学2年生-困窮層」では、「満足」が40.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「やや満足」が33.8%となっている。「中学2年生-非困窮層」では、「満足」が47.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「やや満足」が35.3%となっている。

図 18 【保護者】 Q23⑤ 満足度:風通しのよさ

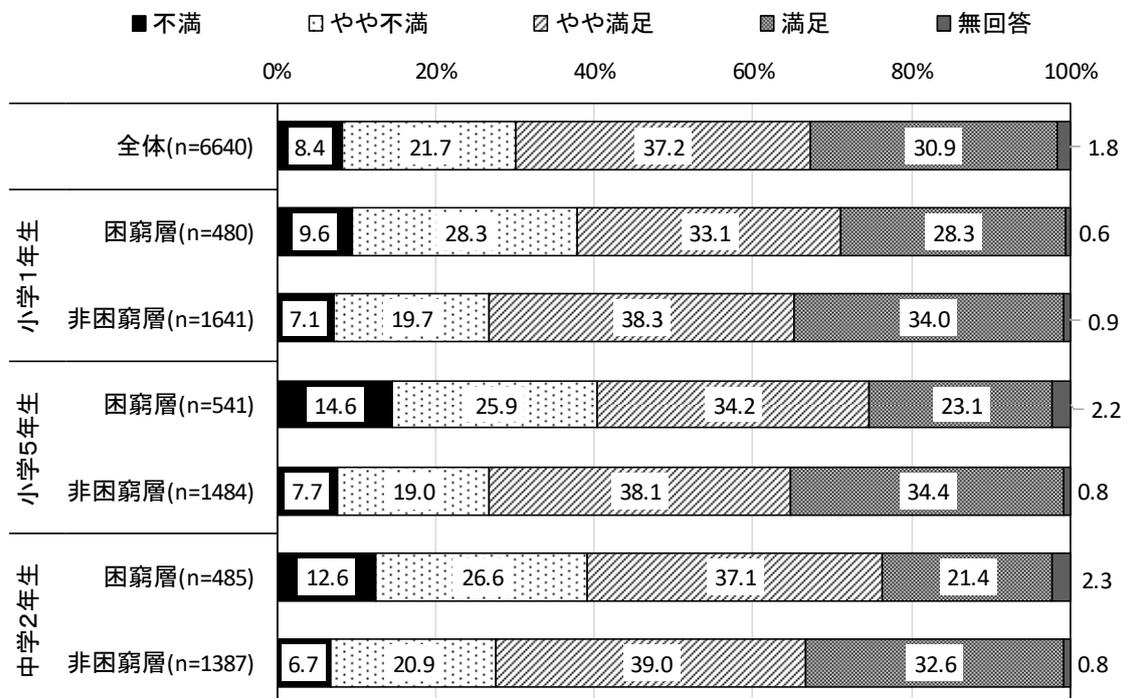


※小学1年生：有意差なし，小学5年生：p<0.01，中学2年生：p<0.01

【保護者】 Q23⑥ 満足度:災害に対する安全性

「小学1年生-困窮層」では、「やや満足」が33.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「満足」と「やや不満」が28.3%となっている。「小学1年生-非困窮層」では、「やや満足」が38.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「満足」が34.0%となっている。「小学5年生-困窮層」では、「やや満足」が34.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「やや不満」が25.9%となっている。「小学5年生-非困窮層」では、「やや満足」が38.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「満足」が34.4%となっている。「中学2年生-困窮層」では、「やや満足」が37.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「やや不満」が26.6%となっている。「中学2年生-非困窮層」では、「やや満足」が39.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「満足」が32.6%となっている。

図 19 【保護者】 Q23⑥ 満足度:災害に対する安全性

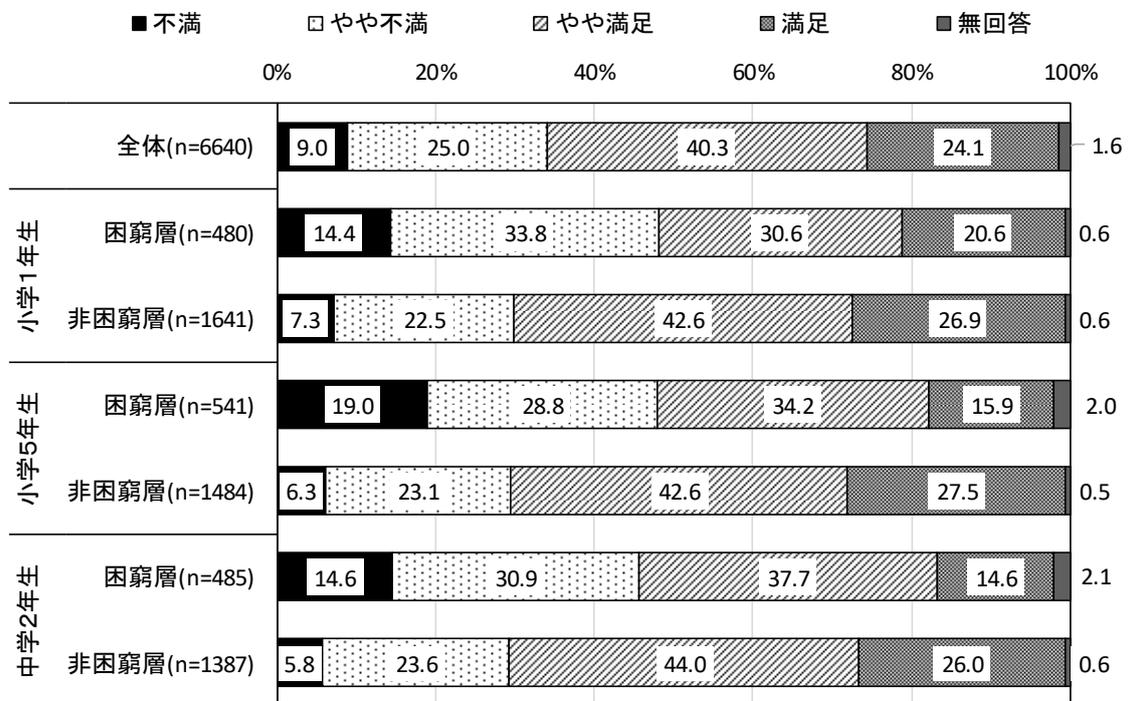


※小学1年生 : p<0.01, 小学5年生 : p<0.01, 中学2年生 : p<0.01

【保護者】 Q23⑦ 満足度:住宅の防犯性

「小学 1 年生-困窮層」では、「やや不満」が 33.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「やや満足」が 30.6%となっている。「小学 1 年生-非困窮層」では、「やや満足」が 42.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「満足」が 26.9%となっている。「小学 5 年生-困窮層」では、「やや満足」が 34.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「やや不満」が 28.8%となっている。「小学 5 年生-非困窮層」では、「やや満足」が 42.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「満足」が 27.5%となっている。「中学 2 年生-困窮層」では、「やや満足」が 37.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「やや不満」が 30.9%となっている。「中学 2 年生-非困窮層」では、「やや満足」が 44.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「満足」が 26.0%となっている。

図 20 【保護者】 Q23⑦ 満足度:住宅の防犯性

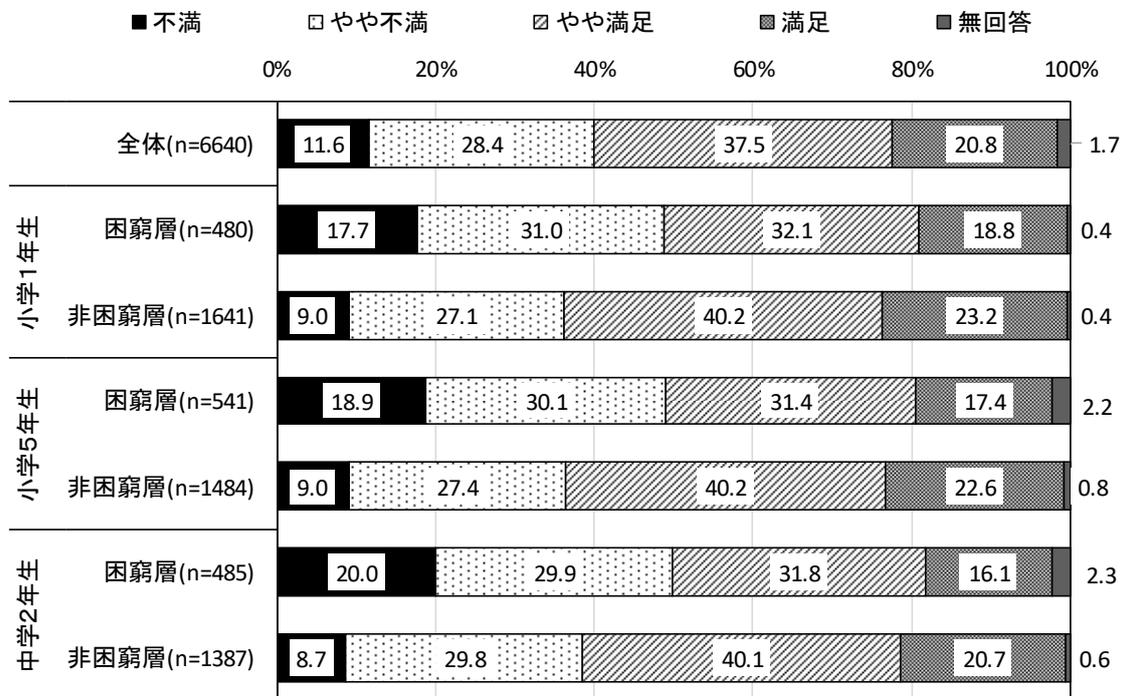


※小学 1 年生 : p<0.01, 小学 5 年生 : p<0.01, 中学 2 年生 : p<0.01

【保護者】 Q23⑧ 満足度:住宅に係る費用

「小学 1 年生-困窮層」では、「やや満足」が 32.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「やや不満」が 31.0%となっている。「小学 1 年生-非困窮層」では、「やや満足」が 40.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「やや不満」が 27.1%となっている。「小学 5 年生-困窮層」では、「やや満足」が 31.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「やや不満」が 30.1%となっている。「小学 5 年生-非困窮層」では、「やや満足」が 40.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「やや不満」が 27.4%となっている。「中学 2 年生-困窮層」では、「やや満足」が 31.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「やや不満」が 29.9%となっている。「中学 2 年生-非困窮層」では、「やや満足」が 40.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「やや不満」が 29.8%となっている。

図 21 【保護者】 Q23⑧ 満足度:住宅に係る費用

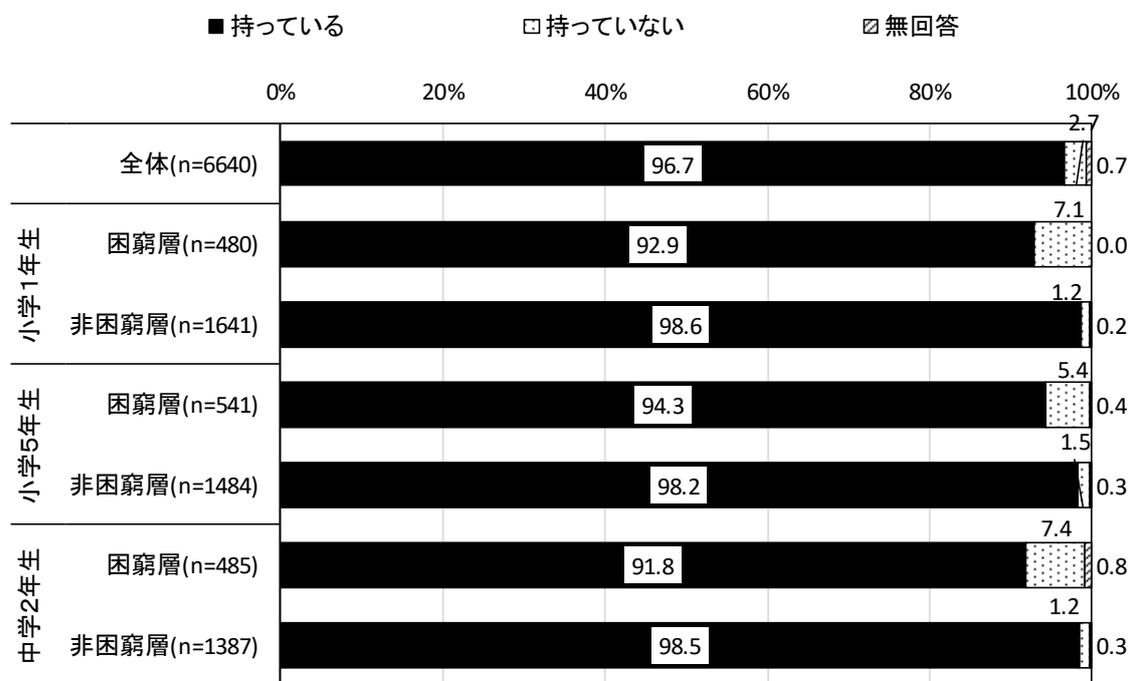


※小学 1 年生 : p<0.01, 小学 5 年生 : p<0.01, 中学 2 年生 : p<0.01

【保護者】 Q24 自家用車の保有状況

「小学 1 年生-困窮層」では、「持っている」が 92.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「持っていない」が 7.1%となっている。「小学 1 年生-非困窮層」では、「持っている」が 98.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「持っていない」が 1.2%となっている。「小学 5 年生-困窮層」では、「持っている」が 94.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「持っていない」が 5.4%となっている。「小学 5 年生-非困窮層」では、「持っている」が 98.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「持っていない」が 1.5%となっている。「中学 2 年生-困窮層」では、「持っている」が 91.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「持っていない」が 7.4%となっている。「中学 2 年生-非困窮層」では、「持っている」が 98.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「持っていない」が 1.2%となっている。

図 22 【保護者】 Q24 自家用車の保有状況

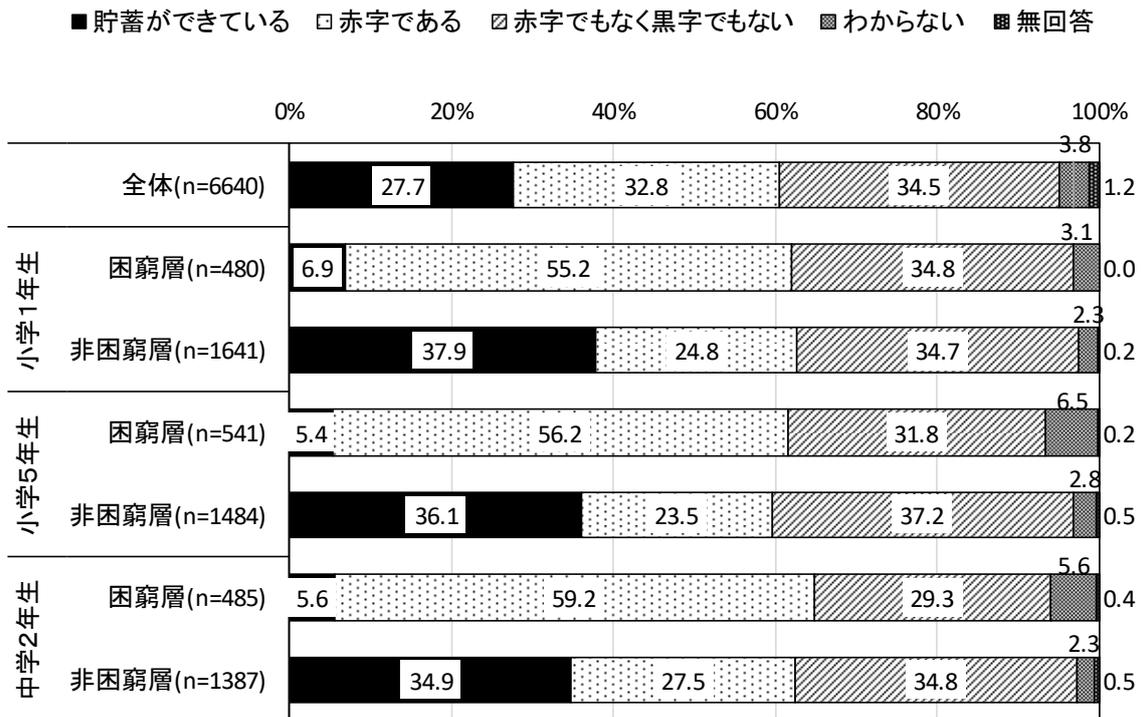


※小学 1 年生 : p<0.01, 小学 5 年生 : p<0.01, 中学 2 年生 : p<0.01

【保護者】 Q25(1) 前年の家計の状況

「小学 1 年生-困窮層」では、「赤字である」が 55.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「赤字でもなく黒字でもない」が 34.8%となっている。「小学 1 年生-非困窮層」では、「貯蓄ができてい」が 37.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「赤字でもなく黒字でもない」が 34.7%となっている。「小学 5 年生-困窮層」では、「赤字である」が 56.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「赤字でもなく黒字でもない」が 31.8%となっている。「小学 5 年生-非困窮層」では、「赤字でもなく黒字でもない」が 37.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「貯蓄ができてい」が 36.1%となっている。「中学 2 年生-困窮層」では、「赤字である」が 59.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「赤字でもなく黒字でもない」が 29.3%となっている。「中学 2 年生-非困窮層」では、「貯蓄ができてい」が 34.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「赤字でもなく黒字でもない」が 34.8%となっている。

図 23 【保護者】 Q25(1) 前年の家計の状況

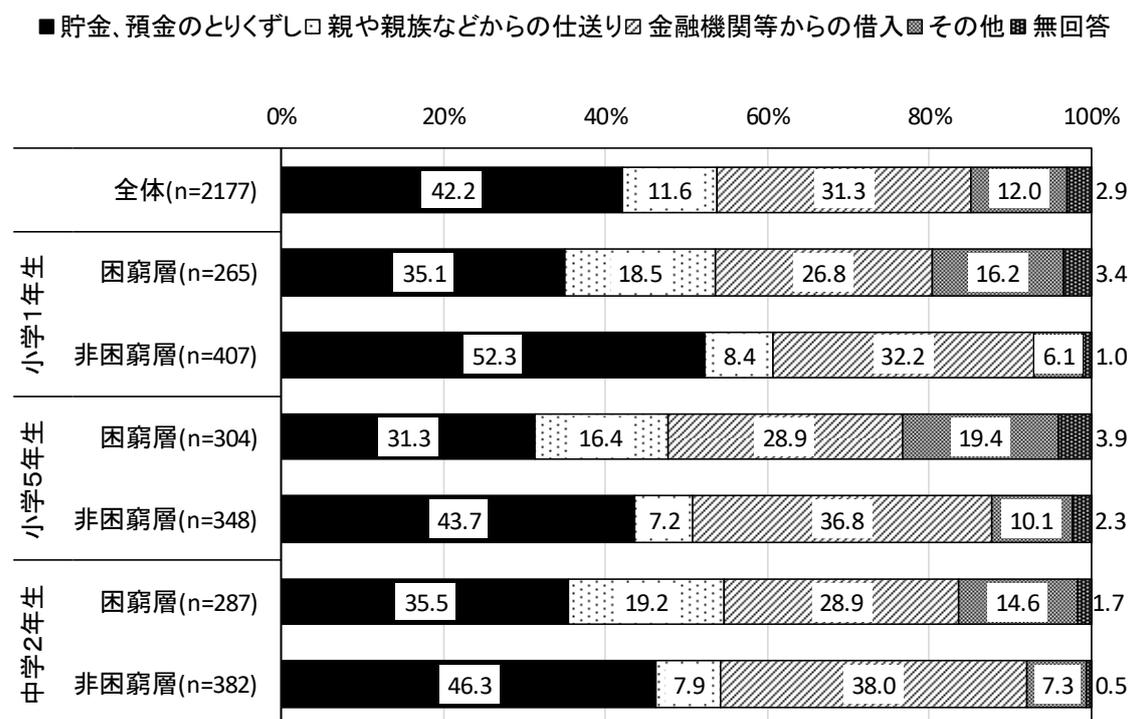


※小学 1 年生 : $p < 0.01$, 小学 5 年生 : $p < 0.01$, 中学 2 年生 : $p < 0.01$

【保護者】 Q25(2) 赤字の場合の対応

「小学 1 年生-困窮層」では、「貯金、預金のとりくずし」が 35.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「金融機関等からの借入」が 26.8%となっている。「小学 1 年生-非困窮層」では、「貯金、預金のとりくずし」が 52.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「金融機関等からの借入」が 32.2%となっている。「小学 5 年生-困窮層」では、「貯金、預金のとりくずし」が 31.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「金融機関等からの借入」が 28.9%となっている。「小学 5 年生-非困窮層」では、「貯金、預金のとりくずし」が 43.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「金融機関等からの借入」が 36.8%となっている。「中学 2 年生-困窮層」では、「貯金、預金のとりくずし」が 35.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「金融機関等からの借入」が 28.9%となっている。「中学 2 年生-非困窮層」では、「貯金、預金のとりくずし」が 46.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「金融機関等からの借入」が 38.0%となっている。

図 24 【保護者】 Q25(2) 赤字の場合の対応

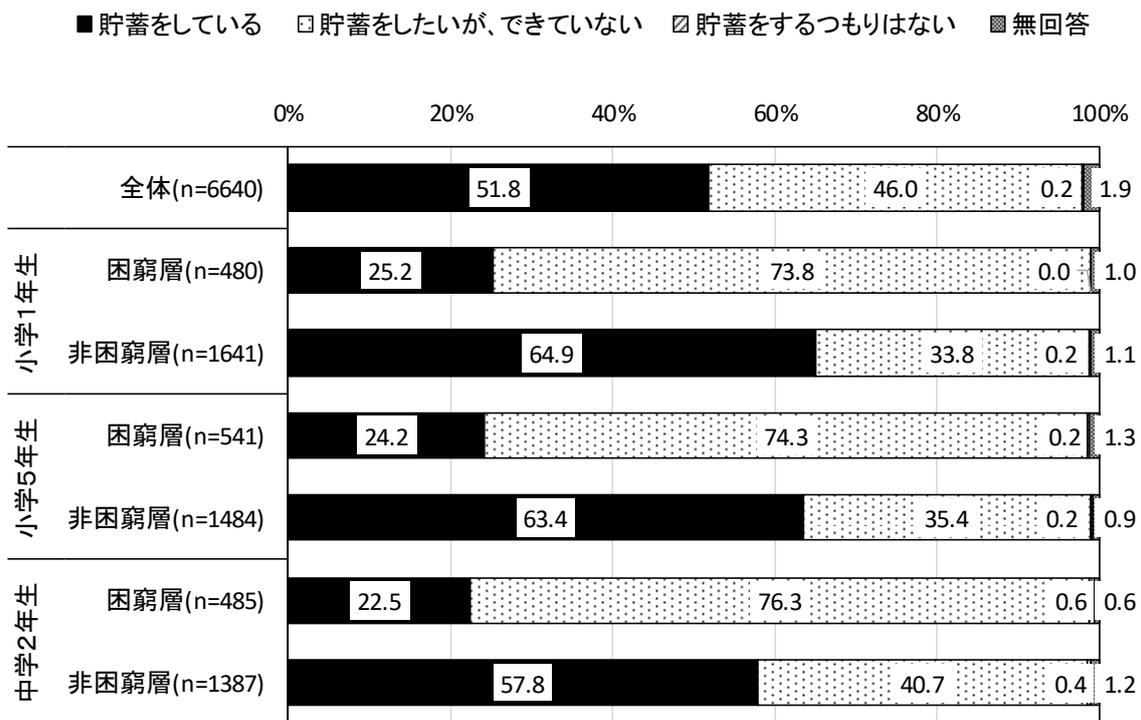


※小学 1 年生 : $p < 0.01$, 小学 5 年生 : $p < 0.01$, 中学 2 年生 : $p < 0.01$

【保護者】 Q25(3) 子どもの将来のための貯蓄

「小学1年生-困窮層」では、「貯蓄をしたいが、できていない」が73.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「貯蓄をしている」が25.2%となっている。「小学1年生-非困窮層」では、「貯蓄をしている」が64.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「貯蓄をしたいが、できていない」が33.8%となっている。「小学5年生-困窮層」では、「貯蓄をしたいが、できていない」が74.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「貯蓄をしている」が24.2%となっている。「小学5年生-非困窮層」では、「貯蓄をしている」が63.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「貯蓄をしたいが、できていない」が35.4%となっている。「中学2年生-困窮層」では、「貯蓄をしたいが、できていない」が76.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「貯蓄をしている」が22.5%となっている。「中学2年生-非困窮層」では、「貯蓄をしている」が57.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「貯蓄をしたいが、できていない」が40.7%となっている。

図 25 【保護者】 Q25(3) 子どもの将来のための貯蓄

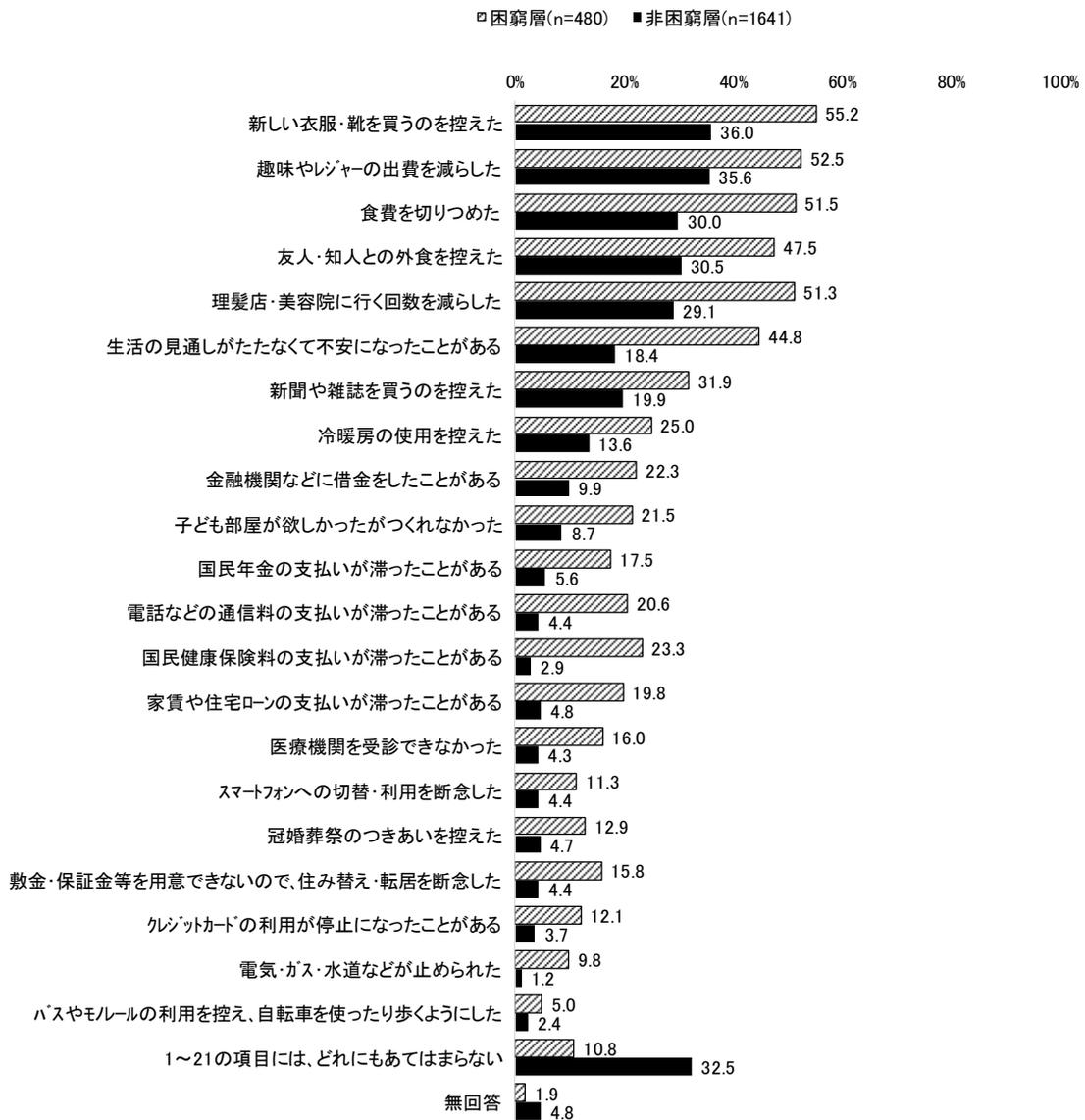


※小学1年生：p<0.01, 小学5年生：p<0.01, 中学2年生：p<0.01

【保護者】 Q26 経済的な理由で経験したこと:半年間 (複数回答)

「小学1年生-困窮層」では、「新しい衣服・靴を買うのを控えた」が55.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「趣味やレジャーの出費を減らした」が52.5%となっている。「小学1年生-非困窮層」では、「新しい衣服・靴を買うのを控えた」が36.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「趣味やレジャーの出費を減らした」が35.6%となっている。

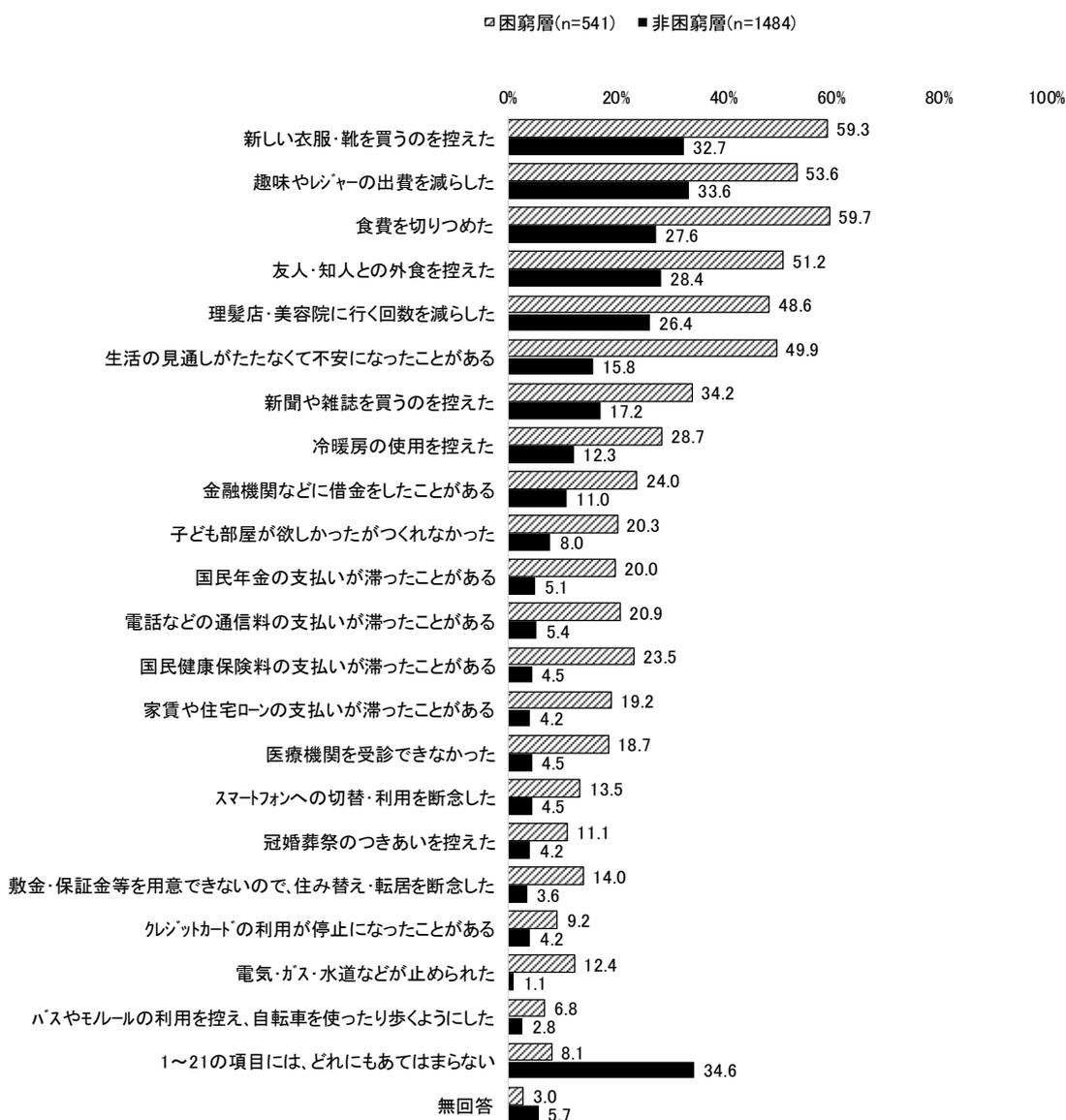
図 26 【保護者】 Q26 経済的な理由で経験したこと:半年間(小学1年生)



※いずれの項目も p<0.01

「小学5年生-困窮層」では、「食費を切りつめた」が59.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「新しい衣服・靴を買うのを控えた」が59.3%となっている。「小学5年生-非困窮層」では、「1~21の項目には、どれにもあてはまらない」が34.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「趣味やレジャーの出費を減らした」が33.6%となっている。

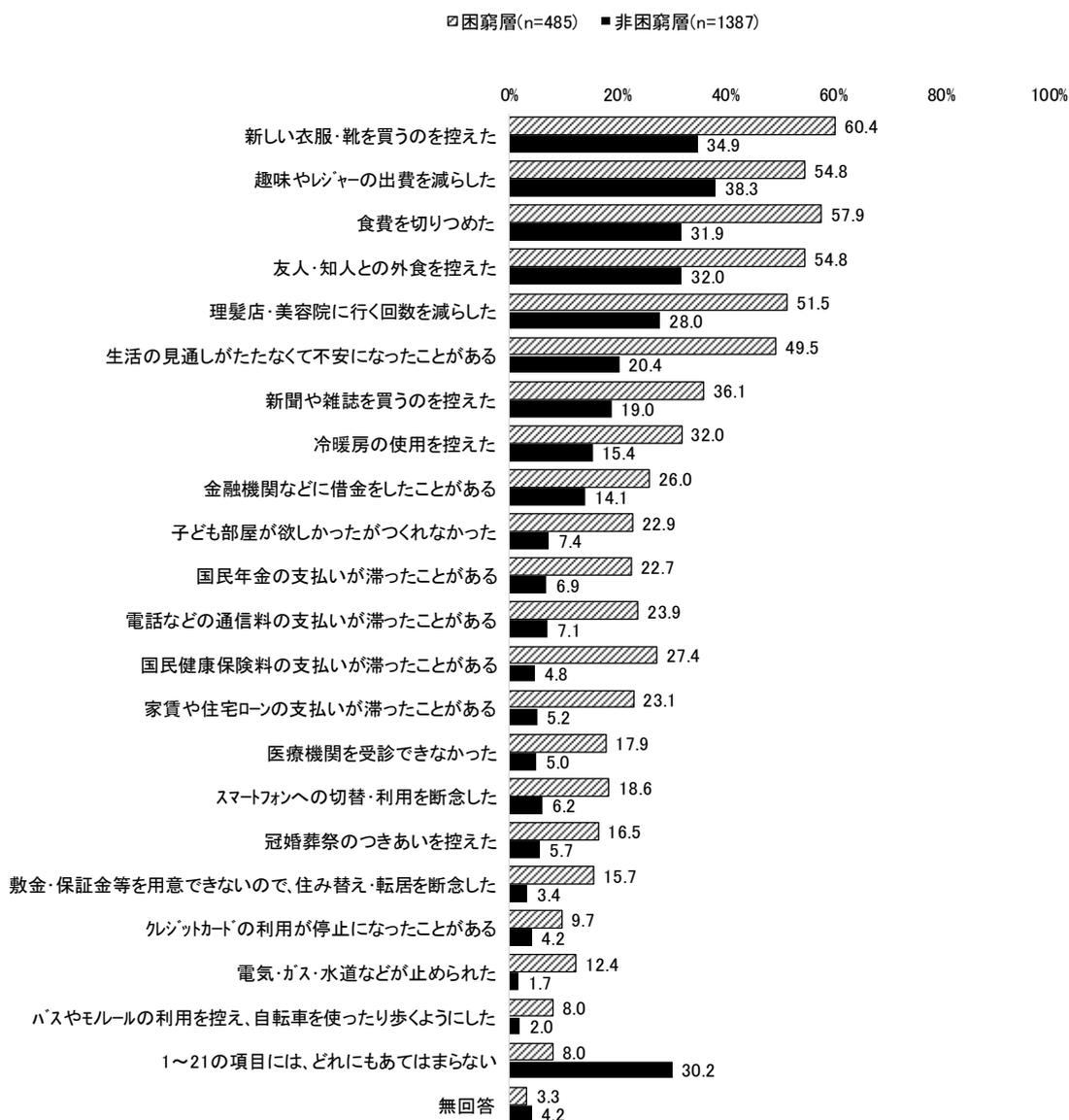
図 27 【保護者】 Q26 経済的な理由で経験したこと:半年間(小学5年生)



※いずれの項目も $p < 0.01$

「中学2年生-困窮層」では、「新しい衣服・靴を買うのを控えた」が60.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「食費を切りつめた」が57.9%となっている。「中学2年生-非困窮層」では、「趣味やレジャーの出費を減らした」が38.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「新しい衣服・靴を買うのを控えた」が34.9%となっている。

図 28 【保護者】 Q26 経済的な理由で経験したこと:半年間(中学2年生)

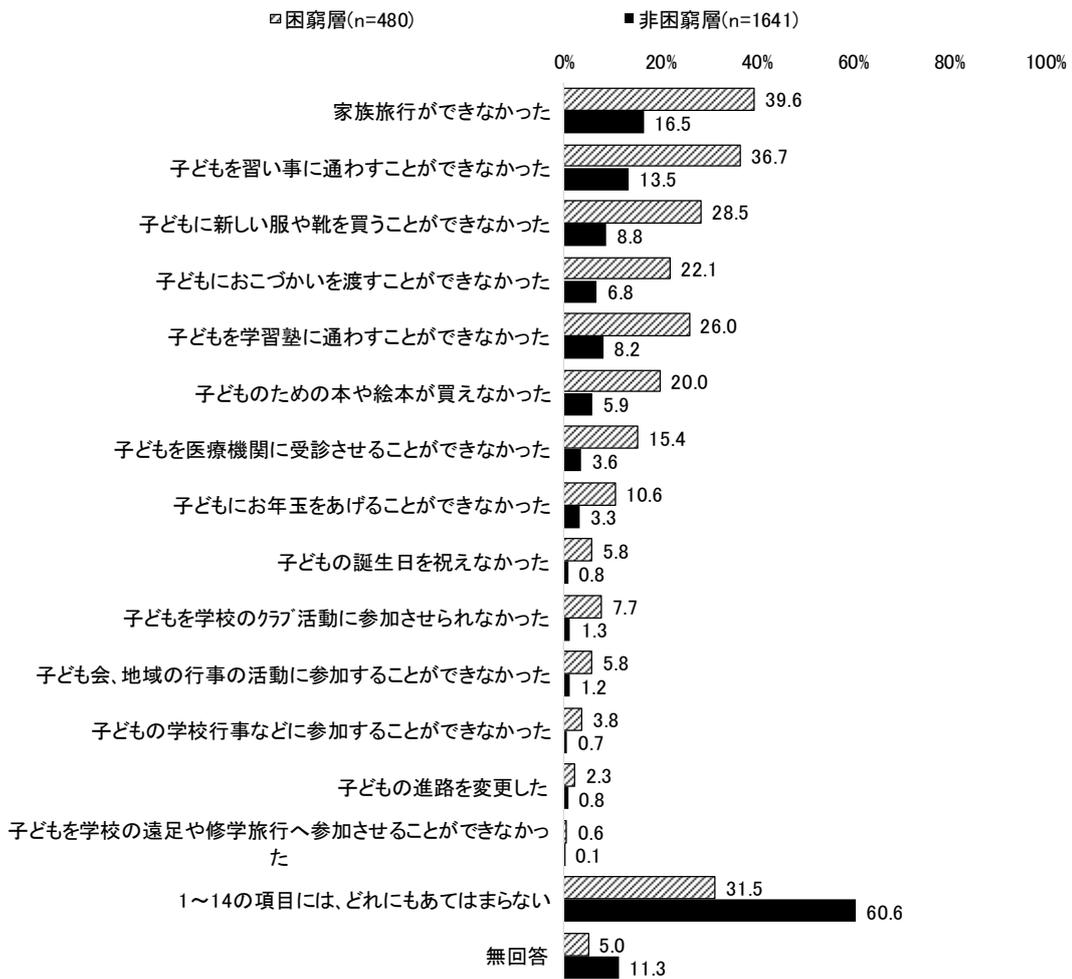


※いずれの項目も p<0.01

【保護者】 Q27 経済的な理由で経験したこと:1年間 (複数回答)

「小学1年生-困窮層」では、「家族旅行ができなかった」が39.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「子どもを習い事に通わすことができなかった」が36.7%となっている。「小学1年生-非困窮層」では、「1~14の項目には、どれもあてはまらない」が60.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「家族旅行ができなかった」が16.5%となっている。

図 29 【保護者】 Q27 経済的な理由で経験したこと:1年間(小学1年生)



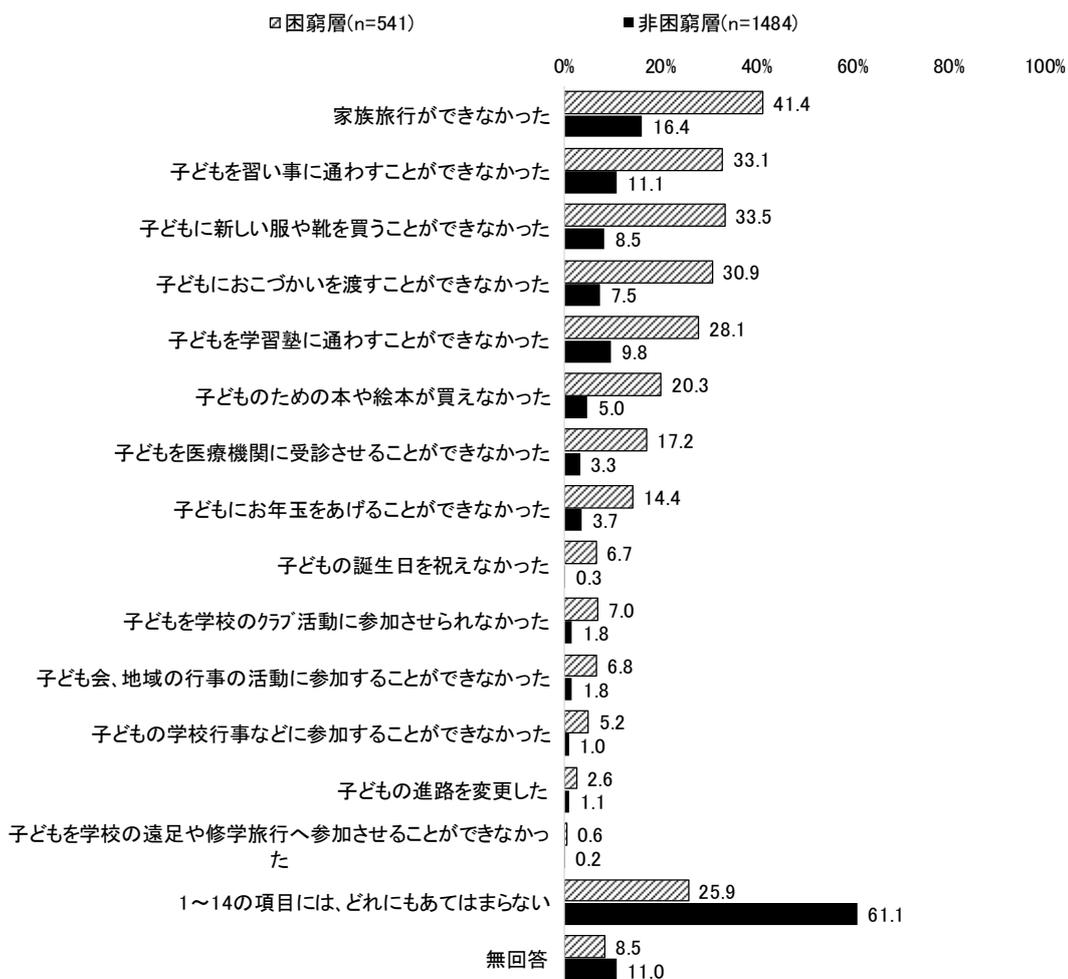
※子どもの進路を変更した：p<0.05

子どもを学校の遠足や修学旅行へ参加させることができなかった：有意差なし

上記以外の項目：p<0.01

「小学5年生-困窮層」では、「家族旅行ができなかった」が41.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「子どもに新しい服や靴を買うことができなかった」が33.5%となっている。「小学5年生-非困窮層」では、「1~14の項目には、どれもあてはまらない」が61.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「家族旅行ができなかった」が16.4%となっている。

図 30 【保護者】 Q27 経済的な理由で経験したこと:1年間(小学5年生)



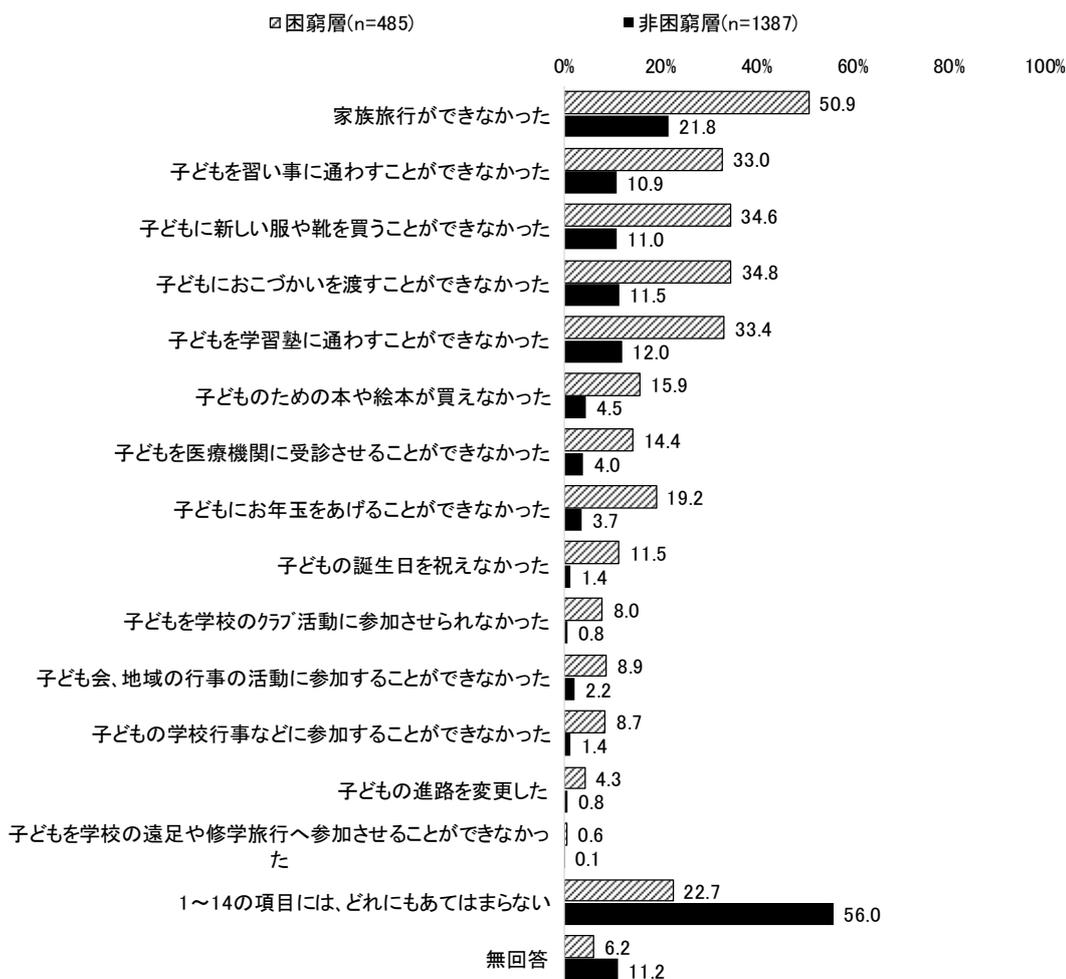
※子どもの進路を変更した：p<0.05

子どもを学校の遠足や修学旅行へ参加させることができなかった：有意差なし

上記以外の項目：p<0.01

「中学2年生-困窮層」では、「家族旅行ができなかった」が50.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「子どもにおこづかいを渡すことができなかった」が34.8%となっている。「中学2年生-非困窮層」では、「1~14の項目には、どれもあてはまらない」が56%でもっとも回答割合が高く、次いで「家族旅行ができなかった」が21.8%となっている。

図 31 【保護者】 Q27 経済的な理由で経験したこと:1年間(中学2年生)



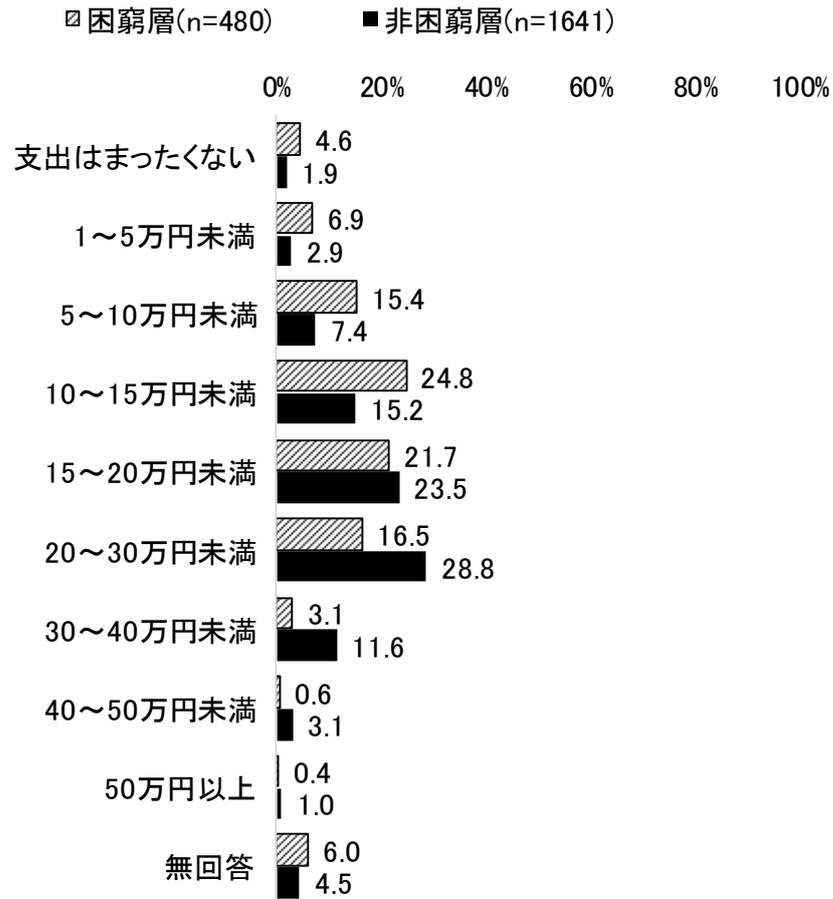
※子どもを学校の遠足や修学旅行へ参加させることができなかった：p<0.05

上記以外の項目：p<0.01

【保護者】 Q29 1か月の平均的な支出

「小学1年生・困窮層」では、「10~15万円未満」が24.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「15~20万円未満」が21.7%となっている。「小学1年生・非困窮層」では、「20~30万円未満」が28.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「15~20万円未満」が23.5%となっている。

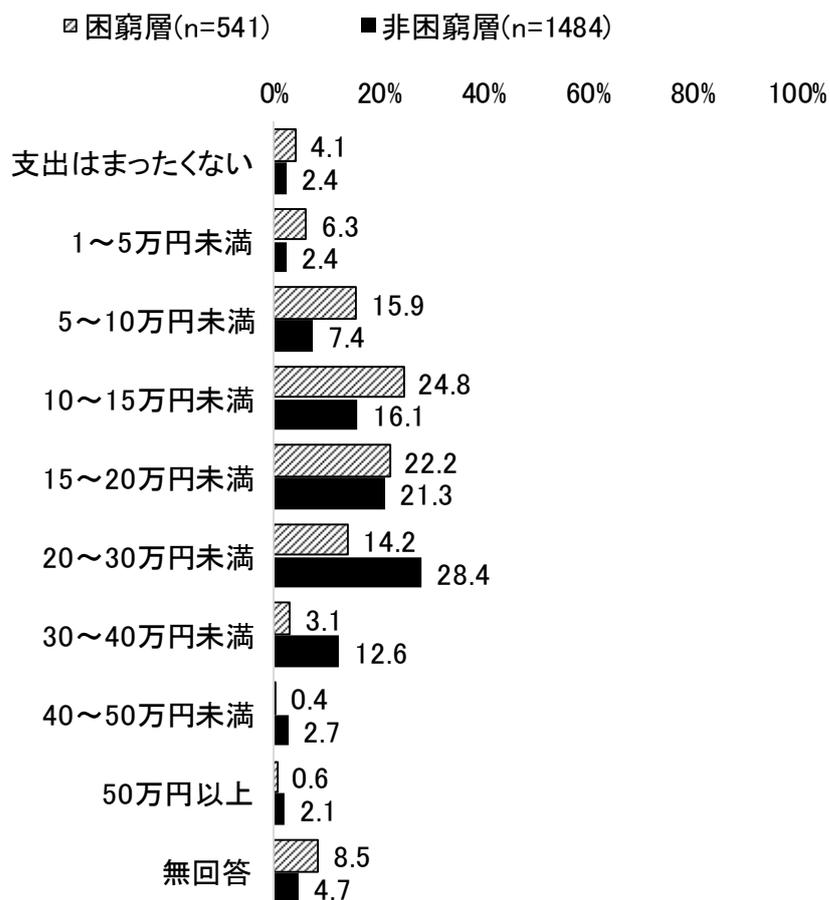
図 32 【保護者】 Q29 1か月の平均的な支出(小学1年生)



※p<0.01

「小学 5 年生-困窮層」では、「10~15 万円未満」が 24.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「15~20 万円未満」が 22.2%となっている。「小学 5 年生-非困窮層」では、「20~30 万円未満」が 28.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「15~20 万円未満」が 21.3%となっている。

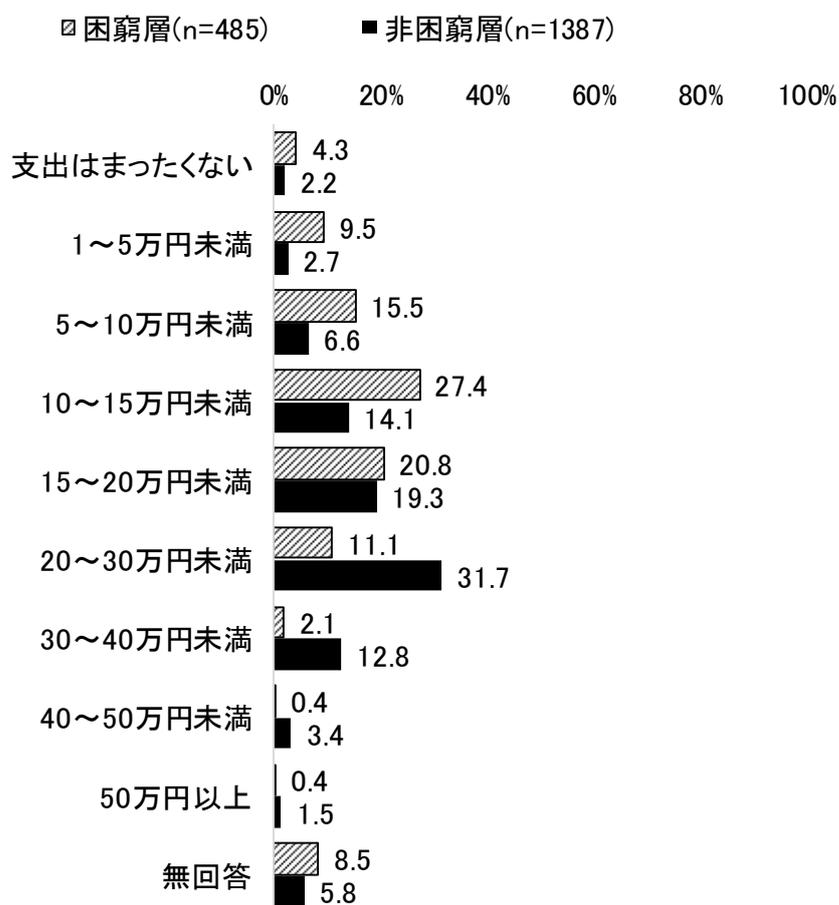
図 33 【保護者】 Q29 1 か月の平均的な支出(小学 5 年生)



※p<0.01

「中学 2 年生-困窮層」では、「10~15 万円未満」が 27.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「15~20 万円未満」が 20.8%となっている。「中学 2 年生-非困窮層」では、「20~30 万円未満」が 31.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「15~20 万円未満」が 19.3%となっている。

図 34 【保護者】 Q29 1 か月の平均的な支出(中学 2 年生)

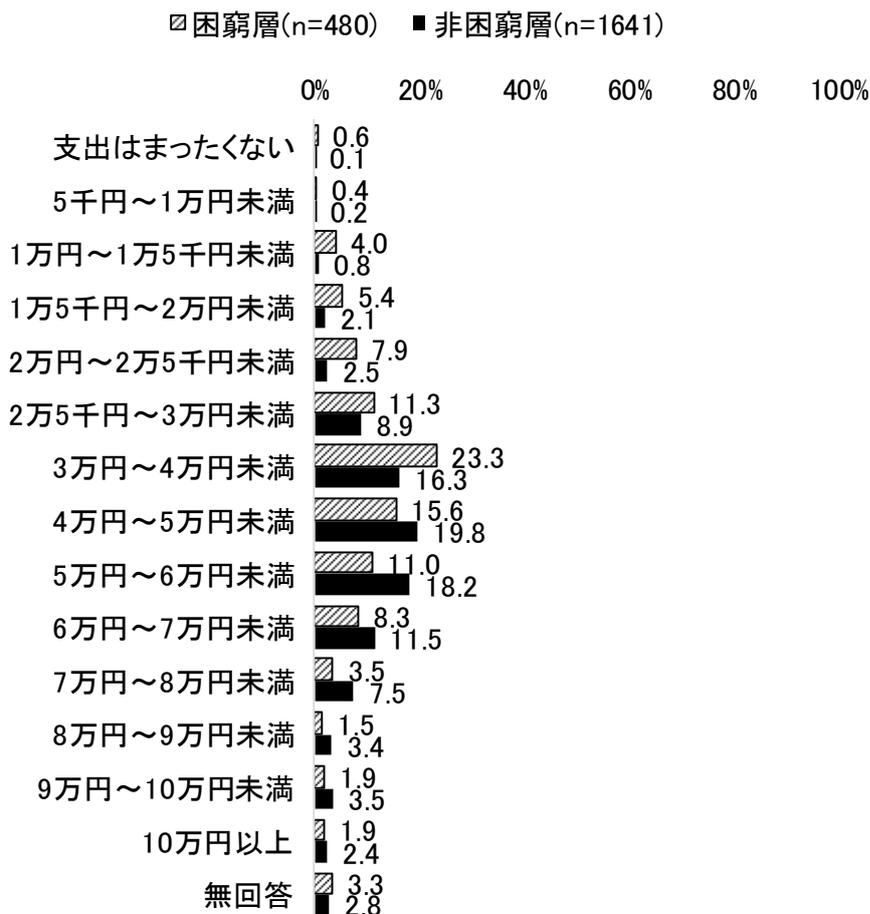


※p<0.01

【保護者】 Q30 1か月の食費についての平均的な支出

「小学1年生-困窮層」では、「3~4万円未満」が23.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「4~5万円未満」が15.6%となっている。「小学1年生-非困窮層」では、「4~5万円未満」が19.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「5~6万円未満」が18.2%となっている。

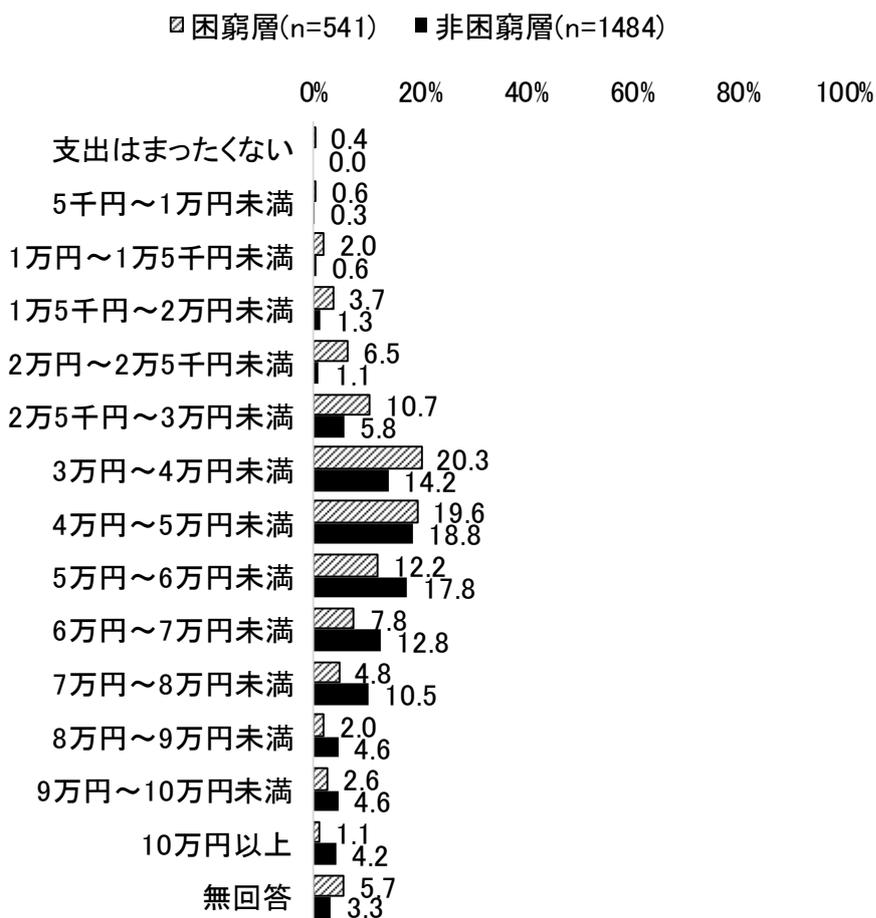
図 35 【保護者】 Q30 1か月の食費についての平均的な支出(小学1年生)



※p<0.01

「小学5年生-困窮層」では、「3~4万円未満」が20.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「4~5万円未満」が19.6%となっている。「小学5年生-非困窮層」では、「4~5万円未満」が18.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「5~6万円未満」が17.8%となっている。

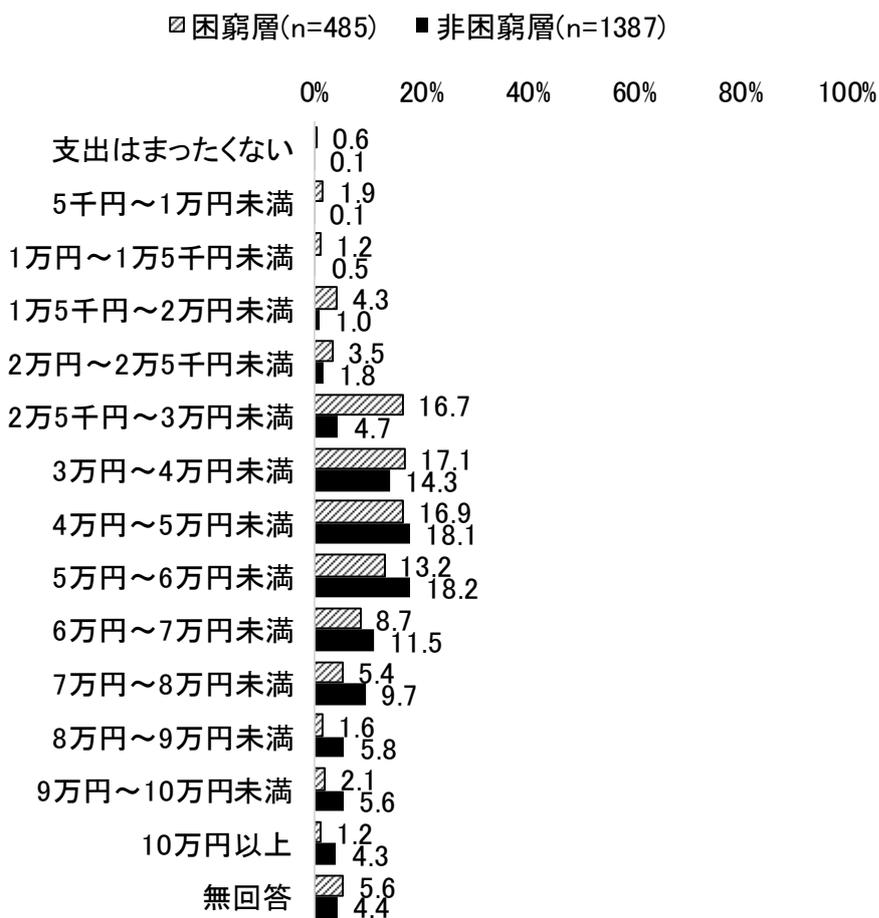
図 36 【保護者】 Q30 1か月の食費についての平均的な支出(小学5年生)



※p<0.01

「中学2年生-困窮層」では、「3~4万円未満」が17.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「4~5万円未満」が16.9%となっている。「中学2年生-非困窮層」では、「5~6万円未満」が18.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「4~5万円未満」が18.1%となっている。

図 37 【保護者】 Q30 1か月の食費についての平均的な支出(中学2年生)

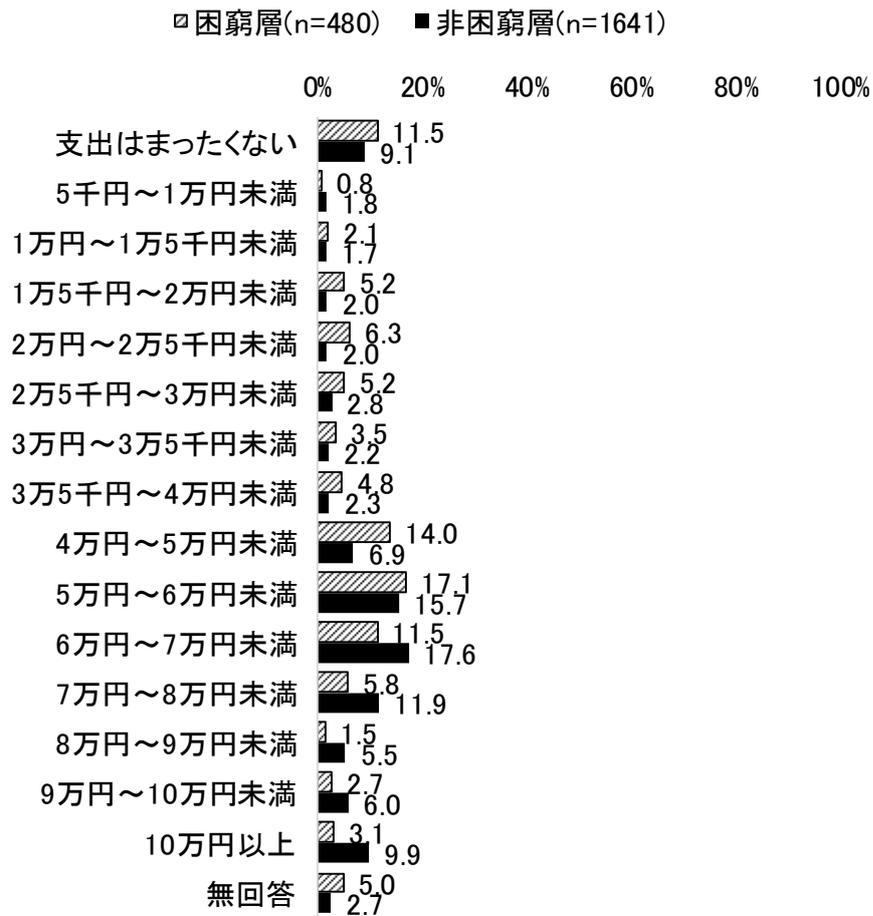


※p<0.01

【保護者】 Q31 1か月の住居費についての平均的な支出

「小学1年生-困窮層」では、「5~6万円未満」が17.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「4~5万円未満」が14.0%となっている。「小学1年生-非困窮層」では、「6~7万円未満」が17.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「5~6万円未満」が15.7%となっている。

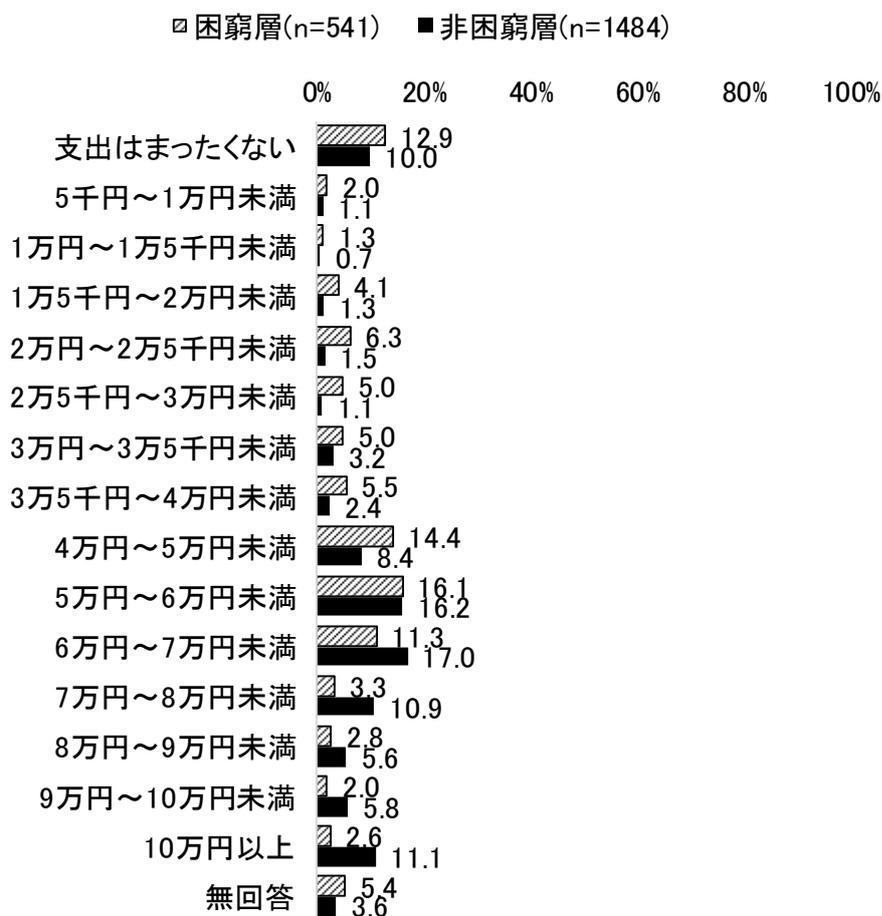
図 38 【保護者】 Q31 1か月の住居費についての平均的な支出(小学1年生)



※p<0.01

「小学5年生-困窮層」では、「5~6万円未満」が16.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「4~5万円未満」が14.4%となっている。「小学5年生-非困窮層」では、「6~7万円未満」が17.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「5~6万円未満」が16.2%となっている。

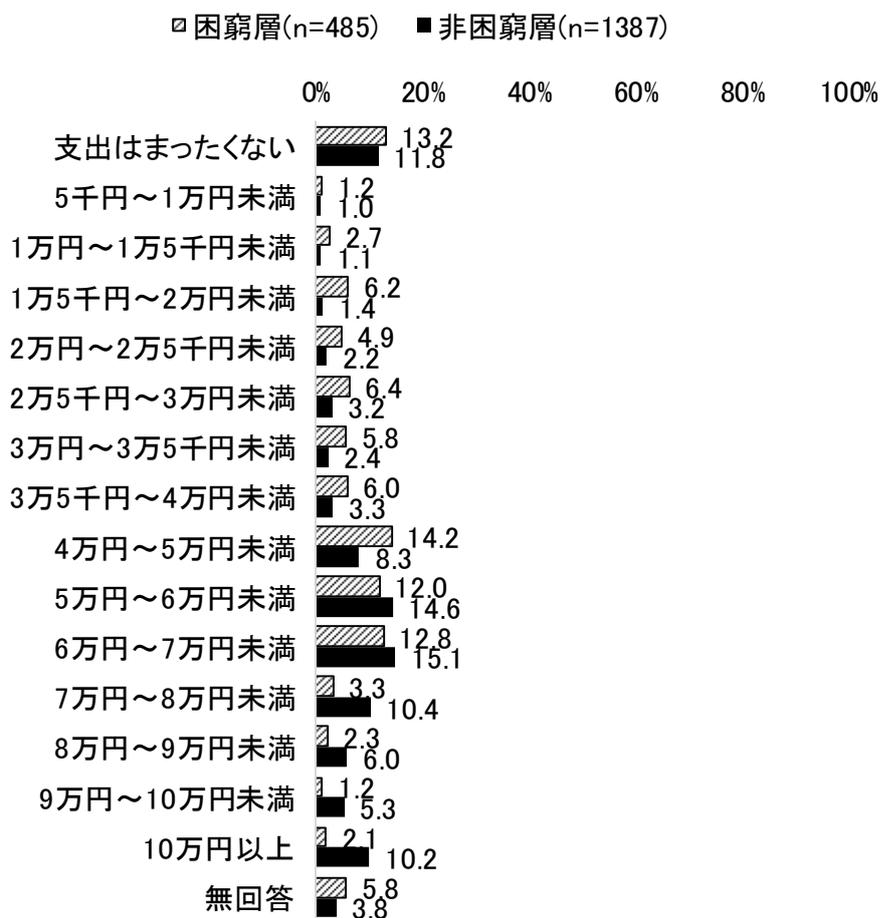
図 39 【保護者】Q31 1か月の住居費についての平均的な支出(小学5年生)



※p<0.01

「中学2年生-困窮層」では、「4~5万円未満」が14.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「6~7万円未満」が12.8%となっている。「中学2年生-非困窮層」では、「6~7万円未満」が15.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「5~6万円未満」が14.6%となっている。

図 40 【保護者】 Q31 1か月の住居費についての平均的な支出(中学2年生)

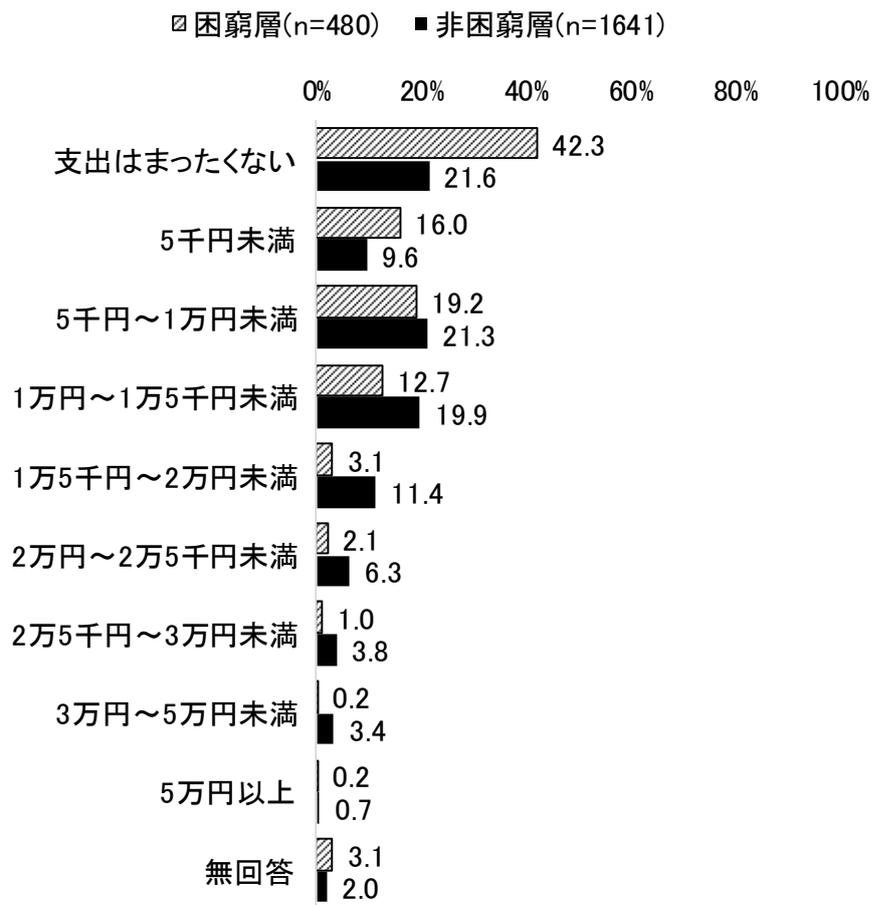


※p<0.01

【保護者】 Q32 学校以外の教育にかかる1か月あたりの平均の支出

「小学1年生-困窮層」では、「支出はまったくない」が42.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「5千円~1万円未満」が19.2%となっている。「小学1年生-非困窮層」では、「支出はまったくない」が21.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「5千円~1万円未満」が21.3%となっている。

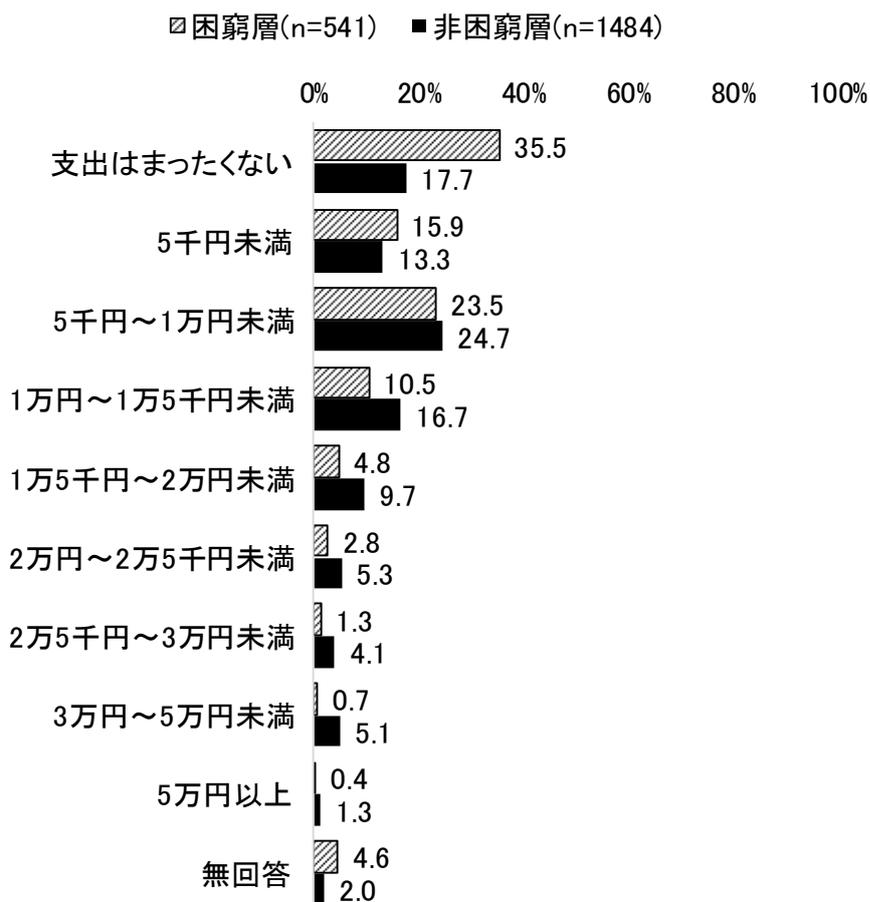
図 41 【保護者】 Q32 学校以外の教育にかかる1か月あたりの平均の支出(小学1年生)



※p<0.01

「小学5年生-困窮層」では、「支出はまったくない」が35.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「5千円~1万円未満」が23.5%となっている。「小学5年生-非困窮層」では、「5千円~1万円未満」が24.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「支出はまったくない」が17.7%となっている。

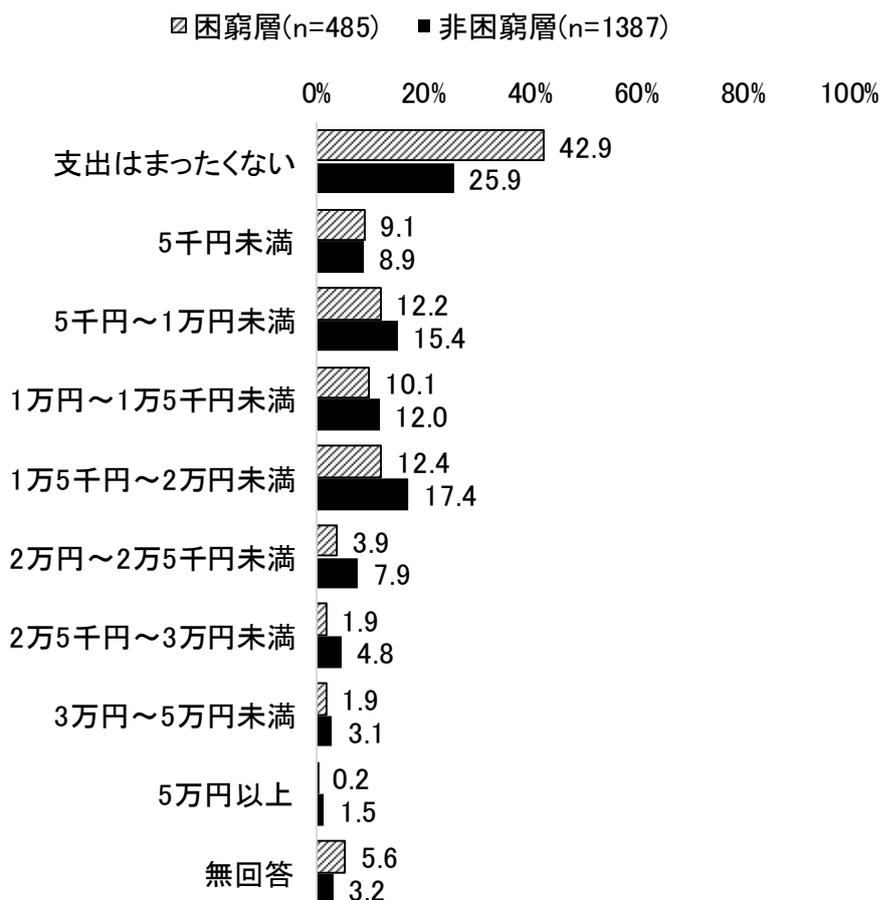
図 42 【保護者】 Q32 学校以外の教育にかかる1か月あたりの平均の支出(小学5年生)



※p<0.01

「中学2年生-困窮層」では、「支出はまったくない」が42.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「1万5千円~2万円未満」が12.4%となっている。「中学2年生-非困窮層」では、「支出はまったくない」が25.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「1万5千円~2万円未満」が17.4%となっている。

図 43 【保護者】 Q32 学校以外の教育にかかる1か月あたりの平均の支出(中学2年生)



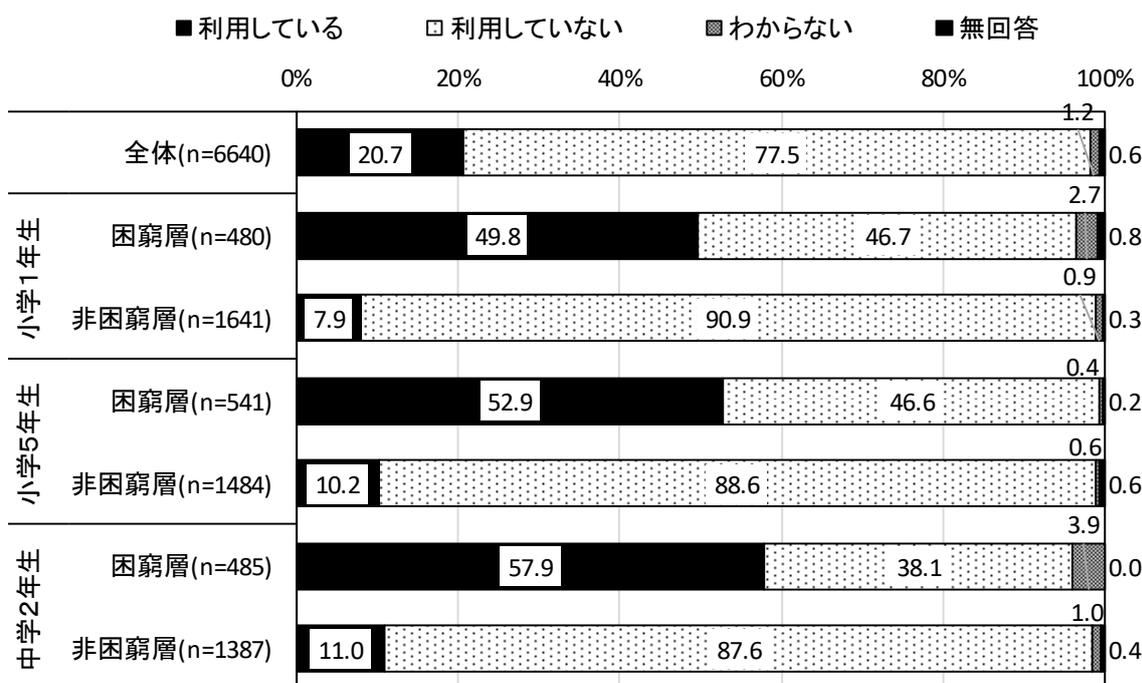
※p<0.01

3.制度の利用状況

【保護者】 Q7 就学援助制度の利用状況

「小学 1 年生-困窮層」では、「利用している」が 49.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「利用していない」が 46.7%となっている。「小学 1 年生-非困窮層」では、「利用していない」が 90.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「利用している」が 7.9%となっている。「小学 5 年生-困窮層」では、「利用している」が 52.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「利用していない」が 46.6%となっている。「小学 5 年生-非困窮層」では、「利用していない」が 88.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「利用している」が 10.2%となっている。「中学 2 年生-困窮層」では、「利用している」が 57.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「利用していない」が 38.1%となっている。「中学 2 年生-非困窮層」では、「利用していない」が 87.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「利用している」が 11.0%となっている。

図 44 【保護者】 Q7 就学援助制度の利用状況

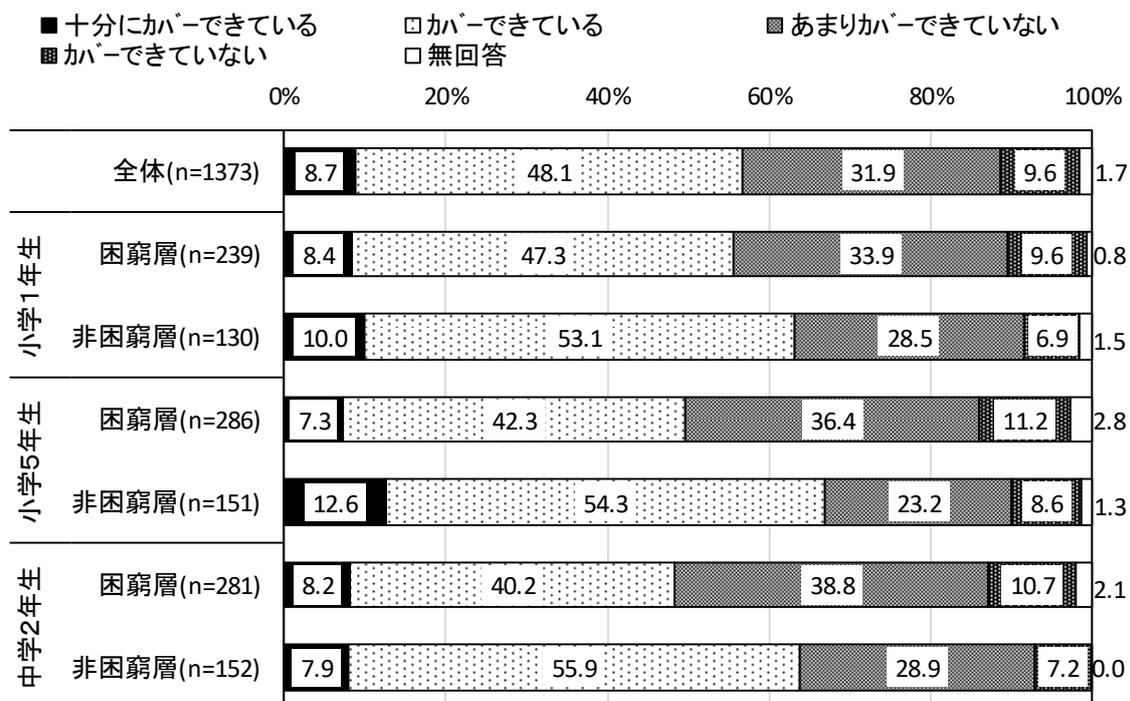


※小学 1 年生 : p<0.01, 小学 5 年生 : p<0.01, 中学 2 年生 : p<0.01

【保護者】 Q7-1 就学援助は学校にかかる経費をカバーできているか

「小学1年生-困窮層」では、「カバーできている」が47.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「あまりカバーできていない」が33.9%となっている。「小学1年生-非困窮層」では、「カバーできている」が53.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「あまりカバーできていない」が28.5%となっている。「小学5年生-困窮層」では、「カバーできている」が42.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「あまりカバーできていない」が36.4%となっている。「小学5年生-非困窮層」では、「カバーできている」が54.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「あまりカバーできていない」が23.2%となっている。「中学2年生-困窮層」では、「カバーできている」が40.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「あまりカバーできていない」が38.8%となっている。「中学2年生-非困窮層」では、「カバーできている」が55.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「あまりカバーできていない」が28.9%となっている。

図 45 【保護者】 Q7-1 就学援助は学校にかかる経費をカバーできているか

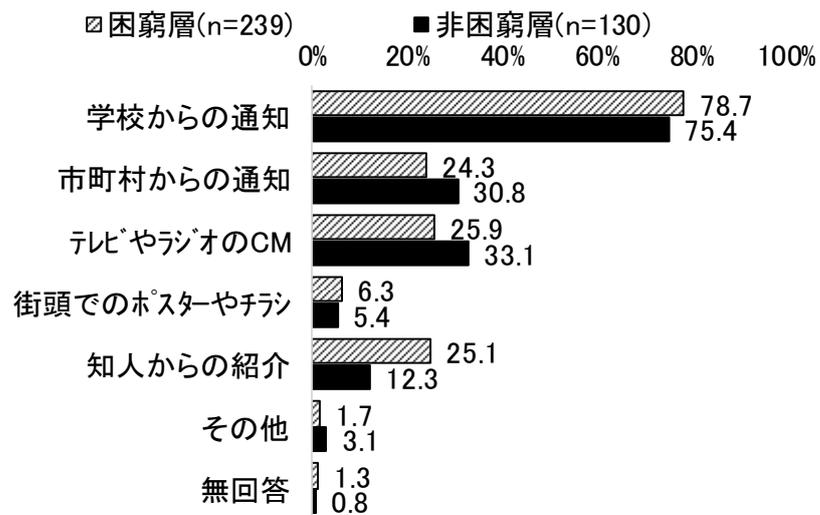


※小学1年生：有意差なし，小学5年生：p<0.01，中学2年生：p<0.05

【保護者】 Q7-2 就学援助についてどのように知ったか (複数回答)

「小学 1 年生-困窮層」では、「学校からの通知」が 78.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「テレビやラジオの CM」が 25.9%となっている。「小学 1 年生-非困窮層」では、「学校からの通知」が 75.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「テレビやラジオの CM」が 33.1%となっている。

図 46 【保護者】 Q7-2 就学援助についてどのように知ったか(小学 1 年生)

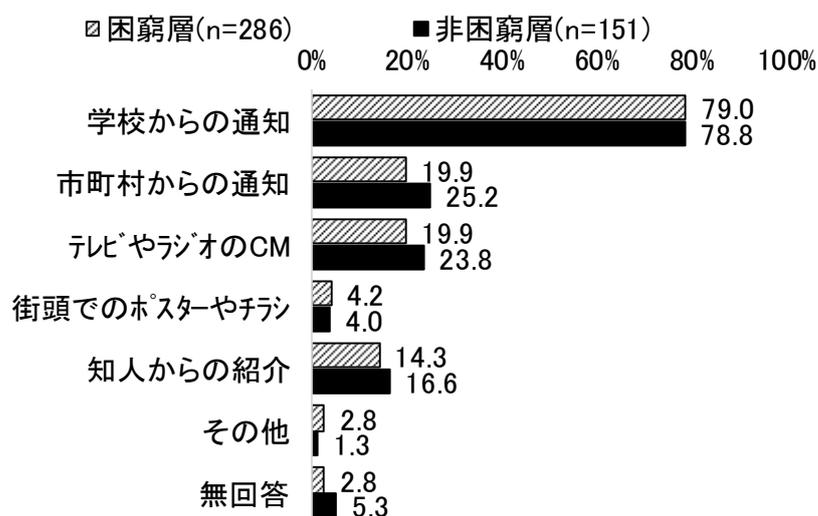


※知人からの紹介：p<0.01

上記以外の項目：有意差なし

「小学5年生-困窮層」では、「学校からの通知」が79.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「市町村からの通知」と「テレビやラジオのCM」が19.9%となっている。「小学5年生-非困窮層」では、「学校からの通知」が78.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「市町村からの通知」が25.2%となっている。

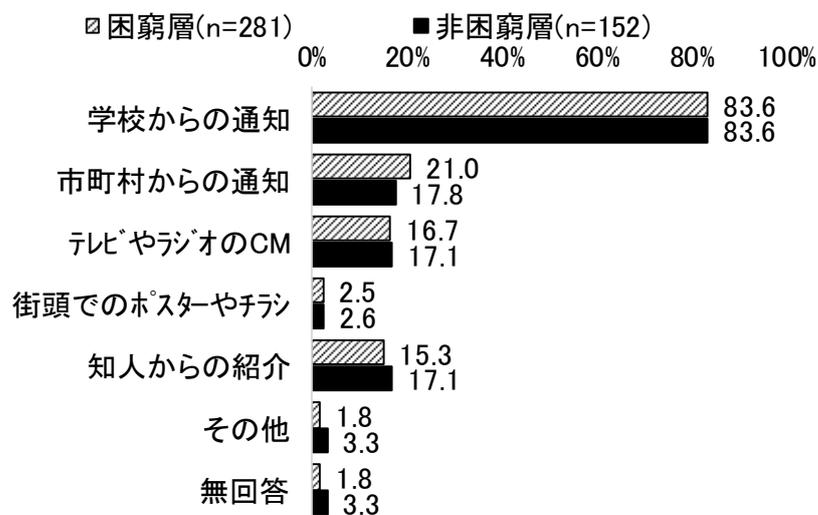
図 47 【保護者】 Q7-2 就学援助についてどのように知ったか(小学5年生)



※いずれも有意差なし

「中学2年生-困窮層」では、「学校からの通知」が83.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「市町村からの通知」が21.0%となっている。「中学2年生-非困窮層」では、「学校からの通知」が83.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「市町村からの通知」が17.8%となっている。

図 48 【保護者】 Q7-2 就学援助についてどのように知ったか(中学2年生)

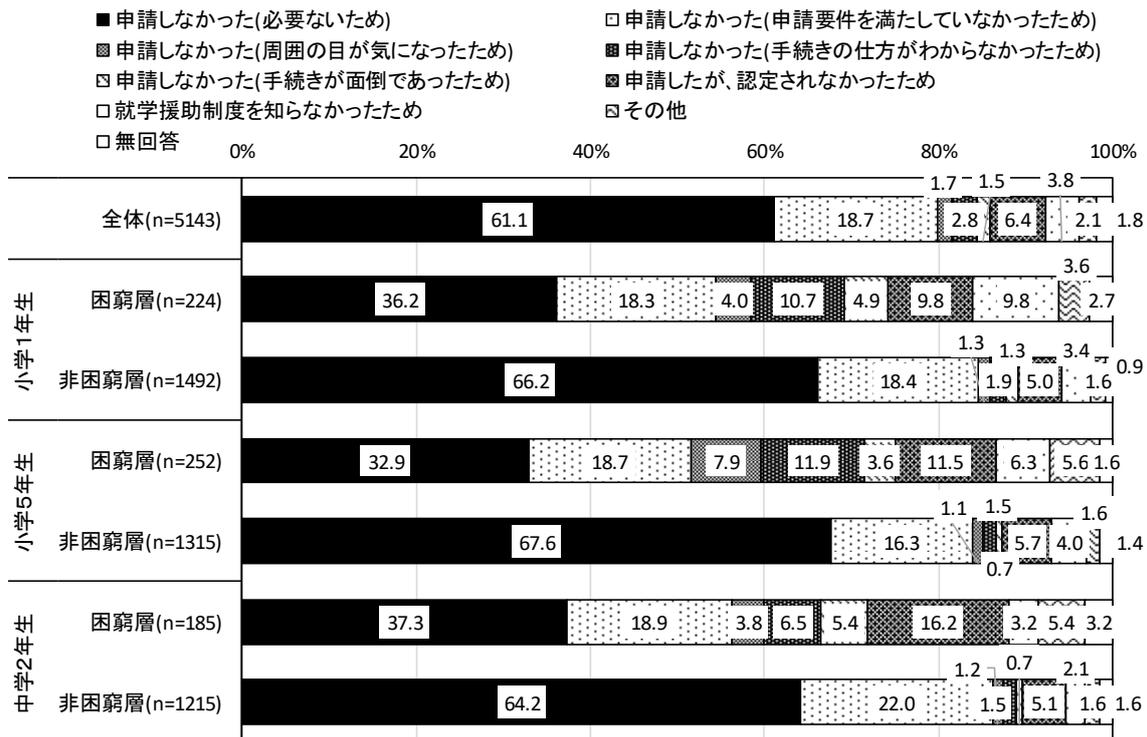


※いずれも有意差なし

【保護者】 Q7-3 就学援助を利用していない理由

「小学1年生-困窮層」では、「申請しなかった(必要ないため)」が36.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「申請しなかった(申請要件を満たしていなかったため)」が18.3%となっている。「小学1年生-非困窮層」では、「申請しなかった(必要ないため)」が66.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「申請しなかった(申請要件を満たしていなかったため)」が18.4%となっている。「小学5年生-困窮層」では、「申請しなかった(必要ないため)」が32.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「申請しなかった(申請要件を満たしていなかったため)」が18.7%となっている。「小学5年生-非困窮層」では、「申請しなかった(必要ないため)」が67.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「申請しなかった(申請要件を満たしていなかったため)」が16.3%となっている。「中学2年生-困窮層」では、「申請しなかった(必要ないため)」が37.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「申請しなかった(申請要件を満たしていなかったため)」が18.9%となっている。「中学2年生-非困窮層」では、「申請しなかった(必要ないため)」が64.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「申請しなかった(申請要件を満たしていなかったため)」が22.0%となっている。

図 49 【保護者】 Q7-3 就学援助を利用していない理由

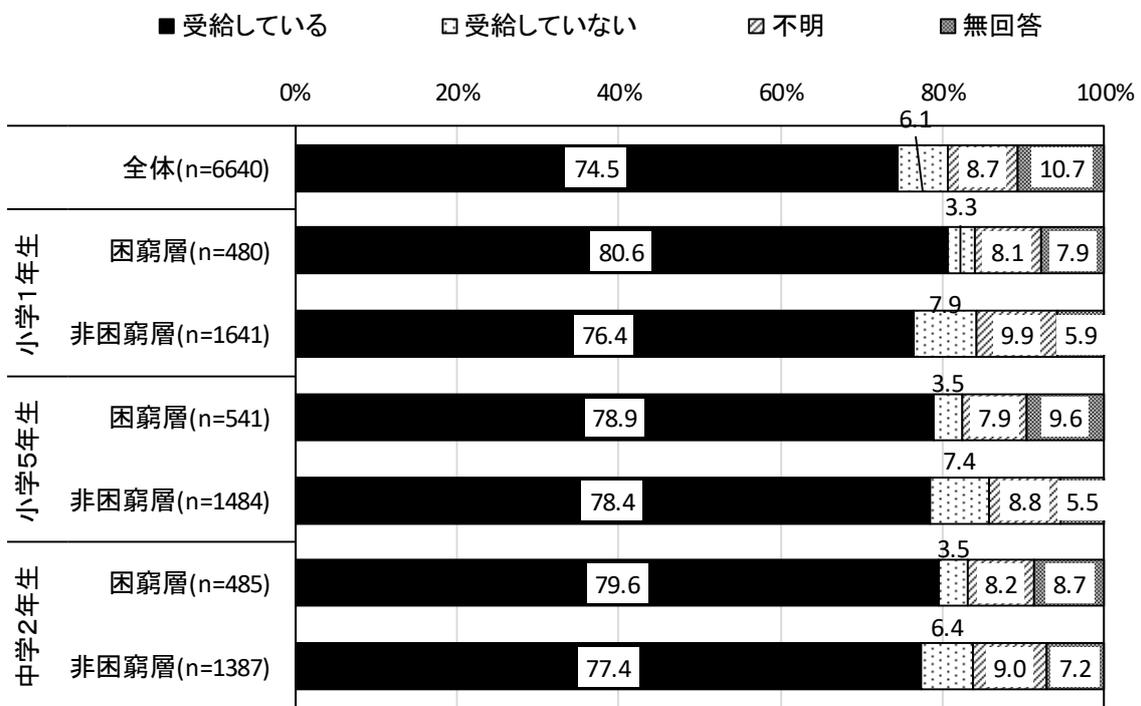


※小学1年生：p<0.01, 小学5年生：p<0.01, 中学2年生：p<0.01

【保護者】 Q28-1①1 児童手当・児童扶養手当・特別児童扶養手当:受給状況

「小学 1 年生-困窮層」では、「受給している」が 80.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「不明」が 8.1%となっている。「小学 1 年生-非困窮層」では、「受給している」が 76.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「不明」が 9.9%となっている。「小学 5 年生-困窮層」では、「受給している」が 78.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「不明」が 7.9%となっている。「小学 5 年生-非困窮層」では、「受給している」が 78.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「不明」が 8.8%となっている。「中学 2 年生-困窮層」では、「受給している」が 79.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「不明」が 8.2%となっている。「中学 2 年生-非困窮層」では、「受給している」が 77.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「不明」が 9.0%となっている。

図 50 【保護者】 Q28-1①1 児童手当・児童扶養手当・特別児童扶養手当:受給状況

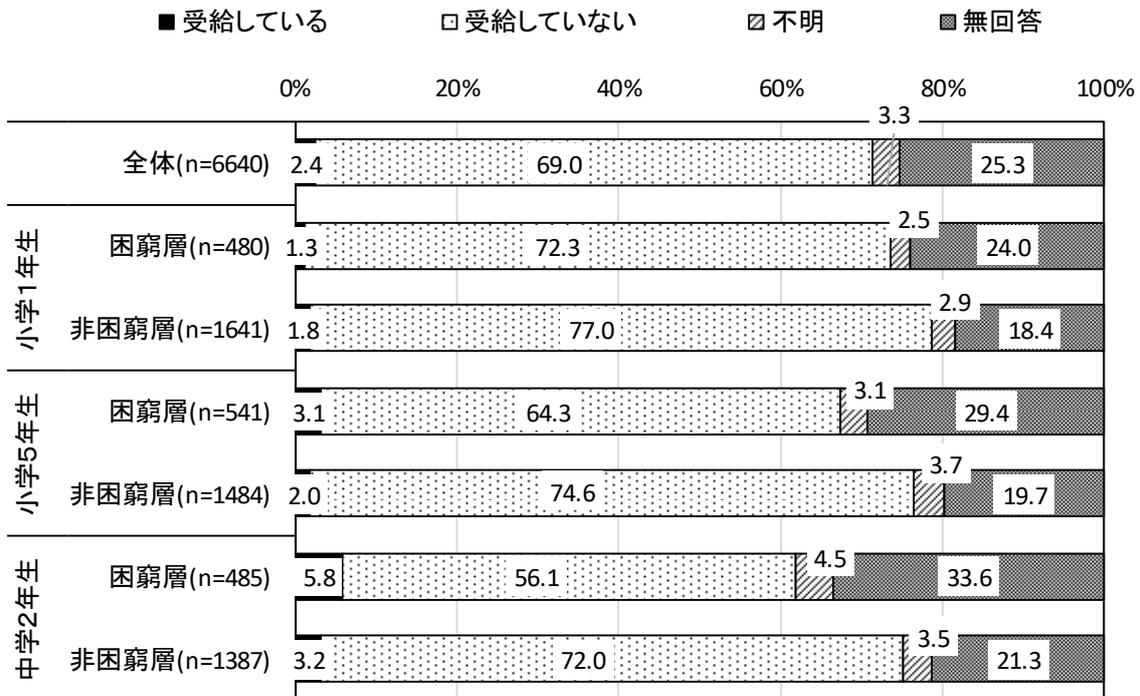


※小学 1 年生 : p<0.01, 小学 5 年生 : p<0.01, 中学 2 年生 : 有意差なし

【保護者】 Q28-1②1 公的年金:受給状況

「小学 1 年生-困窮層」では、「受給していない」が 72.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「不明」が 2.5%となっている。「小学 1 年生-非困窮層」では、「受給していない」が 77.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「不明」が 2.9%となっている。「小学 5 年生-困窮層」では、「受給していない」が 64.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「受給している」と「不明」がそれぞれ 3.1%となっている。「小学 5 年生-非困窮層」では、「受給していない」が 74.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「不明」が 3.7%となっている。「中学 2 年生-困窮層」では、「受給していない」が 56.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「受給している」が 5.8%となっている。「中学 2 年生-非困窮層」では、「受給していない」が 72.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「不明」が 3.5%となっている。

図 51 【保護者】 Q28-1②1 公的年金:受給状況

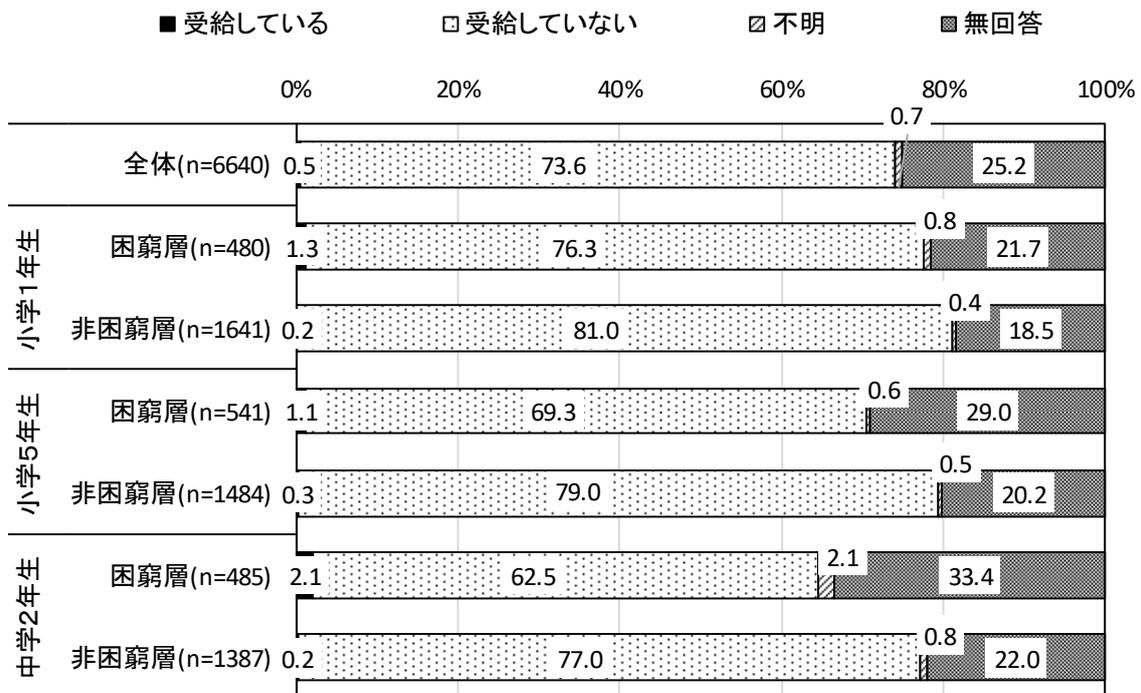


※小学 1 年生：有意差なし，小学 5 年生：有意差なし，中学 2 年生：p<0.01

【保護者】 Q28-1③1 生活保護:受給状況

「小学 1 年生-困窮層」では、「受給していない」が 76.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「受給している」が 1.3%となっている。「小学 1 年生-非困窮層」では、「受給していない」が 81.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「不明」が 0.4%となっている。「小学 5 年生-困窮層」では、「受給していない」が 69.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「受給している」が 1.1%となっている。「小学 5 年生-非困窮層」では、「受給していない」が 79.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「不明」が 0.5%となっている。「中学 2 年生-困窮層」では、「受給していない」が 62.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「受給している」と「不明」がそれぞれ 2.1%となっている。「中学 2 年生-非困窮層」では、「受給していない」が 77.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「不明」が 0.8%となっている。

図 52 【保護者】 Q28-1③1 生活保護:受給状況



※小学 1 年生 : p<0.01, 小学 5 年生 : p<0.05, 中学 2 年生 : p<0.01

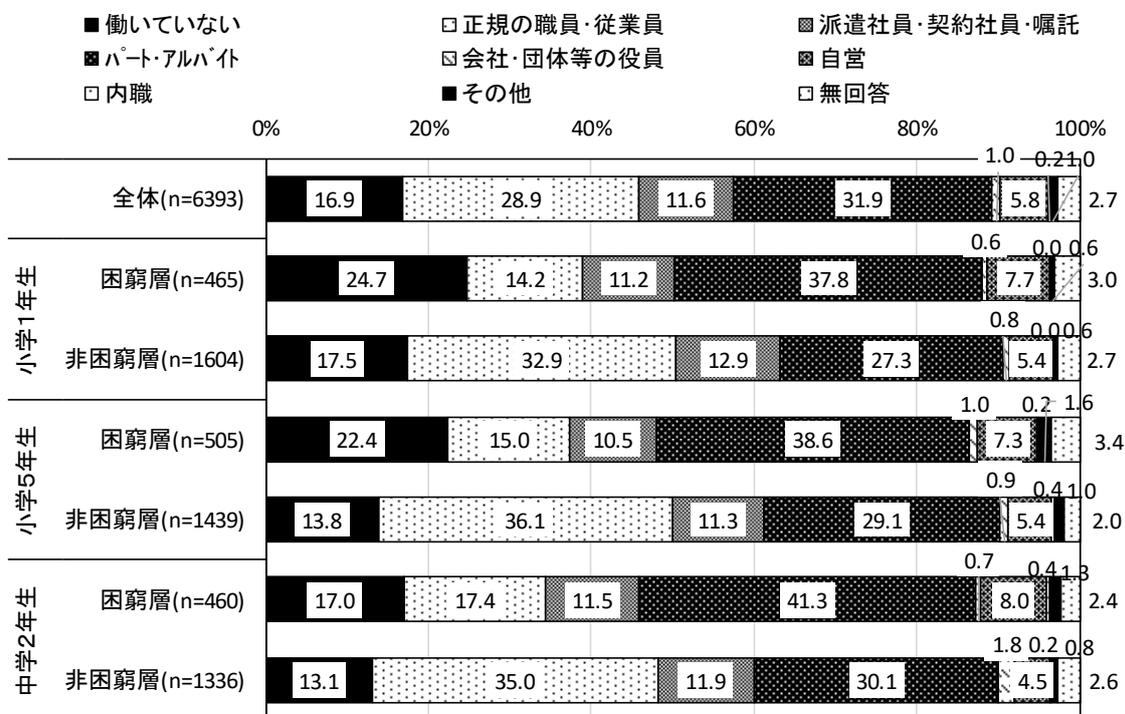
4.世帯の状況

以下では、Q3「子どもと同居している家族」の回答にもとづき、母親の仕事の状況については母親と子どもが同居している世帯 6,393 件のみ、父親の仕事の状況については父親と子どもが同居している世帯 5,542 件のみを分析対象とする。

【保護者】 Q4 母親:現在の仕事の状況

「小学 1 年生-困窮層」では、「パート・アルバイト」が 37.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「働いていない」が 24.7%となっている。「小学 1 年生-非困窮層」では、「正規の職員・従業員」が 32.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「パート・アルバイト」が 27.3%となっている。「小学 5 年生-困窮層」では、「パート・アルバイト」が 38.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「働いていない」が 22.4%となっている。「小学 5 年生-非困窮層」では、「正規の職員・従業員」が 36.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「パート・アルバイト」が 29.1%となっている。「中学 2 年生-困窮層」では、「パート・アルバイト」が 41.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「正規の職員・従業員」が 17.4%となっている。「中学 2 年生-非困窮層」では、「正規の職員・従業員」が 35.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「パート・アルバイト」が 30.1%となっている。

図 53 【保護者】 Q4 母親:現在の仕事の状況

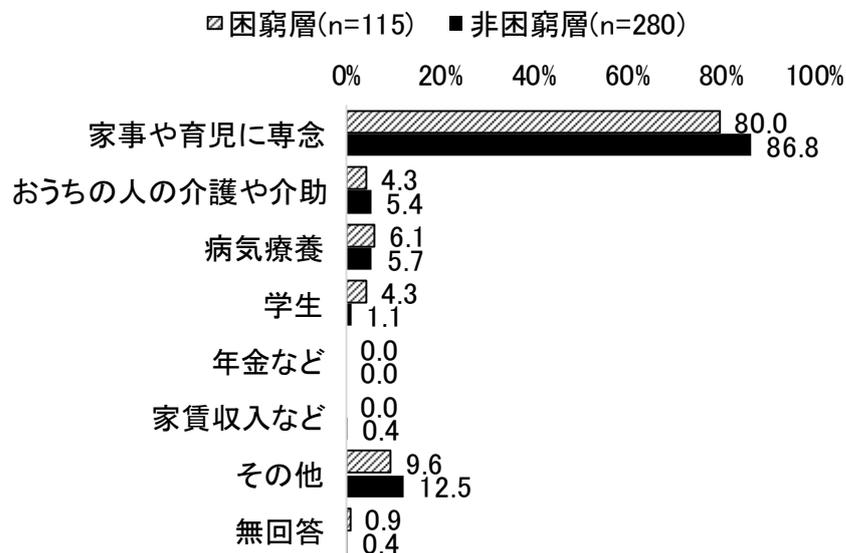


※小学 1 年生 : p<0.01, 小学 5 年生 : p<0.01, 中学 2 年生 : p<0.01

【保護者】 Q4-1 母親:働いていない理由 (複数回答)

「小学1年生-困窮層」では、「家事や育児に専念」が80.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「その他」が9.6%となっている。「小学1年生-非困窮層」では、「家事や育児に専念」が86.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「その他」が12.5%となっている。「小学5年生-困窮層」では、「家事や育児に専念」が77.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「病気療養」が15.0%となっている。「小学5年生-非困窮層」では、「家事や育児に専念」が85.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「おうちの人の介護や介助」が10.6%となっている。「中学2年生-困窮層」では、「家事や育児に専念」が57.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「その他」が24.4%となっている。「中学2年生-非困窮層」では、「家事や育児に専念」が74.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「その他」が14.3%となっている。

図 54 【保護者】 Q4-1 母親:働いていない理由(小学1年生)

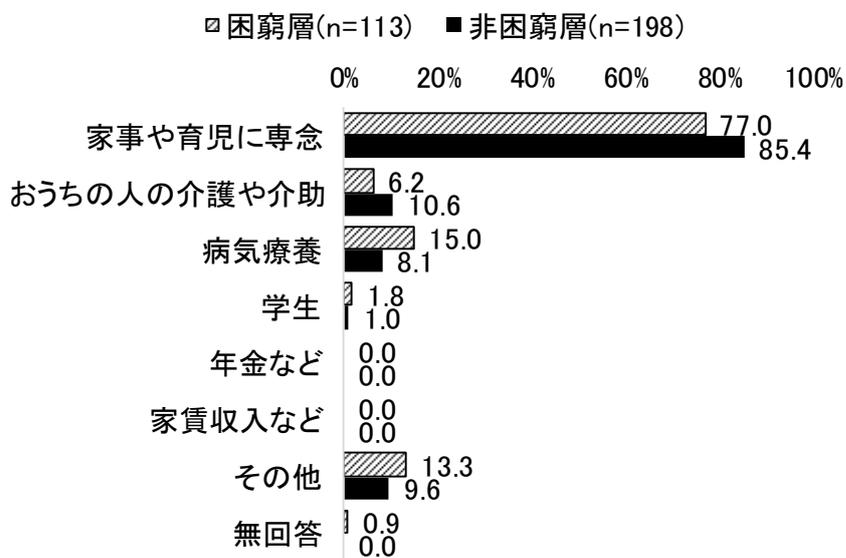


※家事や育児に専念：p<0.01

病気療養、学生：p<0.05

上記以外の項目：有意差なし

図 55 【保護者】 Q4-1 母親:働いていない理由(小学5年生)

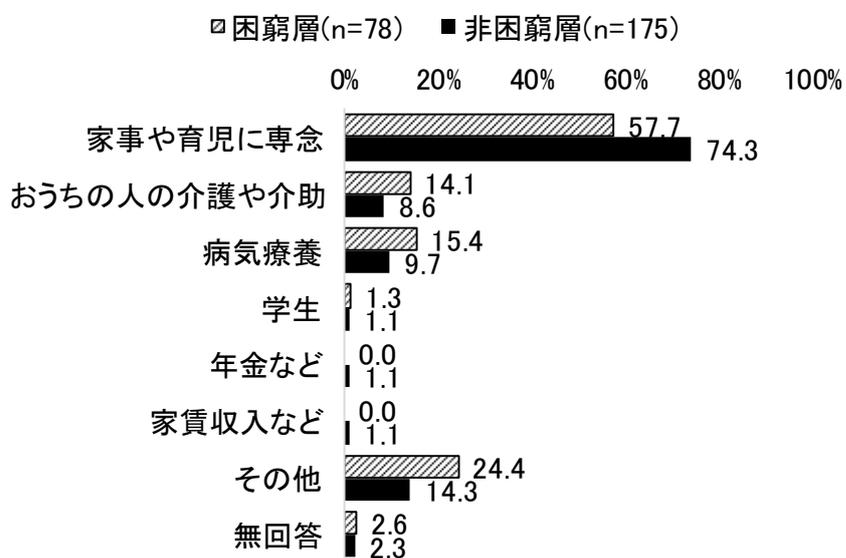


※家事や育児に専念、病気療養：p<0.01

学生、その他：p<0.05

おうちの人の介護や介助、年金など：有意差なし

図 56 【保護者】 Q4-1 母親:働いていない理由(中学2年生)



※家事や育児に専念：p<0.01

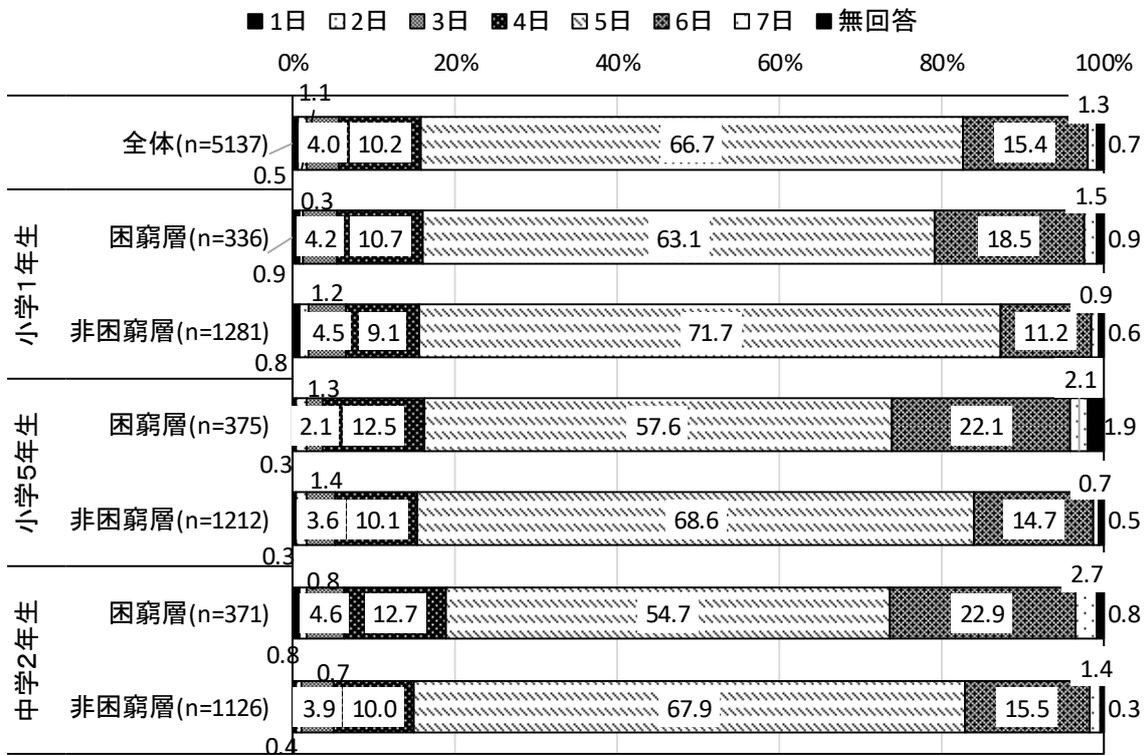
病気療養、学生：p<0.05

上記以外の項目：有意差なし

【保護者】 Q4-2① 母親:一週間の平均的な労働日数

「小学1年生-困窮層」では、「5日」が63.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「6日」が18.5%となっている。「小学1年生-非困窮層」では、「5日」が71.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「6日」が11.2%となっている。「小学5年生-困窮層」では、「5日」が57.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「6日」が22.1%となっている。「小学5年生-非困窮層」では、「5日」が68.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「6日」が14.7%となっている。「中学2年生-困窮層」では、「5日」が54.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「6日」が22.9%となっている。「中学2年生-非困窮層」では、「5日」が67.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「6日」が15.5%となっている。

図 57 【保護者】 Q4-2① 母親:一週間の平均的な労働日数

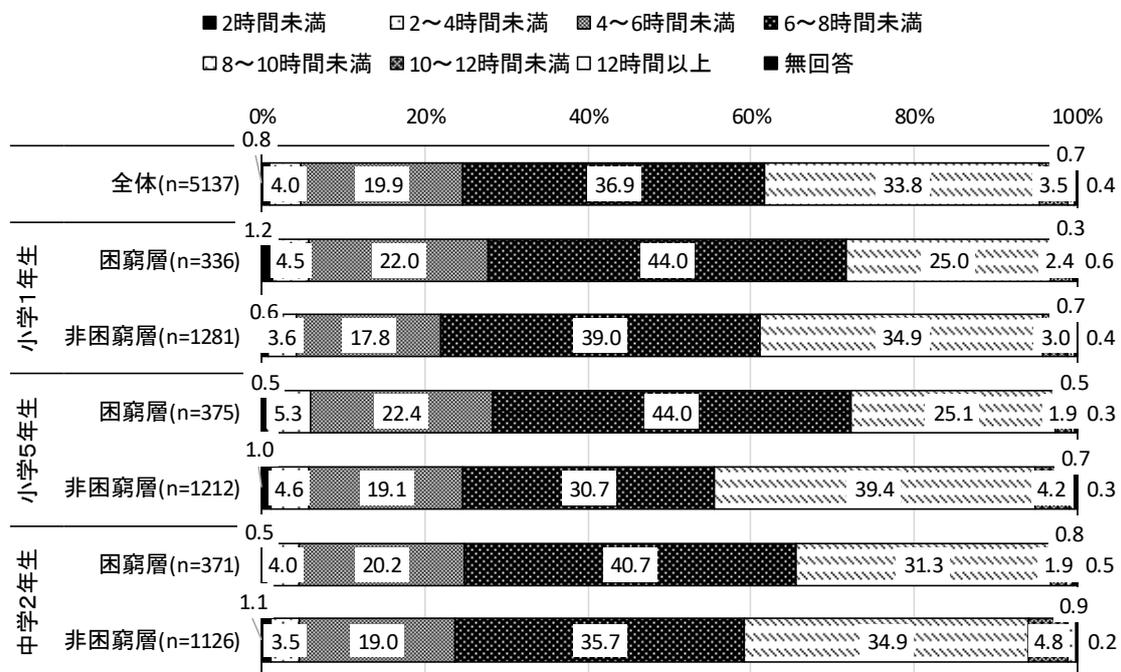


※小学1年生：p<0.01, 小学5年生：p<0.01, 中学2年生：p<0.01

【保護者】 Q4-2② 母親:働いている日の平均的な労働時間

「小学 1 年生-困窮層」では、「6~8 時間未満」が 44.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「8~10 時間未満」が 25.0%となっている。「小学 1 年生-非困窮層」では、「6~8 時間未満」が 39.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「8~10 時間未満」が 34.9%となっている。「小学 5 年生-困窮層」では、「6~8 時間未満」が 44.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「8~10 時間未満」が 25.1%となっている。「小学 5 年生-非困窮層」では、「8~10 時間未満」が 39.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「6~8 時間未満」が 30.7%となっている。「中学 2 年生-困窮層」では、「6~8 時間未満」が 40.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「8~10 時間未満」が 31.3%となっている。「中学 2 年生-非困窮層」では、「6~8 時間未満」が 35.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「8~10 時間未満」が 34.9%となっている。

図 58 【保護者】 Q4-2② 母親:働いている日の平均的な労働時間

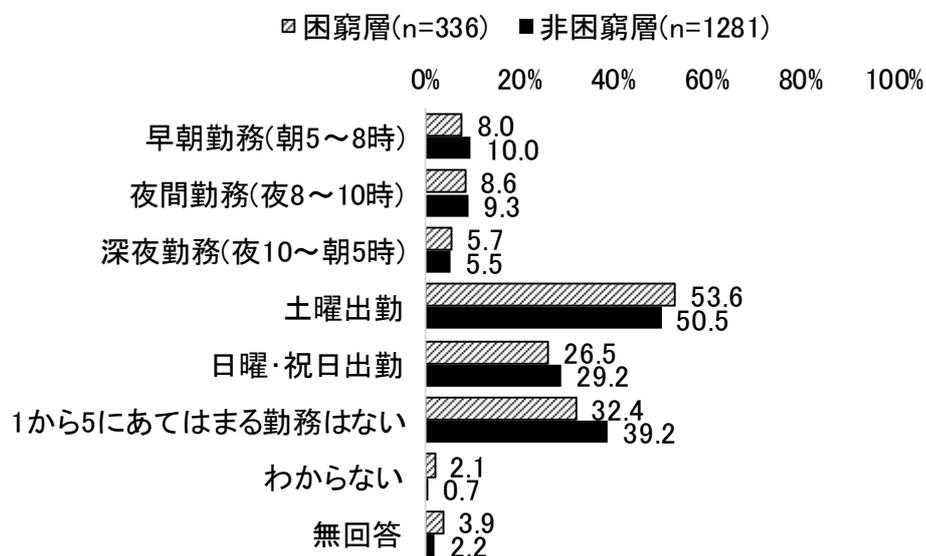


※小学 1 年生 : p<0.01, 小学 5 年生 : p<0.01, 中学 2 年生 : p<0.01

【保護者】 Q4-2③ 母親:平日の日中以外の勤務 (複数回答)

「小学1年生-困窮層」では、「土曜出勤」が53.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「1から5にあてはまる勤務はない」が32.4%となっている。「小学1年生-非困窮層」では、「土曜出勤」が50.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「1から5にあてはまる勤務はない」が39.2%となっている。「小学5年生-困窮層」では、「土曜出勤」が53.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「日曜・祝日出勤」が37.9%となっている。「小学5年生-非困窮層」では、「土曜出勤」が52.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「1から5にあてはまる勤務はない」が37.2%となっている。「中学2年生-困窮層」では、「土曜出勤」が56.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「日曜・祝日出勤」が41.8%となっている。「中学2年生-非困窮層」では、「土曜出勤」が52.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「日曜・祝日出勤」が35.4%となっている。

図 59 【保護者】 Q4-2③ 母親:平日の日中以外の勤務(小学1年生)

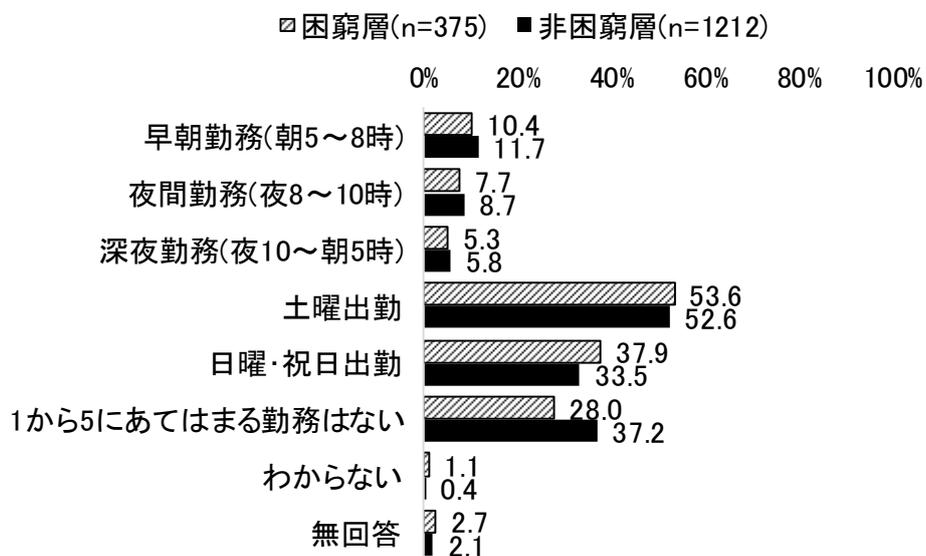


※1から5にあてはまる勤務はない：p<0.01

土曜出勤：p<0.05

上記以外の項目：有意差なし

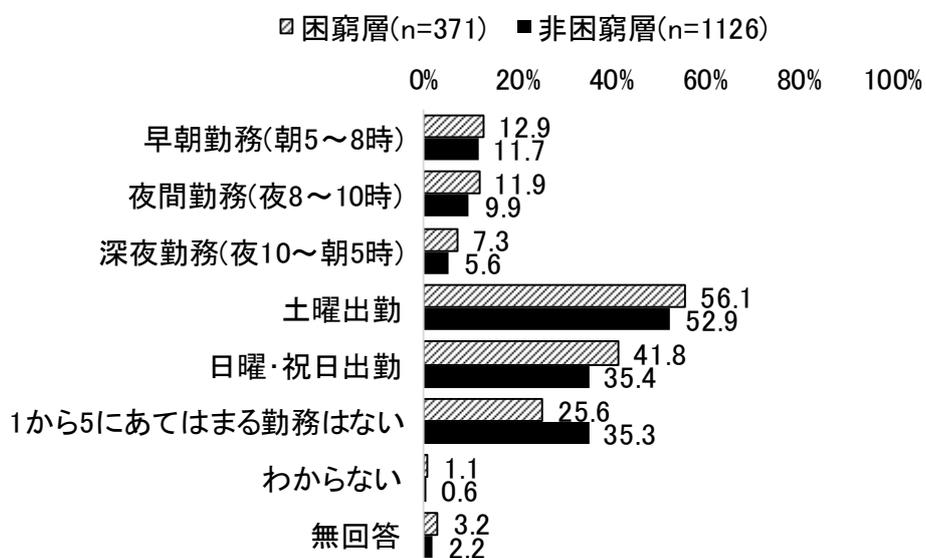
図 60 【保護者】 Q4-2③ 母親:平日の日中以外の勤務(小学5年生)



※1 から 5 にあてはまる勤務はない : $p < 0.01$

上記以外の項目 : 有意差なし

図 61 【保護者】 Q4-2③ 母親:平日の日中以外の勤務(中学2年生)



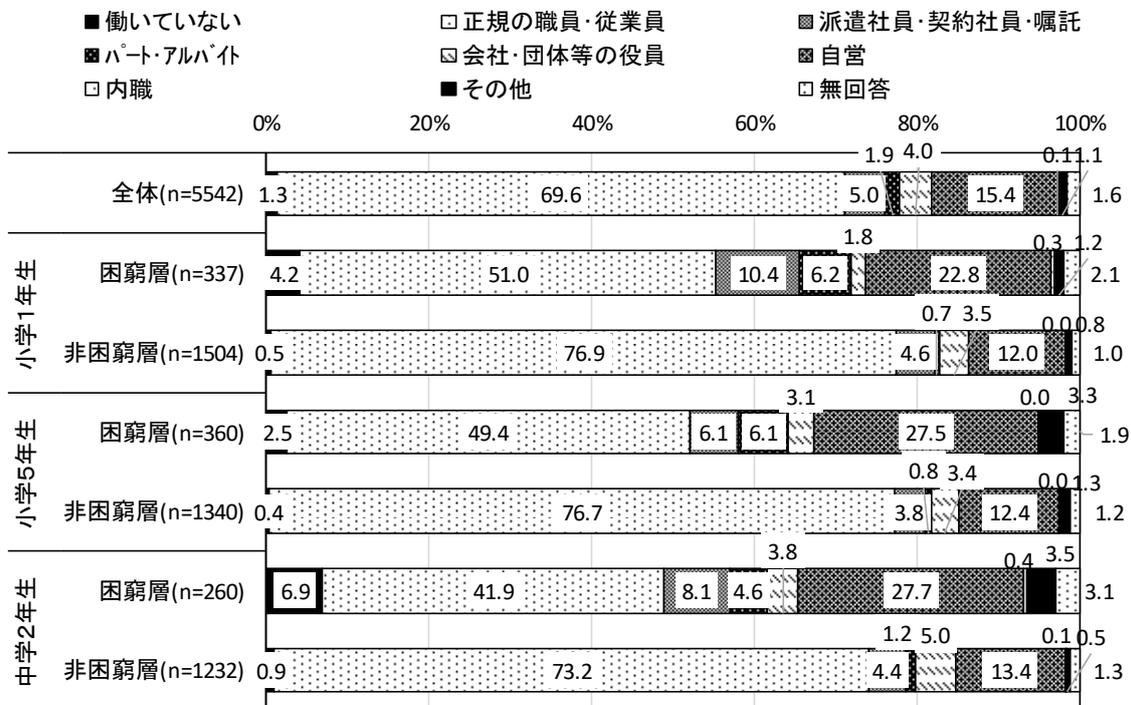
※1 から 5 にあてはまる勤務はない : $p < 0.01$

上記以外の項目 : 有意差なし

【保護者】 Q5 父親:現在の仕事の状況

「小学 1 年生-困窮層」では、「正規の職員・従業員」が 51.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「自営」が 22.8%となっている。「小学 1 年生-非困窮層」では、「正規の職員・従業員」が 76.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「自営」が 12.0%となっている。「小学 5 年生-困窮層」では、「正規の職員・従業員」が 49.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「自営」が 27.5%となっている。「小学 5 年生-非困窮層」では、「正規の職員・従業員」が 76.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「自営」が 12.4%となっている。「中学 2 年生-困窮層」では、「正規の職員・従業員」が 41.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「自営」が 27.7%となっている。「中学 2 年生-非困窮層」では、「正規の職員・従業員」が 73.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「自営」が 13.4%となっている。

図 62 【保護者】 Q5 父親:現在の仕事の状況

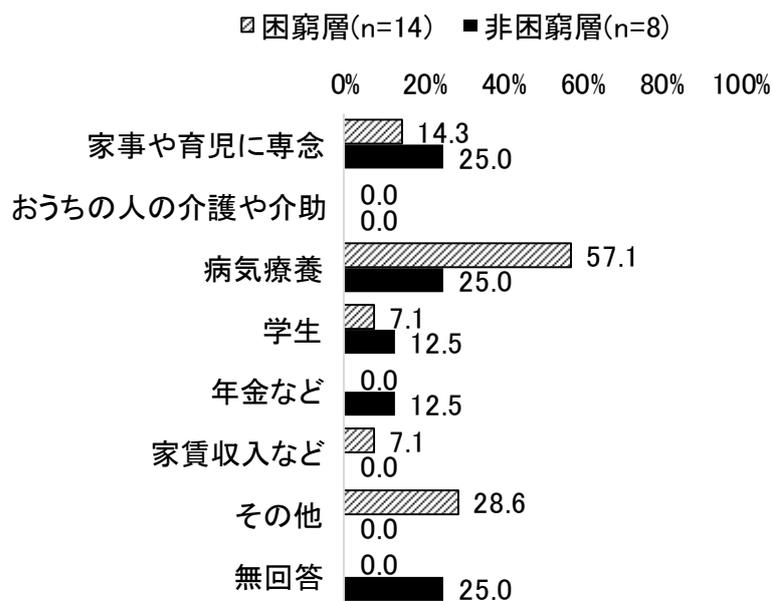


※小学 1 年生 : p<0.01, 小学 5 年生 : 検定不可, 中学 2 年生 : p<0.01

【保護者】 Q5-1 父親:働いていない理由 (複数回答)

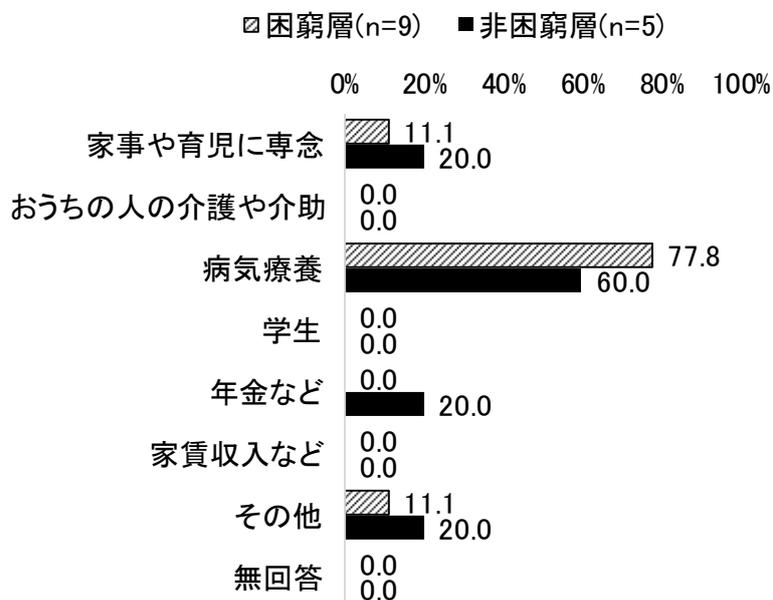
「小学1年生-困窮層」では、「病気療養」が57.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「その他」が28.6%となっている。「小学1年生-非困窮層」では、「家事や育児に専念」と「病気療養」がいずれも25.0%でもっとも回答割合が高くなっている。「小学5年生-困窮層」では、「病気療養」が77.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「家事育児に専念」と「その他」が11.1%となっている。「小学5年生-非困窮層」では、「病気療養」が60.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「家事育児に専念」「年金など」「その他」がそれぞれ20.0%となっている。「中学2年生-困窮層」では、「病気療養」が55.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「その他」が16.7%となっている。「中学2年生-非困窮層」では、「病気療養」が63.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「学生」「年金など」「家賃収入など」「その他」がそれぞれ9.1%となっている。n値が少ないので留意が必要である。

図 63 【保護者】 Q5-1 父親:働いていない理由(小学1年生)



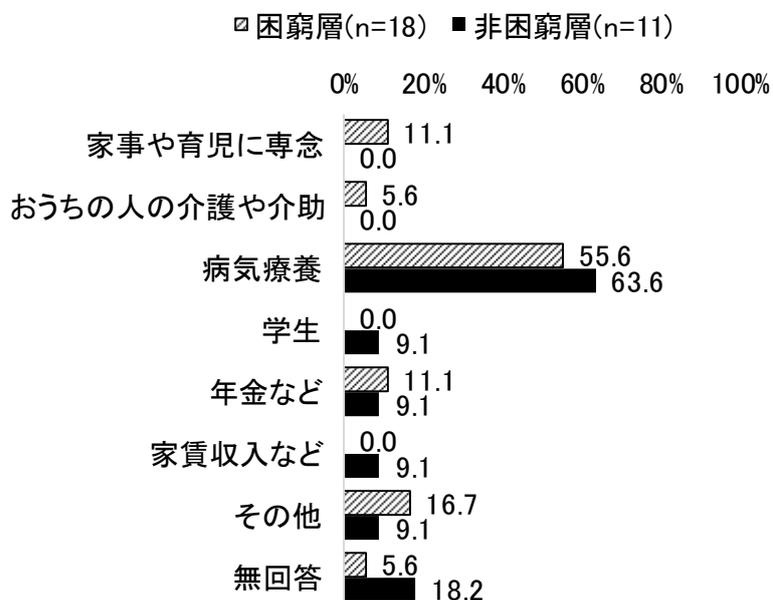
※いずれの項目も有意差なし

図 64 【保護者】Q5-1 父親:働いていない理由(小学5年生)



※いずれの項目も有意差なし

図 65 【保護者】Q5-1 父親:働いていない理由(中学2年生)

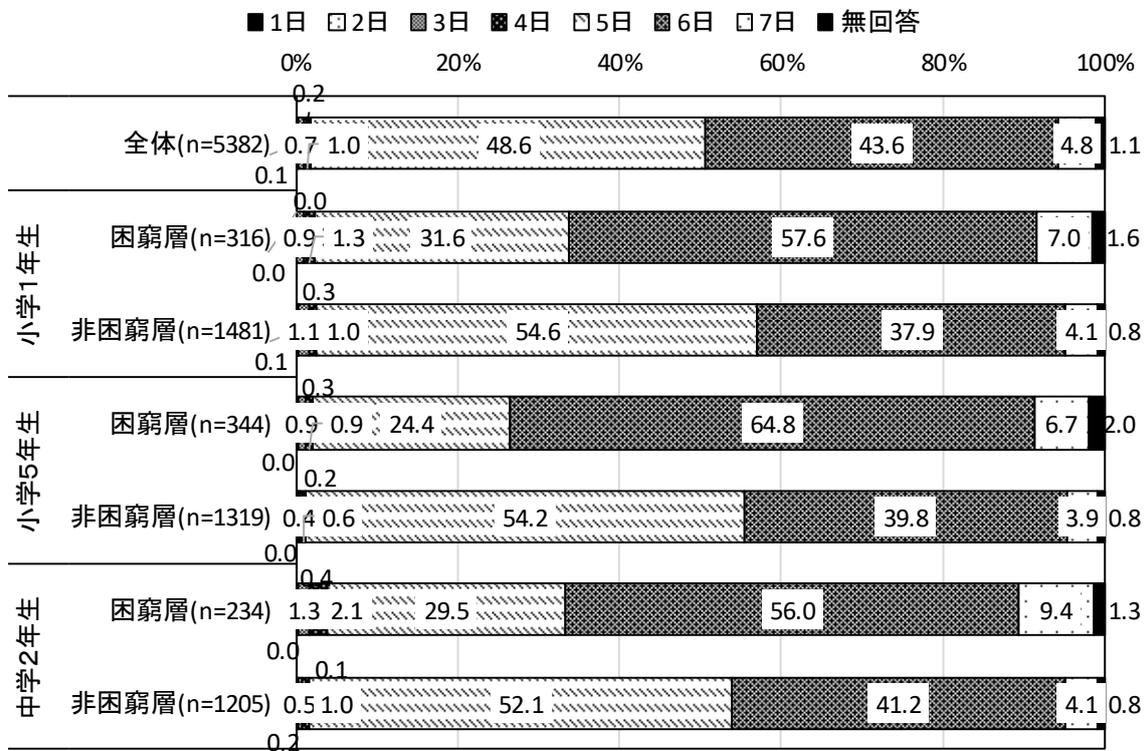


※いずれの項目も有意差なし

【保護者】 Q5-2① 父親:一週間の平均的な労働日数

「小学1年生-困窮層」では、「6日」が57.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「5日」が31.6%となっている。「小学1年生-非困窮層」では、「5日」が54.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「6日」が37.9%となっている。「小学5年生-困窮層」では、「6日」が64.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「5日」が24.4%となっている。「小学5年生-非困窮層」では、「5日」が54.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「6日」が39.8%となっている。「中学2年生-困窮層」では、「6日」が56.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「5日」が29.5%となっている。「中学2年生-非困窮層」では、「5日」が52.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「6日」が41.2%となっている。

図 66 【保護者】 Q5-2① 父親:一週間の平均的な労働日数

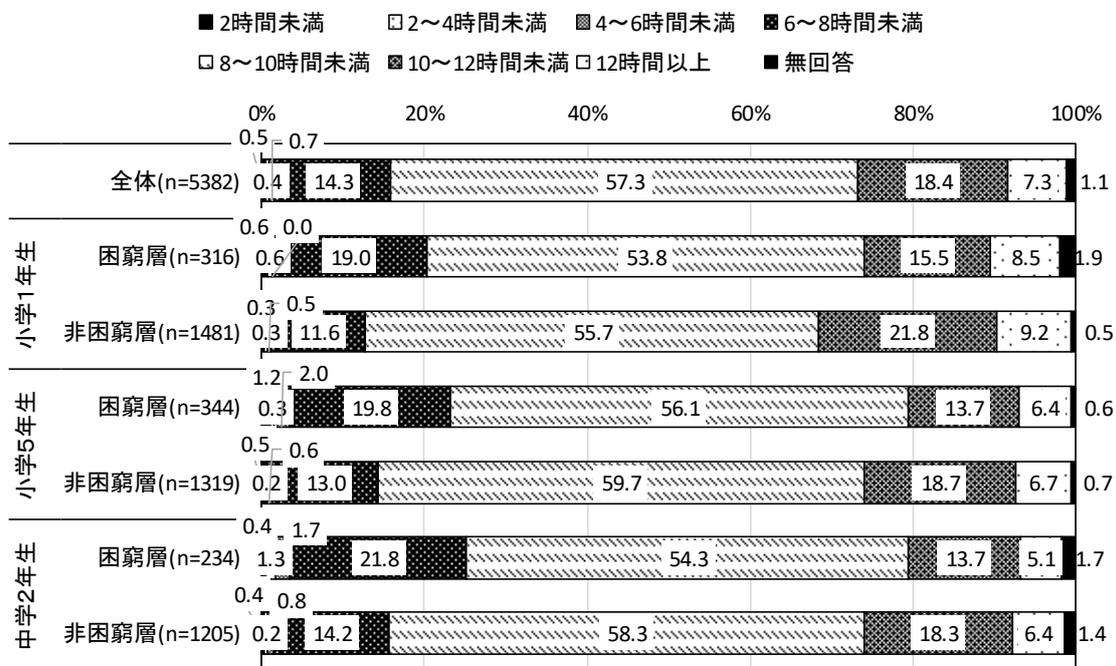


※小学1年生：p<0.01, 小学5年生：検定不可, 中学2年生：p<0.01

【保護者】 Q5-2② 父親:働いている日の平均的な労働時間

「小学 1 年生-困窮層」では、「8~10 時間未満」が 53.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「6~8 時間未満」が 19.0%となっている。「小学 1 年生-非困窮層」では、「8~10 時間未満」が 55.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「10~12 時間未満」が 21.8%となっている。「小学 5 年生-困窮層」では、「8~10 時間未満」が 56.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「6~8 時間未満」が 19.8%となっている。「小学 5 年生-非困窮層」では、「8~10 時間未満」が 59.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「10~12 時間未満」が 18.7%となっている。「中学 2 年生-困窮層」では、「8~10 時間未満」が 54.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「6~8 時間未満」が 21.8%となっている。「中学 2 年生-非困窮層」では、「8~10 時間未満」が 58.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「10~12 時間未満」が 18.3%となっている。

図 67 【保護者】 Q5-2② 父親:働いている日の平均的な労働時間

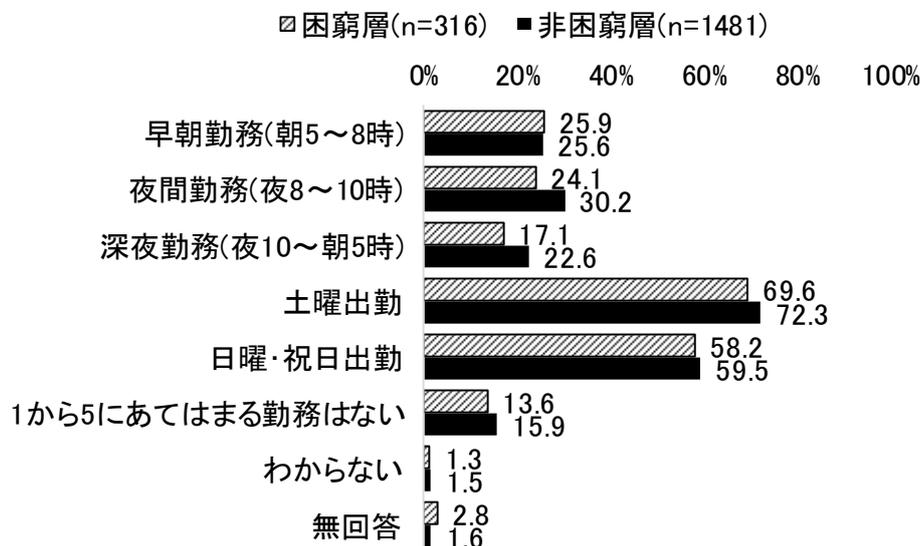


※小学 1 年生 : $p < 0.01$, 小学 5 年生 : $p < 0.01$, 中学 2 年生 : $p < 0.01$

【保護者】 Q5-2③ 父親:平日の日中以外の勤務 (複数回答)

「小学1年生-困窮層」では、「土曜出勤」が69.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「日曜・祝日出勤」が58.2%となっている。「小学1年生-非困窮層」では、「土曜出勤」が72.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「日曜・祝日出勤」が59.5%となっている。「小学5年生-困窮層」では、「土曜出勤」が67.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「日曜・祝日出勤」が54.4%となっている。「小学5年生-非困窮層」では、「土曜出勤」が67.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「日曜・祝日出勤」が55.9%となっている。「中学2年生-困窮層」では、「土曜出勤」が65.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「日曜・祝日出勤」が50.4%となっている。「中学2年生-非困窮層」では、「土曜出勤」が66.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「日曜・祝日出勤」が53.4%となっている。

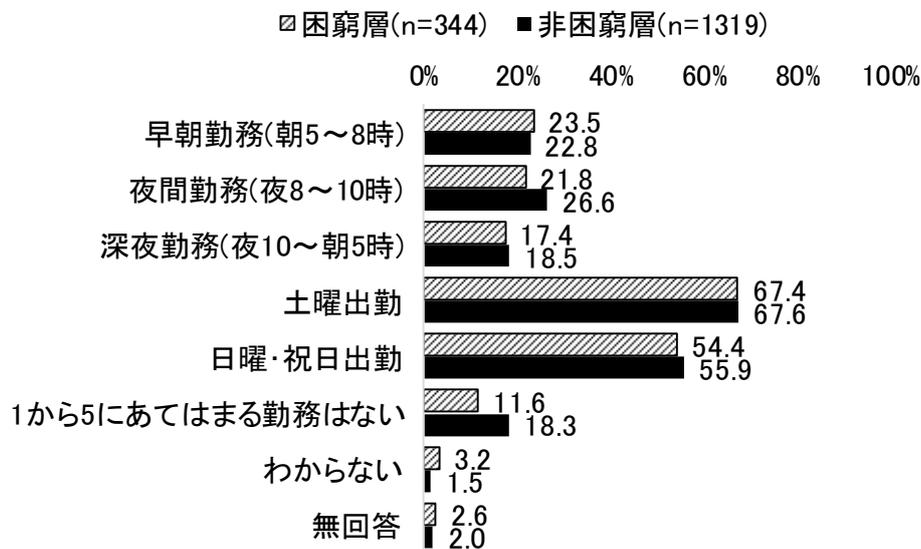
図 68 【保護者】 Q5-2③ 父親:平日の日中以外の勤務(小学1年生)



※夜間勤務 (夜 8～10 時)、深夜勤務(夜 10～朝 5 時) : p<0.05

上記以外の項目 : 有意差なし

図 69 【保護者】 Q5-2③ 父親:平日の日中以外の勤務(小学5年生)

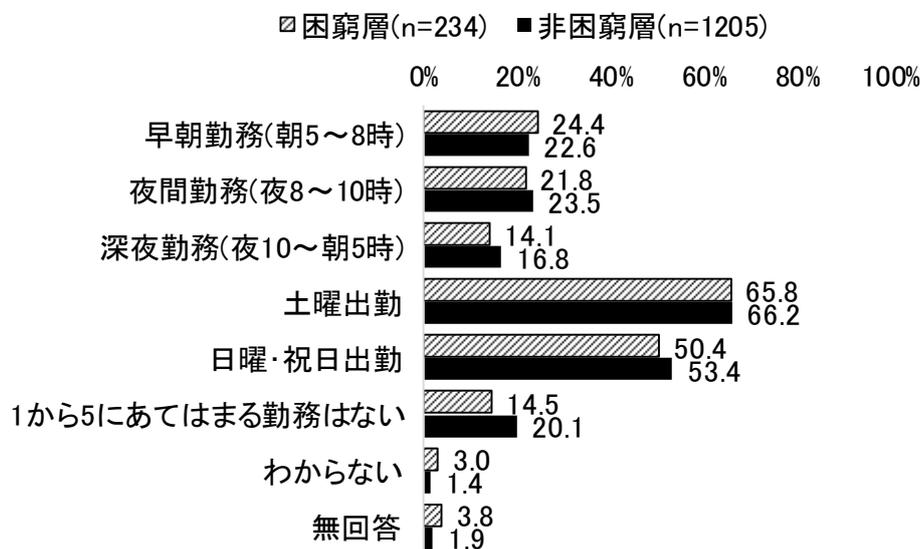


※1から5にあてはまる勤務はない：p<0.01

わからない：p<0.05

上記以外の項目：有意差なし

図 70 【保護者】 Q5-2③ 父親:平日の日中以外の勤務(中学2年生)

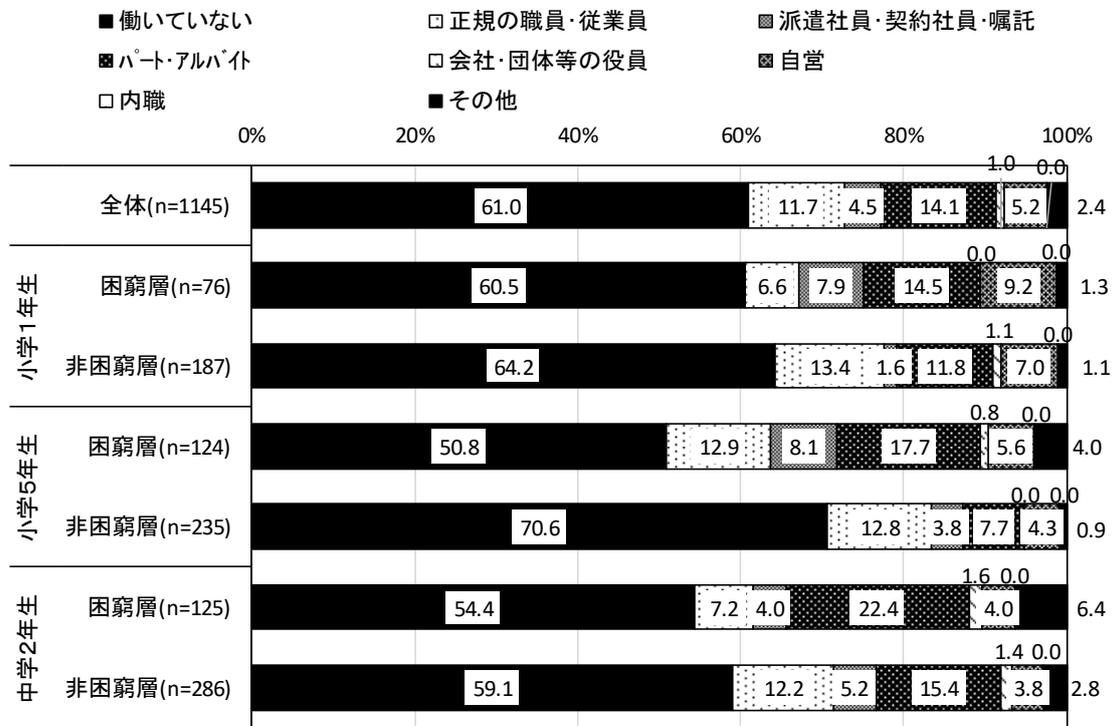


※いずれの項目も有意差なし

【保護者】 Q6 その他:現在の仕事の状況

「小学 1 年生-困窮層」では、「働いていない」が 60.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「パート・アルバイト」が 14.5%となっている。「小学 1 年生-非困窮層」では、「働いていない」が 64.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「正規の職員・従業員」が 13.4%となっている。「小学 5 年生-困窮層」では、「働いていない」が 50.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「パート・アルバイト」が 17.7%となっている。「小学 5 年生-非困窮層」では、「働いていない」が 70.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「正規の職員・従業員」が 12.8%となっている。「中学 2 年生-困窮層」では、「働いていない」が 54.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「パート・アルバイト」が 22.4%となっている。「中学 2 年生-非困窮層」では、「働いていない」が 59.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「パート・アルバイト」が 15.4%となっている。

図 71 【保護者】 Q6 その他:現在の仕事の状況

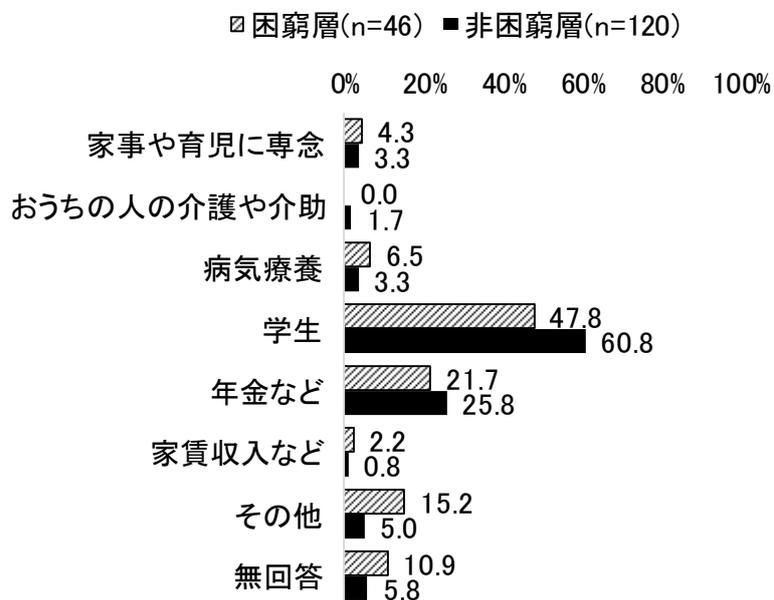


※小学 1 年生：検定不可，小学 5 年生：検定不可，中学 2 年生：検定不可
無回答は除外している

【保護者】 Q6-1 その他:働いていない理由 (複数回答)

「小学1年生-困窮層」では、「学生」が47.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「年金など」が21.7%となっている。「小学1年生-非困窮層」では、「学生」が60.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「年金など」が25.8%となっている。「小学5年生-困窮層」では、「学生」が50.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「年金など」が23.8%となっている。「小学5年生-非困窮層」では、「学生」が63.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「年金など」が21.1%となっている。「中学2年生-困窮層」では、「学生」が55.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「年金など」が16.2%となっている。「中学2年生-非困窮層」では、「学生」が72.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「年金など」が18.3%となっている。

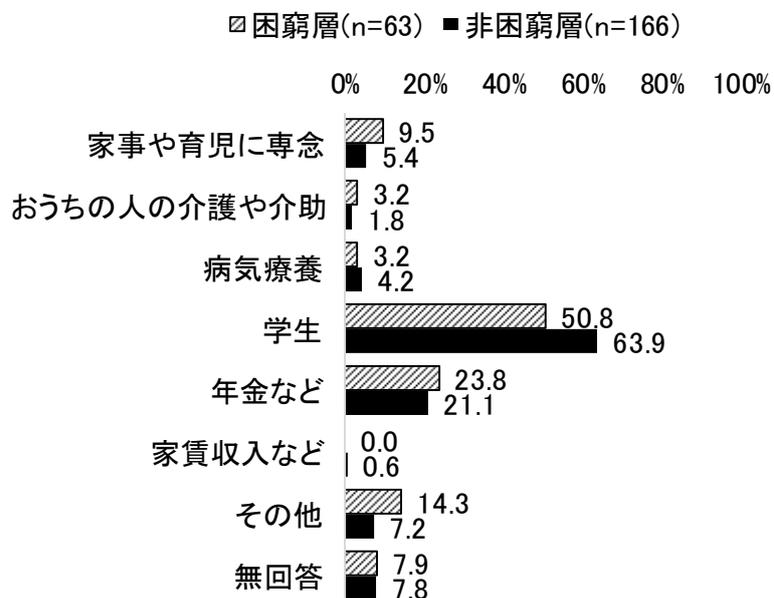
図 72 【保護者】 Q6-1 その他:働いていない理由(小学1年生)



※その他：p<0.05

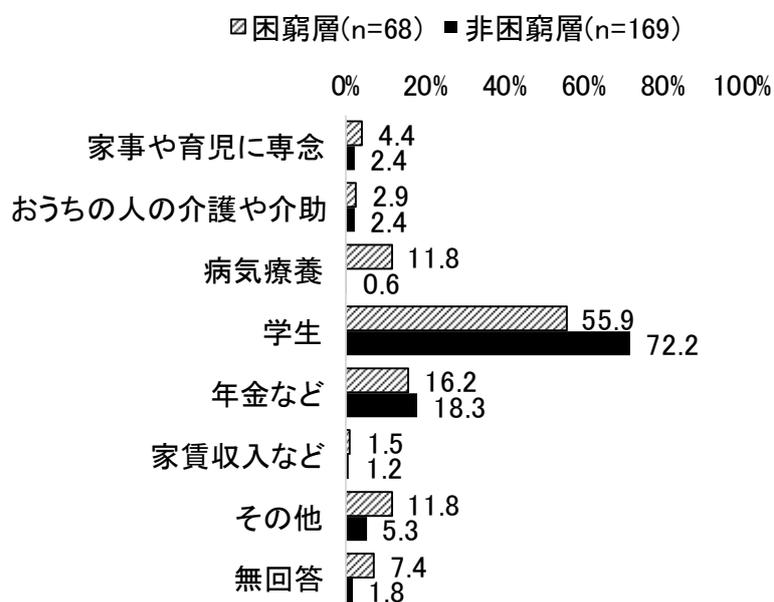
上記以外の項目：有意差なし

図 73 【保護者】 Q6-1 その他:働いていない理由(小学5年生)



※いずれの項目も有意差なし

図 74 【保護者】 Q6-1 その他:働いていない理由(中学2年生)



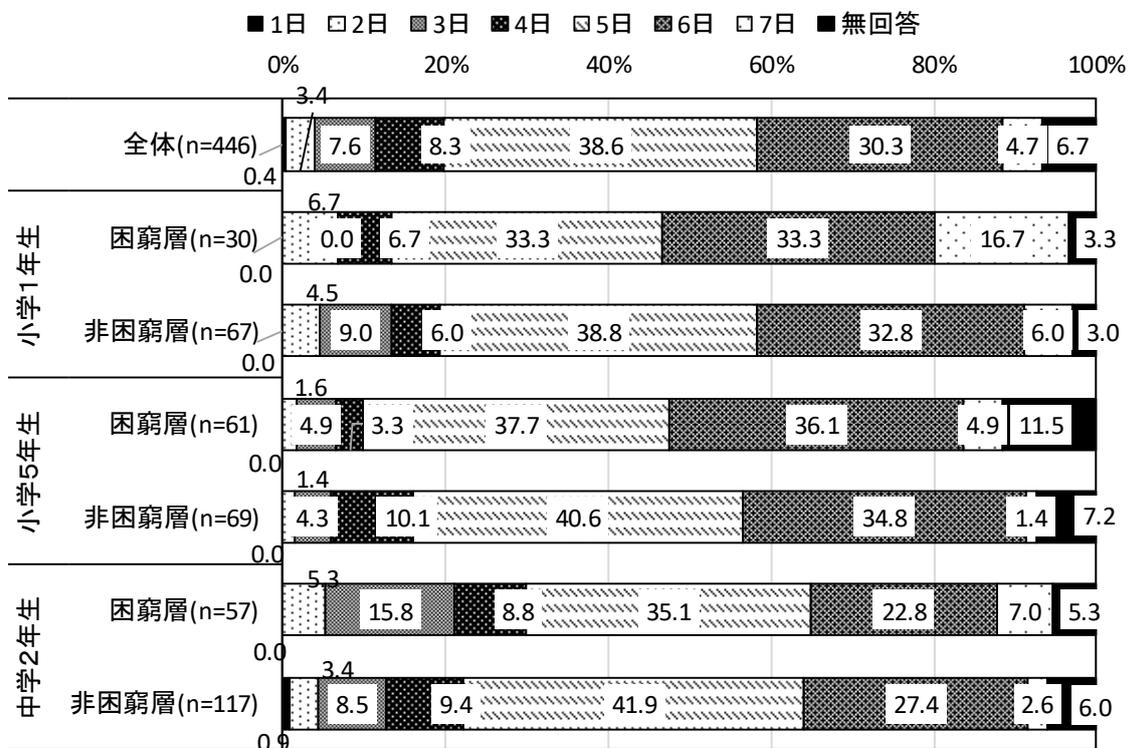
※病気療養：p<0.01

上記以外の項目：有意差なし

【保護者】 Q6-2① その他:一週間の平均的な労働日数

「小学1年生-困窮層」では、「5日」と「6日」がそれぞれ33.3%でもっとも回答割合が高くなっている。「小学1年生-非困窮層」では、「5日」が38.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「6日」が32.8%となっている。「小学5年生-困窮層」では、「5日」が37.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「6日」が36.1%となっている。「小学5年生-非困窮層」では、「5日」が40.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「6日」が34.8%となっている。「中学2年生-困窮層」では、「5日」が35.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「6日」が22.8%となっている。「中学2年生-非困窮層」では、「5日」が41.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「6日」が27.4%となっている。n値が少ないので留意が必要である。

図 75 【保護者】 Q6-2① その他:一週間の平均的な労働日数

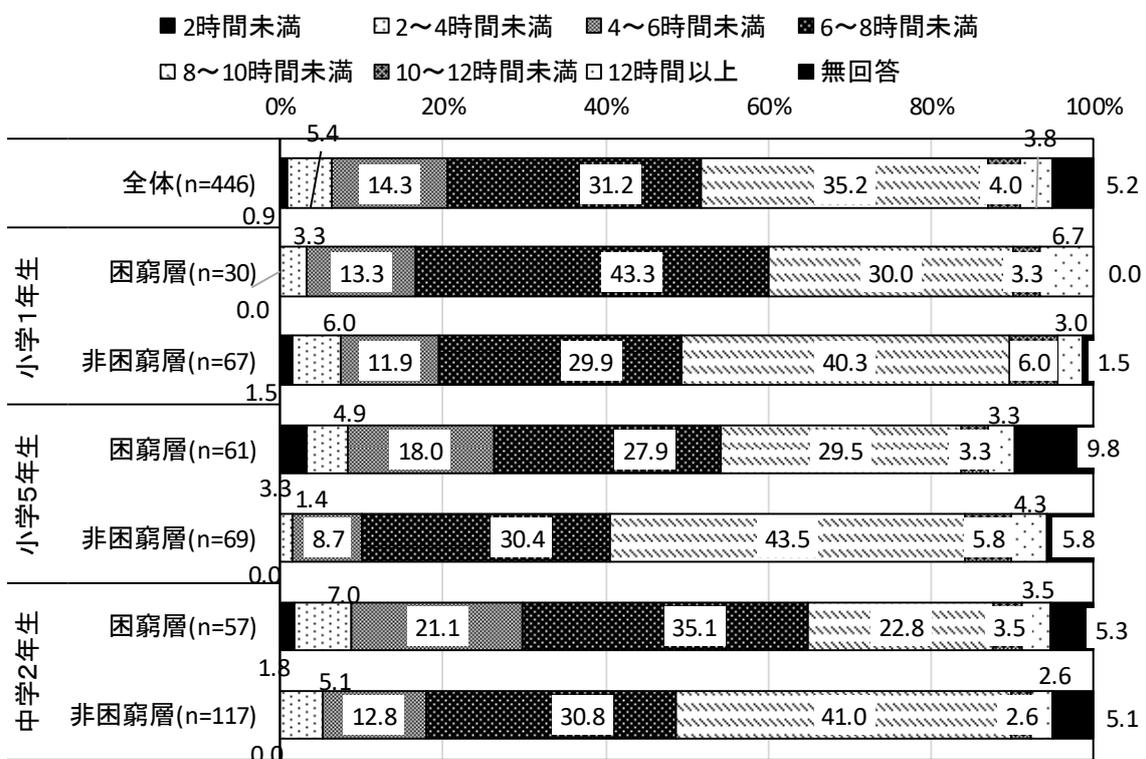


※小学1年生：検定不可，小学5年生：検定不可，中学2年生：有意差なし

【保護者】 Q6-2② その他:働いている日の平均的な労働時間

「小学 1 年生-困窮層」では、「6~8 時間未満」が 43.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「8~10 時間未満」が 30.0%となっている。「小学 1 年生-非困窮層」では、「8~10 時間未満」が 40.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「6~8 時間未満」が 29.9%となっている。「小学 5 年生-困窮層」では、「8~10 時間未満」が 29.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「6~8 時間未満」が 27.9%となっている。「小学 5 年生-非困窮層」では、「8~10 時間未満」が 43.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「6~8 時間未満」が 30.4%となっている。「中学 2 年生-困窮層」では、「6~8 時間未満」が 35.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「8~10 時間未満」が 22.8%となっている。「中学 2 年生-非困窮層」では、「8~10 時間未満」が 41.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「6~8 時間未満」が 30.8%となっている。n 値が少ないので留意が必要である。

図 76 【保護者】 Q6-2② その他:働いている日の平均的な労働時間

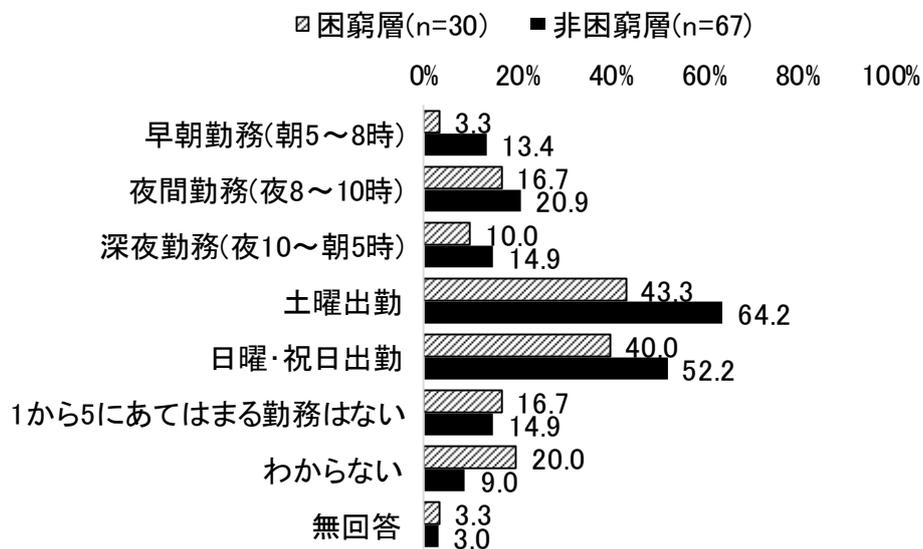


※小学 1 年生：有意差なし，小学 5 年生：有意差なし，中学 2 年生：有意差なし

【保護者】 Q6-2③ その他:平日の日中以外の勤務 (複数回答)

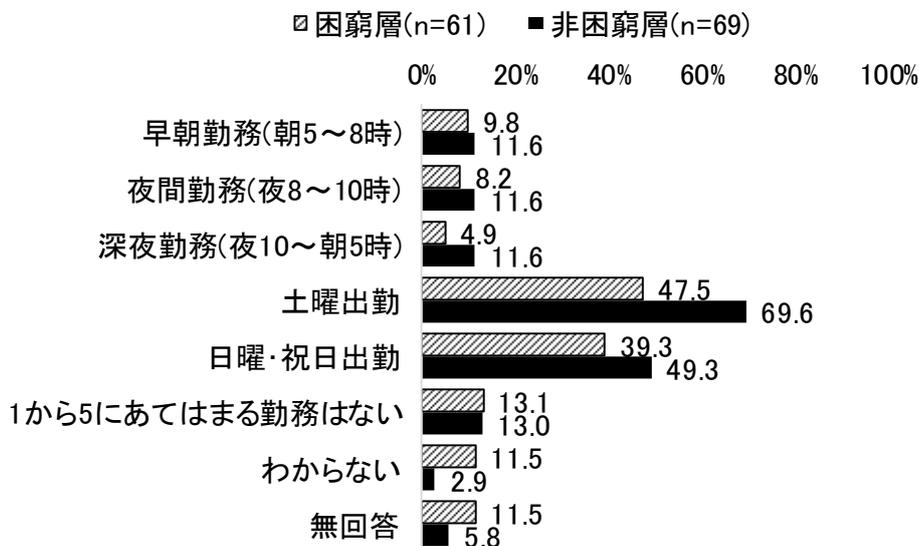
「小学1年生-困窮層」では、「土曜出勤」が43.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「日曜・祝日出勤」が40.0%となっている。「小学1年生-非困窮層」では、「土曜出勤」が64.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「日曜・祝日出勤」が52.2%となっている。「小学5年生-困窮層」では、「土曜出勤」が47.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「日曜・祝日出勤」が39.3%となっている。「小学5年生-非困窮層」では、「土曜出勤」が69.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「日曜・祝日出勤」が49.3%となっている。「中学2年生-困窮層」では、「土曜出勤」が42.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「1から5にあてはまる勤務はない」が31.6%となっている。「中学2年生-非困窮層」では、「土曜出勤」が66.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「日曜・祝日出勤」が47.9%となっている。n値が少ないので留意が必要である。

図 77 【保護者】 Q6-2③ その他:平日の日中以外の勤務(小学1年生)



※いずれの項目も有意差なし

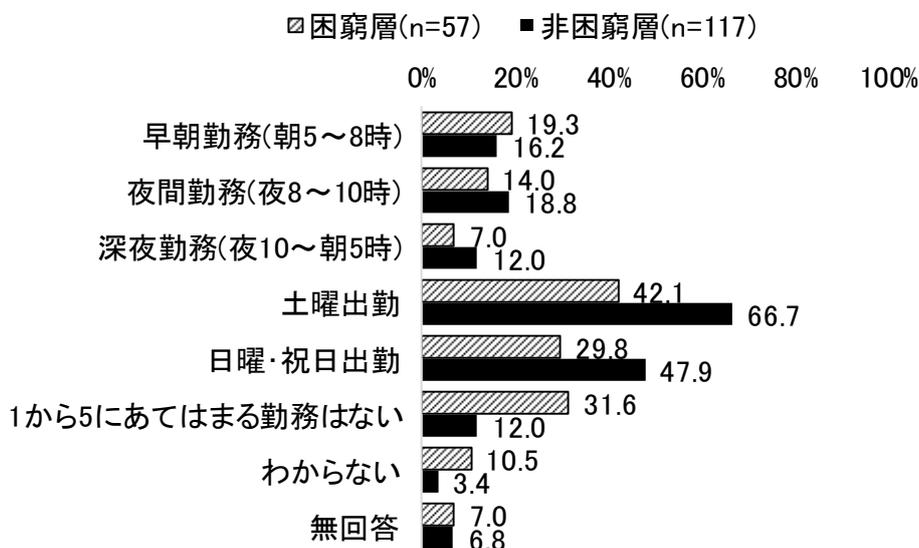
図 78 【保護者】 Q6-2③ その他:平日の日中以外の勤務(小学 5 年生)



※土曜出勤、わからない：p<0.05

上記以外の項目：有意差なし

図 79 【保護者】 Q6-2③ その他:平日の日中以外の勤務(中学 2 年生)



※土曜出勤、1から5にあてはまる勤務はない：p<0.01

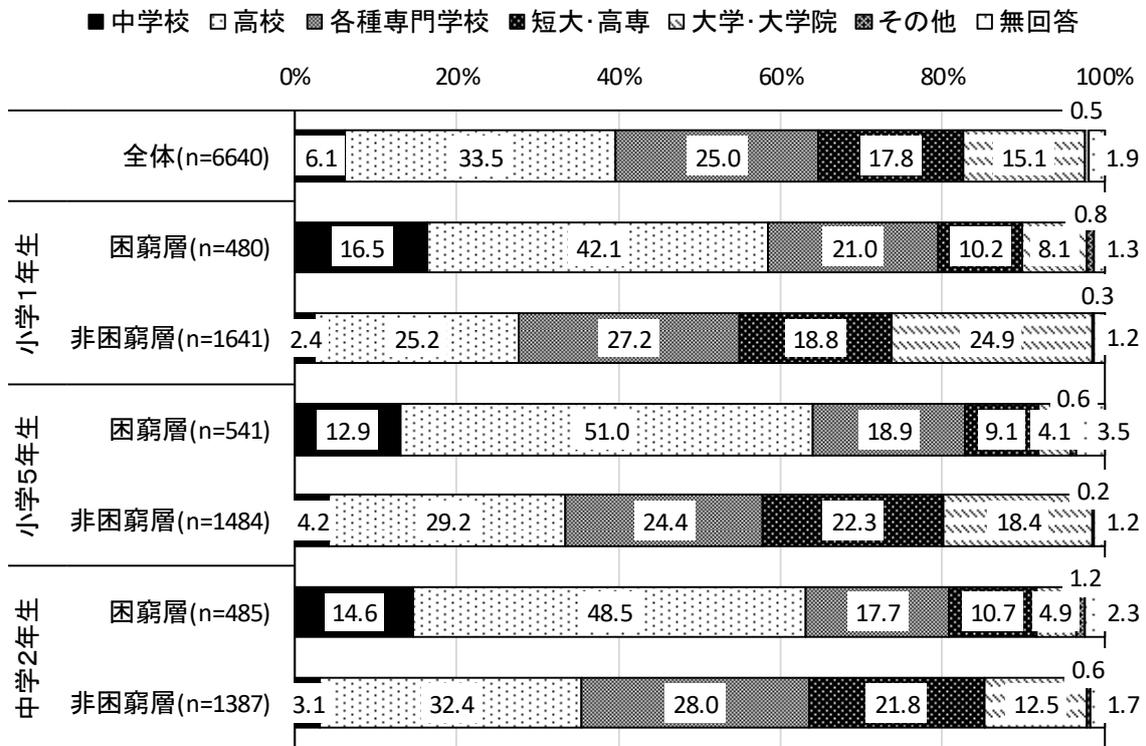
日曜・祝日出勤：p<0.01

上記以外の項目：有意差なし

【保護者】 Q20 子どもの母親の最終学歴

「小学1年生-困窮層」では、「高校」が42.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「各種専門学校」が21.0%となっている。「小学1年生-非困窮層」では、「各種専門学校」が27.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「高校」が25.2%となっている。「小学5年生-困窮層」では、「高校」が51.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「各種専門学校」が18.9%となっている。「小学5年生-非困窮層」では、「高校」が29.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「各種専門学校」が24.4%となっている。「中学2年生-困窮層」では、「高校」が48.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「各種専門学校」が17.7%となっている。「中学2年生-非困窮層」では、「高校」が32.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「各種専門学校」が28.0%となっている。

図 80 【保護者】 Q20 子どもの母親の最終学歴

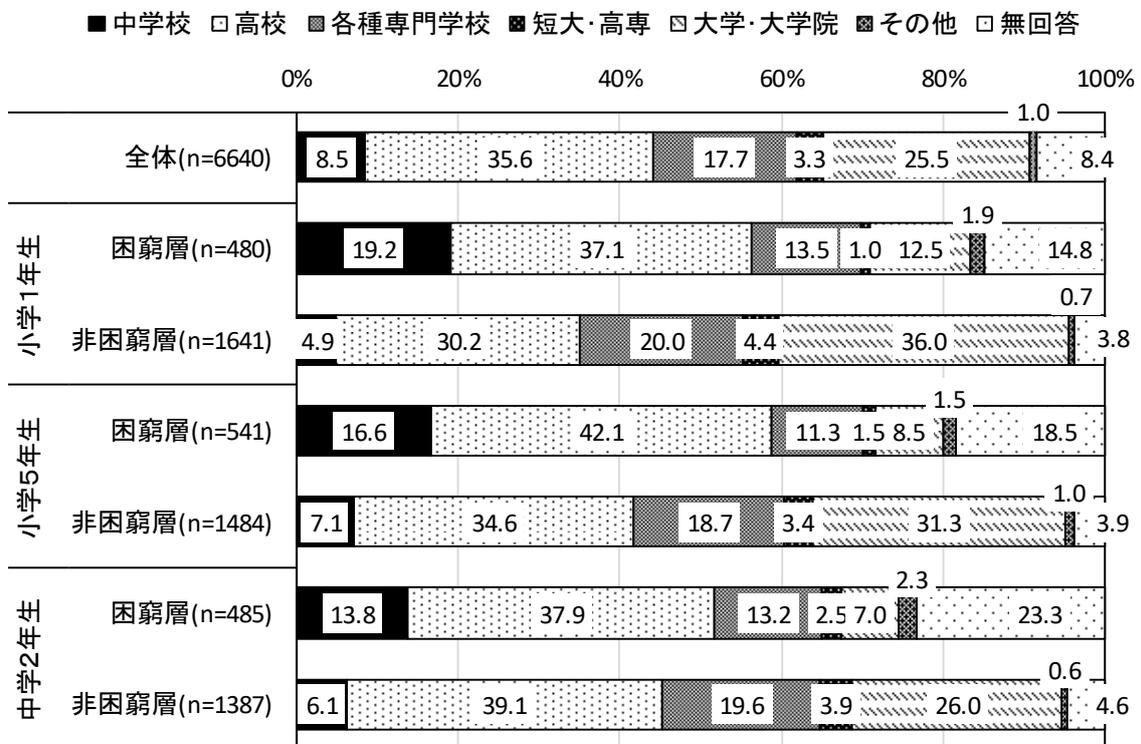


※小学1年生：p<0.01, 小学5年生：p<0.01, 中学2年生：p<0.01

【保護者】 Q21 子どもの父親の最終学歴

「小学1年生-困窮層」では、「高校」が37.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「中学校」が19.2%となっている。「小学1年生-非困窮層」では、「大学・大学院」が36.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「高校」が30.2%となっている。「小学5年生-困窮層」では、「高校」が42.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「中学校」が16.6%となっている。「小学5年生-非困窮層」では、「高校」が34.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「大学・大学院」が31.3%となっている。「中学2年生-困窮層」では、「高校」が37.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「中学校」が13.8%となっている。「中学2年生-非困窮層」では、「高校」が39.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「大学・大学院」が26.0%となっている。

図 81 【保護者】 Q21 子どもの父親の最終学歴



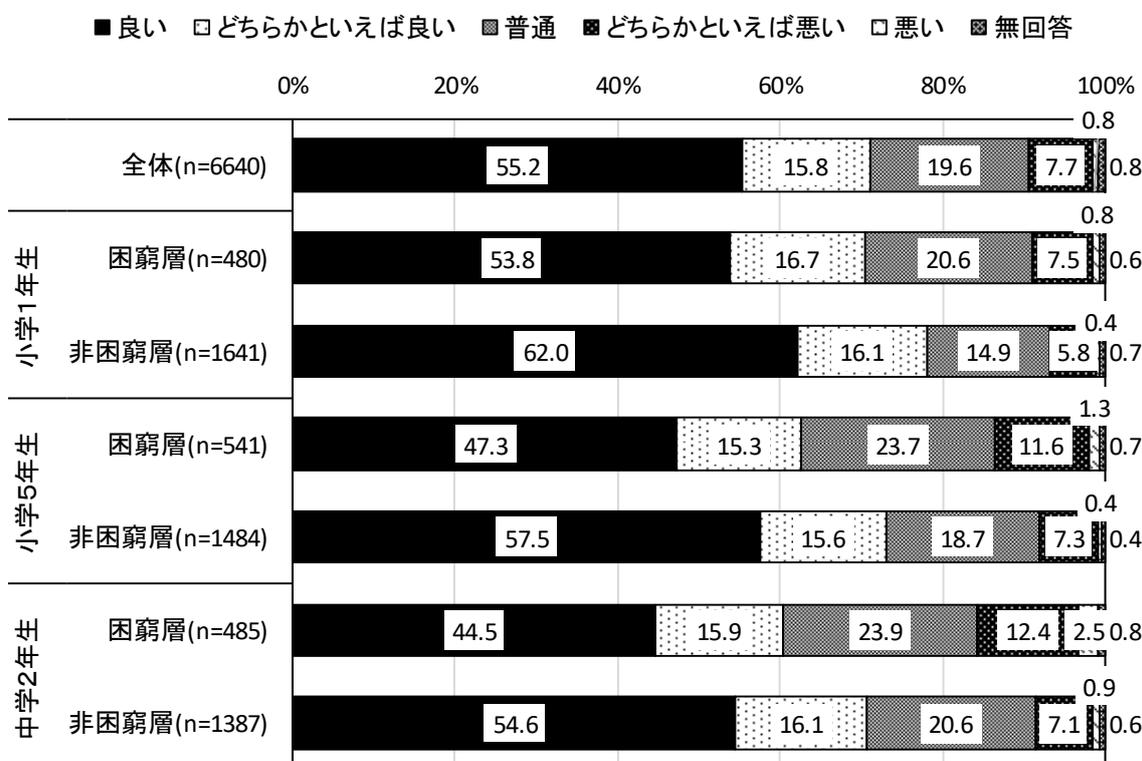
※小学1年生：p<0.01, 小学5年生：p<0.01, 中学2年生：p<0.01

5.健康

【保護者】 Q17(1) 回答者の健康状態

「小学 1 年生-困窮層」では、「良い」が 53.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「普通」が 20.6%となっている。「小学 1 年生-非困窮層」では、「良い」が 62.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかといえば良い」が 16.1%となっている。「小学 5 年生-困窮層」では、「良い」が 47.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「普通」が 23.7%となっている。「小学 5 年生-非困窮層」では、「良い」が 57.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「普通」が 18.7%となっている。「中学 2 年生-困窮層」では、「良い」が 44.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「普通」が 23.9%となっている。「中学 2 年生-非困窮層」では、「良い」が 54.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「普通」が 20.6%となっている。

図 82 【保護者】 Q17(1) 回答者の健康状態

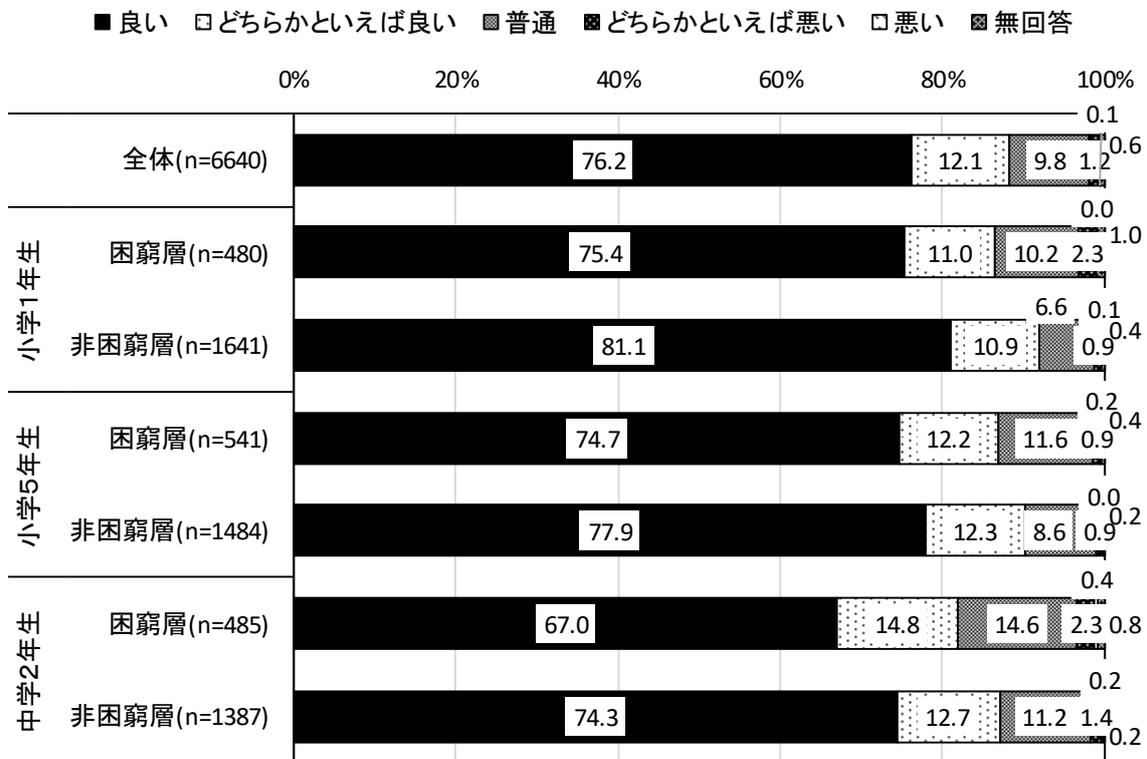


※小学 1 年生 : p<0.01, 小学 5 年生 : p<0.01, 中学 2 年生 : p<0.01

【保護者】 Q17(2) 調査対象になっている子どもの健康状態

「小学 1 年生-困窮層」では、「良い」が 75.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかといえば良い」が 11.0%となっている。「小学 1 年生-非困窮層」では、「良い」が 81.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかといえば良い」が 10.9%となっている。「小学 5 年生-困窮層」では、「良い」が 74.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかといえば良い」が 12.2%となっている。「小学 5 年生-非困窮層」では、「良い」が 77.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかといえば良い」が 12.3%となっている。「中学 2 年生-困窮層」では、「良い」が 67.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかといえば良い」が 14.8%となっている。「中学 2 年生-非困窮層」では、「良い」が 74.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかといえば良い」が 12.7%となっている。

図 83 【保護者】 Q17(2) 調査対象になっている子どもの健康状態

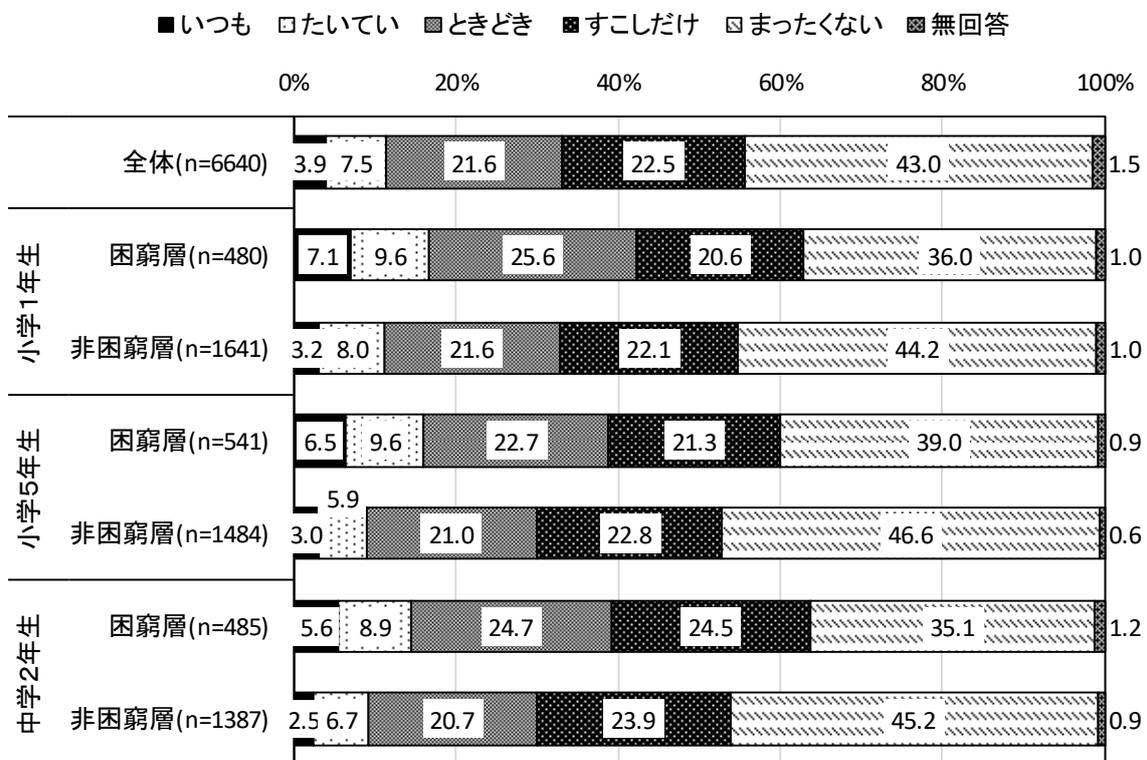


※小学 1 年生 : p<0.01, 小学 5 年生 : 有意差なし, 中学 2 年生 : p<0.05

【保護者】 Q18① 心の状態:神経過敏に感じた

「小学 1 年生-困窮層」では、「まったくない」が 36.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「ときどき」が 25.6%となっている。「小学 1 年生-非困窮層」では、「まったくない」が 44.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「すこしだけ」が 22.1%となっている。「小学 5 年生-困窮層」では、「まったくない」が 39.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「ときどき」が 22.7%となっている。「小学 5 年生-非困窮層」では、「まったくない」が 46.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「すこしだけ」が 22.8%となっている。「中学 2 年生-困窮層」では、「まったくない」が 35.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「ときどき」が 24.7%となっている。「中学 2 年生-非困窮層」では、「まったくない」が 45.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「すこしだけ」が 23.9%となっている。

図 84 【保護者】 Q18① 心の状態:神経過敏に感じた

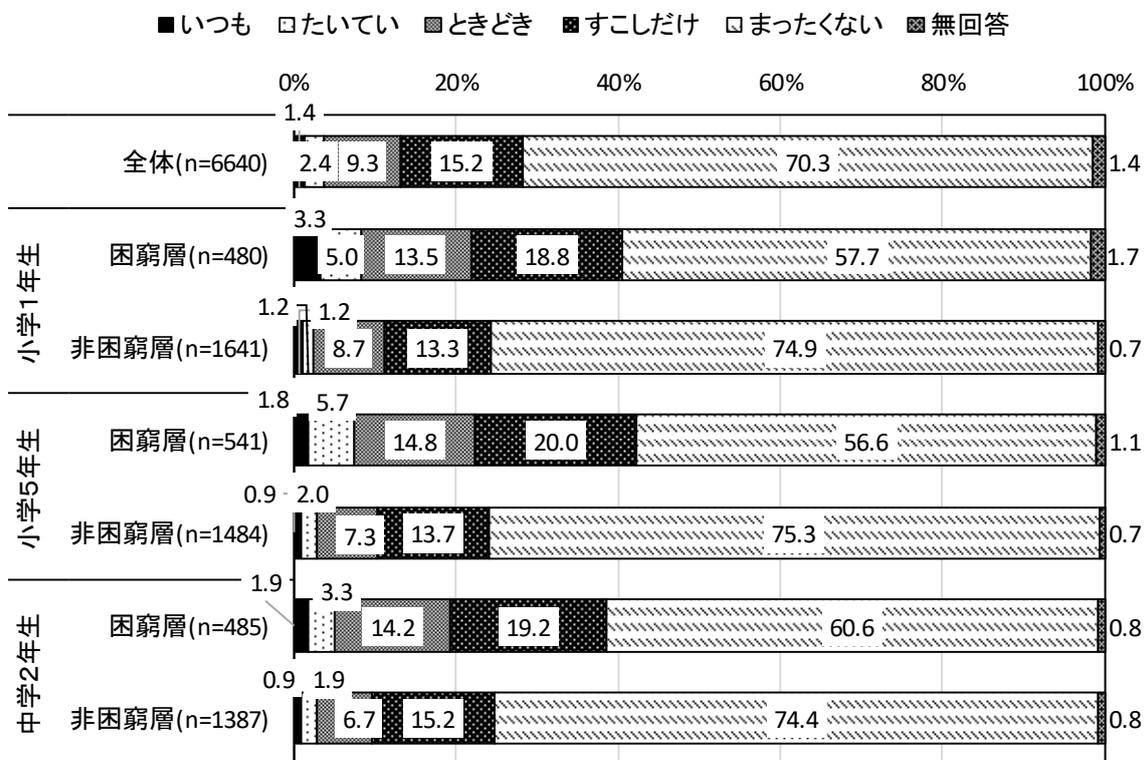


※小学 1 年生 : p<0.01, 小学 5 年生 : p<0.01, 中学 2 年生 : p<0.01

【保護者】 Q18② 心の状態:絶望的だと感じた

「小学 1 年生-困窮層」では、「まったくない」が 57.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「すこしだけ」が 18.8%となっている。「小学 1 年生-非困窮層」では、「まったくない」が 74.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「すこしだけ」が 13.3%となっている。「小学 5 年生-困窮層」では、「まったくない」が 56.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「すこしだけ」が 20%となっている。「小学 5 年生-非困窮層」では、「まったくない」が 75.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「すこしだけ」が 13.7%となっている。「中学 2 年生-困窮層」では、「まったくない」が 60.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「すこしだけ」が 19.2%となっている。「中学 2 年生-非困窮層」では、「まったくない」が 74.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「すこしだけ」が 15.2%となっている。

図 85 【保護者】 Q18② 心の状態:絶望的だと感じた

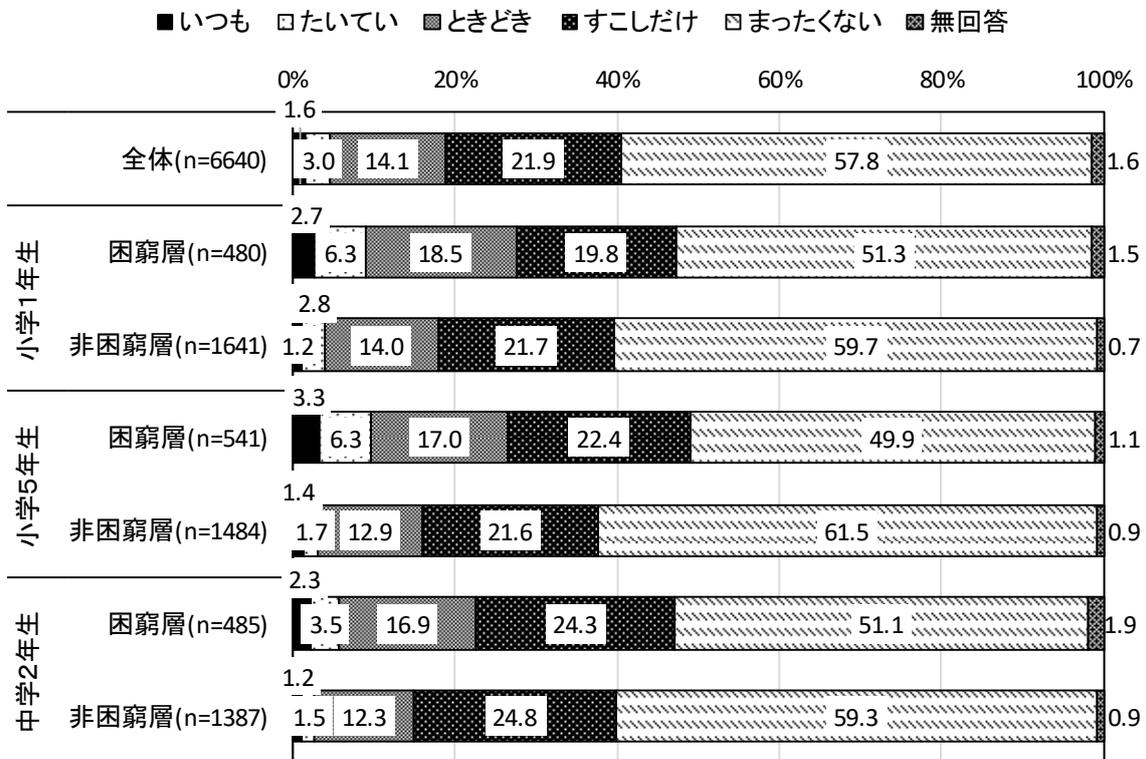


※小学 1 年生 : p<0.01, 小学 5 年生 : p<0.01, 中学 2 年生 : p<0.01

【保護者】 Q18③ 心の状態:そわそわ落ち着かなく感じた

「小学 1 年生-困窮層」では、「まったくない」が 51.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「すこしだけ」が 19.8%となっている。「小学 1 年生-非困窮層」では、「まったくない」が 59.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「すこしだけ」が 21.7%となっている。「小学 5 年生-困窮層」では、「まったくない」が 49.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「すこしだけ」が 22.4%となっている。「小学 5 年生-非困窮層」では、「まったくない」が 61.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「すこしだけ」が 21.6%となっている。「中学 2 年生-困窮層」では、「まったくない」が 51.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「すこしだけ」が 24.3%となっている。「中学 2 年生-非困窮層」では、「まったくない」が 59.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「すこしだけ」が 24.8%となっている。

図 86 【保護者】 Q18③ 心の状態:そわそわ落ち着かなく感じた

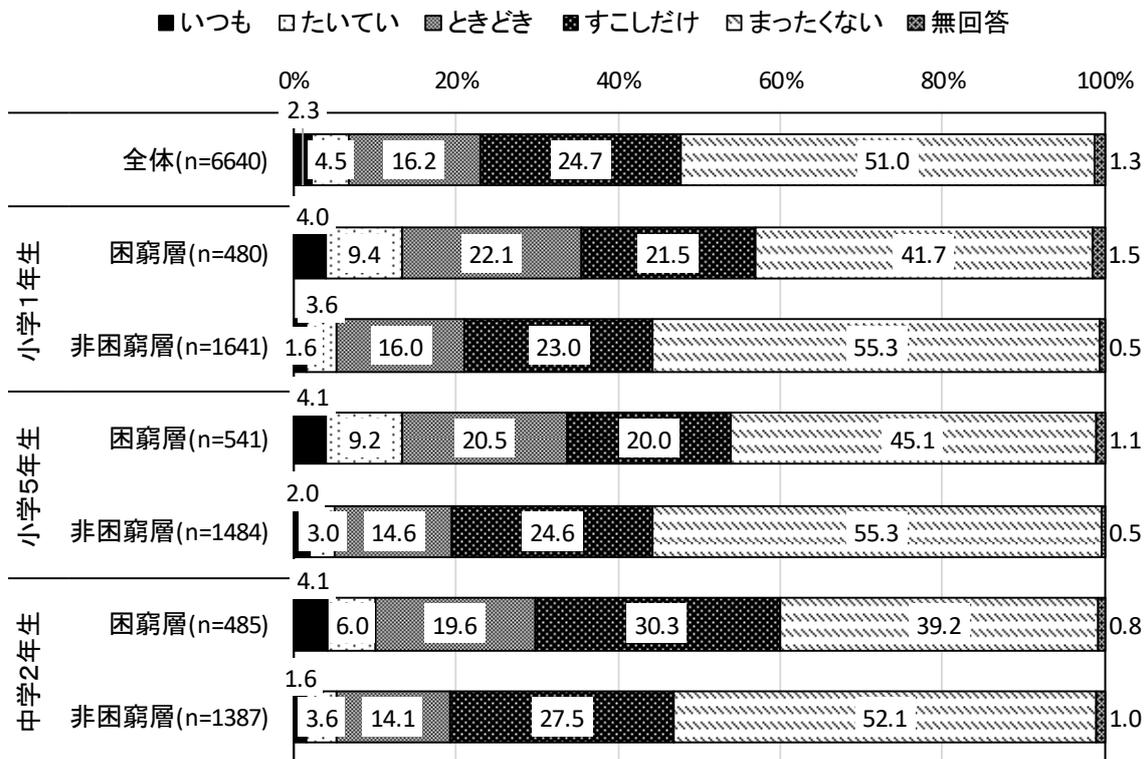


※小学 1 年生 : p<0.01, 小学 5 年生 : p<0.01, 中学 2 年生 : p<0.01

【保護者】 Q18④ 心の状態:気分が沈み込んで何が起ころても気が晴れないように感じた

「小学 1 年生-困窮層」では、「まったくない」が 41.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「ときどき」が 22.1%となっている。「小学 1 年生-非困窮層」では、「まったくない」が 55.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「すこしだけ」が 23.0%となっている。「小学 5 年生-困窮層」では、「まったくない」が 45.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「ときどき」が 20.5%となっている。「小学 5 年生-非困窮層」では、「まったくない」が 55.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「すこしだけ」が 24.6%となっている。「中学 2 年生-困窮層」では、「まったくない」が 39.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「すこしだけ」が 30.3%となっている。「中学 2 年生-非困窮層」では、「まったくない」が 52.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「すこしだけ」が 27.5%となっている。

図 87 【保護者】 Q18④ 心の状態:気分が沈み込んで何が起ころても気が晴れないように感じた

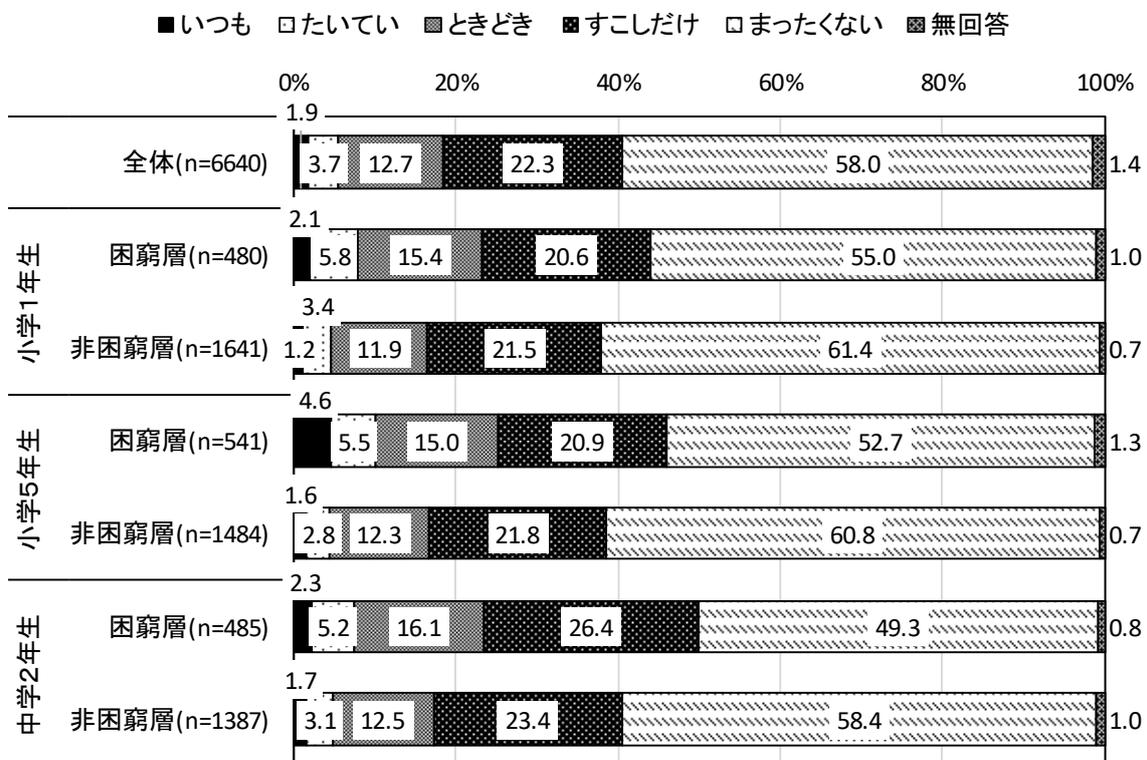


※小学 1 年生 : p<0.01, 小学 5 年生 : p<0.01, 中学 2 年生 : p<0.01

【保護者】 Q18⑤ 心の状態:何をするのも骨折りだと感じた

「小学1年生-困窮層」では、「まったくない」が55.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「すこしだけ」が20.6%となっている。「小学1年生-非困窮層」では、「まったくない」が61.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「すこしだけ」が21.5%となっている。「小学5年生-困窮層」では、「まったくない」が52.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「すこしだけ」が20.9%となっている。「小学5年生-非困窮層」では、「まったくない」が60.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「すこしだけ」が21.8%となっている。「中学2年生-困窮層」では、「まったくない」が49.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「すこしだけ」が26.4%となっている。「中学2年生-非困窮層」では、「まったくない」が58.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「すこしだけ」が23.4%となっている。

図 88 【保護者】 Q18⑤ 心の状態:何をするのも骨折りだと感じた

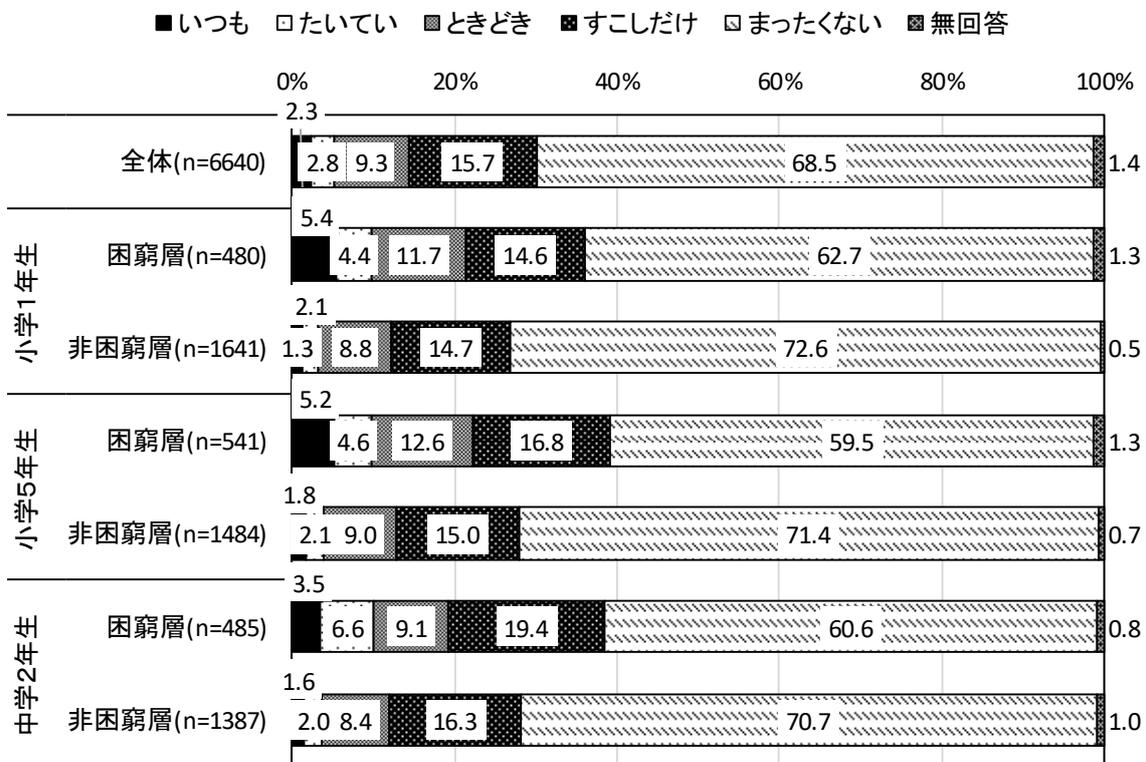


※小学1年生：p<0.01, 小学5年生：p<0.01, 中学2年生：p<0.01

【保護者】 Q18⑥ 心の状態:自分は価値のない人間だと感じた

「小学1年生-困窮層」では、「まったくない」が62.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「すこしだけ」が14.6%となっている。「小学1年生-非困窮層」では、「まったくない」が72.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「すこしだけ」が14.7%となっている。「小学5年生-困窮層」では、「まったくない」が59.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「すこしだけ」が16.8%となっている。「小学5年生-非困窮層」では、「まったくない」が71.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「すこしだけ」が15.0%となっている。「中学2年生-困窮層」では、「まったくない」が60.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「すこしだけ」が19.4%となっている。「中学2年生-非困窮層」では、「まったくない」が70.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「すこしだけ」が16.3%となっている。

図 89 【保護者】 Q18⑥ 心の状態:自分は価値のない人間だと感じた



※小学1年生：p<0.01, 小学5年生：p<0.01, 中学2年生：p<0.01

【保護者】 Q18①～⑥ 心の状態:抑うつ傾向

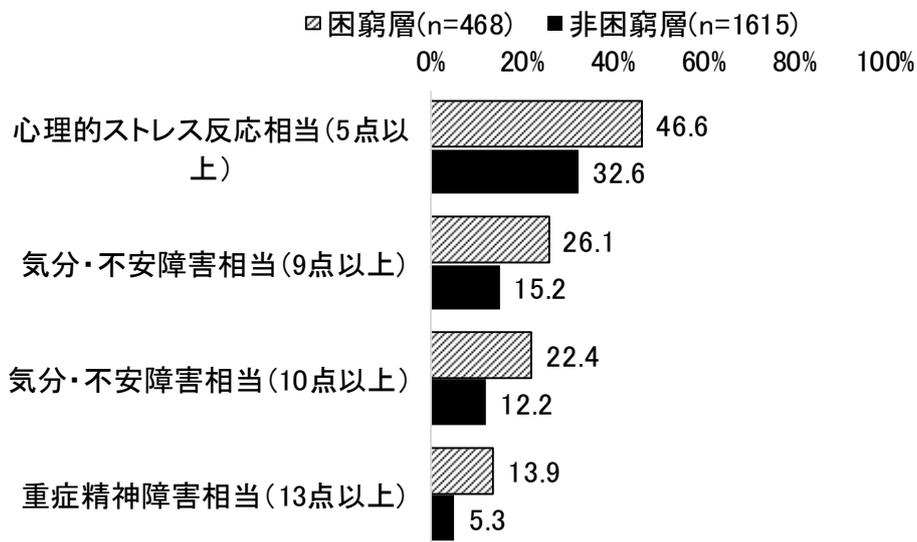
ここまでみてきた6つの指標は、K6指標と呼ばれ、国民生活基礎調査でも用いられる一般の方の抑うつ傾向を測定する代表的なツールである。以下では、6項目の点数の合計点を算出した（ひとつの質問ごとに0点から4点。合計は0点から24点になる。高くなるほど抑うつ状態が強いことを示す。なお、ひとつの質問でも無回答の場合は分析から除外）。そのうえで、川上・高野（2015）※1および沖縄県未就学児調査（2018）※2にそって、5点以上を「心理的ストレス反応相当」、9点以上および10点以上を「気分・不安障害相当」、13点以上を「重症精神障害相当」とし、学年および困窮・非困窮状況別に割合を算出した。

その結果、いずれの学年においても各基準点で困窮層ほど高い割合となっている。もっとも深刻な「重症精神障害相当（13点以上）」に該当する割合は、小学1年生では8.6ポイント差、小学5年生では8.2ポイント差、中学2年生では5.0ポイント差となっている。

※1 川上憲人・高野歩(2015)「一般住民におけるトラウマ被害の精神影響の調査手法」『厚生労働科学研究費補助金 被災地における精神障害等の情報把握と介入効果の検証及び介入手法の向上に資する研究 平成26年度 分担研究報告書』

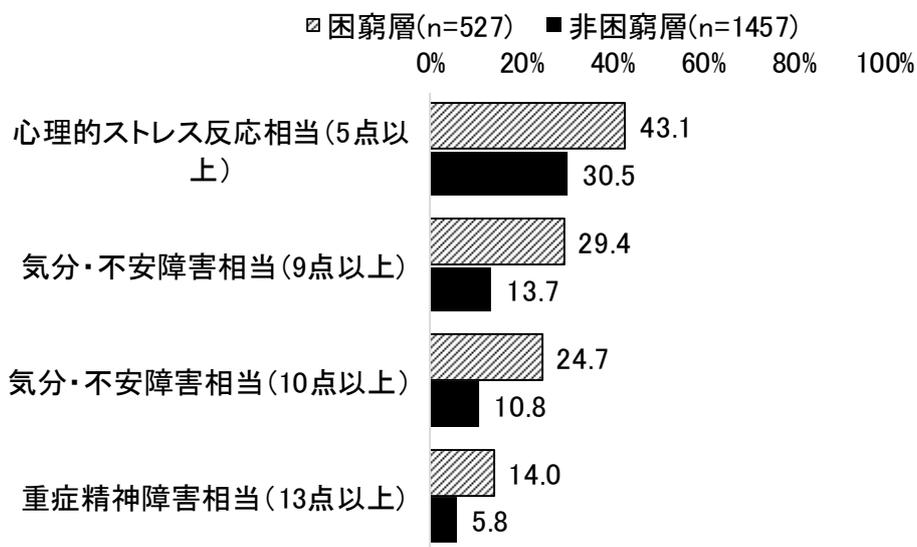
※2 沖縄県（2018）「沖縄子ども調査事業未就学児調査詳細分析報告書」

図 90 【保護者】 Q18①～⑥ 心の状態:抑うつ傾向（小学1年生）



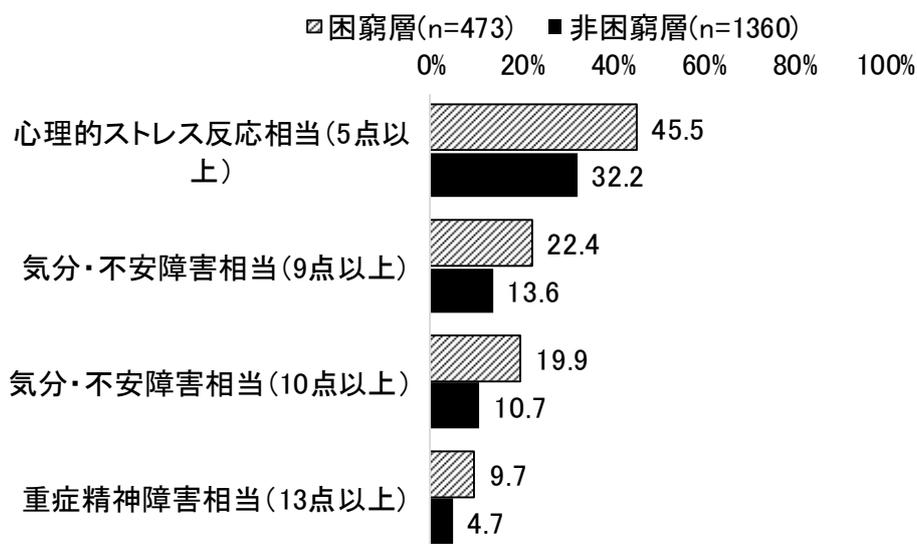
※いずれも $p < 0.01$

図 91 【保護者】 Q18①～⑥ 心の状態:抑うつ傾向 (小学5年生)



※いずれも $p < 0.01$

図 92 【保護者】 Q18①～⑥ 心の状態:抑うつ傾向 (中学2年生)

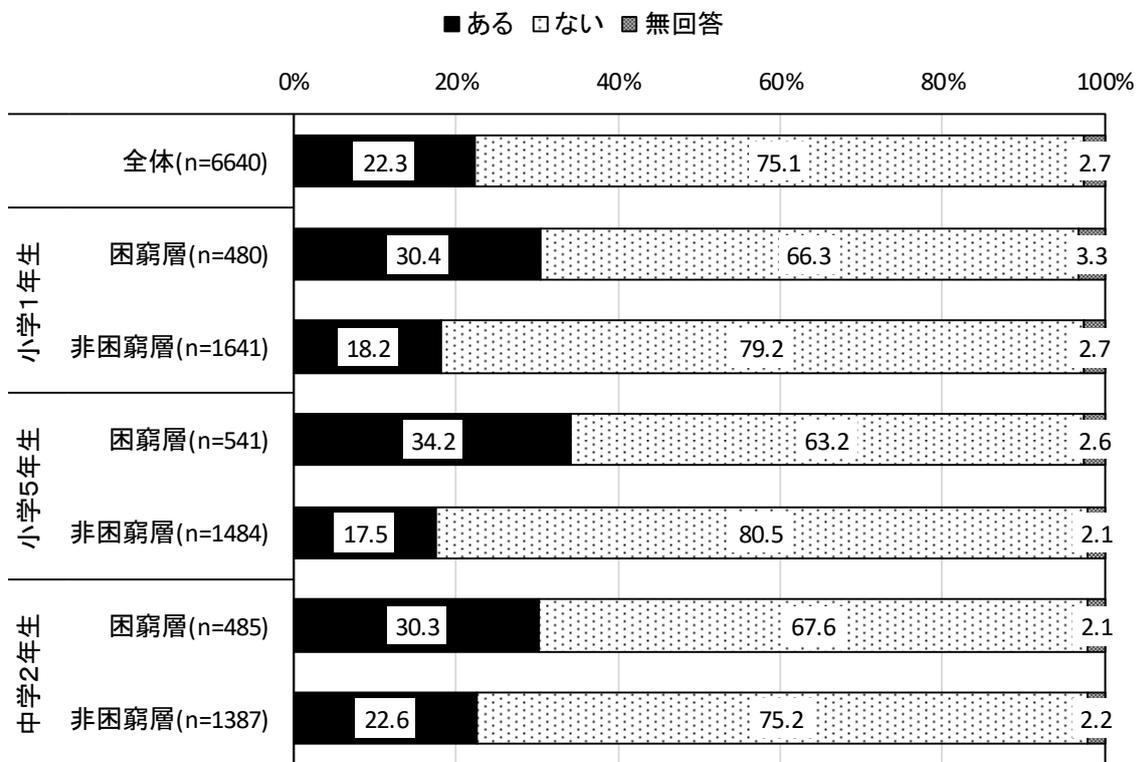


※いずれも $p < 0.01$

【保護者】 Q19 過去1年間に子どもを受診させなかった経験の有無

「小学1年生-困窮層」では、「ない」が66.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「ある」が30.4%となっている。「小学1年生-非困窮層」では、「ない」が79.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「ある」が18.2%となっている。「小学5年生-困窮層」では、「ない」が63.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「ある」が34.2%となっている。「小学5年生-非困窮層」では、「ない」が80.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「ある」が17.5%となっている。「中学2年生-困窮層」では、「ない」が67.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「ある」が30.3%となっている。「中学2年生-非困窮層」では、「ない」が75.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「ある」が22.6%となっている。

図 93 【保護者】 Q19 過去1年間に子どもを受診させなかった経験の有無

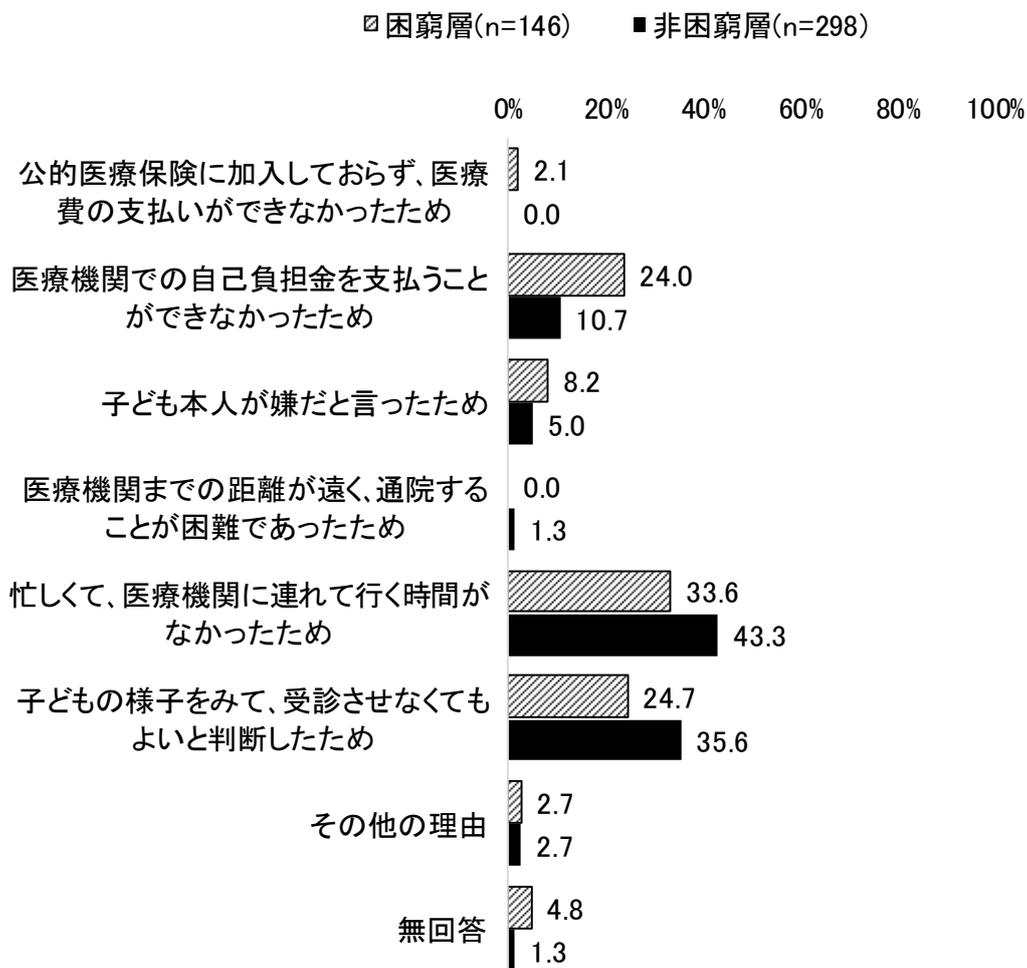


※小学1年生：p<0.01, 小学5年生：p<0.01, 中学2年生：p<0.01

【保護者】 Q19-1 過去 1 年間に子どもを受診させなかった理由

「小学 1 年生・困窮層」では、「忙しくて、医療機関に連れて行く時間がなかったため」が 33.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「子どもの様子を見て、受診させなくてもよいと判断したため」が 24.7%となっている。「小学 1 年生・非困窮層」では、「忙しくて、医療機関に連れて行く時間がなかったため」が 43.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「子どもの様子を見て、受診させなくてもよいと判断したため」が 35.6%となっている。

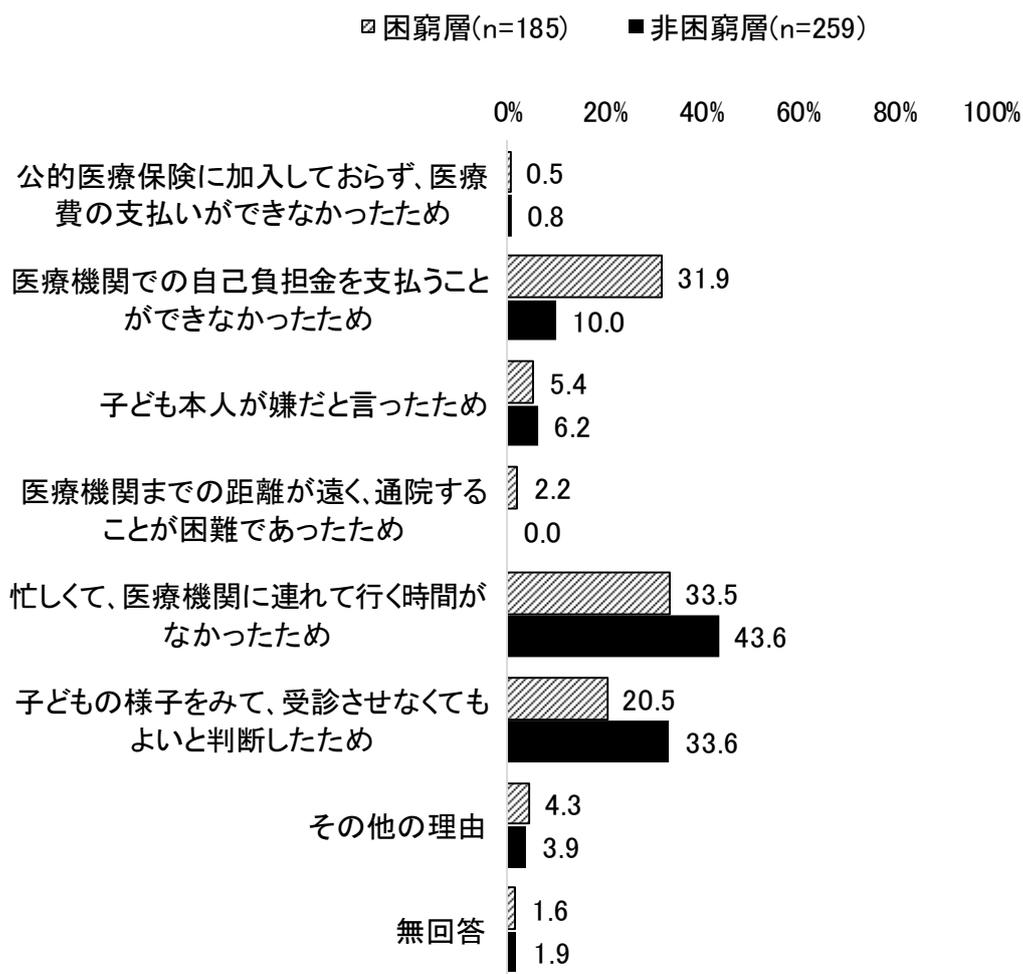
図 94 【保護者】 Q19-1 過去 1 年間に子どもを受診させなかった理由(小学 1 年生)



※p<0.01

「小学5年生-困窮層」では、「忙しくて、医療機関に連れて行く時間がなかったため」が33.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「医療機関での自己負担金を支払うことができなかったため」が31.9%となっている。「小学5年生-非困窮層」では、「忙しくて、医療機関に連れて行く時間がなかったため」が43.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「子どもの様子を見て、受診させなくてもよいと判断したため」が33.6%となっている。

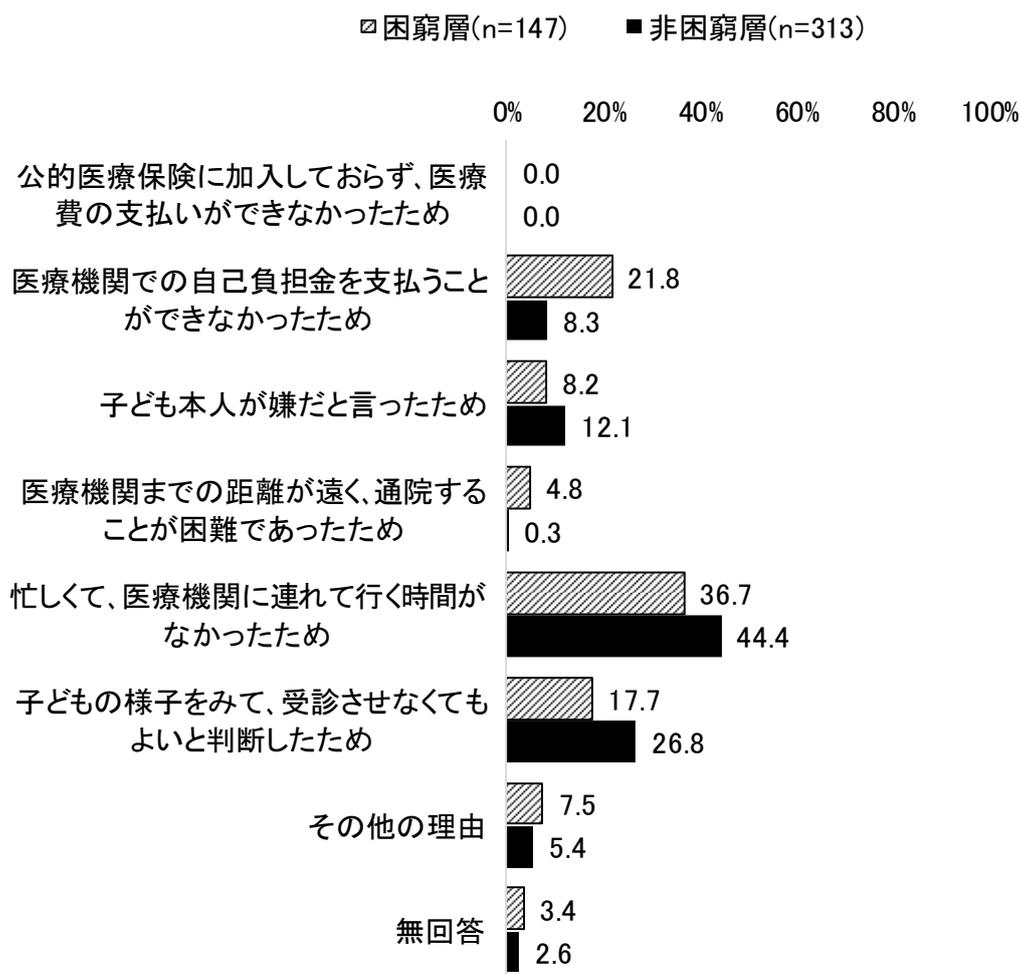
図 95 【保護者】Q19-1 過去1年間に子どもを受診させなかった理由(小学5年生)



※p<0.01

「中学2年生-困窮層」では、「忙しくて、医療機関に連れて行く時間がなかったため」が36.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「医療機関での自己負担金を支払うことができなかったため」が21.8%となっている。「中学2年生-非困窮層」では、「忙しくて、医療機関に連れて行く時間がなかったため」が44.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「子どもの様子を見て、受診させなくてもよいと判断したため」が26.8%となっている。

図 96 【保護者】Q19-1 過去1年間に子どもを受診させなかった理由(中学2年生)



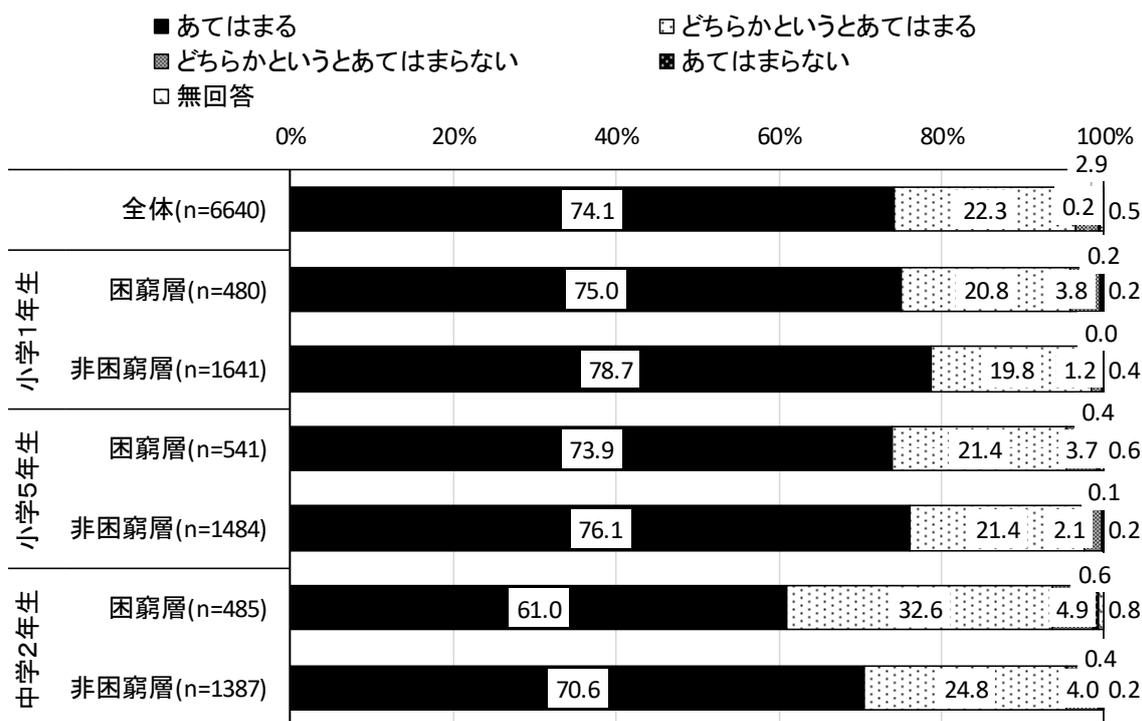
※検定不可

6.家庭生活

【保護者】Q13① 子どもとの関係:よく会話をする

「小学1年生-困窮層」では、「あてはまる」が75%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというにあてはまる」が20.8%となっている。「小学1年生-非困窮層」では、「あてはまる」が78.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというにあてはまる」が19.8%となっている。「小学5年生-困窮層」では、「あてはまる」が73.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというにあてはまる」が21.4%となっている。「小学5年生-非困窮層」では、「あてはまる」が76.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというにあてはまる」が21.4%となっている。「中学2年生-困窮層」では、「あてはまる」が61.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというにあてはまる」が32.6%となっている。「中学2年生-非困窮層」では、「あてはまる」が70.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというにあてはまる」が24.8%となっている。

図 97 【保護者】Q13① 子どもとの関係:よく会話をする

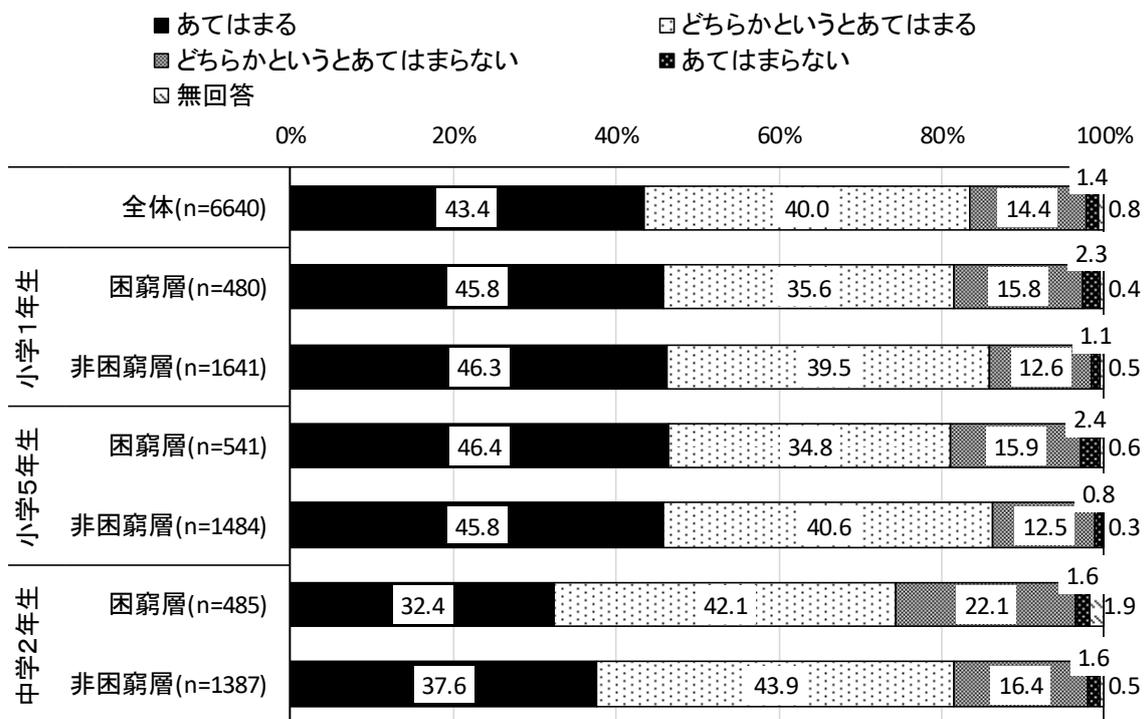


※小学1年生：p<0.01, 小学5年生：有意差なし, 中学2年生：p<0.01

【保護者】 Q13② 子どもとの関係:十分時間を過ごす

「小学 1 年生-困窮層」では、「あてはまる」が 45.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというにあてはまる」が 35.6%となっている。「小学 1 年生-非困窮層」では、「あてはまる」が 46.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというにあてはまる」が 39.5%となっている。「小学 5 年生-困窮層」では、「あてはまる」が 46.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというにあてはまる」が 34.8%となっている。「小学 5 年生-非困窮層」では、「あてはまる」が 45.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというにあてはまる」が 40.6%となっている。「中学 2 年生-困窮層」では、「どちらかというにあてはまる」が 42.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「あてはまる」が 32.4%となっている。「中学 2 年生-非困窮層」では、「どちらかというにあてはまる」が 43.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「あてはまる」が 37.6%となっている。

図 98 【保護者】 Q13② 子どもとの関係:十分時間を過ごす

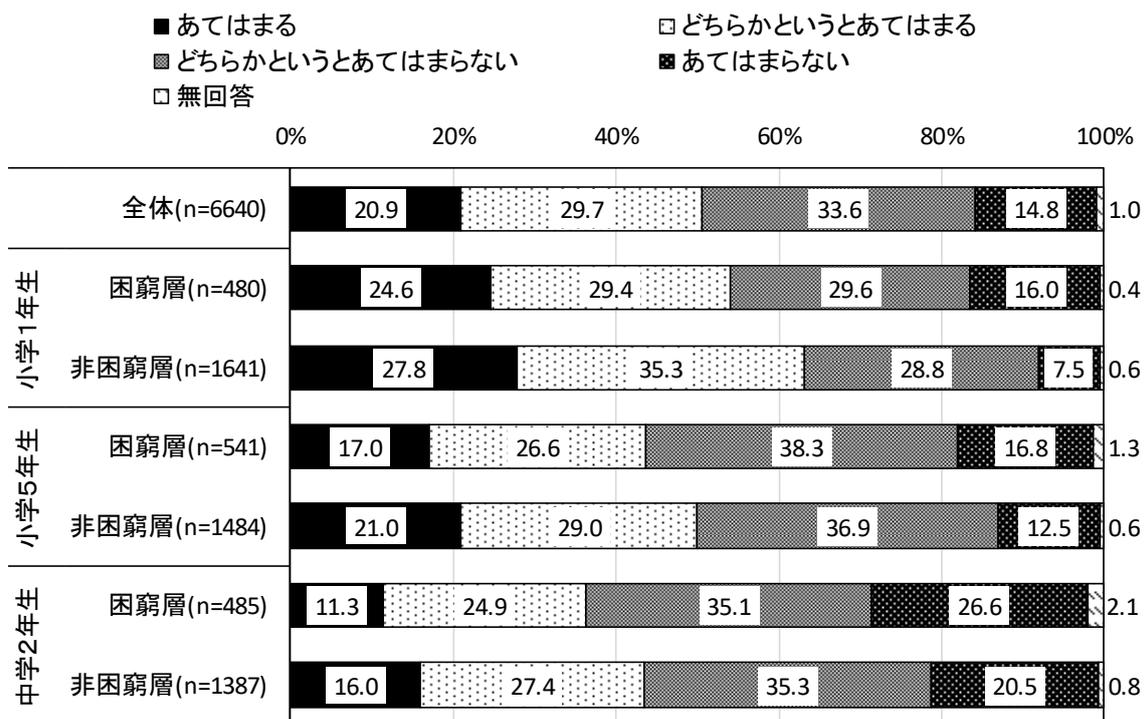


※小学 1 年生 : p<0.05, 小学 5 年生 : p<0.01, 中学 2 年生 : p<0.05

【保護者】 Q13③ 子どもとの関係:読んだ本の感想を話しあったりする

「小学1年生-困窮層」では、「どちらかというとはまらない」が29.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというとはまる」が29.4%となっている。「小学1年生-非困窮層」では、「どちらかというとはまる」が35.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというとはまらない」が28.8%となっている。「小学5年生-困窮層」では、「どちらかというとはまらない」が38.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというとはまる」が26.6%となっている。「小学5年生-非困窮層」では、「どちらかというとはまらない」が36.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというとはまる」が29.0%となっている。「中学2年生-困窮層」では、「どちらかというとはまらない」が35.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「あてはまらない」が26.6%となっている。「中学2年生-非困窮層」では、「どちらかというとはまらない」が35.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというとはまる」が27.4%となっている。

図 99 【保護者】 Q13③ 子どもとの関係:読んだ本の感想を話しあったりする

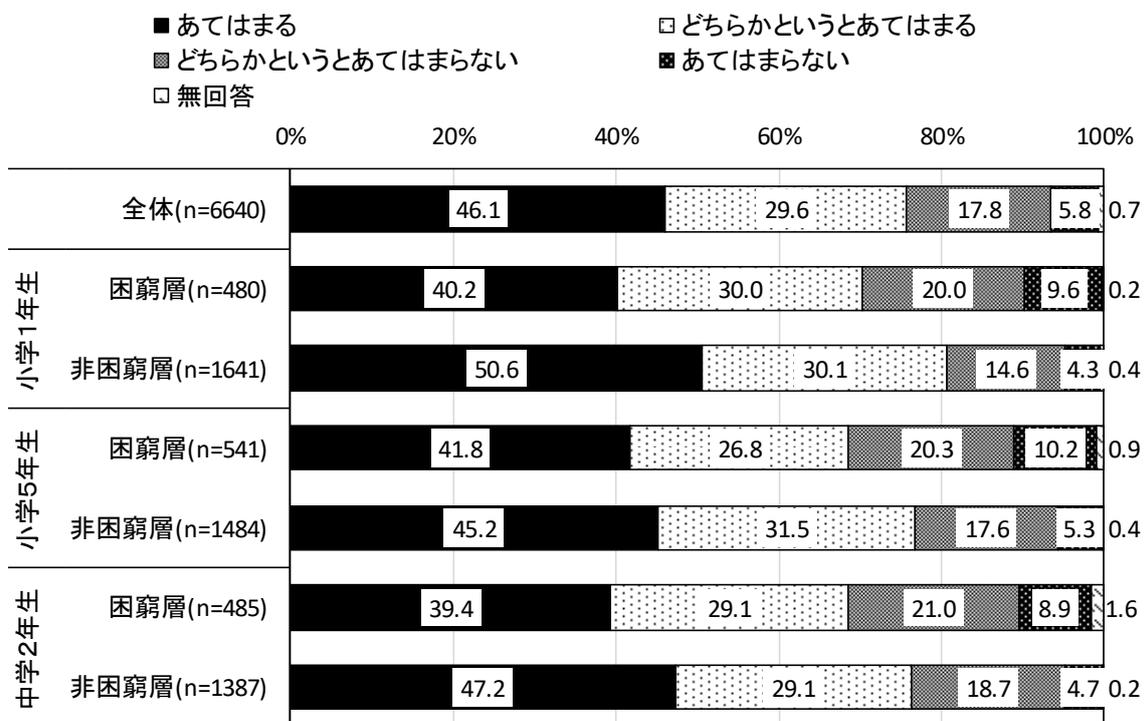


※小学1年生：p<0.01, 小学5年生：p<0.05, 中学2年生：p<0.01

【保護者】 Q13④ 子どもとの関係:小さいころ絵本の読み聞かせをした

「小学 1 年生-困窮層」では、「あてはまる」が 40.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというにあてはまる」が 30.0%となっている。「小学 1 年生-非困窮層」では、「あてはまる」が 50.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというにあてはまる」が 30.1%となっている。「小学 5 年生-困窮層」では、「あてはまる」が 41.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというにあてはまる」が 26.8%となっている。「小学 5 年生-非困窮層」では、「あてはまる」が 45.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというにあてはまる」が 31.5%となっている。「中学 2 年生-困窮層」では、「あてはまる」が 39.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというにあてはまる」が 29.1%となっている。「中学 2 年生-非困窮層」では、「あてはまる」が 47.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというにあてはまる」が 29.1%となっている。

図 100 【保護者】 Q13④ 子どもとの関係:小さいころ絵本の読み聞かせをした

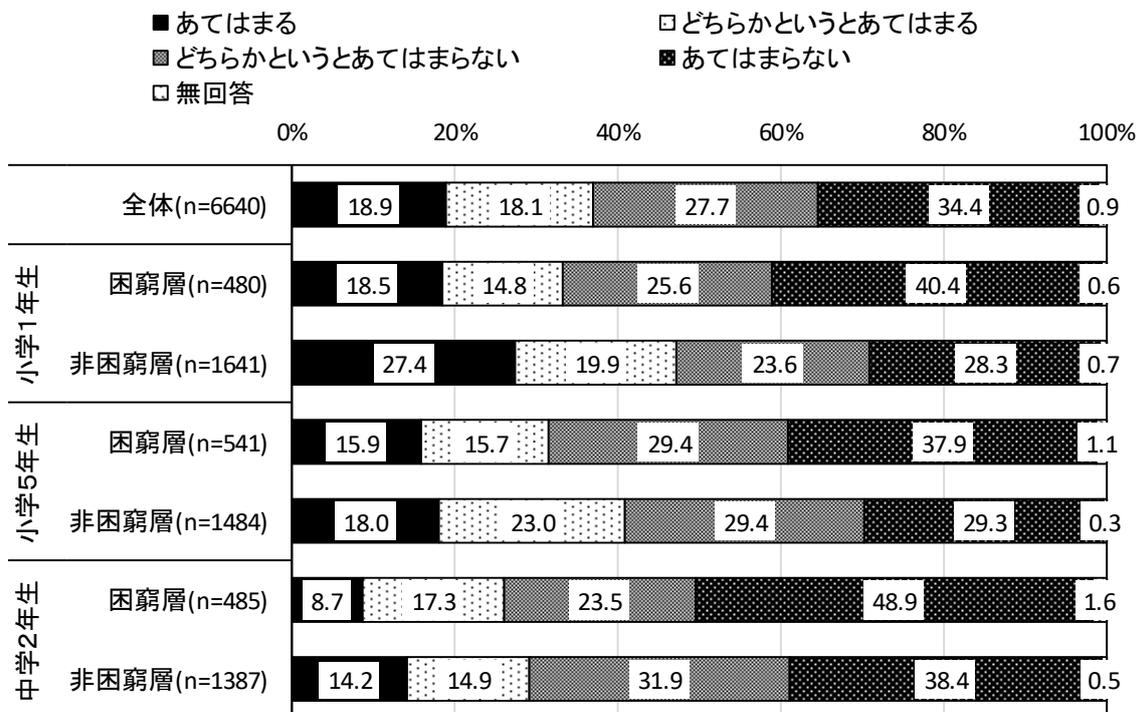


※小学 1 年生 : $p < 0.01$, 小学 5 年生 : $p < 0.01$, 中学 2 年生 : $p < 0.01$

【保護者】 Q13⑤ 子どもとの関係:一緒に図書館に行く

「小学 1 年生・困窮層」では、「あてはまらない」が 40.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというにあてはまらない」が 25.6%となっている。「小学 1 年生・非困窮層」では、「あてはまらない」が 28.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「あてはまる」が 27.4%となっている。「小学 5 年生・困窮層」では、「あてはまらない」が 37.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというにあてはまらない」が 29.4%となっている。「小学 5 年生・非困窮層」では、「どちらかというにあてはまらない」が 29.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「あてはまらない」が 29.3%となっている。「中学 2 年生・困窮層」では、「あてはまらない」が 48.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというにあてはまらない」が 23.5%となっている。「中学 2 年生・非困窮層」では、「あてはまらない」が 38.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというにあてはまらない」が 31.9%となっている。

図 101 【保護者】 Q13⑤ 子どもとの関係:一緒に図書館に行く

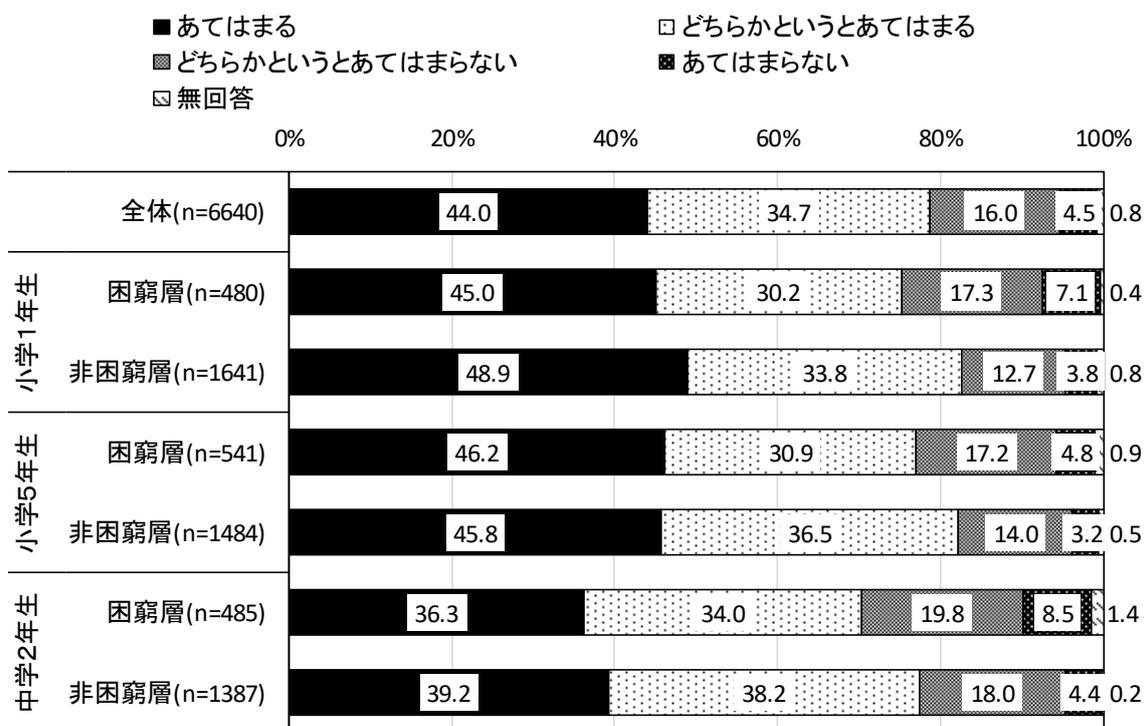


※小学 1 年生 : $p < 0.01$, 小学 5 年生 : $p < 0.01$, 中学 2 年生 : $p < 0.01$

【保護者】 Q13⑥ 子どもとの関係:将来の夢をどう思っているか知っている

「小学 1 年生-困窮層」では、「あてはまる」が 45.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというにあてはまる」が 30.2%となっている。「小学 1 年生-非困窮層」では、「あてはまる」が 48.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというにあてはまる」が 33.8%となっている。「小学 5 年生-困窮層」では、「あてはまる」が 46.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというにあてはまる」が 30.9%となっている。「小学 5 年生-非困窮層」では、「あてはまる」が 45.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというにあてはまる」が 36.5%となっている。「中学 2 年生-困窮層」では、「あてはまる」が 36.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというにあてはまる」が 34.0%となっている。「中学 2 年生-非困窮層」では、「あてはまる」が 39.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというにあてはまる」が 38.2%となっている。

図 102 【保護者】 Q13⑥ 子どもとの関係:将来の夢をどう思っているか知っている

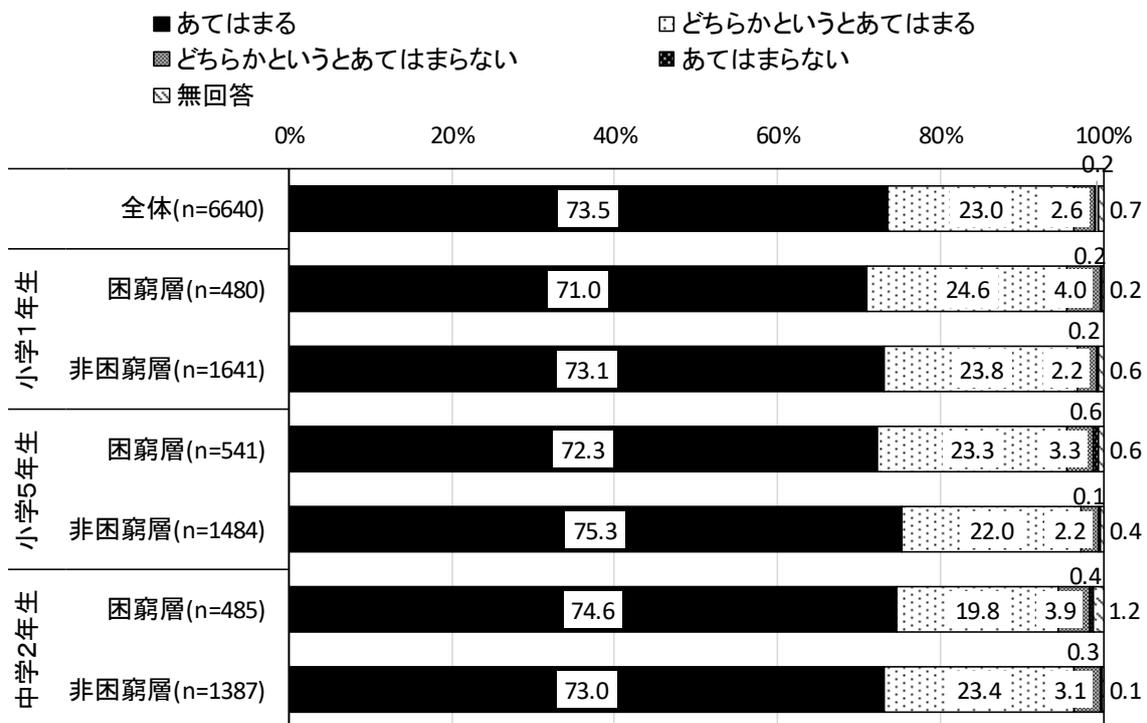


※小学 1 年生 : p<0.01, 小学 5 年生 : p<0.05, 中学 2 年生 : p<0.01

【保護者】 Q13⑦ 子どもとの関係:信頼している

「小学 1 年生-困窮層」では、「あてはまる」が 71.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというにあてはまる」が 24.6%となっている。「小学 1 年生-非困窮層」では、「あてはまる」が 73.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというにあてはまる」が 23.8%となっている。「小学 5 年生-困窮層」では、「あてはまる」が 72.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというにあてはまる」が 23.3%となっている。「小学 5 年生-非困窮層」では、「あてはまる」が 75.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというにあてはまる」が 22.0%となっている。「中学 2 年生-困窮層」では、「あてはまる」が 74.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというにあてはまる」が 19.8%となっている。「中学 2 年生-非困窮層」では、「あてはまる」が 73.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというにあてはまる」が 23.4%となっている。

図 103 【保護者】 Q13⑦ 子どもとの関係:信頼している

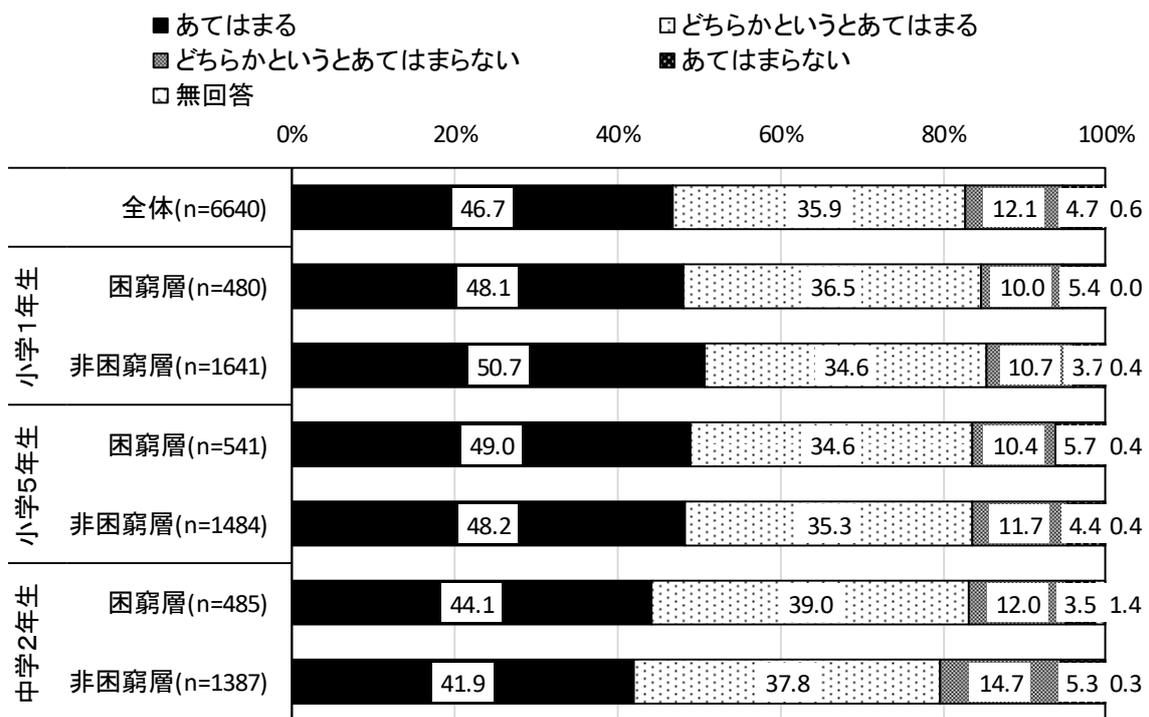


※小学 1 年生：有意差なし，小学 5 年生：有意差なし，中学 2 年生：有意差なし

【保護者】 Q14① 子育ての気持ち:不安イライラなどの感情を子どもに向けたことがある

「小学 1 年生-困窮層」では、「あてはまる」が 48.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというにあてはまる」が 36.5%となっている。「小学 1 年生-非困窮層」では、「あてはまる」が 50.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというにあてはまる」が 34.6%となっている。「小学 5 年生-困窮層」では、「あてはまる」が 49.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというにあてはまる」が 34.6%となっている。「小学 5 年生-非困窮層」では、「あてはまる」が 48.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというにあてはまる」が 35.3%となっている。「中学 2 年生-困窮層」では、「あてはまる」が 44.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというにあてはまる」が 39.0%となっている。「中学 2 年生-非困窮層」では、「あてはまる」が 41.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというにあてはまる」が 37.8%となっている。

図 104 【保護者】 Q14① 子育ての気持ち:不安イライラなどの感情を子どもに向けたことがある

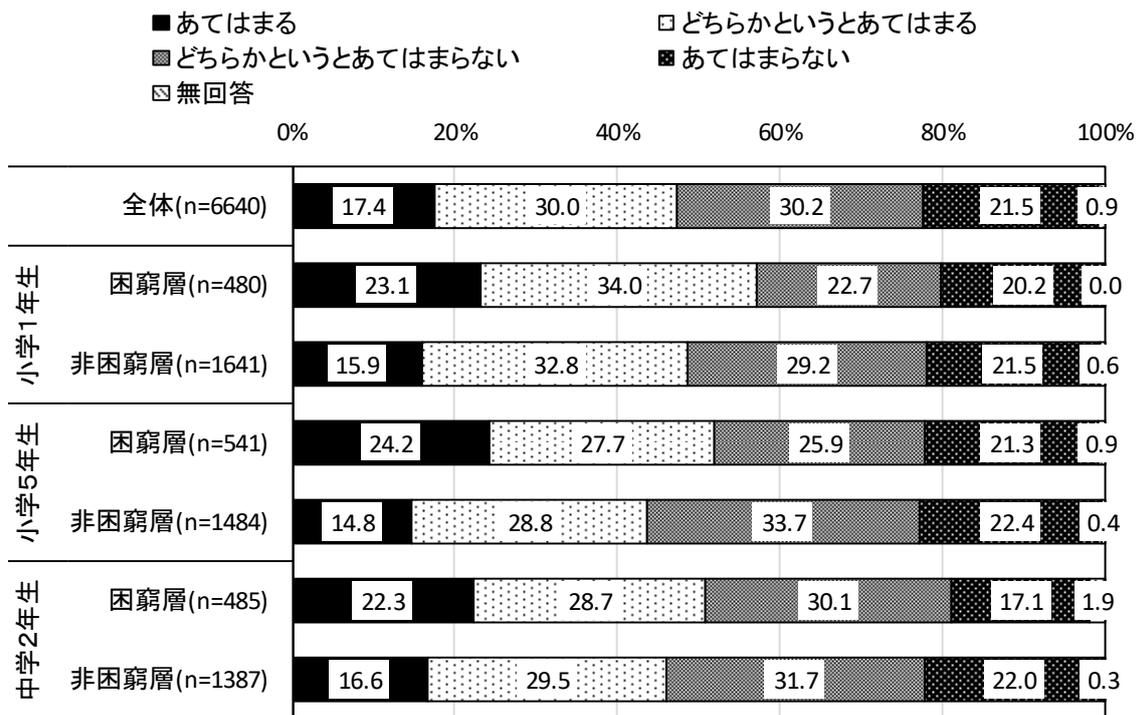


※小学 1 年生：有意差なし，小学 5 年生：有意差なし，中学 2 年生：有意差なし

【保護者】 Q14② 子育ての気持ち:子どもを育てるために我慢している

「小学1年生-困窮層」では、「どちらかというにあてはまる」が34.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「あてはまる」が23.1%となっている。「小学1年生-非困窮層」では、「どちらかというにあてはまる」が32.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというにあてはまらない」が29.2%となっている。「小学5年生-困窮層」では、「どちらかというにあてはまる」が27.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというにあてはまらない」が25.9%となっている。「小学5年生-非困窮層」では、「どちらかというにあてはまらない」が33.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというにあてはまる」が28.8%となっている。「中学2年生-困窮層」では、「どちらかというにあてはまらない」が30.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというにあてはまる」が28.7%となっている。「中学2年生-非困窮層」では、「どちらかというにあてはまらない」が31.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというにあてはまる」が29.5%となっている。

図 105 【保護者】 Q14② 子育ての気持ち:子どもを育てるために我慢している

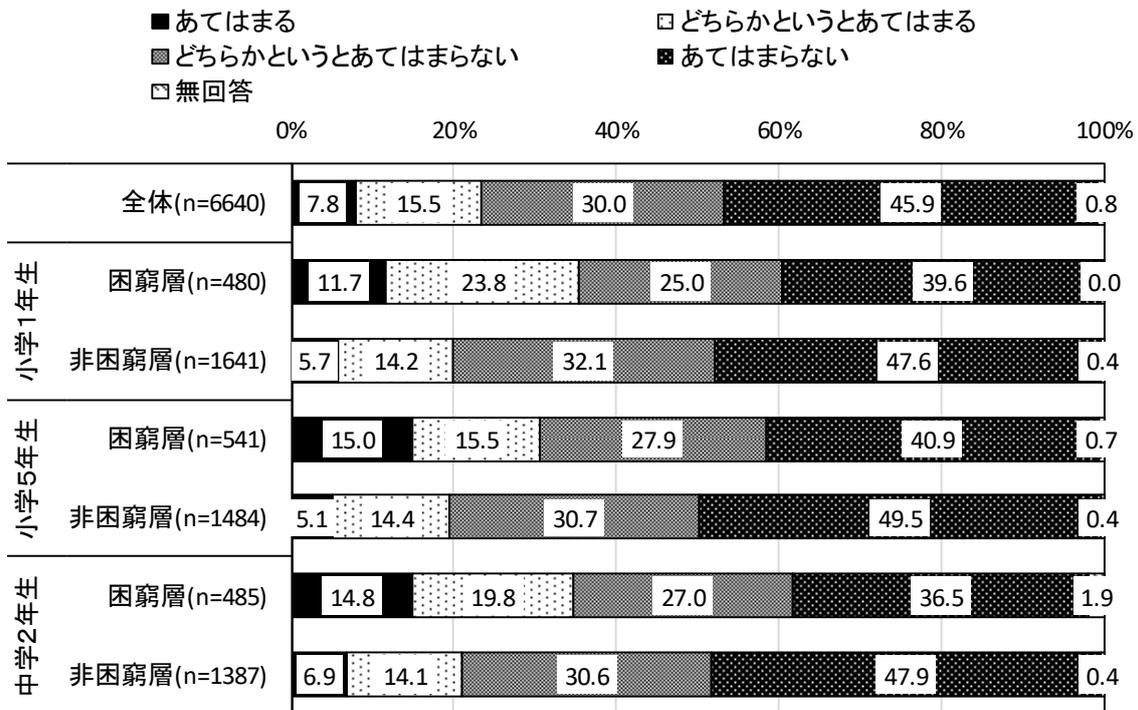


※小学1年生：p<0.01, 小学5年生：p<0.01, 中学2年生：p<0.05

【保護者】 Q14③ 子育ての気持ち:自分一人で育てているという圧迫感を感じる

「小学 1 年生・困窮層」では、「あてはまらない」が 39.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというにあてはまらない」が 25.0%となっている。「小学 1 年生・非困窮層」では、「あてはまらない」が 47.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというにあてはまらない」が 32.1%となっている。「小学 5 年生・困窮層」では、「あてはまらない」が 40.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというにあてはまらない」が 27.9%となっている。「小学 5 年生・非困窮層」では、「あてはまらない」が 49.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというにあてはまらない」が 30.7%となっている。「中学 2 年生・困窮層」では、「あてはまらない」が 36.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというにあてはまらない」が 27.0%となっている。「中学 2 年生・非困窮層」では、「あてはまらない」が 47.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというにあてはまらない」が 30.6%となっている。

図 106 【保護者】 Q14③ 子育ての気持ち:自分一人で育てているという圧迫感を感じる

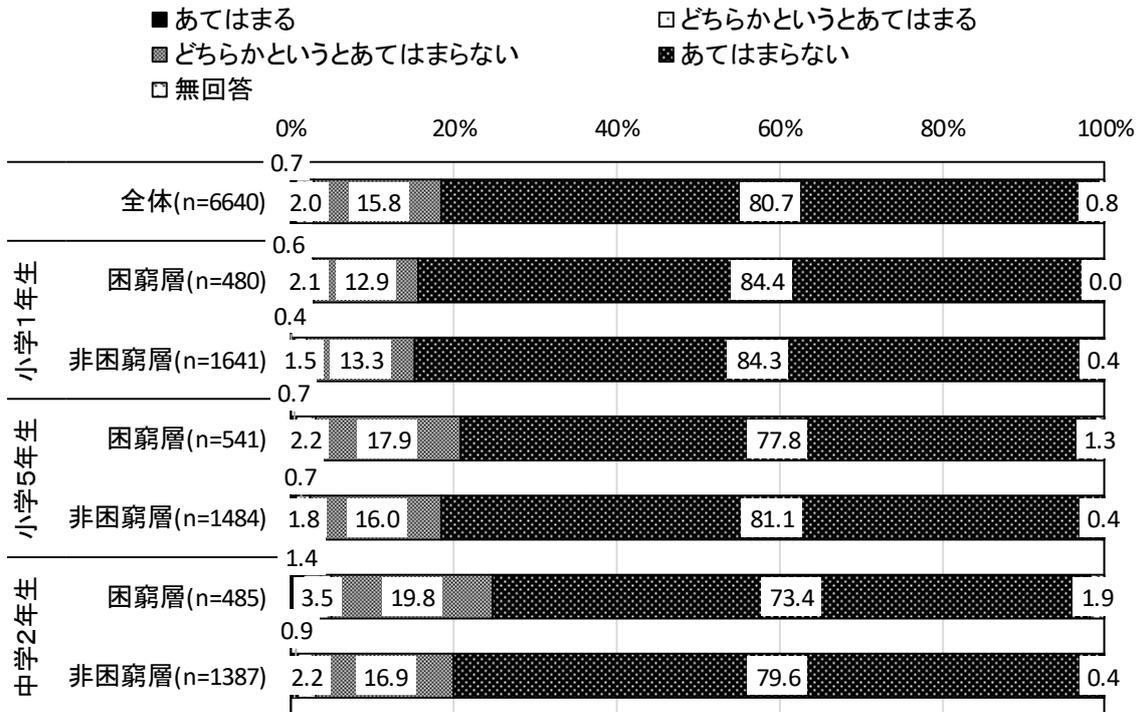


※小学 1 年生 : $p < 0.01$, 小学 5 年生 : $p < 0.01$, 中学 2 年生 : $p < 0.01$

【保護者】 Q14④ 子育ての気持ち:子どもの世話にはあまり関心がない

「小学 1 年生・困窮層」では、「あてはまらない」が 84.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというにあてはまらない」が 12.9%となっている。「小学 1 年生・非困窮層」では、「あてはまらない」が 84.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというにあてはまらない」が 13.3%となっている。「小学 5 年生・困窮層」では、「あてはまらない」が 77.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというにあてはまらない」が 17.9%となっている。「小学 5 年生・非困窮層」では、「あてはまらない」が 81.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというにあてはまらない」が 16.0%となっている。「中学 2 年生・困窮層」では、「あてはまらない」が 73.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというにあてはまらない」が 19.8%となっている。「中学 2 年生・非困窮層」では、「あてはまらない」が 79.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというにあてはまらない」が 16.9%となっている。

図 107 【保護者】 Q14④ 子育ての気持ち:子どもの世話にはあまり関心がない



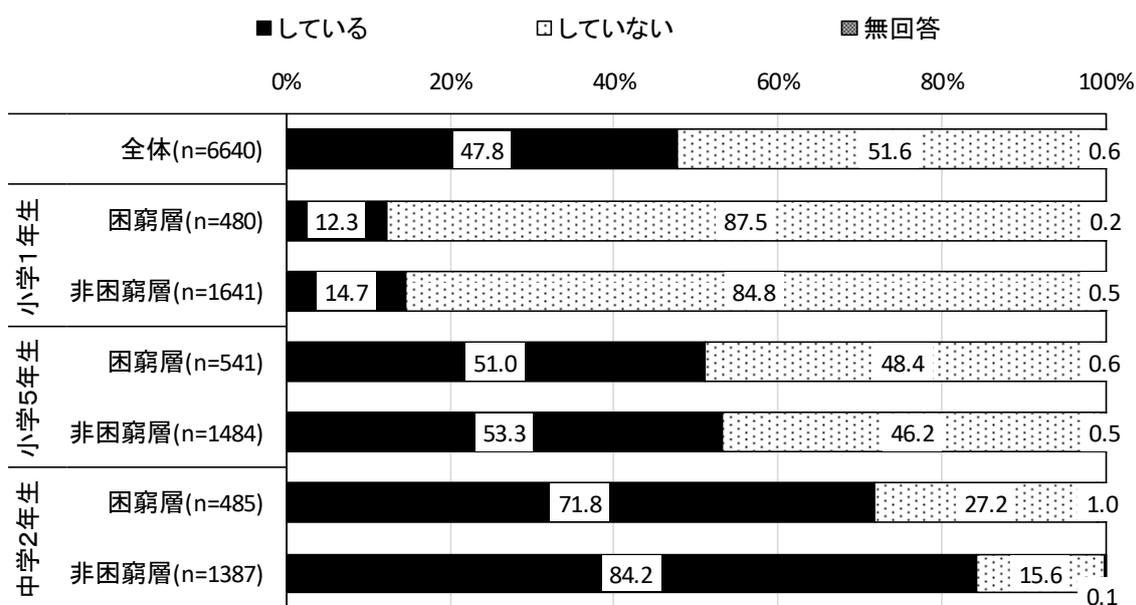
※小学 1 年生：有意差なし，小学 5 年生：有意差なし，中学 2 年生：有意差なし

7.学習・進路

【保護者】 Q9 小学校のクラブ活動・中学校の部活動や地域のクラブ活動の参加状況

「小学 1 年生・困窮層」では、「していない」が 87.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「している」が 12.3%となっている。「小学 1 年生・非困窮層」では、「していない」が 84.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「している」が 14.7%となっている。「小学 5 年生・困窮層」では、「している」が 51.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「していない」が 48.4%となっている。「小学 5 年生・非困窮層」では、「している」が 53.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「していない」が 46.2%となっている。「中学 2 年生・困窮層」では、「している」が 71.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「していない」が 27.2%となっている。「中学 2 年生・非困窮層」では、「している」が 84.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「していない」が 15.6%となっている。

図 108 【保護者】 Q9 小学校のクラブ活動・中学校の部活動や地域のクラブ活動の参加状況

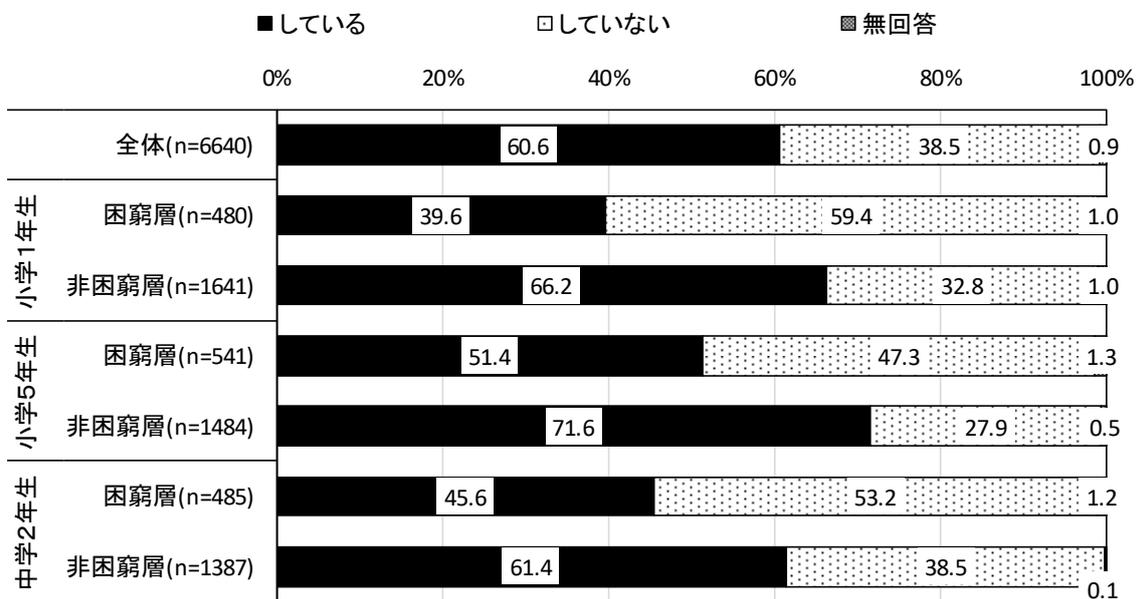


※小学 1 年生：有意差なし，小学 5 年生：有意差なし，中学 2 年生：p<0.01

【保護者】 Q10 習い事等の実施状況

「小学 1 年生・困窮層」では、「していない」が 59.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「している」が 39.6%となっている。「小学 1 年生・非困窮層」では、「している」が 66.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「していない」が 32.8%となっている。「小学 5 年生・困窮層」では、「している」が 51.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「していない」が 47.3%となっている。「小学 5 年生・非困窮層」では、「している」が 71.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「していない」が 27.9%となっている。「中学 2 年生・困窮層」では、「していない」が 53.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「している」が 45.6%となっている。「中学 2 年生・非困窮層」では、「している」が 61.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「していない」が 38.5%となっている。

図 109 【保護者】 Q10 習い事等の実施状況

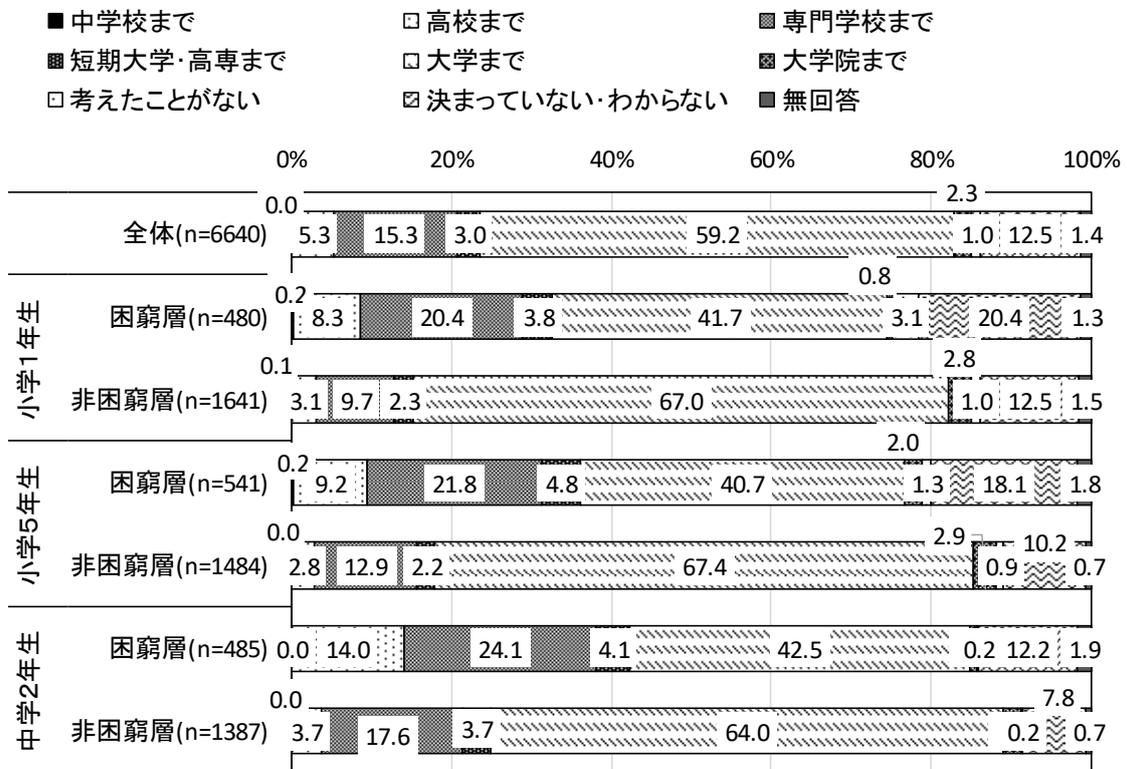


※小学 1 年生 : p<0.01, 小学 5 年生 : p<0.01, 中学 2 年生 : p<0.01

【保護者】 Q11 理想的には将来どの学校まで行かせたいか

「小学1年生-困窮層」では、「大学まで」が41.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「専門学校まで」と「決まっていない・わからない」が20.4%となっている。「小学1年生-非困窮層」では、「大学まで」が67.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「決まっていない・わからない」が12.5%となっている。「小学5年生-困窮層」では、「大学まで」が40.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「専門学校まで」が21.8%となっている。「小学5年生-非困窮層」では、「大学まで」が67.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「専門学校まで」が12.9%となっている。「中学2年生-困窮層」では、「大学まで」が42.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「専門学校まで」が24.1%となっている。「中学2年生-非困窮層」では、「大学まで」が64.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「専門学校まで」が17.6%となっている。

図 110 【保護者】 Q11 理想的には将来どの学校まで行かせたいか

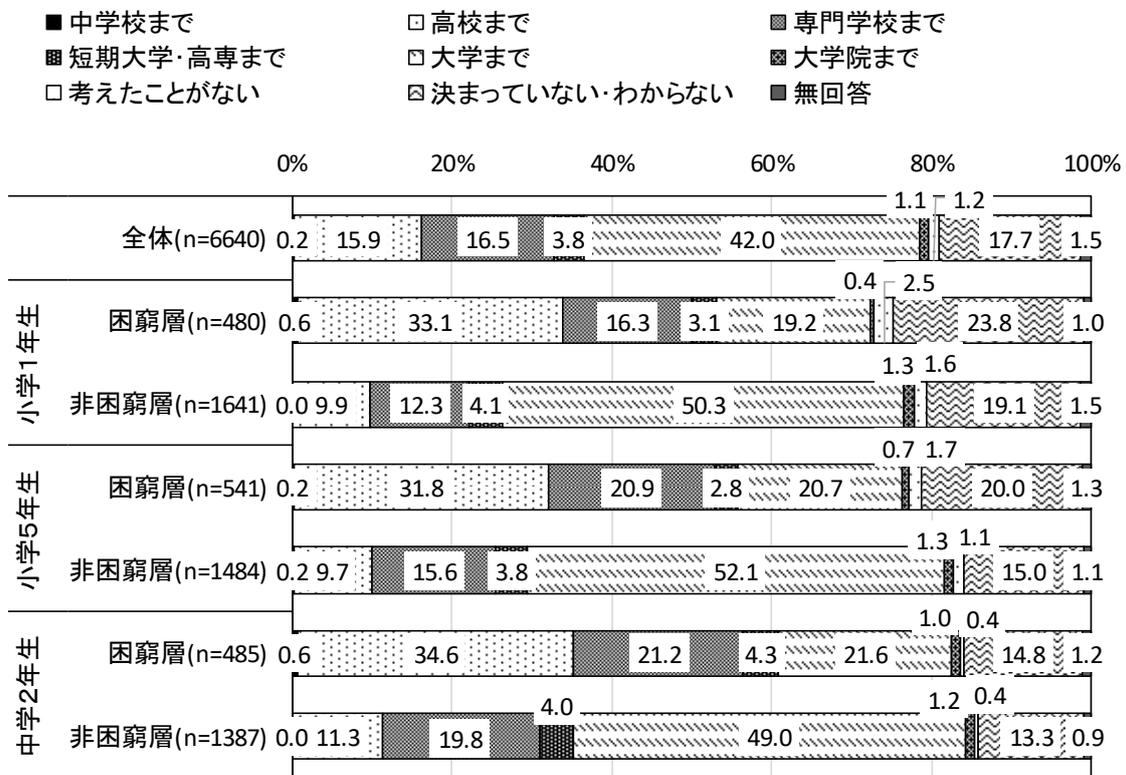


※小学1年生：p<0.01, 小学5年生：p<0.01, 中学2年生：検定不可

【保護者】 Q12 現実的には将来どの学校まで行かせるか

「小学 1 年生-困窮層」では、「高校まで」が 33.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「決まっていない・わからない」が 23.8%となっている。「小学 1 年生-非困窮層」では、「大学まで」が 50.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「決まっていない・わからない」が 19.1%となっている。「小学 5 年生-困窮層」では、「高校まで」が 31.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「専門学校まで」が 20.9%となっている。「小学 5 年生-非困窮層」では、「大学まで」が 52.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「専門学校まで」が 15.6%となっている。「中学 2 年生-困窮層」では、「高校まで」が 34.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「大学まで」が 21.6%となっている。「中学 2 年生-非困窮層」では、「大学まで」が 49.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「専門学校まで」が 19.8%となっている。

図 111 【保護者】 Q12 現実的には将来どの学校まで行かせるか



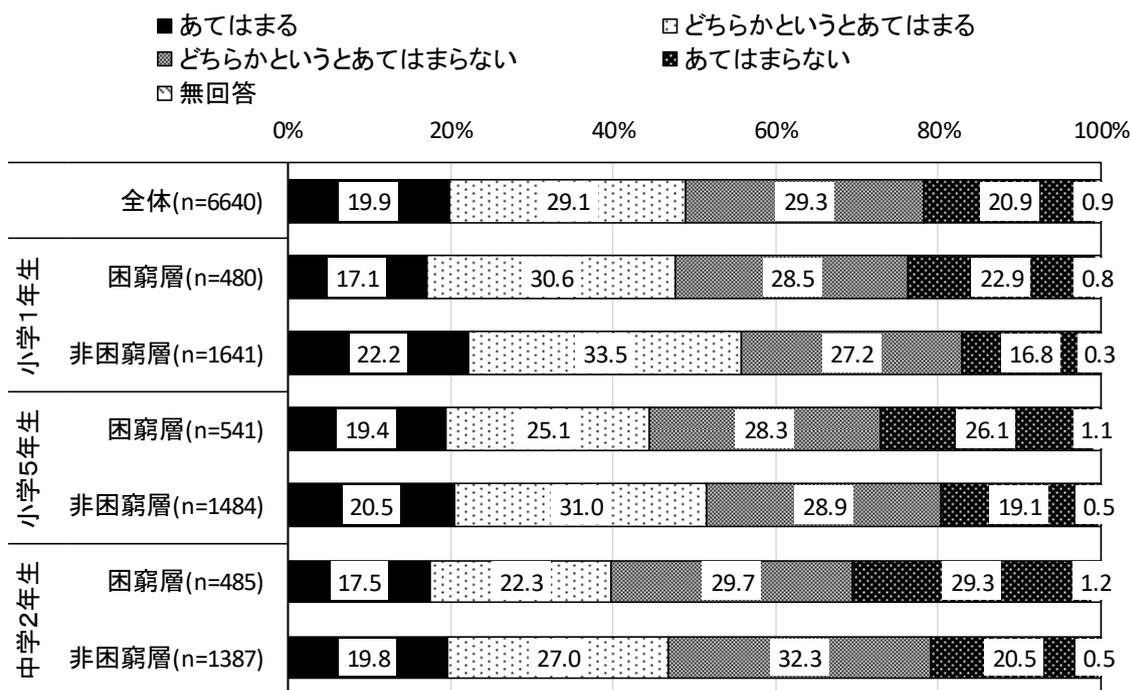
※小学 1 年生 : p<0.01, 小学 5 年生 : p<0.01, 中学 2 年生 : p<0.01

8.地域や友人とのつながり

【保護者】 Q15① 地域の行事に参加する

「小学 1 年生-困窮層」では、「どちらかというとはまる」が 30.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというとはまらない」が 28.5%となっている。「小学 1 年生-非困窮層」では、「どちらかというとはまる」が 33.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというとはまらない」が 27.2%となっている。「小学 5 年生-困窮層」では、「どちらかというとはまらない」が 28.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「あてはまらない」が 26.1%となっている。「小学 5 年生-非困窮層」では、「どちらかというとはまる」が 31.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというとはまらない」が 28.9%となっている。「中学 2 年生-困窮層」では、「どちらかというとはまらない」が 29.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「あてはまらない」が 29.3%となっている。「中学 2 年生-非困窮層」では、「どちらかというとはまらない」が 32.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというとはまる」が 27.0%となっている。

図 112 【保護者】 Q15① 地域の行事に参加する

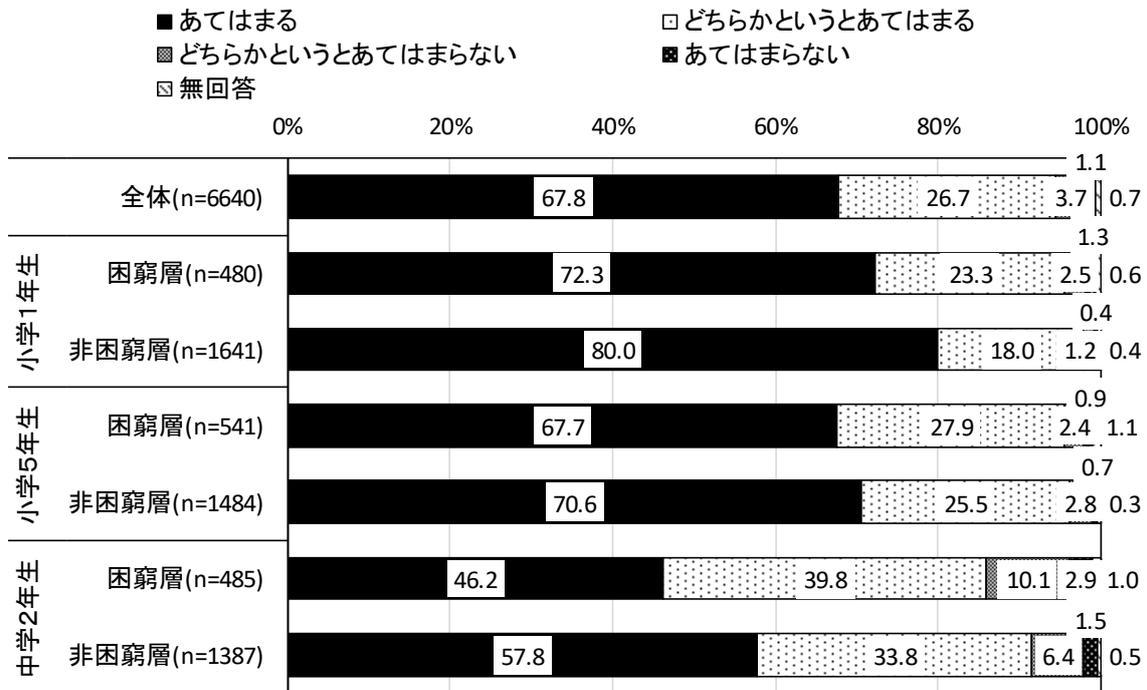


※小学 1 年生 : p<0.01, 小学 5 年生 : p<0.01, 中学 2 年生 : p<0.01

【保護者】 Q15② 学校の行事に参加する

「小学 1 年生・困窮層」では、「あてはまる」が 72.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというにあてはまる」が 23.3%となっている。「小学 1 年生・非困窮層」では、「あてはまる」が 80.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというにあてはまる」が 18%となっている。「小学 5 年生・困窮層」では、「あてはまる」が 67.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというにあてはまる」が 27.9%となっている。「小学 5 年生・非困窮層」では、「あてはまる」が 70.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというにあてはまる」が 25.5%となっている。「中学 2 年生・困窮層」では、「あてはまる」が 46.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというにあてはまる」が 39.8%となっている。「中学 2 年生・非困窮層」では、「あてはまる」が 57.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというにあてはまる」が 33.8%となっている。

図 113 【保護者】 Q15② 学校の行事に参加する

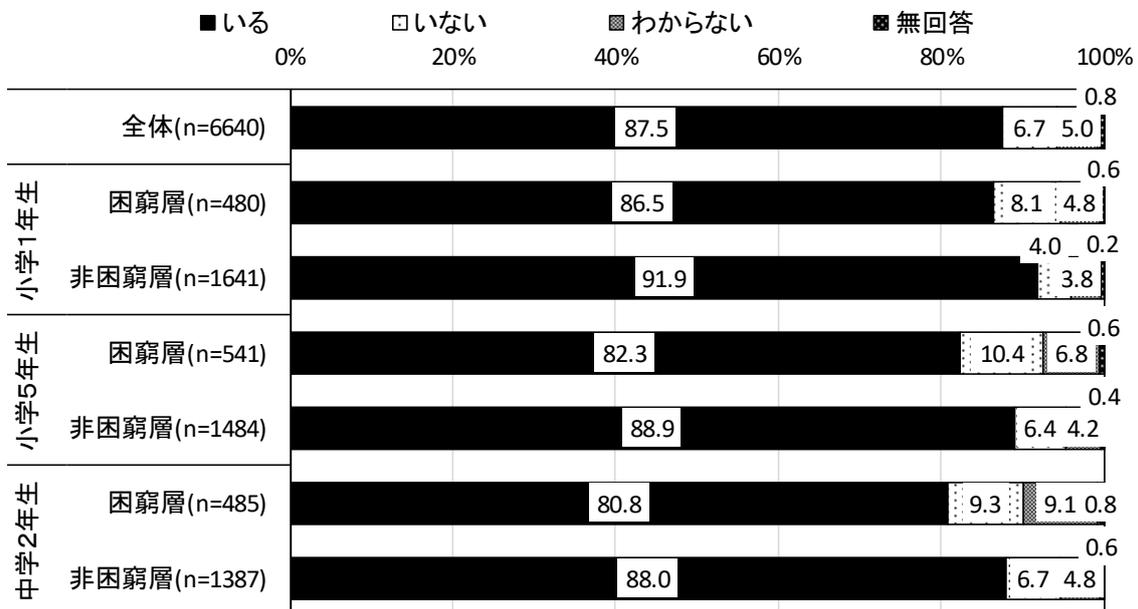


※小学 1 年生 : $p < 0.01$, 小学 5 年生 : 有意差なし, 中学 2 年生 : $p < 0.01$

【保護者】 Q16① 心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人の有無

「小学 1 年生-困窮層」では、「いる」が 86.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「いない」が 8.1%となっている。「小学 1 年生-非困窮層」では、「いる」が 91.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「いない」が 4.0%となっている。「小学 5 年生-困窮層」では、「いる」が 82.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「いない」が 10.4%となっている。「小学 5 年生-非困窮層」では、「いる」が 88.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「いない」が 6.4%となっている。「中学 2 年生-困窮層」では、「いる」が 80.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「いない」が 9.3%となっている。「中学 2 年生-非困窮層」では、「いる」が 88.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「いない」が 6.7%となっている。

図 114 【保護者】 Q16① 心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人の有無

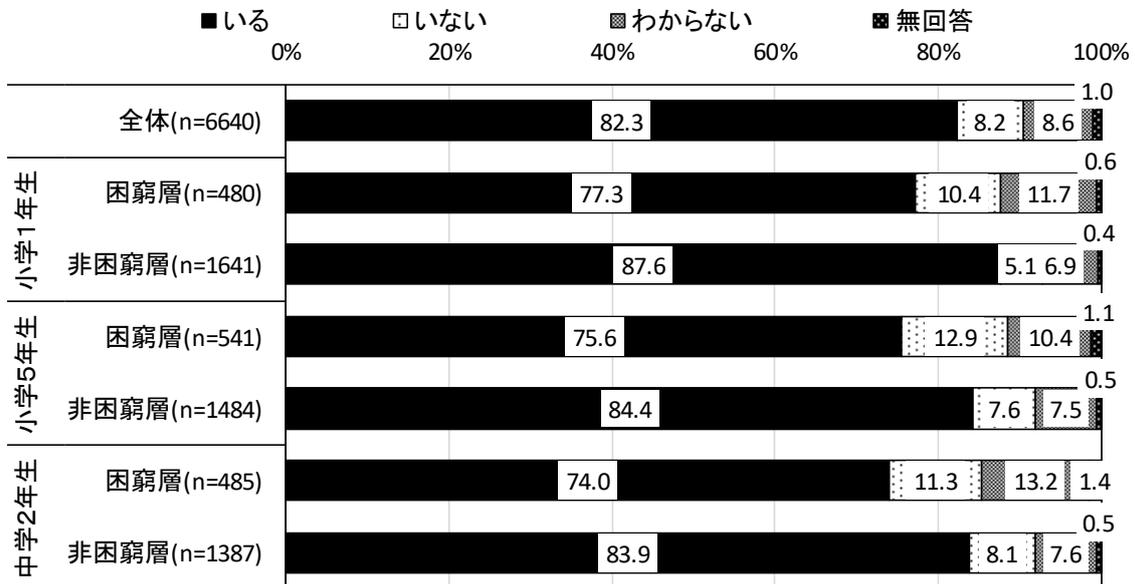


※小学 1 年生 : p<0.01, 小学 5 年生 : p<0.01, 中学 2 年生 : p<0.01

【保護者】 Q16② 気持ちを察して思いやってくれる人の有無

「小学1年生-困窮層」では、「いる」が77.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「わからない」が11.7%となっている。「小学1年生-非困窮層」では、「いる」が87.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「わからない」が6.9%となっている。「小学5年生-困窮層」では、「いる」が75.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「いない」が12.9%となっている。「小学5年生-非困窮層」では、「いる」が84.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「いない」が7.6%となっている。「中学2年生-困窮層」では、「いる」が74.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「わからない」が13.2%となっている。「中学2年生-非困窮層」では、「いる」が83.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「いない」が8.1%となっている。

図 115 【保護者】 Q16② 気持ちを察して思いやってくれる人の有無

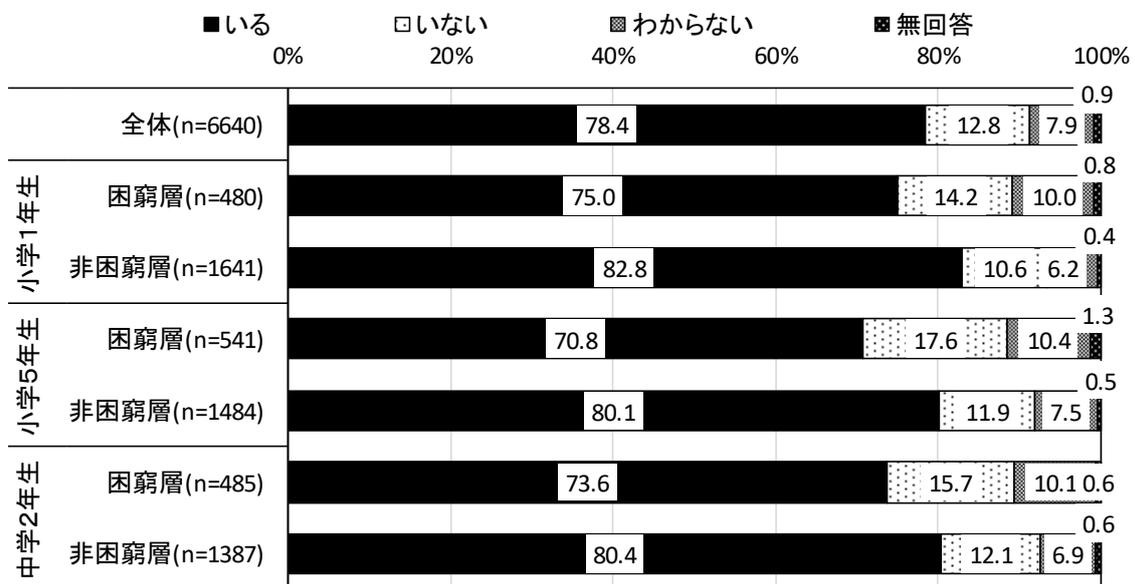


※小学1年生：p<0.01, 小学5年生：p<0.01, 中学2年生：p<0.01

【保護者】 Q16③ 趣味や興味のあることを一緒に話して気分転換させてくれる人の有無

「小学 1 年生-困窮層」では、「いる」が 75.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「いない」が 14.2%となっている。「小学 1 年生-非困窮層」では、「いる」が 82.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「いない」が 10.6%となっている。「小学 5 年生-困窮層」では、「いる」が 70.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「いない」が 17.6%となっている。「小学 5 年生-非困窮層」では、「いる」が 80.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「いない」が 11.9%となっている。「中学 2 年生-困窮層」では、「いる」が 73.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「いない」が 15.7%となっている。「中学 2 年生-非困窮層」では、「いる」が 80.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「いない」が 12.1%となっている。

図 116 【保護者】 Q16③ 趣味や興味のあることを一緒に話して気分転換させてくれる人の有無

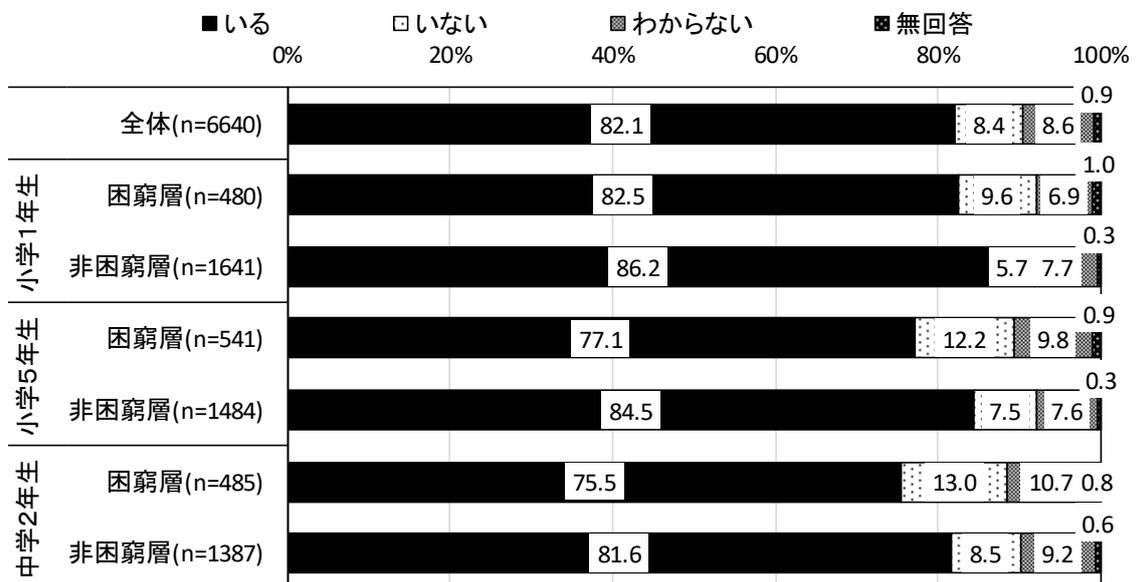


※小学 1 年生 : p<0.01, 小学 5 年生 : p<0.01, 中学 2 年生 : p<0.01

【保護者】 Q16④ 子どもとの関わりについて適切な助言をしてくれる人の有無

「小学 1 年生-困窮層」では、「いる」が 82.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「いない」が 9.6%となっている。「小学 1 年生-非困窮層」では、「いる」が 86.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「わからない」が 7.7%となっている。「小学 5 年生-困窮層」では、「いる」が 77.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「いない」が 12.2%となっている。「小学 5 年生-非困窮層」では、「いる」が 84.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「わからない」が 7.6%となっている。「中学 2 年生-困窮層」では、「いる」が 75.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「いない」が 13.0%となっている。「中学 2 年生-非困窮層」では、「いる」が 81.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「わからない」が 9.2%となっている。

図 117 【保護者】 Q16④ 子どもとの関わりについて適切な助言をしてくれる人の有無

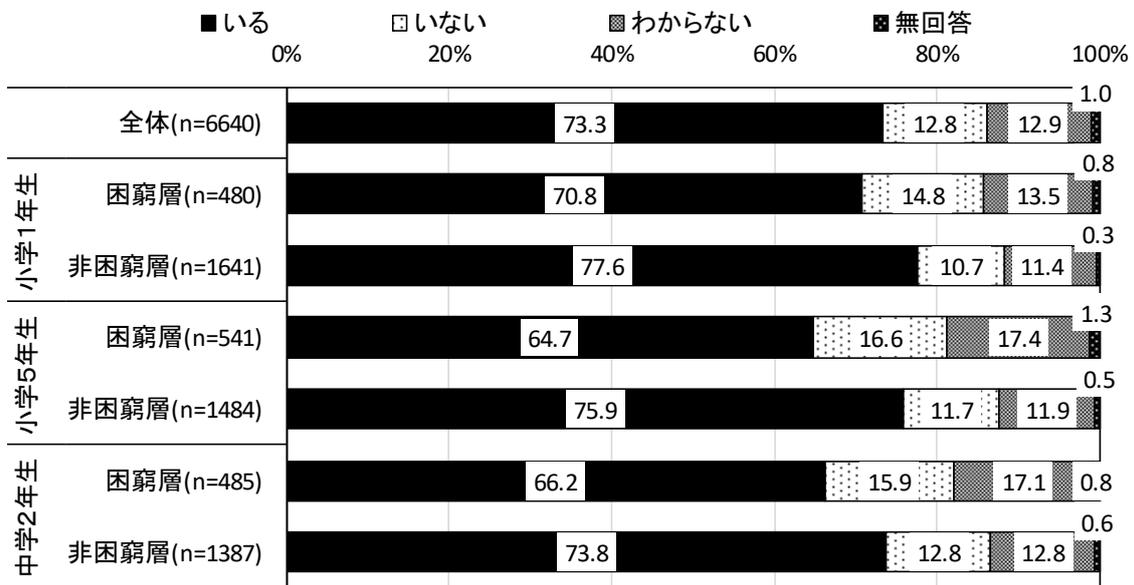


※小学 1 年生 : p<0.01, 小学 5 年生 : p<0.01, 中学 2 年生 : p<0.01

【保護者】 Q16⑤ 子どもの学びや遊びをゆたかにする情報を教えてくれる人の有無

「小学 1 年生・困窮層」では、「いる」が 70.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「いない」が 14.8%となっている。「小学 1 年生・非困窮層」では、「いる」が 77.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「わからない」が 11.4%となっている。「小学 5 年生・困窮層」では、「いる」が 64.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「わからない」が 17.4%となっている。「小学 5 年生・非困窮層」では、「いる」が 75.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「わからない」が 11.9%となっている。「中学 2 年生・困窮層」では、「いる」が 66.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「わからない」が 17.1%となっている。「中学 2 年生・非困窮層」では、「いる」が 73.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「いない」、「わからない」が 12.8%となっている。

図 118 【保護者】 Q16⑤ 子どもの学びや遊びをゆたかにする情報を教えてくれる人の有無

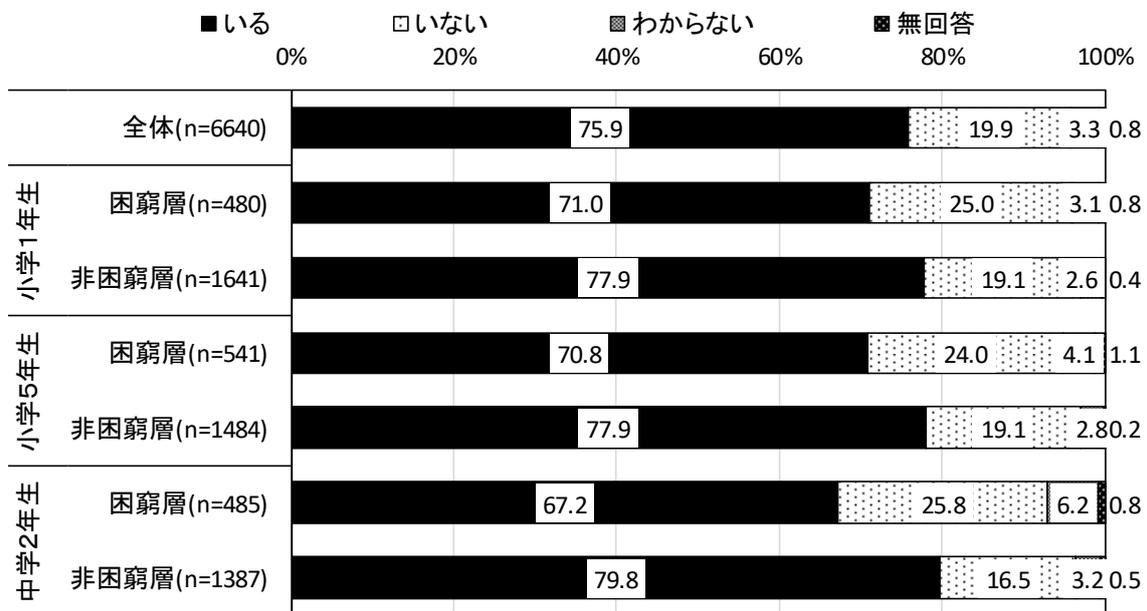


※小学 1 年生 : p<0.05, 小学 5 年生 : p<0.01, 中学 2 年生 : p<0.01

【保護者】 Q16⑥ 子どもの体調が悪いとき医療機関に連れて行ってくれる人の有無

「小学 1 年生-困窮層」では、「いる」が 71.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「いない」が 25.0%となっている。「小学 1 年生-非困窮層」では、「いる」が 77.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「いない」が 19.1%となっている。「小学 5 年生-困窮層」では、「いる」が 70.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「いない」が 24.0%となっている。「小学 5 年生-非困窮層」では、「いる」が 77.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「いない」が 19.1%となっている。「中学 2 年生-困窮層」では、「いる」が 67.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「いない」が 25.8%となっている。「中学 2 年生-非困窮層」では、「いる」が 79.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「いない」が 16.5%となっている。

図 119 【保護者】 Q16⑥ 子どもの体調が悪いとき医療機関に連れて行ってくれる人の有無

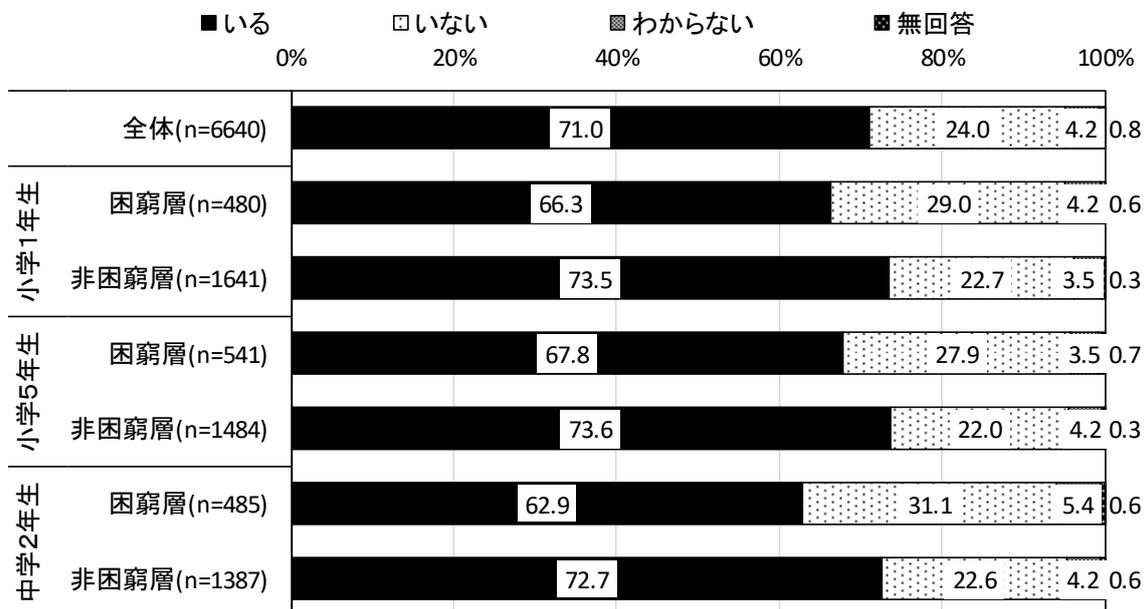


※小学 1 年生 : $p < 0.05$, 小学 5 年生 : $p < 0.01$, 中学 2 年生 : $p < 0.01$

【保護者】 Q16⑦ 留守を頼める人

「小学 1 年生-困窮層」では、「いる」が 66.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「いない」が 29.0%となっている。「小学 1 年生-非困窮層」では、「いる」が 73.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「いない」が 22.7%となっている。「小学 5 年生-困窮層」では、「いる」が 67.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「いない」が 27.9%となっている。「小学 5 年生-非困窮層」では、「いる」が 73.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「いない」が 22.0%となっている。「中学 2 年生-困窮層」では、「いる」が 62.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「いない」が 31.1%となっている。「中学 2 年生-非困窮層」では、「いる」が 72.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「いない」が 22.6%となっている。

図 120 【保護者】 Q16⑦ 留守を頼める人



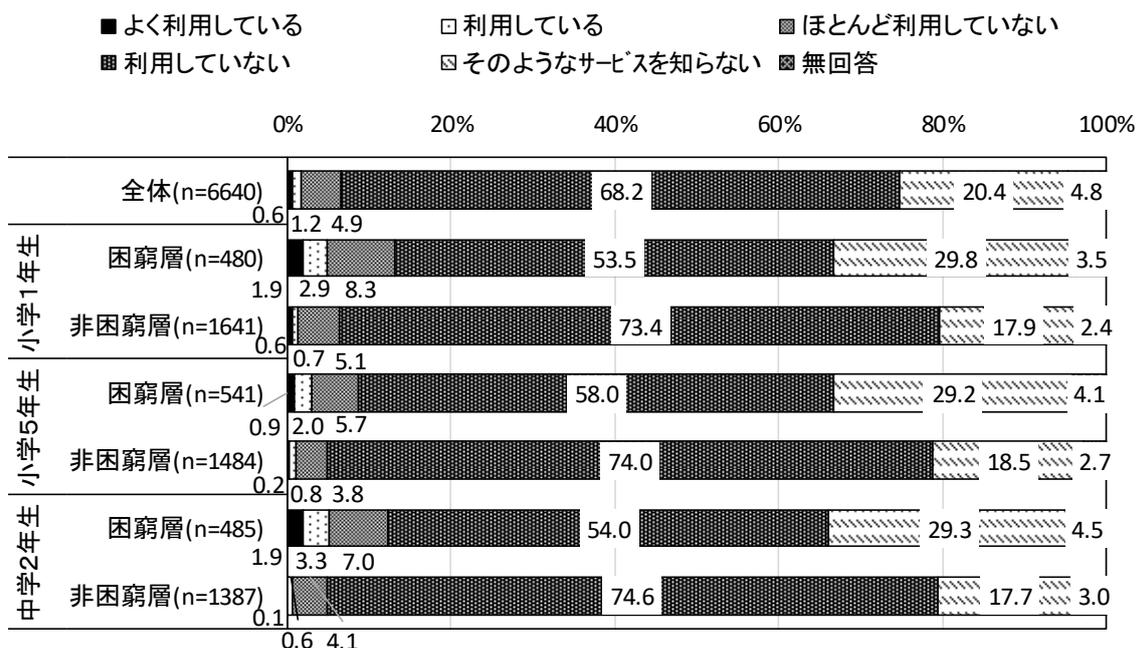
※小学 1 年生 : p<0.01, 小学 5 年生 : p<0.05, 中学 2 年生 : p<0.01

9.子育て支援の利用状況

【保護者】 Q33 市町村の支援員から支援を受けた経験の有無

「小学 1 年生-困窮層」では、「利用していない」が 53.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「そのようなサービスを知らない」が 29.8%となっている。「小学 1 年生-非困窮層」では、「利用していない」が 73.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「そのようなサービスを知らない」が 17.9%となっている。「小学 5 年生-困窮層」では、「利用していない」が 58.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「そのようなサービスを知らない」が 29.2%となっている。「小学 5 年生-非困窮層」では、「利用していない」が 74.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「そのようなサービスを知らない」が 18.5%となっている。「中学 2 年生-困窮層」では、「利用していない」が 54.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「そのようなサービスを知らない」が 29.3%となっている。「中学 2 年生-非困窮層」では、「利用していない」が 74.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「そのようなサービスを知らない」が 17.7%となっている。いずれの学年においても、困窮層で認知度が低くなっている。

図 121 【保護者】 Q33 市町村の支援員から支援を受けた経験の有無

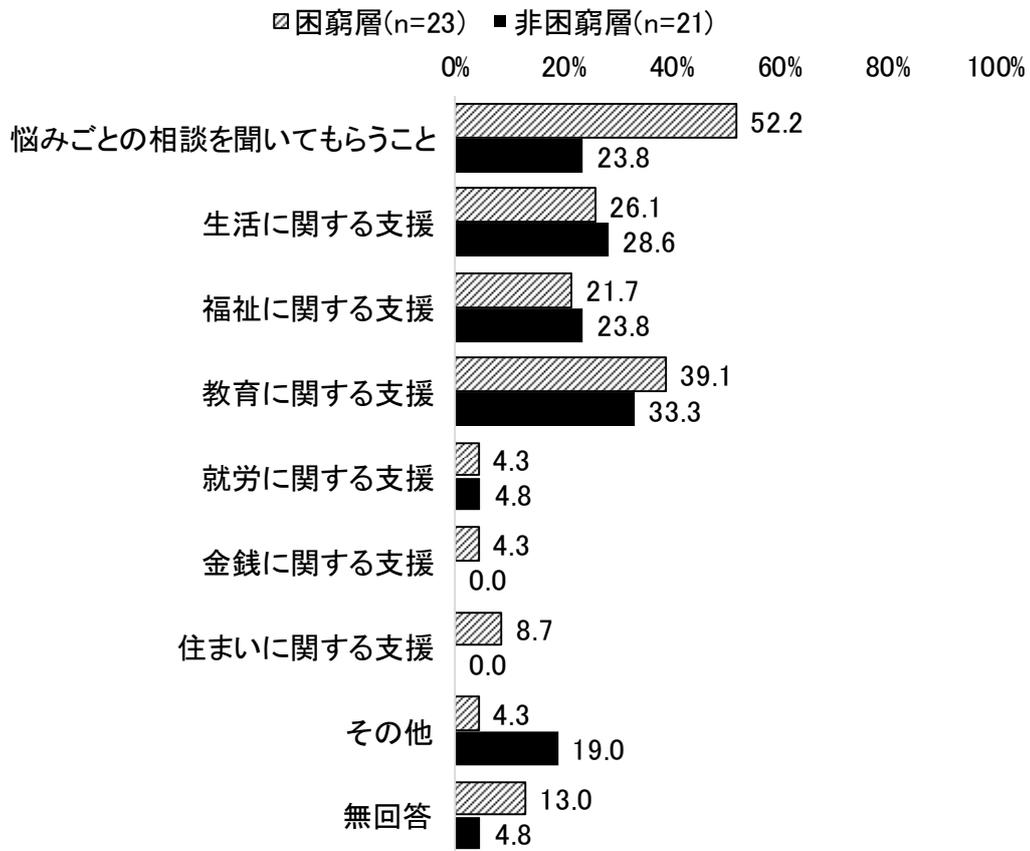


※小学 1 年生 : p<0.01, 小学 5 年生 : p<0.01, 中学 2 年生 : p<0.01

【保護者】 Q33-1 市町村の支援員から受けた支援の内容 （複数回答）

支援を受けた人について、受けた支援の内容をみると、「小学1年生-困窮層」では、「悩みごとの相談を聞いてもらうこと」が 52.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「教育に関する支援」が 39.1%となっている。「小学1年生-非困窮層」では、「教育に関する支援」が 33.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「生活に関する支援」が 28.6%となっている。n 値が少ないので留意が必要である。

図 122 【保護者】 Q33-1 市町村の支援員から受けた支援の内容(小学1年生)

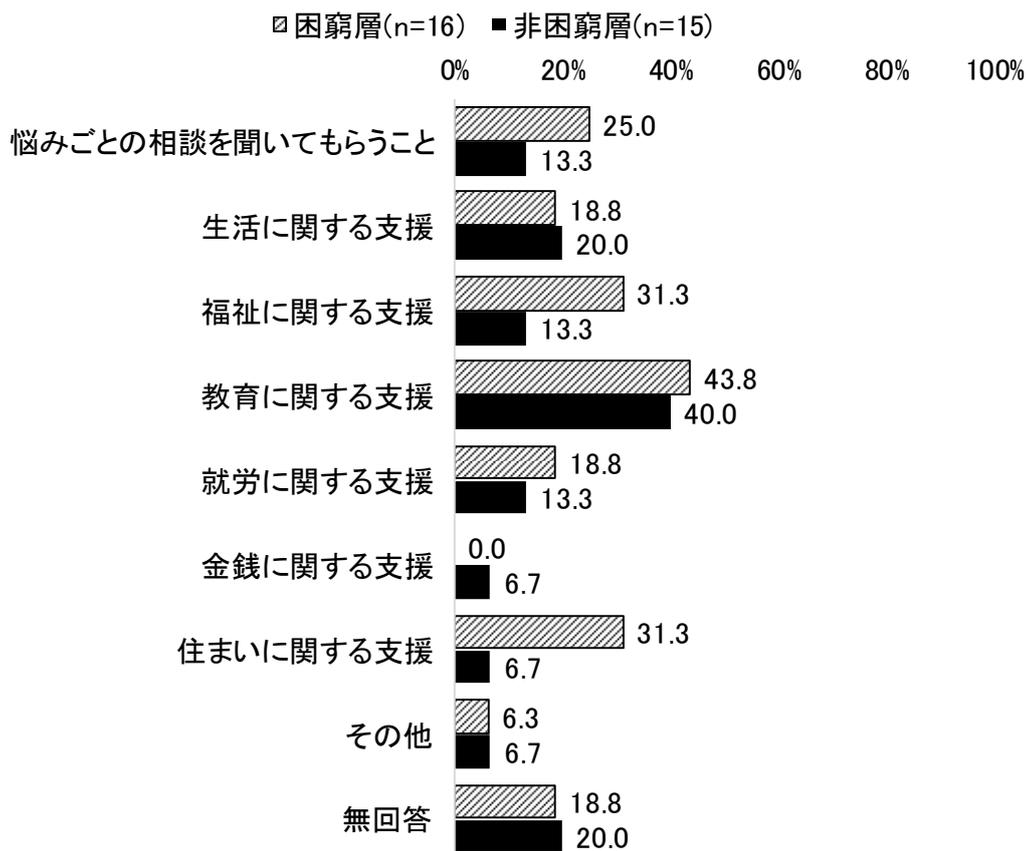


※悩みごとの相談を聞いてもらうこと：p<0.05

上記以外の項目：有意差なし

「小学5年生-困窮層」では、「教育に関する支援」が43.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「福祉に関する支援」と「住まいに関する支援」がそれぞれ31.3%となっている。「小学5年生-非困窮層」では、「教育に関する支援」が40.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「生活に関する支援」が20.0%となっている。n値が少ないので留意が必要である。

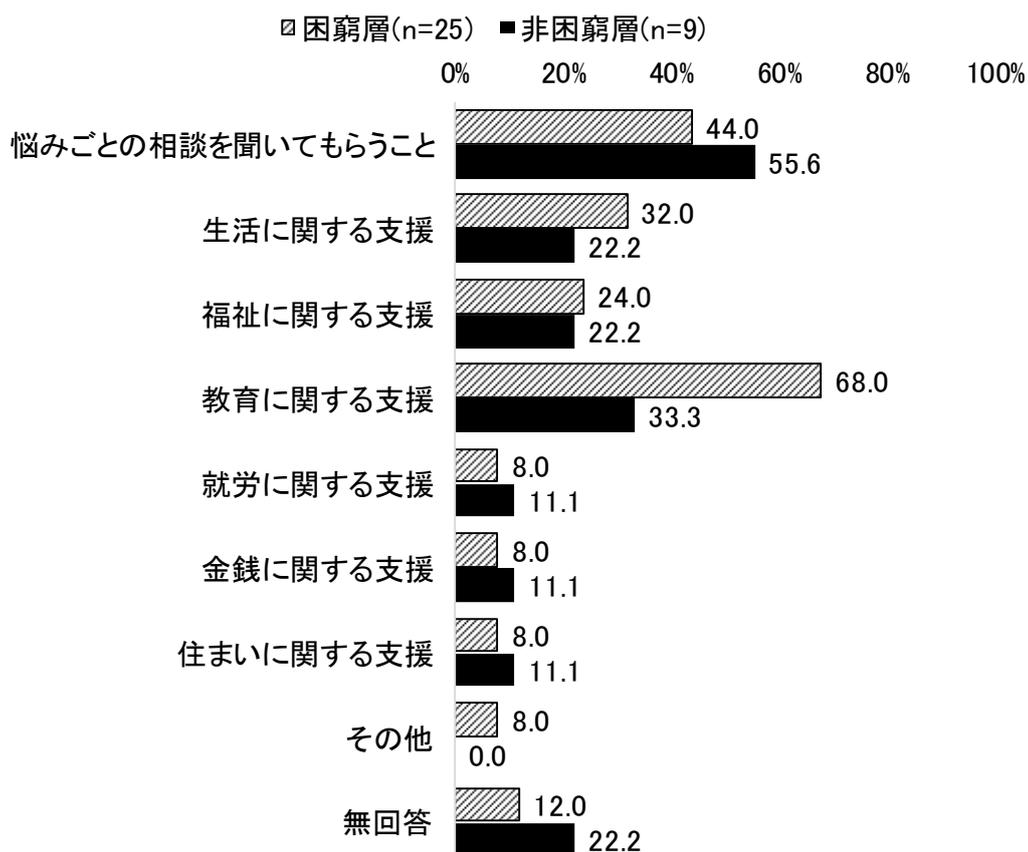
図 123 【保護者】 Q33-1 市町村の支援員から受けた支援の内容(小学5年生)



※いずれも有意差なし

「中学2年生-困窮層」では、「教育に関する支援」が68.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「悩みごとの相談を聞いてもらうこと」が44.0%となっている。「中学2年生-非困窮層」では、「悩みごとの相談を聞いてもらうこと」が55.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「教育に関する支援」が33.3%となっている。n値が少ないので留意が必要である。

図 124 【保護者】Q33-1 市町村の支援員から受けた支援の内容(中学2年生)

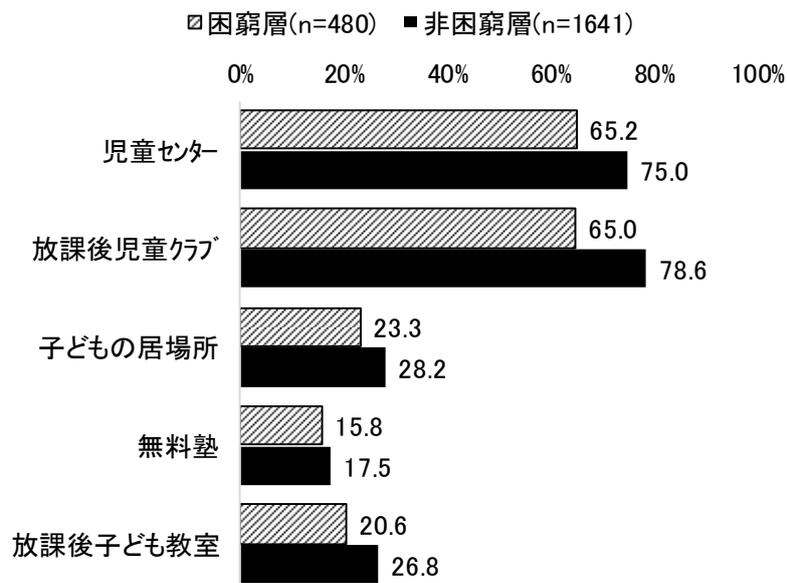


※いずれも有意差なし

【保護者】 Q34(1) 知っているもの (複数回答)

「小学1年生・困窮層」では、「児童センター」が65.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「放課後児童クラブ」が65.0%となっている。「小学1年生・非困窮層」では、「放課後児童クラブ」が78.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「児童センター」が75.0%となっている。

図 125 【保護者】 Q34(1) 知っているもの(小学1年生)



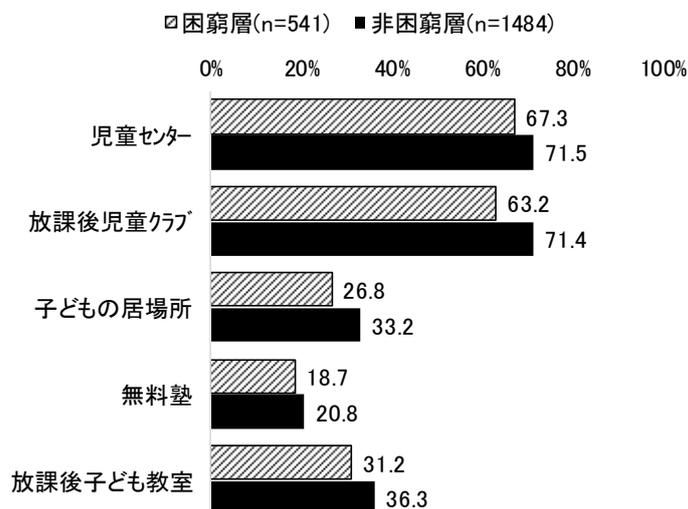
※放課後子ども教室：p<0.01

児童センター：p<0.05

上記以外の項目：有意差なし

「小学5年生-困窮層」では、「児童センター」が67.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「放課後児童クラブ」が63.2%となっている。「小学5年生-非困窮層」では、「児童センター」が71.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「放課後児童クラブ」が71.4%となっている。

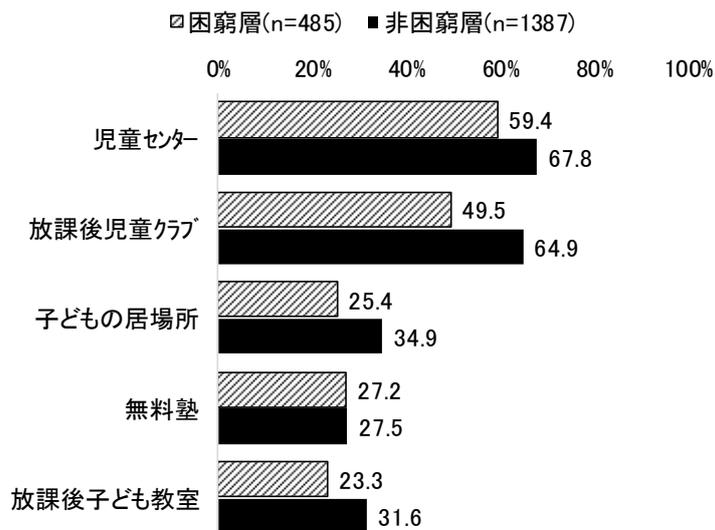
図 126 【保護者】 Q34(1) 知っているもの(小学5年生)



※いずれも有意差なし

「中学2年生-困窮層」では、「児童センター」が59.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「放課後児童クラブ」が49.5%となっている。「中学2年生-非困窮層」では、「児童センター」が67.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「放課後児童クラブ」が64.9%となっている。

図 127 【保護者】 Q34(1) 知っているもの(中学2年生)

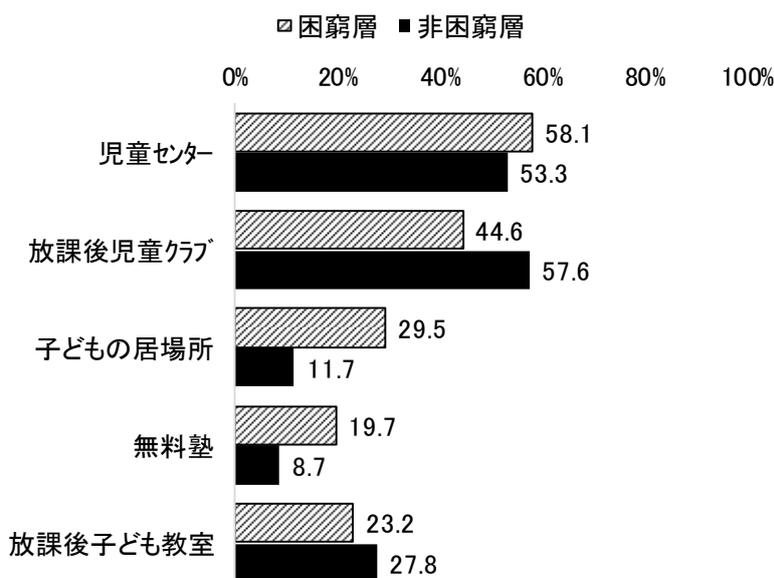


※放課後児童クラブ：p<0.01, 子どもの居場所・放課後子ども教室：p<0.05
上記以外の項目：有意差なし

【保護者】 Q34(2) 利用したもの (複数回答)

知っているとは回答したもののうち、利用したものをみると、「小学1年生-困窮層」では、「児童センター」が58.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「放課後児童クラブ」が44.6%となっている。「小学1年生-非困窮層」では、「放課後児童クラブ」が57.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「児童センター」が53.3%となっている。

図 128 【保護者】 Q34(2) 利用したもの(小学1年生)



※放課後児童クラブ、子どもの居場所、無料塾：p<0.01

児童センター：p<0.05

放課後子ども教室：有意差なし

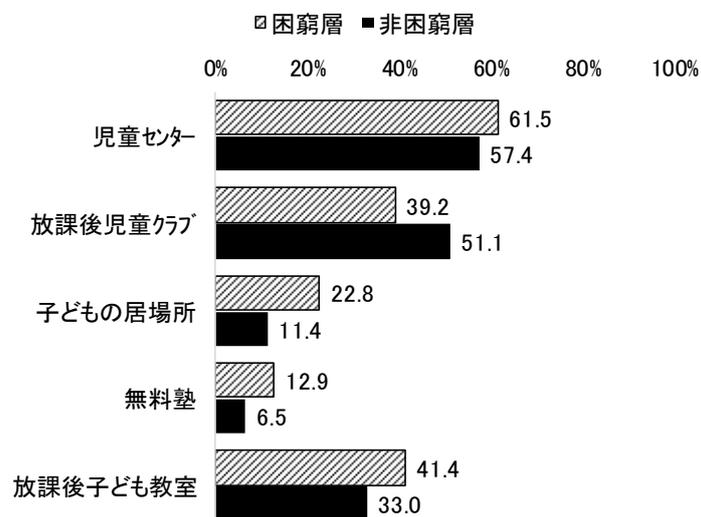
<N表>

		児童センター	放課後児童クラブ	子どもの居場所	無料塾	放課後子ども教室
小学1年生	困窮層	313	312	112	76	99
	非困窮層	1230	1290	462	287	439
小学5年生	困窮層	364	342	145	101	169
	非困窮層	1061	1060	492	309	539
中学2年生	困窮層	288	240	123	132	113
	非困窮層	941	900	484	382	438

※「知っている」と回答した項目について聞いているため、項目によってN数が異なる

「小学5年生-困窮層」では、「児童センター」が61.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「放課後子ども教室」が41.4%となっている。「小学5年生-非困窮層」では、「児童センター」が57.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「放課後児童クラブ」が51.1%となっている。

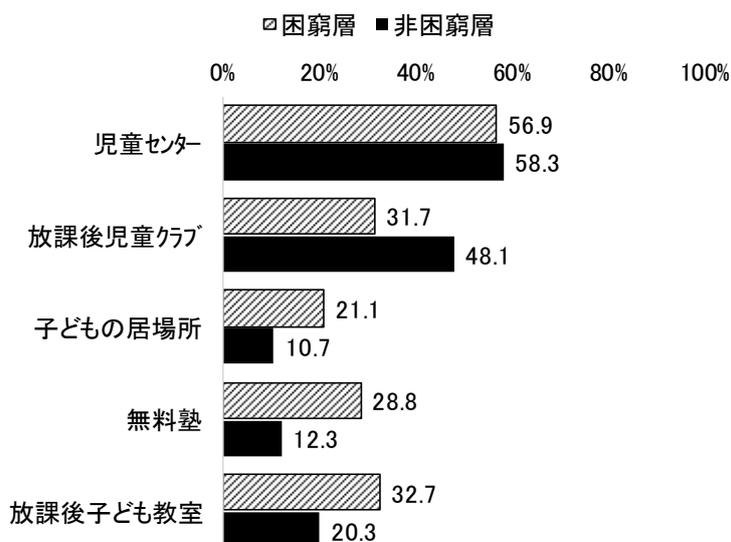
図 129 【保護者】 Q34(2) 利用したもの(小学5年生)



※放課後児童クラブ、子どもの居場所： $p < 0.01$ 、無料塾、放課後子ども教室： $p < 0.05$
児童センター：有意差なし

「中学2年生-困窮層」では、「児童センター」が56.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「放課後子ども教室」が32.7%となっている。「中学2年生-非困窮層」では、「児童センター」が58.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「放課後児童クラブ」が48.1%となっている。

図 130 【保護者】 Q34(2) 利用したもの(中学2年生)

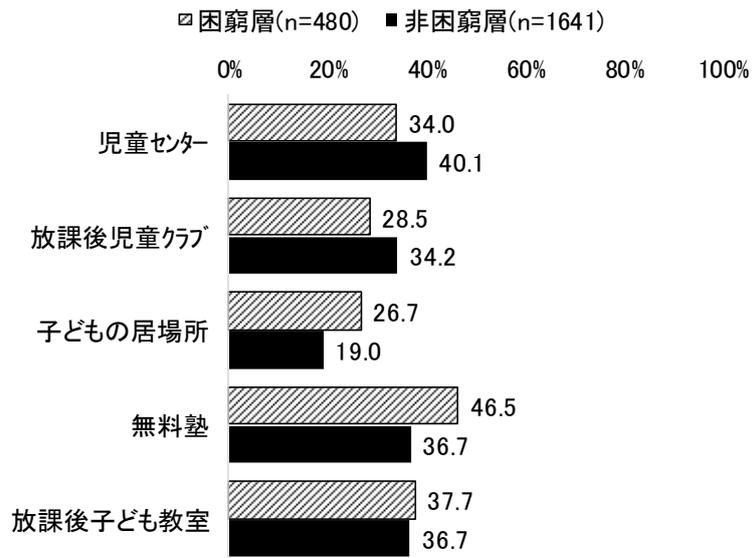


※児童センター：有意差なし、上記以外の項目： $p < 0.01$

【保護者】 Q34(3)ア 今後利用したいもの (複数回答)

「小学1年生・困窮層」では、「無料塾」が46.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「放課後子ども教室」が37.7%となっている。「小学1年生・非困窮層」では、「児童センター」が40.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「無料塾」と「放課後子ども教室」が36.7%となっている。

図 131 【保護者】 Q34(3) 今後利用したいもの(小学1年生)



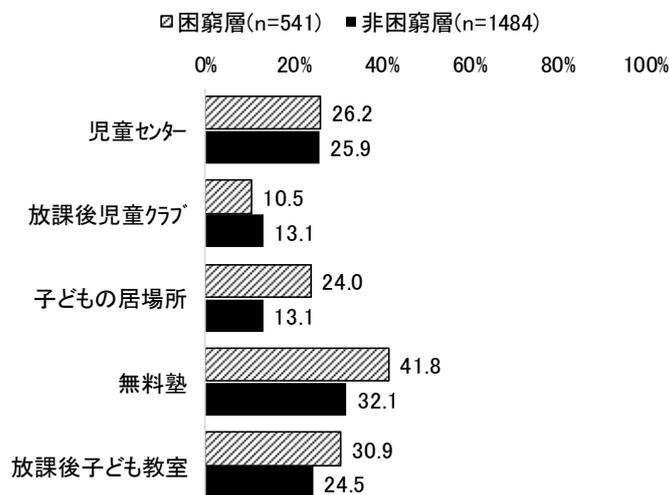
※子どもの居場所、無料塾：p<0.01

放課後子ども教室：p<0.05

児童センター、放課後児童クラブ：有意差なし

「小学5年生-困窮層」では、「無料塾」が41.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「放課後子ども教室」が30.9%となっている。「小学5年生-非困窮層」では、「無料塾」が32.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「児童センター」が25.9%となっている。

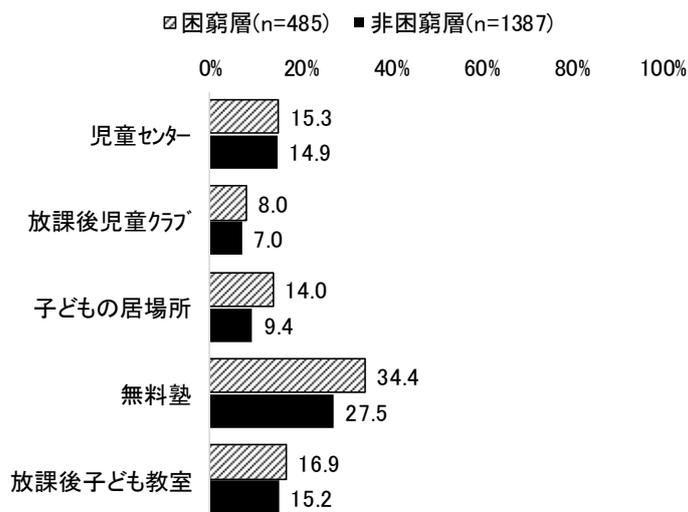
図 132 【保護者】 Q34(3) 今後利用したいもの(小学5年生)



※子どもの居場所、無料塾、放課後子ども教室：p<0.01, 児童センター：p<0.05
放課後児童クラブ：有意差なし

「中学2年生-困窮層」では、「無料塾」が34.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「放課後子ども教室」が16.9%となっている。「中学2年生-非困窮層」では、「無料塾」が27.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「放課後子ども教室」が15.2%となっている。

図 133 【保護者】 Q34(3) 今後利用したいもの(中学2年生)

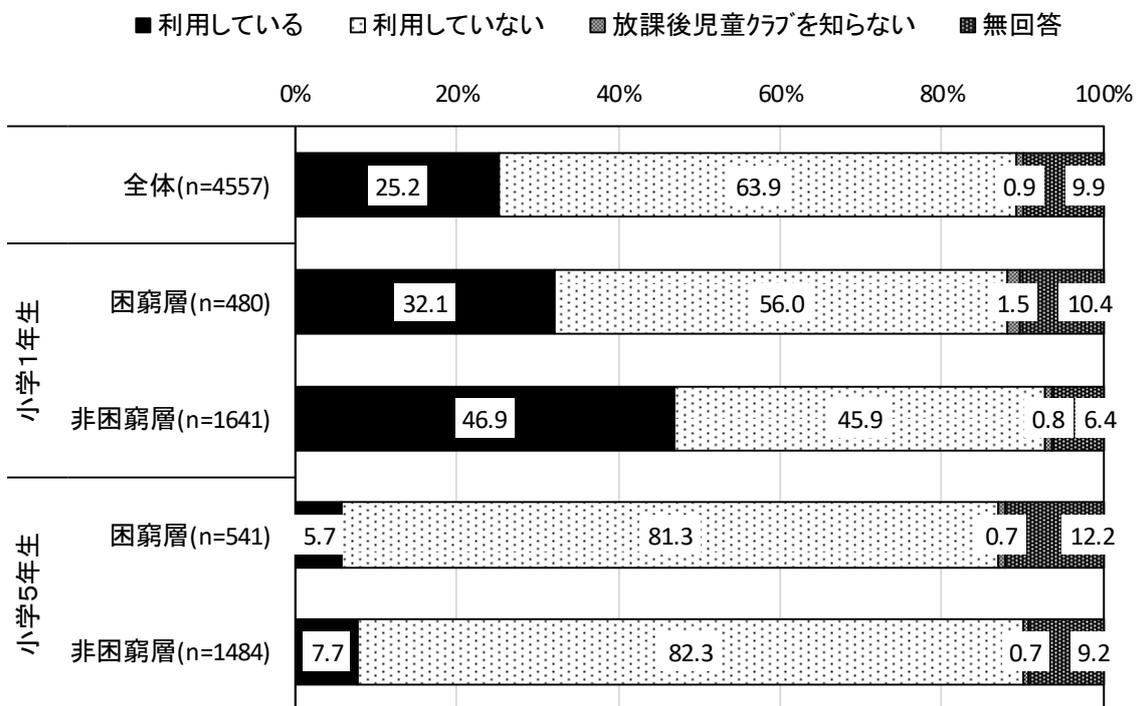


※子どもの居場所、無料塾：p<0.01, 放課後子ども教室：p<0.05
児童センター、放課後児童クラブ：有意差なし

【保護者】 Q35 放課後児童クラブの利用状況

「小学 1 年生-困窮層」では、「利用していない」が 56.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「利用している」が 32.1%となっている。「小学 1 年生-非困窮層」では、「利用している」が 46.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「利用していない」が 45.9%となっている。「小学 5 年生-困窮層」では、「利用していない」が 81.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「利用している」が 5.7%となっている。「小学 5 年生-非困窮層」では、「利用していない」が 82.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「利用している」が 7.7%となっている。

図 134 【保護者】 Q35 放課後児童クラブの利用状況

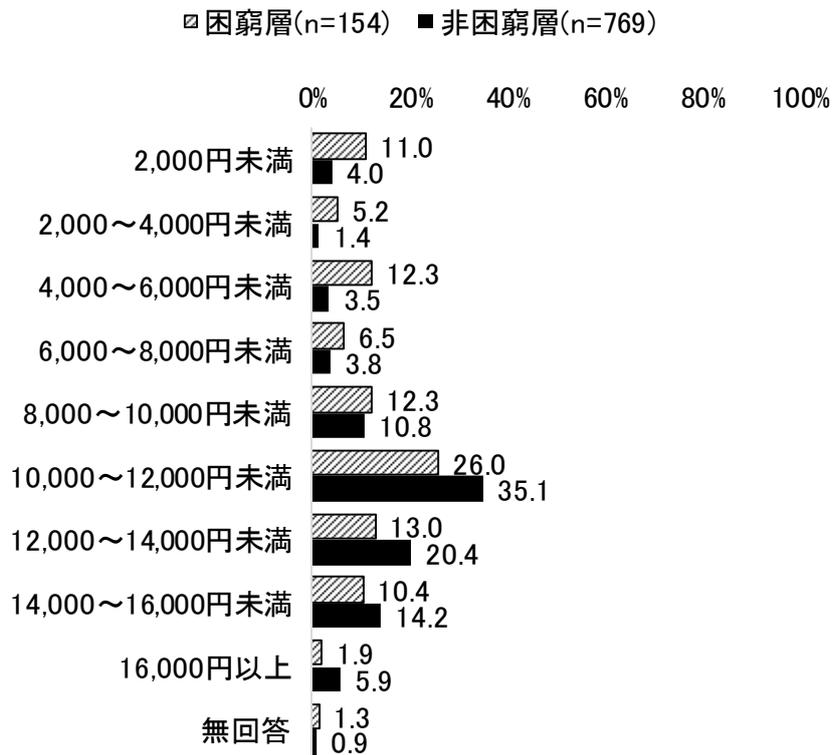


※小学 1 年生 : $p < 0.01$, 小学 5 年生 : 有意差なし

【保護者】 Q35-1① 放課後児童クラブのひと月あたりの利用料

「小学1年生-困窮層」では、「10,000~12,000円未満」が26.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「12,000~14,000円未満」が13.0%となっている。「小学1年生-非困窮層」では、「10,000~12,000円未満」が35.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「12,000~14,000円未満」が20.4%となっている。

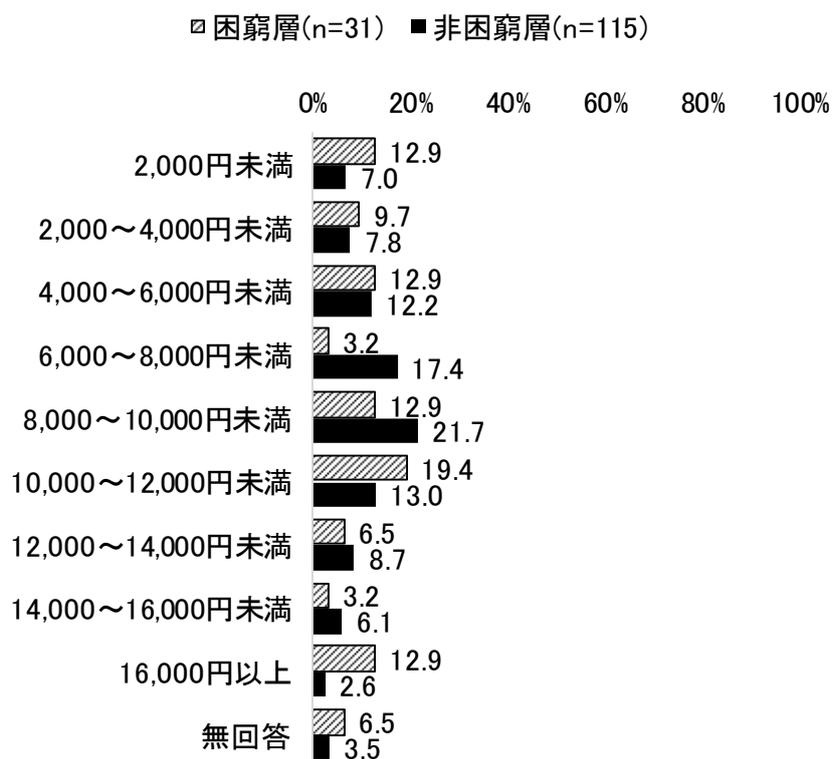
図 135 【保護者】 Q35-1① 放課後児童クラブのひと月あたりの利用料(小学1年生)



※p<0.01

「小学5年生-困窮層」では、「10,000~12,000円未満」が19.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「2,000円未満」「4,000~6,000円未満」「8,000~10,000円未満」「16,000円以上」がそれぞれ12.9%となっている。「小学5年生-非困窮層」では、「8,000~10,000円未満」が21.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「6,000~8,000円未満」が17.4%となっている。n値が少ないので留意が必要である。

図 136 【保護者】 Q35-1① 放課後児童クラブのひと月あたりの利用料(小学5年生)

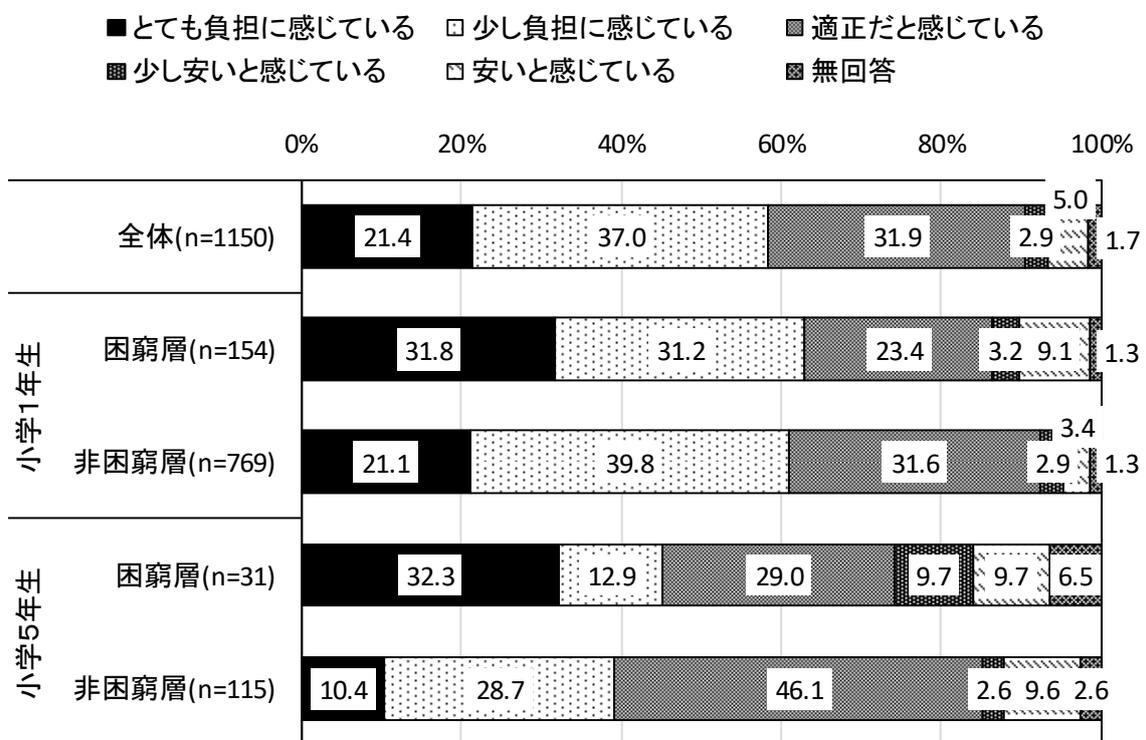


※有意差なし

【保護者】 Q35-1② 放課後児童クラブの利用料に対する負担感

「小学1年生-困窮層」では、「とても負担に感じている」が31.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「少し負担に感じている」が31.2%となっている。「小学1年生-非困窮層」では、「少し負担に感じている」が39.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「適正だと感じている」が31.6%となっている。「小学5年生-困窮層」では、「とても負担に感じている」が32.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「適正だと感じている」が29.0%となっている。「小学5年生-非困窮層」では、「適正だと感じている」が46.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「少し負担に感じている」が28.7%となっている。

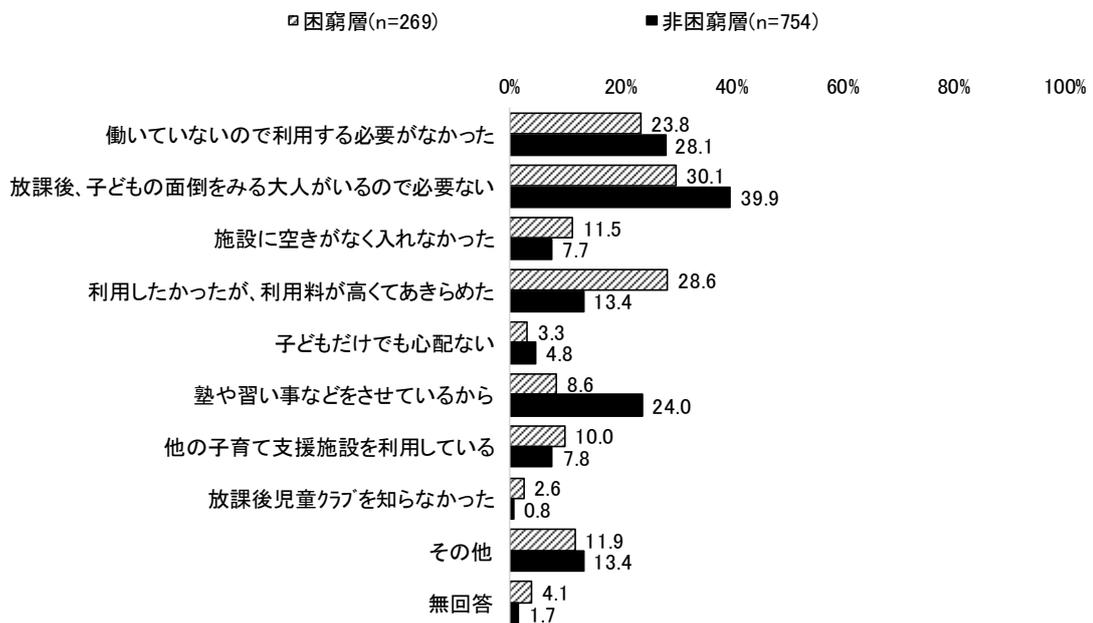
図 137 【保護者】 Q35-1② 放課後児童クラブの利用料に対する負担感



【保護者】 Q36 学童保育を利用していない理由 (複数回答)

「小学1年生-困窮層」では、「放課後、子どもの面倒をみる大人がいるので必要ない」が30.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「利用したかったが、利用料が高くてあきらめた」が28.6%となっている。「小学1年生-非困窮層」では、「放課後、子どもの面倒をみる大人がいるので必要ない」が39.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「働いていないので利用する必要がなかった」が28.1%となっている。

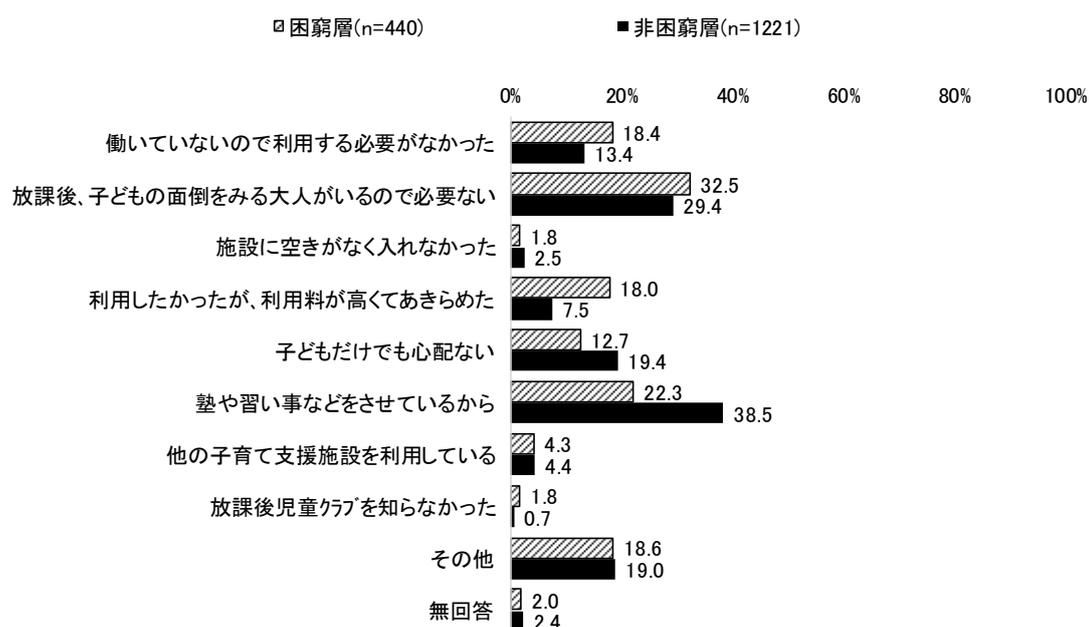
図 138 【保護者】 Q36 学童保育を利用していない理由(小学1年生)



※放課後、子どもの面倒をみる大人がいるので必要ない／利用したかったが、利用料が高くてあきらめた／塾や習い事などをさせているから：p<0.01
 施設に空きがなく入れなかった／放課後児童クラブを知らなかった：p<0.05
 上記以外の項目：有意差なし

「小学5年生-困窮層」では、「放課後、子どもの面倒をみる大人がいるので必要ない」が32.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「塾や習い事などをさせているから」が22.3%となっている。「小学5年生-非困窮層」では、「塾や習い事などをさせているから」が38.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「放課後、子どもの面倒をみる大人がいるので必要ない」が29.4%となっている。

図 139 【保護者】 Q36 学童保育を利用していない理由(小学5年生)



※放課後、子どもの面倒をみる大人がいるので必要ない／利用したかったが、利用料が高くてあきらめた／塾や習い事などをさせているから：p<0.01

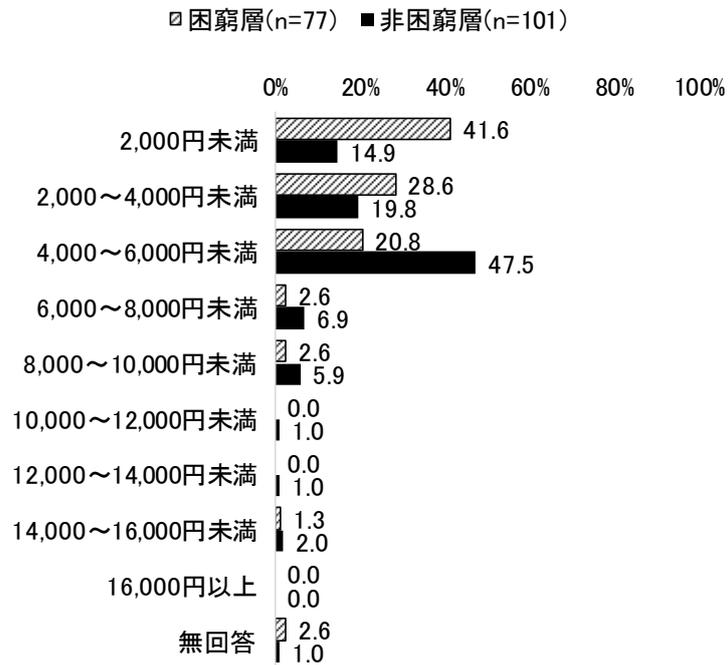
働いていないので利用する必要がなかった／放課後児童クラブを知らなかった：p<0.05

上記以外の項目：有意差なし

【保護者】 Q36-1 学童保育を利用できると思う金額

「小学 1 年生・困窮層」では、「2,000 円未満」が 41.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「2,000~4,000 円未満」が 28.6%となっている。「小学 1 年生・非困窮層」では、「4,000~6,000 円未満」が 47.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「2,000~4,000 円未満」が 19.8%となっている。n 値が少ないので留意が必要である。

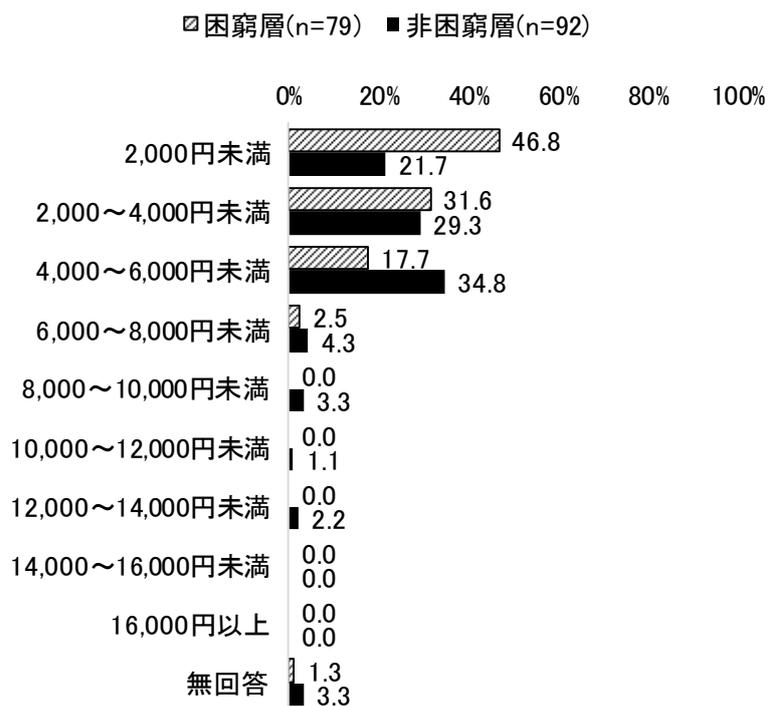
図 140 【保護者】 Q36-1 学童保育を利用できると思う金額(小学 1 年生)



※検定不可

「小学 5 年生-困窮層」では、「2,000 円未満」が 46.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「2,000~4,000 円未満」が 31.6%となっている。「小学 5 年生-非困窮層」では、「4,000~6,000 円未満」が 34.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「2,000~4,000 円未満」が 29.3%となっている。n 値が少ないので留意が必要である。

図 141 【保護者】 Q36-1 学童保育を利用できると思う金額(小学 5 年生)



※検定不可

10.保護者に関する分析まとめ

① 基本情報

- ・調査票を受け取った子どもの学年をみると、「小学1年生」が35.0%、「小学5年生」が33.7%、「中学2年生」が31.2%となっている。(P4)
- ・回答者の子どもからみた続柄は、いずれの学年も「お母さん」が9割弱を占める。世帯類型は「二親世帯」が約80.0%となっているが、学年が上がるにつれ「母子世帯」の割合が増加している。(P5,7)

② 経済状況

- ・世帯収入は、いずれの学年も「200~300万」がもっとも回答割合が高く、学年による世帯収入の差はみられない。等価可処分所得の分布をみると、122万円未満の困窮層が全体で25.0%、122万円以上の非困窮層が75.0%となっている。(P8,12)
- ・前年の家計の状況は、いずれの学年においても困窮層の約50.0%が「赤字である」、子どもの将来のための貯蓄は困窮層の約70.0%が「貯蓄をしたいが、できていない」と回答している。(P26,28)
- ・経済的な理由で経験したこととして、いずれの学生も困窮層の約50.0~60.0%が「食費を切りつめた」と回答しているほか、約45.0~50.0%が「生活の見通しが立たなくて不安になったことがある」をあげており、厳しい経済状況がうかがえる。(P29,30,31)

③ 制度の利用状況

- ・就学援助制度の利用状況は、いずれの学年も困窮層で約50.0%となっている。就学援助で学校の経費をカバーできている割合は約50.0~60.0%となっている。認知経路は、「学校からの通知」が約80.0%となっている。(P47,48,49,50)
- ・就学援助制度を申請しなかった理由として、困窮層でも約40.0%が「申請しなかった(必要ないため)」となっているほか、「就学援助制度を知らなかったため」が約3.0~10.0%となっている。(P51)

④ 世帯の状況

- ・母親の現在の仕事の状況は、非困窮層に比べて困窮層で「働いていない」「パート・アルバイト」の割合が高くなっている。また、困窮層ほど働いている日数が長い、1日あたりの労働時間は短い傾向がある。(P55,58,59)
- ・父親の現在の仕事の状況は、非困窮層に比べて困窮層で「自営」の割合が高く、「正規の職員・従業員」の割合が低くなっている。また、母親と同様、困窮層ほど働いている日数が長い、1日あたりの労働時間は短い傾向がある。(P62,65,66)
- ・母親・父親の学歴は、非困窮層に比べて困窮層で「中学校」「高校」の割合が高く、「各種専門

学校」「短大・高専」「大学・大学院」の割合が低くなっている。(P76,77)

⑤ 健康

- ・回答者および回答者の子どもの健康状態をみると、非困窮層に比べて困窮層では「良い」とする割合が低くなっている。(P78,79)
- ・過去1年間に子どもを受診させなかった経験は、非困窮層で約20.0%、困窮層では約30.0%となっている。受診させなかった理由をみると、非困窮層では「忙しくて、医療機関につれていく時間がなかったため」「子どもの様子を見て、受診させなくてもよいと判断したため」がいずれの学年においても困窮層より高い一方、困窮層では「医療機関での自己負担金を支払うことができなかったため」とする割合が20.0~30.0%にのぼり、非困窮層よりも高くなっている。(P88,89,90,91)

⑥ 家庭生活

- ・子どもとの関係について、「小さいころ絵本の読み聞かせをした」「一緒に図書館に行く」について「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」をあわせた割合は、非困窮層よりも困窮層で低く、小学1年生ではそれぞれ10.5ポイント、14.0ポイントの差がある。(P95,96)
- ・子育ての気持ちについて、「子どもを育てるために我慢している」「自分一人で育てているという圧迫感を感じる」について「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」をあわせた割合は、非困窮層よりも困窮層で高くなっている。(P100,101)

⑦ 学習・進路

- ・クラブ活動や部活動へ参加している割合は、中学2年生において非困窮層よりも困窮層で10.0ポイントほど低くなっている。(P103)
- ・習い事の実施状況についても、いずれの学年も非困窮層よりも困窮層で低く、小学1年生で約26.0ポイント、小学5年生では約20.0ポイント、中学2年生では約15.0ポイントの差がある。(P104)
- ・理想の進路を「大学まで」とする割合は、いずれの学年も非困窮層では約65.0%であるのに対し、困窮層では約40.0%と差がみられる。また、現実的な進路を「大学まで」とする割合は、非困窮層では約50.0%、困窮層では約20.0%と大きな差がある。(P105,106)

⑧ 地域や友人とのつながり

- ・「心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人」「気持ちを察して思いやってくれる人」など、サポートをしてくれる人がいるとする割合は、非困窮層よりも困窮層ほど低い傾向がみられ、社会的なサポートを得られる機会が少ないことがうかがえる。(P109,110)

⑨ 子育て支援の利用状況

- ・市町村の支援員について、困窮層では約 30.0%が「そのようなサービスを知らない」と回答しており、利用したことがあるという割合は 3.0~5.0%にとどまる。(P116)
- ・子どもの居場所や無料塾の利用率は、困窮層で 2~3 割となっている。(P122,123)
- ・放課後児童クラブを利用している割合は、小学 1 年生においては、困窮層で 32.1%、非困窮層で 46.9%となっており、14.8 ポイントの差がある。(P126)
- ・放課後児童クラブを利用していない理由をみると、困窮層では「利用しなかったが、利用料が高くてあきらめた」という割合が高くなっている。(P130,131)

<考察>

保護者票の分析を通じて、困窮層における生活の苦しさ、またそれが子どもの生活にまで影響を及ぼしていることがうかがえる。

まず、本調査において、厚生労働省の「平成 28 年国民生活基礎調査」にもとづく貧困線（等価可処分所得 122 万円）を下回る困窮層の割合は 25.0%であった。同調査によると、日本全体における困窮層の割合は 13.9%であることから、沖縄県では全国と比較して経済的に困窮している層が多い状況にあるといえる。

こうした困窮層について、保護者の就労状況をみたところ、母親は無職かパート・アルバイト、父親は自営である割合が高かった。また、非困窮層に比べて労働日数は多いが 1 日あたりの労働時間は短いという傾向もみられた。本調査では業種や職種の把握を行っていないためあくまで推測となるが、困窮層の場合、パートタイムや自営業など 1 日あたりの労働時間が短く収入も少ない仕事についているため、労働日数を増やすことで収入を確保している可能性がある。しかし、こうした働き方は十分な休暇を取得することが難しく、本人の健康状態に影響を及ぼすことも懸念される。実際に、保護者の健康状態をみたところ、非困窮層に比べて困窮層では「良い」とする割合が低くなっていた。また、抑うつ傾向も困窮層において高い傾向がみられた。

放課後児童クラブに関しては、沖縄県は民立民営が多く、学校施設などの公的施設活用率が低い。全国では、53.7%の放課後児童クラブが小学校内（余裕教室、敷地内専用施設）で実施されているが、沖縄県ではわずか 11.1%となっており、また利用料の違いも大きくなっている（8,000 円以上の割合：全国 25.2%、沖縄県 59.1%、最も多い層：全国 4,000~6,000 円未満、沖縄県 8,000~10,000 円未満）（平成 30 年度厚生労働省調査より）。学校等の公的施設の活用により、児童の安全性の確保、学校との連携強化、クラブの環境改善、利用料の低減等が期待できることから、公的施設の活用に向けた取り組み等が必要である。

子どもへの影響をみると、困窮層では絵本の読み聞かせや図書館に行くといった文化的な活動をする頻度が非困窮層よりも低く、子育てに対する負担感を強く感じていた。日々の生活への余裕のなさから、子育てに費やせる時間が短くなり、精神的な負担も高くなっていることが推測される。

また、子どもの進路について、困窮層では、理想的には大学まで行かせたいとする割合が高いが、現実的には高校までとする割合が高くなっている。これは、経済的な要因もさることながら、困窮層では保護者自身の学歴が中学・高校卒という割合が高く、高等教育への進学を現実的な選択肢としてとらえることが難しくなっている可能性も考えられる。子どもの高等教育への進学を促すような施策を充実させ、困窮層における高等教育への進学率を高めることで、こうした連鎖を断ち切っていく必要がある。

さらに、サポートをしてくれる人がいる割合は困窮層ほど低く、困難な状況にあるにもかかわらず社会的なサポートを受ける機会が少ないという状況がうかがえる。

一方で、市町村の支援員の利用率は3.0～5.0%、子どもの居場所や無料塾の利用率は2～3割という状況であり、今後こうした制度の認知度・利用率をいかにあげていくかが重要である。また、就学援助制度については、制度を知らなかったとの回答が平成27年調査と比べ減少してはいるものの、困窮層においても未だ存在することから、今後も制度の周知を図る必要がある。

第2章 子どもに関する分析

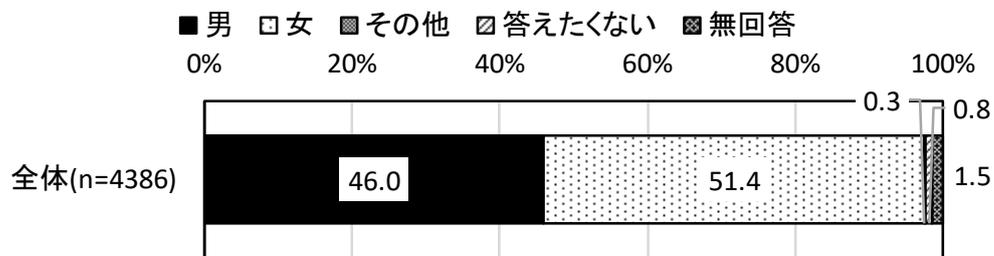
以下では、子ども票の結果について、学年別・困窮度別の状況をみていく。なお、困窮度については P12 を参照のこと。

1. 基本情報

【子ども】 Q1 性別

「男」が 46.0%、「女」が 51.4%、「その他」が 0.3%、「答えたくない」が 0.8%となっている。

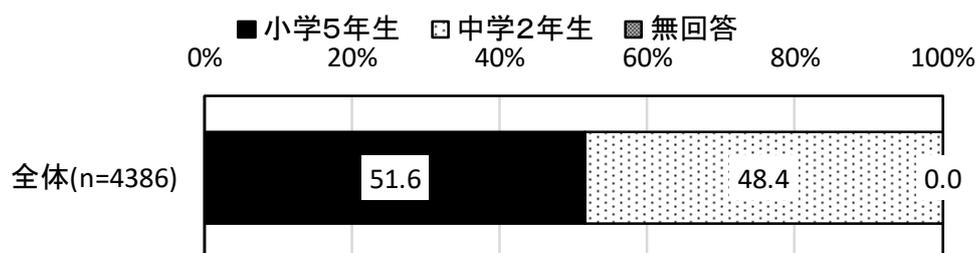
図 142 【子ども】 Q1 性別



【子ども】Q2 学年

「小学5年生」が 51.6%、「中学2年生」が 48.4%となっている。

図 143 【子ども】Q2 学年

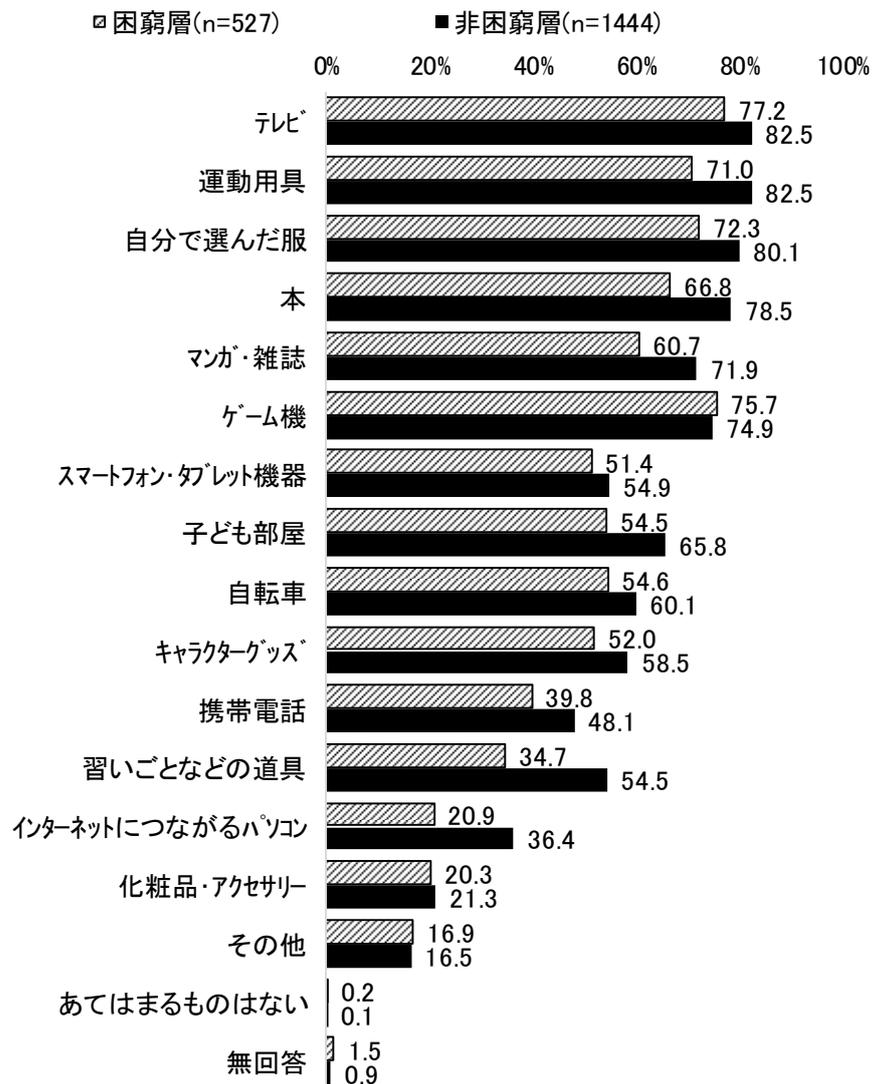


2.経済状況

【子ども】 Q3 持っているものや使うことができるもの (複数回答)

「小学5年生・困窮層」では、「テレビ」が77.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「ゲーム機」が75.7%となっている。「小学5年生・非困窮層」では、「テレビ」と「運動用具」が82.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「自分で選んだ服」が80.1%となっている。

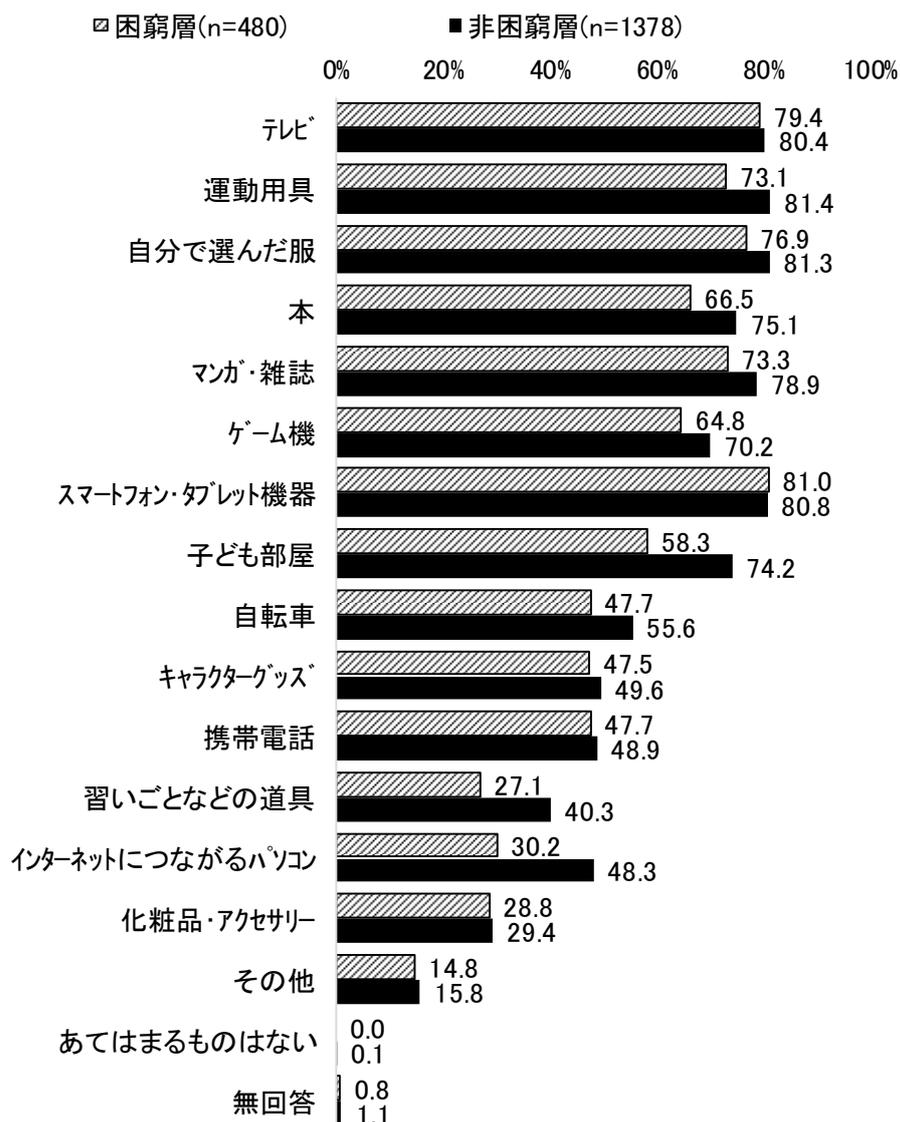
図 144 【子ども】 Q3 持っているものや使うことができるもの(小学5年生)



※運動用具、自分で選んだ服、本、マンガ・雑誌、子ども部屋、携帯電話、習いごとなどの道具、インターネットにつながるパソコン：p<0.01
 テレビ、自転車、キャラクターグッズ：p<0.05
 上記以外の項目：有意差なし

「中学2年生-困窮層」では、「スマートフォン・タブレット機器」が81.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「テレビ」が79.4%となっている。「中学2年生-非困窮層」では、「運動用具」が81.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「自分で選んだ服」が81.3%となっている。

図 145 【子ども】 Q3 持っているものや使うことができるもの(中学2年生)



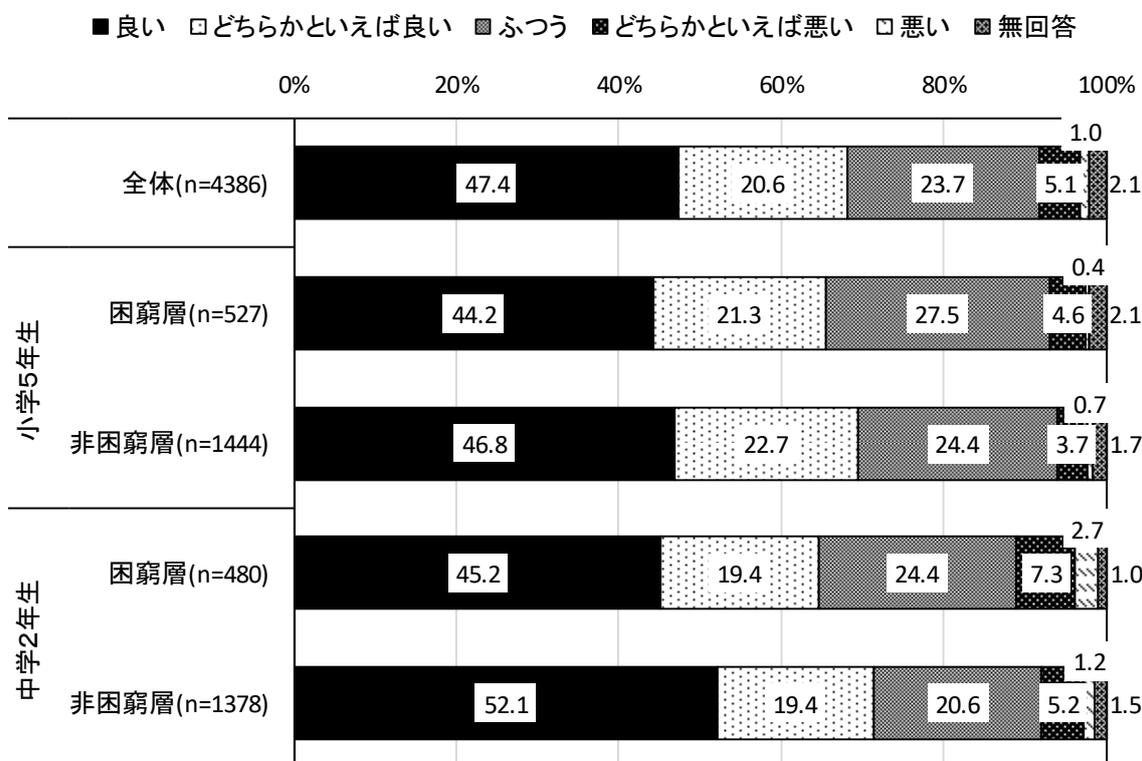
※運動用具、本、マンガ・雑誌、子ども部屋、自転車、習いごとなどの道具、インターネットにつながるパソコン：p<0.01
 自分で選んだ服、ゲーム機：p<0.05
 上記以外の項目：有意差なし

3.健康

【子ども】Q14 健康状態

「小学 5 年生・困窮層」では、「良い」が 44.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「ふつう」が 27.5%となっている。「小学 5 年生・非困窮層」では、「良い」が 46.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「ふつう」が 24.4%となっている。「中学 2 年生・困窮層」では、「良い」が 45.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「ふつう」が 24.4%となっている。「中学 2 年生・非困窮層」では、「良い」が 52.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「ふつう」が 20.6%となっている。

図 146 【子ども】Q14 健康状態

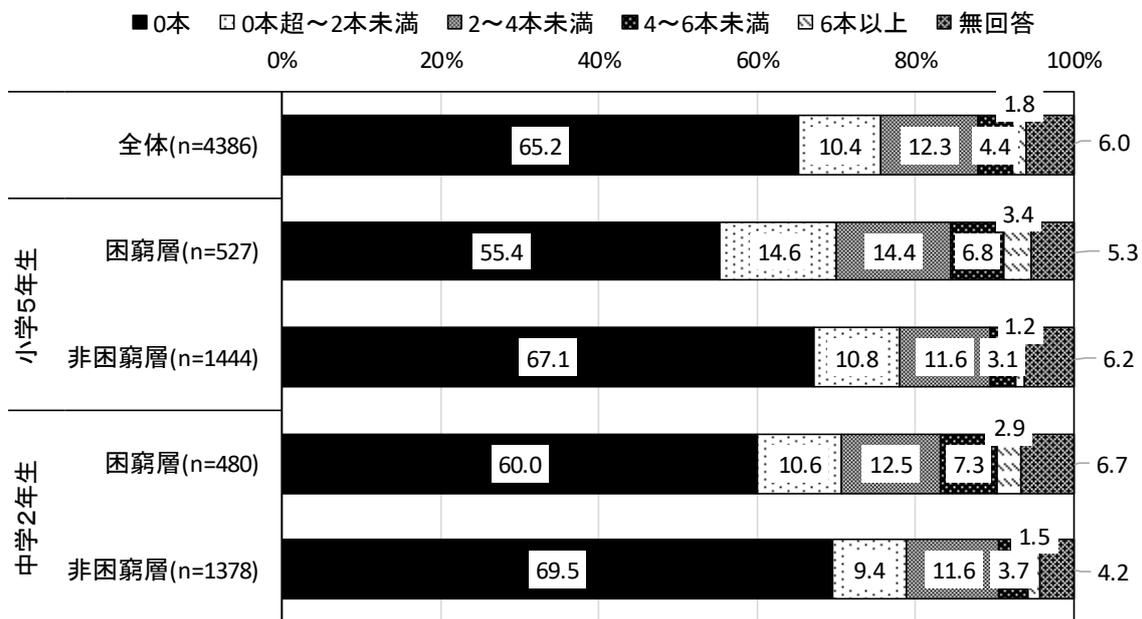


※小学 5 年生：有意差なし，中学 2 年生：p<0.05

【子ども】 Q15 虫歯の本数（数量）

「小学5年生-困窮層」では、「0本」が55.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「0本超～2本未満」が14.6%となっている。「小学5年生-非困窮層」では、「0本」が67.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「2～4本未満」が11.6%となっている。「中学2年生-困窮層」では、「0本」が60.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「2～4本」が12.5%となっている。「中学2年生-非困窮層」では、「0本」が69.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「2～4本」が11.6%となっている。

図 147 【子ども】 Q15 虫歯の本数（数量）



<平均値>

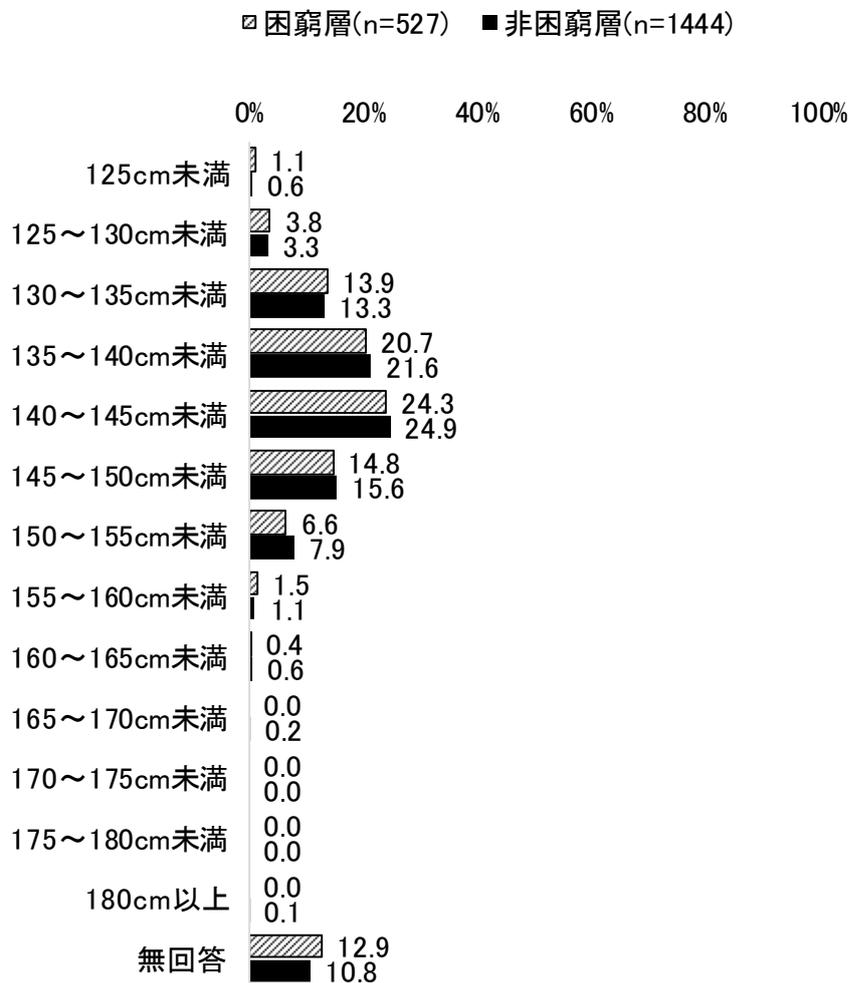
小学5年生：困窮層 1.2本 非困窮層 0.7本
 中学2年生：困窮層 1.0本 非困窮層 0.7本

※いずれの学年も p<0.01

【子ども】Q16-1 身長（数量）

「小学5年生-困窮層」では、「140～145cm未満」が24.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「135～140cm未満」が20.7%となっている。「小学5年生-非困窮層」では、「140～145cm未満」が24.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「135～140cm未満」が21.6%となっている。「中学2年生-困窮層」では、「150～155cm未満」が26.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「155～160cm未満」が21.9%となっている。「中学2年生-非困窮層」では、「155～160cm未満」が23.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「150～155cm未満」が23.3%となっている。

図 148 【子ども】Q 16-1 身長（小学5年生）（数量）

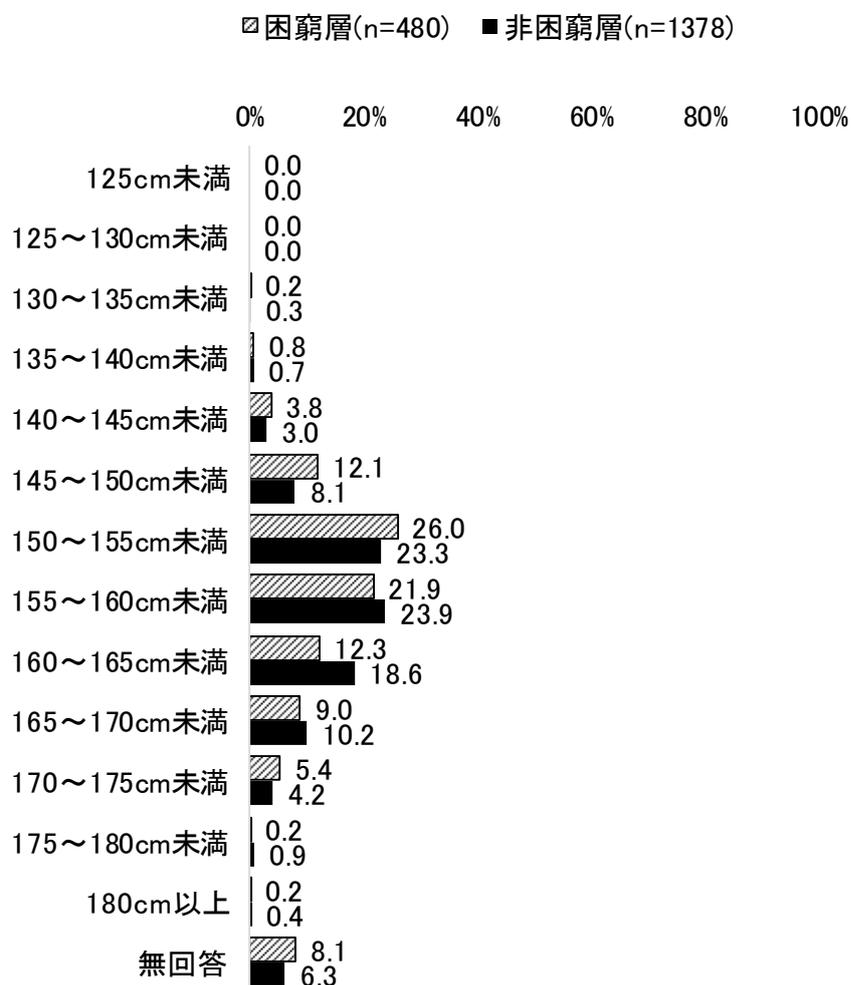


< 平均値 >

小学5年生：困窮層 140.3cm 非困窮層 140.9cm

※有意差なし

図 149 【子ども】Q 16-1 身長（中学 2 年生）（数量）



< 平均値 >

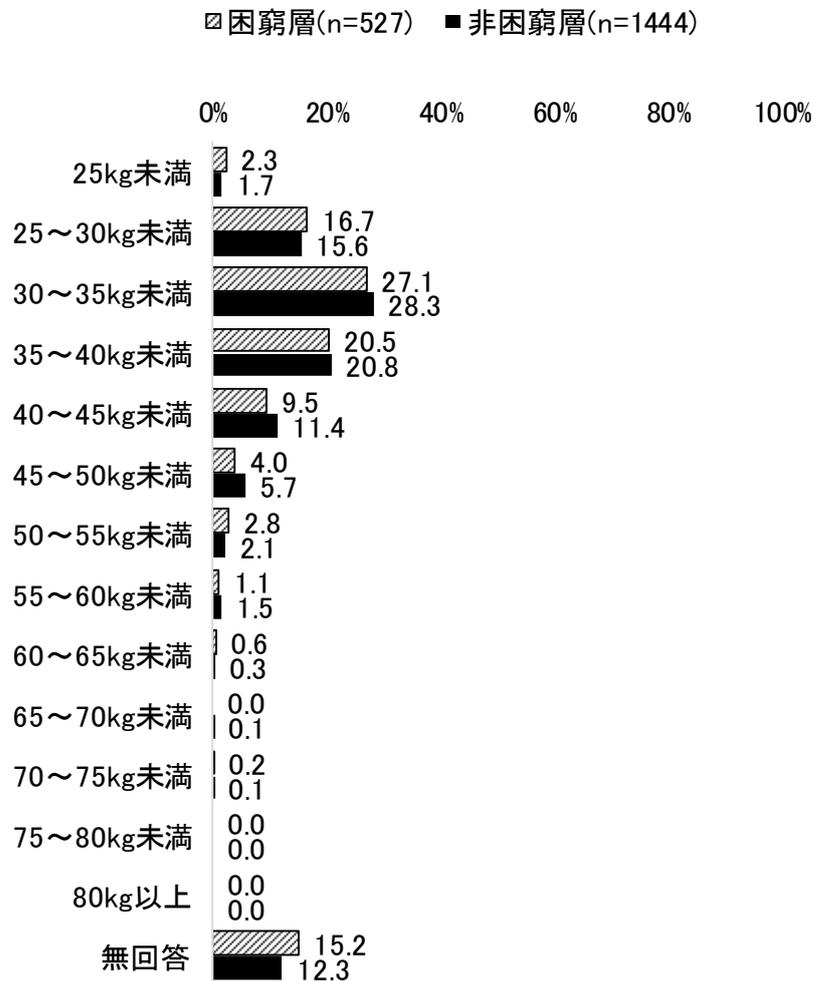
中学 2 年生 : 困窮層 156.2cm	非困窮層 157.3cm
-----------------------	--------------

※p<0.01

【子ども】 Q16-2 体重（数量）

「小学5年生-困窮層」では、「30～35kg未満」が27.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「35～40kg未満」が20.5%となっている。「小学5年生-非困窮層」では、「30～35kg未満」が28.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「35～40kg未満」が20.8%となっている。「中学2年生-困窮層」では、「45～50kg未満」が20.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「40～45kg未満」が20.0%となっている。「中学2年生-非困窮層」では、「45～50kg未満」が24.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「40～45kg未満」が20.8%となっている。

図 150 【子ども】 Q 16-2 体重（小学5年生）（数量）

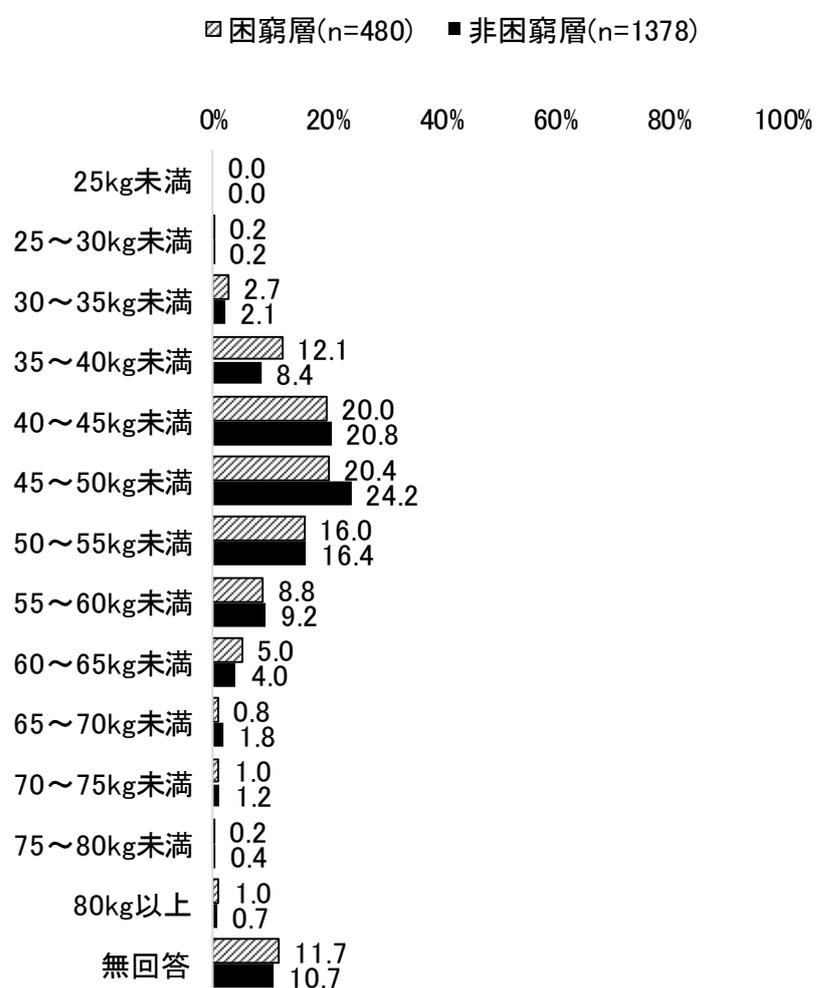


< 平均値 >

小学5年生：困窮層 35.5kg 非困窮層 35.8kg

※有意差なし

図 151 【子ども】Q 16-2 体重（中学2年生）（数量）



< 平均値 >

中学2年生：困窮層 48.0kg	非困窮層 48.3kg
------------------	-------------

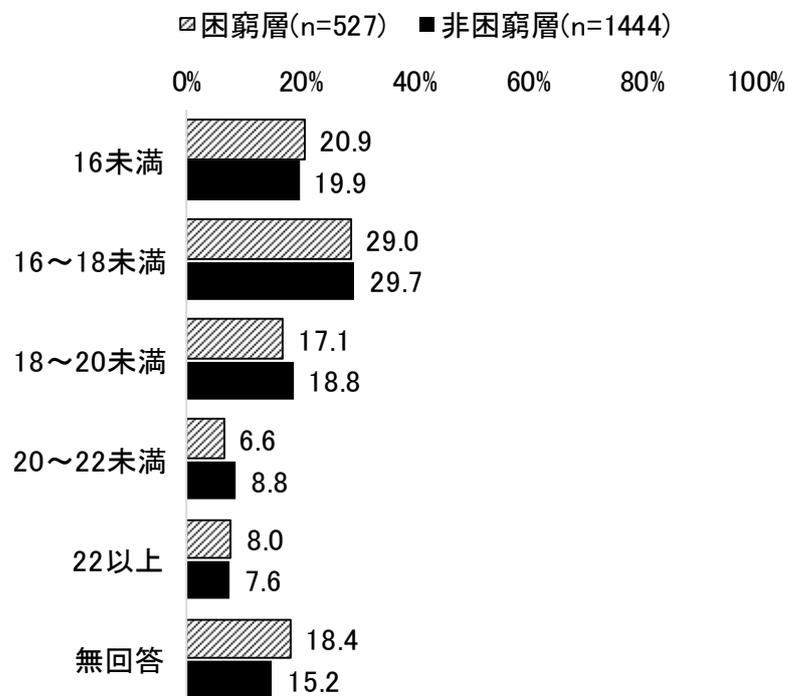
※有意差なし

【子ども】BMI（数量）

Q16-1 と Q16-2 より BMI（＝体重 kg／身長 m の 2 乗）を算出した。

「小学 5 年生・困窮層」では、「16～18 未満」が 29.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「16 未満」が 20.9%となっている。「小学 5 年生・非困窮層」では、「16～18 未満」が 29.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「16 未満」が 19.9%となっている。「中学 2 年生・困窮層」では、「18～20 未満」が 30.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「16～18 未満」が 22.5%となっている。「中学 2 年生・非困窮層」では、「18～20 未満」が 31.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「16～18 未満」が 22.9%となっている。

図 152 【子ども】BMI（小学 5 年生）（数量）

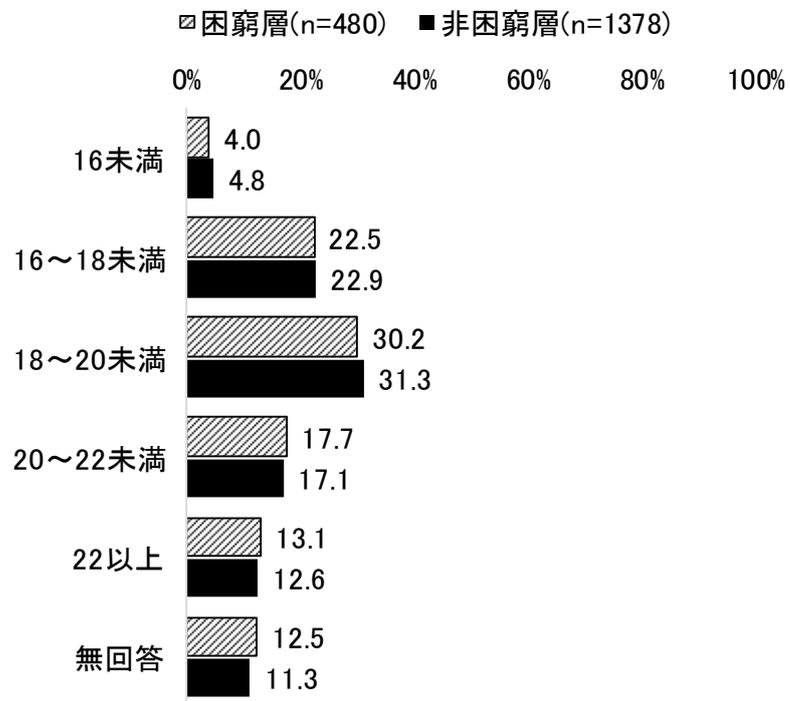


< 平均値 >

小学 5 年生：困窮層 18.0 非困窮層 18.0

※有意差なし

図 153 【子ども】BMI (中学2年生) (数量)



< 平均値 >

中学2年生：困窮層	19.6	非困窮層	19.5
-----------	------	------	------

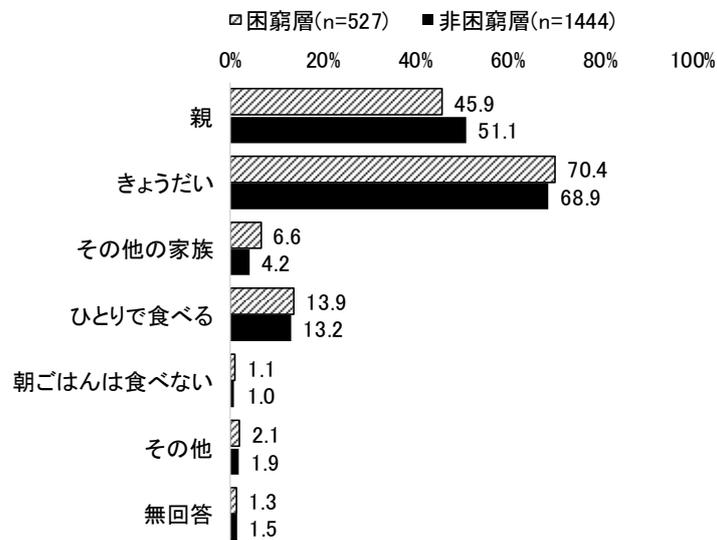
※有意差なし

4.家庭生活

【子ども】 Q17-1 平日の朝ごはんを一緒に食べる人（複数回答）

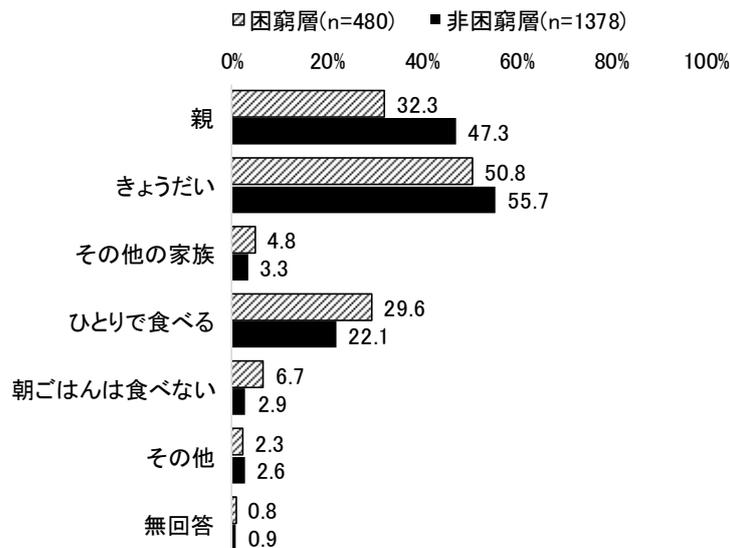
「小学5年生-困窮層」では、「きょうだい」が70.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「親」が45.9%となっている。「小学5年生-非困窮層」では、「きょうだい」が68.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「親」が51.1%となっている。「中学2年生-困窮層」では、「きょうだい」が50.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「親」が32.3%となっている。「中学2年生-非困窮層」では、「きょうだい」が55.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「親」が47.3%となっている。

図 154 【子ども】 Q17-1 平日の朝ごはんを一緒に食べる人(小学5年生)



※親、きょうだい：p<0.05, 上記以外の項目：有意差なし

図 155 【子ども】 Q17-1 平日の朝ごはんを一緒に食べる人(中学2年生)

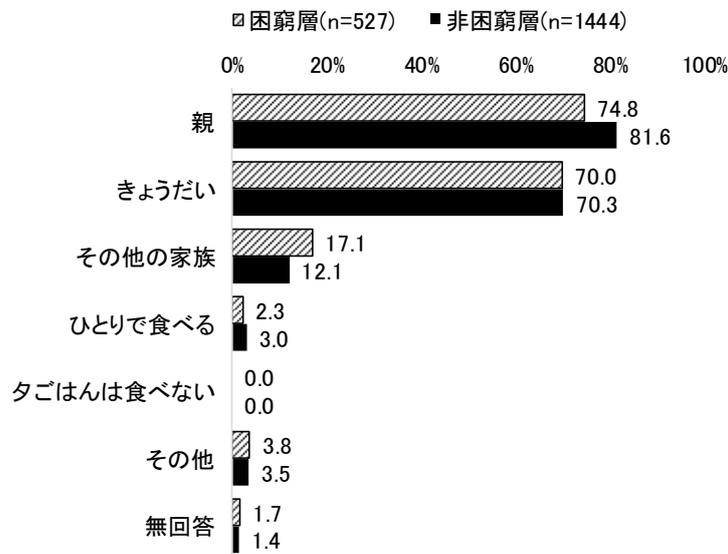


※親、ひとりで食べる、朝ごはんは食べない：p<0.01, 上記以外の項目：有意差なし

【子ども】 Q17-2 平日の夕ごはんを一緒に食べる人 (複数回答)

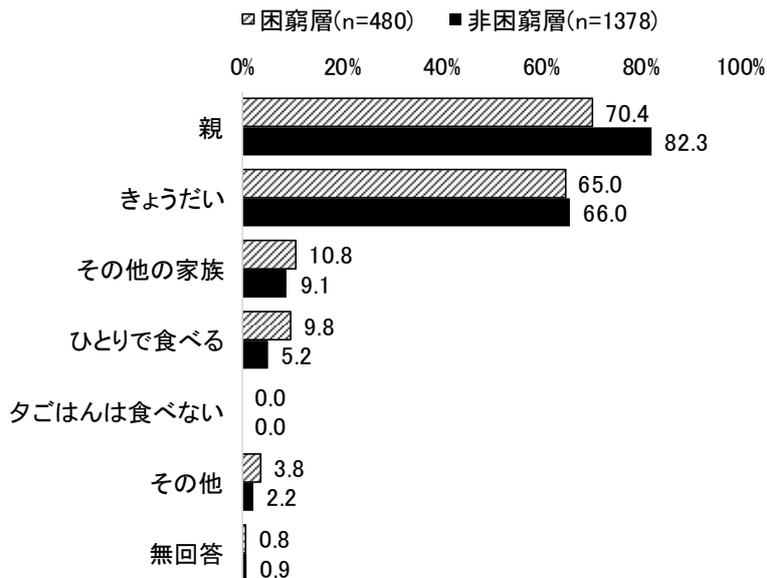
「小学5年生-困窮層」では、「親」が74.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「きょうだい」が70.0%となっている。「小学5年生-非困窮層」では、「親」が81.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「きょうだい」が70.3%となっている。「中学2年生-困窮層」では、「親」が70.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「きょうだい」が65.0%となっている。「中学2年生-非困窮層」では、「親」が82.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「きょうだい」が66.0%となっている。

図 156 【子ども】 Q17-2 平日の夕ごはんを一緒に食べる人(小学5年生)



※親、その他の家族：p<0.01, 上記以外の項目：有意差なし

図 157 【子ども】 Q17-2 平日の夕ごはんを一緒に食べる人(中学2年生)

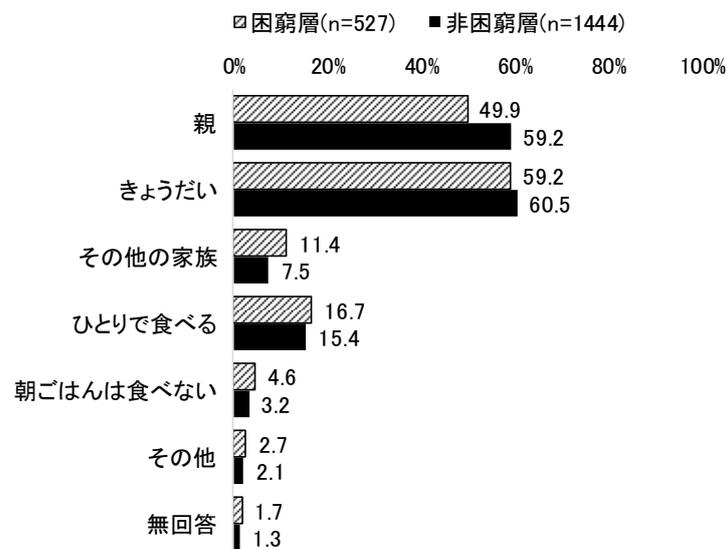


※親、ひとりで食べる：p<0.01, 上記以外の項目：有意差なし

【子ども】 Q17-3 休日の朝ごはんを一緒に食べる人 (複数回答)

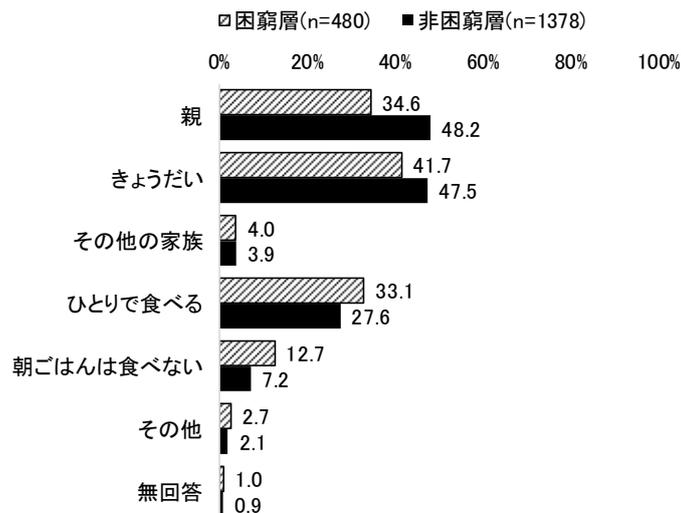
「小学5年生-困窮層」では、「きょうだい」が59.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「親」が49.9%となっている。「小学5年生-非困窮層」では、「きょうだい」が60.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「親」が59.2%となっている。「中学2年生-困窮層」では、「きょうだい」が41.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「親」が34.6%となっている。「中学2年生-非困窮層」では、「親」が48.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「きょうだい」が47.5%となっている。

図 158 【子ども】 Q17-3 休日の朝ごはんを一緒に食べる人(小学5年生)



※親、その他の家族：p<0.01, 上記以外の項目：有意差なし

図 159 【子ども】 Q17-3 休日の朝ごはんを一緒に食べる人(中学2年生)



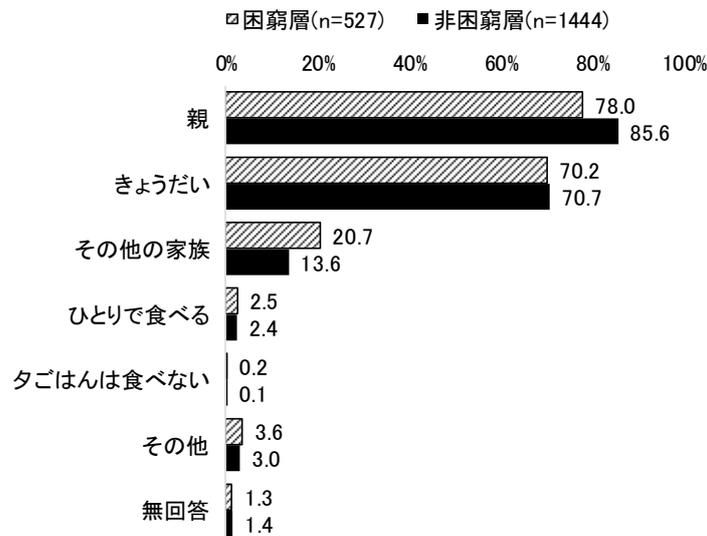
※親、朝ごはんは食べない：p<0.01, きょうだい、ひとりで食べる：p<0.05

上記以外の項目：有意差なし

【子ども】 Q17-4 休日の夕ごはんを一緒に食べる人 (複数回答)

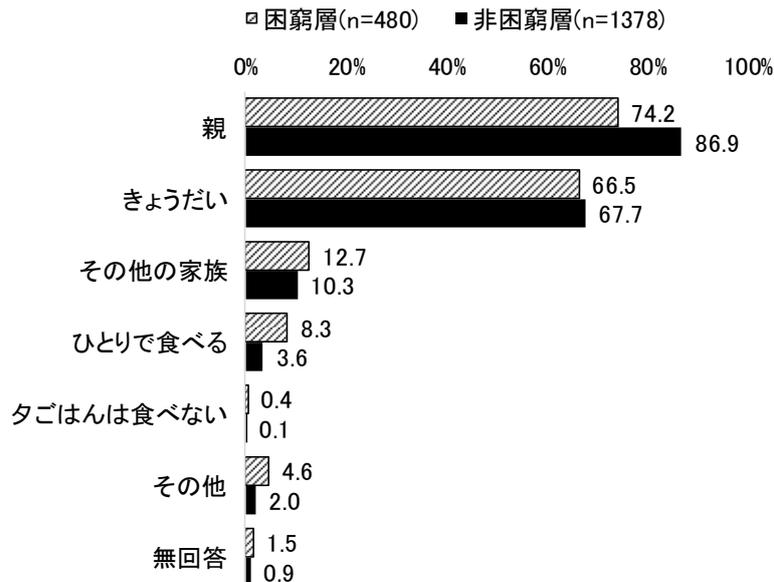
「小学5年生-困窮層」では、「親」が78.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「きょうだい」が70.2%となっている。「小学5年生-非困窮層」では、「親」が85.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「きょうだい」が70.7%となっている。「中学2年生-困窮層」では、「親」が74.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「きょうだい」が66.5%となっている。「中学2年生-非困窮層」では、「親」が86.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「きょうだい」が67.7%となっている。

図 160 【子ども】 Q17-4 休日の夕ごはんを一緒に食べる人(小学5年生)



※親、その他の家族：p<0.01, 上記以外の項目：有意差なし

図 161 【子ども】 Q17-4 休日の夕ごはんを一緒に食べる人(中学2年生)

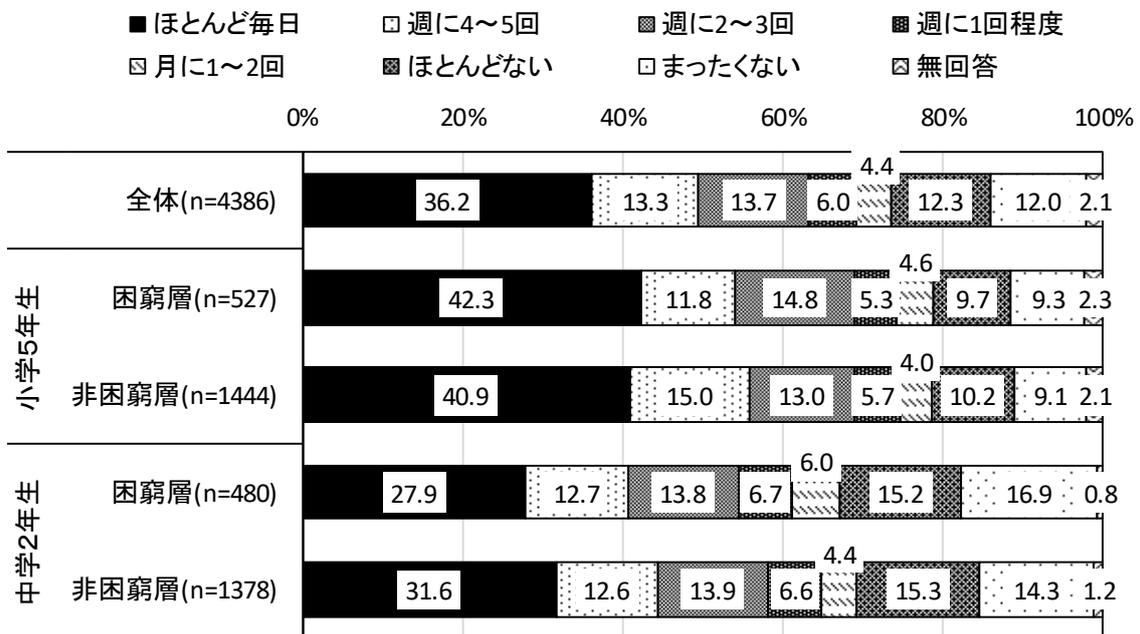


※親、ひとりで食べる、その他：p<0.01, 上記以外の項目：有意差なし

【子ども】 Q18① おうちの大人の人に朝、起こしてもらいますか

「小学5年生-困窮層」では、「ほとんど毎日」が42.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「週に2~3回」が14.8%となっている。「小学5年生-非困窮層」では、「ほとんど毎日」が40.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「週に4~5回」が15.0%となっている。「中学2年生-困窮層」では、「ほとんど毎日」が27.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「まったくない」が16.9%となっている。「中学2年生-非困窮層」では、「ほとんど毎日」が31.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「ほとんどない」が15.3%となっている。

図 162 【子ども】 Q18① おうちの大人の人に朝、起こしてもらいますか

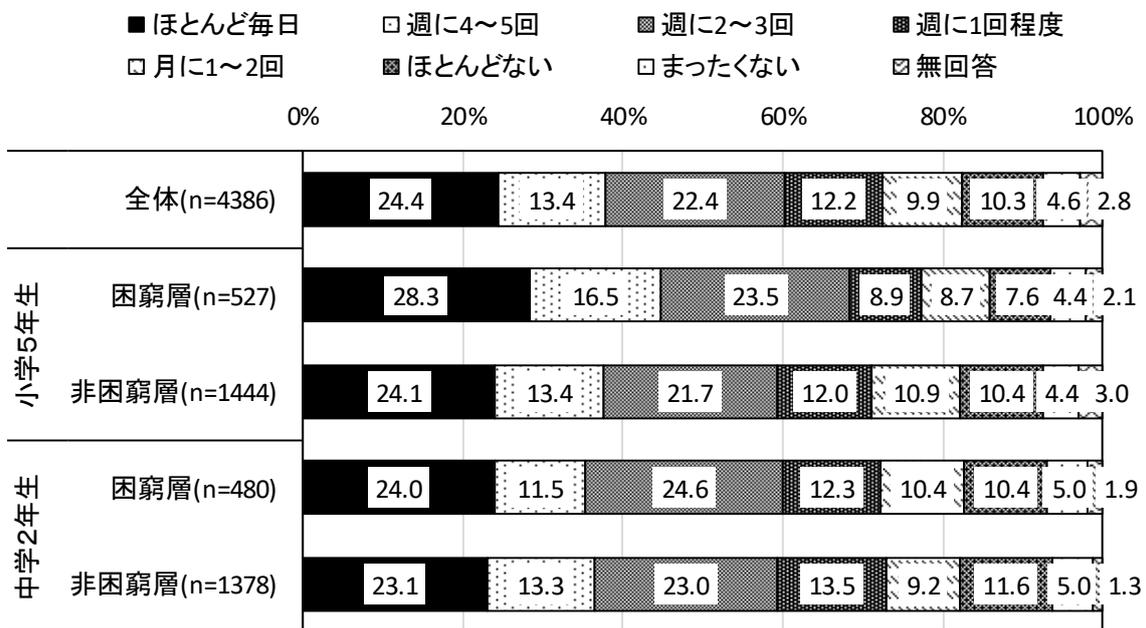


※小学5年生：有意差なし，中学2年生：有意差なし

【子ども】 Q18② おうちの手伝いをしていますか

「小学5年生-困窮層」では、「ほとんど毎日」が28.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「週に2~3回」が23.5%となっている。「小学5年生-非困窮層」では、「ほとんど毎日」が24.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「週に2~3回」が21.7%となっている。「中学2年生-困窮層」では、「週に2~3回」が24.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「ほとんど毎日」が24.0%となっている。「中学2年生-非困窮層」では、「ほとんど毎日」が23.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「週に2~3回」が23.0%となっている。

図 163 【子ども】 Q18② おうちの手伝いをしていますか

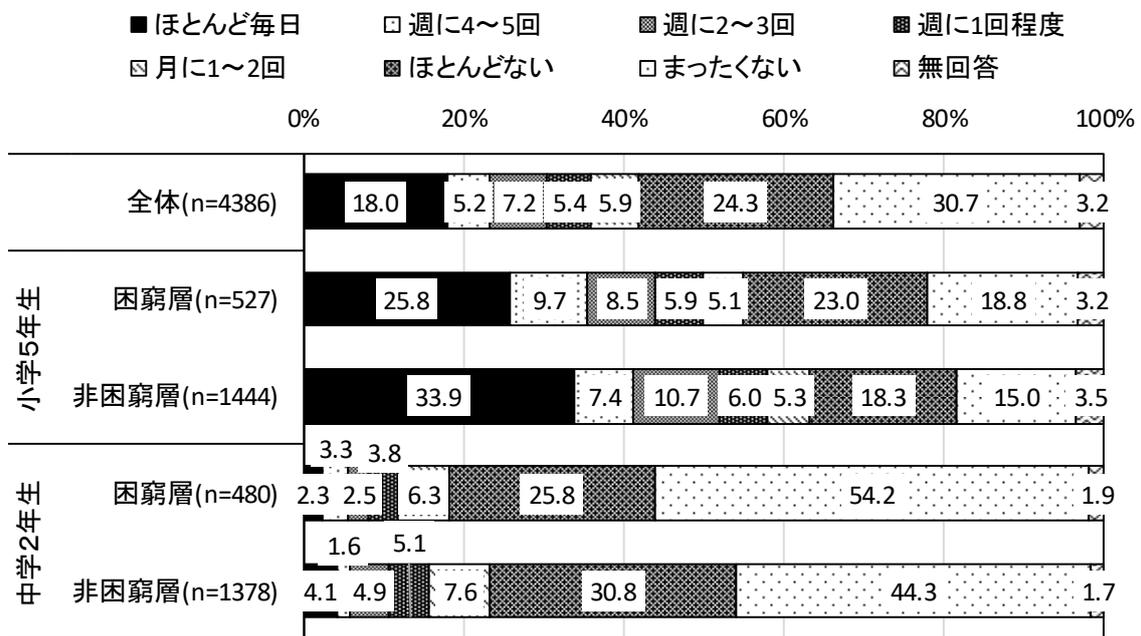


※小学5年生：p<0.05, 中学2年生：有意差なし

【子ども】 Q18③ おうちの大人の人に宿題をみてもらいますか

「小学 5 年生-困窮層」では、「ほとんど毎日」が 25.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「ほとんどない」が 23.0%となっている。「小学 5 年生-非困窮層」では、「ほとんど毎日」が 33.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「ほとんどない」が 18.3%となっている。「中学 2 年生-困窮層」では、「まったくない」が 54.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「ほとんどない」が 25.8%となっている。「中学 2 年生-非困窮層」では、「まったくない」が 44.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「ほとんどない」が 30.8%となっている。

図 164 【子ども】 Q18③ おうちの大人の人に宿題をみてもらいますか

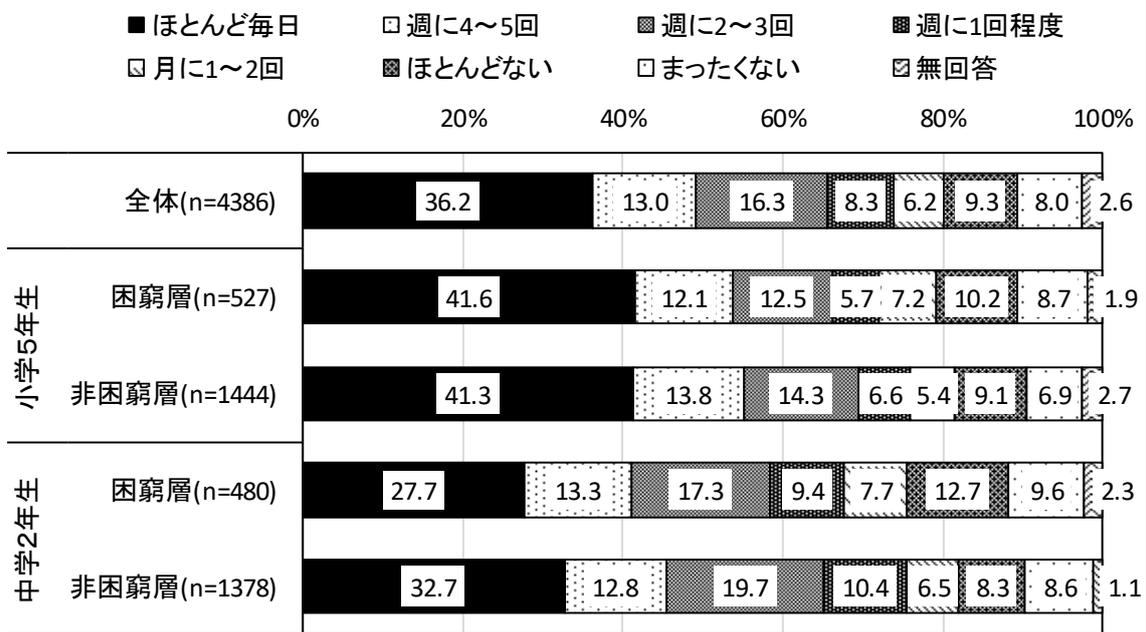


※小学 5 年生 : p<0.01, 中学 2 年生 : p<0.01

【子ども】 Q18④ おうちの大人の人と学校でのできごとについて話しますか

「小学5年生-困窮層」では、「ほとんど毎日」が41.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「週に2~3回」が12.5%となっている。「小学5年生-非困窮層」では、「ほとんど毎日」が41.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「週に2~3回」が14.3%となっている。「中学2年生-困窮層」では、「ほとんど毎日」が27.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「週に2~3回」が17.3%となっている。「中学2年生-非困窮層」では、「ほとんど毎日」が32.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「週に2~3回」が19.7%となっている。

図 165 【子ども】 Q18④ おうちの大人の人と学校でのできごとについて話しますか

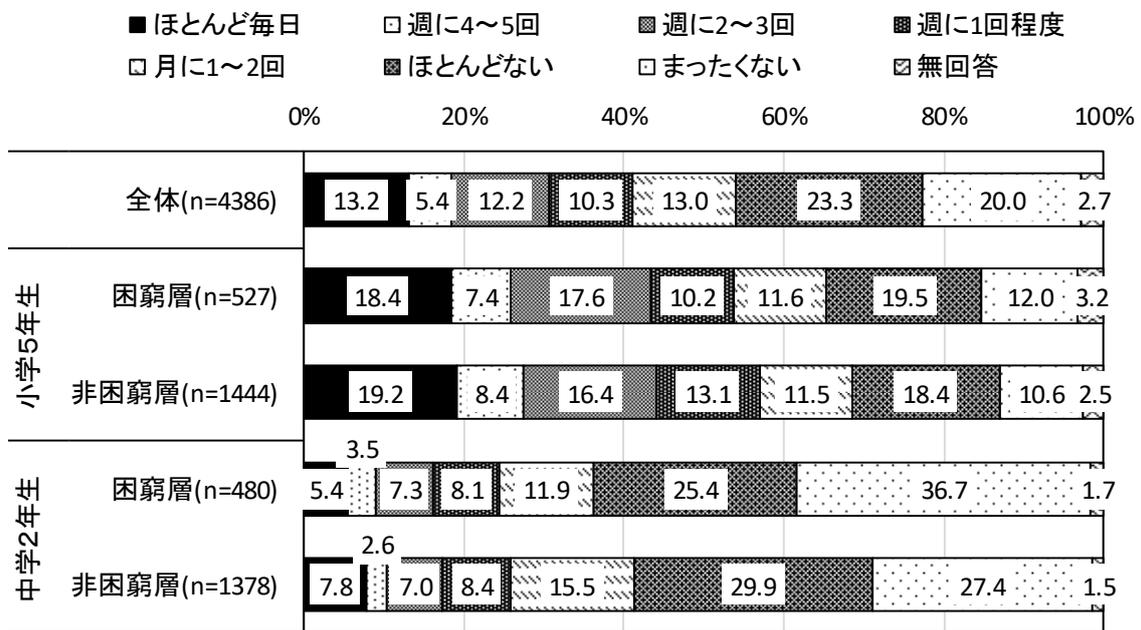


※小学5年生：有意差なし，中学2年生：p<0.05

【子ども】 Q18⑤ おうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりしますか

「小学 5 年生-困窮層」では、「ほとんどない」が 19.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「ほとんど毎日」が 18.4%となっている。「小学 5 年生-非困窮層」では、「ほとんど毎日」が 19.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「ほとんどない」が 18.4%となっている。「中学 2 年生-困窮層」では、「まったくない」が 36.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「ほとんどない」が 25.4%となっている。「中学 2 年生-非困窮層」では、「ほとんどない」が 29.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「まったくない」が 27.4%となっている。

図 166 【子ども】 Q18⑤ おうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりしますか

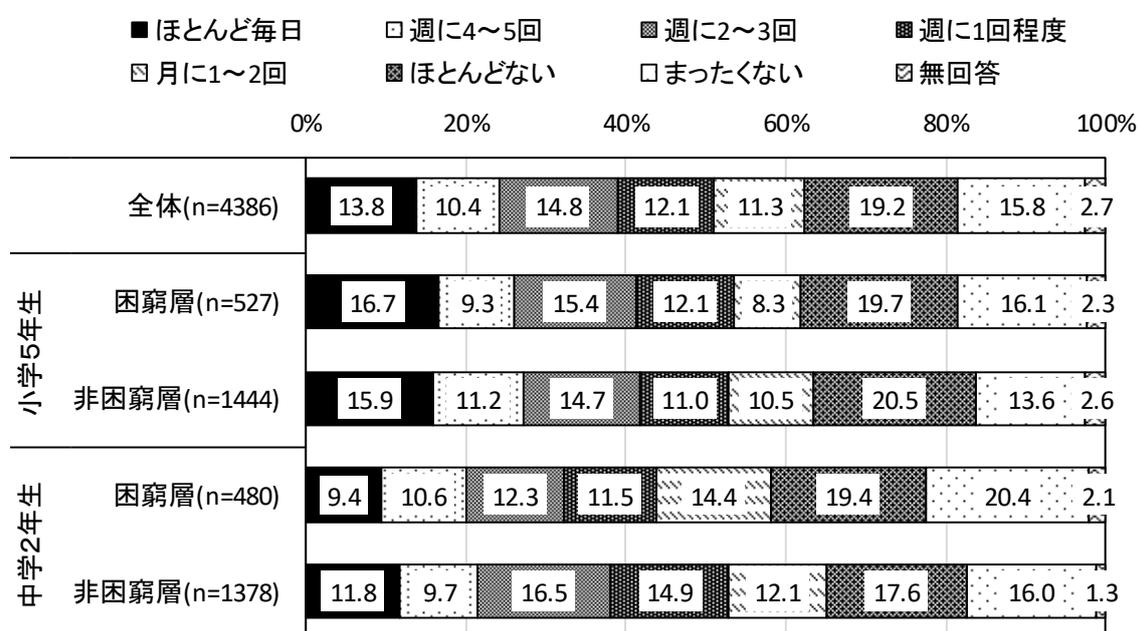


※小学 5 年生：有意差なし，中学 2 年生：p<0.01

【子ども】Q18⑥ おうちの大人の人とニュースなど社会のできごとについて話をしますか

「小学 5 年生-困窮層」では、「ほとんど毎日」が 19.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「ほとんど毎日」が 16.7%となっている。「小学 5 年生-非困窮層」では、「ほとんど毎日」が 20.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「ほとんど毎日」が 15.9%となっている。「中学 2 年生-困窮層」では、「まったくない」が 20.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「ほとんど毎日」が 19.4%となっている。「中学 2 年生-非困窮層」では、「ほとんど毎日」が 17.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「週に 2~3 回」が 16.5%となっている。

図 167 【子ども】Q18⑥ おうちの大人の人とニュースなど社会のできごとについて話をしますか

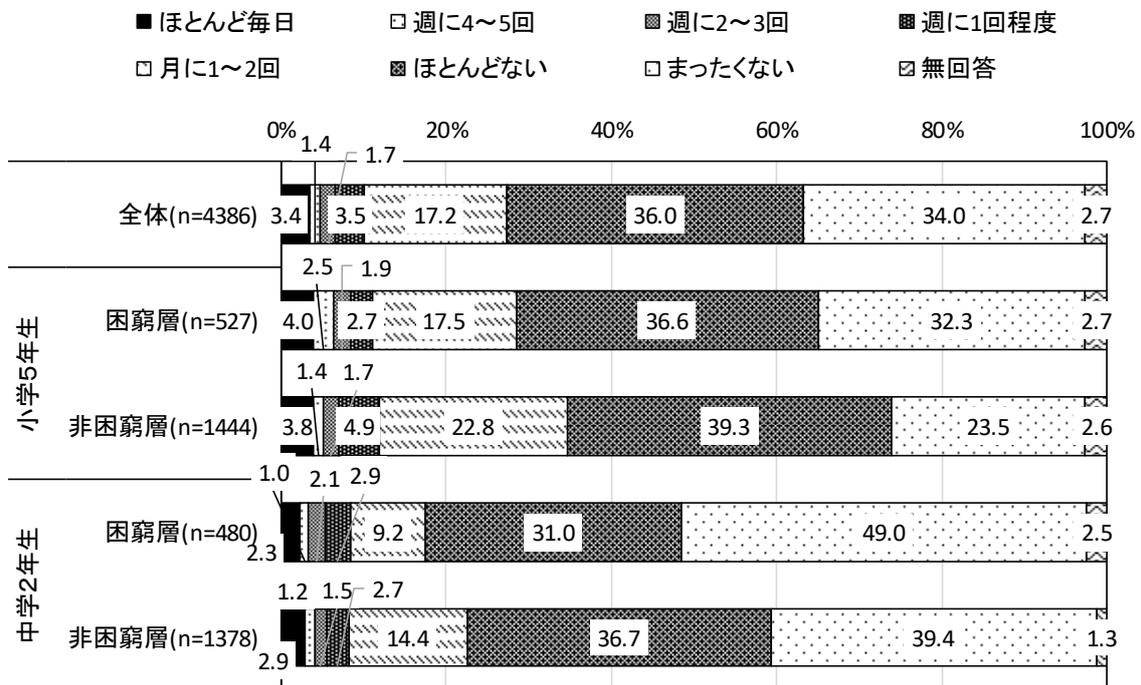


※小学 5 年生：有意差なし，中学 2 年生：p<0.05

【子ども】 Q18⑦ おうちの大人の人と文化活動をしますか

「小学 5 年生-困窮層」では、「ほとんどない」が 36.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「まったくない」が 32.3%となっている。「小学 5 年生-非困窮層」では、「ほとんどない」が 39.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「まったくない」が 23.5%となっている。「中学 2 年生-困窮層」では、「まったくない」が 49.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「ほとんどない」が 31.0%となっている。「中学 2 年生-非困窮層」では、「まったくない」が 39.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「ほとんどない」が 36.7%となっている。

図 168 【子ども】 Q18⑦ おうちの大人の人と文化活動をしますか



※小学 5 年生 : p<0.01, 中学 2 年生 : p<0.01

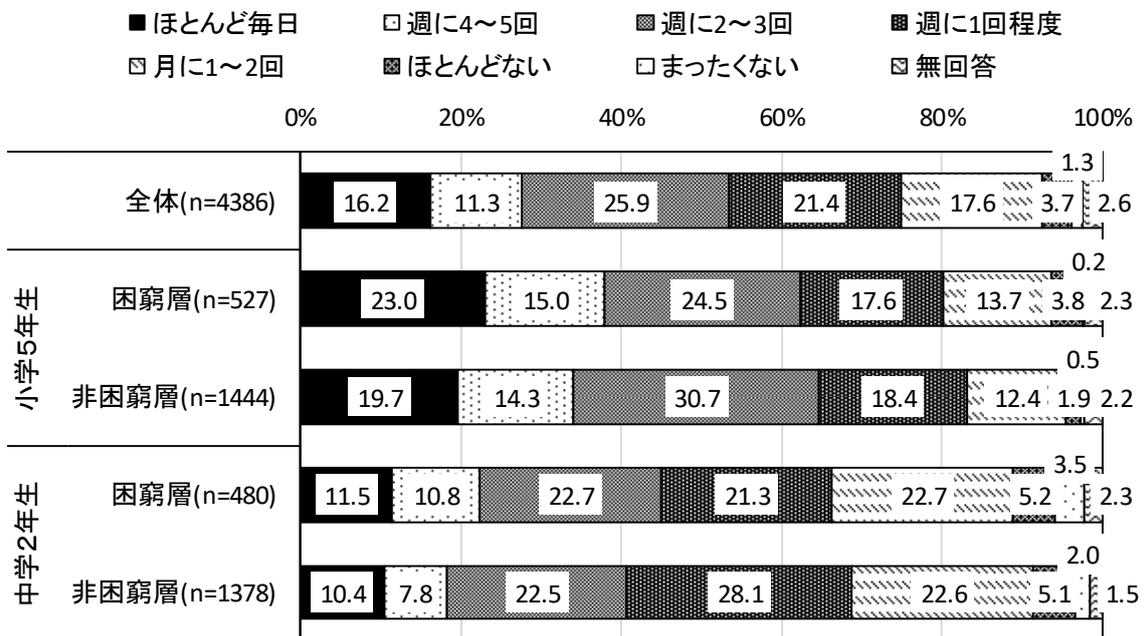
<%表>

		ほとんど毎日	週に4~5回	週に2~3回	週に1回程度	月に1~2回	ほとんどない	まったくない	無回答
	全体 (n=4386)	3.4	1.4	1.7	3.5	17.2	36.0	34.0	2.7
小学 5 年生	困窮層 (n=527)	4.0	2.5	1.9	2.7	17.5	36.6	32.3	2.7
	非困窮層 (n=1444)	3.8	1.4	1.7	4.9	22.8	39.3	23.5	2.6
中学 2 年生	困窮層 (n=480)	2.3	1.0	2.1	2.9	9.2	31.0	49.0	2.5
	非困窮層 (n=1378)	2.9	1.2	1.5	2.7	14.4	36.7	39.4	1.3

【子ども】 Q18⑧ おうちの大人の人と一緒に外出しますか

「小学5年生-困窮層」では、「週に2~3回」が24.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「ほとんど毎日」が23.0%となっている。「小学5年生-非困窮層」では、「週に2~3回」が30.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「ほとんど毎日」が19.7%となっている。「中学2年生-困窮層」では、「週2~3回」と「月に1~2回」が22.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「週に1回程度」が21.3%となっている。「中学2年生-非困窮層」では、「週に1回程度」が28.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「月に1~2回」が22.6%となっている。

図 169 【子ども】 Q18⑧ おうちの大人の人と一緒に外出しますか

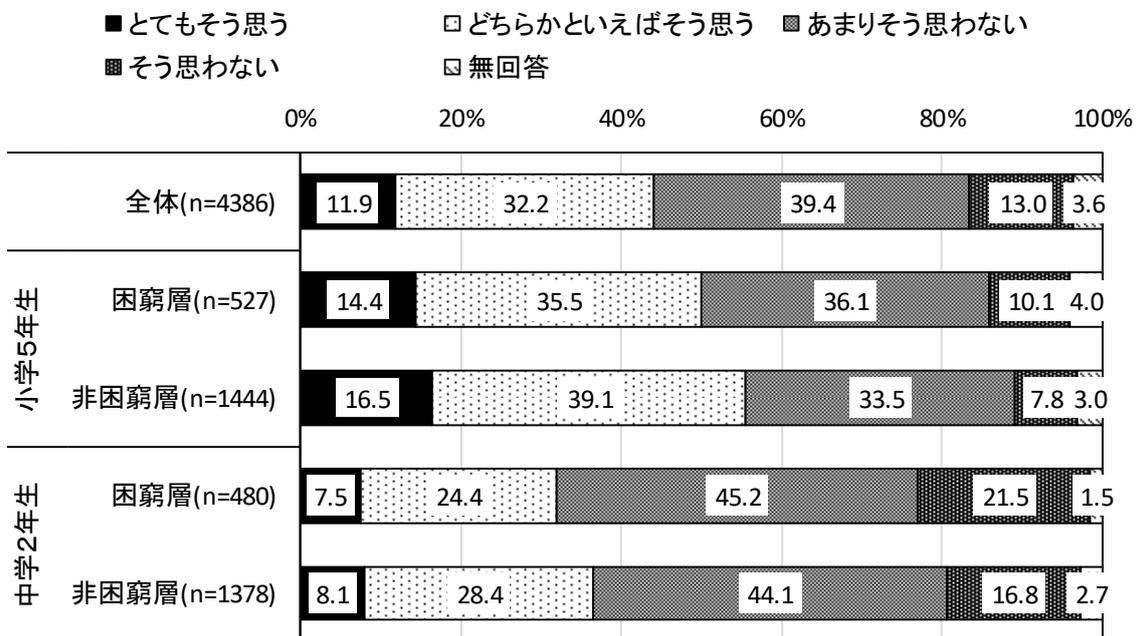


※小学5年生：p<0.05, 中学2年生：p<0.05

【子ども】Q19① 自分に自信がある

「小学5年生-困窮層」では、「あまりそう思わない」が36.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が35.5%となっている。「小学5年生-非困窮層」では、「どちらかといえばそう思う」が39.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「あまりそう思わない」が33.5%となっている。「中学2年生-困窮層」では、「あまりそう思わない」が45.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が24.4%となっている。「中学2年生-非困窮層」では、「あまりそう思わない」が44.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が28.4%となっている。

図 170 【子ども】Q19① 自分に自信がある

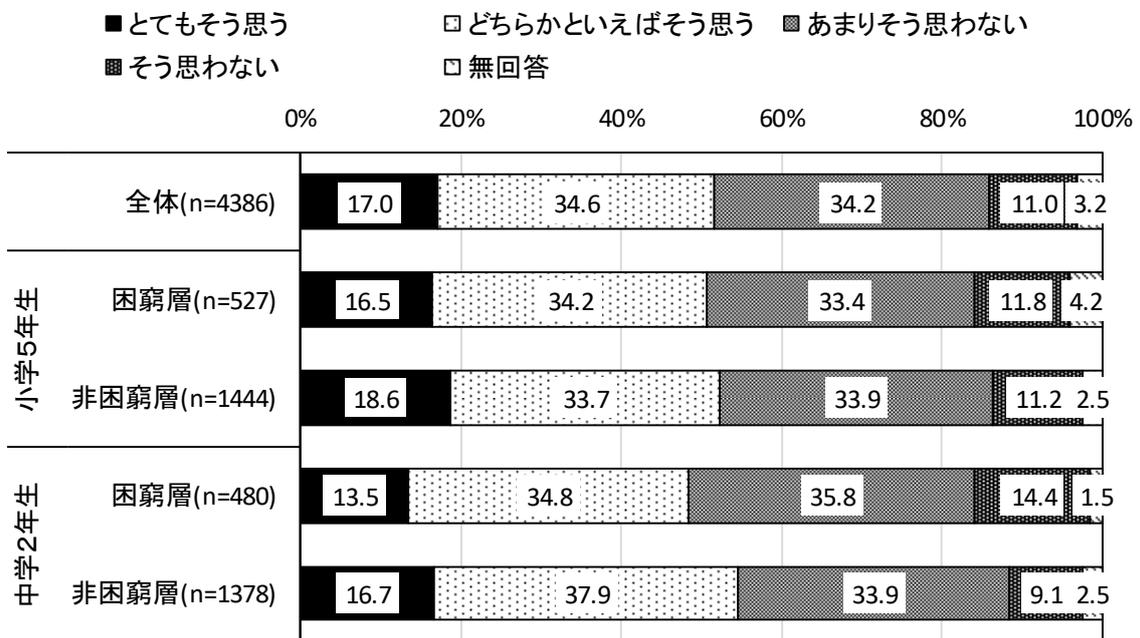


※小学5年生：有意差なし，中学2年生：有意差なし

【子ども】 Q19② 自分の考えをはっきり相手に伝えることができる

「小学5年生-困窮層」では、「どちらかといえばそう思う」が34.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「あまりそう思わない」が33.4%となっている。「小学5年生-非困窮層」では、「あまりそう思わない」が33.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が33.7%となっている。「中学2年生-困窮層」では、「あまりそう思わない」が35.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が34.8%となっている。「中学2年生-非困窮層」では、「どちらかといえばそう思う」が37.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「あまりそう思わない」が33.9%となっている。

図 171 【子ども】 Q19② 自分の考えをはっきり相手に伝えることができる

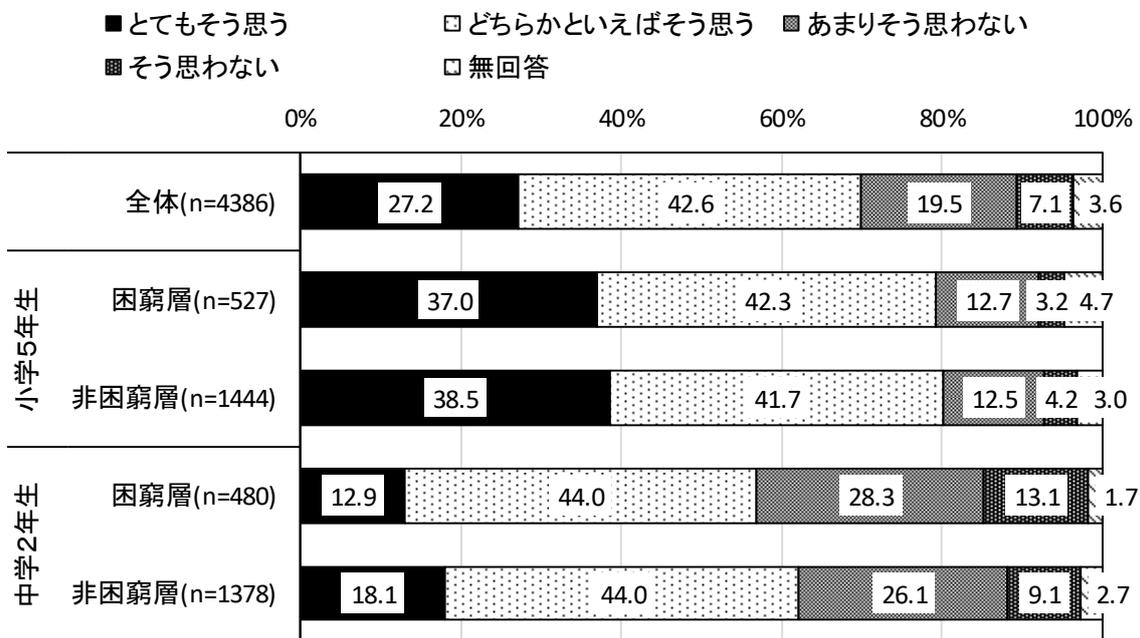


※小学5年生：有意差なし，中学2年生：p<0.01

【子ども】 Q19③ 大人は信用できる

「小学 5 年生・困窮層」では、「どちらかといえばそう思う」が 42.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「とてもそう思う」が 37.0%となっている。「小学 5 年生・非困窮層」では、「どちらかといえばそう思う」が 41.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「とてもそう思う」が 38.5%となっている。「中学 2 年生・困窮層」では、「どちらかといえばそう思う」が 44.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「あまりそう思わない」が 28.3%となっている。「中学 2 年生・非困窮層」では、「どちらかといえばそう思う」が 44.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「あまりそう思わない」が 26.1%となっている。

図 172 【子ども】 Q19③ 大人は信用できる

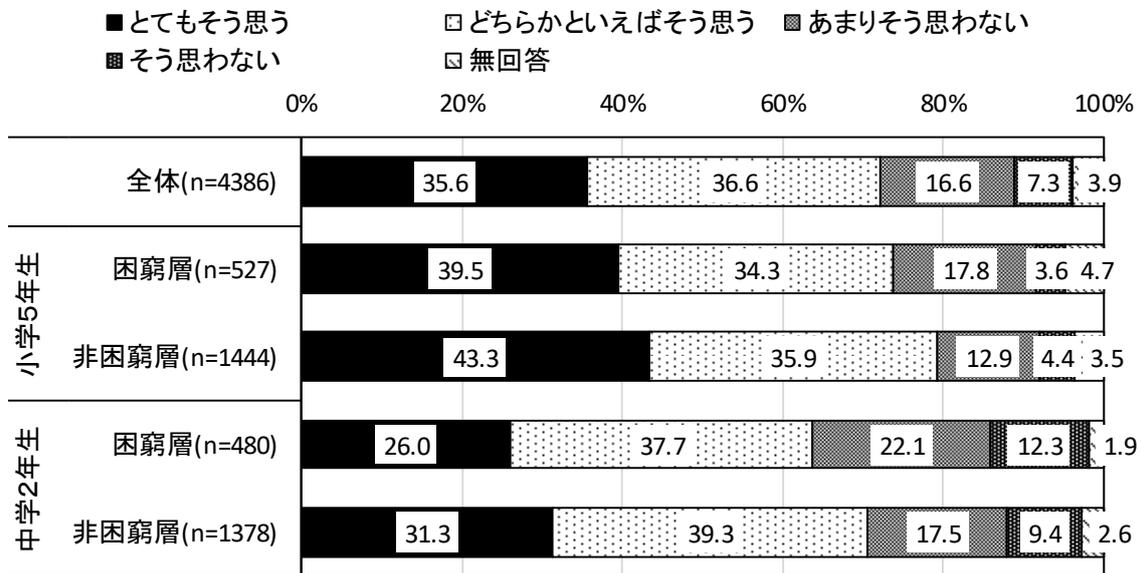


※小学 5 年生：有意差なし，中学 2 年生：p<0.01

【子ども】 Q19④ がんばれば、むくわれる

「小学 5 年生・困窮層」では、「とてもそう思う」が 39.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 34.3%となっている。「小学 5 年生・非困窮層」では、「とてもそう思う」が 43.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 35.9%となっている。「中学 2 年生・困窮層」では、「どちらかといえばそう思う」が 37.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「とてもそう思う」が 26.0%となっている。「中学 2 年生・非困窮層」では、「どちらかといえばそう思う」が 39.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「とてもそう思う」が 31.3%となっている。

図 173 【子ども】 Q19④ がんばれば、むくわれる

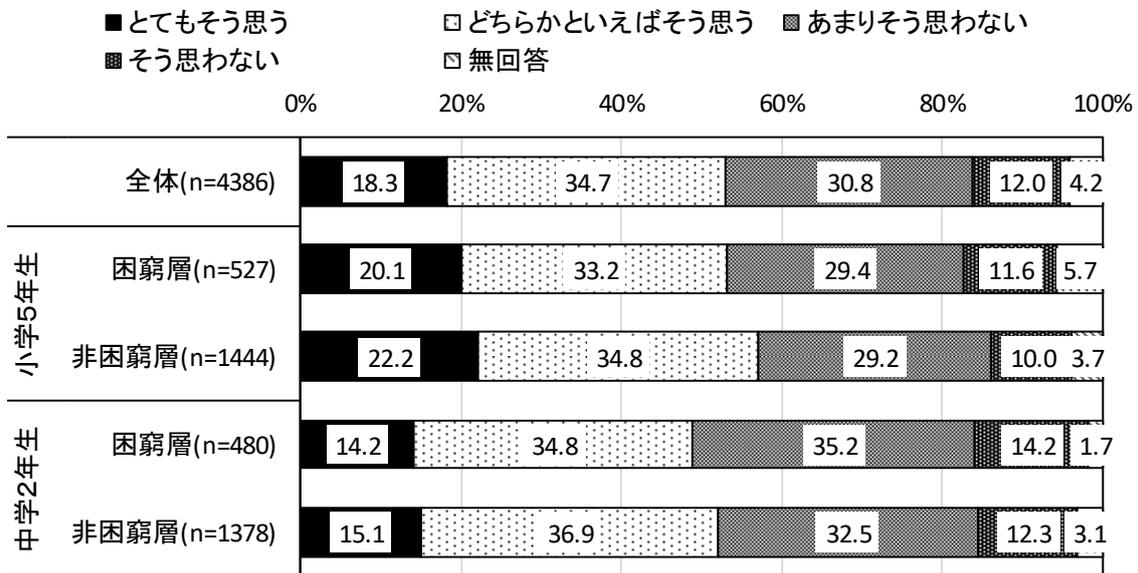


※小学 5 年生 : $p < 0.05$, 中学 2 年生 : $p < 0.05$

【子ども】 Q19⑤ 自分は価値のある人間だと思う

「小学5年生-困窮層」では、「どちらかといえばそう思う」が33.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「あまりそう思わない」が29.4%となっている。「小学5年生-非困窮層」では、「どちらかといえばそう思う」が34.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「あまりそう思わない」が29.2%となっている。「中学2年生-困窮層」では、「あまりそう思わない」が35.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が34.8%となっている。「中学2年生-非困窮層」では、「どちらかといえばそう思う」が36.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「あまりそう思わない」が32.5%となっている。

図 174 【子ども】 Q19⑤ 自分は価値のある人間だと思う

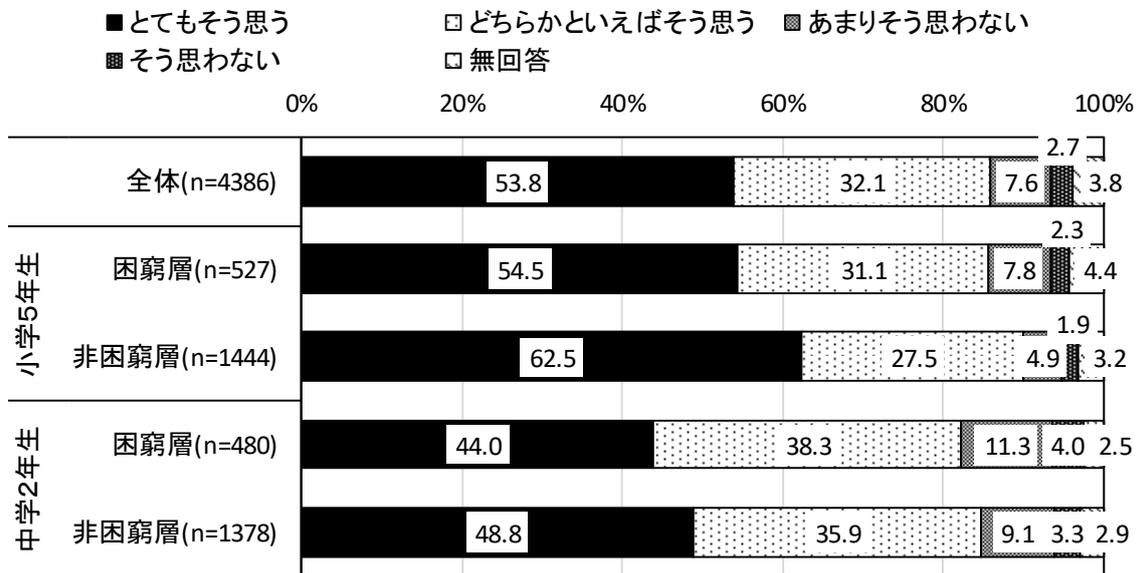


※小学5年生：有意差なし，中学2年生：有意差なし

【子ども】 Q19⑥ 自分は家族に大事にされている

「小学 5 年生・困窮層」では、「とてもそう思う」が 54.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 31.1%となっている。「小学 5 年生・非困窮層」では、「とてもそう思う」が 62.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 27.5%となっている。「中学 2 年生・困窮層」では、「とてもそう思う」が 44.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 38.3%となっている。「中学 2 年生・非困窮層」では、「とてもそう思う」が 48.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 35.9%となっている。

図 175 【子ども】 Q19⑥ 自分は家族に大事にされている

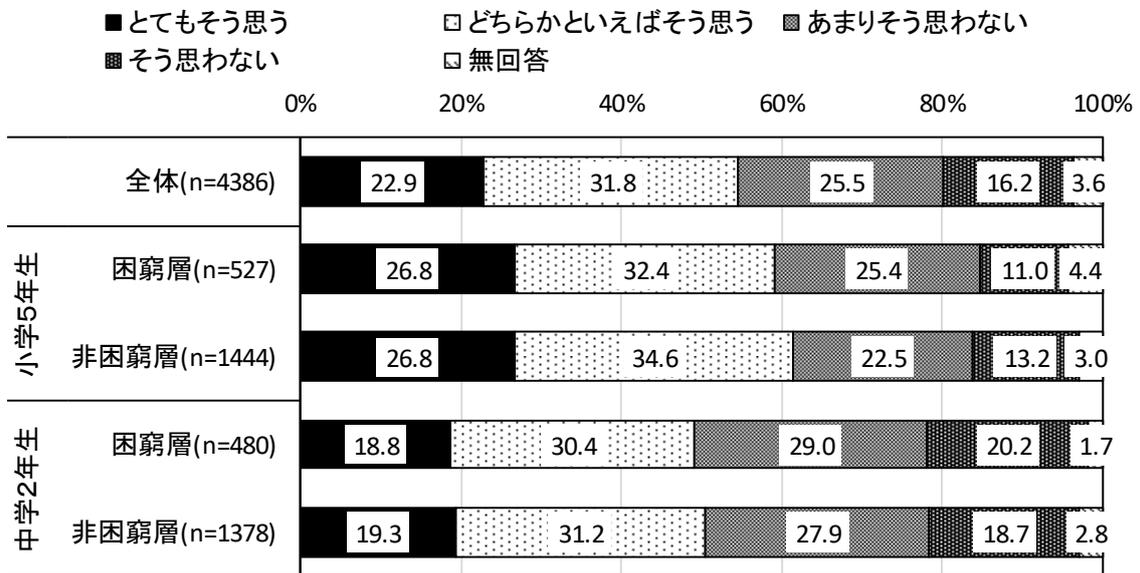


※小学 5 年生 : p<0.01, 中学 2 年生 : 有意差なし

【子ども】 Q19⑦ 不安に感じることはない

「小学5年生・困窮層」では、「どちらかといえばそう思う」が32.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「とてもそう思う」が26.8%となっている。「小学5年生・非困窮層」では、「どちらかといえばそう思う」が34.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「とてもそう思う」が26.8%となっている。「中学2年生・困窮層」では、「どちらかといえばそう思う」が30.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「あまりそう思わない」が29.0%となっている。「中学2年生・非困窮層」では、「どちらかといえばそう思う」が31.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「あまりそう思わない」が27.9%となっている。

図 176 【子ども】 Q19⑦ 不安に感じることはない

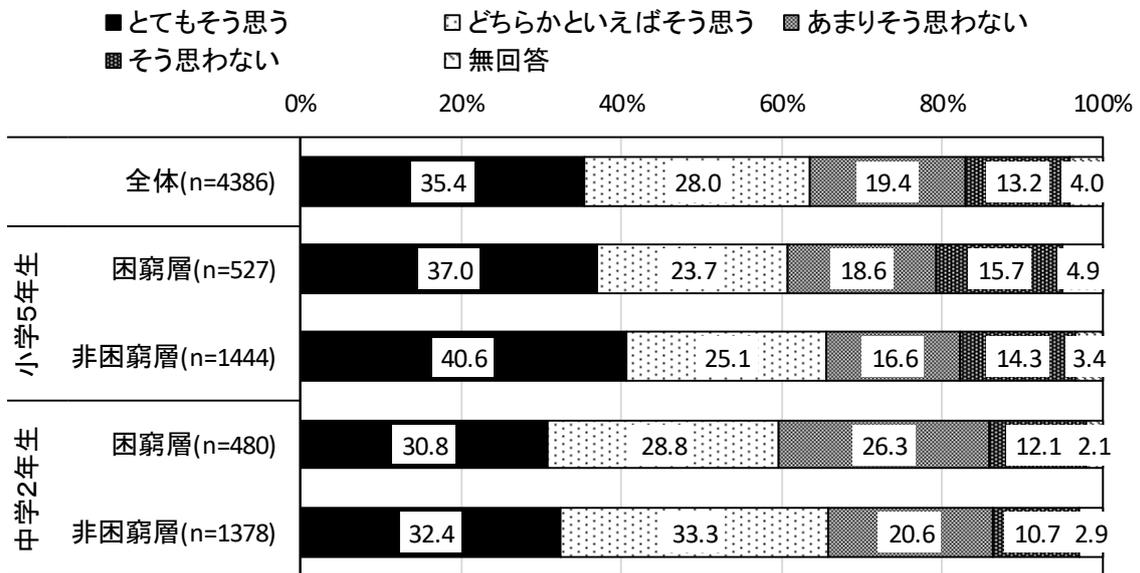


※小学5年生：有意差なし，中学2年生：有意差なし

【子ども】 Q19⑧ 孤独を感じることはない

「小学5年生-困窮層」では、「とてもそう思う」が37.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が23.7%となっている。「小学5年生-非困窮層」では、「とてもそう思う」が40.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が25.1%となっている。「中学2年生-困窮層」では、「とてもそう思う」が30.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が28.8%となっている。「中学2年生-非困窮層」では、「どちらかといえばそう思う」が33.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「とてもそう思う」が32.4%となっている。

図 177 【子ども】 Q19⑧ 孤独を感じることはない

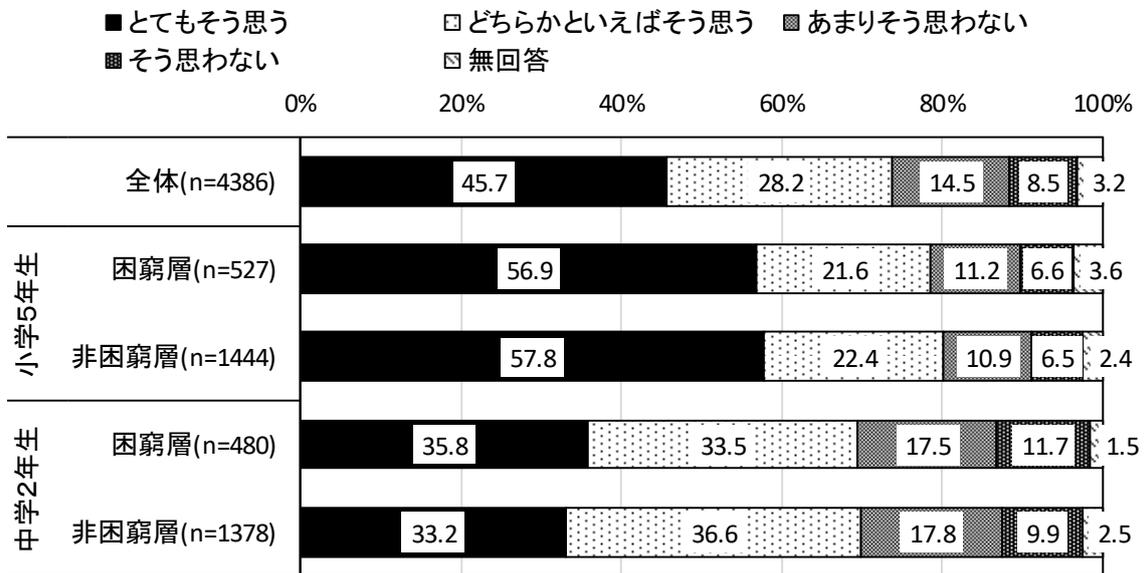


※小学5年生：有意差なし，中学2年生：p<0.05

【子ども】 Q19⑨ 自分の将来が楽しみだ

「小学 5 年生・困窮層」では、「とてもそう思う」が 56.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 21.6%となっている。「小学 5 年生・非困窮層」では、「とてもそう思う」が 57.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 22.4%となっている。「中学 2 年生・困窮層」では、「とてもそう思う」が 35.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 33.5%となっている。「中学 2 年生・非困窮層」では、「どちらかといえばそう思う」が 36.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「とてもそう思う」が 33.2%となっている。

図 178 【子ども】 Q19⑨ 自分の将来が楽しみだ



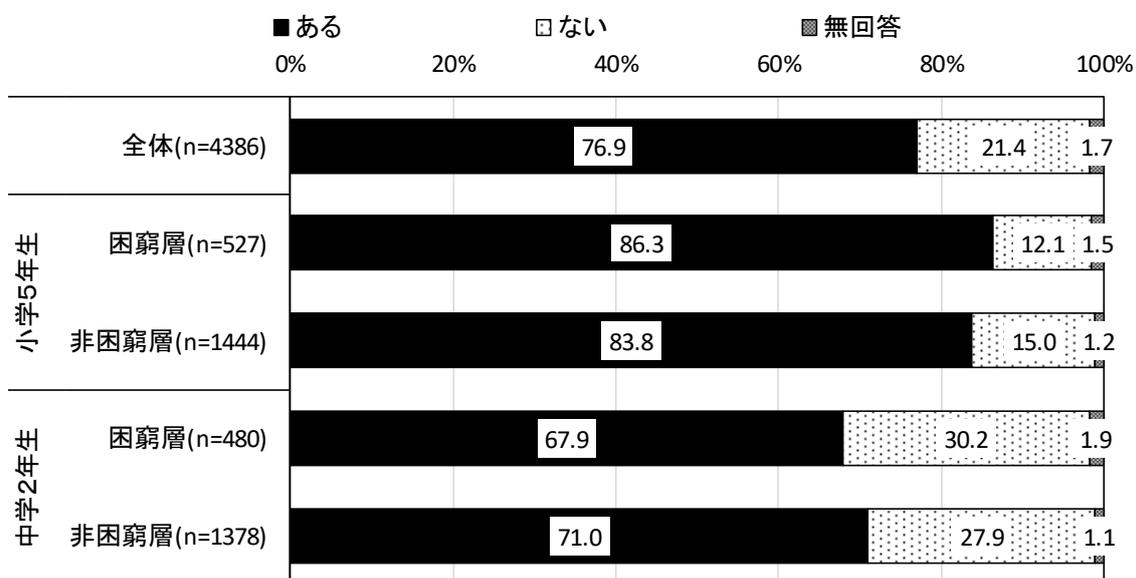
※小学 5 年生：有意差なし，中学 2 年生：有意差なし

5.学習・進路

【子ども】 Q4 将来の夢

「小学 5 年生-困窮層」では、「ある」が 86.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「ない」が 12.1%となっている。「小学 5 年生-非困窮層」では、「ある」が 83.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「ない」が 15.0%となっている。「中学 2 年生-困窮層」では、「ある」が 67.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「ない」が 30.2%となっている。「中学 2 年生-非困窮層」では、「ある」が 71.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「ない」が 27.9%となっている。

図 179 【子ども】 Q4 将来の夢

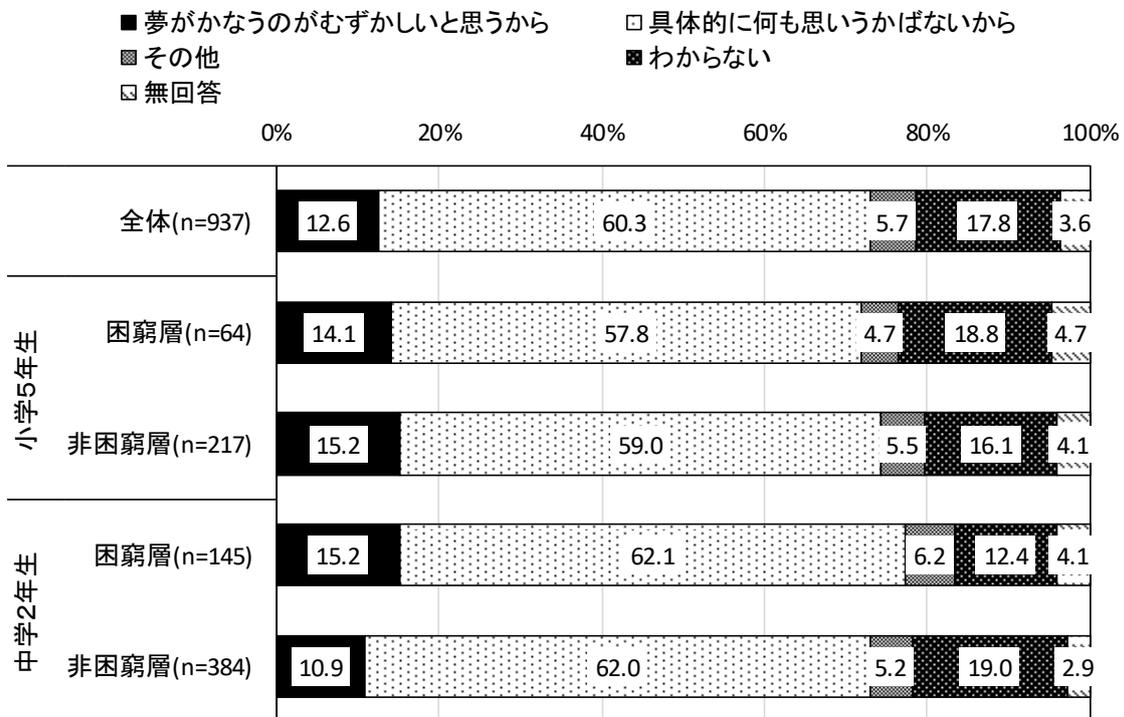


※小学 5 年生：有意差なし，中学 2 年生：有意差なし

【子ども】 Q4-1 夢がない理由

「小学 5 年生-困窮層」では、「具体的に何も思いうかばないから」が 57.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「わからない」が 18.8%となっている。「小学 5 年生-非困窮層」では、「具体的に何も思いうかばないから」が 59.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「わからない」が 16.1%となっている。「中学 2 年生-困窮層」では、「具体的に何も思いうかばないから」が 62.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「夢がかなうのがむずかしいと思うから」が 15.2%となっている。「中学 2 年生-非困窮層」では、「具体的に何も思いうかばないから」が 62.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「わからない」が 19.0%となっている。

図 180 【子ども】 Q4-1 夢がない理由

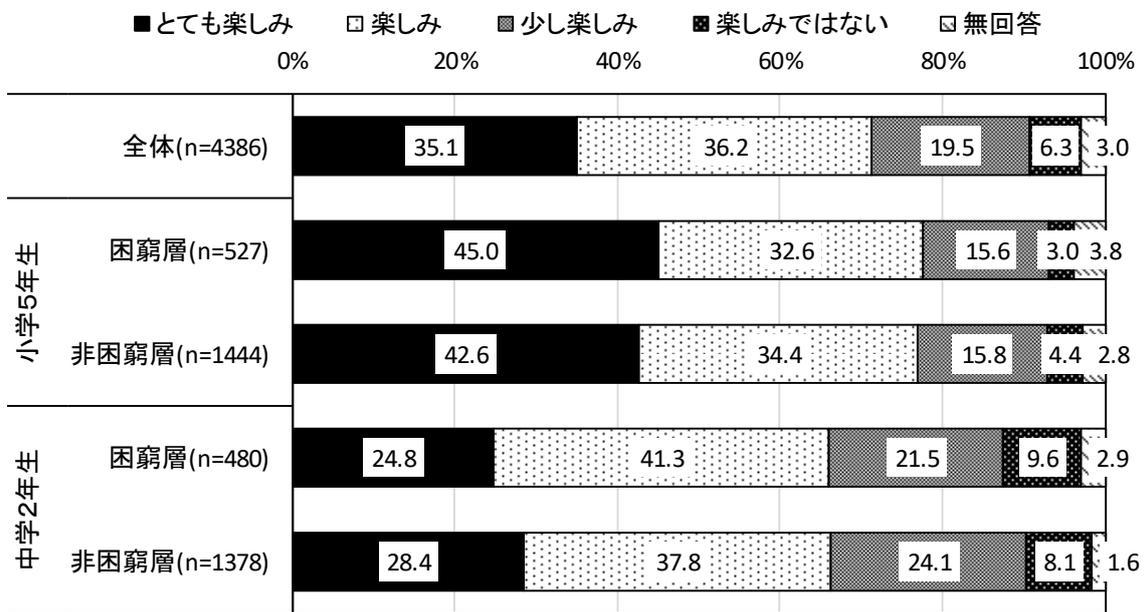


※小学 5 年生：有意差なし，中学 2 年生：有意差なし

【子ども】 Q7① 楽しみ度合_学校の体育・家庭科・音楽・図工・書道の授業

「小学 5 年生-困窮層」では、「とても楽しみ」が 45.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「楽しみ」が 32.6%となっている。「小学 5 年生-非困窮層」では、「とても楽しみ」が 42.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「楽しみ」が 34.4%となっている。「中学 2 年生-困窮層」では、「楽しみ」が 41.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「とても楽しみ」が 24.8%となっている。「中学 2 年生-非困窮層」では、「楽しみ」が 37.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「とても楽しみ」が 28.4%となっている。

図 181 【子ども】 Q7① 楽しみ度合_学校の体育・家庭科・音楽・図工・書道の授業

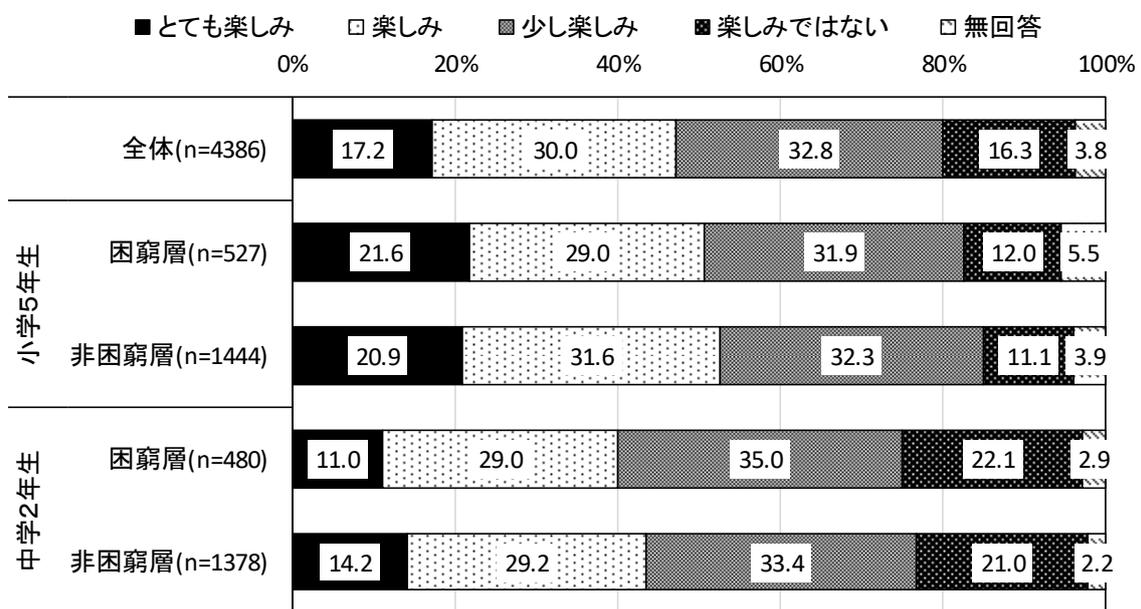


※小学 5 年生：有意差なし，中学 2 年生：有意差なし

【子ども】 Q7② 楽しみ度合_学校の体育・家庭科・音楽・図工・書道以外の授業

「小学 5 年生-困窮層」では、「少し楽しみ」が 31.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「楽しみ」が 29.0%となっている。「小学 5 年生-非困窮層」では、「少し楽しみ」が 32.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「楽しみ」が 31.6%となっている。「中学 2 年生-困窮層」では、「少し楽しみ」が 35.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「楽しみ」が 29.0%となっている。「中学 2 年生-非困窮層」では、「少し楽しみ」が 33.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「楽しみ」が 29.2%となっている。

図 182 【子ども】 Q7② 楽しみ度合_学校の体育・家庭科・音楽・図工・書道以外の授業

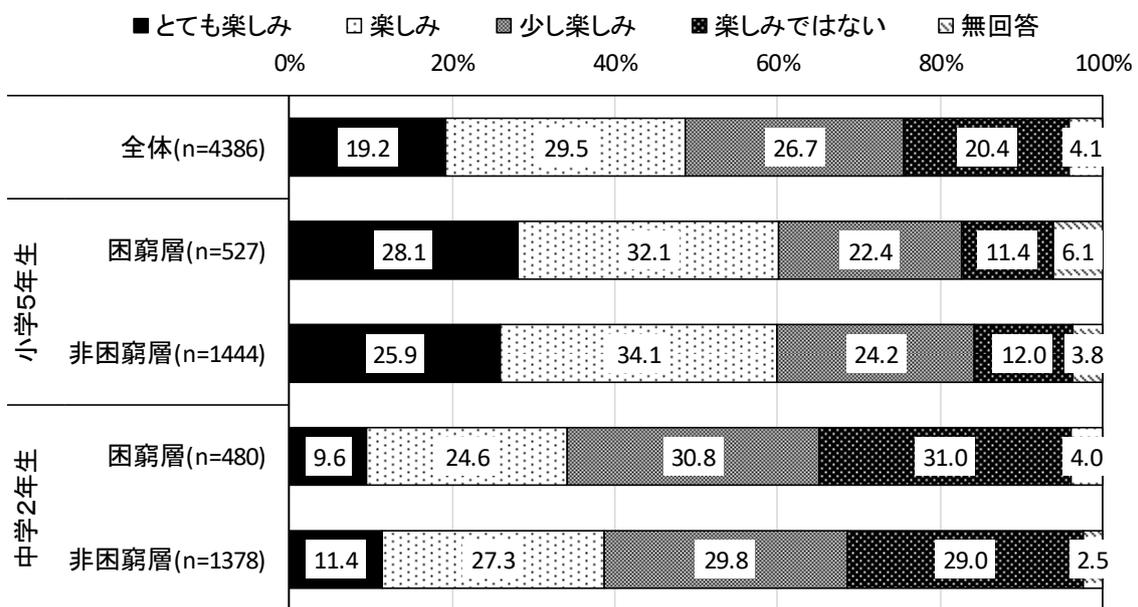


※小学 5 年生：有意差なし，中学 2 年生：有意差なし

【子ども】 Q7③ 楽しみ度合_学校の先生に会うこと

「小学 5 年生-困窮層」では、「楽しみ」が 32.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「とても楽しみ」が 28.1%となっている。「小学 5 年生-非困窮層」では、「楽しみ」が 34.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「とても楽しみ」が 25.9%となっている。「中学 2 年生-困窮層」では、「楽しみではない」が 31.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「少し楽しみ」が 30.8%となっている。「中学 2 年生-非困窮層」では、「少し楽しみ」が 29.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「楽しみではない」が 29.0%となっている。

図 183 【子ども】 Q7③ 楽しみ度合_学校の先生に会うこと

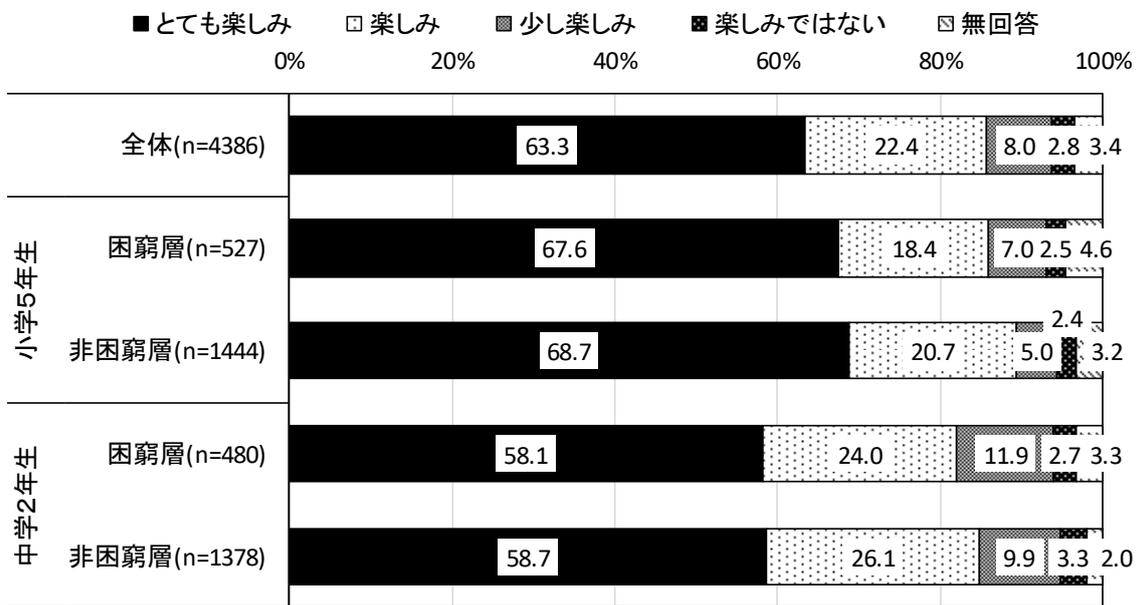


※小学 5 年生：有意差なし，中学 2 年生：有意差なし

【子ども】 Q7④ 楽しみ度合_学校の友だちに会うこと

「小学 5 年生-困窮層」では、「とても楽しみ」が 67.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「楽しみ」が 18.4%となっている。「小学 5 年生-非困窮層」では、「とても楽しみ」が 68.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「楽しみ」が 20.7%となっている。「中学 2 年生-困窮層」では、「とても楽しみ」が 58.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「楽しみ」が 24.0%となっている。「中学 2 年生-非困窮層」では、「とても楽しみ」が 58.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「楽しみ」が 26.1%となっている。

図 184 【子ども】 Q7④ 楽しみ度合_学校の友だちに会うこと

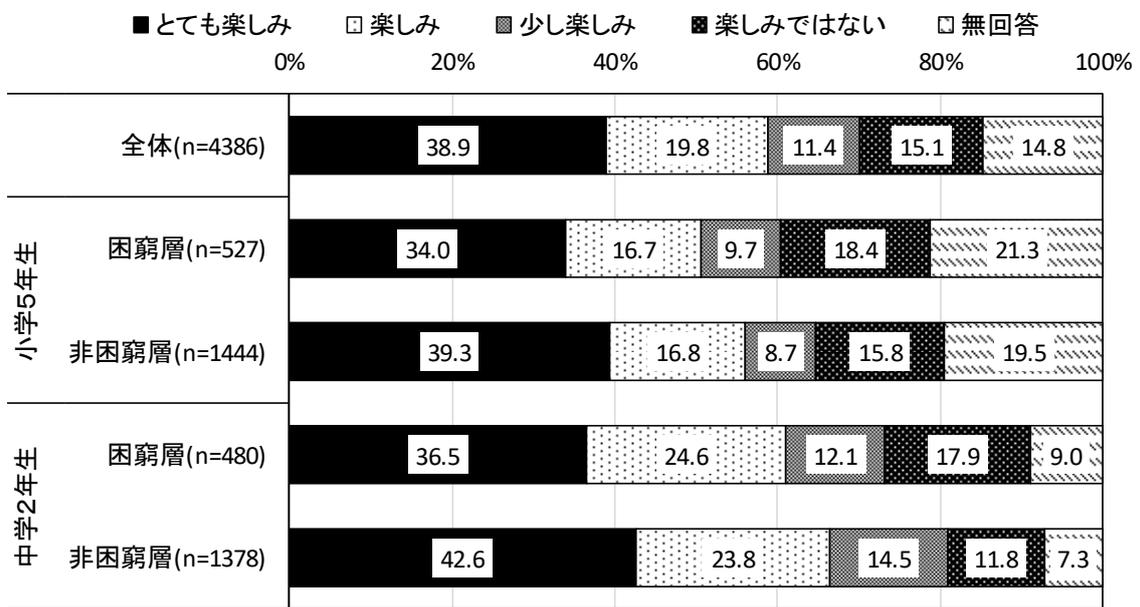


※小学 5 年生：有意差なし，中学 2 年生：有意差なし

【子ども】 Q7⑤ 楽しみ度合_学校の部活動

「小学5年生-困窮層」では、「とても楽しみ」が34.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「楽しみではない」が18.4%となっている。「小学5年生-非困窮層」では、「とても楽しみ」が39.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「楽しみ」が16.8%となっている。「中学2年生-困窮層」では、「とても楽しみ」が36.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「楽しみ」が24.6%となっている。「中学2年生-非困窮層」では、「とても楽しみ」が42.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「楽しみ」が23.8%となっている。

図 185 【子ども】 Q7⑤ 楽しみ度合_学校の部活動

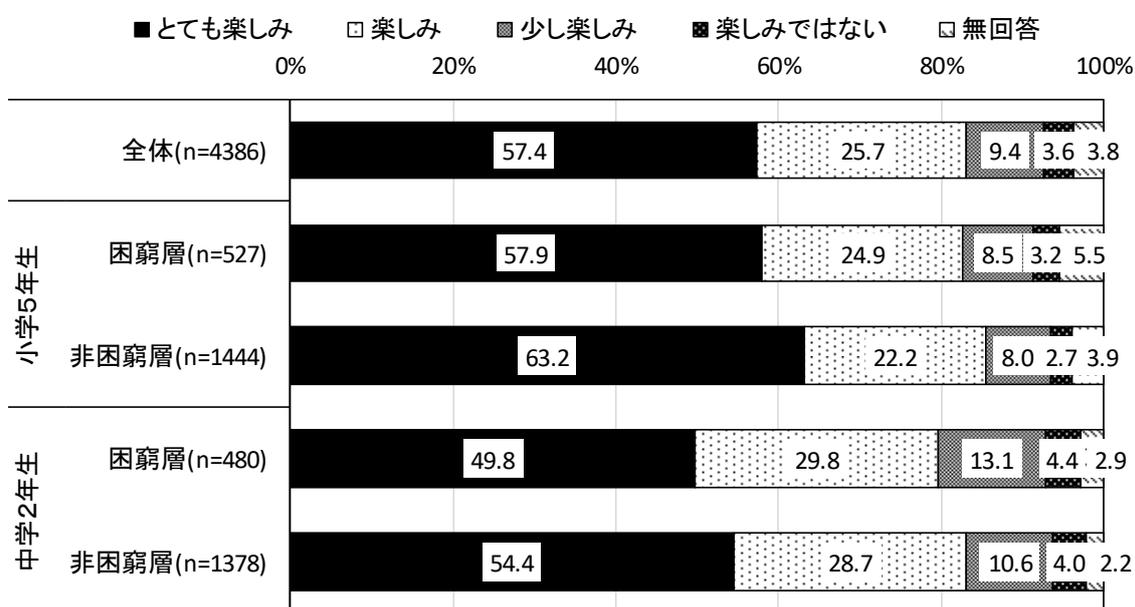


※小学5年生：有意差なし，中学2年生：p<0.01

【子ども】 Q7⑥ 楽しみ度合_学校の休み時間

「小学 5 年生-困窮層」では、「とても楽しみ」が 57.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「楽しみ」が 24.9%となっている。「小学 5 年生-非困窮層」では、「とても楽しみ」が 63.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「楽しみ」が 22.2%となっている。「中学 2 年生-困窮層」では、「とても楽しみ」が 49.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「楽しみ」が 29.8%となっている。「中学 2 年生-非困窮層」では、「とても楽しみ」が 54.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「楽しみ」が 28.7%となっている。

図 186 【子ども】 Q7⑥ 楽しみ度合_学校の休み時間

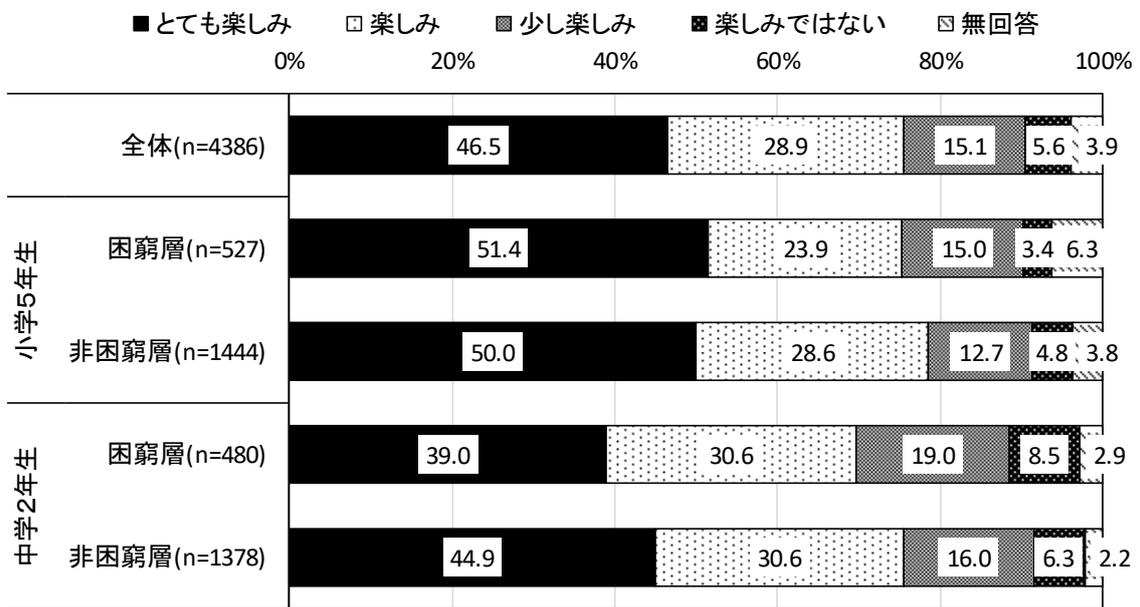


※小学 5 年生：有意差なし，中学 2 年生：有意差なし

【子ども】 Q7⑦ 楽しみ度合_学校の給食

「小学 5 年生-困窮層」では、「とても楽しみ」が 51.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「楽しみ」が 23.9%となっている。「小学 5 年生-非困窮層」では、「とても楽しみ」が 50.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「楽しみ」が 28.6%となっている。「中学 2 年生-困窮層」では、「とても楽しみ」が 39.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「楽しみ」が 30.6%となっている。「中学 2 年生-非困窮層」では、「とても楽しみ」が 44.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「楽しみ」が 30.6%となっている。

図 187 【子ども】 Q7⑦ 楽しみ度合_学校の給食

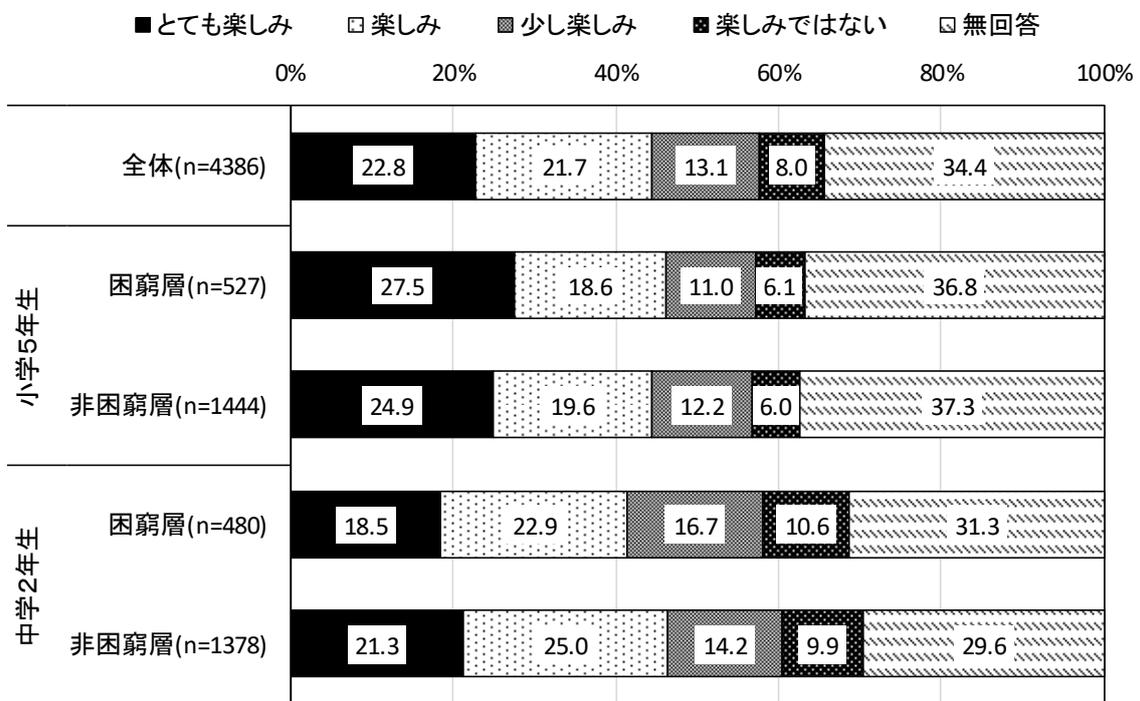


※小学 5 年生：有意差なし，中学 2 年生：有意差なし

【子ども】 Q7⑧ 楽しみ度合_その他

「小学 5 年生-困窮層」では、「とても楽しみ」が 27.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「楽しみ」が 18.6%となっている。「小学 5 年生-非困窮層」では、「とても楽しみ」が 24.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「楽しみ」が 19.6%となっている。「中学 2 年生-困窮層」では、「楽しみ」が 22.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「とても楽しみ」が 18.5%となっている。「中学 2 年生-非困窮層」では、「楽しみ」が 25.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「とても楽しみ」が 21.3%となっている。

図 188 【子ども】 Q7⑧ 楽しみ度合_その他

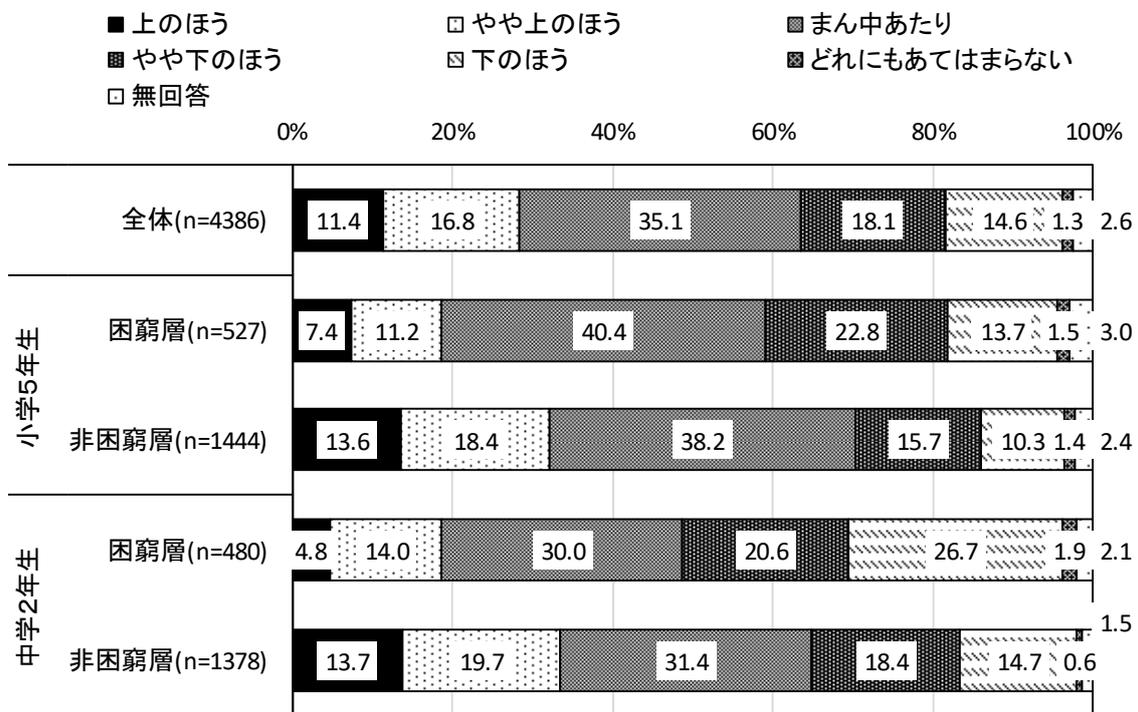


※小学 5 年生：有意差なし，中学 2 年生：有意差なし

【子ども】Q8 成績

「小学 5 年生-困窮層」では、「まん中あたり」が 40.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「やや下のほう」が 22.8%となっている。「小学 5 年生-非困窮層」では、「まん中あたり」が 38.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「やや上のほう」が 18.4%となっている。「中学 2 年生-困窮層」では、「まん中あたり」が 30.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「下のほう」が 26.7%となっている。「中学 2 年生-非困窮層」では、「まん中あたり」が 31.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「やや上のほう」が 19.7%となっている。

図 189 【子ども】Q8 成績

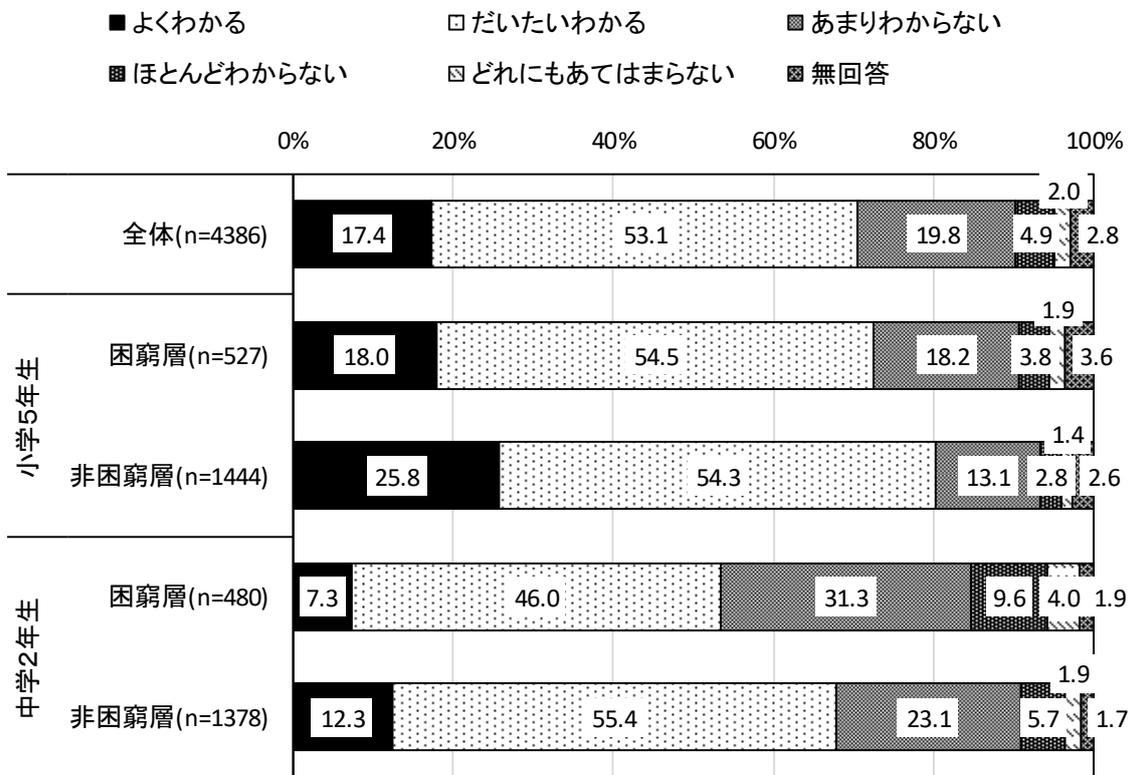


※小学 5 年生 : p<0.01, 中学 2 年生 : p<0.01

【子ども】 Q9 学校の勉強の理解度

「小学 5 年生・困窮層」では、「だいたいわかる」が 54.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「あまりわからない」が 18.2%となっている。「小学 5 年生・非困窮層」では、「だいたいわかる」が 54.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「よくわかる」が 25.8%となっている。「中学 2 年生・困窮層」では、「だいたいわかる」が 46.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「あまりわからない」が 31.3%となっている。「中学 2 年生・非困窮層」では、「だいたいわかる」が 55.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「あまりわからない」が 23.1%となっている。

図 190 【子ども】 Q9 学校の勉強の理解度

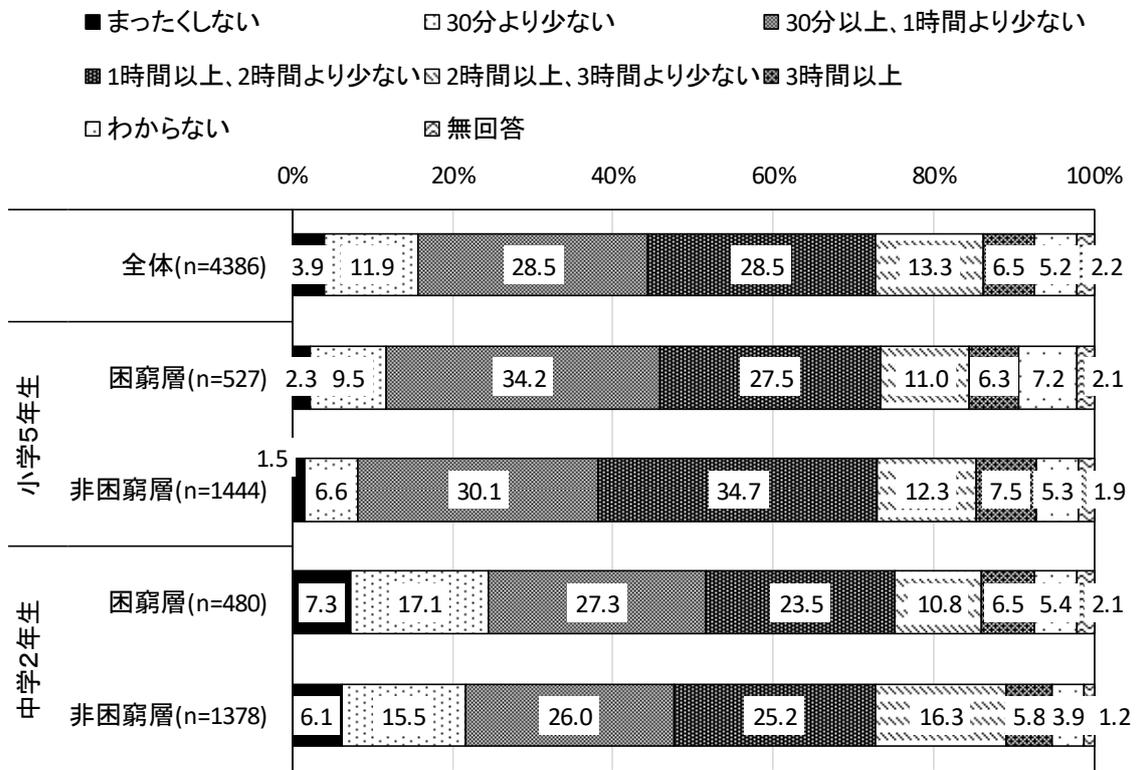


※小学 5 年生 : p<0.01, 中学 2 年生 : p<0.01

【子ども】 Q10 学校の授業以外での1日の勉強時間

「小学5年生-困窮層」では、「30分以上、1時間より少ない」が34.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「1時間以上、2時間より少ない」が27.5%となっている。「小学5年生-非困窮層」では、「1時間以上、2時間より少ない」が34.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「30分以上、1時間より少ない」が30.1%となっている。「中学2年生-困窮層」では、「30分以上、1時間より少ない」が27.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「1時間以上、2時間より少ない」が23.5%となっている。「中学2年生-非困窮層」では、「30分以上、1時間より少ない」が26.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「1時間以上、2時間より少ない」が25.2%となっている。

図 191 【子ども】 Q10 学校の授業以外での1日の勉強時間

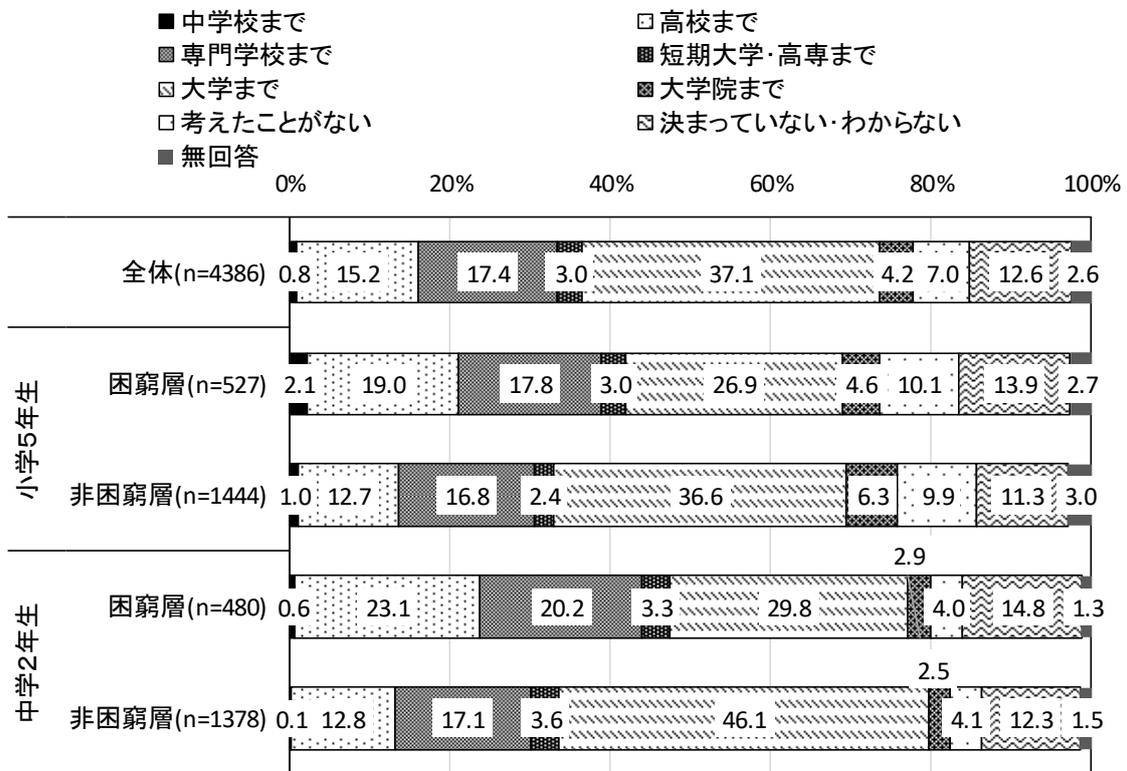


※小学5年生：p<0.01, 中学2年生：有意差なし

【子ども】 Q11 理想的な学歴

「小学 5 年生-困窮層」では、「大学まで」が 26.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「高校まで」が 19.0%となっている。「小学 5 年生-非困窮層」では、「大学まで」が 36.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「専門学校まで」が 16.8%となっている。「中学 2 年生-困窮層」では、「大学まで」が 29.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「高校まで」が 23.1%となっている。「中学 2 年生-非困窮層」では、「大学まで」が 46.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「専門学校まで」が 17.1%となっている。

図 192 【子ども】 Q11 理想的な学歴

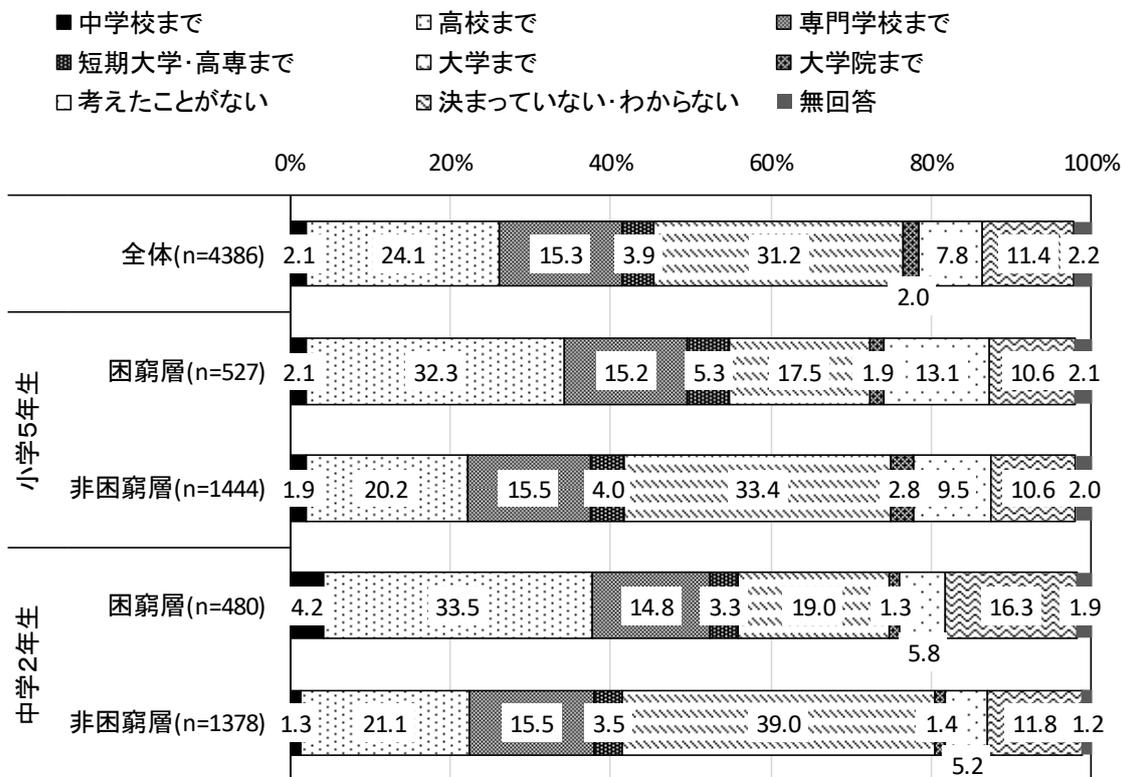


※小学 5 年生 : p<0.01, 中学 2 年生 : p<0.01

【子ども】 Q12 現実的な学歴

「小学 5 年生-困窮層」では、「高校まで」が 32.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「大学まで」が 17.5%となっている。「小学 5 年生-非困窮層」では、「大学まで」が 33.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「高校まで」が 20.2%となっている。「中学 2 年生-困窮層」では、「高校まで」が 33.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「大学まで」が 19.0%となっている。「中学 2 年生-非困窮層」では、「大学まで」が 39.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「高校まで」が 21.1%となっている。

図 193 【子ども】 Q12 現実的な学歴

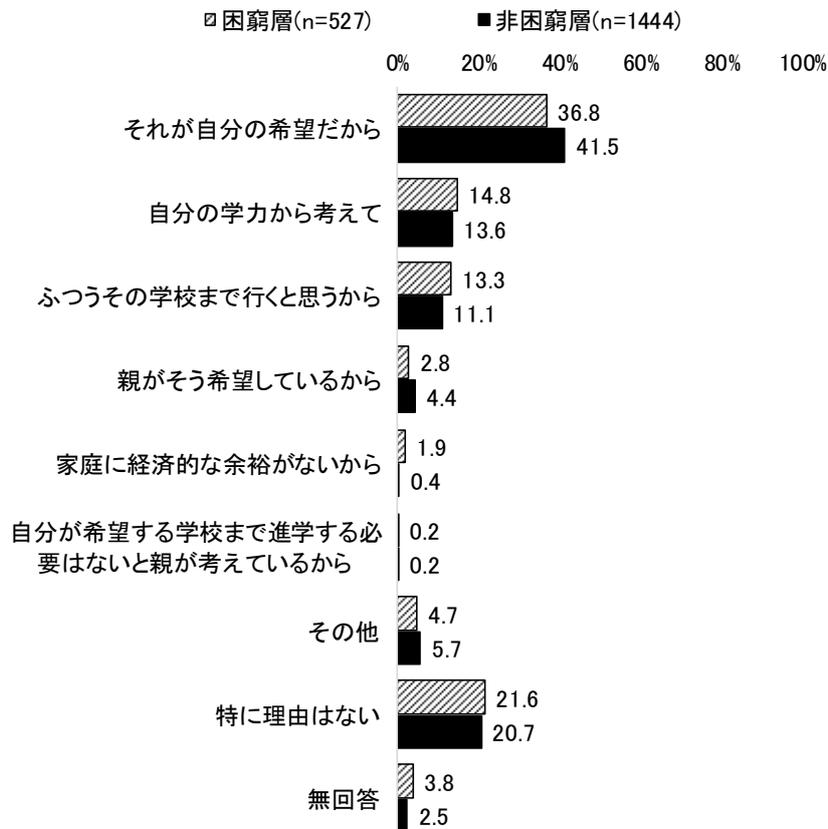


※小学 5 年生 : $p < 0.01$, 中学 2 年生 : $p < 0.01$

【子ども】 Q13 現実的な学歴の理由

「小学5年生-困窮層」では、「それが自分の希望だから」が36.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「特に理由はない」が21.6%となっている。「小学5年生-非困窮層」では、「それが自分の希望だから」が41.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「特に理由はない」が20.7%となっている。

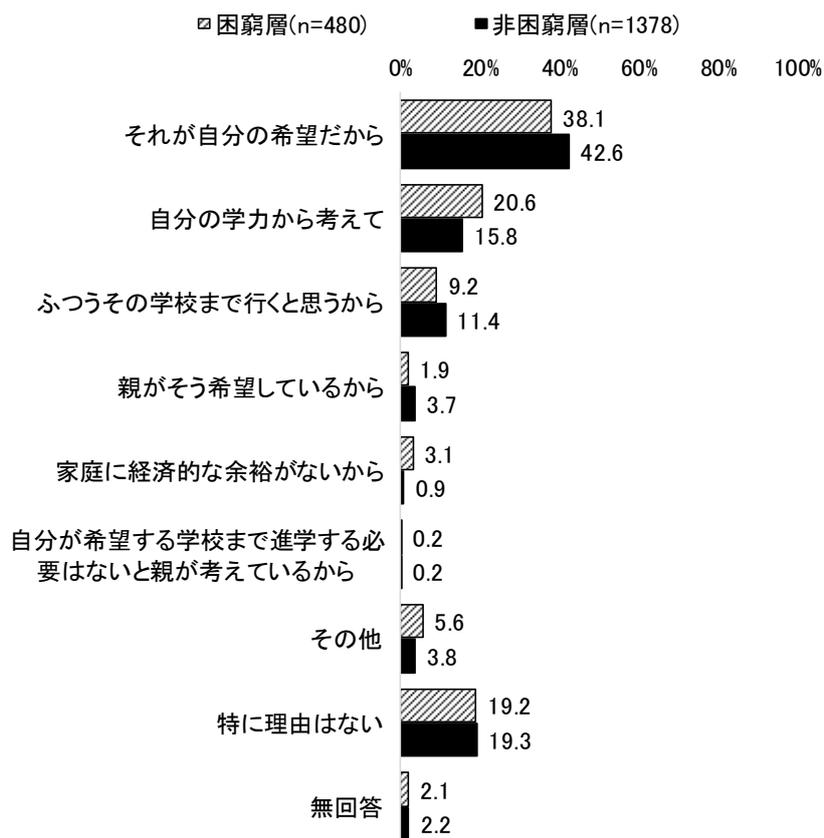
図 194 【子ども】 Q13 現実的な学歴の理由(小学5年生)



※p<0.05

「中学2年生-困窮層」では、「それが自分の希望だから」が38.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「自分の学力から考えて」が20.6%となっている。「中学2年生-非困窮層」では、「それが自分の希望だから」が42.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「特に理由はない」が19.3%となっている。

図 195 【子ども】 Q13 現実的な学歴の理由(中学2年生)



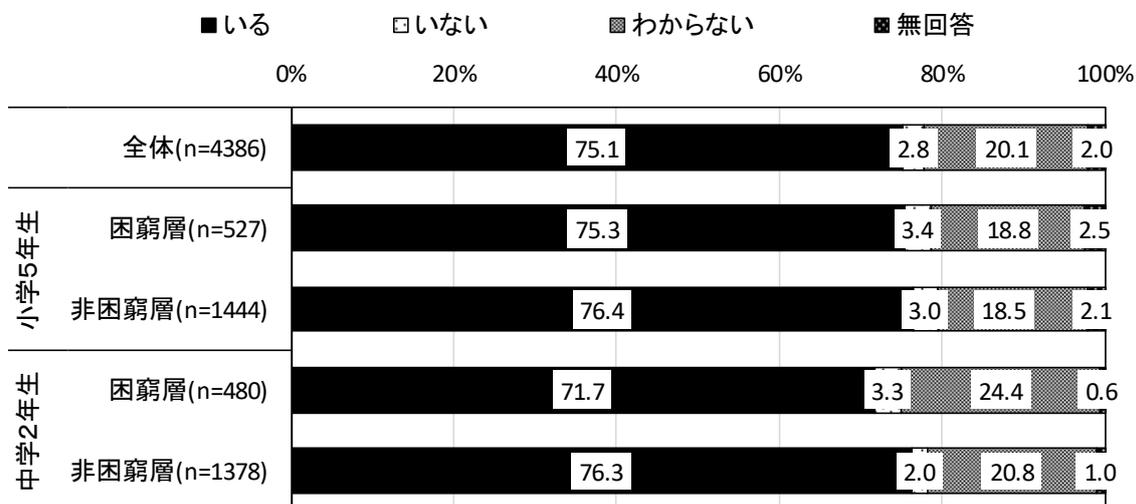
※p<0.01

6.地域や友人とのつながり

【子ども】 Q5① 何かに失敗したときに、たすけてくれる人の有無

「小学5年生-困窮層」では、「いる」が75.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「わからない」が18.8%となっている。「小学5年生-非困窮層」では、「いる」が76.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「わからない」が18.5%となっている。「中学2年生-困窮層」では、「いる」が71.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「わからない」が24.4%となっている。「中学2年生-非困窮層」では、「いる」が76.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「わからない」が20.8%となっている。

図 196 【子ども】 Q5① 何かに失敗したときに、たすけてくれる人の有無

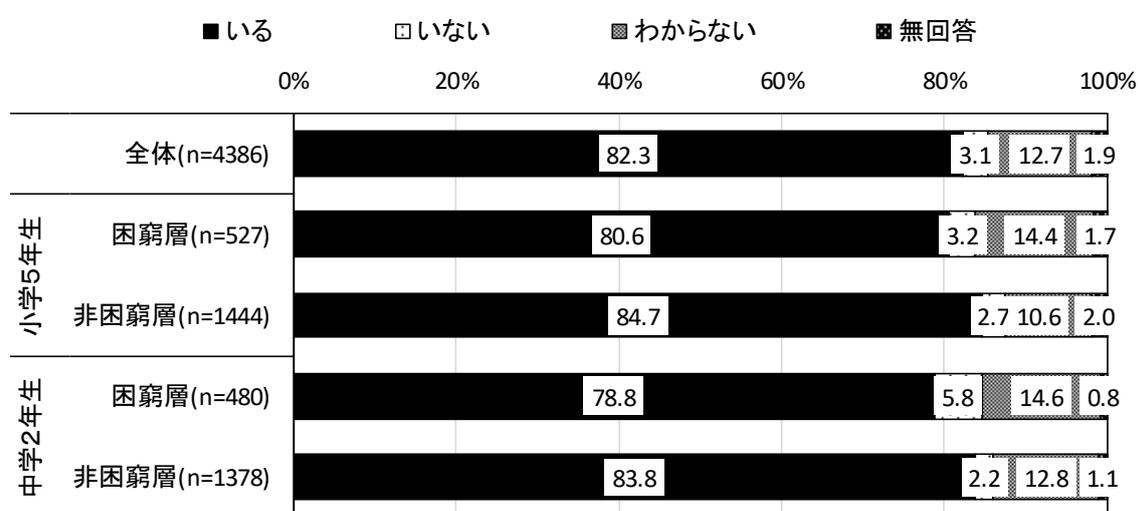


※小学5年生：有意差なし，中学2年生：p<0.05

【子ども】 Q5② がんばったときに、ほめてくれる人の有無

「小学5年生-困窮層」では、「いる」が80.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「わからない」が14.4%となっている。「小学5年生-非困窮層」では、「いる」が84.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「わからない」が10.6%となっている。「中学2年生-困窮層」では、「いる」が78.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「わからない」が14.6%となっている。「中学2年生-非困窮層」では、「いる」が83.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「わからない」が12.8%となっている。

図 197 【子ども】 Q5② がんばったときに、ほめてくれる人の有無

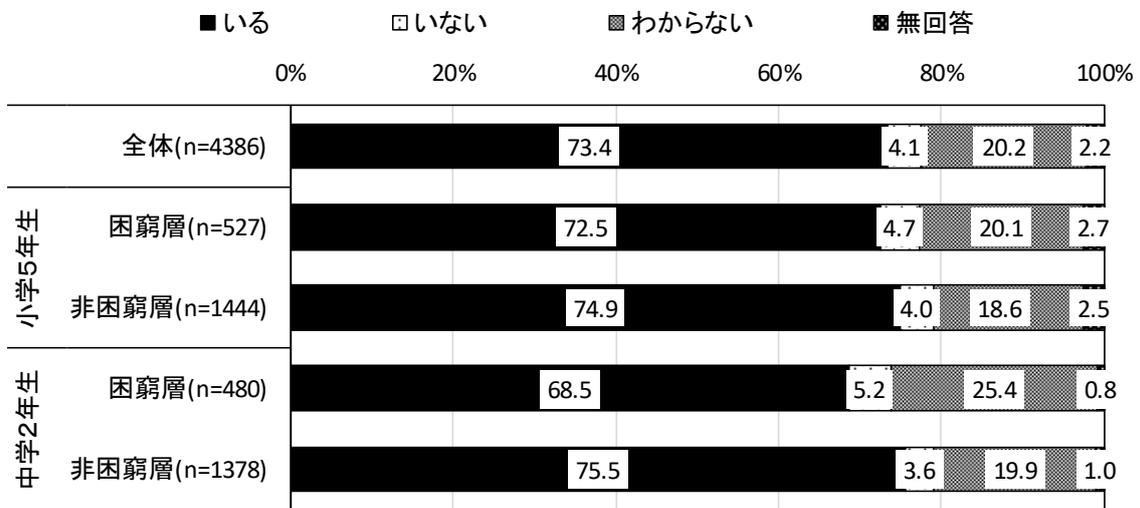


※小学5年生：有意差なし，中学2年生：p<0.01

【子ども】 Q5③ 一人ではできないときに、気持ちよく手伝ってくれる人の有無

「小学5年生-困窮層」では、「いる」が72.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「わからない」が20.1%となっている。「小学5年生-非困窮層」では、「いる」が74.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「わからない」が18.6%となっている。「中学2年生-困窮層」では、「いる」が68.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「わからない」が25.4%となっている。「中学2年生-非困窮層」では、「いる」が75.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「わからない」が19.9%となっている。

図 198 【子ども】 Q5③ 一人ではできないときに、気持ちよく手伝ってくれる人の有無

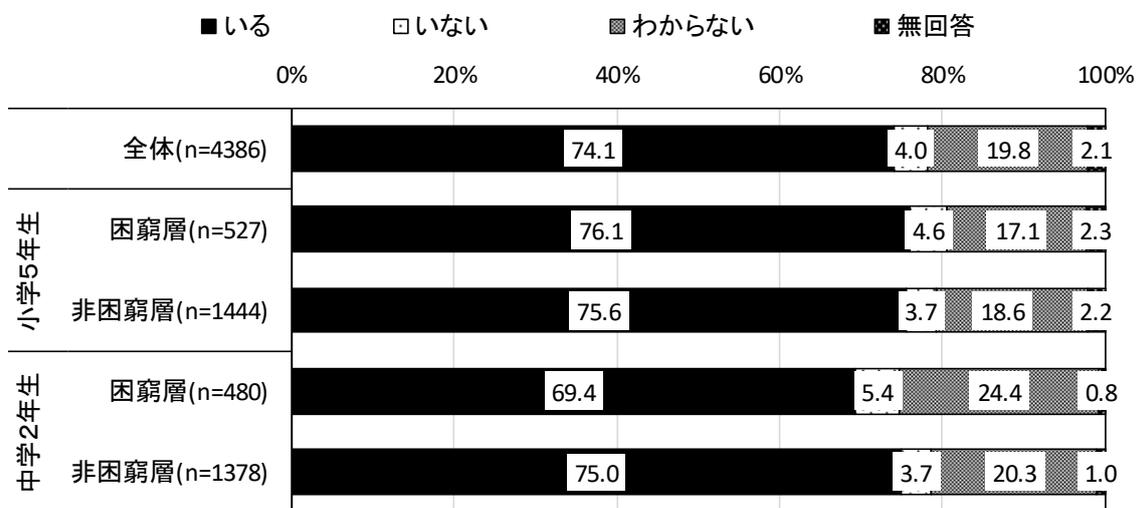


※小学5年生：有意差なし，中学2年生：p<0.01

【子ども】 Q5④ 悩んでいるときに、どうしたらよいか教えてくれる人の有無

「小学5年生-困窮層」では、「いる」が76.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「わからない」が17.1%となっている。「小学5年生-非困窮層」では、「いる」が75.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「わからない」が18.6%となっている。「中学2年生-困窮層」では、「いる」が69.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「わからない」が24.4%となっている。「中学2年生-非困窮層」では、「いる」が75.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「わからない」が20.3%となっている。

図 199 【子ども】 Q5④ 悩んでいるときに、どうしたらよいか教えてくれる人の有無

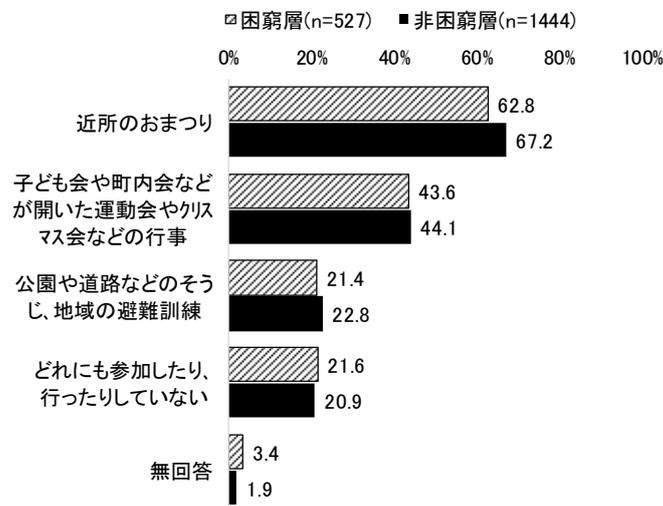


※小学5年生：有意差なし，中学2年生：p<0.05

【子ども】Q6 参加したことがある地域の活動（複数回答）

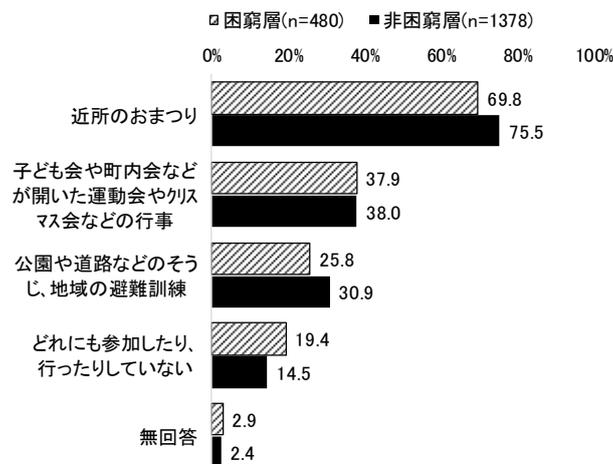
「小学 5 年生-困窮層」では、「近所のおまつり」が 62.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「子ども会や町内会などが開いた運動会やクリスマス会などの行事」が 43.6%となっている。「小学 5 年生-非困窮層」では、「近所のおまつり」が 67.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「子ども会や町内会などが開いた運動会やクリスマス会などの行事」が 44.1%となっている。「中学 2 年生-困窮層」では、「近所のおまつり」が 69.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「子ども会や町内会などが開いた運動会やクリスマス会などの行事」が 37.9%となっている。「中学 2 年生-非困窮層」では、「近所のおまつり」が 75.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「子ども会や町内会などが開いた運動会やクリスマス会などの行事」が 38.0%となっている。

図 200 【子ども】Q6 参加したことがある地域の活動(小学 5 年生)



※いずれも有意差なし

図 201 【子ども】Q6 参加したことがある地域の活動(中学 2 年生)

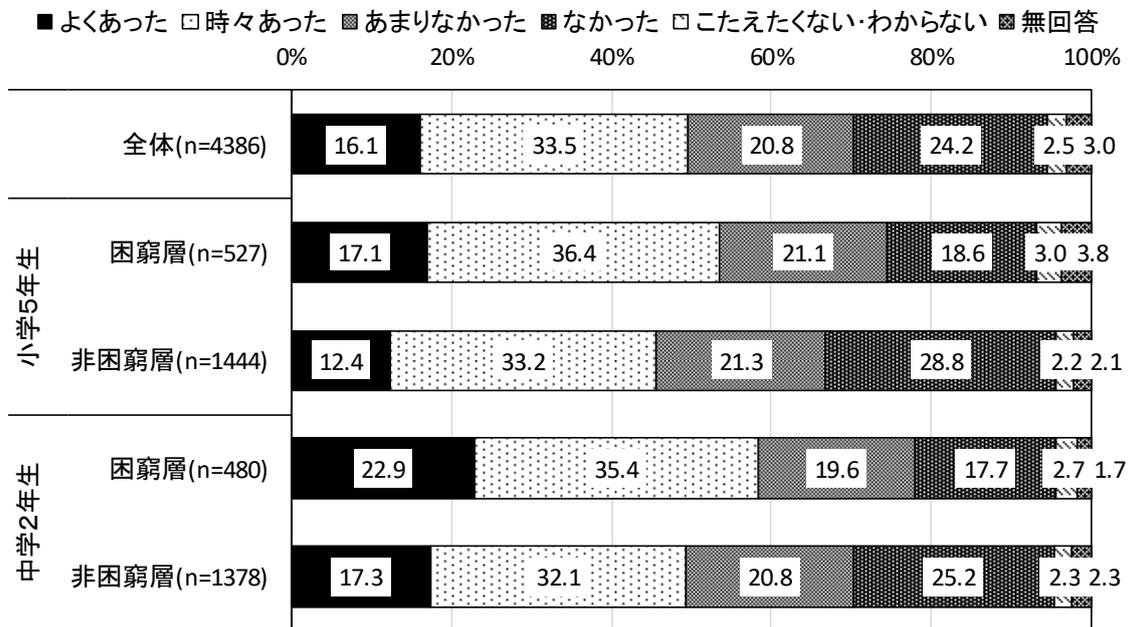


※近所のおまつり／講演や道路などのそうじ、地域の避難訓練／どれにも参加したり、行ったりしていない：p<0.05, 上記以外の項目：有意差なし

【子ども】 Q20① 学校に行きたくないと思った

「小学 5 年生-困窮層」では、「時々あった」が 36.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「あまりなかった」が 21.1%となっている。「小学 5 年生-非困窮層」では、「時々あった」が 33.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「なかった」が 28.8%となっている。「中学 2 年生-困窮層」では、「時々あった」が 35.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「よくあった」が 22.9%となっている。「中学 2 年生-非困窮層」では、「時々あった」が 32.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「なかった」が 25.2%となっている。

図 202 【子ども】 Q20① 学校に行きたくないと思った

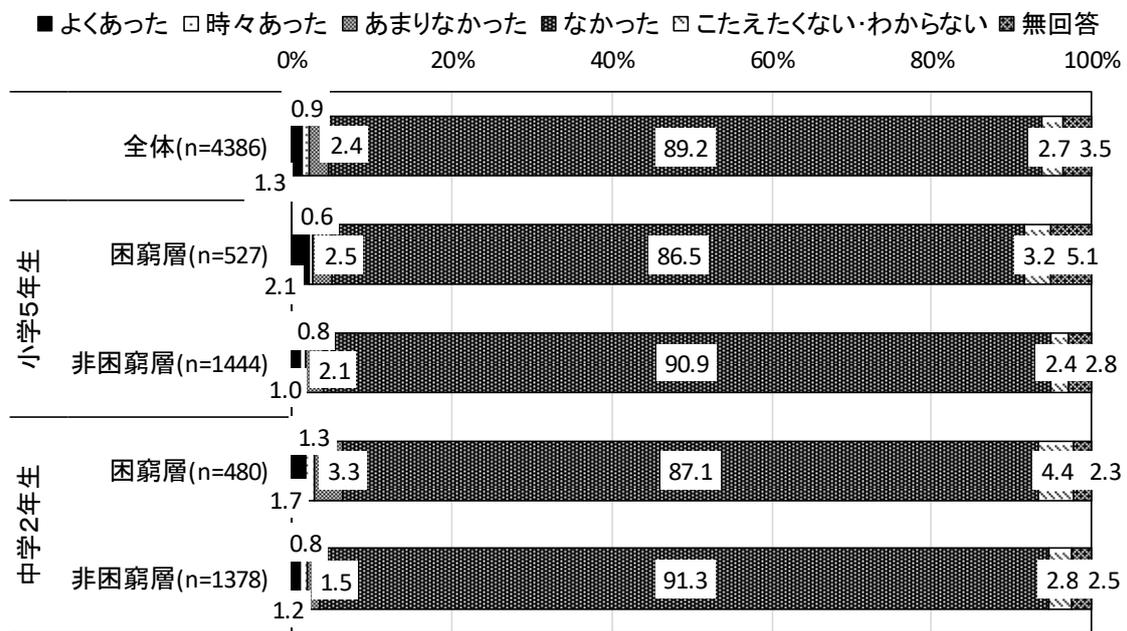


※小学 5 年生 : p<0.01, 中学 2 年生 : p<0.01

【子ども】 Q20② 1か月以上学校を休んだ

「小学5年生・困窮層」では、「なかった」が86.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「こたえたくない・わからない」が3.2%となっている。「小学5年生・非困窮層」では、「なかった」が90.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「こたえたくない・わからない」が2.4%となっている。「中学2年生・困窮層」では、「なかった」が87.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「こたえたくない・わからない」が4.4%となっている。「中学2年生・非困窮層」では、「なかった」が91.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「こたえたくない・わからない」が2.8%となっている。

図 203 【子ども】 Q20② 1か月以上学校を休んだ

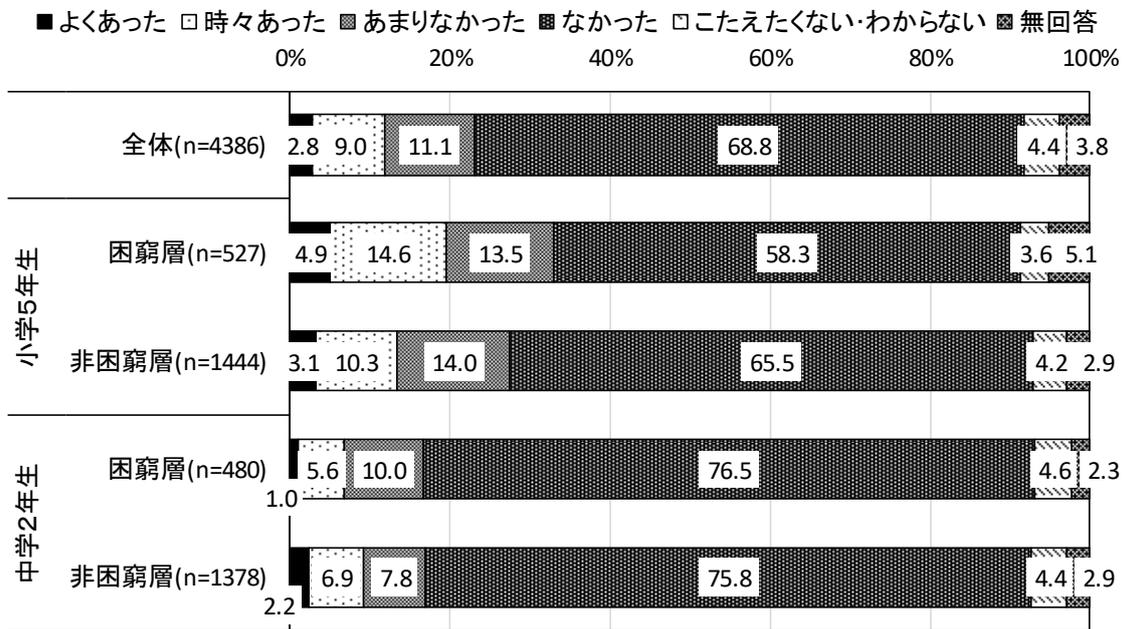


※小学5年生：有意差なし，中学2年生：p<0.05

【子ども】 Q20③ いじめられた

「小学 5 年生-困窮層」では、「なかった」が 58.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「時々あった」が 14.6%となっている。「小学 5 年生-非困窮層」では、「なかった」が 65.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「あまりなかった」が 14.0%となっている。「中学 2 年生-困窮層」では、「なかった」が 76.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「あまりなかった」が 10.0%となっている。「中学 2 年生-非困窮層」では、「なかった」が 75.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「あまりなかった」が 7.8%となっている。

図 204 【子ども】 Q20③ いじめられた

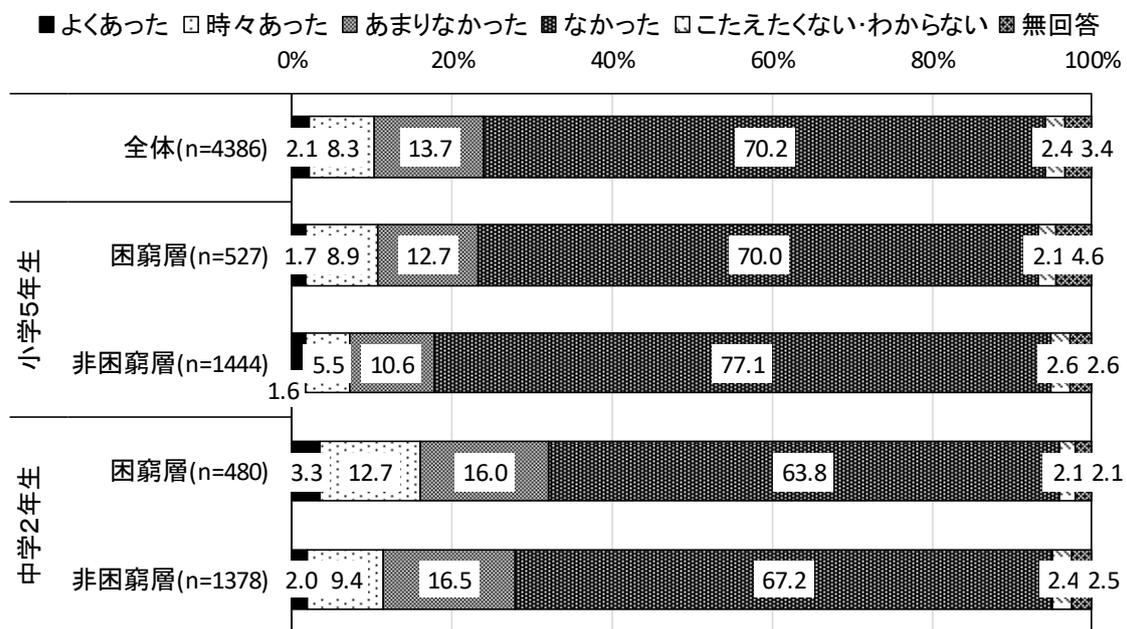


※小学 5 年生 : $p < 0.05$, 中学 2 年生 : 有意差なし

【子ども】 Q20④ 夜遅くまで子どもだけで過ごした

「小学 5 年生-困窮層」では、「なかった」が 70.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「あまりなかった」が 12.7%となっている。「小学 5 年生-非困窮層」では、「なかった」が 77.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「あまりなかった」が 10.6%となっている。「中学 2 年生-困窮層」では、「なかった」が 63.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「あまりなかった」が 16.0%となっている。「中学 2 年生-非困窮層」では、「なかった」が 67.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「あまりなかった」が 16.5%となっている。

図 205 【子ども】 Q20④ 夜遅くまで子どもだけで過ごした

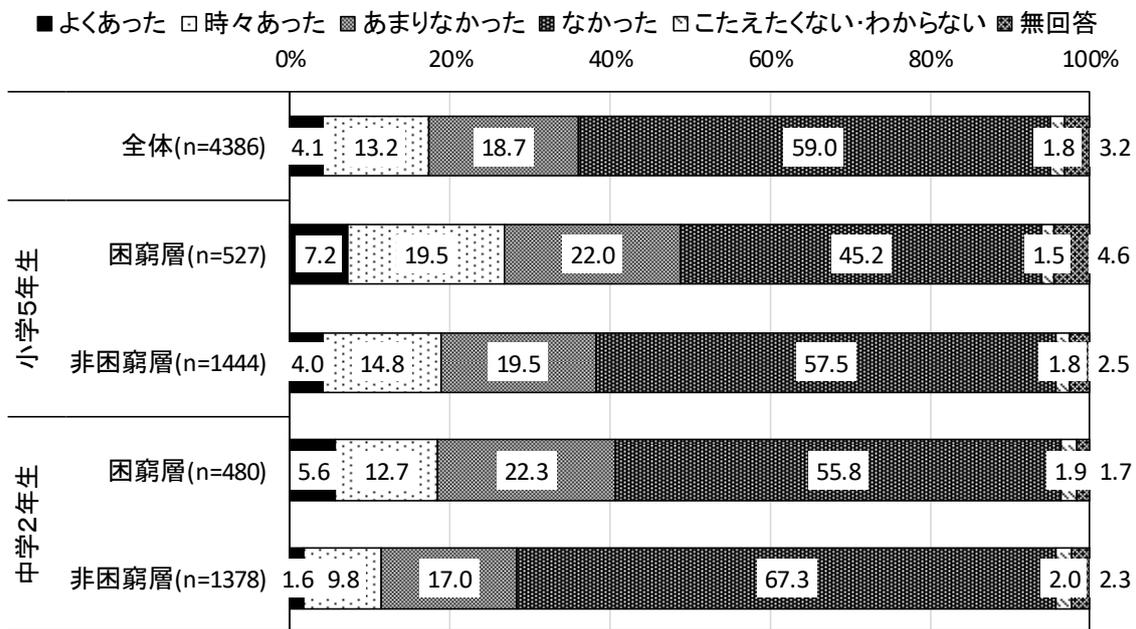


※小学 5 年生 : $p < 0.05$, 中学 2 年生 : 有意差なし

【子ども】 Q20⑤ 学校に遅刻した

「小学 5 年生-困窮層」では、「なかった」が 45.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「あまりなかった」が 22.0%となっている。「小学 5 年生-非困窮層」では、「なかった」が 57.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「あまりなかった」が 19.5%となっている。「中学 2 年生-困窮層」では、「なかった」が 55.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「あまりなかった」が 22.3%となっている。「中学 2 年生-非困窮層」では、「なかった」が 67.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「あまりなかった」が 17.0%となっている。

図 206 【子ども】 Q20⑤ 学校に遅刻した



※小学 5 年生 : p<0.01, 中学 2 年生 : p<0.01

【子ども】 Q21 いやなことや悩んでいること（複数回答）

「小学5年生・困窮層」では、「いやなことや悩んでいることはない」が30.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「学校や勉強のこと」が25.6%となっている。「小学5年生・非困窮層」では、「いやなことや悩んでいることはない」が39.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「学校や勉強のこと」が18.7%となっている。「中学2年生・困窮層」では、「学校や勉強のこと」が46.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「進学・進路のこと」が41.5%となっている。「中学2年生・非困窮層」では、「進学・進路のこと」が41.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「学校や勉強のこと」が40.5%となっている。

図 207 【子ども】 Q21 いやなことや悩んでいること(小学5年生)

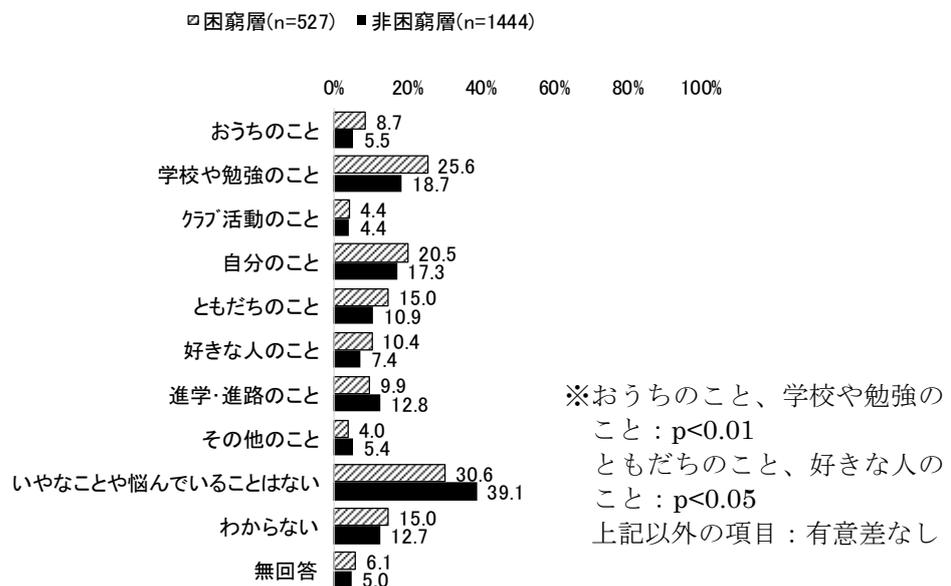
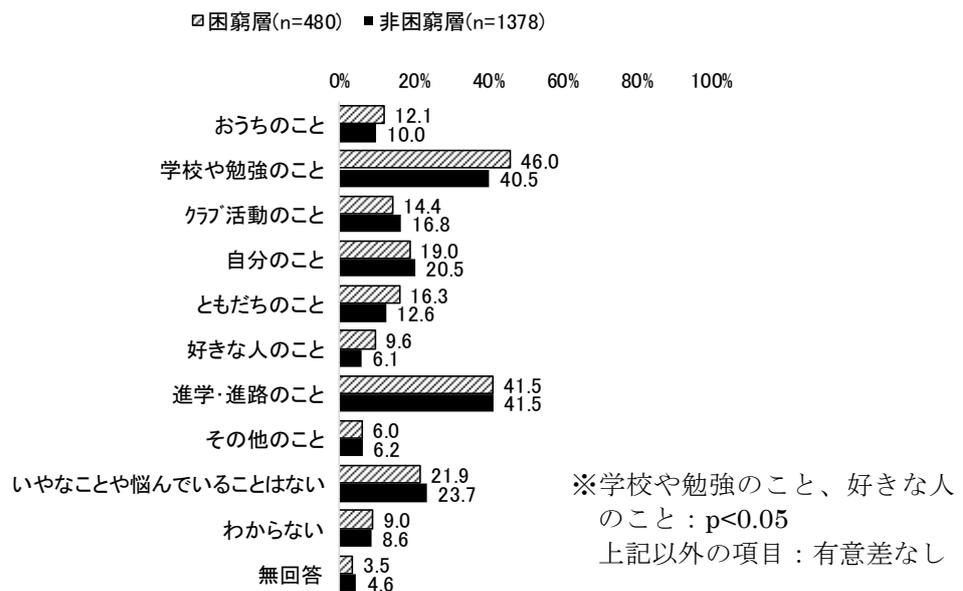


図 208 【子ども】 Q21 いやなことや悩んでいること(中学2年生)



【子ども】 Q22 ふだんの放課後に一緒に過ごす人 (複数回答)

「小学5年生-困窮層」では、「おうちの大人の人」が51.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「学校のともだち」が48.2%となっている。「小学5年生-非困窮層」では、「おうちの大人の人」が53.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「学校のともだち」が49.9%となっている。「中学2年生-困窮層」では、「学校のともだち」が53.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「学校のクラブ活動の仲間」が49.0%となっている。「中学2年生-非困窮層」では、「学校のクラブ活動の仲間」が60.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「学校のともだち」が48.1%となっている。

図 209 【子ども】 Q22 ふだんの放課後に一緒に過ごす人(小学5年生)

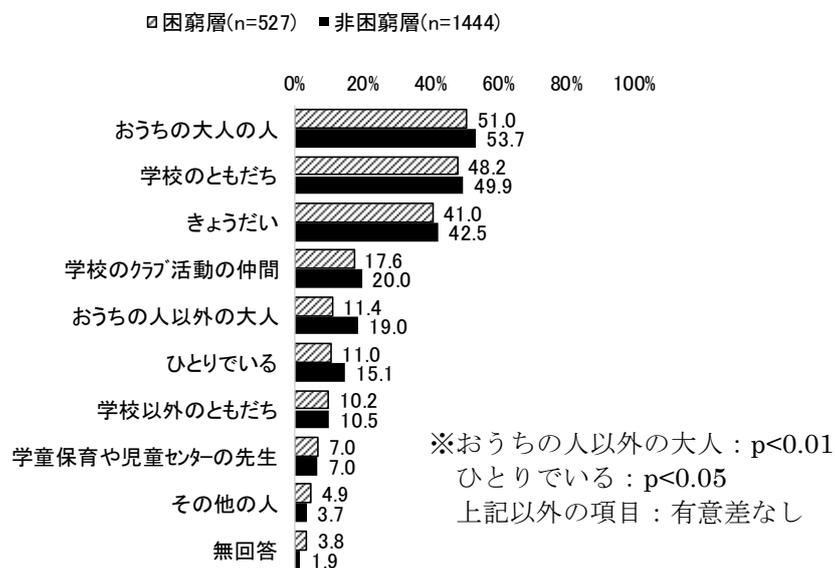
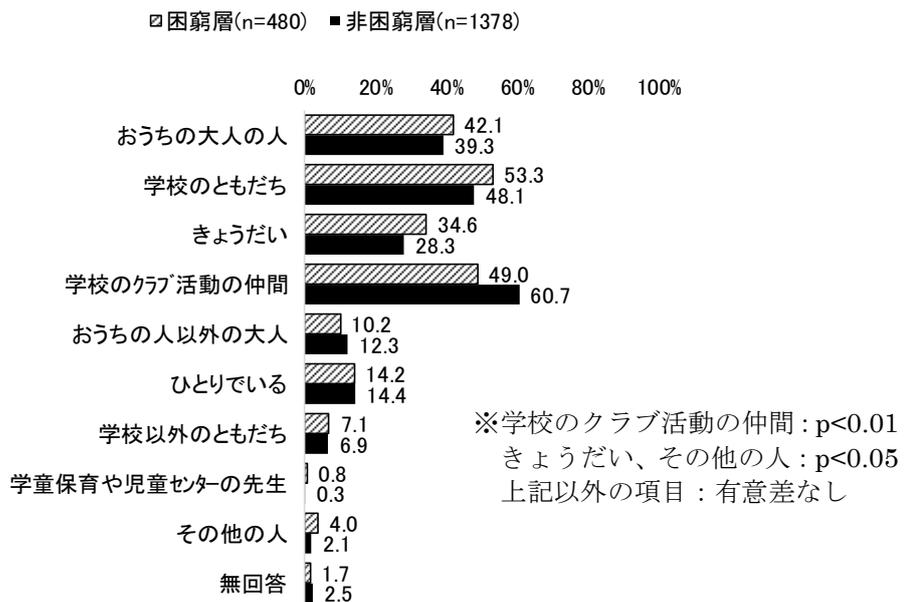


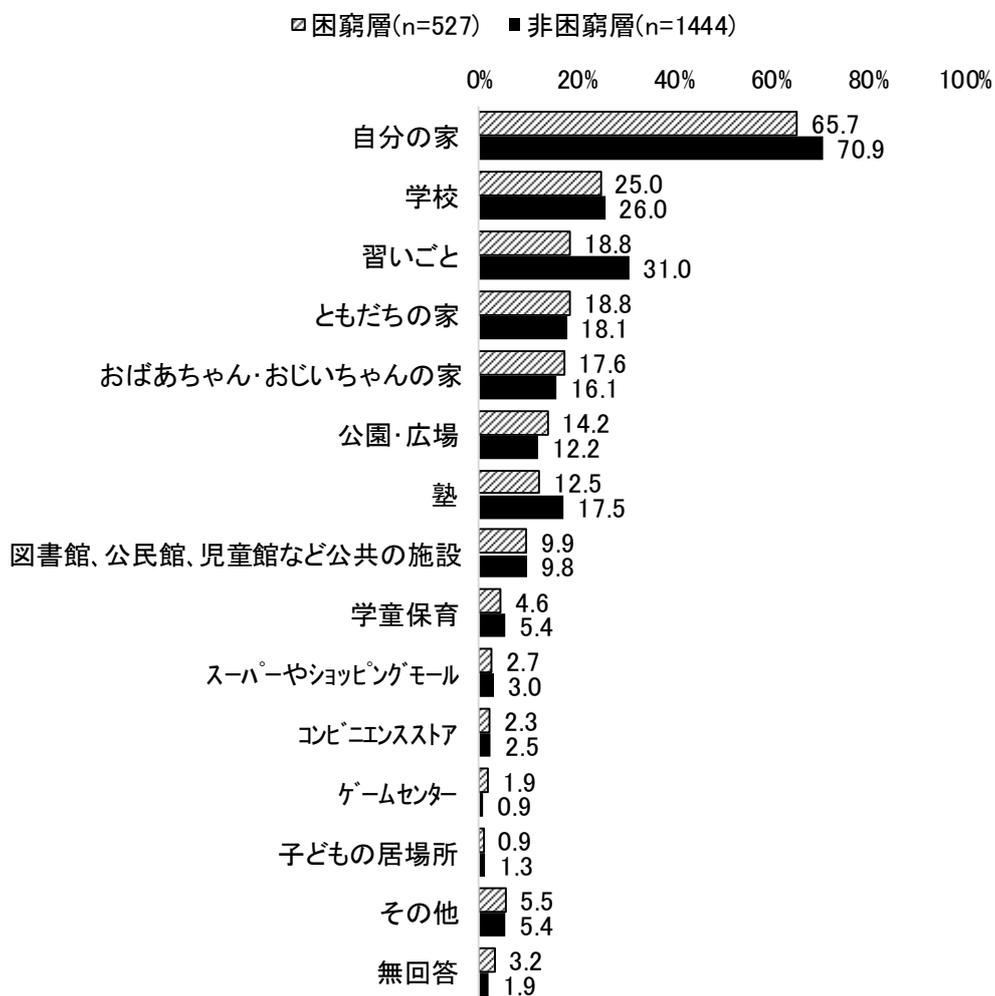
図 210 【子ども】 Q22 ふだんの放課後に一緒に過ごす人(中学2年生)



【子ども】 Q23 ふだんの放課後に過ごす場所 （複数回答）

「小学5年生-困窮層」では、「自分の家」が65.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「学校」が25.0%となっている。「小学5年生-非困窮層」では、「自分の家」が70.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「習いごと」が31.0%となっている。「中学2年生-困窮層」では、「自分の家」が68.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「学校」が56.0%となっている。「中学2年生-非困窮層」では、「学校」が64.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「自分の家」が61.8%となっている。

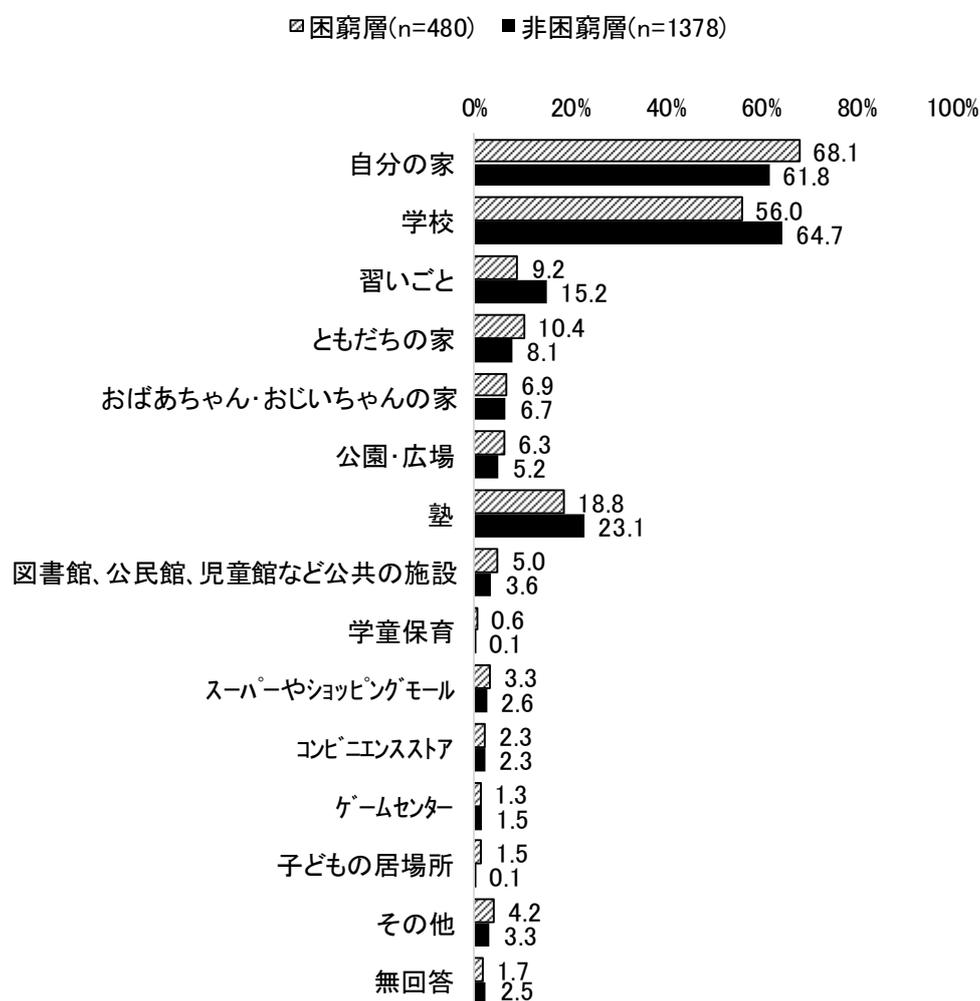
図 211 【子ども】 Q23 ふだんの放課後に過ごす場所(小学5年生)



※習いごと：p<0.01, 塾：p<0.05

上記以外の項目：有意差なし

図 212 【子ども】 Q23 ふだんの放課後に過ごす場所(中学2年生)



※習いごと、学校、子どもの居場所：p<0.01

自分の家、塾：p<0.05

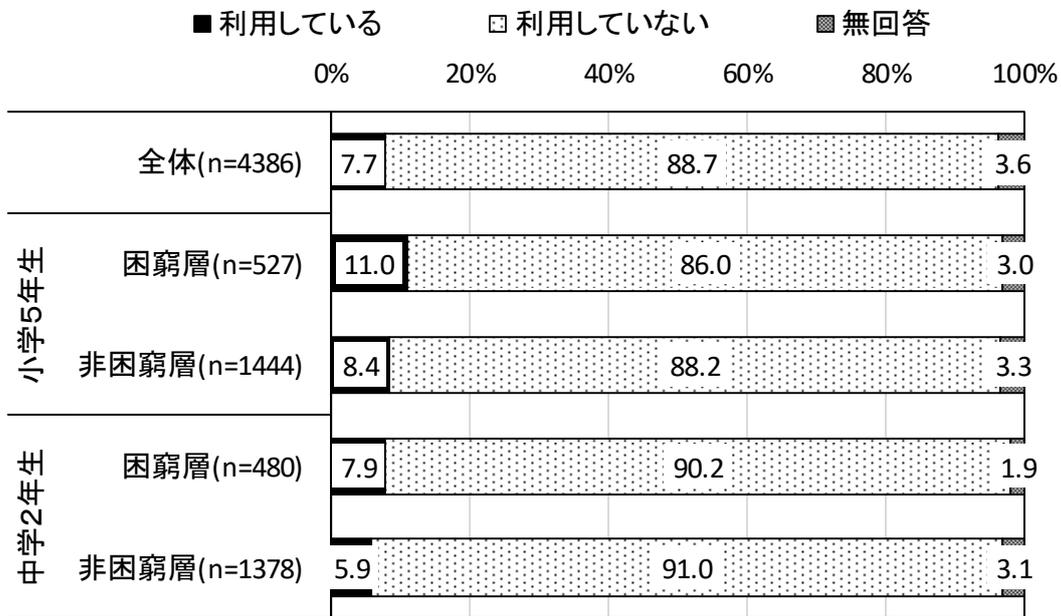
上記以外の項目：有意差なし

7.子育て支援の利用状況

【子ども】 Q24 子どもの居場所の利用状況

「小学 5 年生-困窮層」では、「利用していない」が 86.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「利用している」が 11.0%となっている。「小学 5 年生-非困窮層」では、「利用していない」が 88.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「利用している」が 8.4%となっている。「中学 2 年生-困窮層」では、「利用していない」が 90.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「利用している」が 7.9%となっている。「中学 2 年生-非困窮層」では、「利用していない」が 91.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「利用している」が 5.9%となっている。

図 213 【子ども】 Q24 子どもの居場所の利用状況



※小学 5 年生：有意差なし，中学 2 年生：有意差なし

【子ども】 Q25 居場所を利用する理由 (複数回答)

「小学 5 年生-困窮層」では、「勉強するため」が 56.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「友だちと遊ぶため」が 41.4%となっている。「小学 5 年生-非困窮層」では、「勉強するため」が 63.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「友だちと遊ぶため」が 50.0%となっている。「中学 2 年生-困窮層」では、「勉強するため」が 76.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「友だちと遊ぶため」が 31.6%となっている。「中学 2 年生-非困窮層」では、「勉強するため」が 85.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「友だちと遊ぶため」が 23.5%となっている。n 値が少ないので留意が必要である。

図 214 【子ども】 Q25 居場所を利用する理由(小学 5 年生)

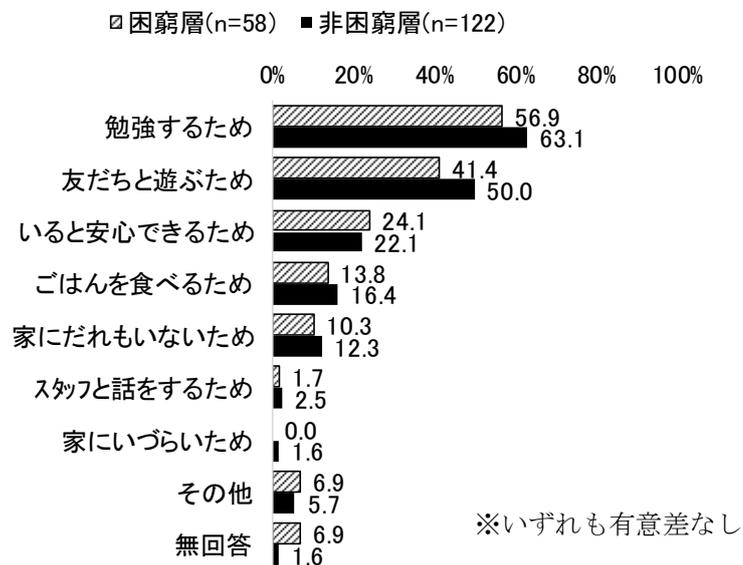
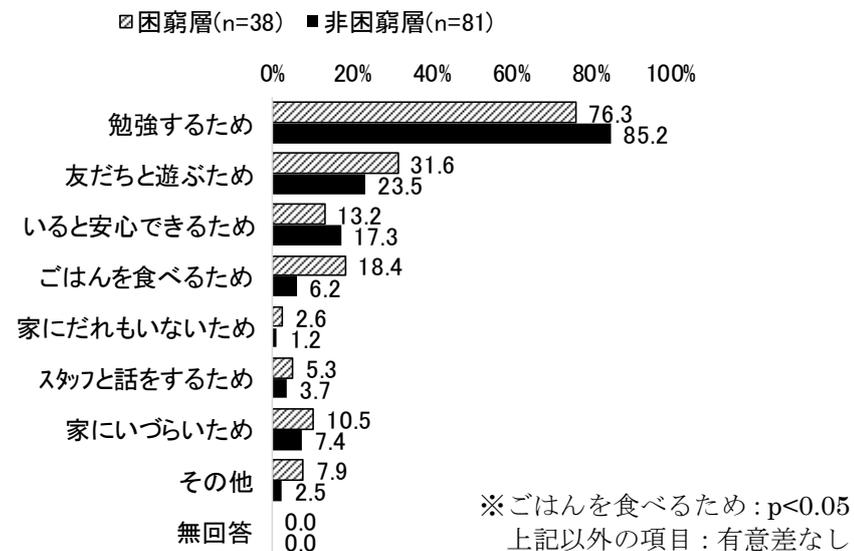


図 215 【子ども】 Q25 居場所を利用する理由(中学 2 年生)



【子ども】 Q26 居場所を利用しない理由 (複数回答)

「小学 5 年生-困窮層」では、「そのような居場所があることを知らなかったから」が 56.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「そのような居場所が近所がないため」が 36.9%となっている。「小学 5 年生-非困窮層」では、「そのような居場所があることを知らなかったから」が 56.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「そのような居場所が近所がないため」が 33.4%となっている。「中学 2 年生-困窮層」では、「そのような居場所があることを知らなかったから」が 50.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「そのような居場所が近所がないため」が 27.5%となっている。「中学 2 年生-非困窮層」では、「そのような居場所があることを知らなかったから」が 48.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「そのような居場所が近所がないため」が 27.8%となっている。

図 216 【子ども】 Q26 居場所を利用しない理由(小学 5 年生)

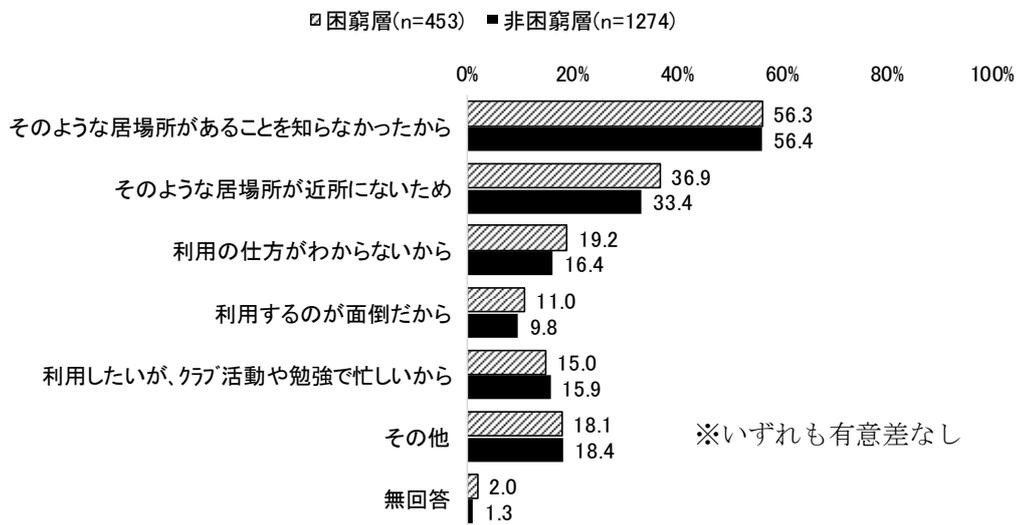
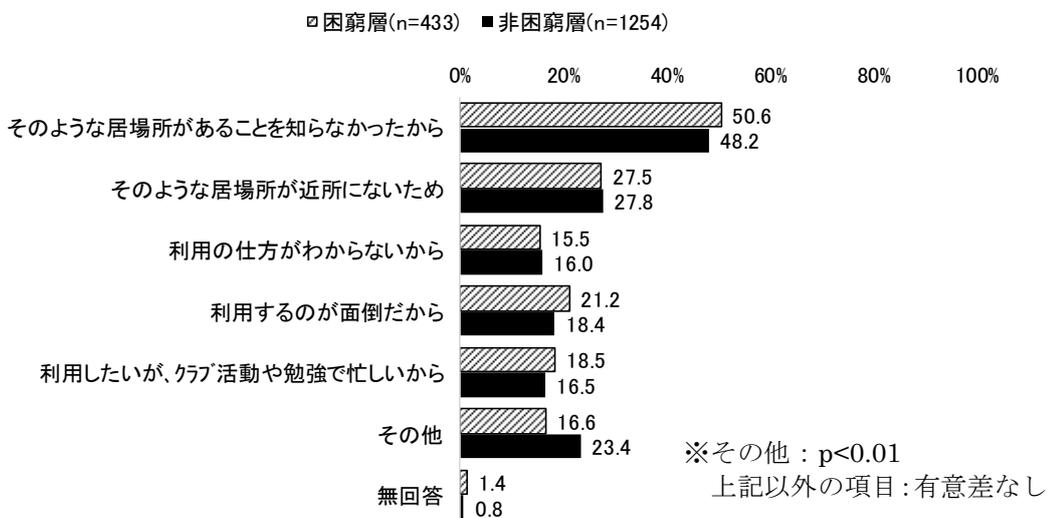


図 217 【子ども】 Q26 居場所を利用しない理由(中学 2 年生)



8.子どもに関する分析のまとめ

① 基本情報

- ・子どもの学年は、「小学 5 年生」が 51.6%、「中学 2 年生」が 48.4%となっている。(P139)

② 経済状況

- ・子どもが持っているものについて、困窮層と非困窮層とでいずれの学年も所持率に 10.0 ポイント以上の差があるのは、「子ども部屋」「習いごとなどの道具」「インターネットにつながるパソコン」である。(P140,141)

③ 健康

- ・健康状態について、小学 5 年生では差がないが、中学 2 年生では非困窮層よりも困窮層で「良い」と回答する割合が 6.9 ポイント低くなっている。(P142)
- ・虫歯の平均本数は、いずれの学年も非困窮層よりも困窮層が多い（小学 5 年生で 0.5 本、中学 2 年生で 0.3 本の差）。(P143)
- ・平均身長は、小学 5 年生では差がないが、中学 2 年生では非困窮層よりも困窮層で低く、1.1cm の差がある。(P144, 145)

④ 家庭生活

- ・朝ご飯や夕ご飯を一緒に食べる人を見ると、いずれの学年も困窮層ほど「親」の割合が低く、特に中学 2 年生では 10.0~15.0 ポイント程度の差がみられる。(P150,151,152,153)
- ・「おうちの人に宿題をみてもらう」の頻度について、「毎日」とする割合は困窮層よりも非困窮層で高くなっており、小学 5 年生では 8.1 ポイント、中学 2 年生では 1.8 ポイントの差がある。(P156)
- ・「大人は信用できる」について、「とてもそう思う」とする割合は、中学 2 年生において、困窮層よりも非困窮層で 5.2 ポイント高くなっている。(P164)
- ・「自分は家族から大事にされている」について、「とてもそう思う」とする割合は、小学 5 年生において、困窮層よりも非困窮層で 8.0 ポイント高くなっている。(P167)

⑤ 学習・進路

- ・学校の成績について、「上の方」「やや上の方」をあわせた割合は、いずれの学年も困窮層よりも非困窮層で高くなっており、小学 5 年生で 13.4 ポイント、中学 2 年生で 14.6 ポイントの差がみられる。(P181)
- ・学校の勉強の理解度についても、「よくわかる」「だいたいわかる」をあわせた割合は、いずれの学年も困窮層よりも非困窮層で高く、特に中学 2 年生で差が大きくなっている（小学 5 年生で 7.6 ポイント、中学 2 年生で 14.4 ポイントの差）。(P182)

- ・理想的な学歴として「大学」をあげる割合は、困窮層よりも非困窮層で高く、小学 5 年生で 9.7 ポイント、中学 2 年生で 16.3 ポイントの差がある。現実的な学歴についてはさらに差が大きくなり、小学 5 年生で 15.9 ポイント、中学 2 年生で 20.0 ポイントの差となっている。(P184,185)

⑥ 地域や友人とのつながり

- ・「何かに失敗したときに、たすけてくれる人」など、サポートしてくれる人がいるとする割合は、小学 5 年生では困窮層と非困窮層の差はみられないが、中学 2 年生では全体的に困窮層ほど低い傾向がある。たとえば、「一人ではできないときに、気持ちよく手伝ってくれる人」がいるとする割合は、7.0 ポイント困窮層が低い。(P188,189,190,191)
- ・いずれの学年も、「学校に行きたくないと思った」ことが「よくあった」「ときどきあった」をあわせた割合は、非困窮層よりも困窮層で高く、小学 5 年生で 7.9 ポイント、中学 2 年生で 8.9 ポイントの差がある。(P193)
- ・いじめられたことがあるかについて、小学 5 年生は「よくあった」「時々あった」が非困窮層に比べ、困窮層が高くなっている。(P195)
- ・いやなことや悩んでいることとして「学校や勉強のこと」をあげる割合は、非困窮層よりも困窮層で高く、小学 5 年生で 6.9 ポイント、中学 2 年生で 5.5 ポイントの差がある。(P198)
- ・ふだんの放課後一緒に過ごす人について、小学 5 年生では困窮層よりも非困窮層で「おうちの人以外の大人」をあげる割合が高く、7.6 ポイントの差がある。中学 2 年生では、「学校のクラブ活動の仲間」について困窮層よりも非困窮層で高く、11.7 ポイントの差がみられる。(P199)

⑦ 子育て支援の利用状況

- ・子どもの居場所の利用状況は、経済状況・学年によらず約 1 割である。(P202)
- ・居場所を利用する理由は、小学 5 年生では「勉強するため」「友だちと遊ぶため」、中学 2 年生では「勉強するため」の割合が高い。中学 2 年生の困窮層では、「ごはんを食べるため」とする割合も 18.4%と非困窮層よりも 12.2 ポイント高くなっている。n 値が少ないので留意が必要である。(P203)

<考察>

子ども票の分析を通じて、保護者の経済状況が子どもの生活の様々な場面に影響を及ぼしていることが明らかとなった。

まず、家庭生活について、朝食や夕食を親と一緒に食べる割合は困窮層ほど低かった。また、宿題をみてもらう頻度も困窮層ほど低い。これらは、困窮層における親の忙しさに起因するものと考えられる。保護者票の分析でも確認されたように、困窮層ほど 1 週間あたりの労働日数が長く、自営やパート・アルバイトなど不安定な職に就いている傾向が高いため、

子どもとの時間を確保することが難しくなっている可能性がある。こうした親との関わりの少なさが、子どもの生活習慣や学習習慣、自己肯定感などに影響を及ぼす可能性も懸念される。実際に、子どもの学習理解度はいずれの学年も困窮層ほど低く、小学5年生では「家族から大事にされている」と感じる割合も低かった。さらに、朝食や夕食を親と食べる割合は、平成26年「大阪子ども調査」※と比較すると、困窮層・非困窮層によらず本調査で低い傾向がみられる。たとえば、平日の朝食を親と食べる割合は、大阪子ども調査では小学5年生の困窮層で58.0%、非困窮層で72.0%であったが、本調査では困窮層45.9%、非困窮層51.1%となっていた。

また、「学校に行きたくないと思った」という割合や、学校や勉強のことで悩んでいるという割合は困窮層ほど高かった。本調査から確認できることはあくまで相関関係であり、すべてが経済状況に原因があるということは確認できないが、家庭における経済状況の不安定さ、それに伴う親自身の余裕のなさが、こうした子どもの学校での生活に影響を及ぼし、将来的な学業達成の差につながっていくことが示唆される。将来の希望進路についても、大学を希望する割合は困窮層と非困窮層との間で差がみられ、現実的な進路として大学進学を希望する困窮層の子どもの割合は2割弱にとどまった。

こうした子どもたちを支援するための「子どもの居場所」の利用率は、全体で1割程度にとどまっており、利用していない理由の半数以上は「そのような居場所があることを知らなかったため」となっていた。困窮層の割合から考えると、さらに広く利用されるように届けることが望ましいといえる。

※文部科学省科学研究費補助金「貧困に対する子どものコンピテンシーをはぐくむ福祉・教育プログラム開発」（研究代表者：埋橋孝文 同志社大学教授）の一環として実施。

<http://gpsw.doshisha.ac.jp/osaka-children/osaka-children.pdf>

第3章 経年比較(平成27年調査との比較)

以下では、平成27年沖縄子ども調査との比較を行い、どのような変化がみられるかを検討していく。比較は、両調査において共通の項目を中心に行うが、選択肢が完全に同一とはなっていないものもあるため、結果を見る際には注意が必要である。

1. 保護者

【保護者】 回答した学年

回答者の子どもの学年をみると、いずれの調査も「小学1年生」「小学5年生」「中学2年生」がそれぞれ約3割ずつとなっている。

図 218 【保護者】平成27年調査:学年

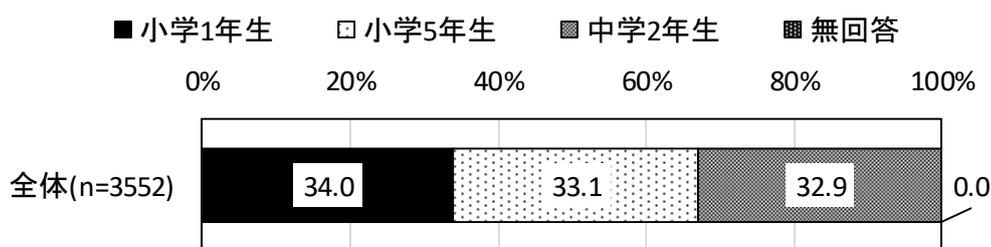
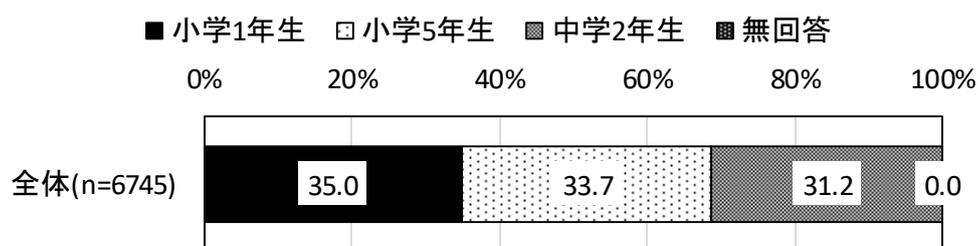


図 219 【保護者】平成30年調査:学年



【保護者】回答者の続柄

回答者の続柄をみると、いずれの調査も「母親」が8割強を占めており、大きな変化はない。

図 220 【保護者】平成 27 年調査:回答者の続柄

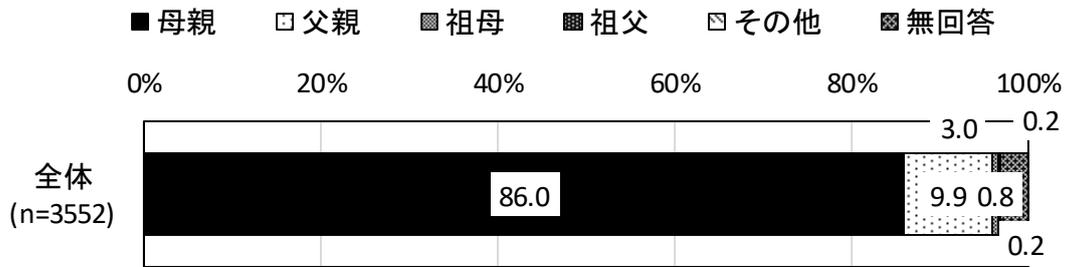
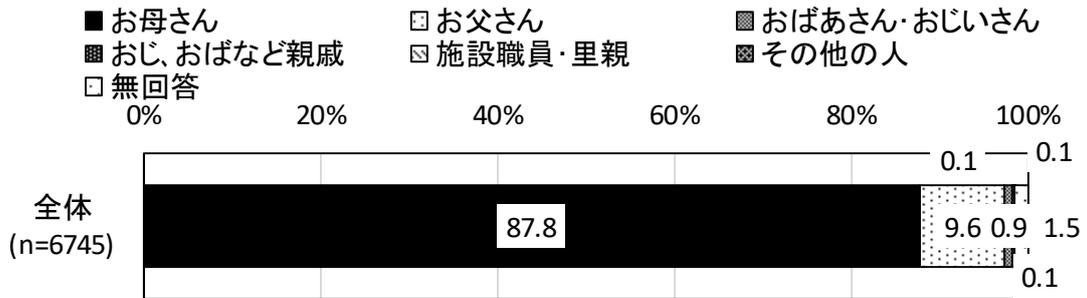


図 221 【保護者】平成 30 年調査:回答者の続柄



【保護者】世帯類型

世帯類型をみると、平成 27 年調査に比べて平成 30 年調査では小学 1 年生、中学 2 年生で「二親世帯」の割合が 3.0~4.0 ポイント程度減少し、その分「母子世帯」の割合が増加している。

図 222 【保護者】平成 27 年調査:世帯類型

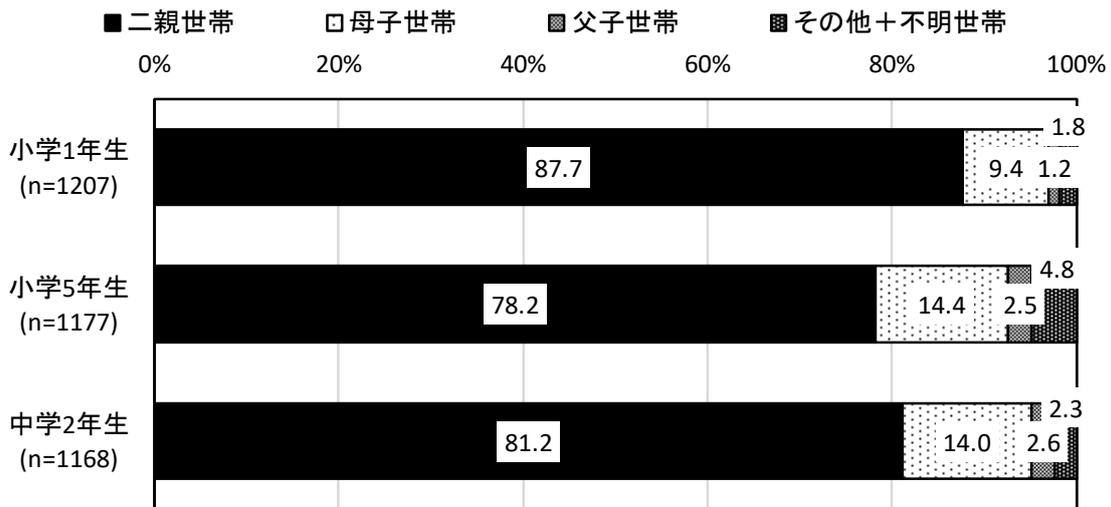
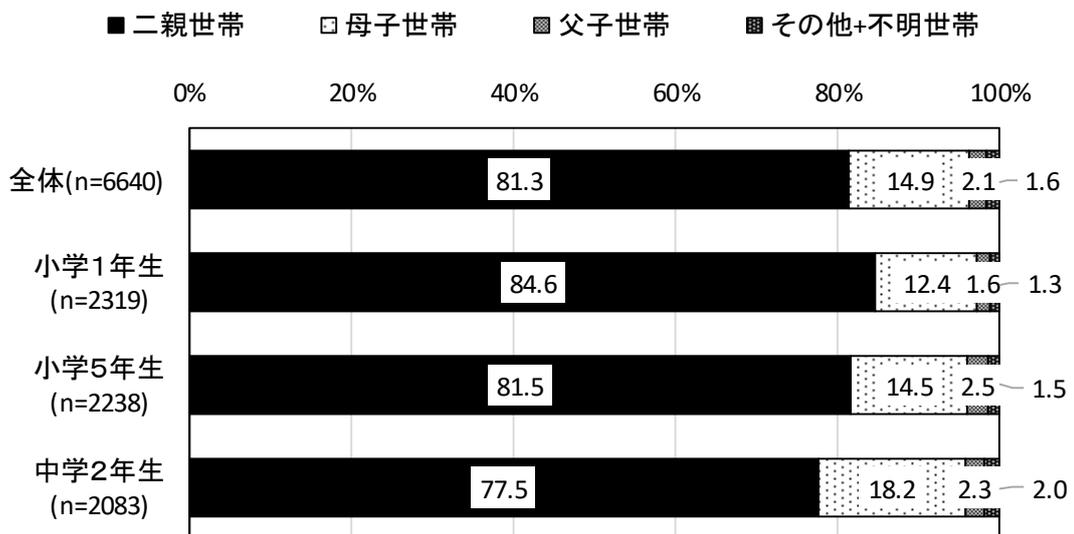


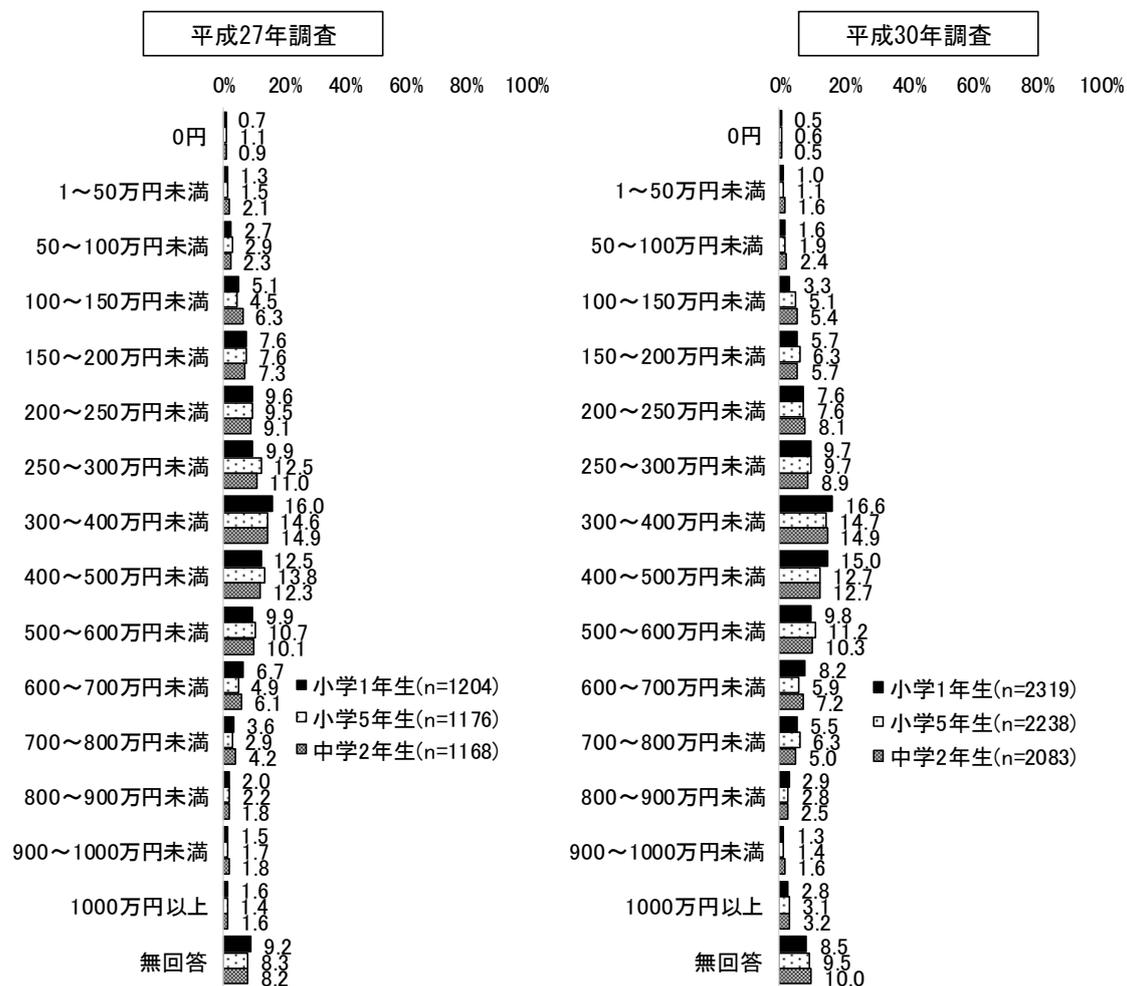
図 223 【保護者】平成 30 年調査:世帯類型



【保護者】世帯所得

世帯所得をみると、いずれの調査も全ての学年で「300～400万円未満」の割合がもっとも高い。小学1年生では、「0円」から「250～300万円未満」までの各区分の割合が平成27年調査に比べ平成30年調査で減少している一方、「300～400万円未満」「400～500万円未満」「600～700万円未満」「700～800万円未満」「800～900万円未満」の割合が増加し、特に「400～500万円未満」では12.5%から15.0%に増加している。このような傾向は小学5年生、中学2年生でも確認できる。

図 224 【保護者】世帯所得



【保護者】等価可処分所得

等価可処分所得をみると、「困窮層(122万円未満)」の割合はいずれの学年においても平成27年調査に比べて平成30年調査で減少している。特に小学1年生においては、「困窮層(122万円未満)」の割合が平成27年調査では30.0%であったのに対し、平成30年調査では22.6%となっており、7.4ポイント減少している。

図 225 【保護者】平成27年調査:等価可処分所得

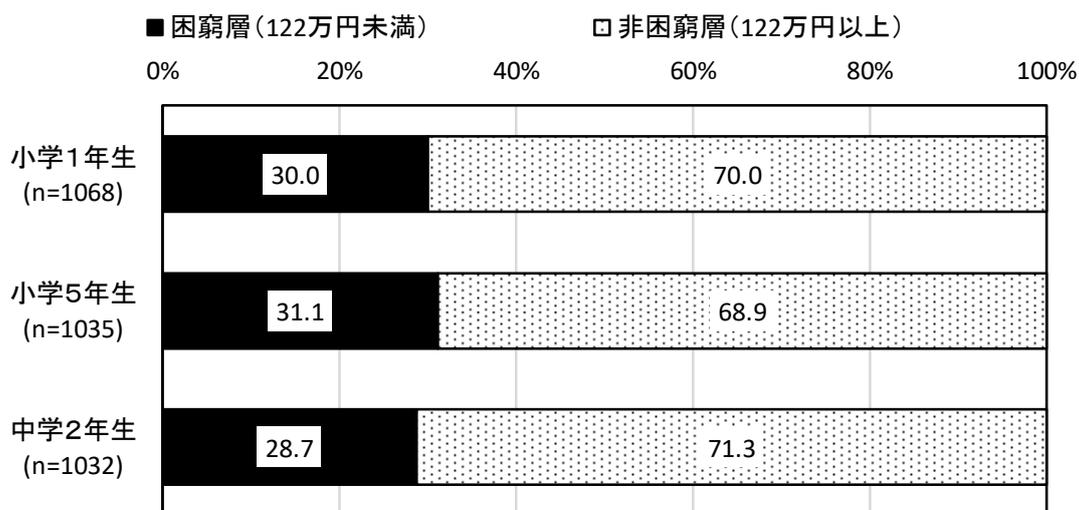
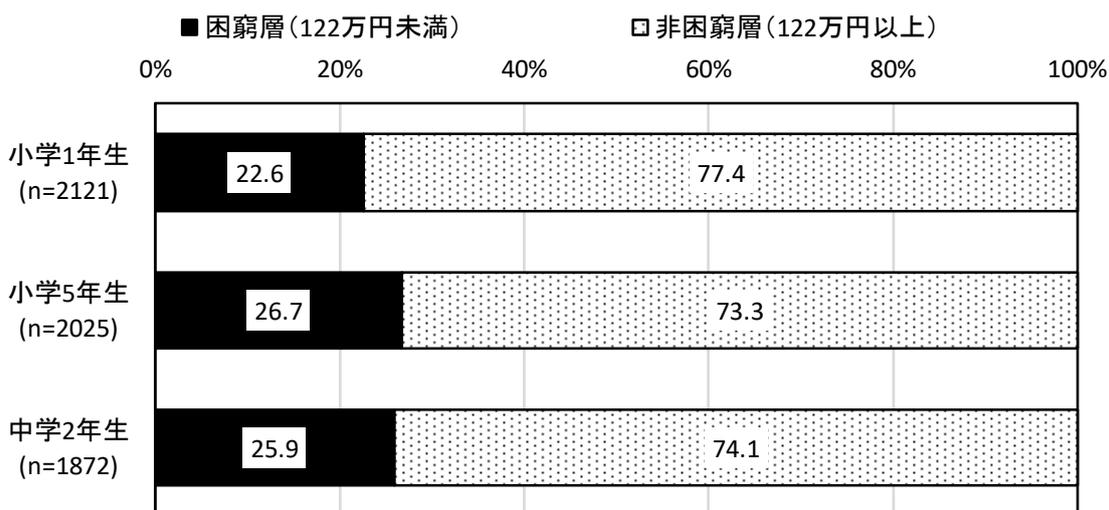


図 226 【保護者】平成30年調査:等価可処分所得



【保護者】家計の状況

家計の状況については、平成27年調査と平成30年調査では質問項目が違うので、解釈には留意が必要であるが、平成27年調査でも、平成30年調査においても、小学1年生、小学5年生、中学2年生と学年が上がるにつれて「赤字」家計の割合が高まり、「黒字」家計の割合が低くなる傾向に変わりがなかった。

困窮度別にみると、平成27年調査・平成30年調査いずれも、特に困窮層において、「赤字」家計の割合が高い傾向がみられる。

図 227 【保護者】平成27年調査:家計の状況

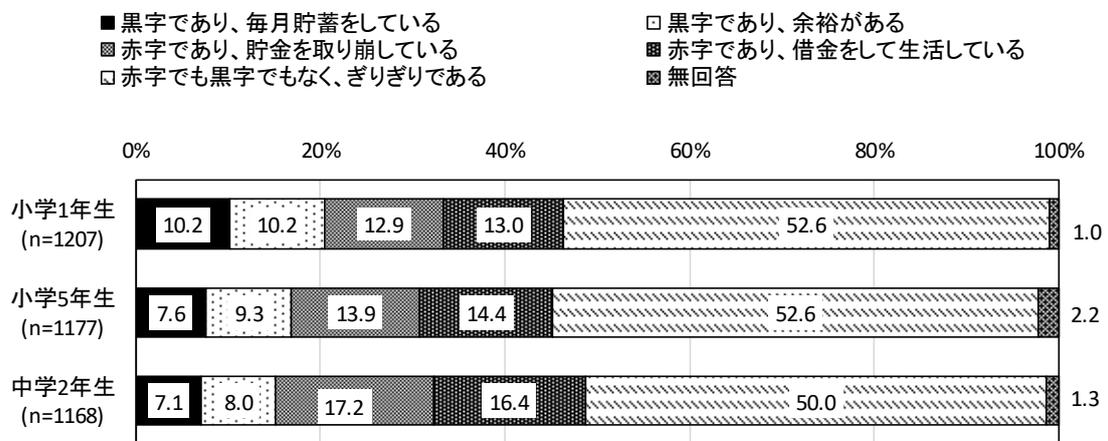
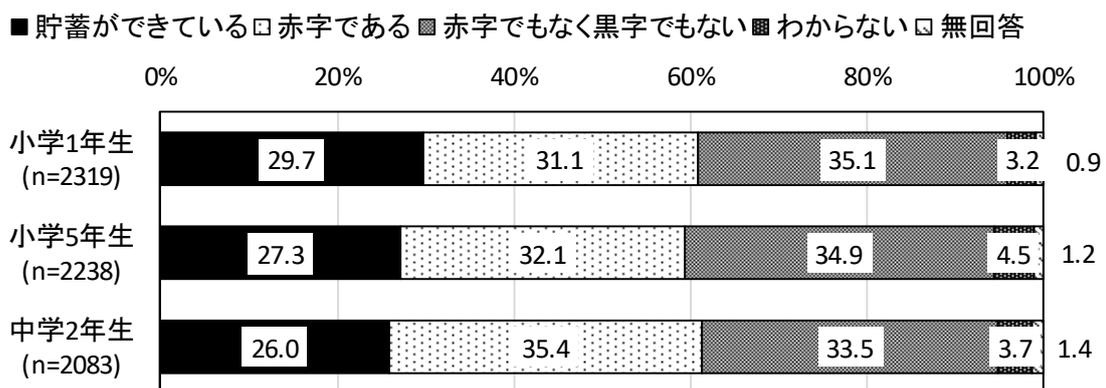


図 228 【保護者】平成30年調査:家計の利用状況



< 困窮度別 >

図 229 【保護者】平成 27 年調査:家計の状況

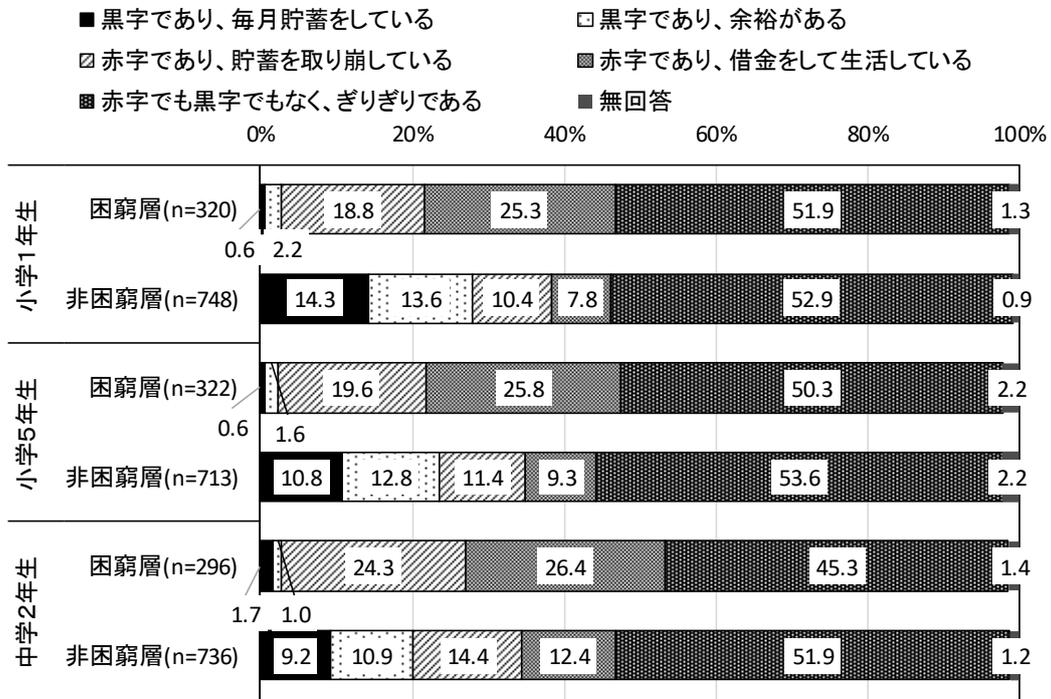
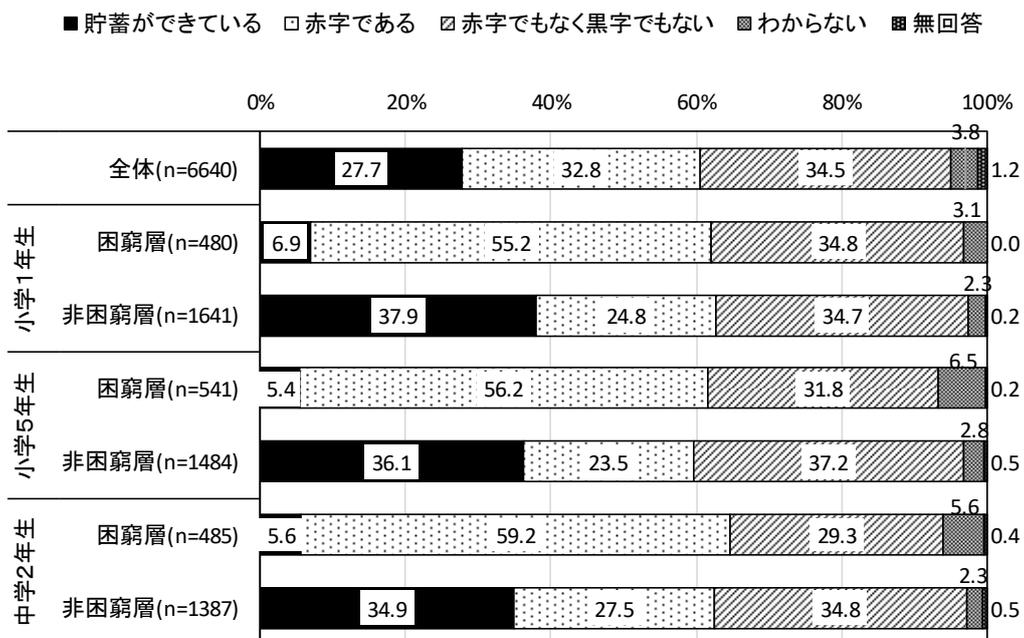


図 230 【保護者】平成 30 年調査:家計の利用状況



【保護者】 経済的な理由で子どもにしてあげられなかったこと (複数回答)

平成 30 年調査では「1 年以内にしてあげられなかったこと」と限定をしており、設問形式も複数回答に変更されているため、その影響も考慮する必要がある。その上で、経済的な理由で子どもにしてあげられなかったことをみると、小学 1 年生、小学 5 年生、中学 2 年生と学年が上がるにつれて平成 27 年調査においては「毎月おこづかいを渡す」「毎年新しい洋服・靴を買う」「お誕生日のお祝いをする」「1 年に 1 回くらい家族旅行に行く」「クリスマスのプレゼントやお正月のお年玉をあげる」「医者に行く」「歯医者に行く」の割合が高まり、平成 30 年調査においても同様の傾向がみられる。

図 231 【保護者】平成 27 年調査:子どもへの支出(「経済的にできない」の割合)

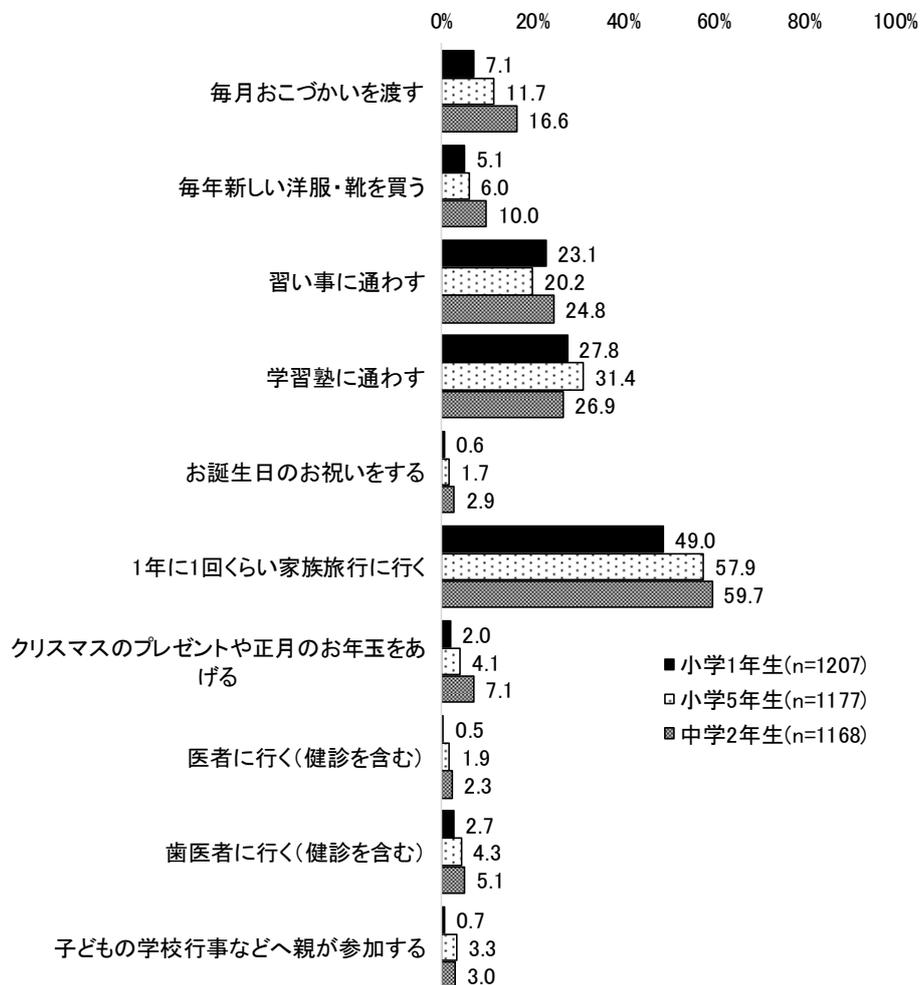
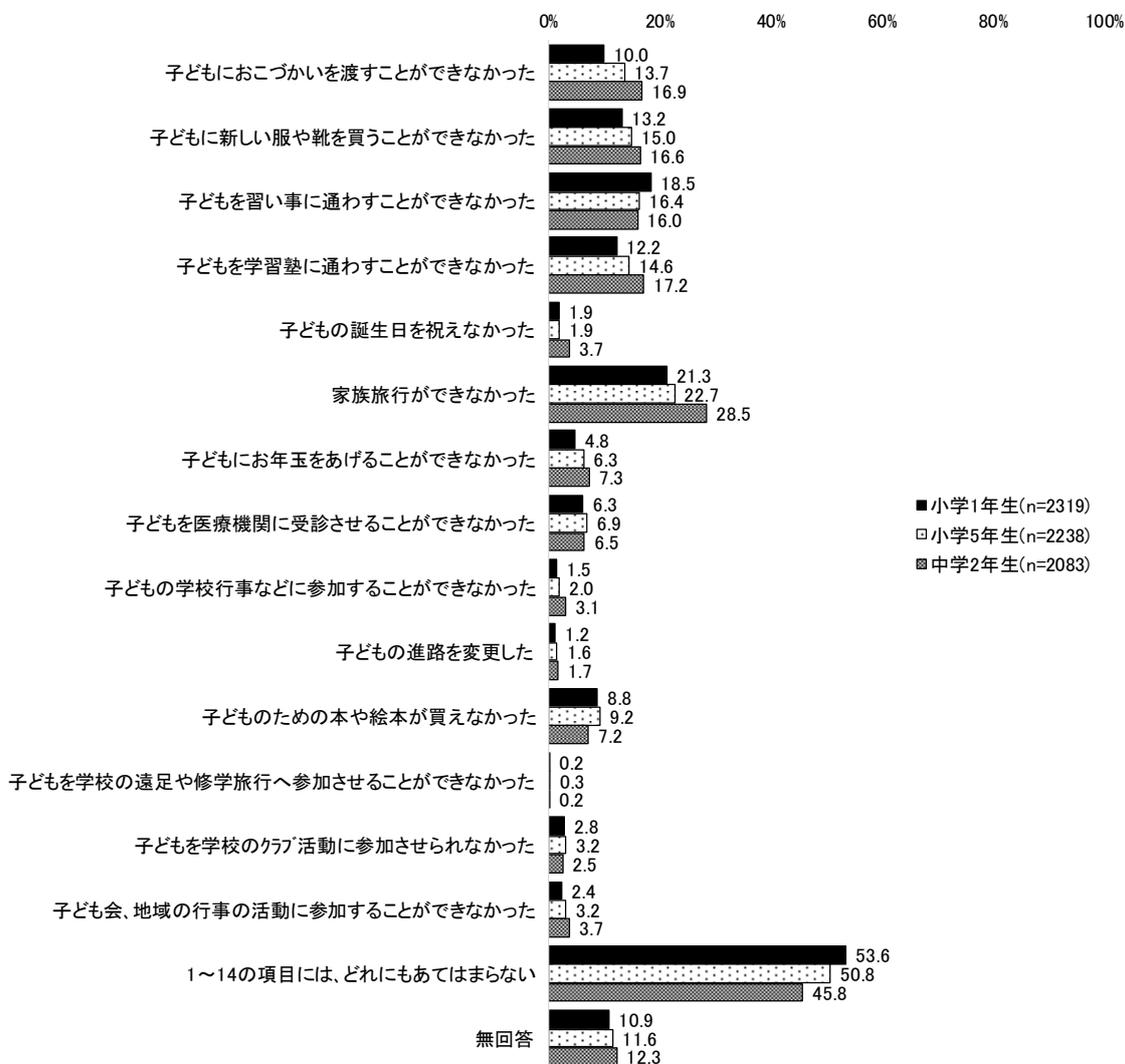


図 232 【保護者】平成 30 年調査: 経済的な理由で子どもにしてあげられなかったこと
(複数回答)



<困窮度別>

困窮度別にみると、平成27年調査・平成30年調査どちらも、すべての学年において困窮層と非困窮層とで大きな差がみられる。

図 233 【保護者】平成27年調査:子どもへの支出（「経済的にできない」の割合）
（小学1年生）

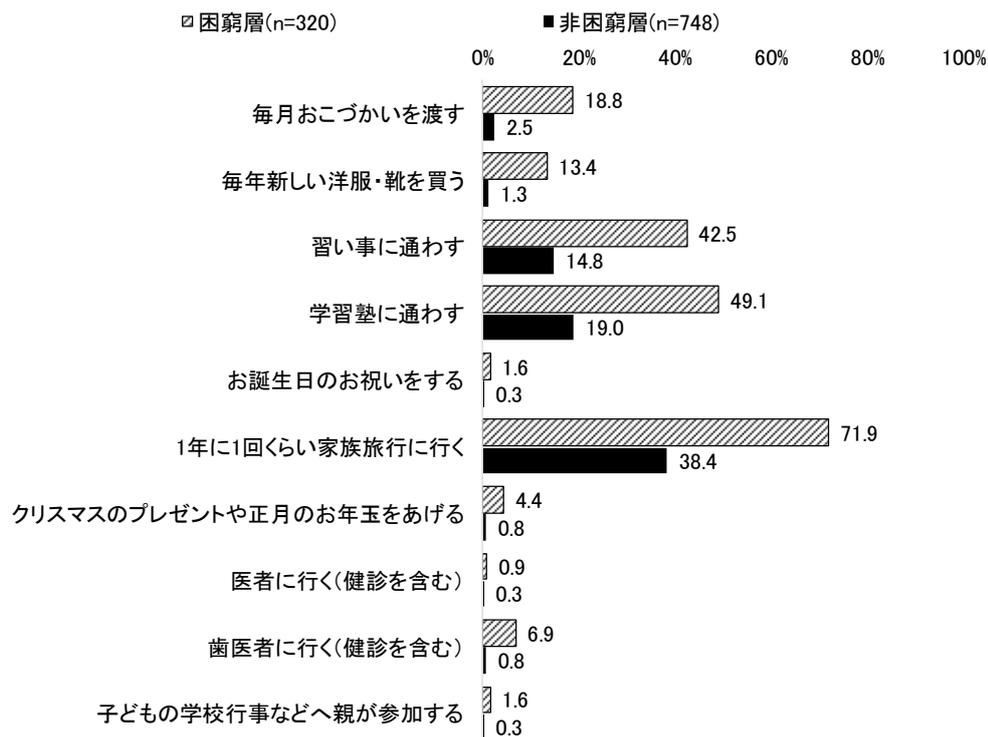


図 234 【保護者】平成 30 年調査: 経済的な理由で子どもにしてあげられなかったこと
(小学 1 年生) (複数回答)

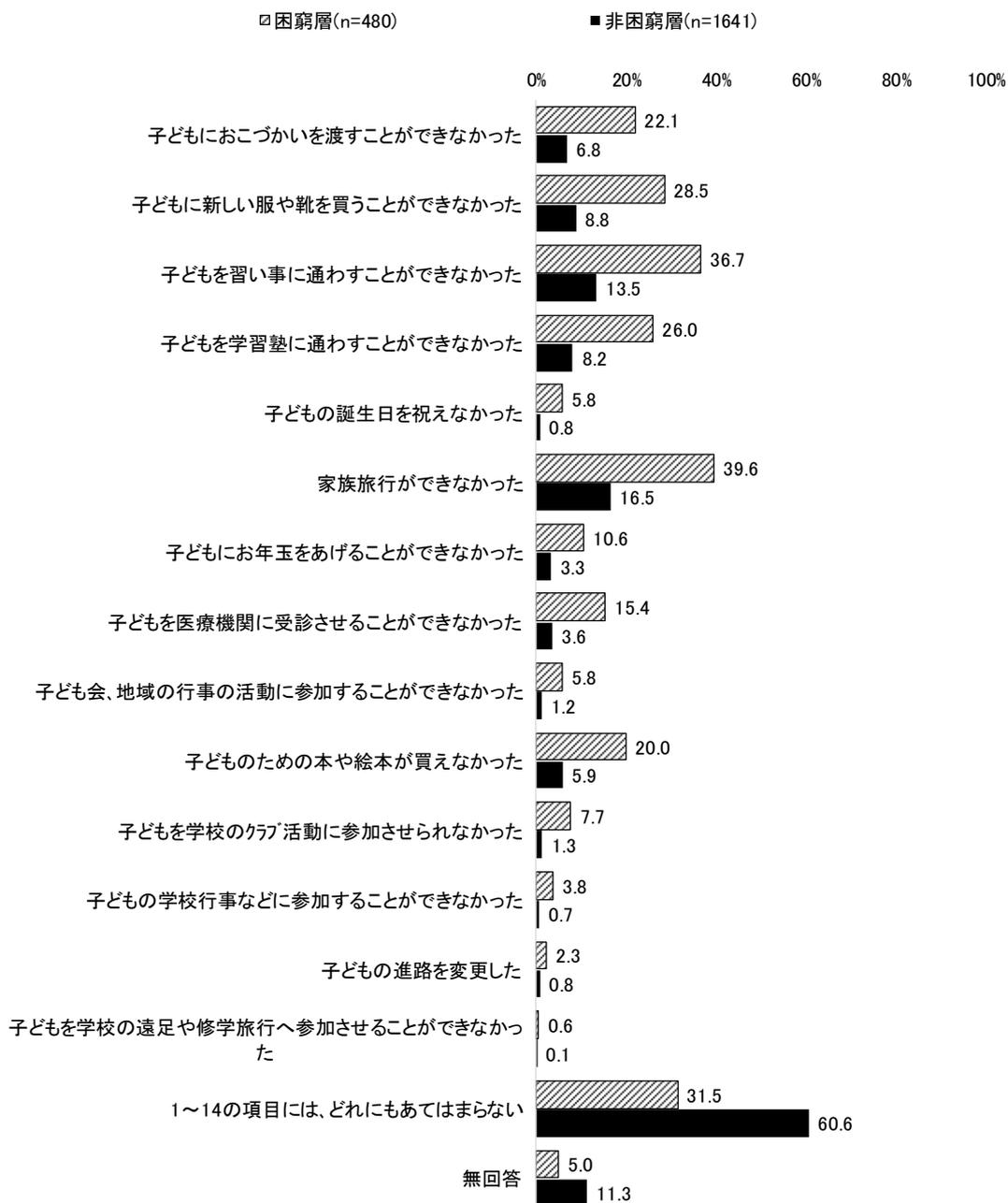


図 235 【保護者】平成 27 年調査:子どもへの支出（「経済的にできない」の割合）
（小学 5 年生）

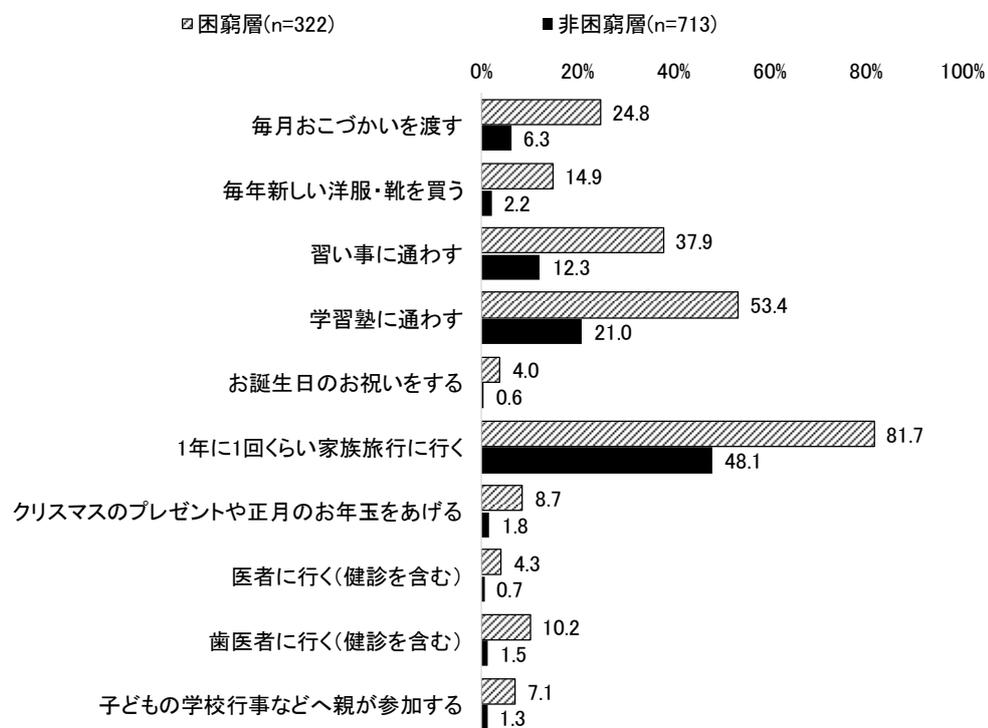


図 236 【保護者】平成 30 年調査: 経済的な理由で子どもにしてあげられなかったこと
(小学 5 年生) (複数回答)

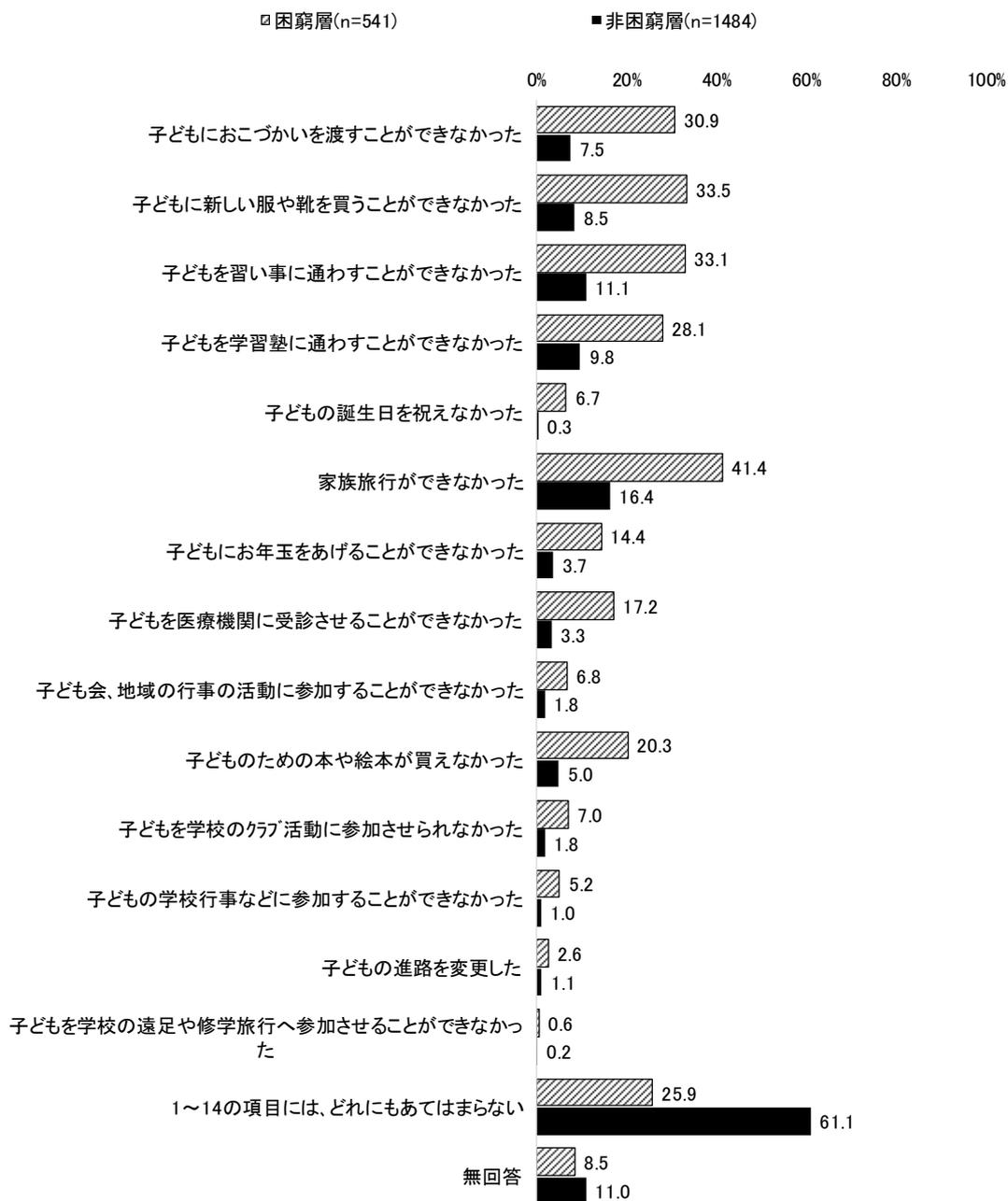


図 237 【保護者】平成 27 年調査:子どもへの支出（「経済的にできない」の割合）
（中学 2 年生）

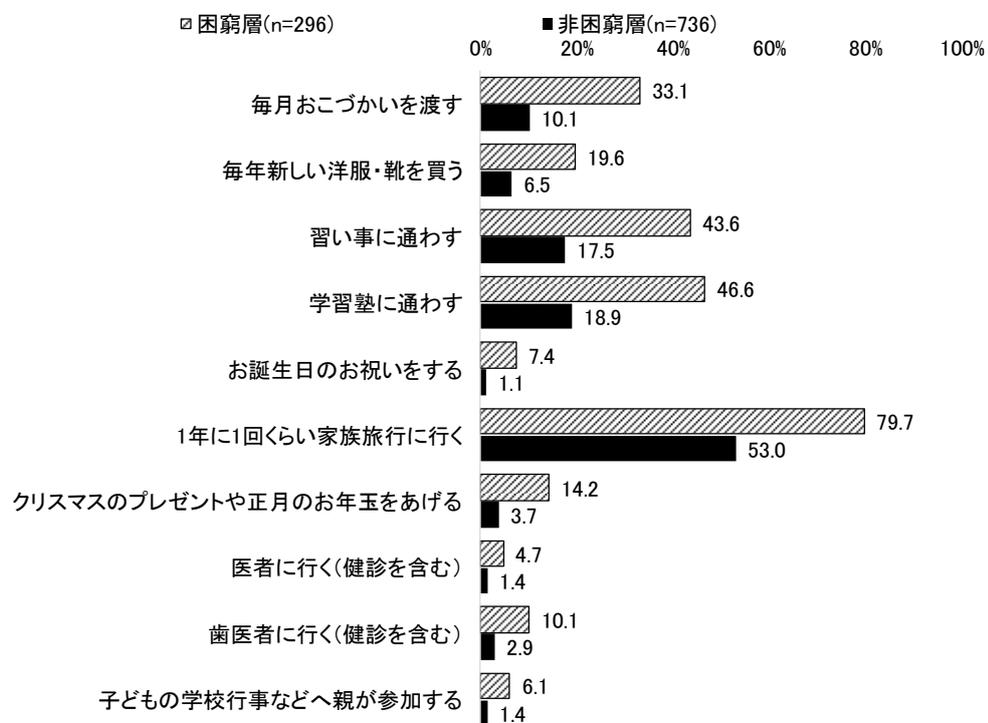
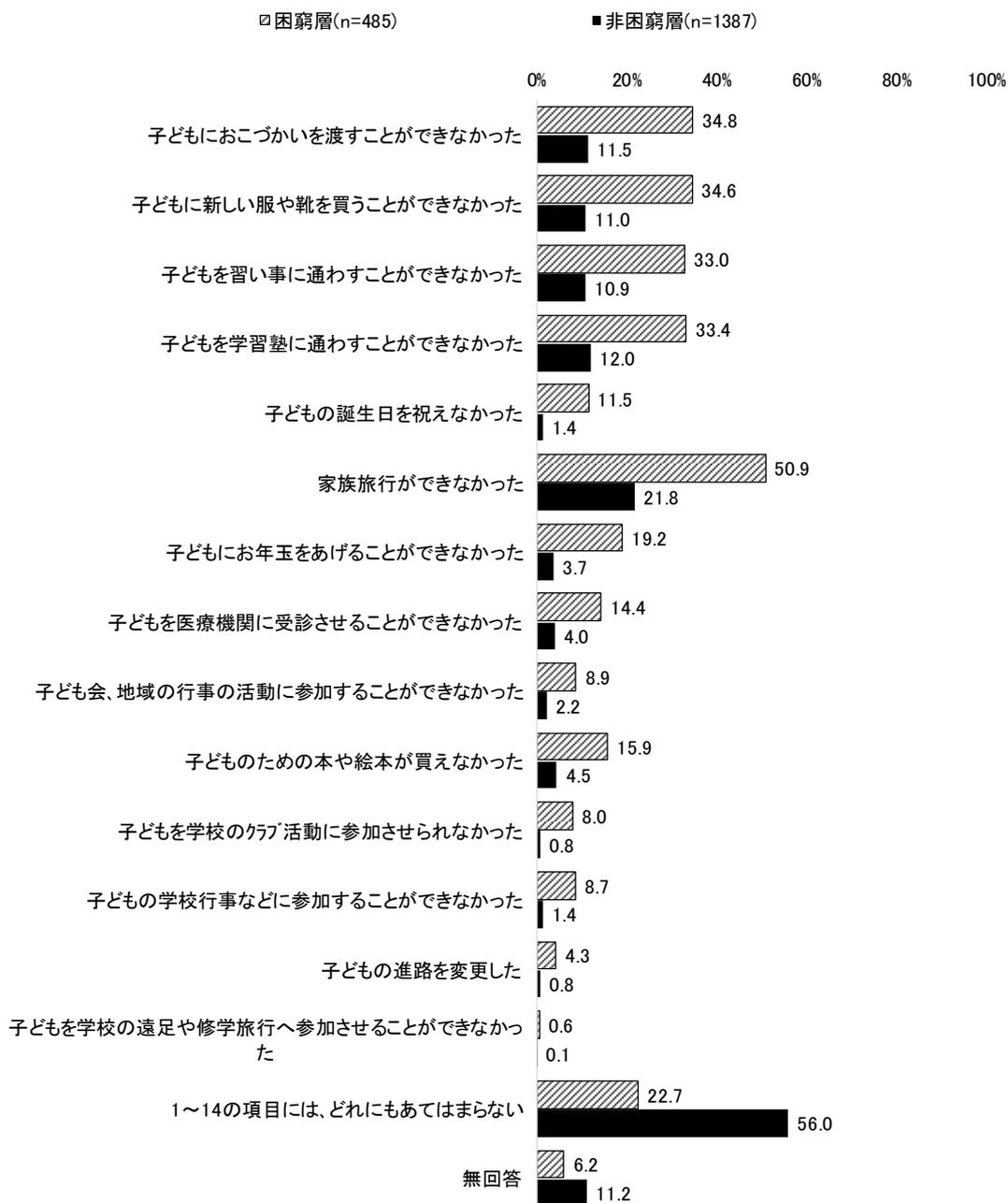


図 238 【保護者】平成 30 年調査: 経済的な理由で子どもにしてあげられなかったこと
(中学 2 年生) (複数回答)



【保護者】就学援助制度の利用状況

就学援助制度の利用状況を見ると、平成27年調査に比べて平成30年調査では、いずれの学年においても「利用している」とする割合が約4.0ポイント増加している。

困窮度別に比較すると、特に困窮層において「利用している」とする割合が増加しており、小学1年生では15.4ポイント、小学5年生では10.7ポイント、中学2年生では7.6ポイントの増加がみられる。

図 239 【保護者】平成27年調査:就学援助制度の利用状況

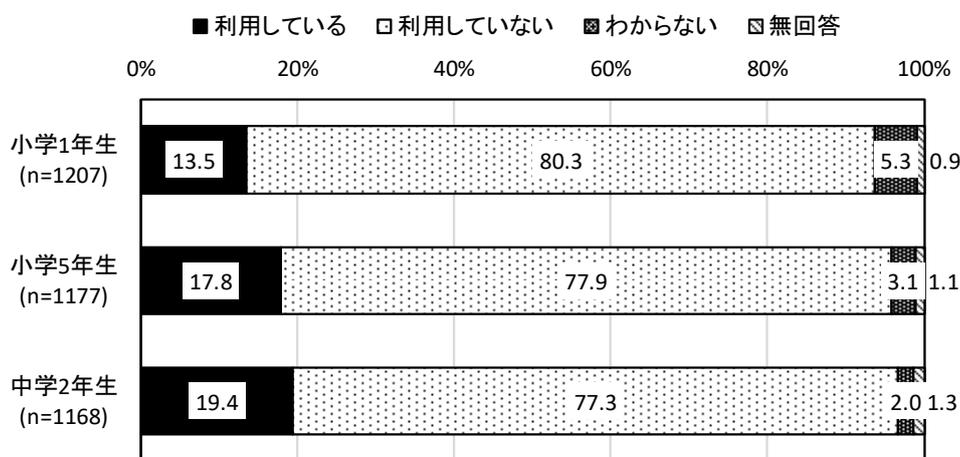
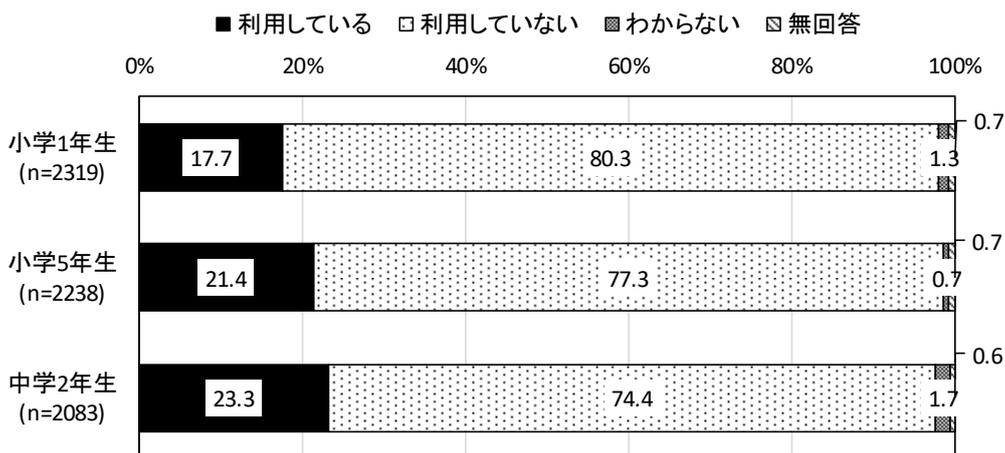


図 240 【保護者】平成30年調査:就学援助制度の利用状況



< 困窮度別 >

図 241 【保護者】平成 27 年調査:就学援助制度の利用状況 (困窮度別)

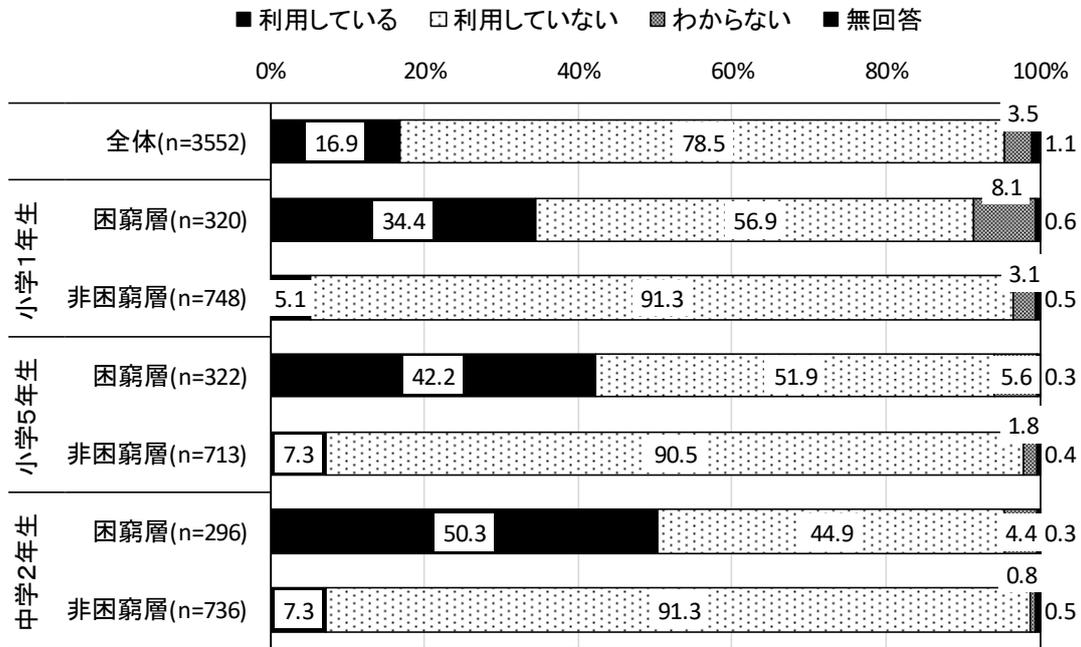
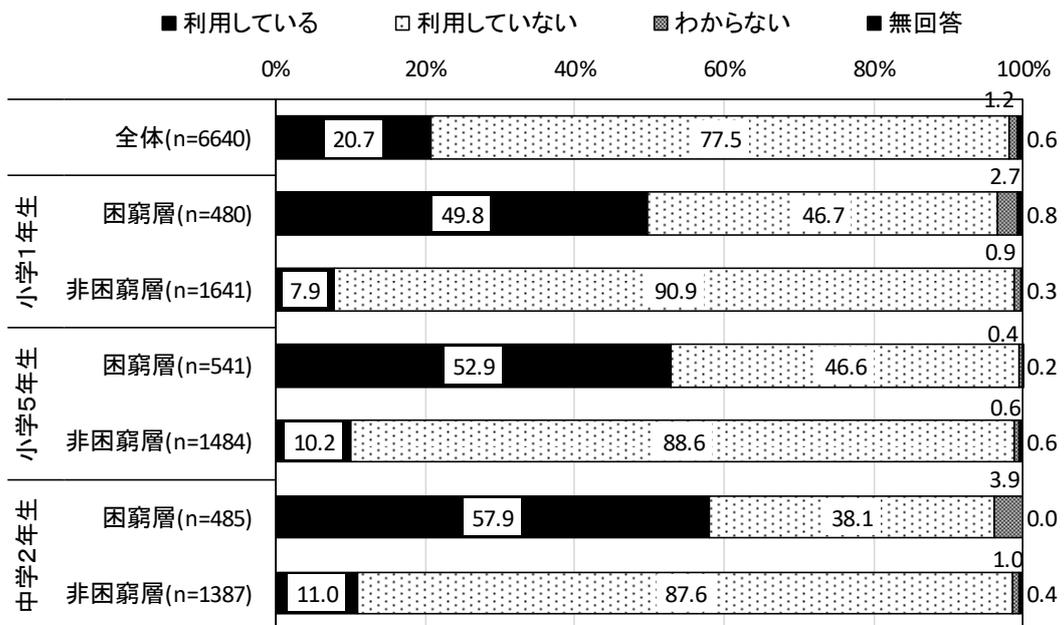


図 242 【保護者】平成 30 年調査:就学援助制度の利用状況 (困窮度別)



【保護者】 就学援助は学校にかかる経費をカバーできているか

就学援助制度の利用者について、学校にかかる経費をカバーできているかをみると、小学1年生では平成27年調査では「十分にカバーできている」「カバーできている」をあわせた割合が68.7%だったところ、平成30年調査では59.0%と9.7ポイント減少し、「あまりカバーできていない」「カバーできていない」をあわせた割合は29.5%から39.5%と10.0ポイント増加している。小学5年についても同様に2.7ポイント減少し、2.4ポイント増加、中学2年生についても6.7ポイント減少し、7.6ポイント増加している。

困窮度別にみると、小学1年生では「十分にカバーできている」「カバーできている」と回答した割合は困窮層では平成27年調査：66.3%、平成30年調査：55.7%と10.6ポイント減少。一方で「あまりカバーできていない」「カバーできていない」の割合は、平成27年調査：33.6%、平成30年調査：43.5%と9.9ポイント増加。この傾向はいずれの学年でも見られ、非困窮層においても同様の傾向であった。

図 243 【保護者】平成27年調査:就学援助は学校にかかる経費をカバーできているか

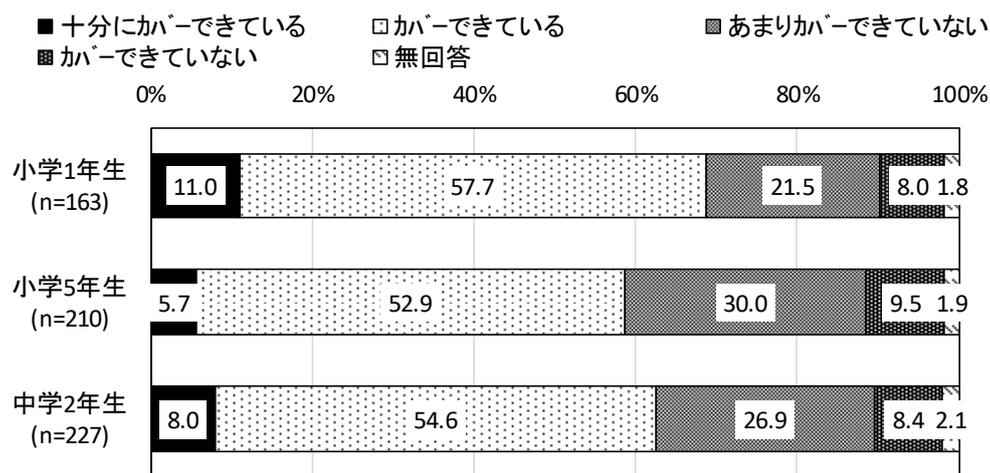
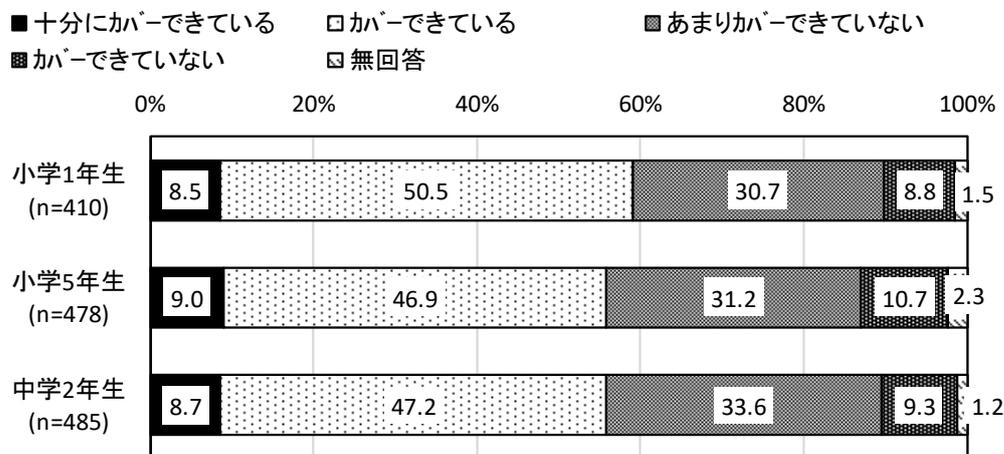


図 244 【保護者】平成30年調査:就学援助は学校にかかる経費をカバーできているか



<困窮度別>

図 245 【保護者】平成 27 年調査:就学援助は学校にかかる経費をカバーできているか

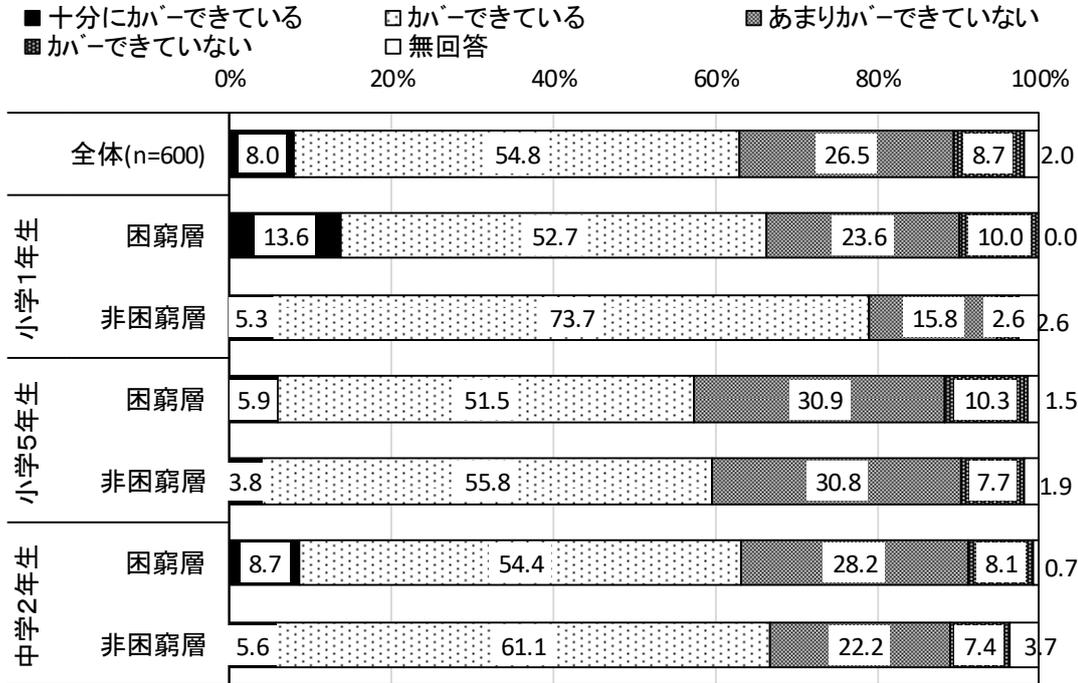
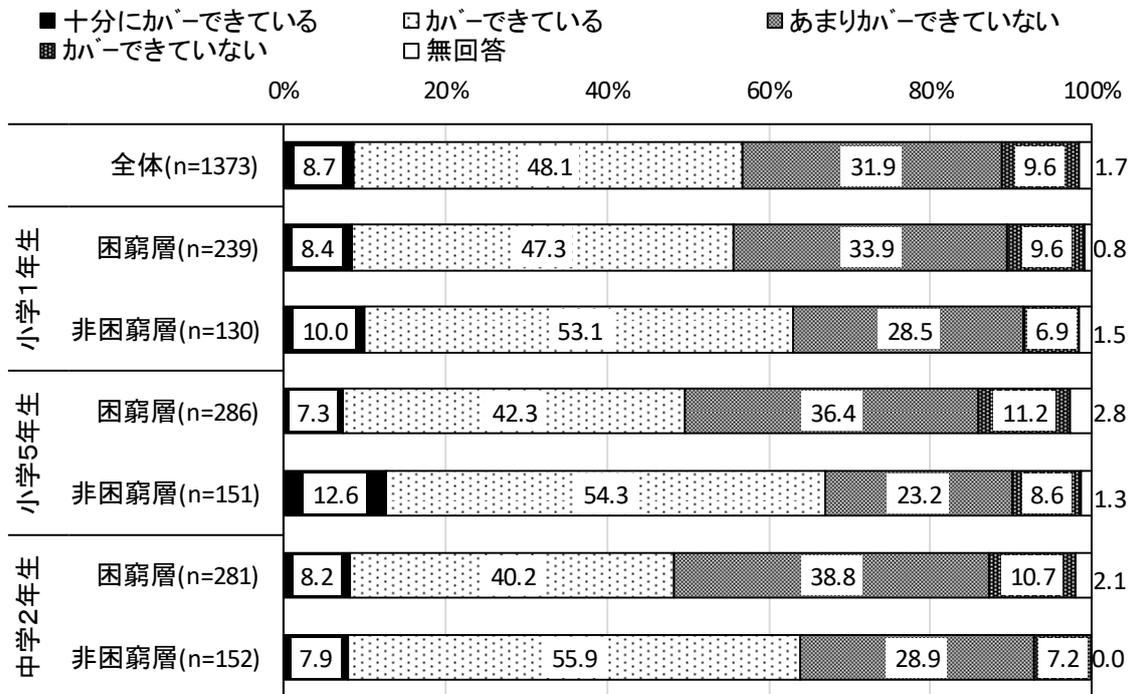


図 246 【保護者】平成 30 年調査:就学援助は学校にかかる経費をカバーできているか



【保護者】 就学援助制度を利用していない理由

就学援助制度を利用していない理由をみると、「就学援助制度を知らなかったため」という割合が、いずれの学年においても 6.0~9.0 ポイント減少している。ただし、平成 30 年調査では追加されている選択肢があるため、留意が必要である。

困窮度別にみると、特に困窮層において「就学援助制度を知らなかったため」の割合が 13.0~16.0 ポイント減少している。

図 247 【保護者】平成 27 年調査:就学援助制度を利用していない理由

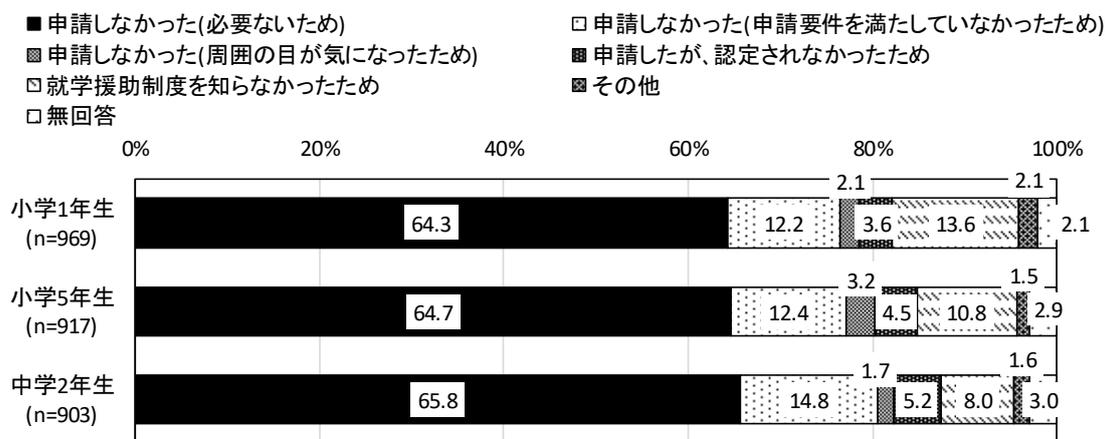
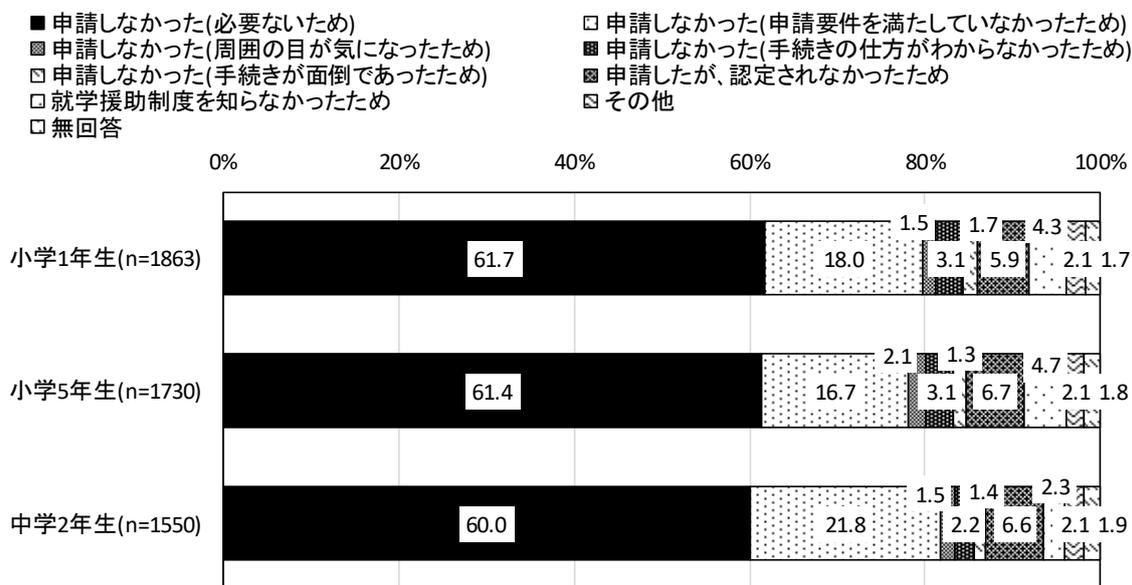


図 248 【保護者】平成 30 年調査:就学援助制度を利用していない理由



※「申請しなかった(手続きの仕方がわからなかったため)」「申請しなかった(手続きが面倒であったため)」は平成 30 年調査で新規に追加した項目

< 困窮度別 >

図 249 【保護者】平成 27 年調査:就学援助制度を利用していない理由

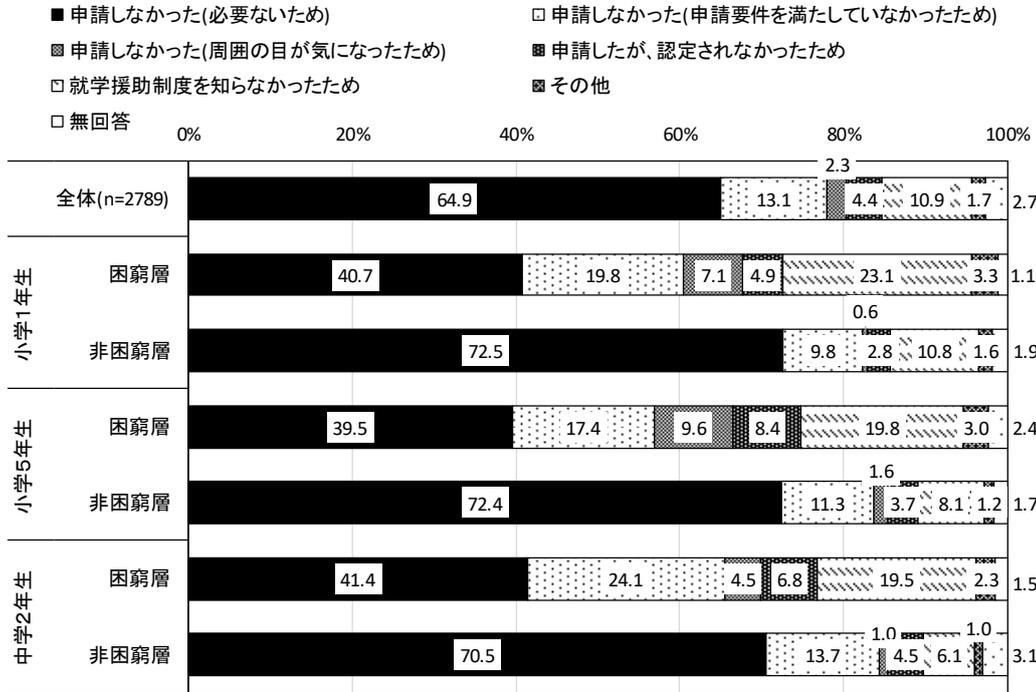
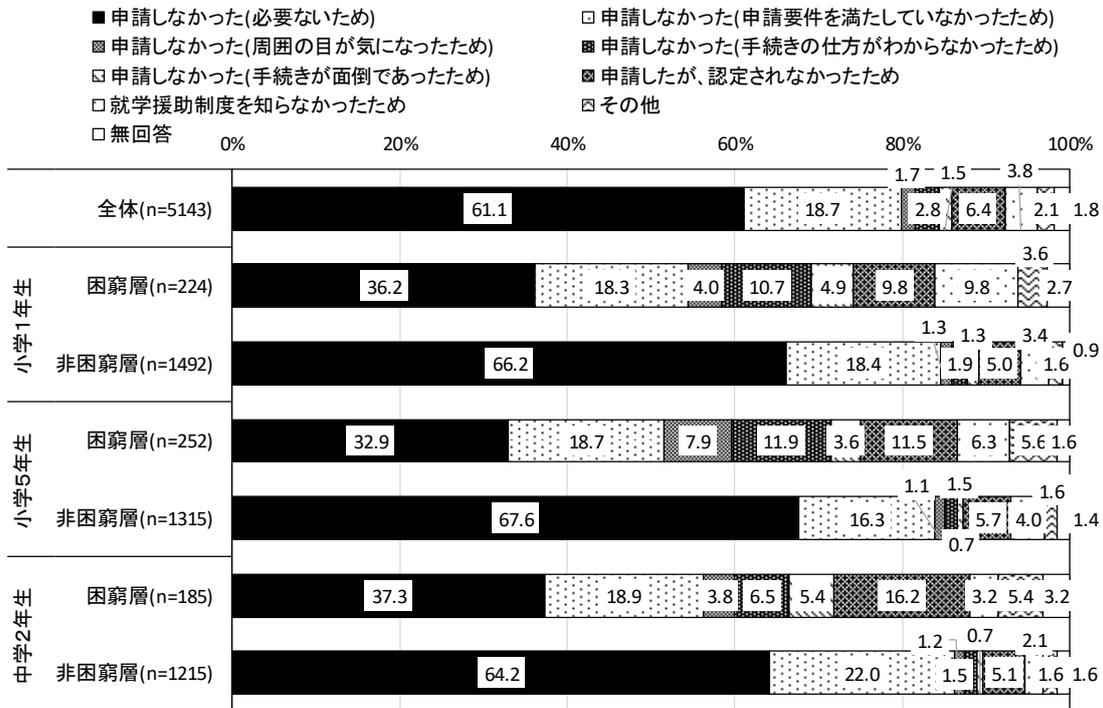


図 250 【保護者】平成 30 年調査:就学援助制度を利用していない理由



【保護者】地域の行事への参加

地域の行事への参加状況を見ると、いずれの学年においても「よく参加している(平成30年調査では「あてはまる」)」と「まったく参加していない(平成30年調査では「あてはまらない」)」の割合がそれぞれ3.0~5.0ポイント増加しており、2極化の傾向がみられる。ただし、選択肢が異なるため留意が必要である。

困窮度別にみると、特に小学1年生の困窮層において、否定的な回答が増加している。

図 251 【保護者】平成27年調査:地域の行事への参加

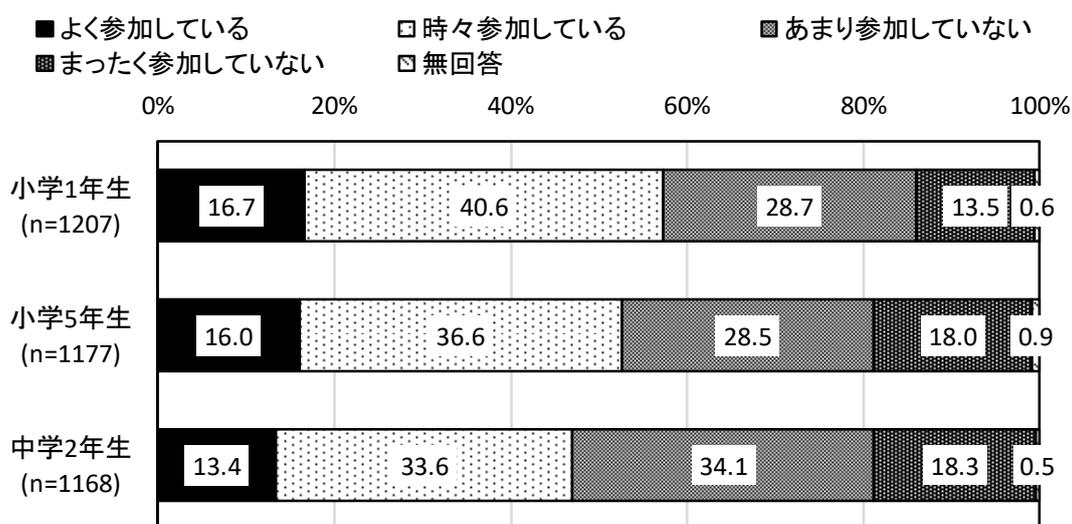
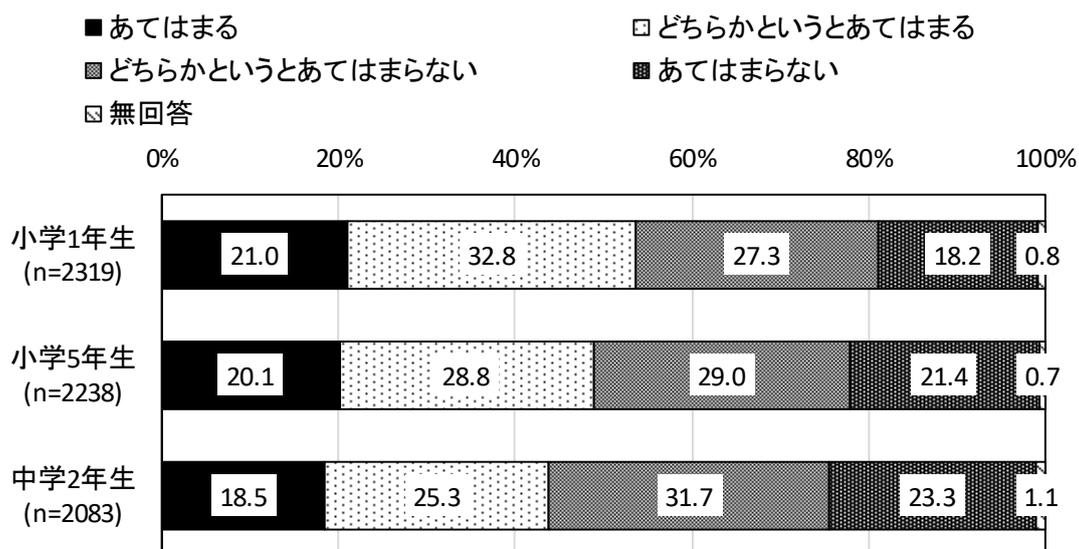


図 252 【保護者】平成30年調査:地域の行事への参加



< 困窮度別 >

図 253 【保護者】平成 27 年調査:地域の行事への参加
 (「あまり参加していない」「まったく参加していない」の割合)

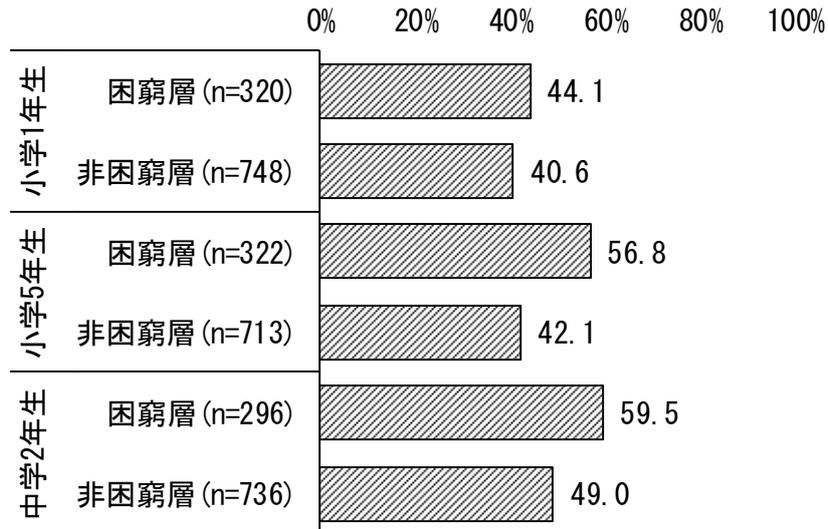
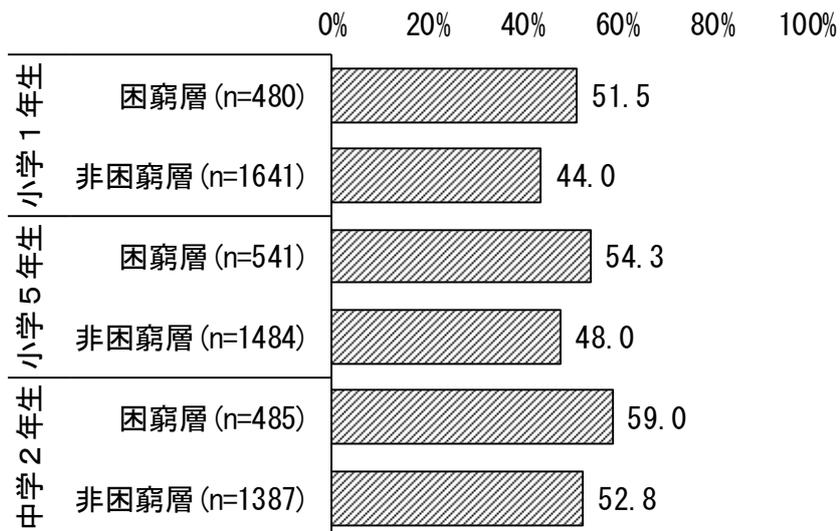


図 254 【保護者】平成 30 年調査:地域の行事への参加
 (「どちらかというとはまらない」「あてはまらない」の割合)



【保護者】子どもの健康状態

子どもの健康状態をみると、いずれの学年においても「良い」と回答する割合が増加しており、特に小学5年生では6.9ポイント増加している。

図 255 【保護者】平成27年調査:子どもの健康状態

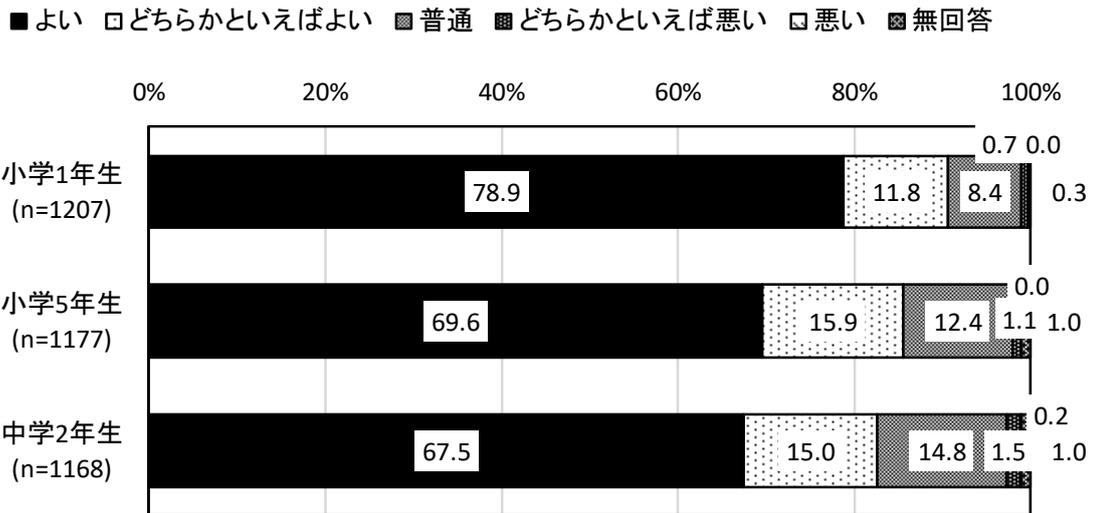
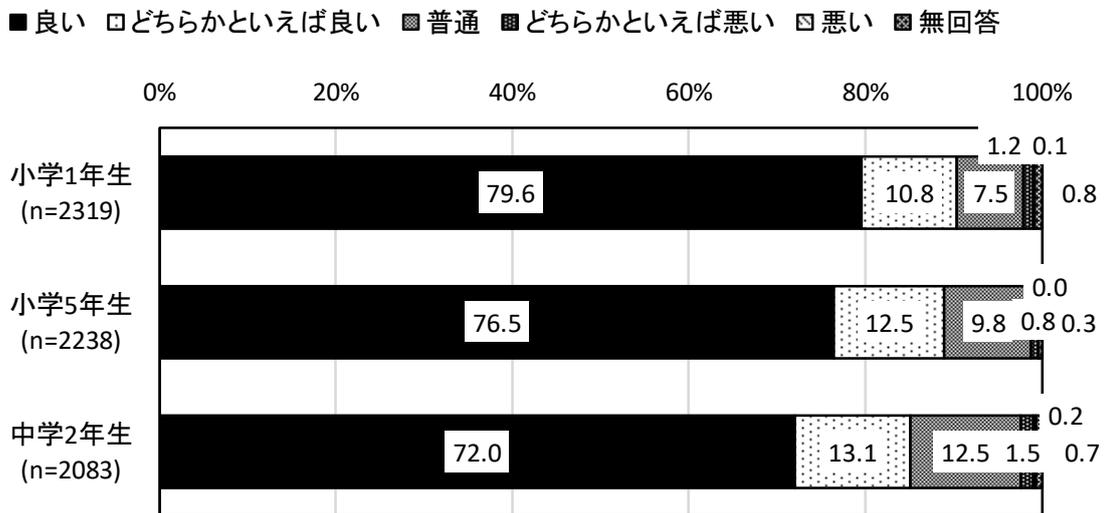


図 256 【保護者】平成30年調査:子どもの健康状態



【保護者】過去1年間に子どもを受診させなかった経験の有無

過去1年間に子どもを受診させなかった経験の有無をみると、いずれの学年も「あり」とする割合が5.0～9.0ポイント程度増加している。

困窮度別にみると、いずれの学年も特に困窮層において子どもを受診させなかった経験が「ある」とする割合が12.0～14.0ポイント程度増加している。

図 257 【保護者】平成27年調査:過去1年間に子どもを受診させなかった経験の有無

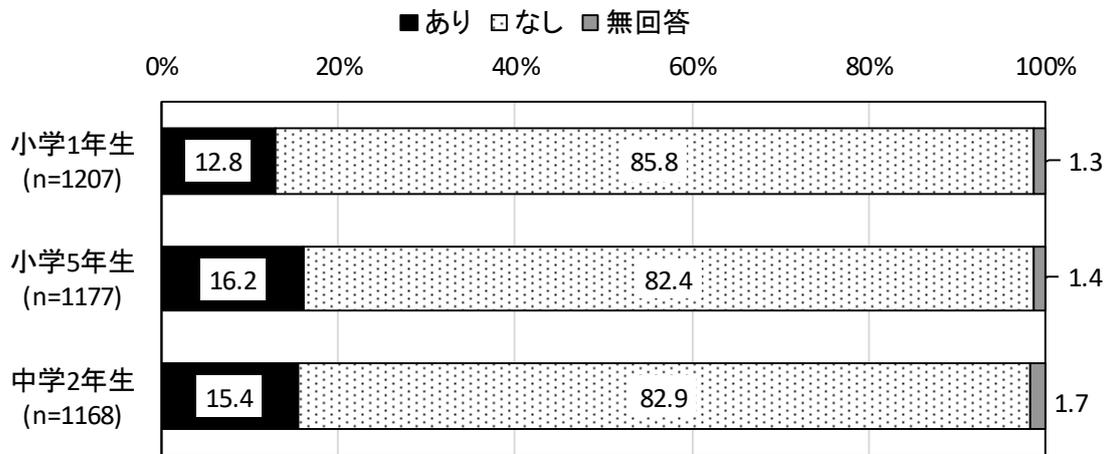
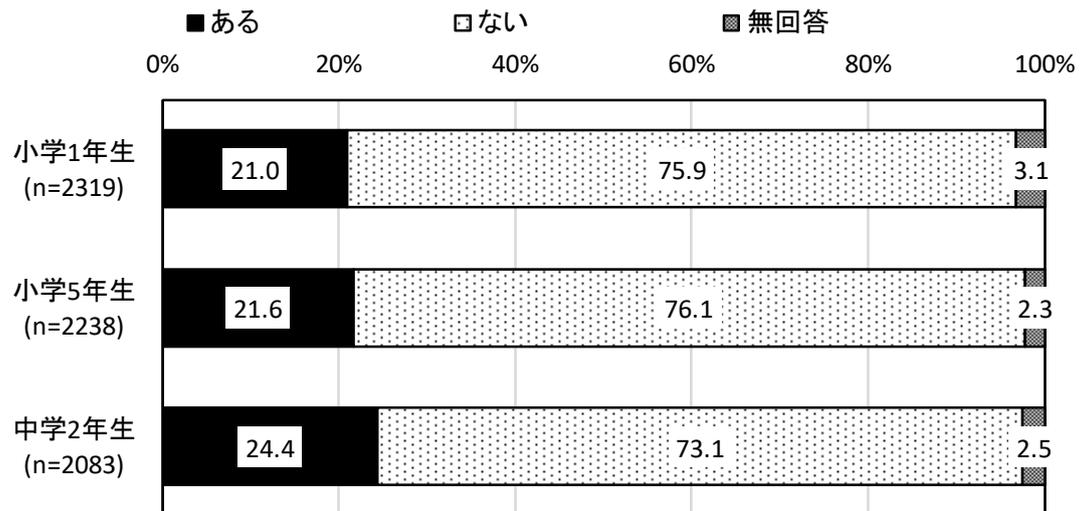


図 258 【保護者】平成30年調査:過去1年間に子どもを受診させなかった経験の有無



<困窮度別>

図 259 【保護者】平成 27 年調査:過去 1 年間に子どもを受診させなかった経験の有無

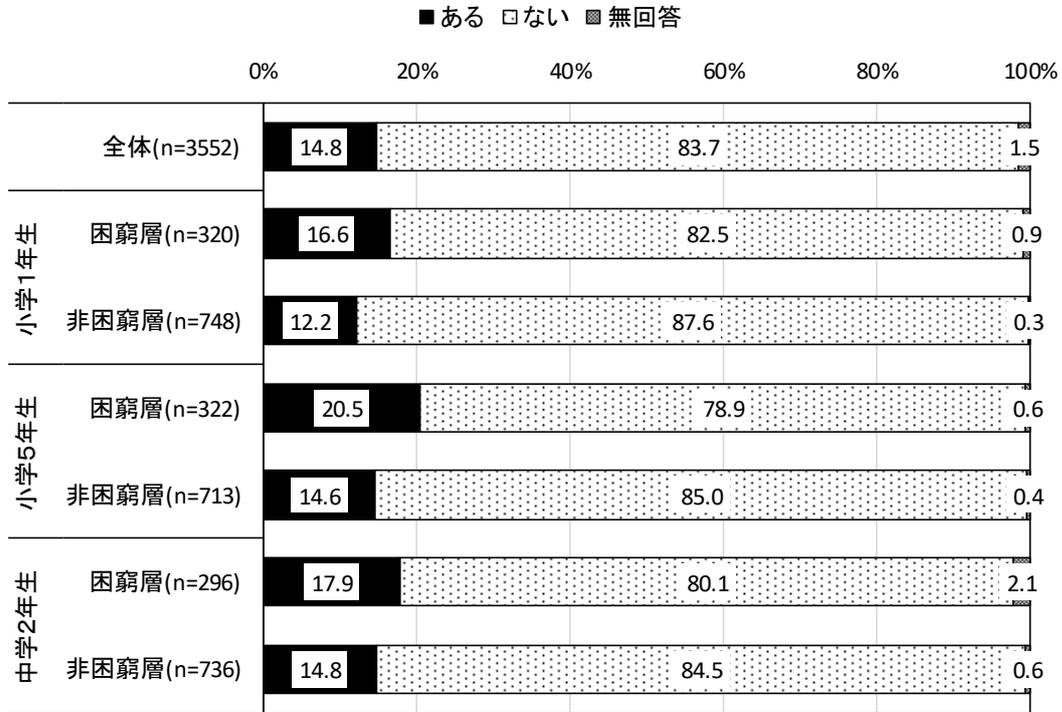
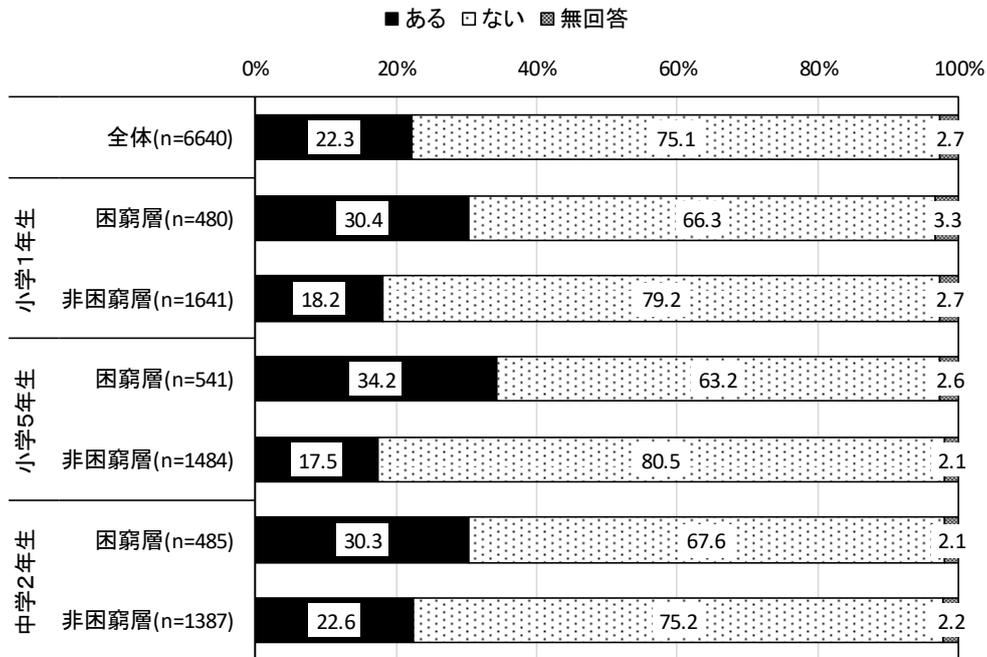


図 260 【保護者】平成 30 年調査:過去 1 年間に子どもを受診させなかった経験の有無



【保護者】受診させなかった理由

受診させなかった理由をみると、「最初は受診させようと思ったが、子どもの様子を見て、受診させなくてもよいと判断した」という割合が15.0~25.0ポイント減少しており、代わって「多忙で、医療機関に連れて行く時間がなかったため」の割合が15.0~18.0ポイント高くなっている。また「自己負担金を支払うことができなかったため」を挙げた割合は小学1年生で11.6%から14.6%と3.0ポイント増加。小学5年生で16.2%から19.6%と3.4ポイント増加。小学5年生で16.2%から19.6%と3.4ポイント増加している。ただし、選択肢が異なっているため留意が必要である。

図 261 【保護者】平成 27 年調査:受診させなかった理由

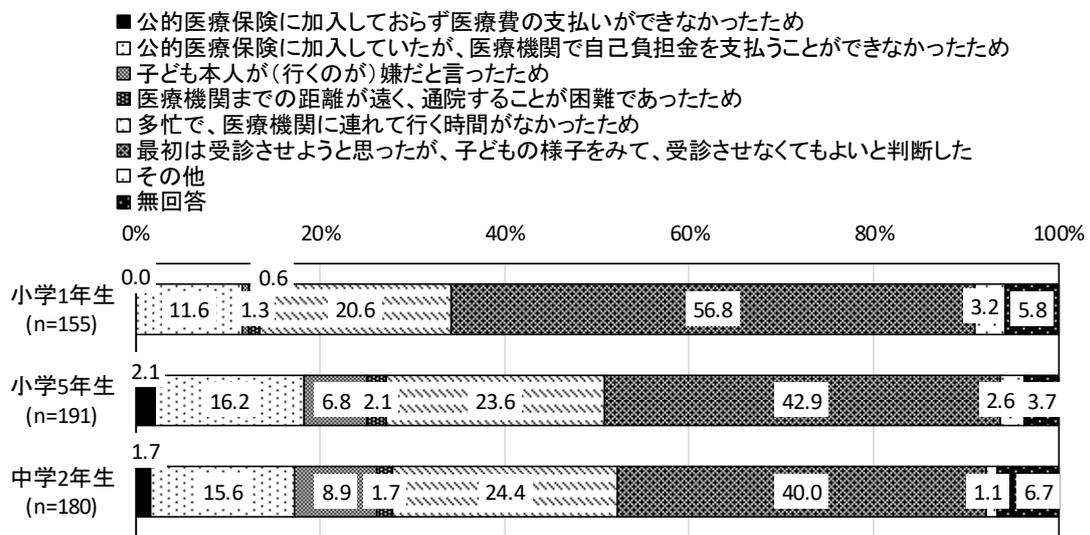
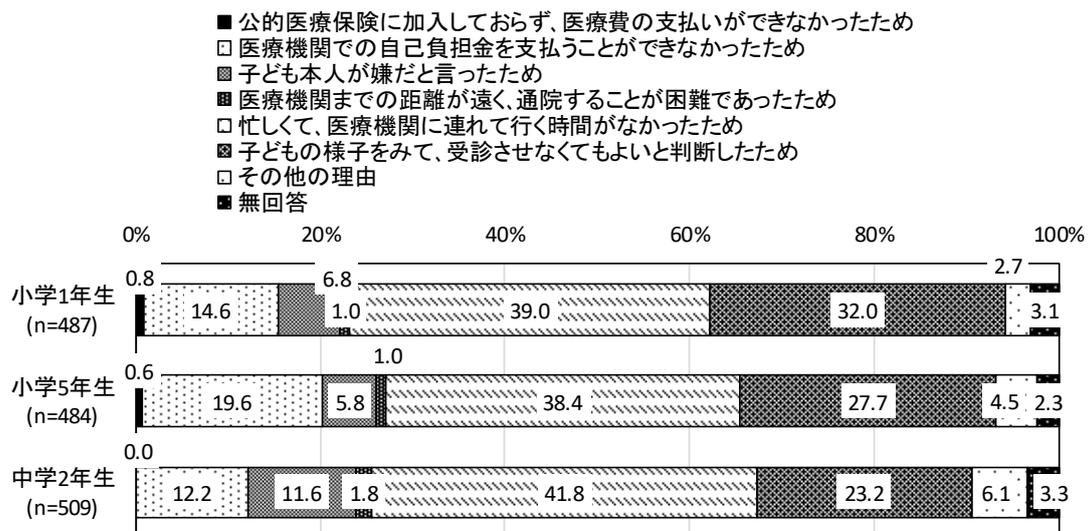


図 262 【保護者】平成 30 年調査:受診させなかった理由



2.子ども

【子ども】学年

子どもの学年をみると、「小学5年生」「中学2年生」がいずれも約5割となっている。

図 263 【子ども】平成 27 年調査:学年

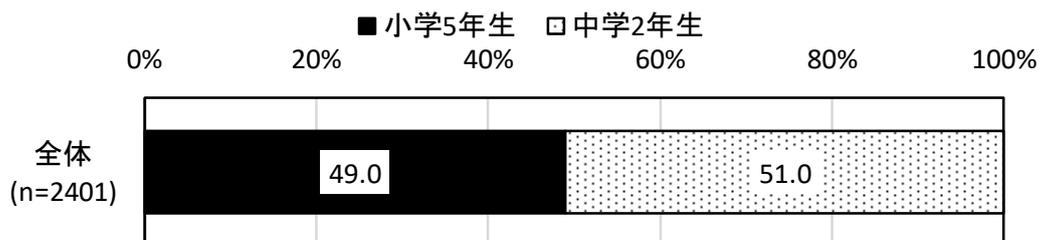
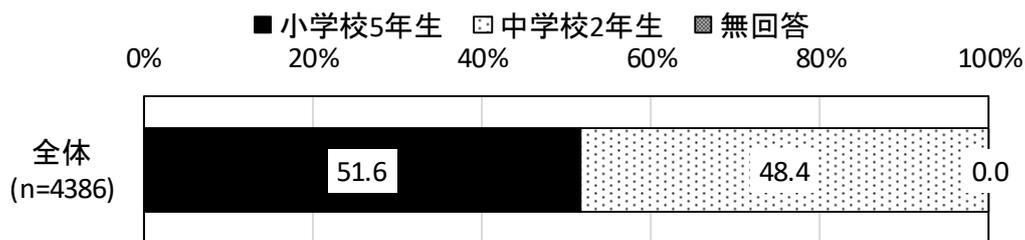


図 264 【子ども】平成 30 年調査:学年



【子ども】将来の夢

将来の夢の有無をみると、「ある」と回答した割合はいずれの調査においても小学5年生で約84.0%、中学2年生で約70.0%となっている。

困窮度別にみると、中学2年生の困窮層で「ある」とした割合が5.6ポイント減少している。

図 265 【子ども】平成27年調査:将来の夢

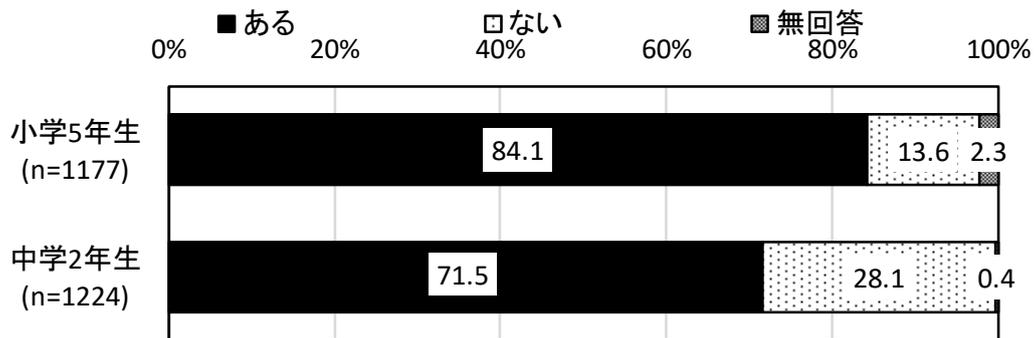
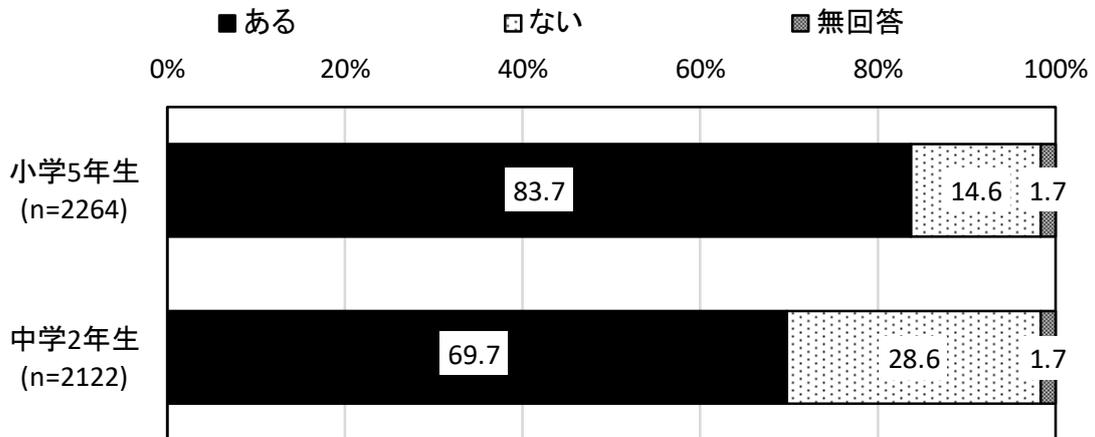


図 266 【子ども】平成30年調査:将来の夢



< 困窮度別 >

図 267 【子ども】平成 27 年調査:将来の夢

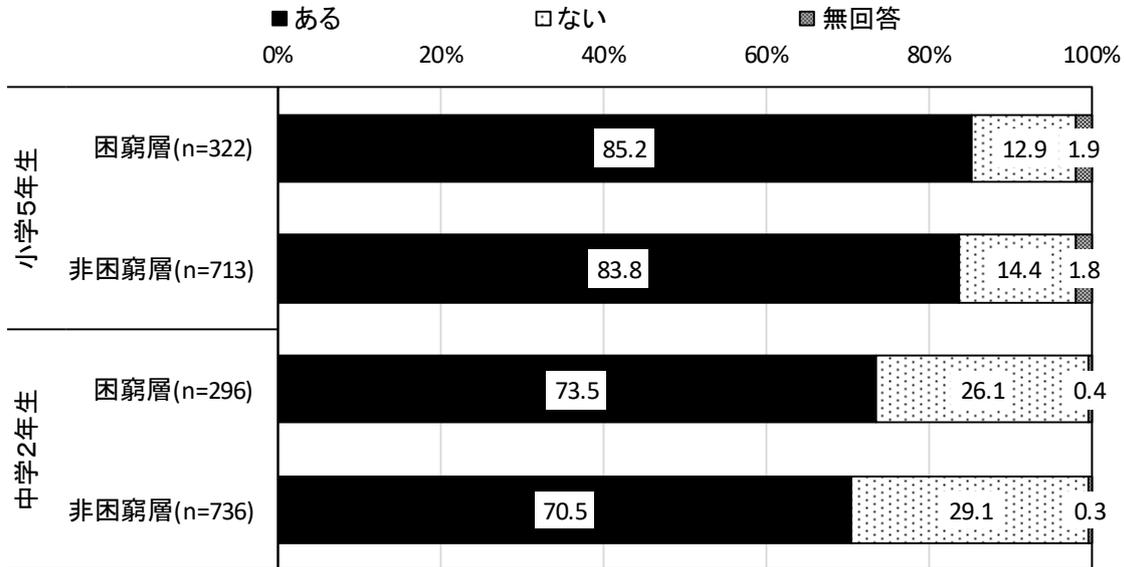
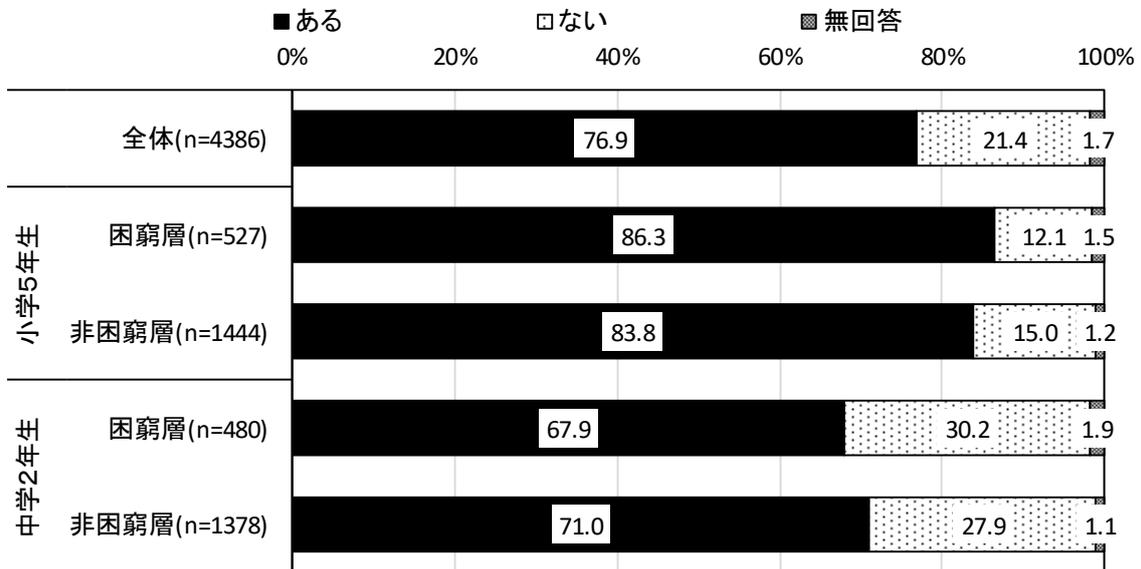


図 268 【子ども】平成 30 年調査:将来の夢



【子ども】学校に関する楽しみ度合い

学校に関する楽しみ度合いについて、「楽しみではない」とする割合をみると、小学5年生・中学2年生いずれもで「学校の先生に会うこと」が減少している。

また、困窮度別に「楽しみではない」とした割合を比較すると、特に小学5年生の困窮層において、「学校の先生に会うこと」の割合が7.5ポイント減少している。

図 269 【子ども】平成27年調査:学校に関する楽しみ度合い(「楽しみではない」の割合)

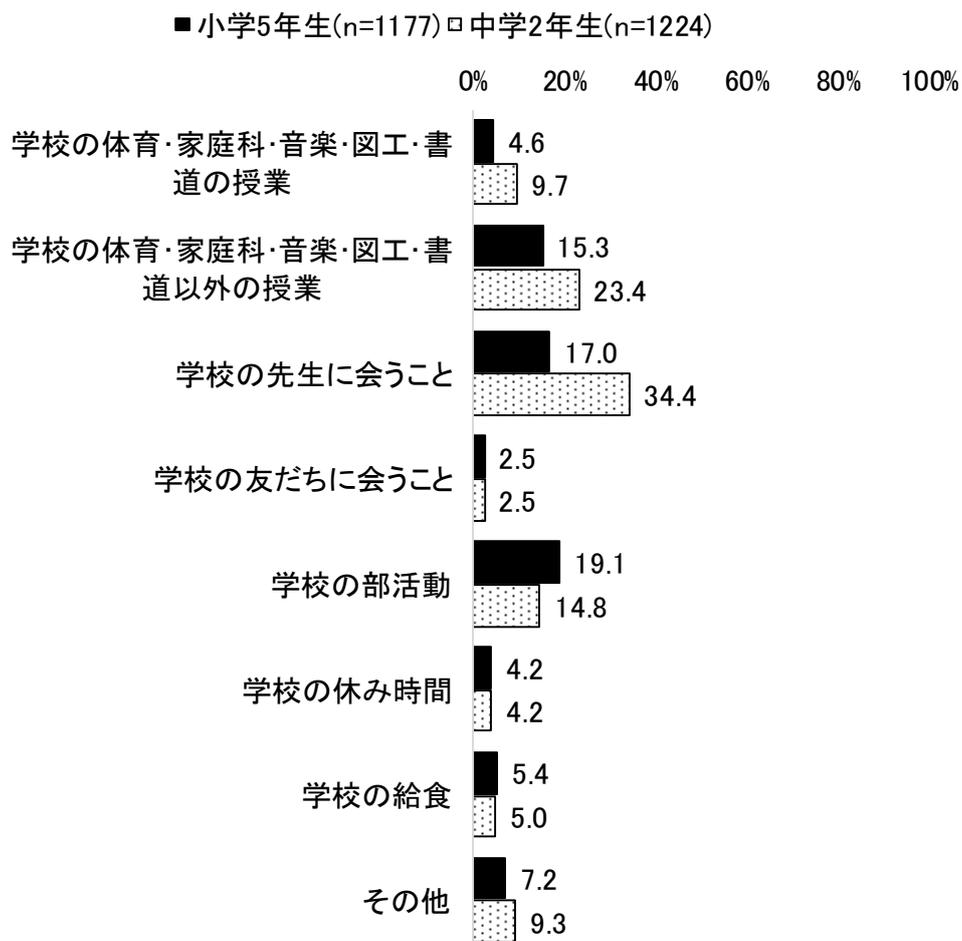
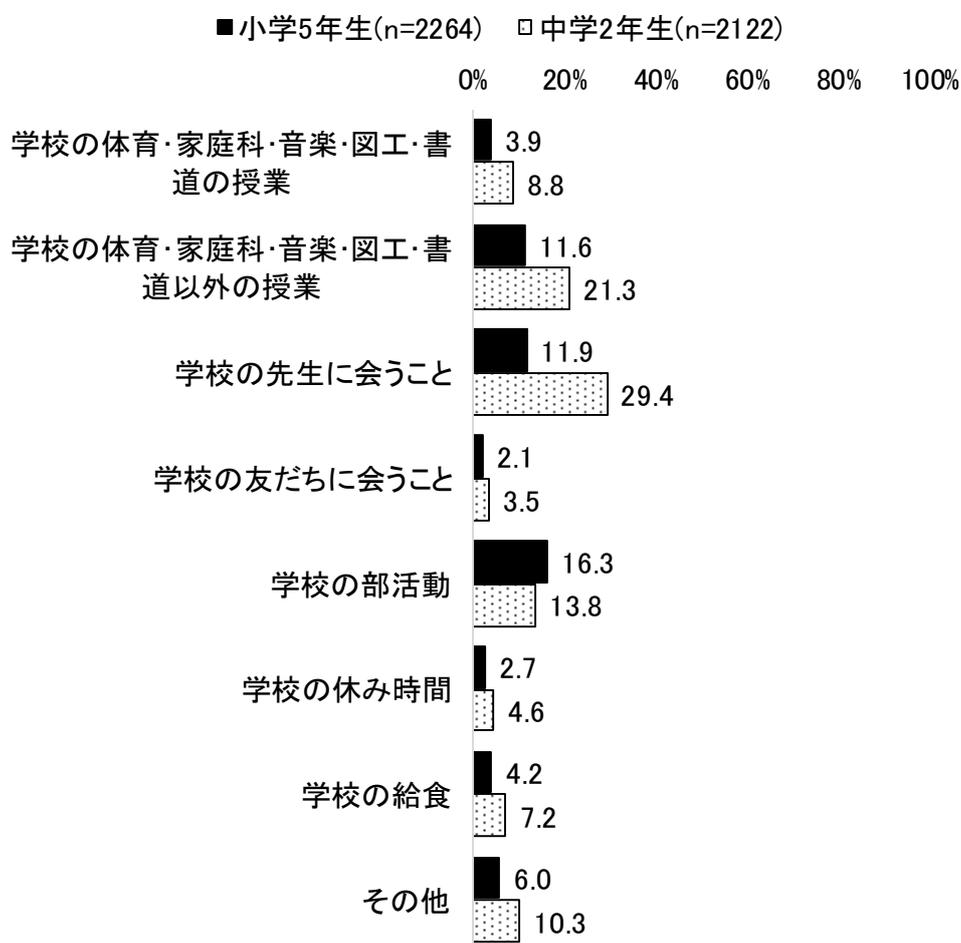


図 270 【子ども】平成 30 年調査:学校に関する楽しみ度合い(「楽しみではない」の割合)



< 困窮度別 >

図 271 【子ども】平成 27 年調査:学校に関する楽しみ度合い(「楽しみではない」の割合)

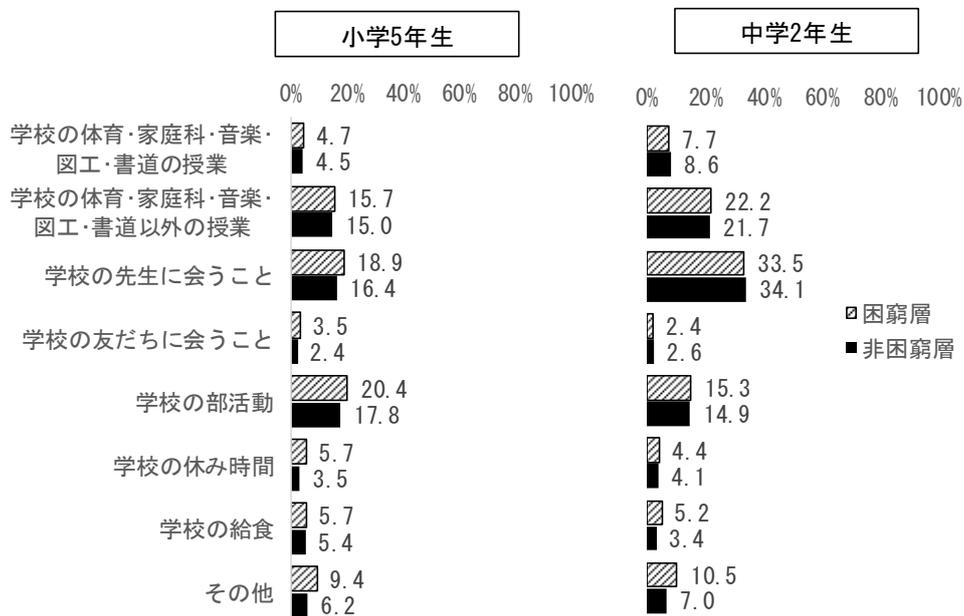
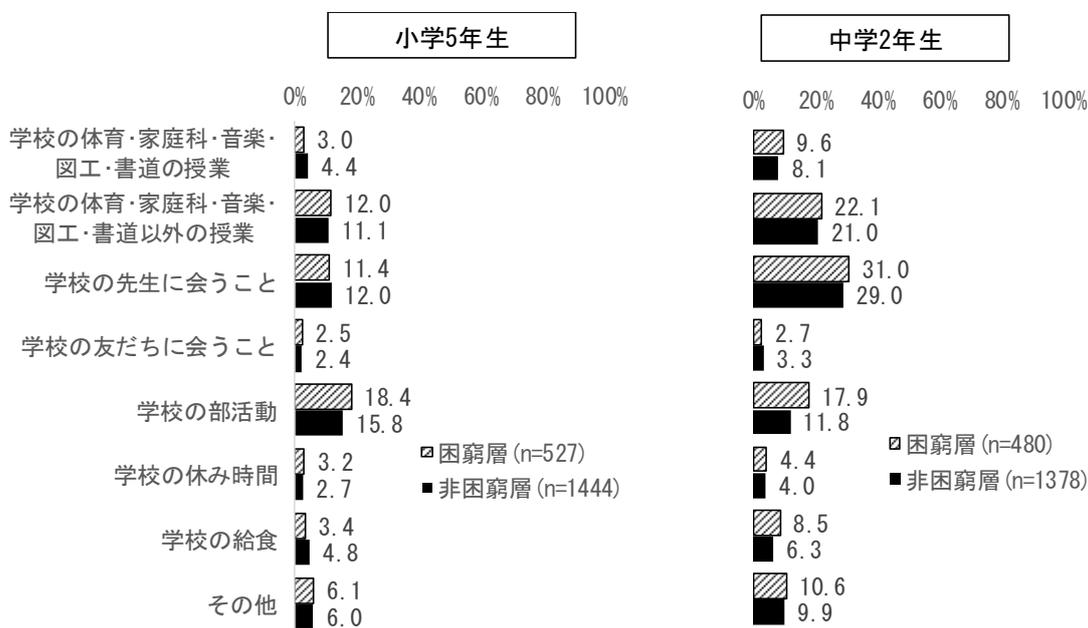


図 272 【子ども】平成 30 年調査:学校に関する楽しみ度合い(「楽しみではない」の割合)



【子ども】 平日の朝ごはんを一緒に食べる人 （複数回答）

平日の朝ごはんを一緒に食べる人を見ると、小学5年生では「親」の割合が7.9ポイント減少しているが、それ以外の選択肢においても減少傾向にある。中学2年生については、「ひとりで食べる」の割合が7.1ポイント減少している。

困窮度別にみると、小学5年生の非困窮層で「親」の割合が10.7ポイント減少している一方、「ひとりで食べる」の割合が全体的に減少している。

図 273 【子ども】平成27年調査:平日の朝ごはんを一緒に食べる人

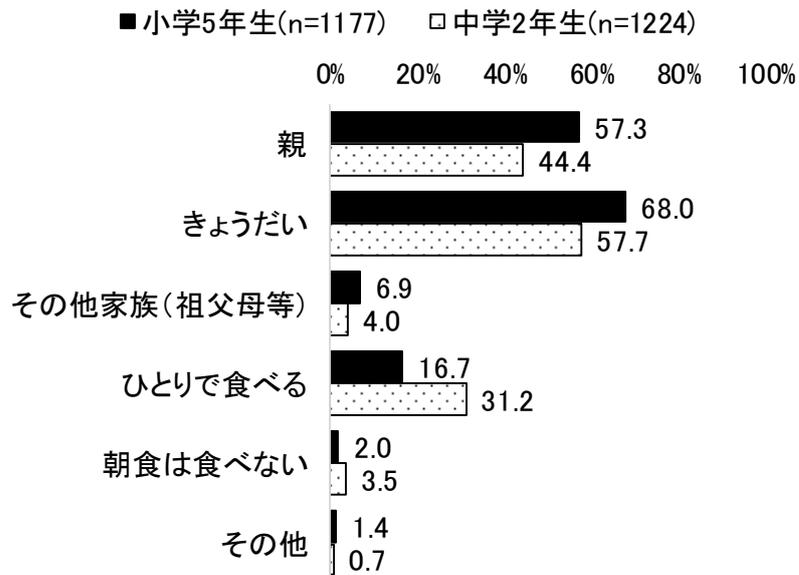
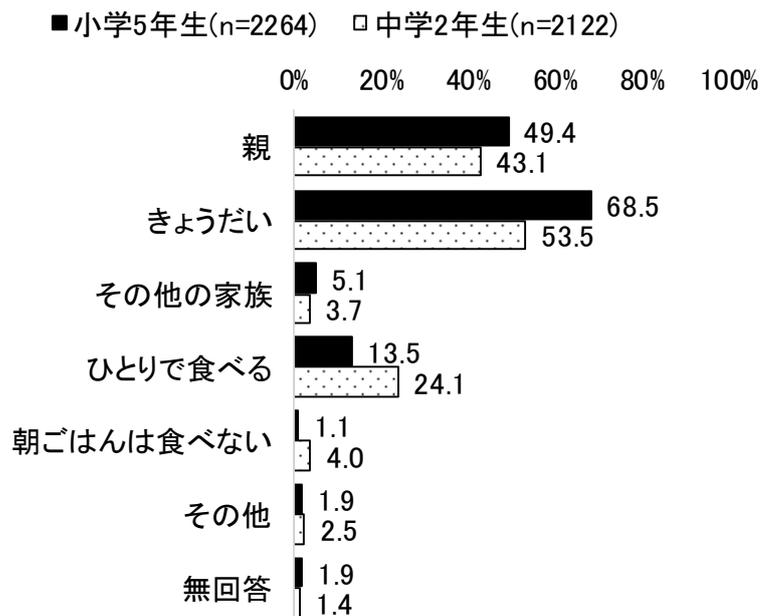


図 274 【子ども】平成30年調査:平日の朝ごはんを一緒に食べる人



< 困窮度別 >

図 275 【子ども】平成 27 年調査: 平日の朝ごはんを一緒に食べる人

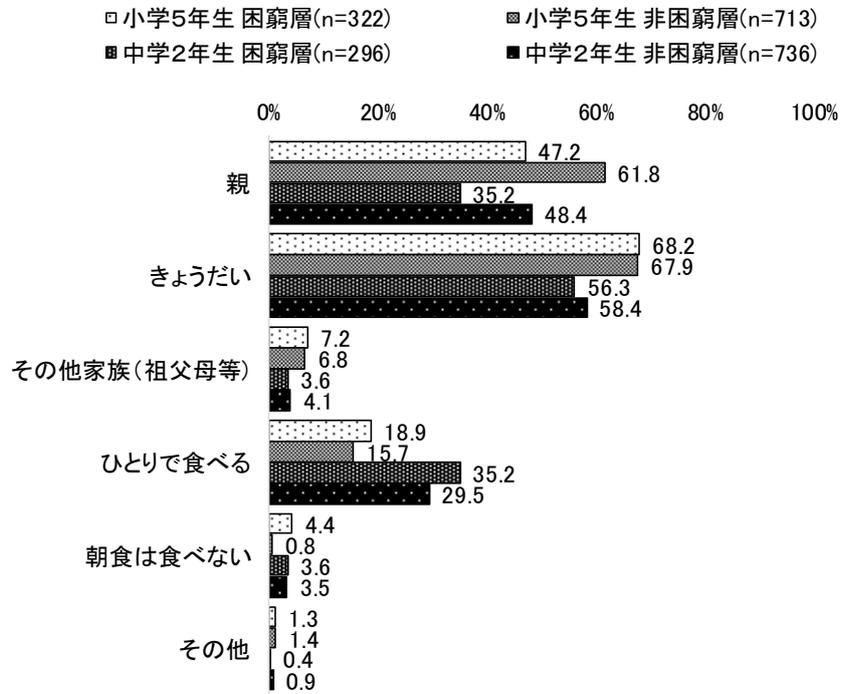
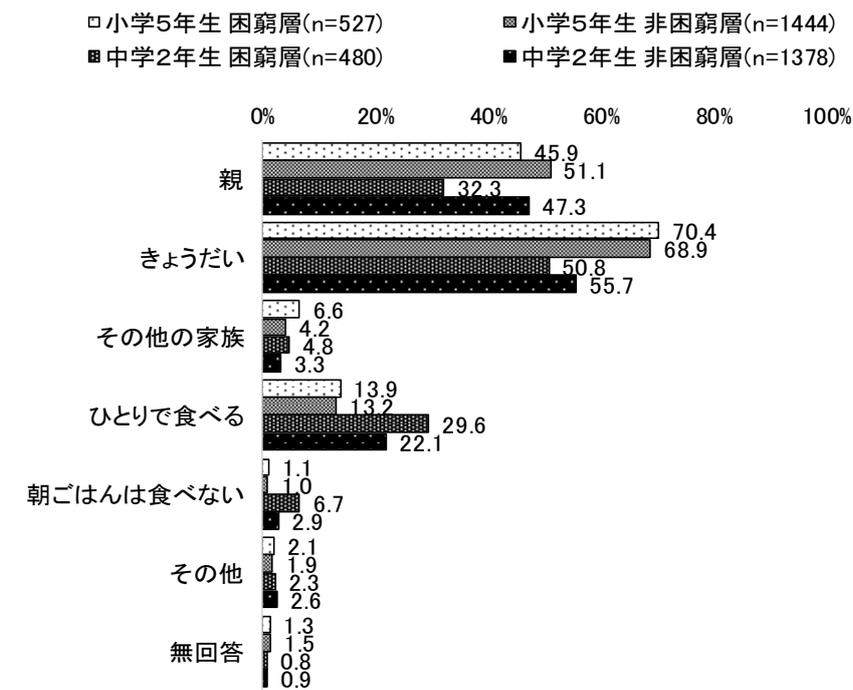


図 276 【子ども】平成 30 年調査: 平日の朝ごはんを一緒に食べる人



【子ども】 平日の夕ごはんを一緒に食べる人 （複数回答）

平日の夕ごはんを一緒に食べる人を見ると、いずれの学年もわずかに「親」の割合が減少している。一方で、中学2年生では「ひとりで食べる」の割合が 8.2 ポイント減少している。

図 277 【子ども】 平成 27 年調査:平日の夕ごはんを一緒に食べる人

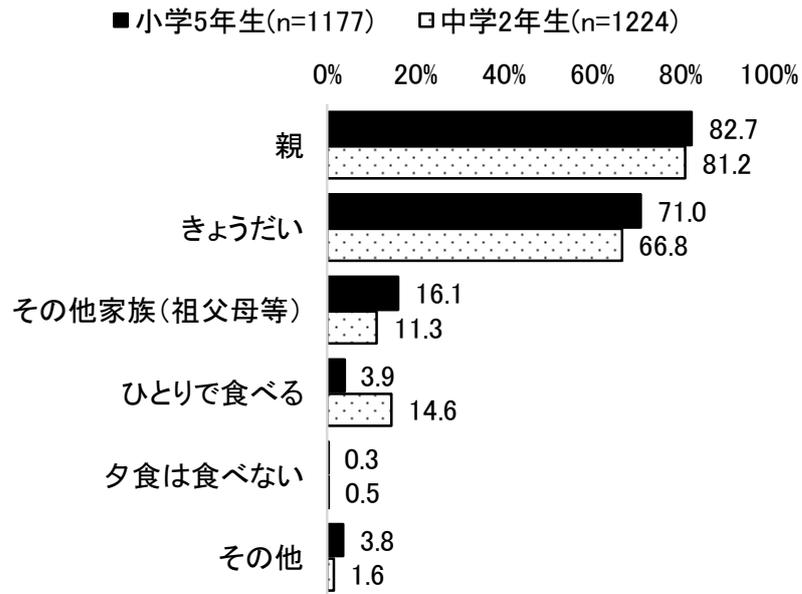
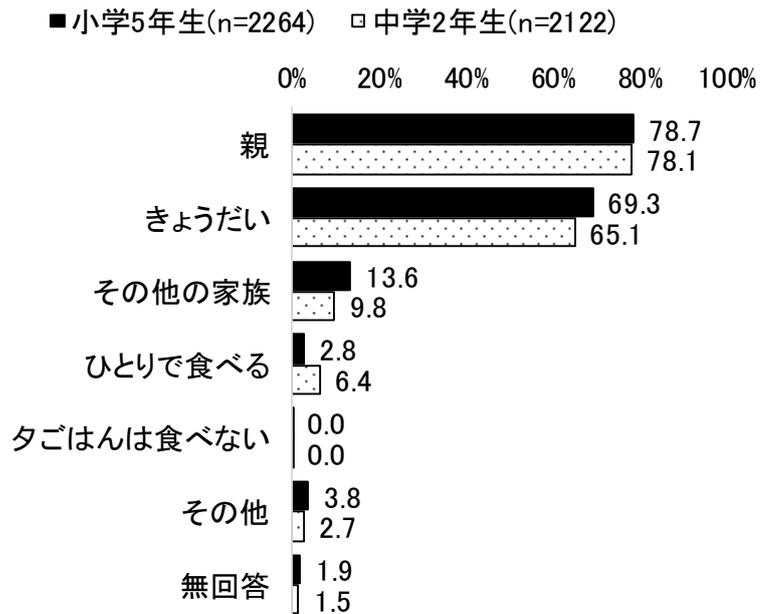


図 278 【子ども】 平成 30 年調査:平日の夕ごはんを一緒に食べる人



【子ども】 休日の朝ごはんを一緒に食べる人 （複数回答）

休日の朝ごはんを一緒に食べる人を見ると、いずれの学年も「ひとりで食べる」の割合が7.0~11.0ポイント減少している。

図 279 【子ども】平成 27 年調査:休日の朝ごはんを一緒に食べる人

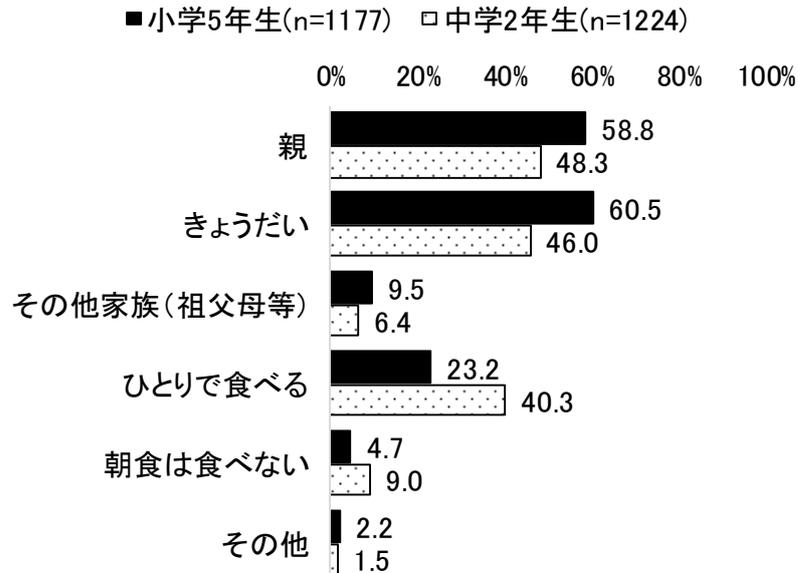
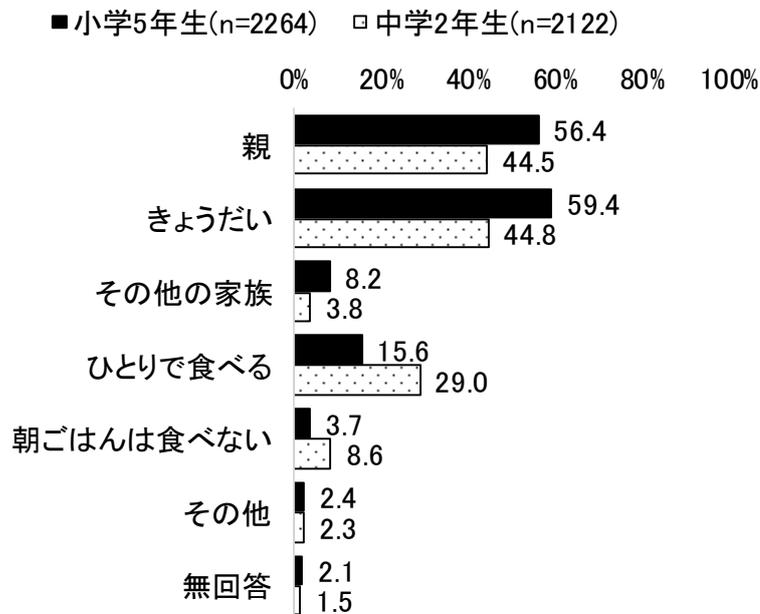


図 280 【子ども】平成 30 年調査:休日の朝ごはんを一緒に食べる人



【子ども】 休日の夕ごはんを一緒に食べる人 （複数回答）

休日の夕ごはんを一緒に食べる人を見ると、いずれの学年も全体的に割合がわずかに減少しているが、大きな変化はない。

図 281 【子ども】平成 27 年調査:休日の夕ごはんを一緒に食べる人

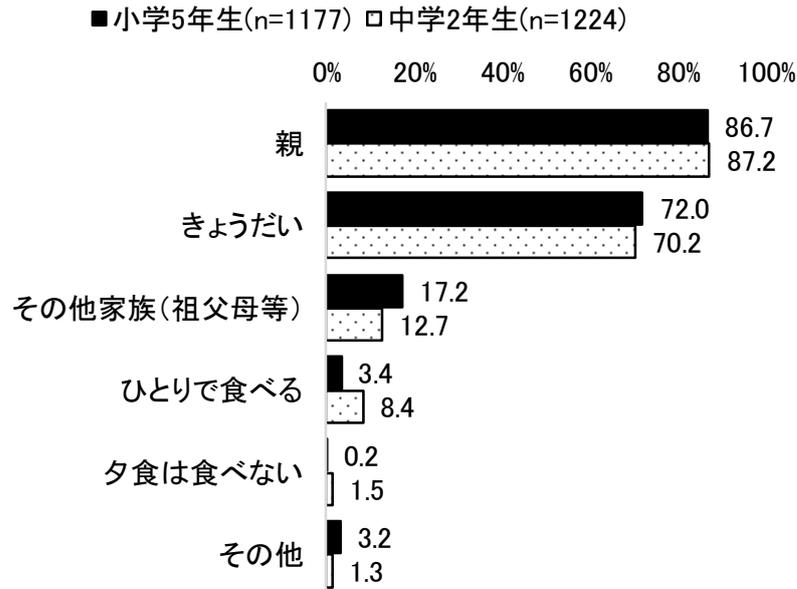
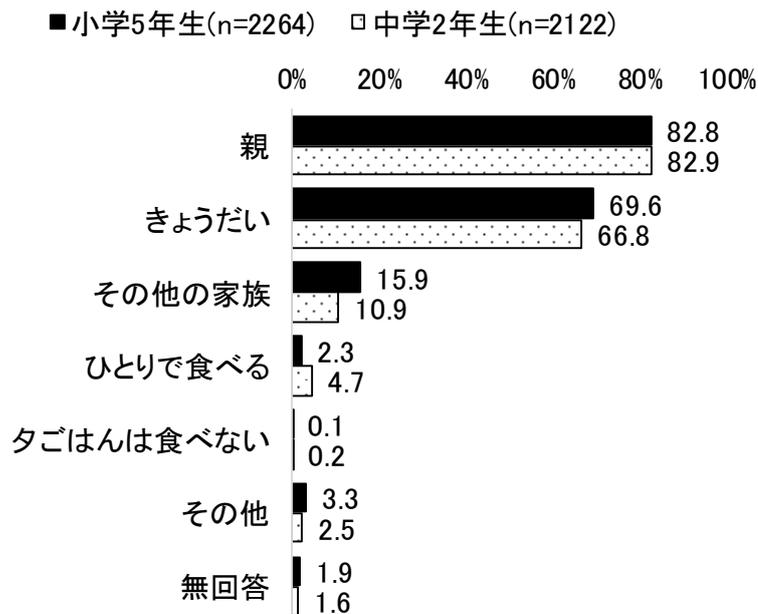


図 282 【子ども】平成 30 年調査:休日の夕ごはんを一緒に食べる人



【子ども】自己肯定感

自己肯定感をみると、中学 2 年生において「がんばれば、むくわれる」について「そう思わない」とする割合が 4.8 ポイント増加している。

困窮度別にみると、特に小学 5 年生の困窮層において全ての項目で「そう思わない」とする割合が減少している。

図 283 【子ども】平成 27 年調査:自己肯定感(「そう思わない」の割合)

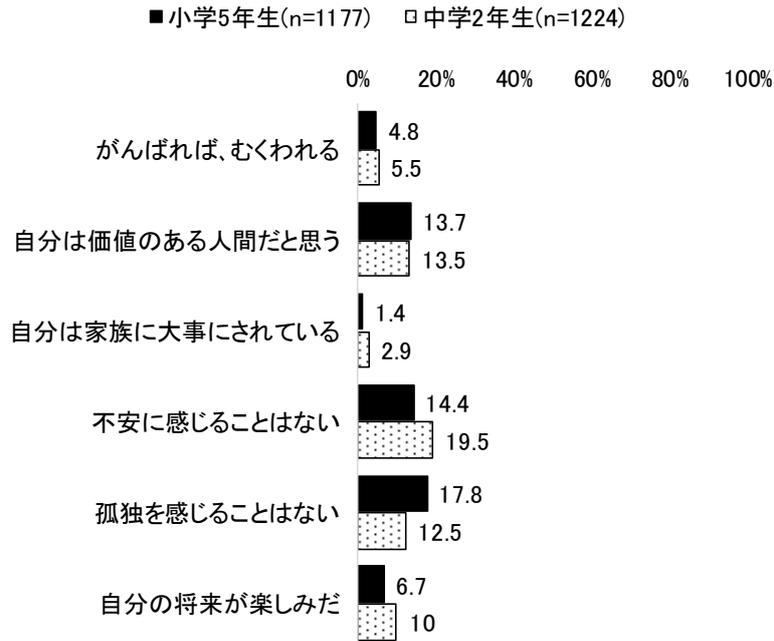
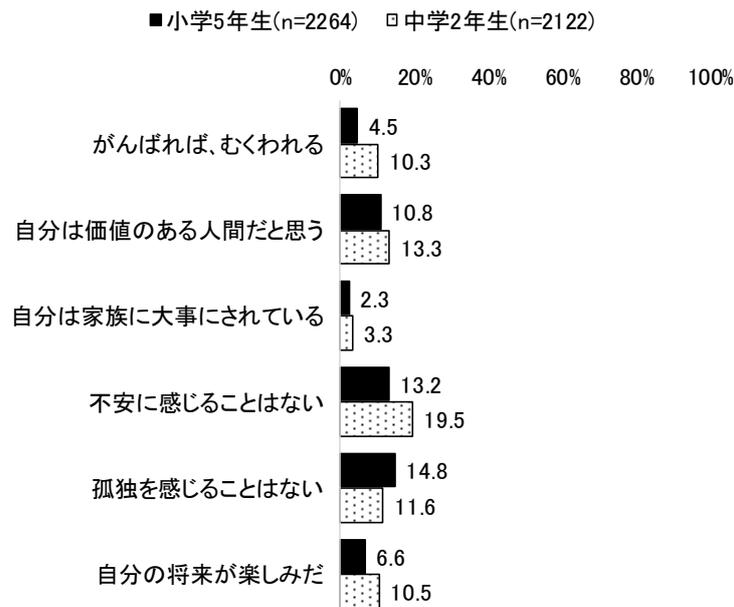


図 284 【子ども】平成 30 年調査:自己肯定感(「そう思わない」の割合)



<困窮度別>

図 285 【子ども】平成 27 年調査:自己肯定感(「そう思わない」の割合)

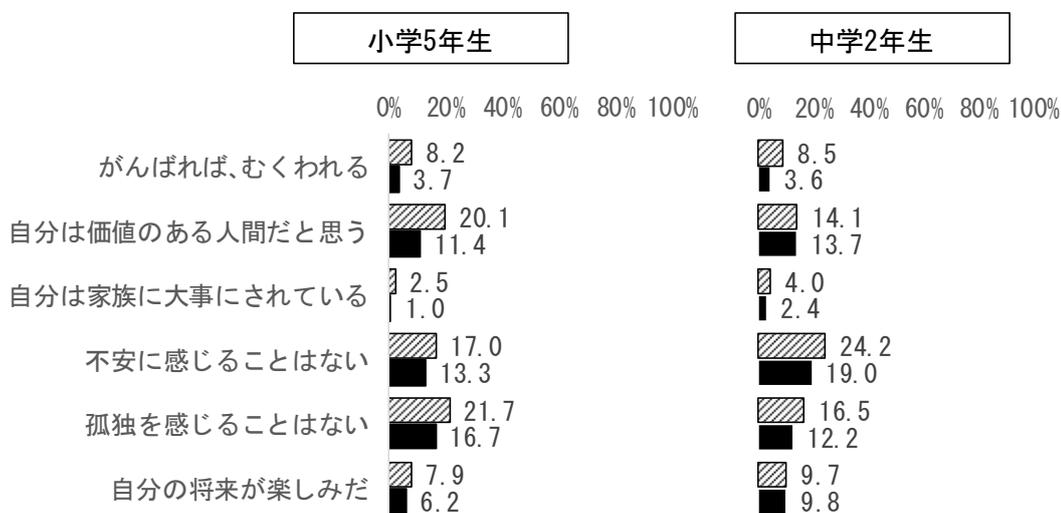
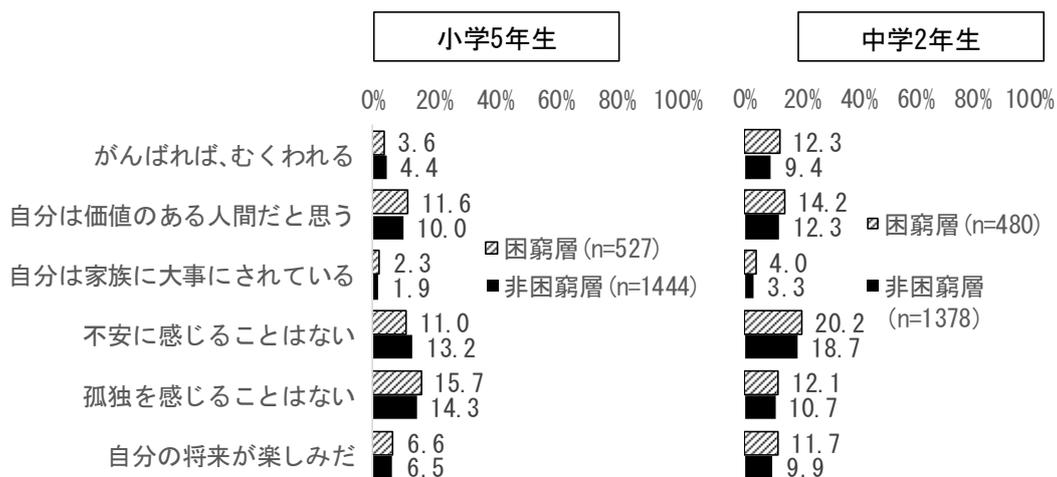


図 286 【子ども】平成 30 年調査:自己肯定感(「そう思わない」の割合)



3.経年比較に関するまとめ

①保護者

- ・世帯所得をみると、いずれの調査も全ての学年で「300～400万円未満」の割合がもっとも高い。小学1年生では、「0円」から「250～300万円未満」までの各区分の割合が平成27年調査に比べ平成30年調査で減少した一方で、「300～400万円未満」「400～500万円未満」「600～700万円未満」「700～800万円未満」「800～900万円未満」の割合が増加し、特に「400～500万円未満」では12.5%から15.0%に増加している。このような傾向は小学5年生、中学2年生でも確認できる。すなわち世帯所得が高まっている様子が伺える。それを裏付けるように、等価可処分所得では、122万円未満の世帯の割合をみると、「困窮層(122万円未満)」の割合はいずれの学年においても平成27年調査に比べて平成30年調査で減少している。特に小学1年生においては、「困窮層(122万円未満)」の割合が平成27年調査では30.0%であったのに対し、平成30年調査では22.6%となっており、7.4ポイント減少している。(P211,212)
- ・家計の状況は、平成27年調査と平成30年調査では質問項目が違うので、解釈には留意が必要であるが、平成27年調査でも、平成30年調査においても、小学1年生、小学5年生、中学2年生と学年が上がるにつれて「赤字」家計の割合が高まり、「黒字」家計の割合が低くなる傾向に変わりがなかった。つまり、子どもが成長するにつれて必要なお金が増加し、その増加分が家計を圧迫している状況であるといえる。経済的な理由で子どもにしてあげられなかったことをみても、学年が上がるにつれて割合が高まっていることからその状況を裏付けているといえる。(P213,214)
- ・就学援助制度の利用状況を見てみると、「利用している」の割合は、平成27年調査に比べて平成30年調査で約4.0ポイント増加している。また、困窮度別にみると特に困窮層において「利用している」とする割合が増加しており、小学1年生では15.4ポイント、小学5年生では10.7ポイント、中学2年生では7.6ポイント増加している。では、その就学援助で学校にかかる経費をカバーできているかどうかについてみてみると、小学1年生では「十分にカバーできている」「カバーできている」と回答した割合は困窮層では平成27年調査：66.3%、平成30年調査：55.7%と10.6ポイント減少。一方で「あまりカバーできていない」「カバーできていない」の割合は、平成27年調査：33.6%、平成30年調査：43.5%と9.9ポイント増加。この傾向はいずれの学年でも見られ、しかも非困窮層においても同様の傾向であった。つまり、就学援助の利用率の高まりとともに、カバーできていない世帯も増加している状況である。(P223,224,225,226)
- ・回答者の子どもの健康状態をみると、いずれの学年においても「良い」と回答する割合が増加しており、特に小学5年生では6.9ポイント増加している。また平成27年調査で小学5年生だった子どもが平成30年調査では中学2年生になっている。つまり、平成27年調査では小学5年生で「良い」が69.6%、平成30年調査の中学2年生では72.0%と増加傾向にある。(P231)

- ・一方、選択肢が異なっているため留意が必要であるが、過去 1 年間に子どもを医療機関に受診させなかった経験の有無をみると、いずれの学年も「あり」とする割合が 5.0～9.0 ポイント程度増加しており、特に困窮層において増加がみられる。受診させなかった理由は、「最初は受診させようと思ったが、子どもの様子を見て、受診させなくてもよいと判断した」という割合が 15.0～25.0 ポイント程度減少しており、代わって「多忙で、医療機関に連れて行く時間がなかったため」の割合が 15.0～18.0 ポイント高くなっている。また「自己負担金を支払うことができなかつたため」を挙げた割合は小学 1 年生で 11.6%から 14.6%と 3.0 ポイント増加、小学 5 年生で 16.2%から 19.6%と 3.4 ポイント増加している。小学生をもつ家庭の 15.0%から 20.0%程度が自己負担金の支払いが困難という状況は、医療費の負担軽減のあり方についても検討を要する結果といえる。(P232,233,234)

②子ども

- ・学校に関する楽しみ度合いについて、「楽しみではない」という割合をみると、小学 5 年生、中学 2 年生ともに「学校の先生に会うこと」が減少しており、特に小学 5 年生の困窮層において 7.5 ポイントの減少がみられる。教育行政で様々な研修等を行ってきた成果ともいえるであろう。今後、学習理解の高まりや高等教育機関への進学希望の増加などに反映されていくことに期待が持てる結果である。(P238,239,240)
- ・平日の朝ご飯を一緒に食べる人をみると、小学 5 年生では「親」の割合が 7.9 ポイント減少しているが、それ以外の選択肢においても減少傾向にある。中学 2 年生についても同様のことがいえる。また夕食等についても同様の状況である。(P 241,242,243)
- ・自己肯定感をみると、中学 2 年生において「がんばれば、むくわれる」について「そう思わない」とする割合が 4.8 ポイント増加しているものの、困窮度別にみると、特に小学 5 年生の困窮層において全ての項目で「そう思わない」とする割合の減少がみられる。(P246,247)

<考察>

平成 27 年調査と比較すると、経済状況については全体的に改善がみられた。等価可処分所得が 122 万円未満の世帯の割合は、いずれの学年においても減少しており、特に小学 1 年生において大きく改善していた。また、就学援助制度の利用率も特に困窮層において増加しており、対策の効果が出ていることがうかがえる。

一方、世帯収入の増加や経済状況の改善が、生活の改善につながっているものの、まだ課題があるといえる。小学生の子どもをもつ家庭の 15.0%～20.0%において医療費の自己負担金の支払いが困難であることなど、個々の家計における収支バランス、特に学校の費用や医療費など生活の基盤をなす費用負担のあり方の改善に向けた取り組みは引き続き必要であろう。また子どもを受診させなかったという割合は増加しており、その理由としては親の多忙が多くあげられていた。親の忙しさが子どもの健康に影響を及ぼす可能性が高まっているということでもあり、困窮層・非困窮層にかかわらず親の労働環境が適切なものとなって

いるかどうかを見直していく必要があるといえる。

子どもについては、学校での楽しみの理由として「学校の先生に会うこと」の割合が高まっている。これを継続していくことで、子どもの学習意欲の向上、進学希望の高まりなど、教育分野への好影響が出てくることを期待したい。

第4章 他地域との比較(大阪府子どもの生活調査)

以下では、大阪府が平成28年に実施した「子どもの生活に関する実態調査」(以下、大阪府調査)のうち、本調査との比較が可能な項目について分析を行うことにより、沖縄県の保護者・子どもの生活実態にどのような特徴があるのかを検討していく。本調査を設計するにあたり、大阪府調査との比較を前提として同様の設問項目をいくつか盛り込んでいるため、比較はそれらの項目を中心に行うが、選択肢が完全に同一とはなっていないものもあるため、結果を見る際には注意が必要である。

1. 保護者

【保護者】 学年

回答者の子どもの学年をみると、大阪府調査では「小学5年生」と「中学2年生」がそれぞれ5割程度であるのに対し、沖縄県調査では「小学1年生」、「小学5年生」、「中学2年生」がそれぞれ約3割ずつとなっている。

図 287 【保護者】 大阪府調査:回答者の子どもの学年

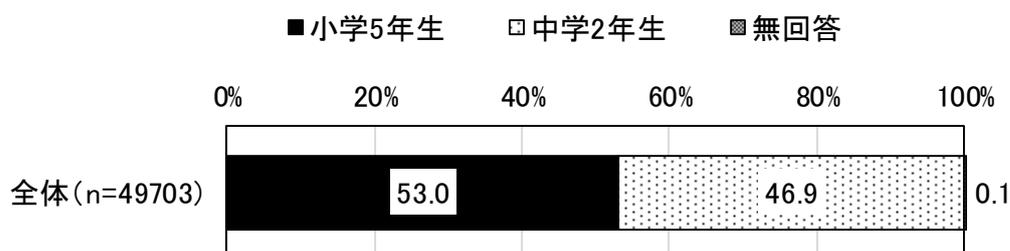
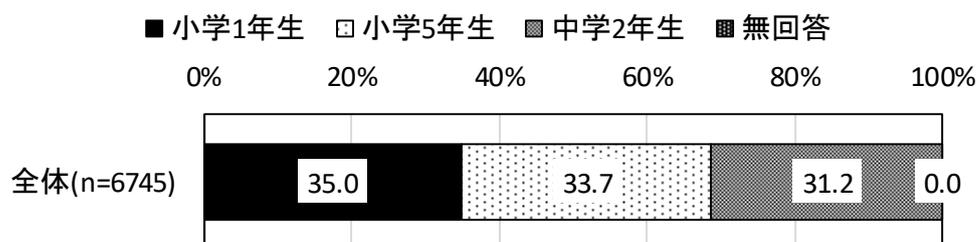


図 288 【保護者】 沖縄県調査:回答者の子どもの学年



【保護者】回答者の続柄

回答者の続柄をみると、大阪府調査・沖縄県調査のいずれも「お母さん」が8割強となっている。

図 289 【保護者】大阪府調査:回答者の続柄

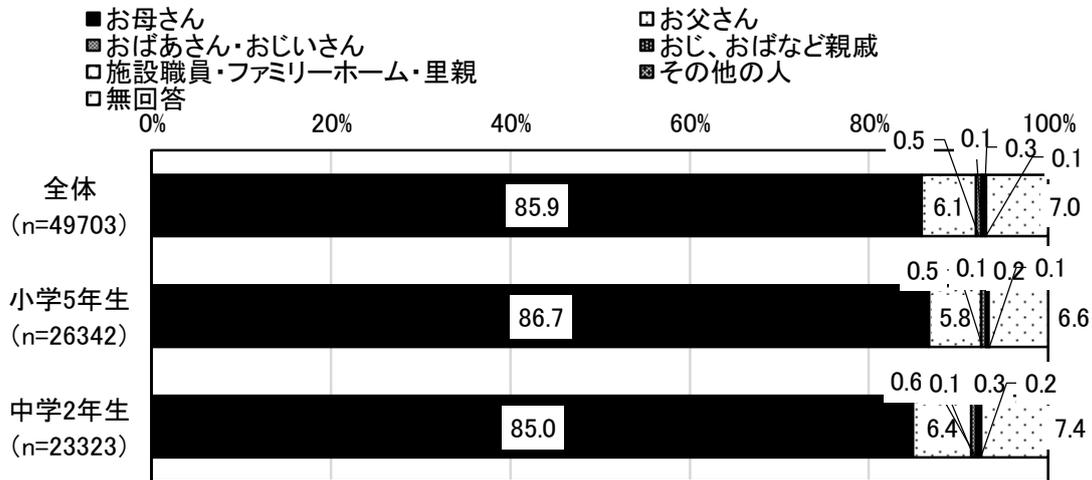
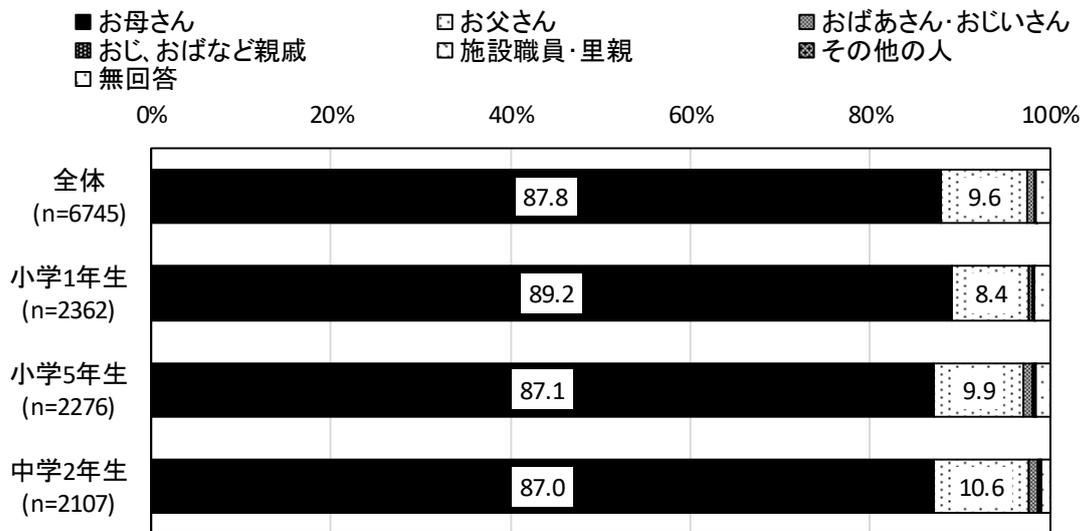


図 290 【保護者】沖縄県調査:回答者の続柄



< 沖縄県調査 : %表 >

	お母さん	お父さん	おばあさん・おじいさん	おじ、おばなど親戚	施設職員・里親	その他の人	無回答
全体 (n=6745)	87.8	9.6	0.9	0.1	0.1	0.1	1.5
小学1年生 (n=2362)	89.2	8.4	0.5	0.1	0.0	0.0	1.8
小学5年生 (n=2276)	87.1	9.9	1.1	0.1	0.1	0.1	1.6
中学2年生 (n=2107)	87.0	10.6	1.0	0.0	0.1	0.1	1.0

【保護者】世帯類型

世帯類型をみると、大阪府調査・沖縄県調査とも「二親世帯」が約8割、「母子世帯」が約15.0%となっており、大きな差はみられない。学年別にみると、いずれの調査も学年が上がるにつれて母子世帯の割合が増加している。

図 291 【保護者】大阪府調査:世帯類型

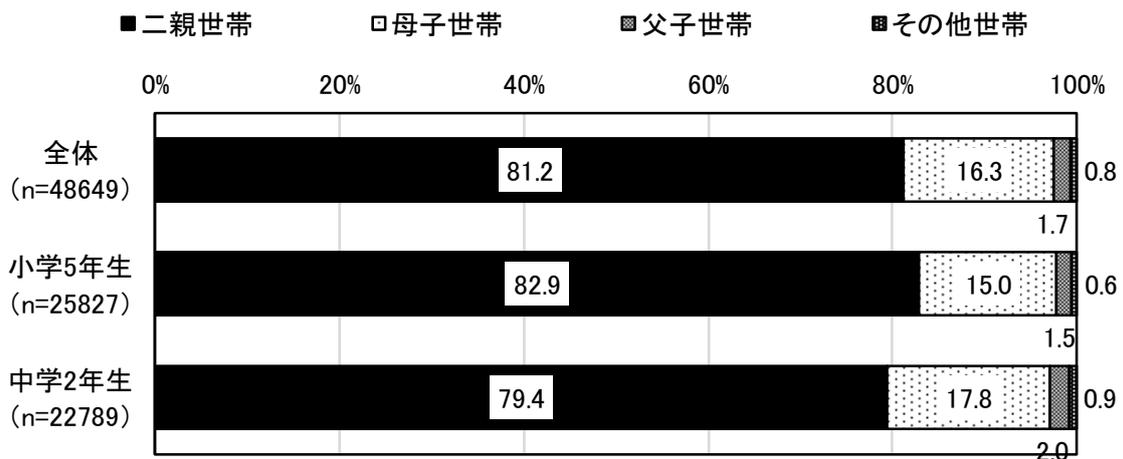
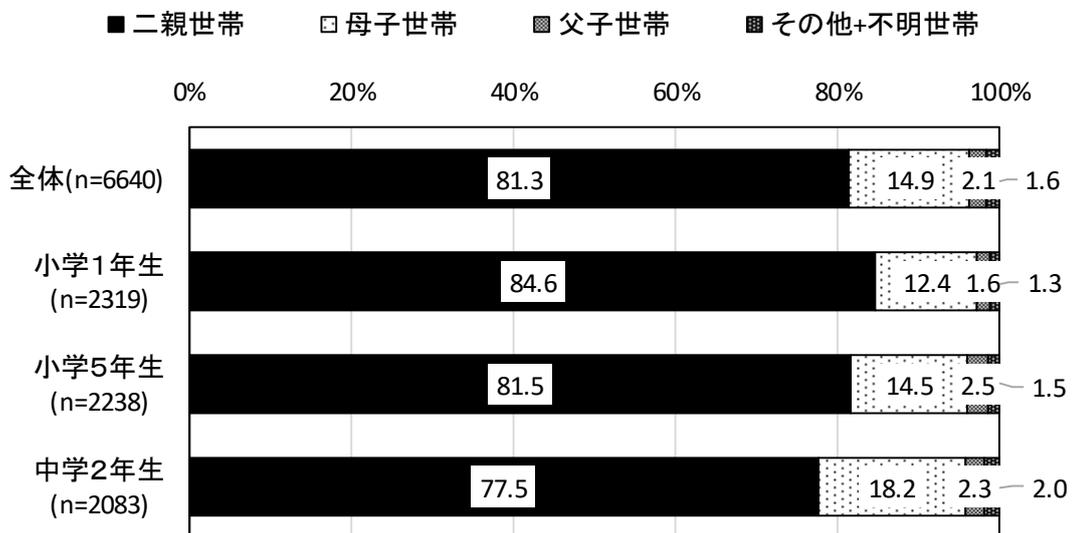


図 292 【保護者】沖縄県調査:世帯類型



【保護者】世帯所得

世帯所得をみると、大阪府調査ではいずれの学年も「500~600万円未満」の割合がもっとも高いのに対し、沖縄県調査では、「300~400万円未満」の割合がもっとも高くなっている。

図 293 【保護者】大阪府調査:世帯所得

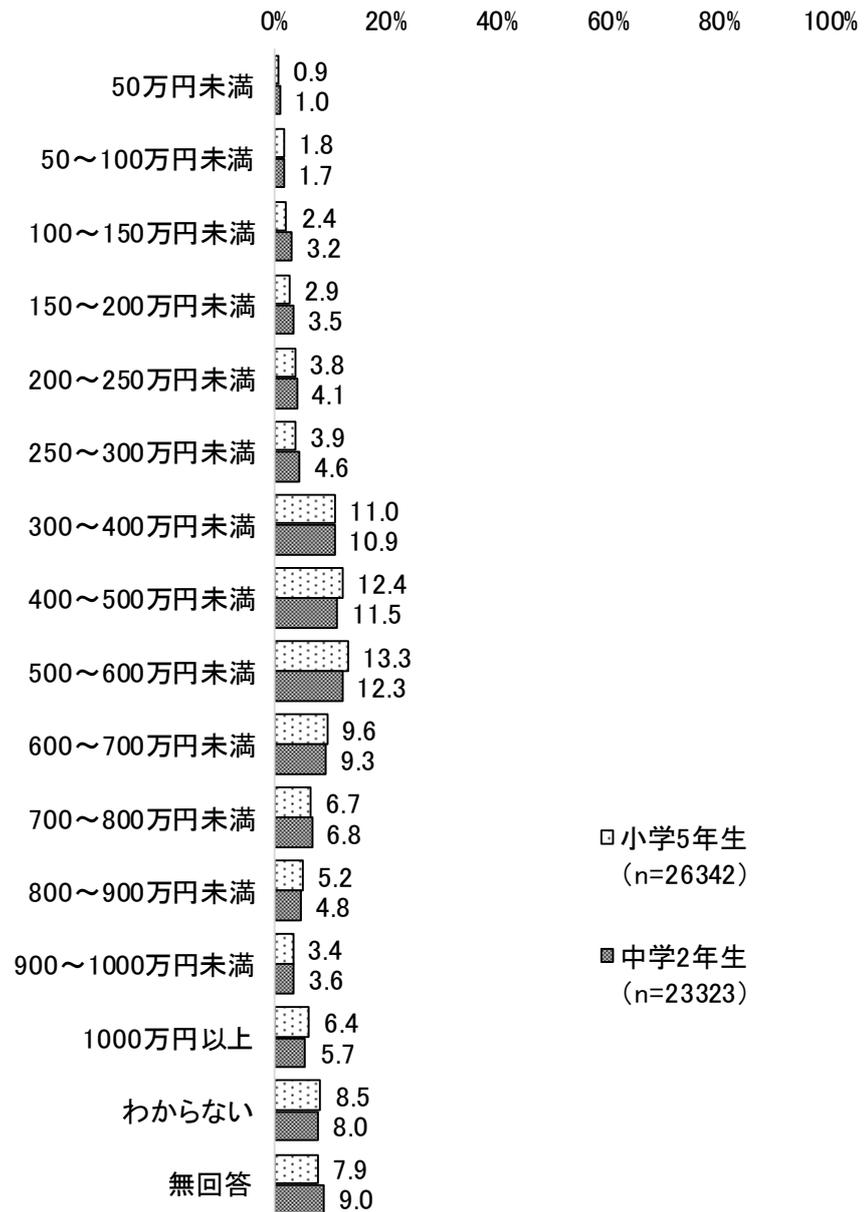
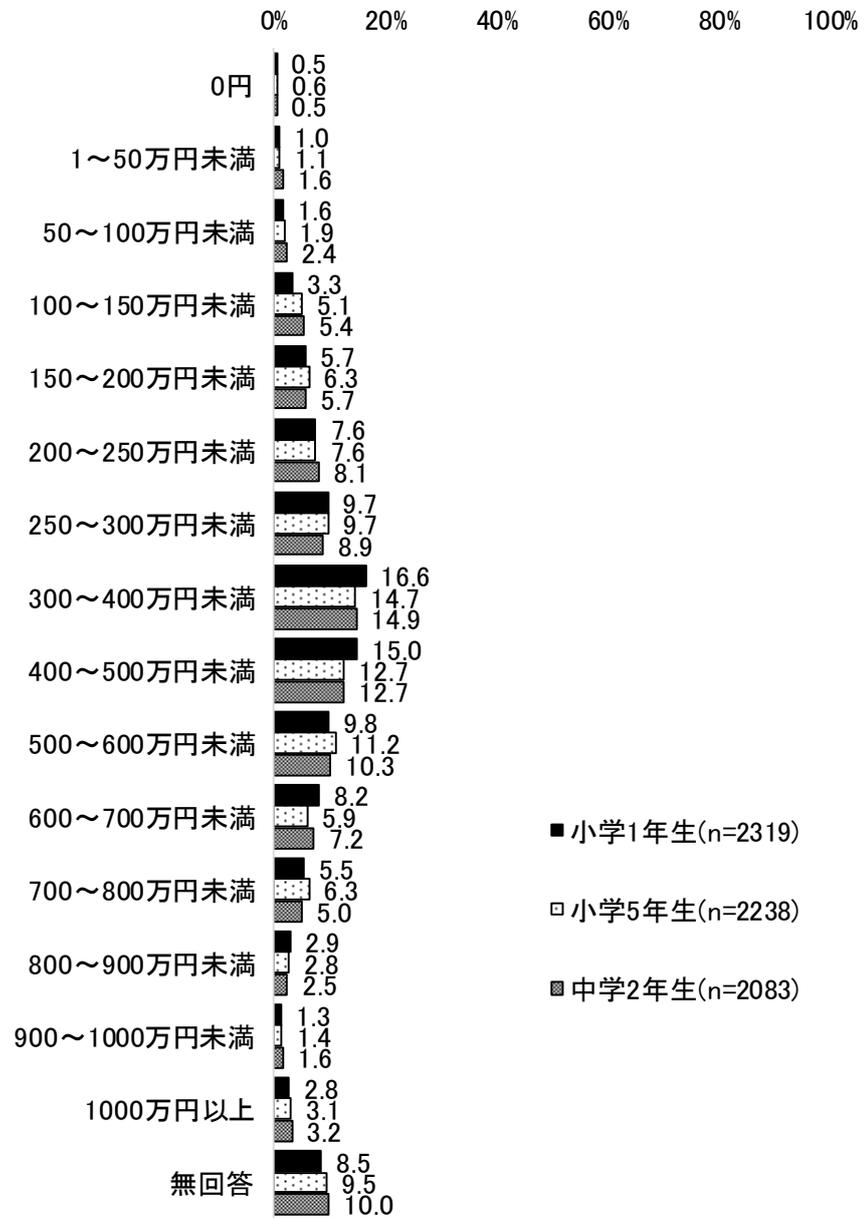


図 294 【保護者】沖縄県調査:世帯所得



【保護者】各種制度の利用状況

各種制度の利用状況のうち、比較可能な就学援助費をみると、大阪府調査では「小学5年生」で15.8%、「中学2年生」で19.8%が利用しているのに対し、沖縄県調査では「小学5年生」で21.4%、「中学2年生」で23.3%が利用しており、いずれの学年も大阪府調査より高い割合となっている。ただし、生活保護については、大阪府調査では「小学5年生」で2.4%、「中学2年生」で2.8%が利用しているのに対し、沖縄県調査では「小学5年生」が0.5%、「中学2年生」が0.7%と、大阪府調査より割合が低くなっている。

図 295 【保護者】大阪府調査:各種制度の利用状況（「もらっている」の割合）

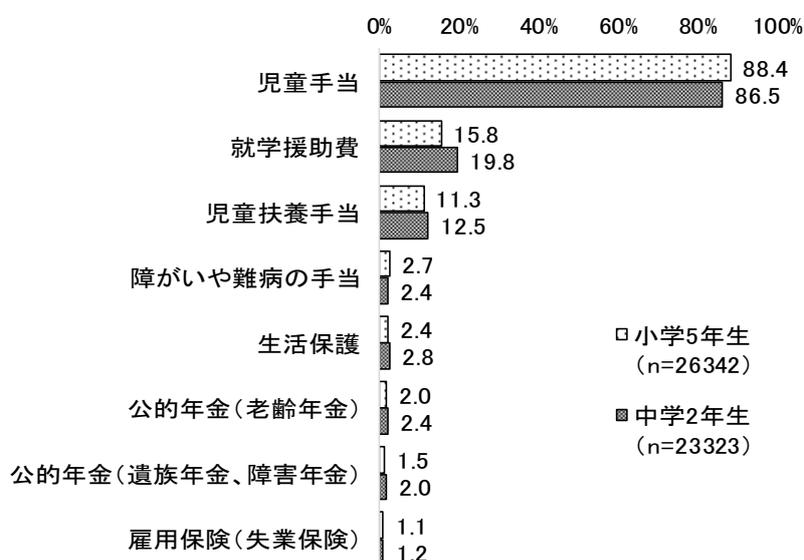
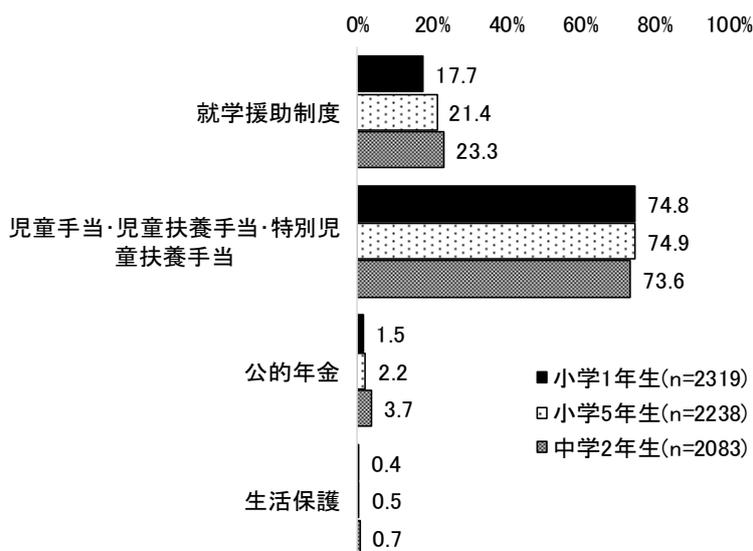


図 296 【保護者】沖縄県調査:各種制度の利用状況（「受給している」の割合）



【保護者】サポートしてくれる人（複数回答）

サポートしてくれる人がいるとする割合は「子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人」については5.0～7.0ポイント、「留守を頼める人」については4.0～6.0ポイント沖縄県調査で高くなっている。「趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人」については、小学5年生において大阪府調査で約5.0ポイント高くなっている。

図 297 【保護者】大阪府調査:サポートしてくれる人(「いる」と回答した割合)

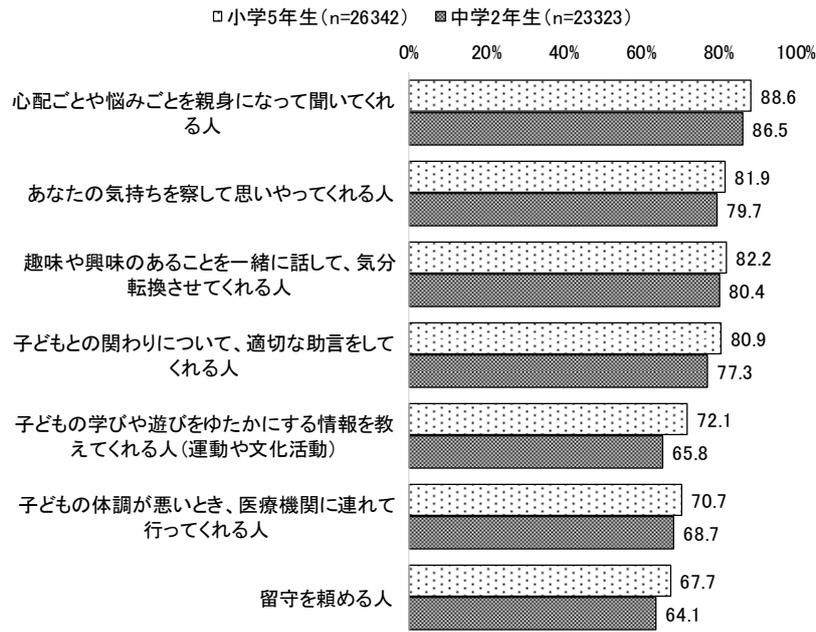
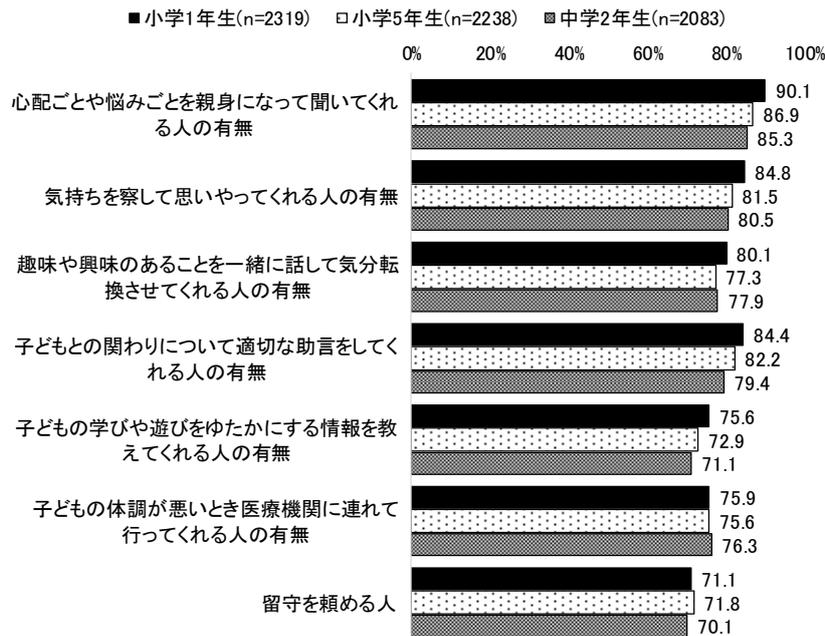


図 298 【保護者】沖縄県調査:サポートしてくれる人(「いる」と回答した割合)



【保護者】 経済的な理由で経験したこと:半年間 (複数回答)

半年間のうちに経済的な理由で経験したことをみると、いずれの調査も「食費を切りつめた」「新しい衣服・靴を買うのを控えた」「趣味やレジャーの出費を減らした」の割合が約4割となっている。最も厳しい状況を表す経験と考えられる「医療機関を受診できなかった」が大阪府調査の小学5年生で3倍以上、中学2年生で2.5倍以上の高い割合であり、同じく「電気・ガス・水道などが止められた」「家賃や住宅ローンの支払いが滞ったことがある」が大阪府調査の倍近く高い割合となっている。

図 299 【保護者】大阪府調査:経済的な理由で経験したこと:半年間

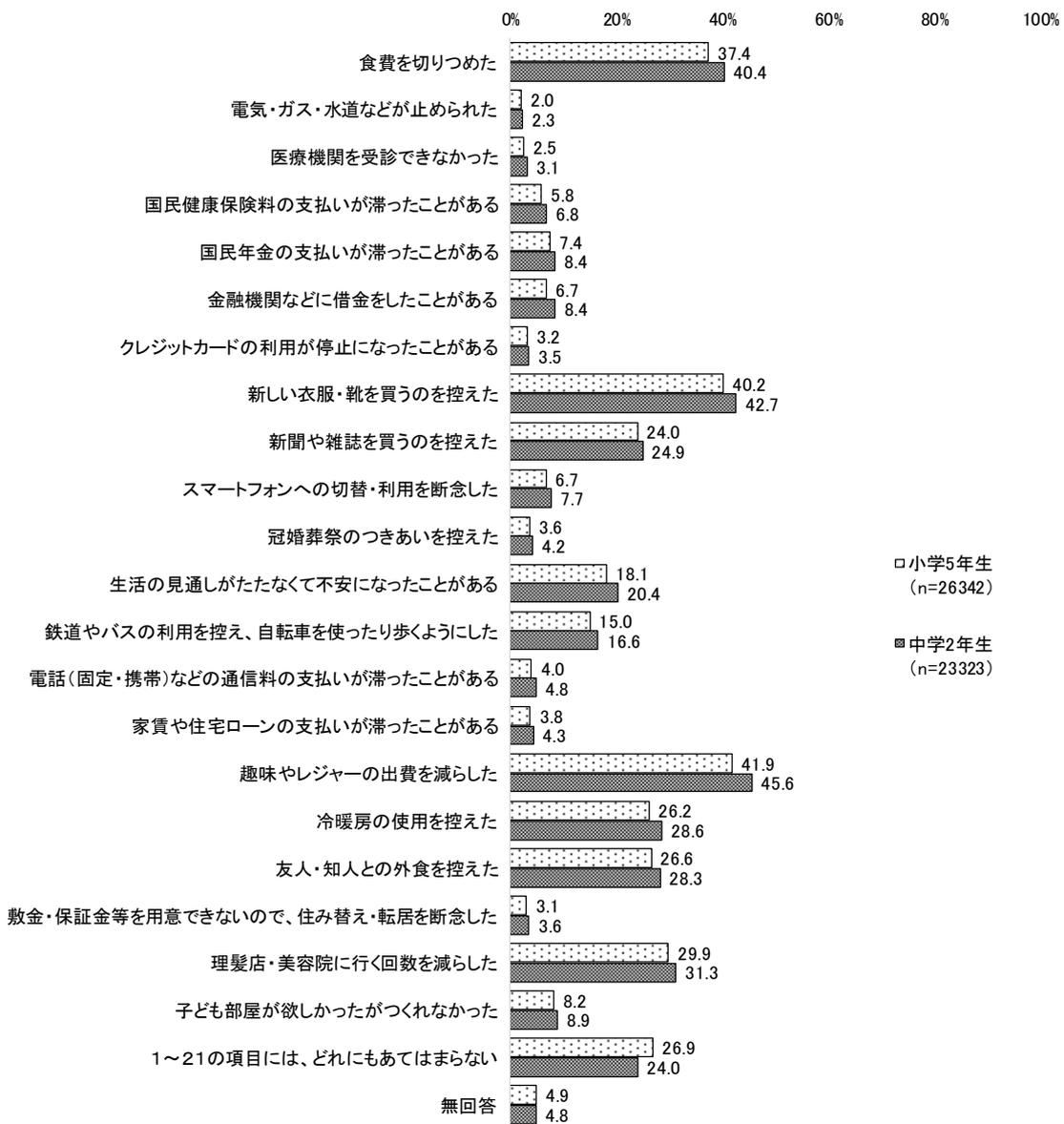
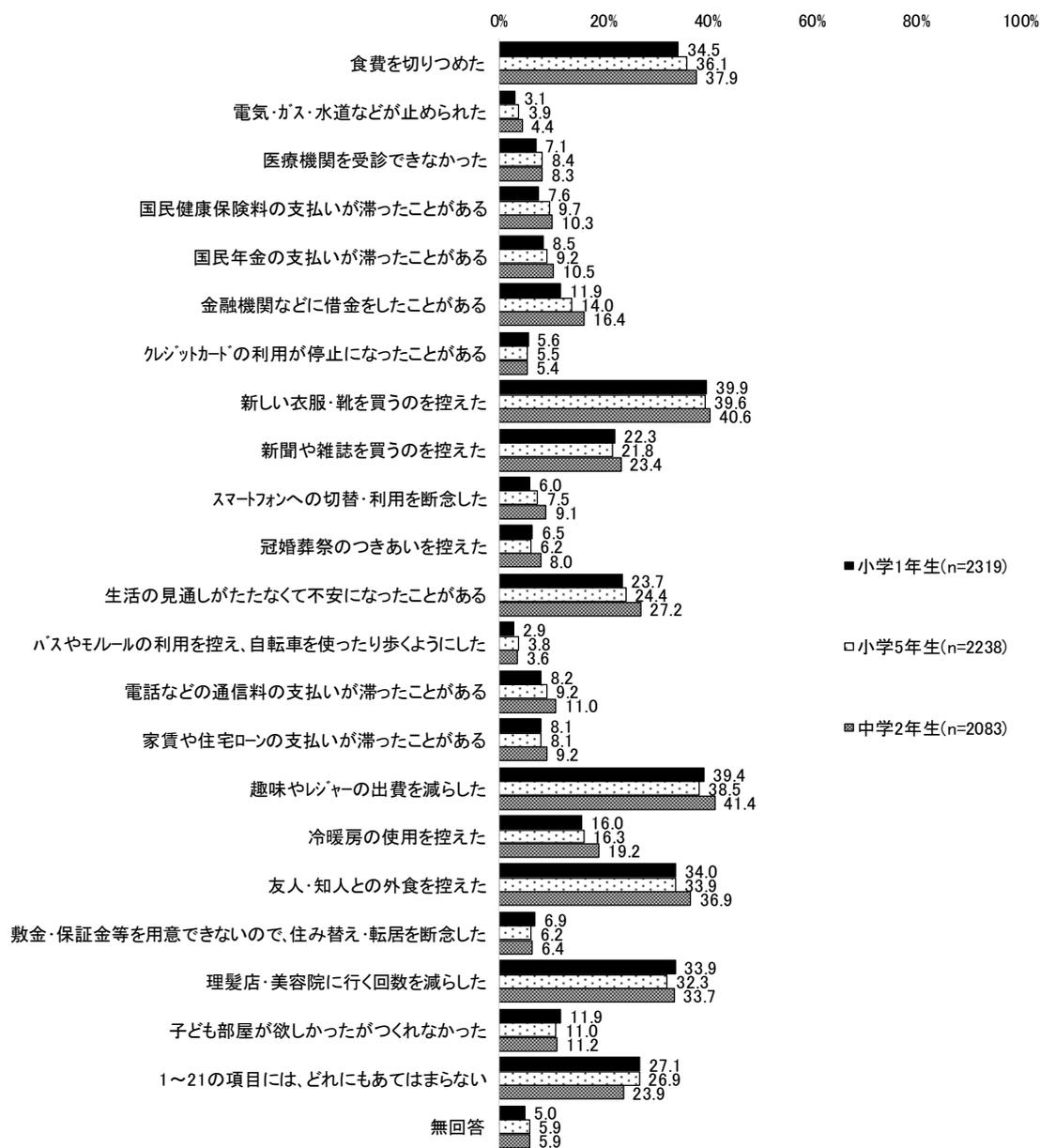


図 300 【保護者】沖縄県調査:経済的な理由で経験したこと:半年間



【保護者】 経済的な理由で子どもにしてあげられなかったこと:1年間 (複数回答)

1年間のうちに経済的な理由で子どもにしてあげられなかったことをみると、多くの項目で大阪府調査よりも沖縄県調査においてポイントが高くなっている。最も厳しい状況を表すと考えられる「子どもに医療機関を受診させることができなかった」が大阪府調査の「小学5年生」で5倍以上、「中学2年生」で3倍以上の高い割合であったほか、「子どものための絵本が買えなかった」も大阪府調査の倍近い割合となっている。

図 301 【保護者】 大阪府調査:経済的な理由で子どもにしてあげられなかったこと:1年間

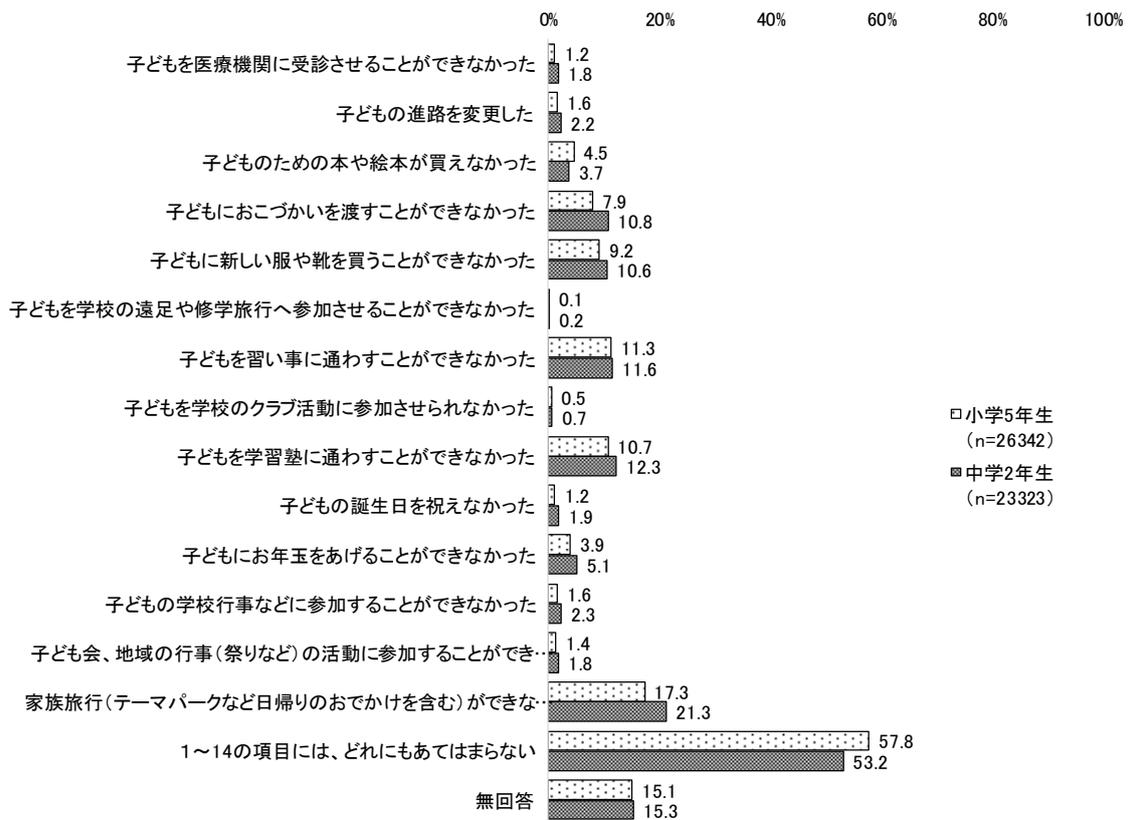
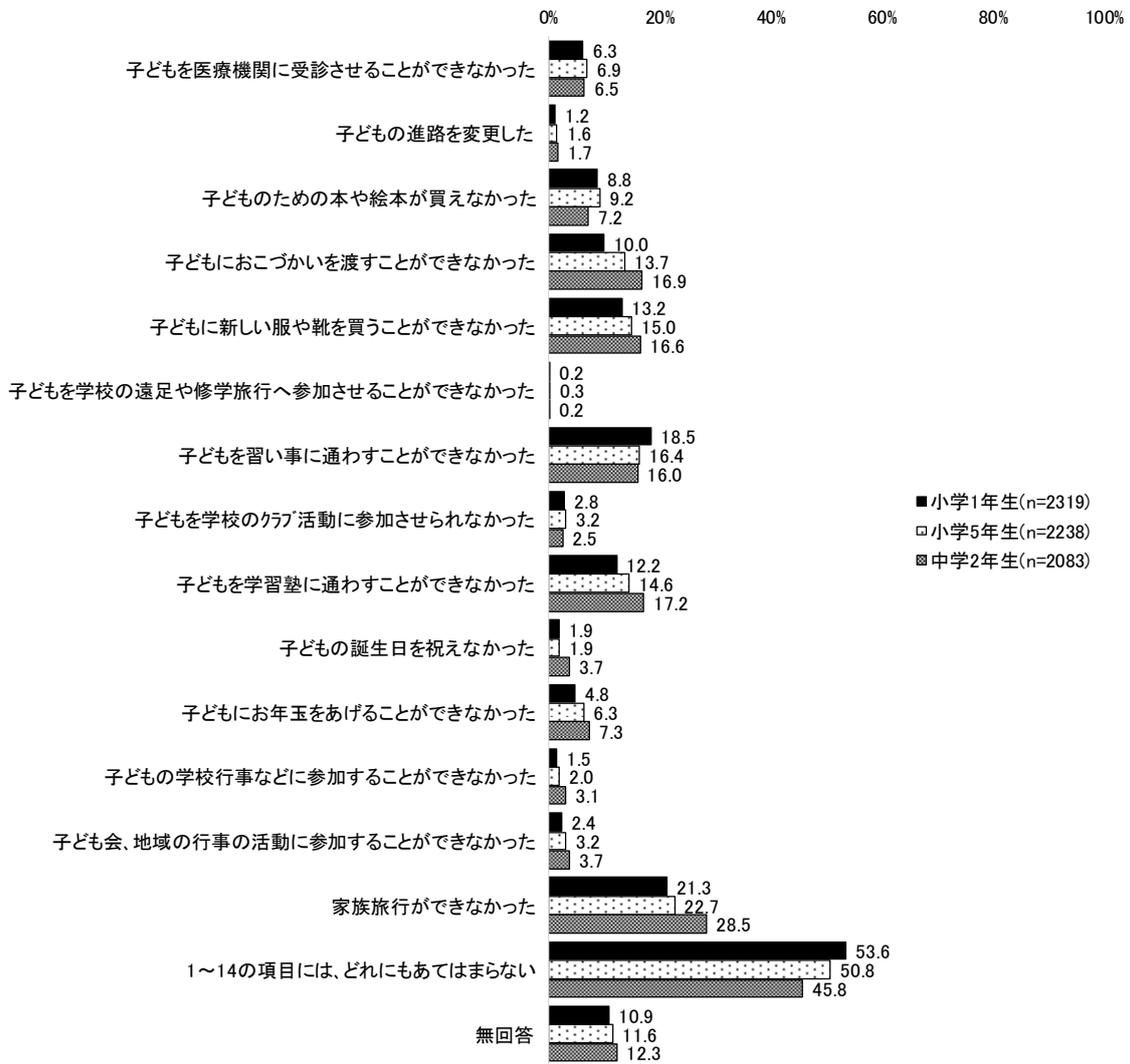


図 302 【保護者】 沖縄県調査:経済的な理由で子どもにしてあげられなかったこと:1年間



2.子ども

【子ども】学年

回答した子どもの学年をみると、いずれの調査においても「小学5年生」「中学2年生」がそれぞれ約5割となっている。

図 303 【子ども】大阪府調査:学年

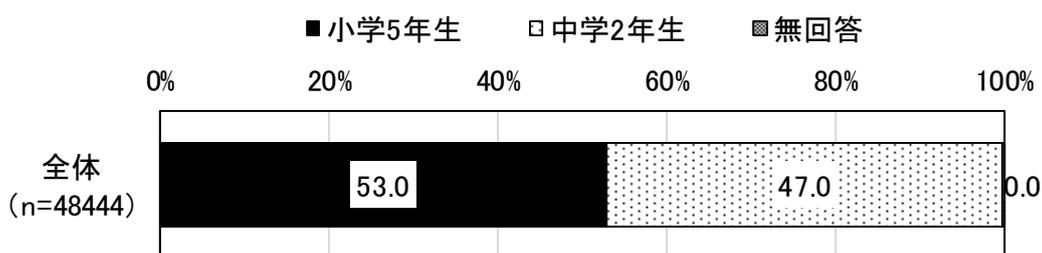
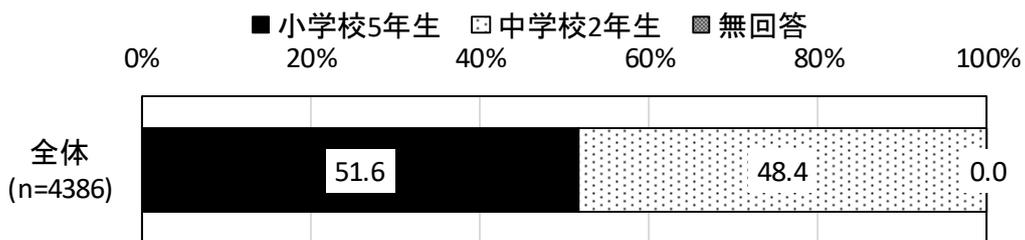


図 304 【子ども】沖縄県調査:学年



【子ども】自己効力感

自己効力感をみると、「自分に自信がある」「自分の考えをはっきりと相手に伝えることができる」について、いずれの学年も沖縄県調査よりも大阪府調査で高い割合となっている。特に、小学5年生での差が大きく、「自分に自信がある」については10.9ポイント、「自分の考えをはっきり相手に伝えることができる」については12.2ポイントの差がみられる。

図 305 【子ども】大阪府調査:自己効力感(「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合)

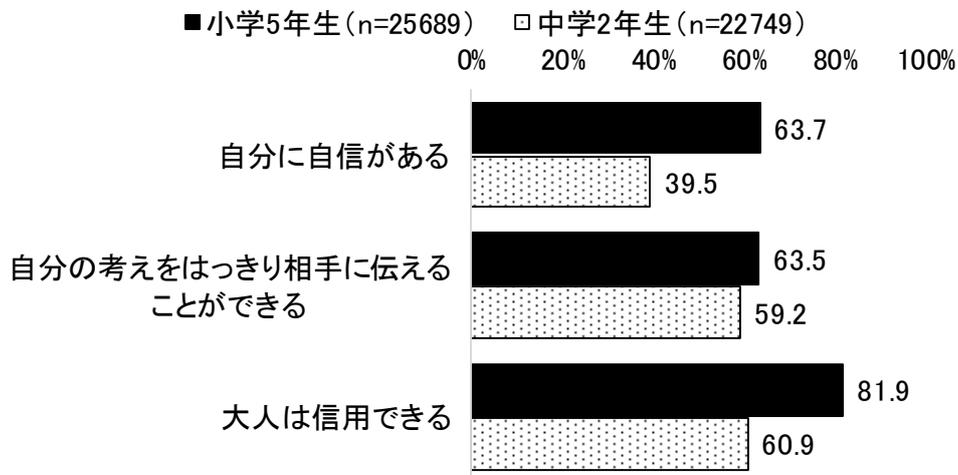
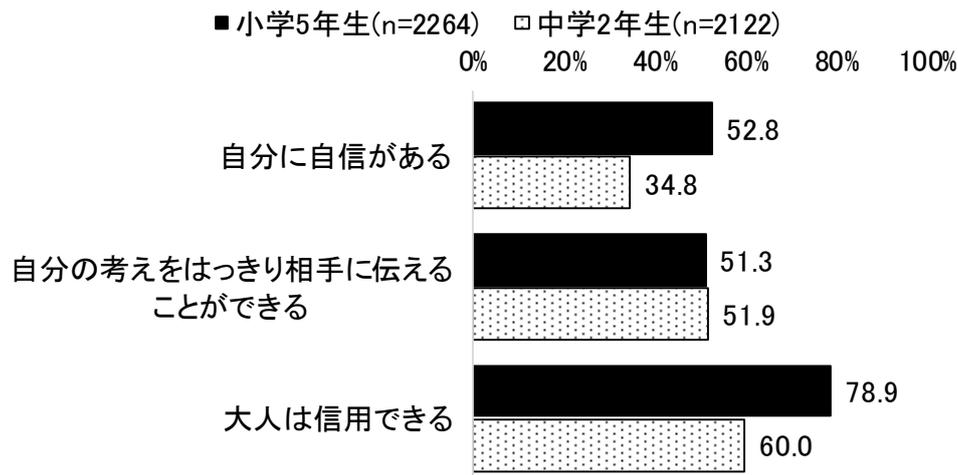


図 306 【子ども】沖縄県調査:自己効力感(「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合)



【子ども】学校の勉強の理解度

学校の勉強の理解度をみると、いずれの調査も学年が上がるにつれて「よくわかる」の割合が減少する傾向がみられる。また、小学5年生では「よくわかる」の割合が大阪府調査では32.8%であるのに対し、沖縄県調査では23.8%と9.0ポイントの差がみられる。

図 307 【子ども】大阪府調査:学校の勉強の理解度

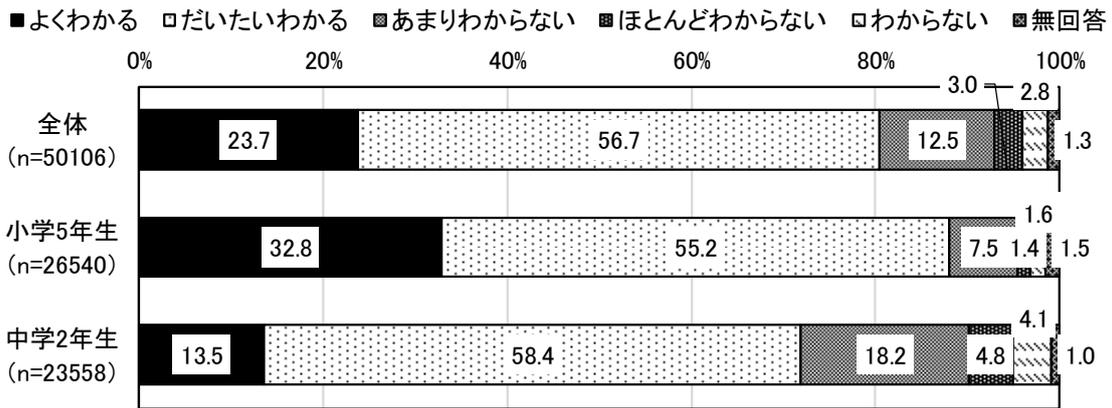
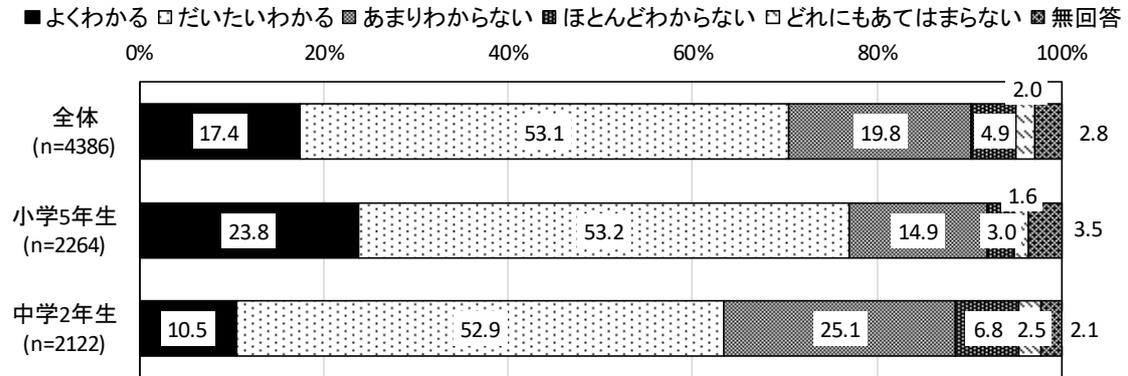


図 308 【子ども】沖縄県調査:学校の勉強の理解度



【子ども】学校の授業以外での1日の勉強時間

学校の授業以外での1日の勉強時間をみると、小学5年生では沖縄県調査の方が「まったくしない」「30分より少ない」の割合が低く、「30分以上、1時間より少ない」「1時間以上、2時間より少ない」「2時間以上、3時間より少ない」の割合が高い。中学2年生では沖縄県調査の方が「まったくしない」の割合が低く、「30分以上、1時間より少ない」の割合が高い。

図 309 【子ども】大阪府調査:学校の授業以外での1日の勉強時間

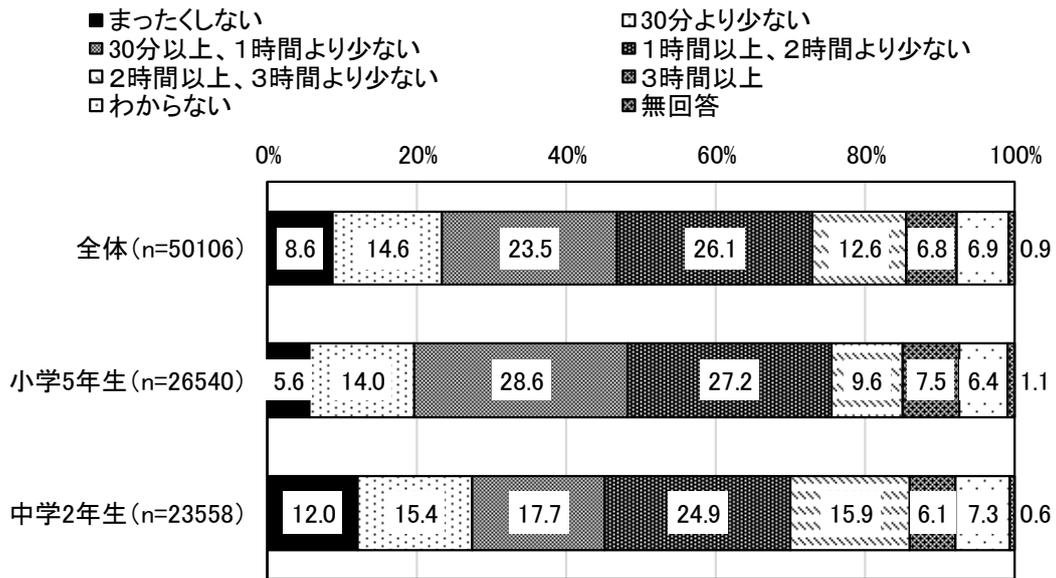
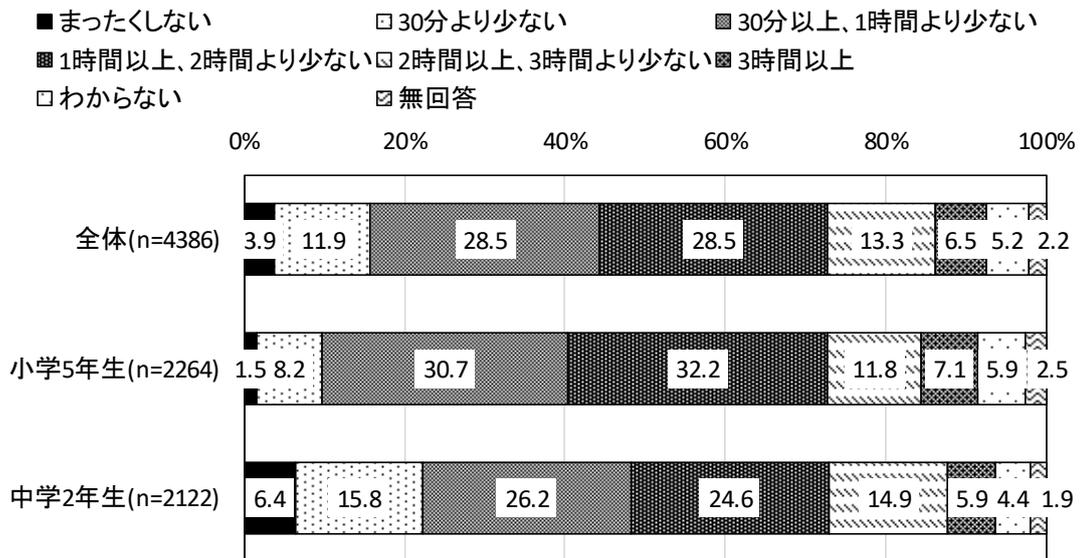


図 310 【子ども】沖縄県調査:学校の授業以外での1日の勉強時間



【子ども】理想的な学歴

理想的な学歴をみると、いずれの調査も「短期大学・大学・大学院」が約4割を占めているなど、回答割合に大きな差はみられないが、「考えたことがない」とする割合は、いずれの学年も大阪府調査より沖縄県調査で低くなっている（小学5年生で2.4ポイント差、中学2年生で3.5ポイント差）

図 311 【子ども】大阪府調査:理想的な学歴

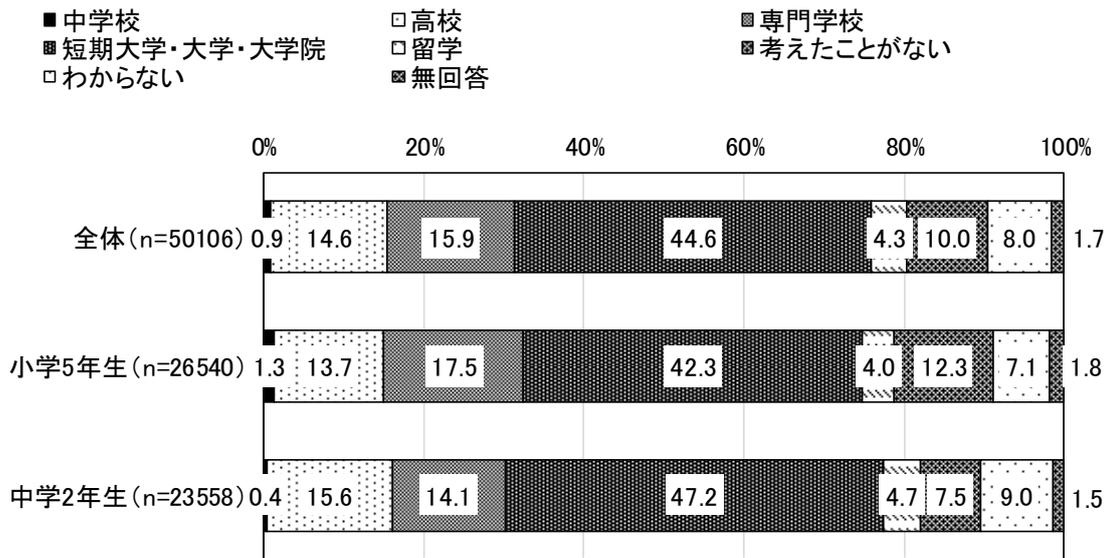
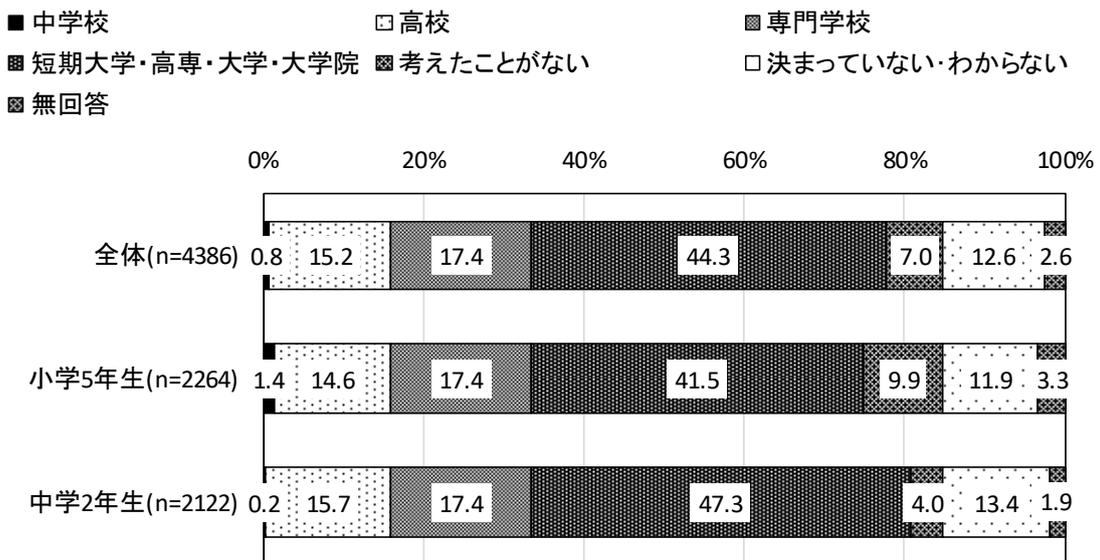


図 312 【子ども】沖縄県調査:理想的な学歴



※実際の調査票では、「短大・高専」、「大学」、「大学院」はそれぞれ別選択肢となっている。
 ※沖縄県調査では「留学」という選択肢はない。

3.他地域との比較のまとめ

①保護者

- ・世帯所得をみると、大阪府調査ではいずれの学年も「500~600 万円未満」の割合がもっとも高いのに対し、沖縄県調査では、「300~400 万円未満」の割合がもっとも高くなっている。また、いずれの学年も 500 万円以上の割合が大阪府調査の方で高い一方、500 万円未満の割合は沖縄県調査の方が高くなっていることから、大阪府に比べて、沖縄県では経済状況が厳しい世帯が多いことがうかがえる。(P254, 255)
- ・就学援助制度の利用率は大阪府調査よりも沖縄県調査で高くなっている。しかし、生活保護となると低くなる。このことから、沖縄県においては、扶養義務者の物心両面の援助により就学年齢にある子の保護者が生活保護の申請に至らない場合があることや、車両を手放したくないことから保護の申請に至らないことが推察される。(P256)
- ・サポートしてくれる人材を持っている人の割合は大阪府調査よりも沖縄県調査において高いが、「趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人」を持っている人の割合は大阪府調査より低くなる。(P257)
- ・半年間のうちに経済的な理由で経験したことをみると、多くの項目で大阪府調査よりも沖縄県調査で該当するという割合が高い。特に、割合の差の大きかった項目をみると、はく奪度合い得点の高いとみられる項目（堺市/受託大阪府立大学・大阪市立大学 2015 年）¹である「医療機関を受診できなかった」が「小学 5 年生」で大阪府調査の 3 倍以上、「中学 2 年生」で 2.5 倍以上の高い割合であり、同じく「電気・ガス・水道などが止められた」「家賃や住宅ローンの支払いが滞ったことがある」が大阪府調査の倍近く高い割合となるなど、非常に厳しい状況であるといえる。さらに「生活の見通しがたたくて不安になった」とする割合は、大阪府調査では小学 5 年生で 18.1%、中学 2 年生で 20.4%だが、沖縄県調査では小学 5 年生で 24.4%、中学 2 年生で 27.2%と 6.0~7.0 ポイントの差がみられ、沖縄県ほど生活に不安を抱える世帯が多いことがうかがえる。(P258,259)
- ・1 年間のうちに経済的な理由で子どもにしてあげられなかったことについても同様に、大阪府調査よりも沖縄県調査において多くの項目で該当するという割合が高い。特に割合の差が大きかったところでは「子どもに医療機関を受診させることができなかった」が「小学 5 年生」で大阪府調査の 5 倍以上、「中学 2 年生」で 3 倍以上の高い割合であり、「子どものための絵本が買えなかった」が大阪府調査の倍近い割合となっている。前者は生命の危機にまで影響する深刻な問題であり、後者は、学力に大きな影響を与えるとされている家庭での読書が十分でないという、幼少期から潜在的に子どもの学力に影響を及ぼす課題である。「習い事に通わすことができなかった」については、大阪府調査では小

¹堺市（受託機関：大阪府立大学・大阪市立大学）が実施した「堺市 新たな生活困窮者自立支援制度のあり方等調査研究」は、「生活困窮者自立支援法」が 2015 年度から施行され、生活困窮者に対する支援を展開していくにあたり、経済的あるいは社会的な生活困窮者についての実態把握を行い、分析を行ったものである。（「堺市 新たな生活困窮者自立支援制度のあり方等調査研究 報告書」2015 年 3 月 大阪府立大学・大阪市立大学）

学 5 年生で 11.3%、中学 2 年生で 11.6%だが、沖縄県調査では小学 5 年生で 16.4%、中学 2 年生で 16.0%と 4.0～5.0 ポイントの差がみられる。「学習塾に通わすことができなかった」についても、大阪府調査では小学 5 年生で 10.7%、中学 2 年生で 12.3%だが、沖縄県調査では小学 5 年生で 14.6%、中学 2 年生で 17.2%と 4.0～5.0 ポイントの差がみられる。ポイント差の大きさでいうと再掲になるが、「医療機関に受診させることができなかった」という割合も、沖縄県調査で約 5.0 ポイント高い。家庭の経済状況の厳しさが子どもの経験のはく奪につながっていると考えられる。(P260,261)

②子ども

- ・自己効力感をみると、「自分に自信がある」「自分の考えをはっきりと相手に伝えることができる」について、いずれの学年も沖縄県調査よりも大阪府調査で高い割合となっており、沖縄県の子どもは大阪府の子どもと比べて自己効力感が低いことが示唆される。(P263)
- ・小学 5 年生において、学校の勉強が「よくわかる」とする割合が、大阪府調査では 32.8%であるのに対し、沖縄県調査では 23.8%と 9.0 ポイントの差がみられる。(P264)
- ・一方、学校の授業以外の 1 日の学習時間について、「まったくしない」「30 分未満」をあわせた割合は、沖縄県調査よりも大阪府調査で高く、小学 5 年生で 9.9 ポイント、中学 2 年生で 5.2 ポイントの差がある。(P265)
- ・さらに理想的な学歴をみると、「考えたことがない」とする割合は大阪府調査よりも沖縄県調査で低く、沖縄県の子どもたちは大阪府の子どもたちよりも進路を考えている。(P266)

<考察>

大阪府調査と比較すると、沖縄県調査の対象者は世帯所得が低く、経済的な理由から生活面で重大なリスクを抱える割合が大阪府調査よりも数倍高く、生活への不安を抱えている世帯が多い。「医療機関を受診できなかった」「電気・ガス・水道などが止められた」「家賃や住宅ローンの支払いが滞ったことがある」というはく奪状況を抱えて生活するということは、子どもに直接影響する。経済的な理由によって子どもにしてあげられなかった経験は、医療機関に受診させられなかったなど子どもの健康に直接関わるようなリスクにつながる。また習い事や学習塾といった勉強に関することについても差がみられた。こうした状況で暮らす中に子どもが生活していることが重要な課題である。

少しでも格差を縮めるために、保護を必要とする住民が確実に保護を受けることができるよう、住民税や国民健康保険の窓口、電気・水道事業者や公営住宅の管理者等において生活困窮者を把握した場合には、生活困窮者自立相談事業等の利用を勧奨するなど、必要に応じて生活保護担当部局に繋ぐ体制の整備を図ることが重要である。また、はく奪状況を考えると、家庭で用意できないものを社会的責任で用意する必要がある。例えば、子どもの医療費を沖縄県と大阪府を比べてみると、沖縄県では、未就学児は負担金なしで現物

給付（一部自治体で小学生以上も実施）が特徴的であり、大阪府では、1日あたり1医療機関500円負担で年齢を18歳（実際は中学生までの自治体が多い）まで拡充していることが特徴的である。いずれも平成30年度からの実施であるため、その効果は様子を見る必要がある。

また、地域によって必要となる生活費の水準は異なるため、世帯所得だけを比較して沖縄県の方が厳しい状況にあるということは言い切れないが、サポートをしてくれる人の割合は他地域よりも高いにもかかわらず、生活への不安を抱えている世帯が多かったり、子どもの経験に差が出ていたりという状況をふまえると、経済的に困窮し、つながりがカバーできない課題を抱えている世帯の割合も沖縄の方が高いということが推測される。また、サポートしてくれる人材に関しては、ほかの項目はすべて他地域よりも高いにもかかわらず、「趣味や興味に寄り添ってくれる人」が差自体は大きくないが、沖縄県の方が低かった。子どもたちにも子どもを育てる親にとっても、趣味や興味の幅が広がるような資源の豊富さ、バリエーションの豊富さが求められる。例えば、離島等から進学のため親元を離れた高校生を高齢者の一人暮らし住宅に受け入れ実施している取り組み例や、年少から小学生まですべての子どもに幼稚園や保育所、子ども園を通じて、絵本の貸し出しを実施する取り組みが学力の向上に成果を上げている例がある。また文化の違う都会の大学生を島に呼び込み、大学生が何らかの企画を立て実行することで、島内の高校を中心に島民が活性化し、廃校が予定されていた高校に複数クラスが実現できた例、保育園廃園まで言われていたところに、待機児童まで出るほどに子育て世代が転入してくるという流れをつくった例もある。こういった思い切った、資源を豊富にするための方策が必要である。

また、子どもの自己効力感や学習理解度についても、大阪府よりも沖縄県において低い傾向がみられたが、一方で学習時間が短時間である子どもの割合は沖縄県のほうが低い。このことより、沖縄県の子どもたちは、学習習慣は身につけているものの、経済状況をはじめとする様々な要因から、学習理解について差が生じていると推測される。こうした学習習慣という強みを生かしながら、それが成果に結びついていない現状から目先のことだけでなく、幼少期から積み重ねを作れる踏み込んだ施策が必要である。先述した絵本をすべての子どもに貸し出し循環させることや、学校の廊下を図書室のようにしていつでもどこでも本を読める空間にするなど、すべての子どもに提供する施策が重要である。習慣が活かされていくように、子どもたちのモチベーションがあがるような日常を作ることが必要とされている。

第5章 居場所調査との比較

以下では、平成30年度沖縄子供の貧困緊急対策事業アンケート調査の居場所に関する調査(以下、居場所調査)の結果を比較した分析を行う。居場所調査は、子どもの居場所を利用した子どもとその保護者に対して実施したものであり、本調査の居場所を利用していない子どもと居場所調査の結果を比較し、県内の一般的な子どもと、居場所を利用した子どもにおいてどのような差がみられるかを分析することにより、居場所を利用している子どもの特徴及び居場所の効果を把握することが可能となる。

なお、小中学生調査は学校を通じて各世帯に調査票を配付しているのに対し、居場所調査は居場所や支援員を利用した者に対して、直接調査票が配付されているため、確実に居場所・支援員の利用者の声を拾うことができている。

本調査を設計するにあたり、居場所調査との比較を前提として同様の設問項目をいくつか盛り込んでいるため、比較はそれらの項目を中心に行うが、選択肢が完全に同一とはなっていないものもあるため、結果を見る際には注意が必要である。

比較にあたって、本調査のサンプルについては保護者と子どものマッチングが可能なサンプルのうち、「居場所を利用したことがない」と回答した3891件を抽出した。これは、居場所の利用有無による差異をより明確に検討するためである。

なお、集計の都合上、複数回答の設問以外は無回答を除外して集計している。

1.保護者

【保護者】回答者の続柄

回答者の続柄をみると、居場所調査では小中学生調査に比べて「お母さん」の割合が 4.2 ポイント低く、「おばあさん・おじいさん」の割合が 4.8 ポイント高くなっている。

図 313 【保護者】居場所調査:回答者の続柄

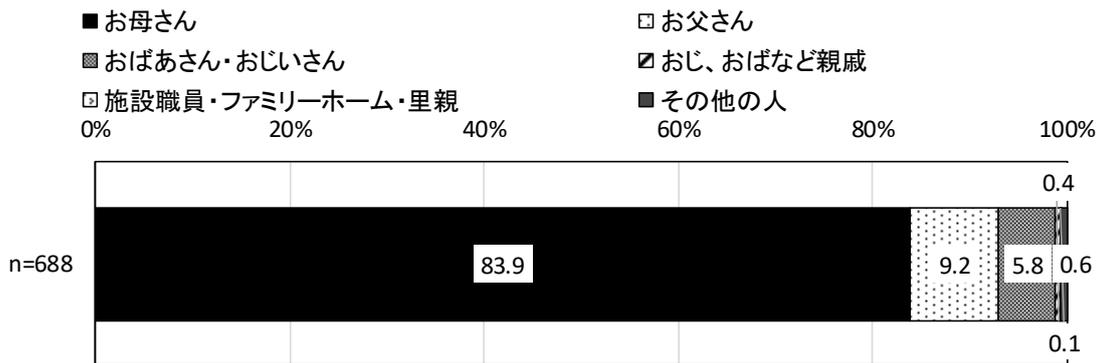
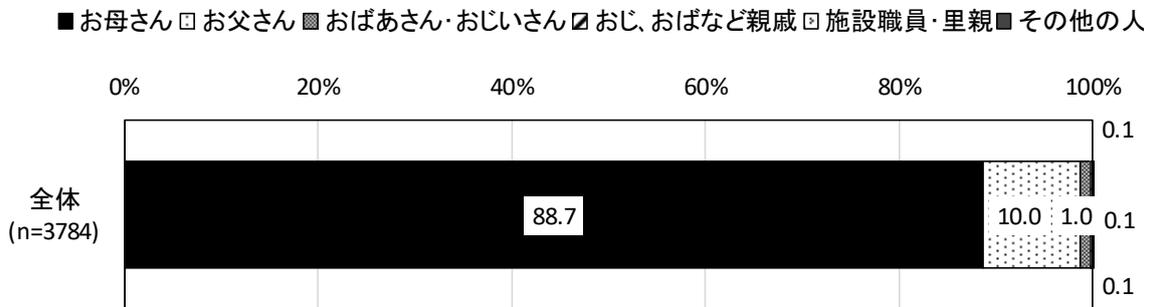


図 314 【保護者】小中学生調査:回答者の続柄 (居場所を利用したことがない者のみ)



【保護者】世帯構成

世帯構成をみると、小中学生調査では「二親世帯」が79.9%を占めているが、居場所調査では「両親ともにいる」は48.6%であり、31.3ポイントの差がある。また、母子世帯の割合は居場所調査で44.2%、子ども調査で16.1%であり、28.1ポイントの差がみられる。

図 315 【保護者】居場所調査:世帯構成

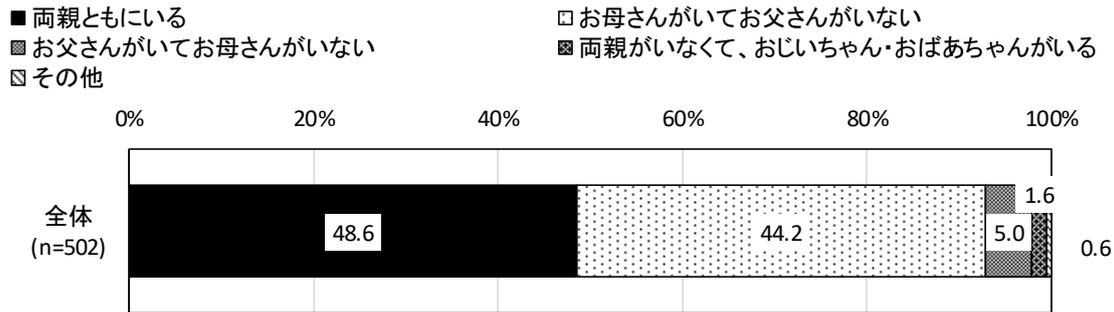
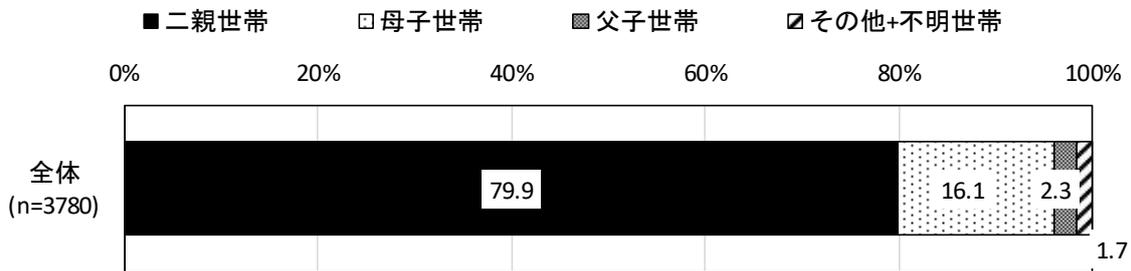


図 316 【保護者】小中学生調査:世帯構成 (居場所を利用したことがない者のみ)



【保護者】世帯所得

世帯収入をみると、子ども調査では「300~400万円未満」の割合が16.3%でもっとも高いのに対し、居場所調査では「150~200万円未満」の割合が17.6%ともっとも高くなっており、居場所調査では世帯収入が低い世帯が多い傾向にあることがうかがえる。

図 317 【保護者】居場所調査:世帯所得

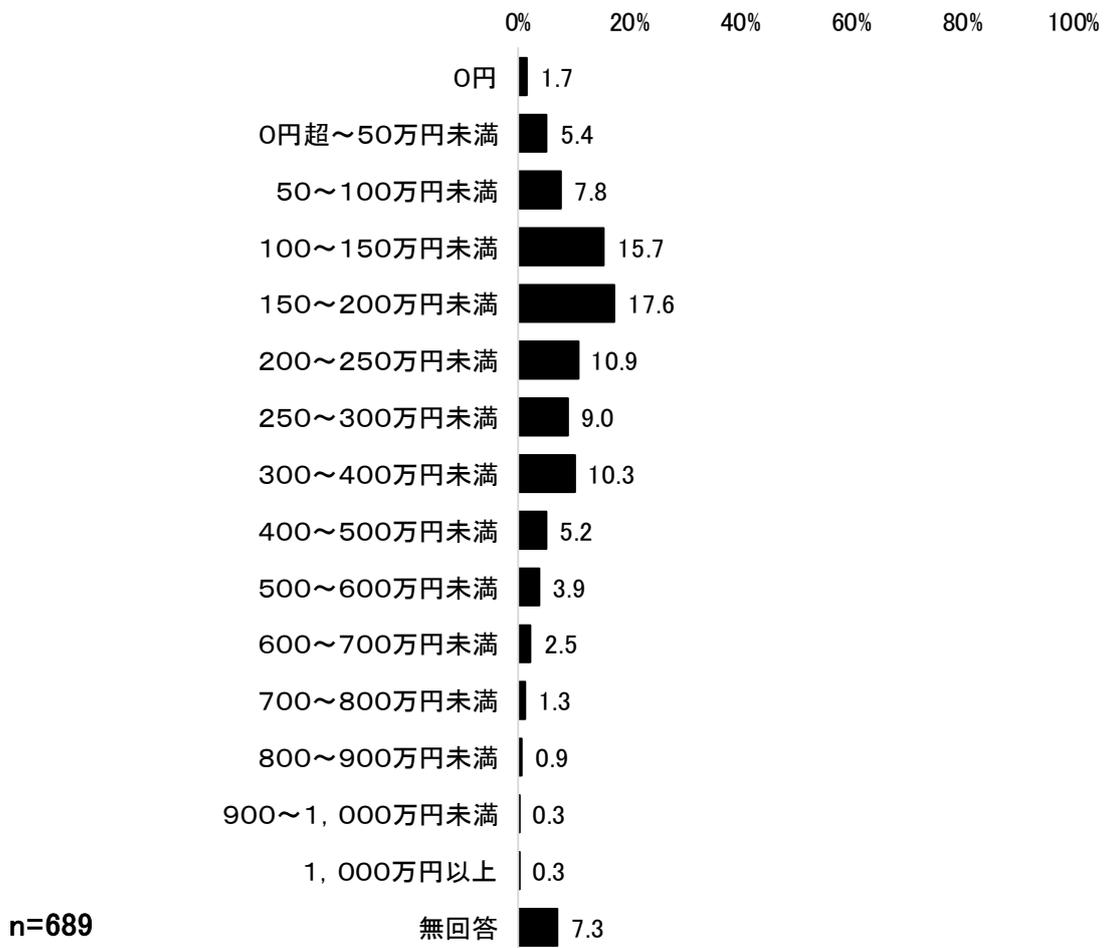
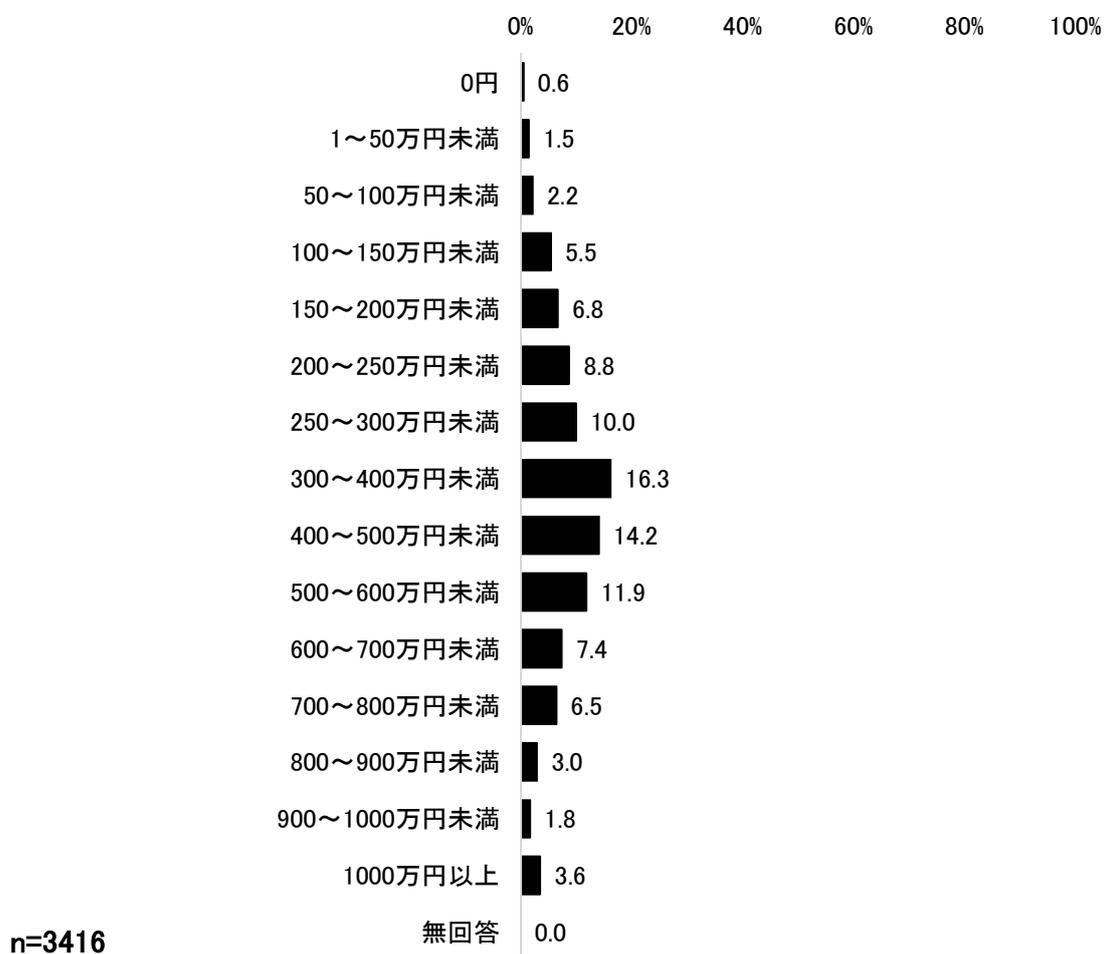


図 318 【保護者】小中学生調査:世帯所得（居場所を利用したことがない者のみ）



【保護者】等価可処分所得

等価可処分所得について、122万円未満を困窮層、122万円以上を非困窮層として分布をみると、小中学生調査では「困窮層」の割合が26.0%であるのに対し、居場所調査では61.7%と倍以上の割合となっている。

図 319 【保護者】居場所調査:等価可処分所得

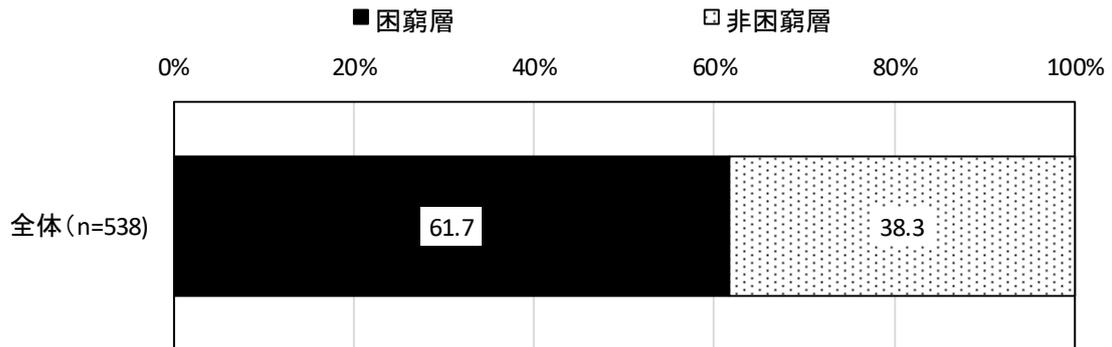
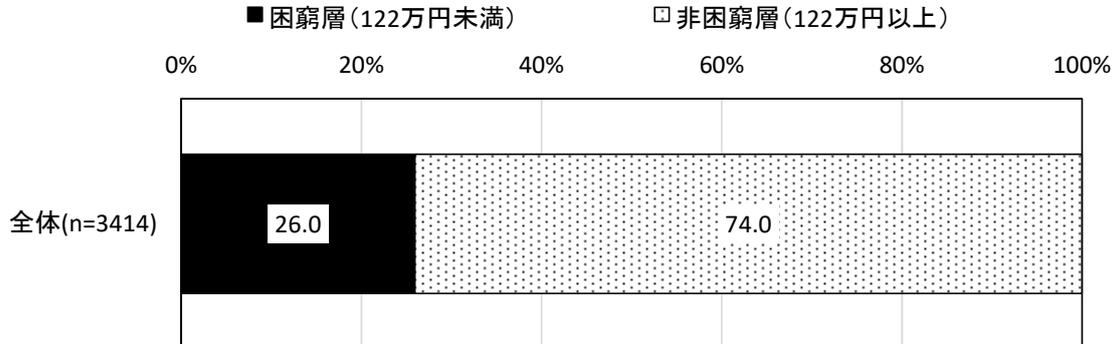


図 320 【保護者】子ども調査:等価可処分所得 (居場所を利用したことがない者のみ)



2.子ども

【子ども】学年

子どもの学年を比較すると、居場所調査では「小学校(低学年)」「小学校(中学年)」が占める割合が約5割であるのに対し、小中学生調査では「小学校5年生」と「中学校2年生」がそれぞれ約5割となっている。

図 321 【子ども】居場所調査:学年

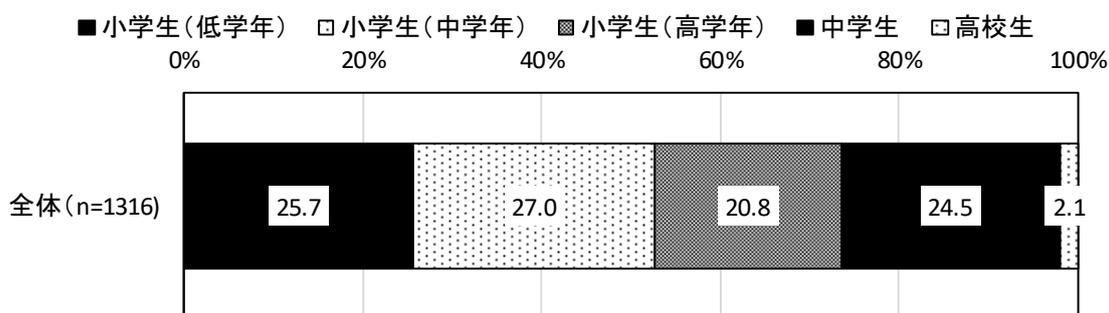
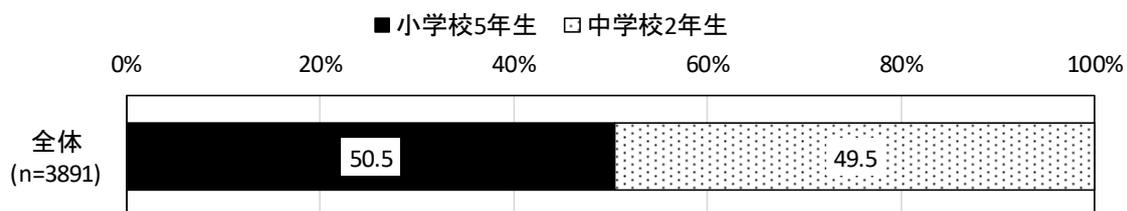


図 322 【子ども】小中学生調査:学年 (居場所を利用したことがない者のみ)



【子ども】自己効力感

自己効力感をみると、いずれの学年も「自分に自信がある」「自分の考えをはっきり相手に伝えることができる」については居場所調査の方が高いが、「大人は信用できる」については、小学生（高学年）・小学5年生において小中学生調査の方が高い。

図 323 【子ども】居場所調査:自己効力感
 (「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」の割合)

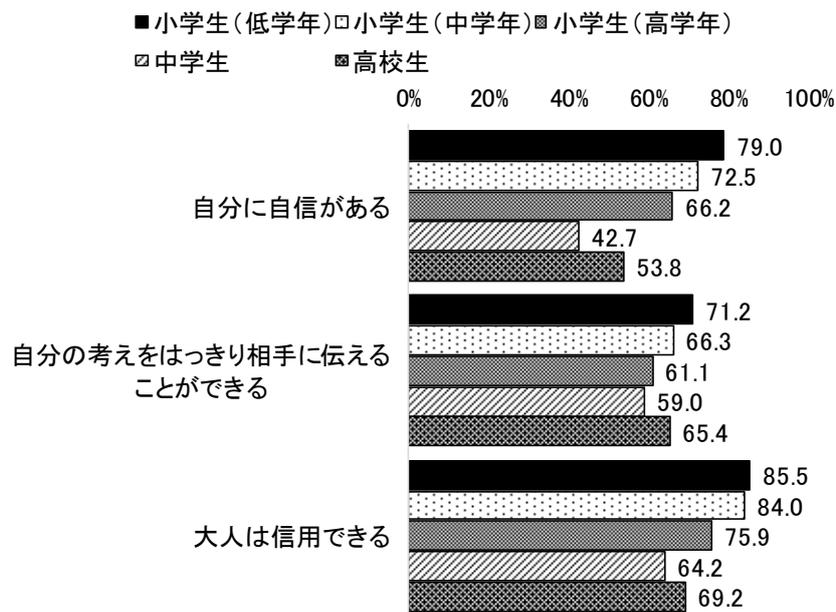
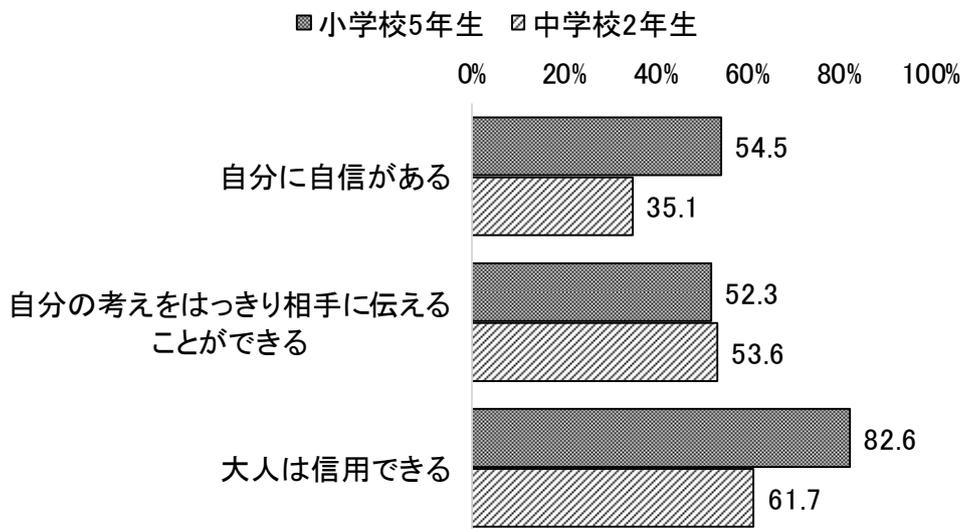


図 324 【子ども】小中学生調査:自己効力感(「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」の割合) (居場所を利用したことがない者のみ)



<困窮度別>

困窮度別にみると、いずれの項目も経済状況によらず居場所調査ほど高くなっている。困窮層に着目すると、特に「自分に自信がある」において居場所調査のほうが20.6ポイント高くなっている。

なお、以降困窮度別の集計においては、学年を限定すると居場所調査のサンプル数が極端に小さくなってしまふことから、学年をわけずに集計しているため、留意が必要である。

図 325 【子ども】居場所調査:自己効力感
 (「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」の割合)

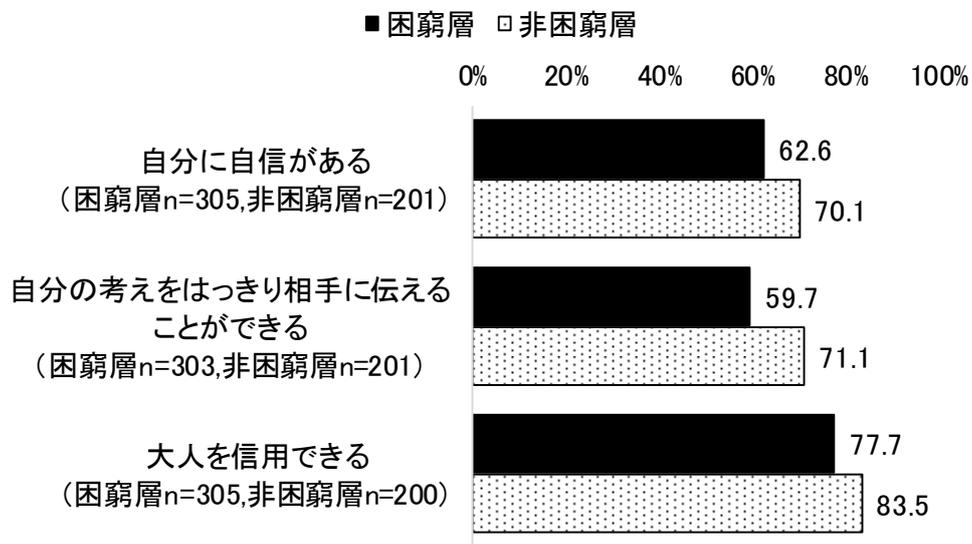
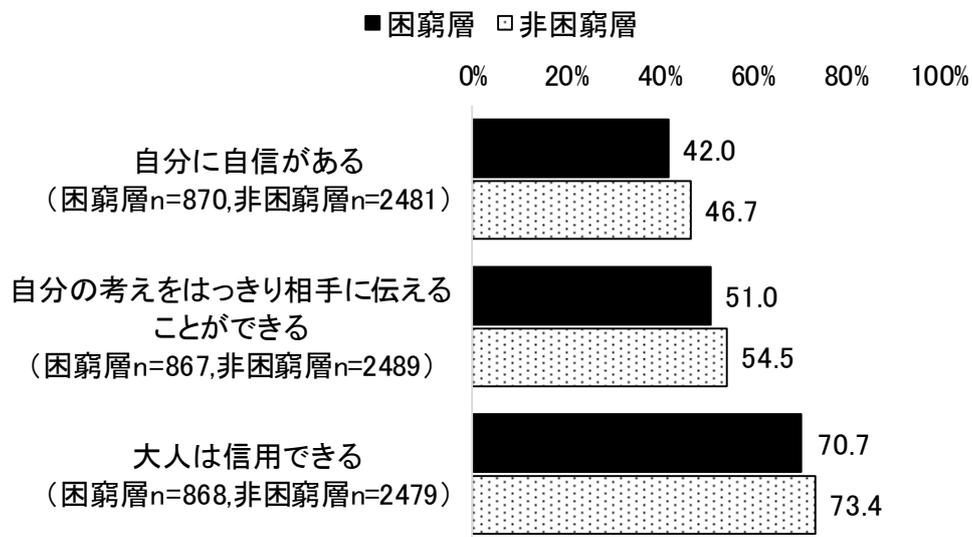


図 326 【子ども】小中学生調査:自己効力感(「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」の割合) (居場所を利用したことがない者のみ)



【子ども】学校の勉強の理解度

小中学生調査と居場所調査を比較すると、いずれの学年においても居場所調査のほうが「よくわかる」と回答した割合が高くなっている。また、「よくわかる」および「だいたいわかる」という回答は、程度の差はあれ勉強に対するポジティブな気持ちを表していると考えられる。「よくわかる」および「だいたいわかる」という回答を合計すると、小中学生調査と居場所調査では大きな差は見られない。

図 327 【子ども】居場所調査:学校の勉強の理解度

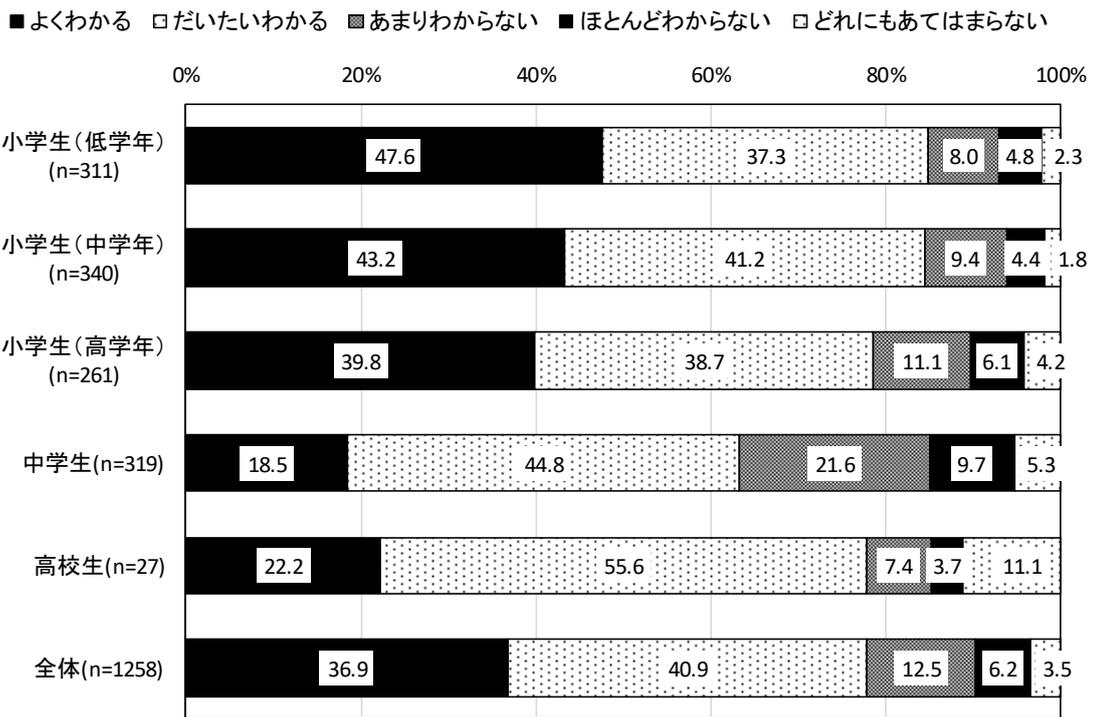
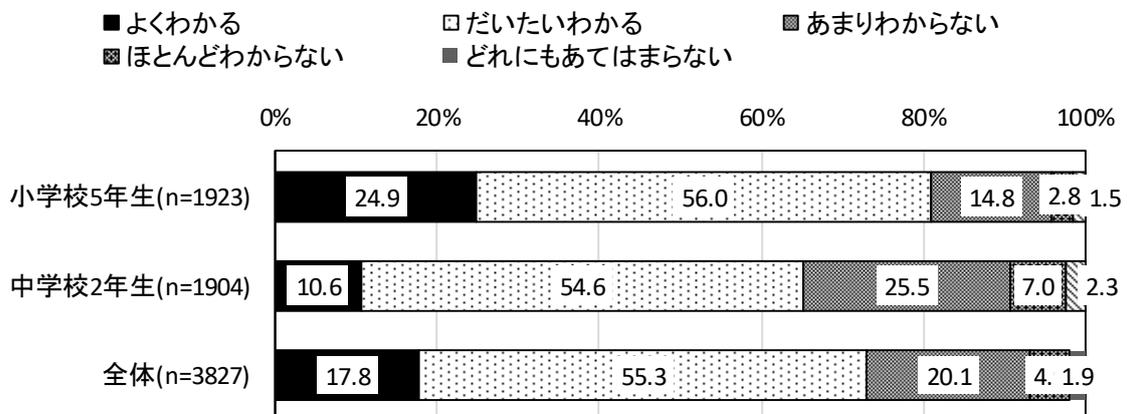


図 328 【子ども】小中学生調査:学校の勉強の理解度
(居場所を利用したことがない者のみ)



<困窮度別>

困窮度別にみると、「よくわかる」「だいたいわかる」をあわせた割合は、居場所調査の困窮層で72.8%、小中学生調査の困窮層で65.4%となっており、居場所調査の方で理解度が高い傾向がみられる。ただし、居場所調査では小学校低・中学年が占める割合が高いため、一概に比較ができない点に注意が必要である。

図 329 【子ども】居場所調査:学校の勉強の理解度

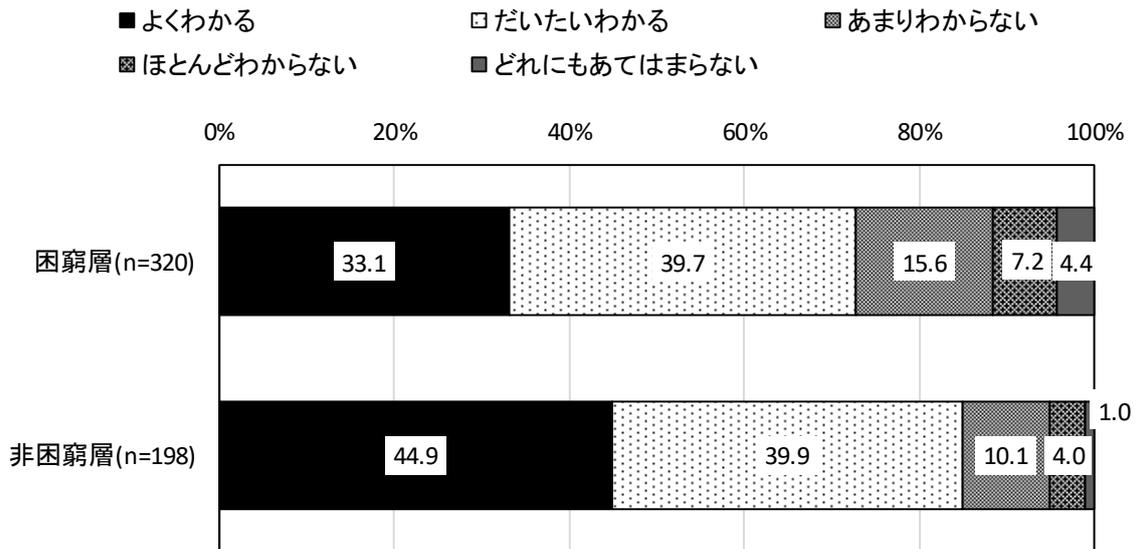
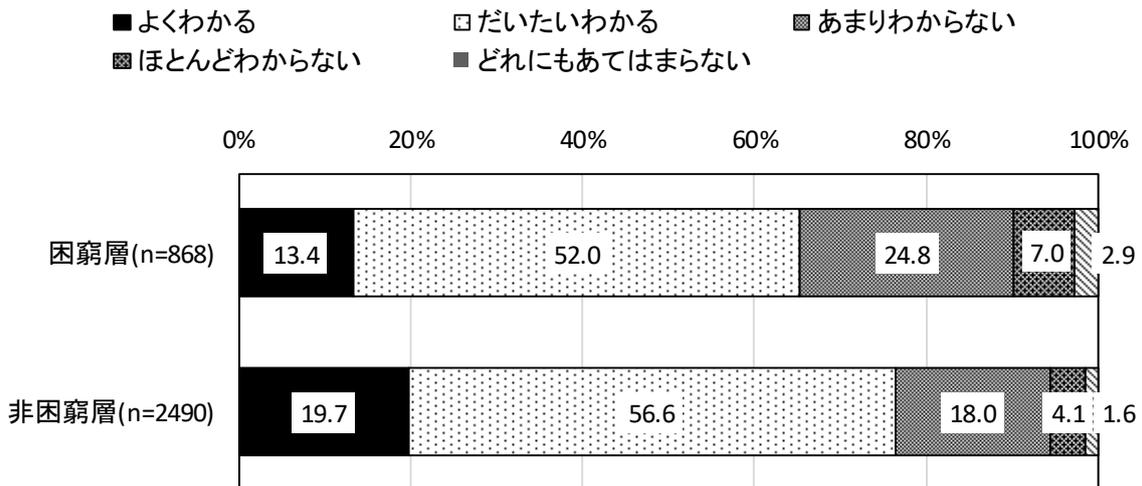


図 330 【子ども】小中学生調査:学校の勉強の理解度
(居場所を利用したことがない者のみ)



【子ども】学校の授業以外での1日の勉強時間

小中学生調査と居場所調査を比較すると、小学生と中学生とで傾向が異なっている。「1時間以上、2時間より少ない」～「3時間以上」の回答を合計した割合は、小学生（高学年）・小学5年生では居場所調査で47.3%、小中学生調査52.7%であり、小中学生調査の方が高い。一方、中学生・中学2年生では居場所調査で50.8%、小中学生調査で46.2%であり、居場所調査の方が高くなっている。

図 331 【子ども】居場所調査:学校の授業以外での1日の勉強時間

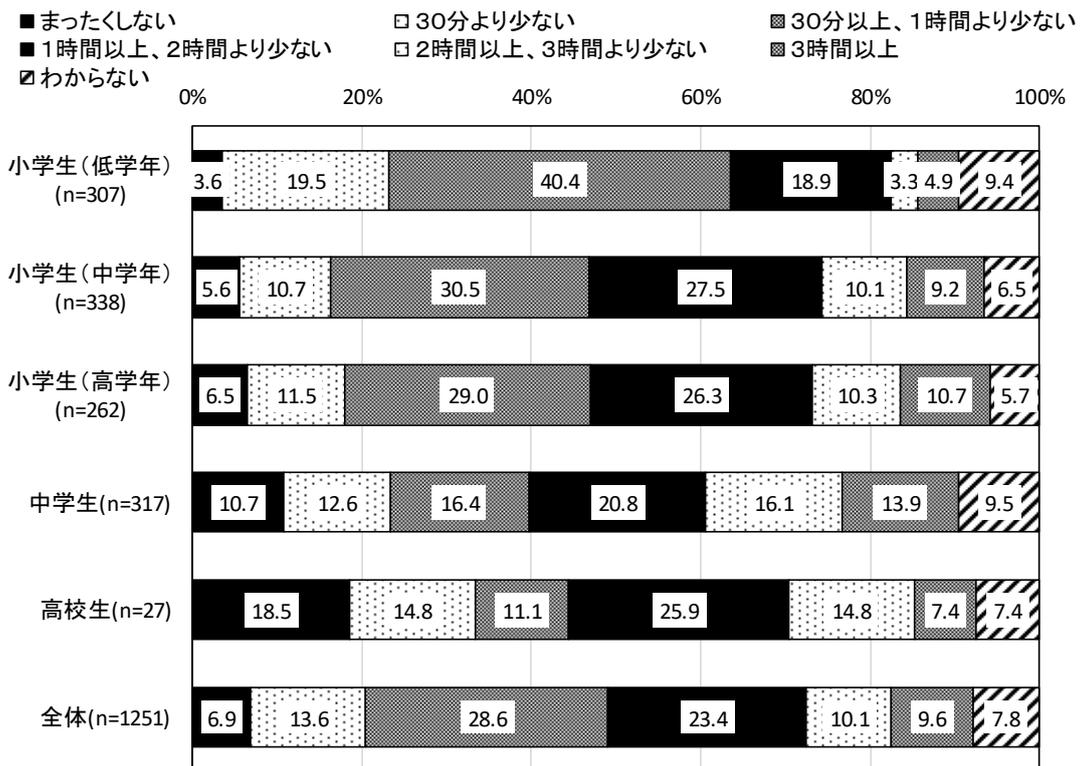
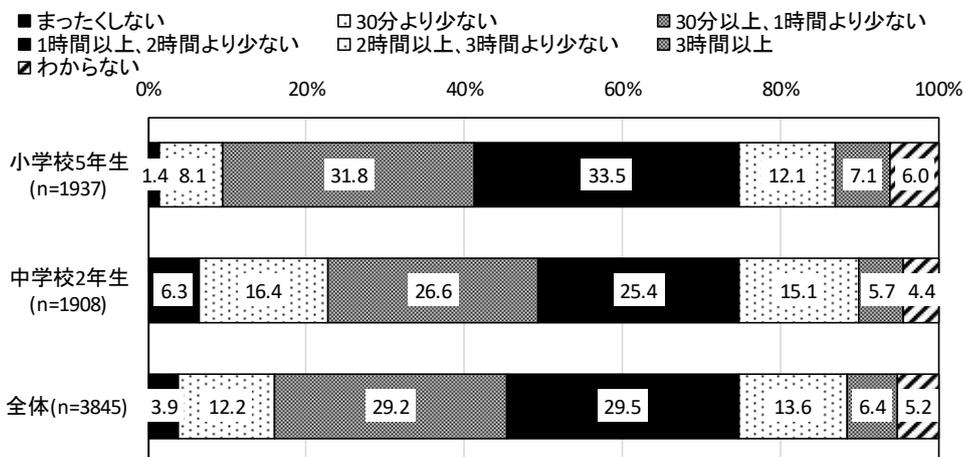


図 332 【子ども】小中学生調査:学校の授業以外での1日の勉強時間（居場所を利用したことがない者のみ）



<困窮度別>

困窮度別にみると、困窮層においては大きな差はみられないが、非困窮層においては、小中学生調査で「1時間以上、2時間より少ない」とする割合が高くなっている。

図 333 【子ども】居場所調査:学校の授業以外での1日の勉強時間

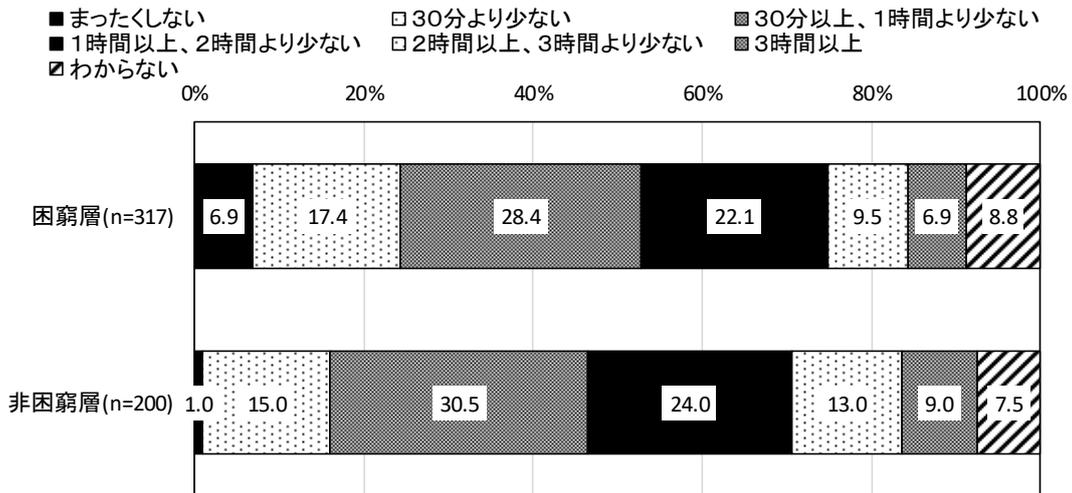
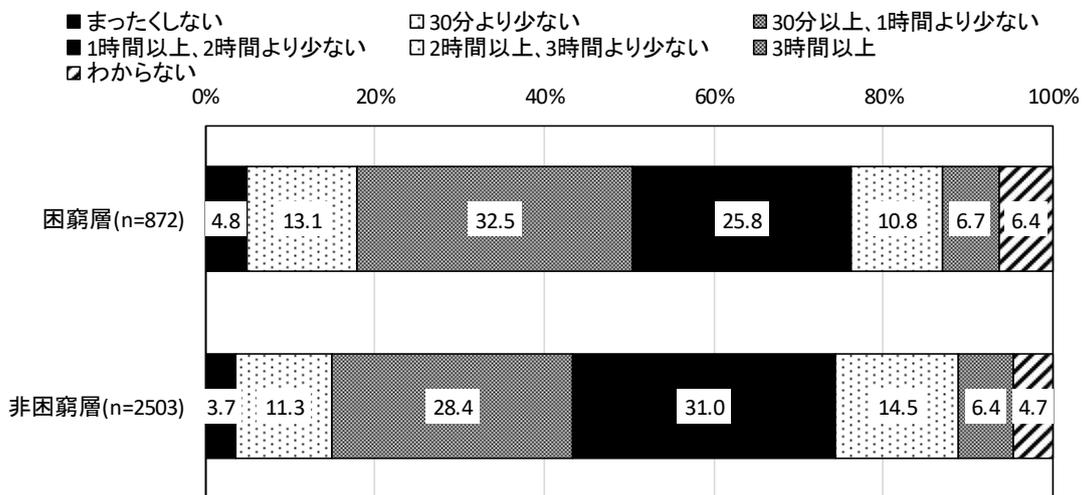


図 334 【子ども】小中学生調査:学校の授業以外での1日の勉強時間 (居場所を利用したことがない者のみ)



【子ども】理想的な学歴

小中学生調査と居場所調査を比較すると、いずれの学年も小中学生調査において「大学・大学院まで」の割合が高い。特に中学生・中学2年生において、「大学・大学院まで」とする回答は小中学生調査で45.0%であるのに対し、居場所調査では26.0%と大きな差がみられる。

図 335 【子ども】居場所調査:理想的な学歴

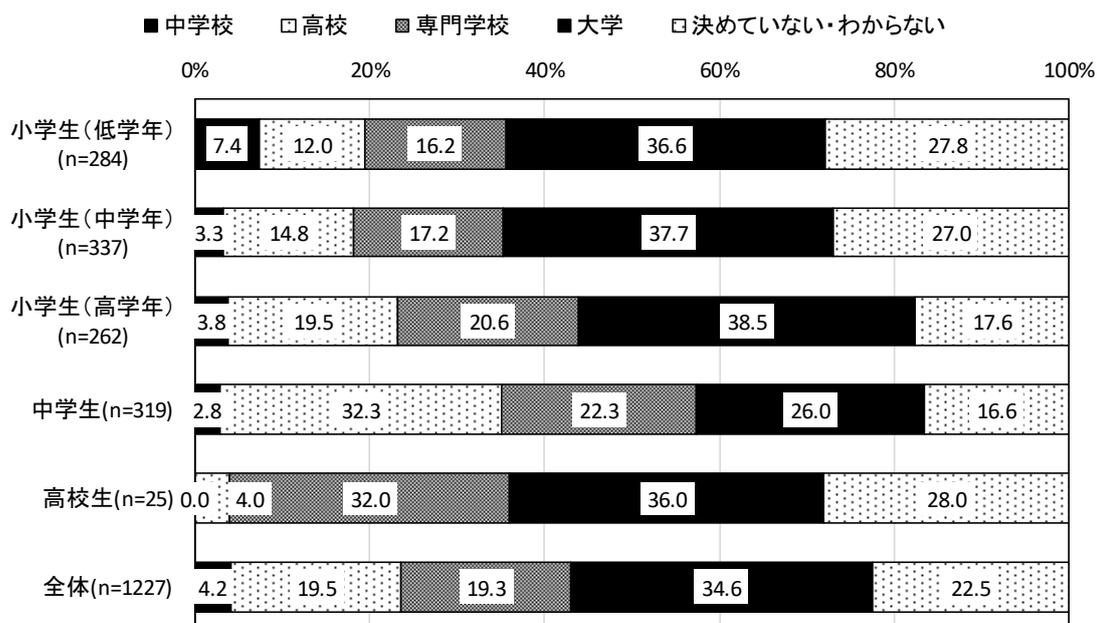
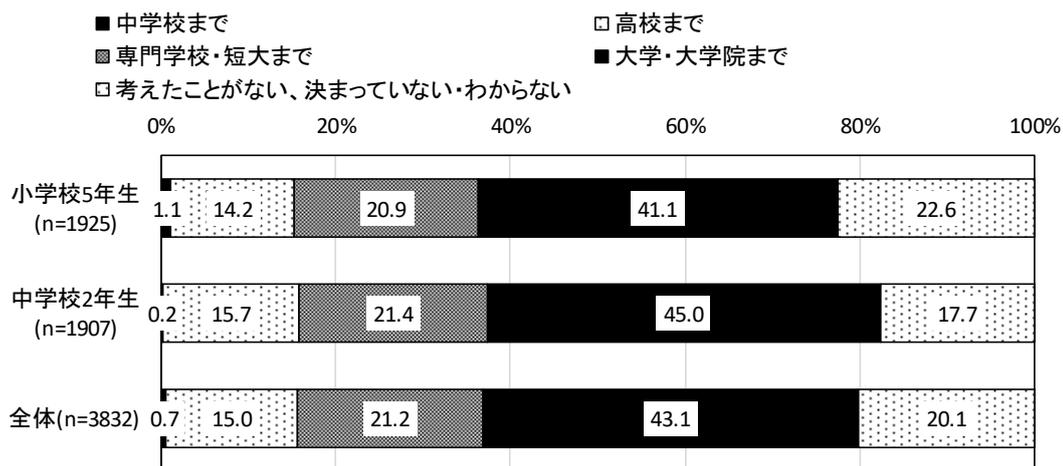


図 336 【子ども】小中学生調査:理想的な学歴 (居場所を利用したことがない者のみ)



※実際の調査票では、「専門学校」と「短大」、「大学」と「大学院」、「考えたことがない」と「決めていない・わからない」はそれぞれ別選択肢となっている。

<困窮度別>

困窮度別にみると、困窮層・非困窮層とも小中学生調査において「大学」とする割合が高く、困窮層では6.7ポイント、非困窮層では8.1ポイントの差がみられる。

図 337 【子ども】居場所調査:理想的な学歴

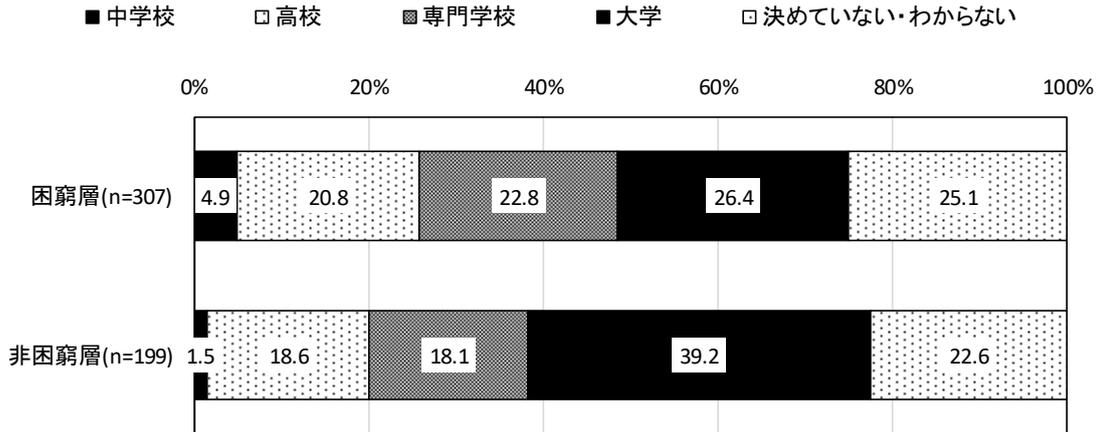
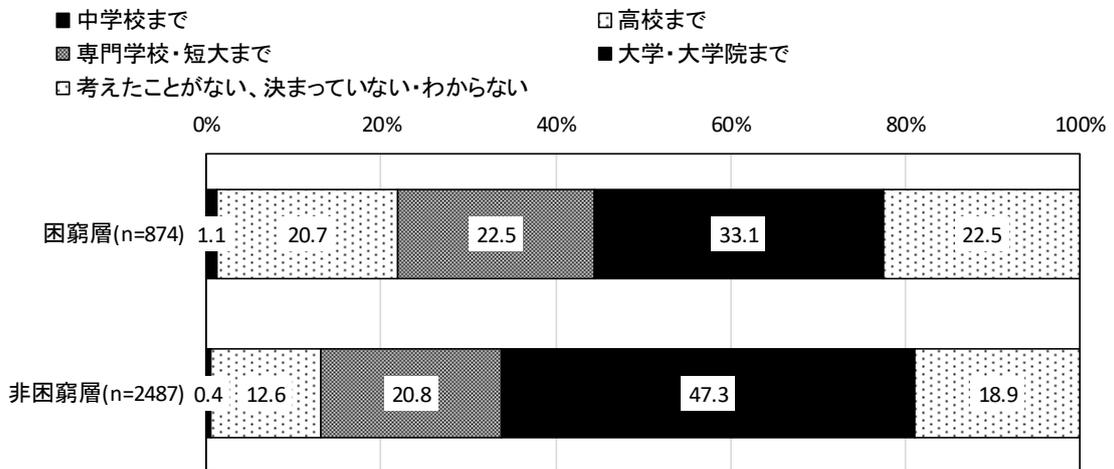


図 338 【子ども】小中学生調査:理想的な学歴 (居場所を利用したことがない者のみ)



3.居場所調査との比較に関するまとめ

※居場所調査は子どもの居場所を通じて、居場所を利用している子どもや保護者に対して調査したものであり、小中学生調査では学校を通じて調査した結果、「居場所を利用したことがない」と回答した結果を抽出して比較していることから、留意が必要である。

①保護者

- ・世帯構成をみると、小中学生調査では「二親世帯」が79.9%を占めているが、居場所調査では「両親ともにいる」は48.6%であり、31.3ポイントの差がある。また、母子世帯の割合は居場所調査で44.2%、小中学生調査で16.1%であり、28.1ポイントの差がみられる。(P272)
- ・世帯収入をみると、小中学生調査では「300~400万円」の割合が16.3%でもっとも高いのに対し、居場所調査では「150~200万円」の割合が17.6%ともっとも高くなっている。等価可処分所得をみると、「困窮層(122万円以下)」の割合は小中学生調査で26.0%、居場所調査で61.7%となっており、小中学生調査に比べて居場所調査では35.7ポイント高くなっている。居場所を利用している世帯ほど、経済的に厳しい状況にある世帯が多いことがうかがえる。(P273,274,275)

②子ども

- ・自己効力感をみると、いずれの学年も「自分に自信がある」「自分の考えをはっきり相手に伝えることができる」については居場所調査の方が5.0~11.0ポイント高くなっている。一方、「大人は信用できる」については小学生(高学年)・小学5年生において小中学生調査の方が6.7ポイント高い。困窮層に着目すると、特に「自分に自信がある」については居場所調査の子どもほど高い傾向がある。(P277,278)
- ・勉強が「よくわかる」「だいたいわかる」と回答する割合は、いずれの学年においても小中学生調査と居場所調査では大きな差はみられない。(P279)
- ・学校外での学習時間を比較すると、小学生と中学生とで傾向が異なっている。「1時間以上、2時間より少ない」~「3時間以上」の回答を合計した割合は、小学生(高学年)・小学5年生では居場所調査で47.3%、小中学生調査52.7%であり、小中学生調査の方が高い。一方、中学生・中学2年生では居場所調査で50.8%、小中学生調査で46.2%であり、居場所調査の方が高くなっている。(P281)
- ・将来の希望進路をみると、いずれの学年も小中学生調査において「大学・大学院まで」の割合が高い。特に中学生・中学2年生において、「大学・大学院まで」とする回答は子ども調査で45.0%であるのに対し、居場所調査では26.0%となっており、小中学生調査に比べて居場所調査では19.0ポイント低くなっている。また「中学校まで」とする回答が、全体で小中学生調査が0.7%であるのに対して、居場所調査で4.2%と7倍にもなる。「高校まで」とする回答が、全体で居場所調査では15.0%、小中学生調査では19.5%と居場所調査において高くなる。(P283)

<考察>

居場所調査と小中学生調査を比較すると、居場所調査ほど母子世帯や困窮世帯の割合が高く、こうした厳しい状況にある世帯に対して適切に支援が届いているということがわかる。また、子どもの自己効力感については、選択肢が異なるため一概には比較できないものの、小中学生調査に比べて居場所調査に回答した子どもほど高い傾向がみられた。また、特に困窮層の子どもにおいては「自分に自信がある」とする割合が居場所調査ほど高かった。このことから、居場所支援は子どもの自己効力感向上に効果があることが示唆された。

一方で、勉強時間は小学生においては居場所調査よりも小中学生調査の方が長く、将来の希望進路として「大学・大学院まで」を希望する割合も小中学生調査の方が高かった。ただし、勉強時間は中学生においては逆転がみられ、居場所調査の子どもの方が長い傾向がみられた。居場所に来ることで、子どもたちに変化が生じたことが考えられる。

こうしたことから、子どもの居場所の効果として、精神的な安心感を与えて自己効力感を高めるという機能は果たしているものの、学習習慣を身につけさせたり、将来的により高い教育段階を目指すような意欲を向上させるにはさらなる工夫が必要であろう。それだけ経済的課題の大きさが本調査からもより明確になったといえよう。自己効力感を高めることは子どもたちが安定した生活を送っていく上での前提であり、極めて重要なことである。今後は、そうした土台のもとで、学習支援についても充実させ、困難な状況にある子どもたちに対してより効果的な支援を行うことが求められる。

Ⅲ 総合考察

本調査では、沖縄県の小学1年生・小学5年生・中学2年生について、経済状況によってどのような差があるかを様々な観点から検討してきた。また、経年での比較や他地域、他調査との比較によって、平成30年における沖縄県の子どもの状況を明らかにすることを試みた。以下では、各分析の結果を総括し、今後必要な対策についての提言を行っていく。

まず、保護者についてみていくと、本調査において、厚生労働省の「平成28年国民生活基礎調査」にもとづく貧困線（等価可処分所得122万円）を下回る困窮層の割合は25.0%であった。同調査によると、日本全体における子どもの貧困率は13.9%であることから、沖縄県では全国と比較して依然経済的に困窮している層が多い状況にあるといえる。

全国よりも比較的厳しい経済状況が表れた大阪府調査と比較しても、沖縄県調査の対象者は世帯所得が低く、経済的な理由から生活への不安を抱えている世帯が多かった。特に、医療機関を受診できなかった、電気ガス水道を止められるなど深刻な実態が大阪の割合の数倍となっており、子どもを医療機関に受診させられないという、あってはならない事態も大阪に比べ3倍ほどの割合であった。ほかに、経済的な理由によって子どもにしてあげられなかった経験も多く、絵本を買う、習い事や学習塾などといった勉強意欲に関することも深刻な差があった。

これらのことから子どもへの貧困対策だけでなく、保護を必要とする住民が確実に保護を受けることができるよう、住民税や国民健康保険の窓口、電気・水道事業者や公営住宅の管理者等において生活困窮者を把握した場合には、生活困窮者自立相談事業等の利用を勧奨するなど、必要に応じて生活保護担当部局に繋ぐ体制の整備を図ることが重要である。また医療費に関して第3章の考察においても述べたが、児童福祉法の条文にあるように子どもの最善の利益を考慮した施策として、現物給付を実施していくなどの検討も必要であろう。

一方で、平成27年調査と比較すると、等価可処分所得が122万円未満の世帯の割合は、平成27年の前回調査が29.9%であったのに対し、今回は25.0%となり、いずれの学年においても減少しており、特に小学1年生において大きく改善していた。また、就学援助制度の利用率も増加しており、対策の効果が出ていることがうかがえる。依然として困窮層の割合は高いものの、改善の兆しはみられるといえるだろう。

こうした困窮層について、保護者の就労状況をみたところ、母親は無職かパート・アルバイト、父親は自営である割合が高かった。また、非困窮層に比べて労働日数は多いが1日あたりの労働時間は短いという傾向もみられた。こうした働き方は十分な休暇を取得することが難しく、本人の健康状態に影響を及ぼすことも懸念される。実際に、保護者の健康状態をみたところ、非困窮層に比べて困窮層では「良い」とする割合が低くなっていた。母親の低賃金、長時間労働も予想され、労働環境の改善も急務である。母子家庭等優先雇用、母子家庭等の技能訓練の無償化、フレックスタイム制、子の看護休暇の充実、年次有給休暇の取得促進等、多様な働き方が可能となる職場環境の整備などの工夫が必要であり、雇用・労働担

当課との連携が必須である。海外の事例のように学校で就労支援を行ったり、子どもの身近なところで親が訓練を受けたりするなど、親と子どもを長時間離さないような工夫も必要である。また、すべてのパート従業員の定期健康診断を事業主が負担することの普及啓発などの検討も必要である。

さらに、困窮層では絵本の読み聞かせや図書館に行くといった文化的な活動をする頻度が非困窮層よりも低く、子育てに対する負担感を強く感じていた。日々の生活への余裕のなさから、子育てに費やせる時間が短くなり、精神的な負担も高くなっていることが推測される。また、サポートをしてくれる人がいるとする割合は困窮層ほど低く、困難な状況にあるにもかかわらず社会的なサポートを受ける機会が少ないという状況がうかがえる。

一方で、こうした厳しい状況にある親たちを支援するために市町村に配置されている支援員については、困窮層の約 30.0%が「そのようなサービスを知らない」と回答しており、必要な層に支援が行き届いていない現状がみてとれる。今後は、こうした支援制度を充実させていくだけでなく、必要な家庭にどうやって支援を届けるかというアウトリーチのための施策を検討していく必要がある。また、就学援助制度について、制度を知らなかったとの回答が平成 27 年調査と比べ減少してはいるものの、困窮層においても未だ存在することから、今後も制度の周知を図る必要がある。アウトリーチには単に支援を受けるという受け身なものではなく、自主的な持続可能な取り組みを日常的に生みだし、家庭にとって変化のきっかけになるような仕掛けづくりの検討が必要であろう。例として、学校を活用して、自治会が企業の協力を得て子ども食堂を主催し、その結果子どもの保護者が主体的に参画し始めた例、自治体としてボランティアの子ども応援団員を募り、広域自治体が方針を作成し、市町村自治体が地域の応援団員の活動を支援し続けることで、応援団員が人口の 1.3%ほど集まり活動展開している自治体の例など複数存在する。いずれも広域自治体が研究者と共同し方針作成の支援、学習会開催、モデル自治体の選定など様々に関与している。つまり地域ごとに取り組みは複数存在するが、広域自治体が方針を作成し、市町村自治体を支援したり、けん引するような取り組みを行うことがポイントである。

次に、子どもについてみていくと、朝食や夕食を親と一緒に食べる割合は困窮層ほど低かった。また、親に宿題をみてもらう頻度も困窮層ほど低かった。これらは、困窮層における親の忙しさに起因するものと考えられるが、こうした親との関わりの少なさが、子どもの生活習慣や学習習慣、自己効力感などに影響を及ぼす可能性も懸念される。実際に、子どもの学習理解度は困窮層ほど低く、「家族から大切にされている」と感じる割合も低かった。

また、「学校に行きたくないと思った」という割合や、学校や勉強のことで悩んでいるという割合は困窮層ほど高かった。本調査から確認できることはあくまで相関関係であり、すべてが経済状況に原因があるということは確認できないが、家庭における経済状況の不安定さ、それに伴う親自身の余裕のなさが、こうした子どもの学校での生活に影響を及ぼし、将来的な学業達成の差につながっていくことが示唆される。将来の希望進路についても、大学を希望する割合は困窮層と非困窮層との間で差がみられ、現実的な進路として大学進学

を希望する困窮層の子どもの割合は2割弱にとどまった。

なお、大阪府調査と比較すると、子どもの自己肯定感や学習理解度については、大阪府よりも沖縄県において低い傾向がみられたが、学習時間が短時間である子どもの割合は沖縄県のほうが低い。このことより、沖縄県の子どもの学習習慣が身につけているものの、経済状況をはじめとする様々な要因から、学習理解について差が生じていると推測される。

一方、こうした子どもたちを支援するための「子どもの居場所」を利用している子どもたちの経済状況は厳しく、ターゲットに届けていることは高く評価できるが、その利用率は、小中学生調査対象の子どもたち全体で1割程度にとどまっており、利用していない理由の半数以上は「そのような居場所があることを知らなかったため」となっていた。困窮層の割合から考えると、さらに広く利用されるように届けることが望ましいといえる。実際に居場所を利用した子どもとそうでない子どもを比較すると、居場所を利用した子どもは自己効力感が高く、居場所の利用は一定の効果があることがうかがえる。

また今後は、さらに居場所の設置を進めるとともに、保護者に向けた支援員制度の周知と同様、支援が必要な家庭に対して情報提供を進めていくことが重要である。さらに、子どもの進路希望や親の学歴、経済的困窮度合からも、家庭だけでは十分準備できない、複数での食事、家庭学習、読書などの子どもの日常を社会的に用意することについて検討する必要がある。その意味においても誰もが行く学校という場を活用した、食事支援、学習支援、先輩との交流、親の支援などを展開させることも重要である（学校プラットフォーム）。

学校という場の意味は、2つ存在する。1つは、誰もが知っているがゆえに安心感を与える公的な場であること。2つめは、支援を申請する家庭だけでなく、すべての子どもが通う学校において、潜在的に支援を必要としている子どもを視野に入れ、ピックアップできる意味である。担任教師個人の判断ではなく複数チーム（文部科学省で打ち出したチーム学校といわれるようなチーム）において、保健所の健診システムのように、全数から気になる事例をピックアップ（＝選別する、スクリーニング）し、子ども食堂や学習支援など地域支援を紹介していくような流れ（システム）を作ることが求められる。そのことによって、教師や学校によって活用がまちまちであったスクールソーシャルワーカーへの紹介がルール化される可能性は高い。すでにルール化して明確にスクリーニングシートを活用した結果、居場所など気軽な地域資源を活用する例が増え、不登校が激減したなどの例も存在している。

子ども自身の主体性から循環する例では、校区の中で、大学生が高校生を、高校生が中学生を、中学生が小学生を、小学生が幼児を教えるというように、上の年齢の子どもたちが少し先に姿を見せることで、進路の希望や将来の夢を抱けるように工夫しているところもある。結果、非行や不登校が激減し、将来に向かうような傾向がみられている。

先に述べた主体的に持続可能な組織を形成するとき、支援者、親、子どもそれぞれが主体的に参画し合うことが必要である。親支援プログラムの導入、地域の支援者を主人公にしたワークショップの導入、支援者の連絡会、子どもミーティング、テーマに沿った熟議、地域とのふれあい、これらを申し込みのあった子どもや家庭にだけでなく、すべての子どもに

受講の機会をもたらし、将来につながる選択肢を増やす必要がある。

IV 資料

1. アンケート調査票

おきなわ こ ちょうさ
沖繩子ども調査

しょうがくせい ちゅうがくせいひょう
小学生・中学生票

- ◆この調査は、沖繩の小学生・中学生のみなさんの学校や家での生活の様子、将来についての考えや希望などについてたずねるものです。
- ◆この調査は、小学生または中学生のあなたが自分で書いてください。
- ◆名前を書く必要はありません。テストではありませんので、思ったとおりに答えてください。
- ◆答えたくない質問は答える必要はありません。
- ◆答えに迷う場合には、あなたの気持ちや考えにできるだけ近いものを選ぶようにしてください。
- ◆書き終えたら「小学生・中学生用」と書いてある封筒に入れ、のりづけやセロハンテープで閉じてください。
- ◆あなたが書いた内容は、おうちの人や先生に見せる必要はありません。
- ◆沖縄県はこの調査結果を参考に、子どもたちのために何ができるかを考えていきますので、ご協力をお願いします。

ちょうさ と あ さき
この調査の問い合わせ先

ご不明な点などございましたら、以下にお問い合わせください。

◆質問項目に関する問い合わせ先

おおさかふりつだいがく じんげんしゃかい しすてむ かがくけんきゅうか やまのりこけんきゅうしつ
大阪府立大学 人間社会システム科学研究科 山野則子研究室

でんわ
電話：072-254-9783 メール：osakafudai.okinawakodomo@gmail.com

◆調査全般に関わる問い合わせ先

おきなわけん こ せいかつ ふくしづ こ みらいせいさくか でんわ
沖縄県子ども生活福祉部子ども未来政策課 電話：098-866-2100

なお、この調査に関するご質問への回答はホームページでもご覧いただけます。

<http://www.pref.okinawa.jp/site/kodomo/kodomomirai/index.html>

質問の回答方法について

◆それぞれの質問について次のように教えてください。

(例) あなたの好きな色は何色ですか。

1. 赤色	3. 緑色
2. 黄色	4. その他の色

※答えは、あてはまる番号に○をつけてください。

※○のつけかたは、質問文の終わりに「あてはまる番号1つに○をつけてください」や「あてはまる番号すべてに○をつけてください」「数字を書いてください」などと書いてありますので、それにしがってください。

あなたについておたずねします。

問1 あなたの性別をえらんでください。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 男	3. その他
2. 女	4. 答えたくない

問2 あなたは小学生ですか、それとも中学生ですか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 小学生	2. 中学生
--------	--------

問3 あなたが、持っているものや、あなたが使うことができるものを選んでください。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 本 (学校の教科書やマンガはのぞく)	10. スマートフォン・タブレット機器 (通話等アプリ (ライン) やツイッター、フェイスブックなどできるもの)
2. マンガ・雑誌	11. 化粧品・アクセサリ
3. 子ども部屋 (ひとり部屋やきょうだいといっしょに使っている部屋など)	12. 習いごとなどの道具 (ピアノなど)
4. インターネットにつながるパソコン	13. 自分で選んだ服
5. 運動用具 (ボール・ラケットなど)	14. キャラクターグッズ
6. ゲーム機	15. その他
7. 自転車	16. あてはまるものはない
8. テレビ	
9. けいたい電話	

あなたの夢についておたずねします。

問4 あなたは、将来の夢がありますか。
 (あてはまる番号 1 つに ○ をつけてください)

1. ある	2. ない	→問4-1も答えてください
-------	-------	---------------

問4-1 ※問4で「2. ない」と答えた人に聞きます。夢がない理由は何ですか。
 (あてはまる番号 1 つに ○ をつけてください)

1. 夢がかなうのがむずかしいと思うから	3. その他 (具体的に:)
2. 具体的に何も思いうかばないから	4. わからない

あなたのふだんの生活のことについておたずねします。

問5 あなたに①～④のことをしてくれる人はいますか。
 (あてはまる番号 1 つに ○ をつけてください)

	1 いる	2 いない	3 わからない
① あなたが、何かに失敗したときに、たすけてくれる	1	2	3
② あなたが、勉強やスポーツでがんばったときに、ほめてくれる	1	2	3
③ 一人ではできないことがあったときには、気持ちよく手伝ってくれる	1	2	3
④ あなたが悩んでいるときに、どうしたらよいか教えてくれる	1	2	3

問6 あなたは、あなたの住んでいる地域で次のような活動に参加したことがありますか。
 (あてはまる番号 すべてに○ をつけてください)

1. 近所のおまつり
2. 子ども会や町内会などが開いた運動会やクリスマス会などの行事
3. 公園や道路などのそうじ、地域の避難訓練
4. どれにも参加したり、行ったりしていない

問7 あなたの学校生活についてお聞きします。次の①～⑧について教えてください。
 (あてはまる番号 1つに○をつけてください)

	1 とても たの 楽しみ	2 たの 楽しみ	3 すこ 少し たの 楽しみ	4 たの 楽しみ ではない
① 学校の体育・家庭科・音楽・図工・ 書道の授業	1	2	3	4
② 学校の体育・家庭科・音楽・図工・ 書道以外の授業	1	2	3	4
③ 学校の先生に会うこと	1	2	3	4
④ 学校の友だちに会うこと	1	2	3	4
⑤ 学校の部活動	1	2	3	4
⑥ 学校の休み時間	1	2	3	4
⑦ 学校の給食(またはお弁当など)	1	2	3	4
⑧ その他	1	2	3	4

問8 あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。
 (あてはまる番号 1つに○をつけてください)

1. 上のほう	4. やや下のほう
2. やや上のほう	5. 下のほう
3. まん中あたり	6. どれにもあてはまらない

問9 学校の勉強について、一番あなたの気持ちに近いものはどれですか。
 (あてはまる番号 1つに○をつけてください)

1. よくわかる	3. あまりわからない	5. どれにもあてはまらない
2. だいたいわかる	4. ほとんどわからない	

問10 あなたは、ふだん(月～金曜日)学校の授業時間以外に1日あたりどれくらいの
 時間、勉強をしていますか。(塾などの時間もふくみます。
 (あてはまる番号 1つに○をつけてください)

1. まったくしない	5. 2時間以上、3時間より少ない
2. 30分より少ない	6. 3時間以上
3. 30分以上、1時間より少ない	7. わからない
4. 1時間以上、2時間より少ない	

問11 あなたは、理想的には、将来どの学校まで行きたいと思いますか。

(あてはまる番号 ^{ばんごうひと} 1 ^{まる} つに〇をつけてください)

1. 中 ^{ちゅうがっこう} 学校まで
2. 高 ^{こうこう} 校まで
3. 専 ^{せんもんがっこう} 門学校まで (高 ^{こうこう} 校を卒 ^{そつぎょう} 業した後 ^{あと} に進 ^{しんがく} 学するもの)
4. 短 ^{たんきだいがく} 期大学・高 ^{こうせん} 専まで
5. 大 ^{だいがく} 学まで
6. 大 ^{だいがくいん} 学院まで
7. 考 ^{かんが} えたことがない
8. 決 ^き まっていない・わからない

問12 あなたは、現実的には、将来的には、将来 どの学校まで行くことになると思いますか。

(あてはまる番号 ^{ばんごうひと} 1 ^{まる} つに〇をつけてください)

1. 中 ^{ちゅうがっこう} 学校まで
2. 高 ^{こうこう} 校まで
3. 専 ^{せんもんがっこう} 門学校まで (高 ^{こうこう} 校を卒 ^{そつぎょう} 業した後 ^{あと} に進 ^{しんがく} 学するもの)
4. 短 ^{たんきだいがく} 期大学・高 ^{こうせん} 専まで
5. 大 ^{だいがく} 学まで
6. 大 ^{だいがくいん} 学院まで
7. 考 ^{かんが} えたことがない
8. 決 ^き まっていない・わからない

問13 あなたが問12のように考 ^{かんが} えるのは、なぜですか。

(もっともあてはまる番号 ^{ばんごうひと} 1 ^{まる} つに〇をつけてください)

1. それ ^{じぶん} が自 ^{きぼう} 分の希望だから
2. ふつうその学 ^{がっこう} 校まで行くと思 ^{おも} うから
3. 自 ^{じぶん} 分の学 ^{がくりよく} 力 ^{かんが} から考 ^{かんが} えて
4. 親 ^{おや} がそ ^{きぼう} う希 ^{きぼう} 望しているから
5. 自 ^{じぶん} 分 ^{きぼう} が希 ^{がっこう} 望する学 ^{しんがく} 校まで進 ^{ひつよう} 学する必要 ^{おや} はないと親 ^{かんが} が考 ^{かんが} えているから
6. 家 ^{かてい} 庭に経 ^{けいざいてき} 済 ^{よゆう} 的な余 ^{よゆう} 裕がないから
7. その他
(^{ぐたいてき} 具体的に教 ^{おし} えてください)
8. 特 ^{とく} に理 ^{りゆう} 由はない

あと半分だよ。
がんばってね！

問14 あなたは、自分の健康状態についてどう感じていますか。

(あてはまる番号 1 つに ○ をつけてください)

1. 良い	4. どちらかといえば悪い
2. どちらかといえば良い	5. 悪い
3. ふつう	

問15 あなたは、今、虫菌がおおよそ何本ありますか。治療中のものもふくみます。

(数字を書いてください。虫菌がない場合は、「0」と書いてください)

() 本

問16 現在のあなたの身長と体重を教えてください。

【例】 (身長) (体重)

1 4 3 . 5 センチメートル 3 8 . 8 キログラム

(あなたの身長)	(あなたの体重)
□ □ □ . □ センチメートル	□ □ □ . □ キログラム

問17-1 あなたは、平日(学校のある日)の朝ごはんを主に誰と一緒に食べますか。

(あてはまる番号 すべてに○ をつけてください)

1. 親	4. ひとりで食べる
2. きょうだい	5. 朝ごはんは食べない
3. その他の家族 (祖父・祖母など)	6. その他 (具体的に: _____)

問17-2 あなたは、平日(学校のある日)の夕ごはんを主に誰と一緒に食べますか。

(あてはまる番号 すべてに○ をつけてください)

1. 親	4. ひとりで食べる
2. きょうだい	5. 夕ごはんは食べない
3. その他の家族 (祖父・祖母など)	6. その他 (具体的に: _____)

問17-3 あなたは、休日（学校のない日）の朝ごはんを主に誰と一緒に食べますか。
 （あてはまる番号すべてに○をつけてください）

1. 親	4. ひとりで食べる
2. きょうだい	5. 朝ごはんは食べない
3. その他の家族（祖父・祖母など）	6. その他（具体的に：_____）

問17-4 あなたは、休日（学校のない日）の夕ごはんを主に誰と一緒に食べますか。
 （あてはまる番号すべてに○をつけてください）

1. 親	4. ひとりで食べる
2. きょうだい	5. 夕ごはんは食べない
3. その他の家族（祖父・祖母など）	6. その他（具体的に：_____）

問18 あなたは、次のようなことをどのくらいしていますか。①～⑧について教えてください。
 い。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

	ほとんど毎日	週に4～5回	週に2～3回	週に1回程度	月に1～2回	ほとんどない	まったくない
①おうちの大人の人に朝、起こしてもらいますか。	1	2	3	4	5	6	7
②おうちの手伝いをしていますか。	1	2	3	4	5	6	7
③おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらいますか。	1	2	3	4	5	6	7
④おうちの大人の人と学校でのできごとについて話しますか。	1	2	3	4	5	6	7
⑤おうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりしますか。	1	2	3	4	5	6	7
⑥おうちの大人の人とニュースなど社会のできごとについて話をしますか。	1	2	3	4	5	6	7
⑦おうちの大人の人と文化活動（図書館や美術館、博物館、音楽鑑賞に行くなど）をしますか。	1	2	3	4	5	6	7
⑧おうちの大人の人と一緒に外出しますか。（散歩する・買い物に出かける・外食をするなど）	1	2	3	4	5	6	7

とい 問19 あなたの思いや気持ち^{おも きもち}を聞かせてください。次の①～⑨^{つぎ}について教えて^{おし}ください。
 (あてはまる番号^{ばんごう} 1つに^{まる}○をつけてください)

	1 とても おも そう思う	2 どちらか といえ おも そう思う	3 あまり おも そう思わない	4 そう おも 思わない
① 自分 ^{じぶん} に自信 ^{じしん} がある	1	2	3	4
② 自分 ^{じぶん} の考 ^{かんが} えをはつきり相手 ^{あいて} に伝 ^{つた} えることができる	1	2	3	4
③ 大人 ^{おとな} は信用 ^{しんよう} できる	1	2	3	4
④ がんばれば、むくわれる	1	2	3	4
⑤ 自分 ^{じぶん} は価値 ^{かち} のある人間 ^{にんげん} だと思 ^{おも} う	1	2	3	4
⑥ 自分 ^{じぶん} は家族 ^{かぞく} に大事 ^{だいじ} にされている	1	2	3	4
⑦ 不安 ^{ふあん} に感 ^{かん} じることはない	1	2	3	4
⑧ 孤独 ^{こどく} を感 ^{かん} じることはない	1	2	3	4
⑨ 自分 ^{じぶん} の将来 ^{しょうらい} が楽 ^{たの} しみだ	1	2	3	4

とい 問20 あなたは、これまでに①～⑤のようなことがありましたか。それぞれについて教えて^{おし}ください。(あてはまる番号^{ばんごう} 1つに^{まる}○をつけてください)

	1 よくあつた	2 時々 ^{ときどき} あつた	3 あまりなかつた	4 なかつた	5 こたえたくない ・わからない
① 学校 ^{がっこう} に行きたくないと思 ^{おも} った	1	2	3	4	5
② 1か月以上学校 ^{がっこう} を休 ^{やす} んだ(病 ^{びょう} 気 ^き の時 ^{とき} をのぞく)	1	2	3	4	5
③ いじめられた	1	2	3	4	5
④ 夜遅 ^{よるおそ} くまで子 ^こ どもだけ ^す で過 ^す ごした	1	2	3	4	5
⑤ 学校 ^{がっこう} に遅 ^ち 刻 ^{こく} した	1	2	3	4	5

問21 ^{いま}今、あなたは、いやなことや悩^{なや}んでいることはありますか。
 (あてはまる番号^{ばんごう}すべてに^{まる}○をつけてください)

もう少しだよ!
よくがんばったね。

- | | |
|---------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------|
| 1. おうちのこと | 6. ^す 好きな ^{ひと} 人のこと |
| 2. ^{がっこう} 学校や ^{べんきょう} 勉強のこと | 7. ^{しんがく} 進学・ ^{しんろ} 進路のこと |
| 3. ^{くらぶ} クラブ ^{かつどう} 活動のこと | 8. ^た その他のこと |
| 4. ^{じぶん} 自分のこと (外見 ^{がいけん} や体型 ^{たいけい} など) | 9. いやなことや悩 ^{なや} んでいることはない |
| 5. ^{ともだち} ともだちのこと | 10. わからない |

問22 あなたは、ふだん (月曜日^{げつようび}～金曜日^{きんようび}) の放課後^{ほうかご}、だれと過^すぎしますか。
 (あてはまる番号^{ばんごう}すべてに^{まる}○をつけてください)

- | |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. おうち ^{おとな} の大人 ^{ひと}
(お母 ^{かあ} さん・お父 ^{とう} さん・おばあちゃん・おじいちゃん・親 ^{しん} せきなど) |
| 2. きょうだい |
| 3. おうち ^{ひと} の人以外 ^{いがい} の大人 ^{おとな} (近所 ^{きんじょ} の大人 ^{おとな} 、塾 ^{じゅく} や習 ^{なら} いごとの先生 ^{せんせい} など) |
| 4. ^{がくどうほいく} 学童保育や ^{じどうせんたー} 児童センター (児童館 ^{たーじどうかん}) の先生 ^{せんせい} |
| 5. ^{がっこう} 学校のともだち |
| 6. ^{がっこう} 学校の ^{くらぶ} クラブ ^{かつどう} 活動の仲間 ^{なかま} |
| 7. ^{がっこう} 学校以外 ^{いがい} のともだち (地域 ^{ちいき} のスポーツ ^{すぽー} クラブ、近所 ^{きんじょ} のともだちなど) |
| 8. ひとり |
| 9. ^た その他の ^{ひと} 人 |

問23 あなたは、ふだん (月曜日^{げつようび}～金曜日^{きんようび}) の放課後^{ほうかご}、どこで過^すぎしますか。
 (あてはまる番号^{ばんごう}すべてに^{まる}○をつけてください)

- | | |
|------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. ^{じぶん} 自分の ^{いえ} 家 | 9. ^{こんびにえんすすとあ} コンビニエンスストア |
| 2. ^{おばあちゃん・おじいちゃん} おばあちゃん・おじいちゃんの家 ^{いえ} | 10. ^{げーむせんたー} ゲームセンター |
| 3. ^{ともだち} ともだちの家 ^{いえ} | 11. ^{としょかん} 図書館、 ^{こうみんかん} 公民館、 ^{じどうかん} 児童館など ^{こうきょう} 公共の |
| 4. ^{じゅく} 塾 | ^{しせつ} 施設 |
| 5. ^{なら} 習いごと | 12. ^こ 子どもの ^{いばしょ} 居場所 (無 ^む 料 ^{りょう} で食 ^{しょく} 事が ^じ 食 ^じ べられ |
| 6. ^{がっこう} 学校 (クラブ ^{くらぶ} 活動 ^{かつどう} など) | ^{たり} たり、 ^{べんきょう} 勉強 ^{おし} を教 ^{おし} えてもら ^{もら} うところ) |
| 7. ^{こうえん} 公園・ ^{ひろば} 広場 | 13. ^{がくどうほいく} 学童保育 (※) |
| 8. ^{すーぱー} スーパーや ^{しょっぴんぐもーる} ショッピングモール | 14. ^た その他 |

※「学童保育」とは、「放課後^{ほうかご}こどもクラブ」、「放課後^{ほうかご}児童室^{じどうしつ}」、「放課後^{ほうかご}児童クラブ^{じどうくらぶ}」も含ま^{ふく}れます。

問24 あなたは、子どもの居場所（無料で食事が食べられたり、勉強を教えてもらうところ）を利用していますか。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

1. 利用している → 問25 へ	2. 利用していない → 問26 へ
--------------------------	---------------------------

問25 問24で「利用している」と答えた人だけにお聞きします。あなたが居場所を利用する理由について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

<ul style="list-style-type: none"> 1. 勉強するため 2. いると安心できるため 3. ごはんを食べるため 4. スタッフと話をするため 	<ul style="list-style-type: none"> 5. 友だちと遊ぶため 6. 家にいづらいため 7. 家にだれもいないため 8. その他 (具体的に： _____)
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

問26 問24で「利用していない」と答えた人だけにお聞きします。あなたが居場所を利用しない理由について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

<ul style="list-style-type: none"> 1. そのような居場所があることを知らなかったから 2. そのような居場所が近所がないため 3. 利用の仕方がわからないから 4. 利用するのが面倒だから 5. 利用したいが、クラブ活動や勉強で忙しいから 6. その他 (具体的に： _____)

問27 このアンケートの感想や、その他、大人の人に言いたいことなどがありましたら、自由に書いてください。

※この欄に記入された内容は、個人を特定することのないよう十分に注意して集計し公表をします。

みなさんの意見を活用する際に、もし個人が特定できるような書き込みがあった場合は、その部分の公表はしませんので、安心して記入してください。

質問はこれで終わりです。調査にご協力いただきありがとうございました。
「小学生・中学生用」と書いてある封筒に入れ、のりづけやセロハンテープで閉じて、保護者の方に渡してください。

chousha kyouriyoku nega
< 調査への協力をお願い >

この調査は、保護者の方に家庭状況などをお聞きし、沖縄県の子どものための支援策に
やくだ 役立てるために実施します。皆様からの回答を支援策の充実や改善につなげていきたいと
かんが 考えていますので、お忙しい中お手数ですが、調査へのご協力をお願い致します。

chousahiyou oku kata era kata
◆ 調査票をお送りする方の選び方

okinawakenai shougaku nensei nensei chougaku nensei musaku ichi choushyuufu nin era
沖縄県内の小学1年生・5年生と中学2年生から無作為抽出で9,000人を選びました。

braibashie hairiyoh
◆ プライバシーへの配慮

onamae juyusho ka hityou chousha shiyuukai toukeiteki shoryu kojinn gattou tokutei
お名前や住所を書く必要はありません。調査の集計は統計的に処理し、個人や学校を特定するこ
とはありません。また、目的以外に使うことはありません。

kaitou atatte no nega
◆ 回答にあたってのお願い

- 答えたくない質問には、回答しなくて結構です。
- この調査で「お子さん」とは、調査票を受け取ったお子さんのことです。「お子さん」と書か
れた質問には、調査票を受け取ったお子さんについてのみお答えください。
- ごきょうだいなどで、この調査用紙が複数届いた場合も、お手数ですが、それぞれのお子さん
について、それぞれの調査用紙に回答してください。
- 小5・中2の保護者の方は、調査票に回答するときには、お子さんと保護者の回答が見えない
よう別々の場所で記入してください。なお、お子さんの回答内容は見ないようにお願いします。

chousahiyou henshinhouhou
◆ 調査票の返信方法

shou chuu hogo shya kata chousha kaitougou hogo shyahyou ka fudouhou i
小5・中2の保護者の方は、調査に回答後、「保護者用」と書かれた封筒に入れ、のりづけや
sero hanteepu de fuu shite kudasai. onokansan no kaitou no irutta shougaku sei chuuougaku sei yoh fudouhou
セロハンテープで封をしてください。お子さんの回答の入った「小学生・中学生用封筒」と
hogo shya yoh fudouhou o ooka fudouhou i fuu ato teishyutsugiken gattou teishyutsu
「保護者用封筒」を大きな封筒にまとめて入れ、封をした後、提出期限までに学校に提出して
ください。小1の保護者の方は、受け取った封筒に封をしてご提出ください。

chousha to a saki
この調査の問い合わせ先

fumei ten ika to a
ご不明な点などございましたら、以下にお問い合わせください。

shimounkoumoku kan to a saki
◆ 質問項目に関する問い合わせ先

osakafuridai gaku ningen shya kai shi sutemuka gaku kenkyuuka yamanori kenkyuushitsu
大阪府立大学 人間社会システム科学研究科 山野則子研究室
denwa
電話：072-254-9783 メール：osakafudai.okinawakodomo@gmail.com

chousha zenban kaka to a saki
◆ 調査全般に関わる問い合わせ先

okinawaken ko seikafu fukusho ko miraiseisaku ka denwa
沖縄県子ども生活福祉部子ども未来政策課 電話：098-866-2100

chousha kan shimoun kaitou ho-mp-eji ran
なお、この調査に関するご質問への回答はホームページでもご覧いただけます。

<http://www.pref.okinawa.jp/site/kodomo/kodomomirai/index.html>

質問の回答方法について

◆それぞれの質問について次のように教えてください。

(例) あなたの好きな花はなんですか。

1. さくら	3. バラ
2. チューリップ	4. その他の花

※答えは、あてはまる番号に○をつけてください。○のつけかたは、質問文の終わりに(○は1つ)や(あてはまるものすべてに○)と書いてありますので、それにしたがってください

問1 この調査票を受け取ったお子さんは何年生ですか。(○は1つ)

1. 小学1年生	2. 小学5年生	3. 中学2年生
----------	----------	----------

問1-1 この調査票にお答えになっている方は、お子さんからみてどなたにあたりますか。

(○は1つ) ※「5. 施設職員・里親」に該当される方は、以下は回答せずにご提出ください。

1. お母さん	4. おじ、おばなど親戚
2. お父さん	5. 施設職員・里親
3. おばあさん・おじいさん	6. その他の人

問2 お子さんと同居している家族(※)の人数を教えてください(あなたとお子さんも含む)。

(枠内に数字で記入してください)

※「家族」とは、同居か別居かに関わらず、生計(家計)が同じである人をさします。単身赴任中や一人暮らしのお子さんも、生計(家計)が同じであれば「家族」に含まれます。

※2世帯住宅の場合、生計(家計)が別であれば、家族の人数として数えないでください。

人

問3 お子さんと同居している家族の方は、どなたですか。それぞれ人数も教えてください。

お子さんから見た続柄でお答えください。

(あてはまる番号すべてに○、人数はカッコの中に数字で記入してください)

1. お母さん	4. 祖父 () 人	7. 弟 () 人	10. その他 () 人
2. お父さん	5. 兄 () 人	8. 妹 () 人	
3. 祖母 () 人	6. 姉 () 人	9. その他の親戚 () 人	

お母さん（またはお母さんにかわる方）のお仕事の状況についてお聞きします。

※現在産前産後休暇・育児休暇を取得している方は、就労時の状況をお答えください。

※いらっしゃらない場合は問5もしくは問6へお進みください。

問4 お母さん（またはお母さんにかわる方）の現在のお仕事の状況を教えてください。（○は1つ）

1. 働いていない		問4-1へ
2. 正規の職員・従業員	6. 自営	問4-2へ
3. 派遣社員・契約社員・嘱託	7. 内職	
4. パート・アルバイト	8. その他	
5. 会社・団体等の役員		

問4-1 問4で「1. 働いていない」と答えた方にお聞きします。

働いていない理由を教えてください。（あてはまるものすべてに○）

1. 家事や育児に専念	4. 学生	7. その他	問5へ
2. おうちの人の介護や介助	5. 年金など		
3. 病気療養	6. 家賃収入など		

問4-2 問4で2～8と答えた方にお聞きします。

※複数のお仕事をしている場合はすべて合わせてお答えください。

① 一週間の平均的な労働日数を教えてください。（○は1つ）

1. 1日	2. 2日	3. 3日	4. 4日	5. 5日	6. 6日	7. 7日
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

② 働いている日の平均的な労働時間（残業時間を含む）を教えてください。（○は1つ）

1. 2時間未満	4. 6～8時間未満	7. 12時間以上
2. 2～4時間未満	5. 8～10時間未満	
3. 4～6時間未満	6. 10～12時間未満	

③ お仕事には平日の日中以外の勤務もありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 早朝勤務(朝5～8時)	4. 土曜出勤	6. 1から5にあてはまる 勤務はない
2. 夜間勤務(夜8～10時)	5. 日曜・祝日出勤	7. わからない
3. 深夜勤務(夜10～朝5時)		

お父さん(またはお父さんにかわる方)のお仕事の状況についてお聞きします。

※現在育児休暇を取得している方は、就労時の状況をお答えください。

※いらっしゃらない場合は問6もしくは問7へお進みください。

問5 お父さん(またはお父さんにかわる方)の現在のお仕事の状況を教えてください。(○は1つ)

1. 働いていない		→問5-1へ
2. 正規の職員・従業員	6. 自営	→問5-2へ
3. 派遣社員・契約社員・嘱託	7. 内職	
4. パート・アルバイト	8. その他	
5. 会社・団体等の役員		

問5-1 問5で「1. 働いていない」と答えた方にお聞きします。

働いていない理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

1. 家事や育児に専念	4. 学生	7. その他	→問6へ
2. おうちの人の介護や介助	5. 年金など		
3. 病気療養	6. 家賃収入など		

問5-2 問5で2～8と答えた方にお聞きします。

※複数のお仕事をしている場合はすべて合わせてお答えください。

① 一週間の平均的な労働日数を教えてください。(○は1つ)

1. 1日	2. 2日	3. 3日	4. 4日	5. 5日	6. 6日	7. 7日
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

② 働いている日の平均的な労働時間（残業時間を含む）を教えてください。（〇は1つ）

1. 2時間未満 <small>じかんみまん</small>	4. 6～8時間未満 <small>じかんみまん</small>	7. 12時間以上 <small>じかんいじょう</small>
2. 2～4時間未満 <small>じかんみまん</small>	5. 8～10時間未満 <small>じかんみまん</small>	
3. 4～6時間未満 <small>じかんみまん</small>	6. 10～12時間未満 <small>じかんみまん</small>	

③ お仕事には平日の日中以外の勤務もありますか。（あてはまるものすべてに〇）

1. 早朝勤務(朝5～8時) <small>そうちょうきんむ あさ じ</small>	4. 土曜出勤 <small>どようしゅっきん</small>	6. 1から5にあてはまる 勤務はない <small>きんむ</small>
2. 夜間勤務(夜8～10時) <small>やかんきんむ よる じ</small>	5. 日曜・祝日出勤 <small>にちよう しゅくじつしゅっきん</small>	7. わからない
3. 深夜勤務(夜10～朝5時) <small>しんやきんむ よる あさ じ</small>		

その他の方のお仕事の状況についてお聞きします。

※お母さん、お父さん以外に、主に家計を支えている方がいる場合は、問6をご回答ください。

問6 その他の方の現在のお仕事の状況を教えてください。（〇は1つ）

1. 働いていない <small>はたら</small>	→問6-1へ <small>とい</small>	
2. 正規の職員・従業員 <small>せいぎ しょくいん じゅうぎょういん</small>	6. 自営 <small>じえい</small>	→問6-2へ <small>とい</small>
3. 派遣社員・契約社員・嘱託 <small>はけんしゃいん けいやくしゃいん しょくたく</small>	7. 内職 <small>ないしょく</small>	
4. パート・アルバイト <small>ぱーと あるぱいと</small>	8. その他 <small>た</small>	
5. 会社・団体等の役員 <small>かいしゃ だんたいとう やくいん</small>		

問6-1 問6で「1. 働いていない」と答えた方にお聞きします。

働いていない理由を教えてください。（あてはまるものすべてに〇）

1. 家事や育児に専念 <small>かじ いくじ せんねん</small>	4. 学生 <small>がくせい</small>	7. その他 <small>た</small>	→問7へ <small>とい</small>
2. おうちの人介護や介助 <small>ひと かいご かいじょ</small>	5. 年金など <small>ねんきん</small>		
3. 病気療養 <small>びょうきりょうよう</small>	6. 家賃収入など <small>やちんしゅうにゅう</small>		

問6-2 問6で2～8と答えた方にお聞きします。

※複数のお仕事をしている場合はすべて合わせてお答えください。

① 一週間の平均的な労働日数を教えてください。(〇は1つ)

1. 1日	2. 2日	3. 3日	4. 4日	5. 5日	6. 6日	7. 7日
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

② 働いている日の平均的な労働時間(残業時間を含む)を教えてください。(〇は1つ)

1. 2時間未満	4. 6～8時間未満	7. 12時間以上
2. 2～4時間未満	5. 8～10時間未満	
3. 4～6時間未満	6. 10～12時間未満	

③ お仕事には平日の日中以外の勤務もありますか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 早朝勤務(朝5～8時)	4. 土曜出勤	6. 1から5にあてはまる 勤務はない
2. 夜間勤務(夜8～10時)	5. 日曜・祝日出勤	
3. 深夜勤務(夜10～朝5時)		
		7. わからない

お子さんのことについてお聞きします。

問7 あなたの家庭では現在、お子さんのために就学援助制度(注)を利用していますか。(〇は1つ)

1. 利用している → 問7-1へ	2. 利用していない → 問7-3へ	3. わからない → 問8へ
-------------------	--------------------	----------------

(注) 就学援助制度は経済的な理由により就学が困難な子どもたちの保護者に対して、各市町村教育委員会が学用品や給食費などの援助を行い、子どもたちが等しく義務教育を受けることができるようにするための制度です。

問7-1 問7で「1. 利用している」と答えた方にお聞きします。

現在の就学援助について、学校にかかる経費をカバーできていますか。あなたのお考えにもっとも近いものを選んでください。(〇は1つ)

1. 十分にカバーできている	3. あまりカバーできていない
2. カバーできている	4. カバーできていない

問7-2 問7で「1. 利用している」と答えた方にお聞きします。
就学援助についてどのように知りましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 学校からの通知 (お知らせ)	4. 街頭でのポスターやチラシ
2. 市町村からの通知 (お知らせ)	5. 知人からの紹介
3. テレビやラジオのCM (コマーシャル)	6. その他 ()

問7-3 問7で「2. 利用していない」と答えた方にお聞きします。
現在、就学援助を利用していない理由について、もっとも近いものを選んでください。
(○は1つ)

1. 申請しなかった (必要ないため)
2. 申請しなかった (必要であるが、申請要件を満たしていなかったため)
3. 申請しなかった (必要であるが、周囲の目が気になったため)
4. 申請しなかった (必要であるが、手続きの仕方がわからなかったため)
5. 申請しなかった (必要であるが、手続きが面倒であったため)
6. 申請したが、認定されなかったため
7. 就学援助制度を知らなかったため
8. その他 ()

問8 あなたのご家庭ではお子さん用の次のものをお持ちですか。A～Jについて、それぞれあてはまるものに○をつけてください。(それぞれ○は1つ)

	1. 持っている	もっていない	
		2. 必要だとおもわない	3. 経済的にも持てない
A. 子どもの本 (学校の教科書やマンガをのぞく)	1	2	3
B. 子ども部屋 (きょうだいと一緒に使っている場合も含む)	1	2	3
C. インターネットにつながるパソコン (家族共有を含む)	1	2	3
D. 子ども専用の勉強机	1	2	3
E. スポーツ用品 (グローブやサッカーボール等)	1	2	3

F. <small>げーむき</small> ゲーム機	1	2	3
G. <small>おお こどもも</small> 多くの子どもが持っているおもちゃ	1	2	3
H. <small>じてんしゃ</small> 自転車	1	2	3
I. <small>けいたいでんわ すまーとふぉん</small> 携帯電話・スマートフォン	1	2	3
J. <small>けいたいおんがくぷれいヤーなど</small> 携帯音楽プレイヤー等	1	2	3

問9 こ お子さんは しょうがっこう 小学校のクラブ活動・ちゅうがっこう 中学校の部活動や ちいき 地域のクラブ活動をしていますか。

(○は1つ)

※ しょうがっこう 小学校・ちゅうがっこう 中学校の部活動や ちいき 地域のクラブ活動とは、がっこう 学校または ちいき 地域ボランティアで行われる おこな 非営利 ひえいり の目的の もくてき 趣味や しゅみ スポーツ活動の すぽーつかつどう ことを指します。

1. している	2. していない
---------	----------

問10 こ お子さんは、なら 習い事等 (すぽーつくらぶ スポーツクラブ・がくしゅうじゅく 学習塾を含む) をしていますか。 (○は1つ)

1. している	2. していない
---------	----------

問11 こ あなたのお子さんを、理想的には、りそうてき 将来 しょうらい どの学校まで行かせたいと思いますか。

(○は1つ)

1. <small>ちゅうがっこう</small> 中学校まで	5. <small>だいがく</small> 大学まで
2. <small>こうこう</small> 高校まで	6. <small>だいがくいん</small> 大学院まで
3. <small>せんもんがっこう</small> 専門学校まで (<small>こうこう</small> 高校を <small>そつぎょう</small> 卒業した後に <small>あと</small>)	7. <small>かんが</small> 考えたことがない
4. <small>しんがく</small> 進学するもの) <small>たんきだいがく</small> 短期大学・ <small>こうせん</small> 高専まで	8. <small>き</small> 決まっていない・わからない

問12 こ あなたのお子さんを、現実的には、げんじつてき 将来 しょうらい どの学校まで行かせると思いますか。

(○は1つ)

1. <small>ちゅうがっこう</small> 中学校まで	5. <small>だいがく</small> 大学まで
2. <small>こうこう</small> 高校まで	6. <small>だいがくいん</small> 大学院まで
3. <small>せんもんがっこう</small> 専門学校まで (<small>こうこう</small> 高校を <small>そつぎょう</small> 卒業した後に <small>あと</small>)	7. <small>かんが</small> 考えたことがない
4. <small>しんがく</small> 進学するもの) <small>たんきだいがく</small> 短期大学・ <small>こうせん</small> 高専まで	8. <small>き</small> 決まっていない・わからない

お子さんとの関係や子育てについてお聞きします。

問13 あなたとお子さんの関係について、①～⑦についてもっとも近いものを選んでください。

(それぞれ〇は1つ)

	あてはまる	どちらかという とあてはまる	どちらかという とあてはまらない	あてはまらない
① お子さんとよく会話をする。	1	2	3	4
② お子さんと十分時間を過ご す。	1	2	3	4
③ お子さんと読んだ本の感想をは なし合ったりする。	1	2	3	4
④ お子さんが小さいころ、絵本の 読み聞かせをした。	1	2	3	4
⑤ お子さんと一緒に図書館に行 く。	1	2	3	4
⑥ お子さんが将来の夢をどう思 っているか知っている。	1	2	3	4
⑦ お子さんを信頼している。	1	2	3	4

問14 これまでの子育てについてのお気持ちをお聞かせください。①～④について、

もっとも近いものを選んでください。(それぞれ〇は1つ)

	あてはまる	どちらかとい うとあて はまる	どちらかとい うとあてはま らない	あてはまら ない
① 不安やイライラなどの感情を 子どもに向けたことがある。	1	2	3	4
② 子どもを育てるために我慢し ている。	1	2	3	4
③ 自分一人で育てているという 圧迫感を感じる。	1	2	3	4
④ 子どもの世話にはあまり関心 がない。	1	2	3	4

あなたの地域や友人・知人、社会との関係についてお聞きします。

問15 次のことは、あなたにどれくらいあてはまりますか。もっとも近いものを選んでください。

(それぞれ〇は1つ)

	あてはまる	どちらかという とあてはまる	どちらか という とあてはまらない	あては まらない
① 地域の行事に参加する。	1	2	3	4
② お子さんが通う学校の行事 (授業参観や運動会など)に 参加する。	1	2	3	4

問16 おうちの方を含め(子どもは除く)、あなたを支えてくれて、手伝ってくれる人はいますか。①～⑦について教えてください。(それぞれ〇は1つ)

	いる	いない	わからない
① 心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人	1	2	3
② あなたの気持ちを察して思いやってくれる人	1	2	3
③ 趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人	1	2	3
④ 子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人	1	2	3
⑤ 子どもの学びや遊びをゆたかにする情報を教えてくれる人(運動や文化活動)	1	2	3
⑥ 子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人	1	2	3
⑦ 留守を頼める人	1	2	3

健康状態等についてお聞きします。

問17 あなたとお子さんの健康状態についてお聞きします。もっとも近いものを選んでください。

(1) あなたの健康状態について(〇は1つ)

1. 良い	4. どちらかといえば悪い
2. どちらかといえば良い	5. 悪い
3. 普通	

(2) このアンケートの調査対象となっているお子さんの健康状態について (〇は1つ)

1. 良い	4. どちらかといえば悪い
2. どちらかといえば良い	5. 悪い
3. 普通	

問18 あなたの心の状態についてお聞きします。過去30日の間にどれくらいの頻度で次のことがありましたか。①～⑥について教えてください。(それぞれ〇は1つ)

	いつも	たいてい	ときどき	すこしだけ	まったくない
① 神経過敏に感じましたか。	1	2	3	4	5
② 絶望的だと感じましたか。	1	2	3	4	5
③ そわそわ、落ち着かなく感じましたか。	1	2	3	4	5
④ 気分が沈み込んで、何が起ころても気が晴れないように感じましたか。	1	2	3	4	5
⑤ 何をするのも骨折りだと感じましたか。	1	2	3	4	5
⑥ 自分は価値のない人間だと感じましたか。	1	2	3	4	5

問19 お子さんの状況についてお聞きします。過去1年間に病院や歯医者でお子さんを受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかったことがありましたか。(〇は1つ)

1. ある →問19-1へ	2. ない →問20へ
---------------	-------------

問19-1 問19で「1. ある」と答えた方にお聞きします。

その理由は何ですか。以下の1～7のうち、もっとも近いものを選んでください。(〇は1つ)

1. 公的医療保険に加入しておらず、医療費の支払いができなかったため
2. 公的医療保険に加入していたが、医療機関での自己負担金を支払うことができなかったため
3. 子ども本人が(行くのが)嫌だと言ったため
4. 医療機関までの距離が遠く、通院することが困難であったため
5. 忙しくて、医療機関に連れて行く時間がなかったため
6. 最初は受診させようと思ったが、子どもの様子を見て、受診させなくてもよいと判断したため
7. その他の理由(具体的に)

問20 お子さんのお母さん（またはお母さんにかわる方）の最終学歴を教えてください。
 (〇は1つ)

1. 中学校	4. 短大・高専
2. 高校	5. 大学（4年制）・大学院
3. 各種専門学校（高校卒業後）	6. その他（ ）

問21 お子さんのお父さん（またはお父さんにかわる方）の最終学歴を教えてください。
 (〇は1つ)

1. 中学校	4. 短大・高専
2. 高校	5. 大学（4年制）・大学院
3. 各種専門学校（高校卒業後）	6. その他（ ）

あなたの暮らしについてお聞きします。

問22 あなたの住居は、次のどれにあてはまりますか。(〇は1つ)

1. 持ち家（親・きょうだいの名義を含む）	4. 民間の賃貸住宅
2. 県営・市町村営の住宅	5. 官舎・社宅
3. 公社賃貸住宅	6. その他

問23 あなたがお住いの住宅について、どのようにお感じですか。

①～⑥について教えてください。(それぞれ〇は1つ)

	ふまん 不満	やや ふまん 不満	やや まんぞく 満足	まんぞく 満足
① 利便性の良さ（公共交通機関が使いやすい、学校や病院、買い物できる場所が近くにある）	1	2	3	4
② 子どもを遊ばせるスペースの十分さ	1	2	3	4
③ 遮音性（子どもの遊ぶ声が隣に聞こえてしまうことなど）	1	2	3	4
④ 日当たりのよさ	1	2	3	4
⑤ 風通しのよさ	1	2	3	4
⑥ 災害（水害や火災など）に対する安全性	1	2	3	4
⑦ 住宅の防犯性	1	2	3	4
⑧ 住宅に係る費用	1	2	3	4

問24 あなた（世帯の方を含む）は自家用車を持っていますか。（〇は1つ）

1. 持っている	2. 持っていない
----------	-----------

問25 あなたの家計の収支状況についてお聞きします。

(1) 前年（2017年）の1年間のあなたの家計の状況について、あてはまる番号1つに〇をつけてください。

1. 貯蓄ができています	3. 赤字でもなく黒字でもない
2. 赤字である	4. わからない

(2) 問25 (1) で「2. 赤字である」と答えた方にお聞きします。赤字の場合はどのようにしていますか。（〇は1つ）

1. 貯金、預金のとりくずし	3. 金融機関等からの借入
2. 親や親族などからの仕送り	4. その他

(3) お子さんの将来のために貯蓄をしていますか。（〇は1つ）

1. 貯蓄をしている	3. 貯蓄をするつもりはない
2. 貯蓄をしたいが、できていない	

問26 あなたの世帯では、経済的な理由で、次のような経験をされたことがありますか。おおむね半年の間でお考えください。（あてはまるものすべてに〇）

<p>1. 食費を切りつめた。</p> <p>2. 電気・ガス・水道などが止められた。</p> <p>3. 医療機関を受診できなかった。</p> <p>4. 国民健康保険料の支払いが滞ったことがある。</p> <p>5. 国民年金の支払いが滞ったことがある。</p> <p>6. 金融機関などに借金をしたことがある。</p> <p>7. クレジットカードの利用が停止になったことがある。</p> <p>8. 新しい衣服・靴を買うのを控えた。</p> <p>9. 新聞や雑誌を買うのを控えた。</p> <p>10. スマートフォンへの切替・利用を断念した。</p> <p>11. 冠婚葬祭のつきあいを控えた。</p> <p>12. 生活の見通しがたたくて不安になったことがある。</p>	<p>13. バスやモノレールの利用を控え、自転車を使ったり歩くようにした。</p> <p>14. 電話（固定・携帯）などの通信料の支払いが滞ったことがある。</p> <p>15. 家賃や住宅ローンの支払いが滞ったことがある。</p> <p>16. 趣味やレジャーの出費を減らした。</p> <p>17. 冷暖房の使用を控えた。</p> <p>18. 友人・知人との外食を控えた。</p> <p>19. 敷金・保証金等を用意できないので、住み替え・転居を断念した。</p> <p>20. 理髪店・美容院に行く回数を減らした。</p> <p>21. 子ども部屋が欲しかったがつかれなかった。</p> <p>22. 1～21の項目には、どれにもあてはまらない。</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

問27 あなたの世帯では、経済的な理由で、次のような経験をされたことがありますか。

(おおむね1年の間でお考えください。)(あてはまるものすべてに〇)

- | | |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>1. 子どもを医療機関に受診させることができなかった。</p> <p>2. 子どもの進路を変更した。</p> <p>3. 子どものための本や絵本が買えなかった。</p> <p>4. 子どもにおこづかいを渡すことができなかった。</p> <p>5. 子どもに新しい服や靴を買うことができなかった。</p> <p>6. 子どもを学校の遠足や修学旅行へ参加させることができなかった。</p> <p>7. 子どもを習い事に通わすことができなかった。</p> <p>8. 子どもを学校のクラブ活動に参加させられなかった。</p> | <p>9. 子どもを学習塾に通わすことができなかった。</p> <p>10. 子どもの誕生日を祝えなかった。</p> <p>11. 子どもにお年玉をあげることができなかった。</p> <p>12. 子どもの学校行事などに参加することができなかった。</p> <p>13. 子ども会、地域の行事(祭りなど)の活動に参加することができなかった。</p> <p>14. 家族旅行(日帰りのおでかけを含む)ができなかった。</p> <p>15. 1～14の項目には、どれにもあてはまらない。</p> |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

収入についてお聞きします。

問28 お子さんと生計を共にしている方全員の収入を合わせた「世帯の収入(年間のボーナス含む手取り額)」を教えてください。あてはまる番号1つに〇をしてください。

※収入とは、勤労収入(パート・アルバイトを含む)、事業所得(自営業等)、農業所得、不動産所得、
 利子・配当金、公的年金、その他の社会保障給付金(生活保護、児童手当、児童扶養手当、特別児童扶養
 手当)、個人年金、出稼ぎなどによる別居親族からの仕送りなど、すべてを含めた金額です。

※世帯が生活するための収入として、お父さんの勤労収入、おじいちゃんの年金、お母さんのパート
 収入など、複数の収入源がある世帯は、すべての方の収入の1年間のおおよその合計額を教えてください。

※手取り額とは、所得税・住民税などの税額、健康保険料や年金保険料・介護保険料を支払った後の金額にな
 ります。

<small>せたいしゅうにゅう がっさんち</small> <small>世帯収入 (合算値) ※世帯全体の年間、ボーナス含む手取り額</small>			
1) 0円	5) 150～200万円未満	9) 400～500万円未満	13) 800～900万円未満
2) 1～50万円未満	6) 200～250万円未満	10) 500～600万円未満	14) 900～1000万円未満
3) 50～100万円未満	7) 250～300万円未満	11) 600～700万円未満	15) 1000万円以上
4) 100～150万円未満	8) 300～400万円未満	12) 700～800万円未満	

と問28-1 せたいしゅうにゅう がっさんち 世帯収入 (合算値) のうち、次のものについて、それぞれの額を教えてください。受給し
ていない方や不明な方は「2. 受給していない」「3. 不明」に○をつけてください。

<small>じどうてあて じどうふようてあて</small> 1. 児童手当・児童扶養手当 <small>とくべつじどうふようてあて</small> 特別児童扶養手当	<small>じゆきゅう げつがく</small> 1. 受給している(月額) <input type="text"/> 万円/月 <small>じゆきゅう</small> 2. 受給していない <small>ふめい</small> 3. 不明
<small>こうてきねんきん</small> 2. 公的年金	<small>じゆきゅう げつがく</small> 1. 受給している(月額) <input type="text"/> 万円/月 <small>じゆきゅう</small> 2. 受給していない <small>ふめい</small> 3. 不明
<small>せいかつほご</small> 3. 生活保護	<small>じゆきゅう げつがく</small> 1. 受給している(月額) <input type="text"/> 万円/月 <small>じゆきゅう</small> 2. 受給していない <small>ふめい</small> 3. 不明

と問28-2 せたいしゅうにゅう がっさんち ふく 世帯収入 (合算値) に含まれている、お子さんのお母さん (またはお母さんにかわる方)
ねんかんしゅうにゅう おし のおおよその年間収入を教えてください。あてはまる番号 1つに○ をしてください。

1) 0円	5) 150～200万円未満	9) 400～500万円未満	13) 世帯収入に含まれていない、または不明
2) 1～50万円未満	6) 200～250万円未満	10) 500～600万円未満	14) お母さんはいない
3) 50～100万円未満	7) 250～300万円未満	11) 600～700万円未満	
4) 100～150万円未満	8) 300～400万円未満	12) 700万円以上	

と問28-3 せたいしゅうにゅう がっさんち ふく 世帯収入 (合算値) に含まれている、お子さんのお父さん (またはお父さんにかわる方)
ねんかんしゅうにゅう おし のおおよその年間収入を教えてください。あてはまる番号 1つに○ をしてください。

1) 0円	5) 150～200万円未満	9) 400～500万円未満	13) 世帯収入に含まれていない、または不明
2) 1～50万円未満	6) 200～250万円未満	10) 500～600万円未満	14) お父さんはいない
3) 50～100万円未満	7) 250～300万円未満	11) 600～700万円未満	
4) 100～150万円未満	8) 300～400万円未満	12) 700万円以上	

問28-4 世帯収入（合算値）に含まれている、その他の方（お父さんやお母さん以外）のおおよその年間収入を教えてください。あてはまる番号1つに○をしてください。

1) 0円	5) 150～200万円未満	9) 400～500万円未満	13) 世帯収入に含まれていない、または不明
2) 1～50万円未満	6) 200～250万円未満	10) 500～600万円未満	
3) 50～100万円未満	7) 250～300万円未満	11) 600～700万円未満	
4) 100～150万円未満	8) 300～400万円未満	12) 700万円以上	
			14) その他の方ははいない

支出についてお聞きします。

問29 あなたの世帯（生計を共にしている方）の1か月の平均的な支出（住宅ローン等の借金返済含む・税額等は含まない）はどれくらいですか。あてはまる番号1つに○をしてください。

1) 支出はまったくない	4) 10～15万円未満	7) 30～40万円未満
2) 1～5万円未満	5) 15～20万円未満	8) 40～50万円未満
3) 5～10万円未満	6) 20～30万円未満	9) 50万円以上

問30 あなたの世帯（生計を共にしている方）の1か月の食費についての平均的な支出はどれくらいですか。あてはまる番号1つに○をしてください。

1) 支出はまったくない	6) 2万5千円～3万円未満	11) 7万円～8万円未満
2) 5千円～1万円未満	7) 3万円～4万円未満	12) 8万円～9万円未満
3) 1万円～1万5千円未満	8) 4万円～5万円未満	13) 9万円～10万円未満
4) 1万5千円～2万円未満	9) 5万円～6万円未満	14) 10万円以上
5) 2万円～2万5千円未満	10) 6万円～7万円未満	

問31 あなたの世帯（生計を共にしている方）の1か月の住居費（家賃・住宅ローン）についての平均的な支出はどれくらいですか。あてはまる番号1つに○をしてください。

1) 支出はまったくない	6) 2万5千円～3万円未満	11) 6万円～7万円未満
2) 5千円～1万円未満	7) 3万円～3万5千円未満	12) 7万円～8万円未満
3) 1万円～1万5千円未満	8) 3万5千円～4万円未満	13) 8万円～9万円未満
4) 1万5千円～2万円未満	9) 4万円～5万円未満	14) 9万円～10万円未満
5) 2万円～2万5千円未満	10) 5万円～6万円未満	15) 10万円以上

問32 この調査の対象となっているお子さん1人について、学校以外の教育（学習塾や習い事）にかける1か月あたりの平均の支出はどれくらいですか。
 あてはまる番号1つに○をしてください。

1) 支出はまったくない	4) 1万円～1万5千円未満	7) 2万5千円～3万円未満
2) 5千円未満	5) 1万5千円～2万円未満	8) 3万円～5万円未満
3) 5千円～1万円未満	6) 2万円～2万5千円未満	9) 5万円以上

支援員や施設の利用についてお聞きします。

問33 あなたは市町村の支援員（※）から支援をうけたことがありますか。（○は1つ）

1. よく利用している → 問33-1 へ	4. 利用していない
2. 利用している → 問33-1 へ	5. そのようなサービスの利用できることを知らない
3. ほとんど利用していない	

※ 支援員とは、経済的に困っている世帯などの相談にのったり、必要な支援につなぐ役割をする人。
 各市町村における支援員の名称は、以下の表を参考にしてください。

市町村名	支援員名称	市町村名	支援員名称
那覇市	子ども自立支援員、子ども寄添支援員	本部町	子ども支援員
宜野湾市	子ども支援員	恩納村	すくーそーしゃるわーかー スクールソーシャルワーカー
石垣市	子ども支援コーディネーター	宜野座村	子ども支援員
浦添市	てだこ未来応援員	金武町	子どもの貧困対策支援員
名護市	子どもサポーター	読谷村	子ども支援員
糸満市	子供支援サポーター	嘉手納町	子ども支援コーディネーター
沖縄市	すくーそーしゃるわーかー スクールソーシャルワーカー	北谷町	ちいきりれーしょんしゅぽーとなー 地域リレーションシップパートナー
豊見城市	子ども支援員	北中城村	子ども支援員
うるま市	子ども支援員、家庭支援員	中城村	子ども支援員
宮古島市	子ども自立支援員	西原町	こどもすこやか応援支援員
南城市	すくーそーしゃるわーかー スクールソーシャルワーカー	与那原町	じどうじりつしえんいん 児童自立支援員
国頭村	すくーそーしゃるわーかー スクールソーシャルワーカー	南風原町	こげんきしえんいんこげんきしえんほじょいん 子ども元気支援員、子ども元気支援補助員
大宜味村	ぶながやっ子支援員	伊平屋村	しえんいん 支援員
東村	子ども支援員	八重瀬町	こそーしゃるわーかーこしえんいん 子どもソーシャルワーカー（子ども支援員）
今帰仁村	子ども応援支援専門員		

問33-1 問33で「1.よく利用している 2.利用している」と答えた人にお聞きします。
 あなたはどのような支援を受けましたか。（あてはまるものすべてに○）

1. 悩みごとの相談を聞いてもらうこと
2. 生活に関する支援（食事や生活時間に関するアドバイス、子どもの居場所及び子ども食堂へのつなぎなど）
3. 福祉に関する支援（生活保護の手続き、福祉関係機関へのつなぎなど）
4. 教育に関する支援（就学援助の手続きや学校との調整、無料塾へのつなぎ）
5. 就労に関する支援（ハローワークへのつなぎ、就労訓練など）
6. 金銭に関する支援（家計管理、借金の整理に関するアドバイスなど）
7. 住まいに関する支援（公営住宅の紹介、母子生活支援施設の紹介など）
8. その他（ ）

問34 下記のA～オの施設等についてお聞きします。
 「(1)知っているもの」、「(2)お子さんが実際に利用したことがあるもの」、
 「(3)今後利用したいと考えているもの」について、それぞれあてはまる番号
1つに○をしてください。

	(1)知っている	(2)利用したことがある	(3)今後利用したい
回答例) A施設	①. あてはまる 2. あてはまらない	①. あてはまる 2. あてはまらない	1. あてはまる 2. あてはまらない
ア. 児童センター（児童館）	1. あてはまる 2. あてはまらない	1. あてはまる 2. あてはまらない	1. あてはまる 2. あてはまらない
イ. 放課後児童クラブ（学童）	1. あてはまる 2. あてはまらない	1. あてはまる 2. あてはまらない	1. あてはまる 2. あてはまらない
ウ. 子どもの居場所※	1. あてはまる 2. あてはまらない	1. あてはまる 2. あてはまらない	1. あてはまる 2. あてはまらない
エ. 無料塾	1. あてはまる 2. あてはまらない	1. あてはまる 2. あてはまらない	1. あてはまる 2. あてはまらない
オ. 放課後子ども教室	1. あてはまる 2. あてはまらない	1. あてはまる 2. あてはまらない	1. あてはまる 2. あてはまらない

※ ここでの「子どもの居場所」とは、子どもがひとりで無料で食事ができたり、スタッフやボランティアの方が勉強を教えてくれる場所のことです。

こ しょうがくせい ほごしゃ かた き
お子さんが小学生の保護者の方のみお聞きします。

ちゅうがくせい ほごしゃ かた とい
***中学生の保護者の方は問37へ**

とい こ げんざい ほうかごじどうくらぶ い か がくどうほいく りよう まる ひと
 問35 お子さんは現在、放課後児童クラブ（以下、学童保育）を利用していますか。（〇は1つ）

- | | |
|------------------------|----------|
| 1. 利用している | →問35-1 へ |
| 2. 利用していない | →問36 へ |
| 3. 放課後児童クラブ（学童保育）を知らない | →問37 へ |

とい とい がくどうほいく りよう こた かた き
 問35-1 問35で学童保育を「1.利用している」と答えた方にお聞きします。

① げんざいりよう がくどうほいく つき りようりよう だいなど ふくむ おし
 現在利用している学童保育のひと月あたりの利用料（おやつ代等すべて含む）を教えてください。（〇は1つ）

1) 2,000円未満	4) 6,000～8,000円未満	7) 12,000～14,000円未満
2) 2,000～4,000円未満	5) 8,000～10,000円未満	8) 14,000～16,000円未満
3) 4,000～6,000円未満	6) 10,000～12,000円未満	9) 16,000円以上

② りようりよう かん まる ひと
 利用料についてどうお感じですか。（〇は1つ）

1. とても負担に感じている	4. 少し安いと感じている
2. 少し負担に感じている	5. 安いと感じている
3. 適正だと感じている	

とい とい がくどうほいく りよう こた かた き
 問36 問35で、学童保育を「2.利用していない」と答えた方にお聞きします。
 りよう りゆう おし まる
 利用していない理由を教えてください。（あてはまるものすべてに〇）

- | | |
|-----------------------------|----------|
| 1. 働いていないので利用する必要がなかった | |
| 2. 放課後、子どもの面倒をみる大人がいるので必要ない | |
| 3. 施設に空きがなく入れなかった | |
| 4. 利用したかったが、利用料が高くてあきらめた | →問36-1 へ |
| 5. 子どもだけでも心配ない | |
| 6. 塾 や習い事などをさせているから | |
| 7. 他の子育て支援施設（児童館など）を利用している | |
| 8. 放課後児童クラブ（学童保育）を知らなかった | |
| 9. その他 | |

と
問36-1 問36で「4 利用したかったが、利用料が高くてあきらめた」と答えた方にお聞きします。どのくらいの金額なら利用できると思いますか。(〇は1つ)
(参考 平成29年度 沖縄県月額利用料 9,199円)

1) 2,000円未満	4) 6,000～8,000円未満	7) 12,000～14,000円未満
2) 2,000～4,000円未満	5) 8,000～10,000円未満	8) 14,000～16,000円未満
3) 4,000～6,000円未満	6) 10,000～12,000円未満	9) 16,000円以上

と
問37 最後に、暮らしやお仕事、お子さんについてなど、制度や支援策へのご要望やご意見などが
ありましたら自由にお書きください。

※この欄に記入された内容は、個人を特定することのないよう十分に注意して集計し、公表をします。みなさんの意見を活用する際に、もし個人が特定できるような書き込みがあった場合は、その部分の公表はしませんので、安心して記入してください。

質問は以上です。調査にご協力いただきありがとうございました。

2. 自由記述欄

【保護者】

◆ 教育（全般）

- ・生活保護を受けている家庭の子どもでも部活などができるようにして欲しい。今の状況は表向きはできるはずだが、実際はユニフォームやオリ T などお金がかかることが多く、結局はできないと思う。不必要なもののお金がかかりすぎる。義務教育なのだから、みんなが平等に受けられるようにして欲しい。親の見栄が多すぎる。
- ・現在母子家庭です。来年受験を控えています。将来進学する時のことも考え、頑張っ て学 資保険等もやっていますが、なかなか貯蓄もできず、学習塾へ通うことも困難な状況です。塾の費用がもっと安く済めばいいな…と思っています。
親の都合で子供にも迷惑をかけ、又行政に頼るのも申し分けないと思いますが、自分一人では限界もあるので、子供の未来のためにも「教育」に関しては行政の方でもいっそう考 えていただければと思います。よろしくお願ひします。
- ・低所得世帯への支援が手厚いのはよくわかりますがどんな人でも恩けいを受けられるよ うにもして欲しい（例えば：医療費の無料化を県で統一する。学校給食費の無料化）
勉強して頑張っ て働いてここまで自力でやっているのに低所得の人ばかりの支援が目立 ちちょっとな一と思う本音もあります。皆自分でしっかり生活できるよう家庭教育学 校教育を充実させて、明るい未来をつくっていけたら…と思いますよー（低所得の人たち が悪いというわけでは無いですよー）
- ・学校環境の改善→教室のクーラーの設置
- ・全ての学生のために学用品などの無償提供を是非お願ひしたい。未来を担う子へ学力向上 のために教職員のレベルアップ意識向上を持ってほしい。国外への意識を向けさせるよ うに働きかけてほしい。
- ・宿題を減らして子どもたち同士で遊べる時間を増やしてほしい。学校でも勉強をして、自 宅でも勉強をするのは大変。今しかできない遊び、楽しい時間を過ごしてほしい。
- ・現在、スポーツ系の部活動に所属しています。県内でも有数の強豪校ということもあり、 かなりの練習量となっているようです。ただ、勝ち負けにこだわるあまり、部活本来の目 的とする協議を通じた先輩後輩の人間関係の構築、人や物を大切にする精神といった部 分についてはおろそかになっていると感じています。顧問についても子供の成長や技量 の上達よりも大会の成績を重視している風潮です。結果特定の生徒のみ指導し、その他の 生徒については「帰ってよい」「もう来なくてもよい」とやる気をそぐようなことを平気 で言っている。しかし、退部届を出しても、退部させないなど、この生徒の扱いをどうし たらいいのかわからない点が多い。学校側に伝えはしたが、顧問には学校内で実力者（権力を 握っている）のため、問題視してはもらえないのが現状である。
昨今のスポーツ界におけるパワハラ・セクハラ問題と大差ないものと思う。全日本である

うが沖縄県の一中学校の部活であろうが「スポーツ界における暴力行為根絶宣言」（平成25年4月25日）に基づいた健全なものでなければならないと思う。

このような家庭の環境を調査するのも大切であるが、教育の現場の実情、指導者の気まぐれで絵を積まれるようなことがあってはならないと思う。

- ・小・中学生の宿題等で答えを写す、ただ組み立てるだけでOK（時代を反映していますが）が多すぎて、将来が不安になる
- ・未来に前向きに思考するきっかけとなるカリキュラムを充実させてほしい。例：「ようこそ先輩」
子供らの同じ学校を卒業し社会でフレッシュに活躍中の諸先輩にフリートークをしてもらう。
- ・消防士・国境なき医師団・紅型職人・プロスポーツ選手 etc

◆ 教育（制度等（就学援助、給食費等））

- ・「就学援助」などの調査が長すぎる。そして厳しいように感じます。
家族6名多人数の世帯と家族4名などの少人数世帯では、比率が違います。
食費や、塾代や、衣類／ほしい物、買ってあげられない、やりたいけど行けない事をしてます。せめて、申し込んだ方々は全員援助が受けられるようにしてほしい。
1人親世帯も大変なのは分かりますが、2人親世帯も大変です。今どき、ご飯も食べれない時もあります。恥ずかしい位です。
やはり、生活するために借金します。子供手当で子供の塾代など生活に必要なものも買えません。借金返済に当ててしまいます。
子供の為にと頑張っても、毎月の返済、5月には車検34000円、2年に1回の車検があります。家賃の住宅保険も2万5千円2年に1回支払わないといけません。預金すらも、それさえできない現状です。
出費だらけです。夫はボーナスがあり、妻の私はボーナス0です。
そして子供の為に、夫婦で頑張っていますが、1人親世帯の待遇が良すぎて”離婚”を考えたこともあります。1人親だったら医療も学費も、修学旅行も制服も無料なんだろうなと思います。なぜ皆というか多子世帯の何かしらの援助がないのか不思議です。どうか助けて欲しいのに、なにも援助が受けられないのは今後不安です。助けてください。切実にそう思います。
- ・実家住まいで就学援助が受けられない。どんだけ生活費は別だと話しても、書類上は同じ実家に住んでいる祖母や兄から援助が受けられるとみなされると言われ、落ちる。実際少ない給料と手当で生活しているのに。一度も援助を受けていない（受けれる状況でない）のに。
フルタイムにしたいくてもできない状態だったりすることも考えてはくれない。中2なので児童手当でも来年まで。残り2人分でやっていけるとは思えない。

だったら、母子手当をもっと上げてくれ。

- ・収入が割とある方だと思いますが、母と同居していることもあり、支出はそれなりにあり、収入があっても支出も増えるため、そんなに豊かな暮らしはできません。

母子(父子)家庭の人は全て扶養手当が受けれたり就学援助が受けれるようにしてほしい。
(所得制限解除)

- ・就学援助の支給が遅い。4月認定でも、7月に通知8月に支給遅すぎると思う
- ・義務教育は無料だと思っていましたが、毎月の学級費、4400円の給食費、他備品代がその都度有ります。(PTA会費など)

また、子供は急な病気やケガがあり、医療費も急にかかったりします。他人にケガをさせた場合も考えて、子供用の保険も考えなければなりません。

国民の三大義務は果たしていますが、私たちが納税した分安心して子育てできるよう(せめて義務教育期間中だけでも)全ての子どもの医療費・教育費を無料にしていきたいです。

もっと兄弟姉妹を増やしてあげたい。家族大勢にしたい・・・とは思いますが、経済的に無理です。(自分たちの老後のことまで考えるとなおさらです)

消費税増税も構いません。子育てしやすくなるのなら。

そろそろ北欧をモデルにしても良いのではないのでしょうか。

児童手当もいらないのでその分保育料、医療費、教育費、児童クラブ代などを無料にしていきたいです。宜しく願いいたします。

もらえるのはラッキーと感じますが、手元から出ていくのが多すぎて・・・

- ・就学援助の認定されない理由を明確にしてほしい。給食費を一律無料にして欲しい。
- ・生活保護受給しており医療費を受けているため給食費は支払い就学援助利用できないと言われましたが、医療は毎月受けるわけでは無いのに毎月の給食費の払いがあるのはキツいと思います。
- ・就学援助制度の認定を受けた事がないので、母子・父子家庭にはもっと認定の幅を広げてほしい。
- ・教科書代が出なくても副教材費が高い。分割の支払いでも月7000円はきつい。教育に関わる全ての費用が無料になってほしい。

就学援助を受けており、部活動費が返ってくるのは助かるが、スポーツ用品は高く、一時的にでもお金が出るのがきつい。領収書を役場に提出してすぐに戻ってくるとありがたい。お金がないと、まともにスポーツもさせられないのかと悲しい気持ちになる。

児童手当は中学生までだが、上の子が高校に入学してから出費がぐんと増えた。成人するまで何かしらの手当があってほしい。

子供を育てるのに思った以上にお金がかかり、自分の欲しいものを我慢してばかり。時々まいってしまいそうになります。教育、子育てに関するすべての費用が無料になってほしい。

- ・家族が多く出費が多い為早く仕事をしなくてはいけない状態だけど、一番下の子が障害をもって生まれた事で、その子の通院、リハビリなど付き添いが必要な為、なかなか仕事を始める事が出来ない中での就学援助の制度はとても助かっています。
でも実際学校にかかる費用全部足りてるか??と言うと残念ですが足りてはいません。
みんなと同じ様に部活もしたい。チームでユニフォームを買ったり部活用品を買ったり、親・家にお金がないから部活、好きな事は出来ないっていうのは子供がとてもかわいそうです。
- 我が家は手当などをやりくりして何とか子供達がやりたい事をさせてあげているけど、もっと苦しい家計の家だとそうもいかないと思うので、きちんと調査して子供が子供らしくやりたい事、好きな事をガマンせず、思いきりチャレンジ出来る世の中になって欲しいと思います。
- ・〔補助希望〕①副読本や教科ノート等の自己購入分の教科書代②部活動の県外大会への出場する際の旅費等
- ・給食費の値下げ
- ・給食費の回収率の問題もあるかもしれないが献立の品数が少ないように感じる。
大型の給食センター1つで市内の全8小学校3中学の給食を提供するのは子供たちへの質が下がる要因になるのではないか。
県からの予算で子ども達の体や栄養バランスが取れた給食を作ることはできないのか。
他県からの引越しものなので、子供がかわいそうに感じる
- ・義務教育の間は、給食も無償化してほしい。
財政的に難しいのであれば、児童手当からその分を差し引いてもいいと思う。
貧困家庭にとって給食は生命をつなぐ大切なものだと思うのでしっかりした食べ物を保証してほしい。納付率が悪いので質が低下するということがないよう、考えてほしい。
- ・給食などは全家族で負担のない無料になるといいと思う。
- ・児童手当を給食費に充ててはどうですか？
- ・児童手当を給食費に充ててはどうですか？
- ・子供達が大きくなるにつれて本当にお金がかかるものだと思い知らされました。
今は部活をするにもチーム T やユニフォーム等いろいろとチームで同じものを買うので出費が多く…
給食費も全員無料になってくれたらありがたいと思います。
- ・給食費や修学旅行費など大きい出費は児童手当などで差し引いてもいいのではと思う(支払わない人が多いのであれば)

◆ 教育（リユース）

- ・中学生の制服の名前が刺しゅうなので、おさがりをもらいたくても、刺しゅうをはがす代金と※手間があるので、何とかしてほしい。※手間というのは…自分で刺しゅうをはがす時。
自分で剥がすとその分安くなる為。
- ・学用品や制服など、不用になってしまったものを引き取り、無料で提供もしくは、安く販売できるような場所が市町村単位であると利用しやすいかと思います。
- ・制服、教科書のリユース制度を確立してほしい。制服は3年間使うものだが、成長著しいこの時期に一式を一度に買い揃えるのは負担が大きい。おさがりなどリユースできれば助かる（しっかりした作りなので、おさがりでも状態はかなりよい）（おさがりを寄付したいが窓口がなく、破棄するのももったいない）。教科書も改訂版などでないものはリユースした方がよい。体育着、ジャージも上記を希望します。中三生対象とした受験対策講座（夏休み、冬休み）があればよい。
- ・病院受診の際、現物給付がスタートしほとんどの病院、薬局で利用でき、とてもとても助かっている。軽度の内に治療でき重症化せずに済んでいる。感謝。
小学校、中学校でのみ使う道具（鍵盤ハーモニカ、絵の具セット、書道セット、各種辞典、算数セット）、体操着、制服、ランドセル等のリサイクルがもっと当たり前のようにしてほしい。学校でも保育園や幼稚園で使ったクレヨンやハサミなど追加したら使えるようなものを”同じものもいい！”との理由で購入させるのはどうかと思う。クレヨンだけでも一人3箱あったりする。「みんなで同じものを！」は必要ないのでは？クレヨンや絵の具は単品で購入できハサミもそれぞれの子どもに合ったものを使用することでいいと思う。
- ・小学校、中学校で使ったランドセルや制服などももったいないので寄付したいが、どこに寄付したらいいかわからないので、幅広く呼び掛けしてほしい。

◆ 教育（進学・学習支援等）

- ・無料塾のお世話身なりしたいがギリ収入があるため利用が出来ません。他の兄弟の事も考えるとそうそう学習塾へお金を回す事にためらいがあります。利用できる方を少しうらやましいと思う事があります。この先、宮古島での大学はないわけでその時のお金も考えなければならぬわけですから、情報はとても必要です。
- ・離島在住な為、子供の就学に伴う渡航費等支援を充実させて欲しい。島内にも大学（専門学校等）があるといいですね。
- ・無料塾は年1回ではなく、何度か募集してほしいです。
- ・中2なので、そろそろ学習塾に通わせたいと思うが、金額が高く、なかなか、通わせることができずにいるので、無料塾を利用できればうれしいです。
無料塾の事を知らなかったもので、利用できるのか、情報収集が必要ですが、どこに確認し

たらしいのか正直、分かりません。

- ・無料塾の情報や内容を教えて欲しい送迎が難しいので学校でやってくれると助かる
- ・住宅の周辺に歩道が整備されていない為、子供の通学に関して危険を感じる。
- ・子どもが3人いて、上の子が高2なので、高校卒業後の進路を考えていますが、不安です。本人は進学したいようですが、学資保険で貯めてはいますが、それだけでは足りないと思います。下の2人もまだまだお金がかかるので、進学したという希望は叶えてあげたいのですが、足りない分を就学金で賄うとなると借金になるので返済できるのか考えると不安です。

◆ 経済（全般）

- ・高校のない地域なので15才で高校のある所へ行く為、家庭への負担があります。高校支援の充実がもっとあったらいいです…完全寮に入れるよう。1人暮らしでは、食事を初め家事に追われ、勉強もあまりできず、ストレスも不安定になる…
- ・基本的に子育てには、お金がかかります。
親が働けば保育園、学童に預かってもらいますが料金が高く仕事と子育ての両立にはとても大きな努力、我慢、頑張りが必要です。もっと安心して働けるサポート支援が必要だと感じました。（今は中学生になりましたが）しかし今でも学校行事等働く親にとってはなかなか時間の調整が難しい事が多いと感じています。
- ・私達の住む地域は、片親が多い。しかし、その親（子からしたら祖父母）と同居し、経済的にも支援されている方々が多い。そして、行政からも支援を受けている。一方、私達のような、別地域から移住し、子たくさんな家庭には、『両親の収入がある』との事で、支援を受ける条件を満たさない。子の急病でも、休める仕事ではないので、発熱している子を、ひとりで留守番させた事もある。
- ・育児サポートの仕組みはあるようだが、利用したくとも、料金がかかる。
- ・休むと収入減。
- ・離島のため物価が高い。
- ・身近に頼れる人が居ないので、（頼ったとしても情報がもれる）心理的にキツイ
制度や支援策を色々と整備したとしても、本当に必要な人に提供してもらえないのは、意味がないと思います。子宝に恵まれて幸せですが、子が、他の子達と比べて物理的に恵まれていない事を気づき始めて、ふがいない毎日です。「（片親）友達、スマホも、洋服も新しい物を、よく買ってもらって（祖父は団体役員）うらやましい。役所とかから、補助金みたいのがあるんでしょ?!」と言っている子もいます。世帯の平均収入に見合った制度を、お願いします。
- ・役場の事務補助員の収入は低く、高校生に仕送りもできません。最低賃金をベースに時給を設定するのではなく、その地域で暮らせる収入を得られるような時給を各自治体は設定するべきではないでしょうか。

そんな低所得の我が家には、就学援助金の一万数千円は「すずめの涙」「砂漠の一滴」こんなお金でどうにかなると思ってるんでしょうか？遠征も助成金があつて助かっていますが、6月末の県大会への助成金が9月になってもまだ払われないのはどうなのでしょう。貧乏いじめにも思います。早く返してほしい。

- ・離婚が成立していない別居中の世帯（家庭）にも、所得関係なく手当があればありがたいです。
- ・片親や非課税の世帯の方への支援ばかりのような気がします。両親共働きで、非課税にならなくても、低収入で、生活に苦しんでいる世帯の事も考えてほしいです。
共働きで働いているよりも逆に片親や非課税で支援を受けている世帯の方が、習い事や塾に通わせていたりして、経済的に余裕があるように見えます。我が家では習い事は知人の厚意で続けられておりますが、塾に行かせたくても、経済的に厳しく行かせる事ができません。子供の夢について、子供達ともよく話しをしますが、塾に行かせる事ができたらと毎回思い悩んでいます。中間層の世帯の事も少し考えて頂ければと思います。
- ・今は正社員として雇ってもらい、社会保険の支払いなどの心配は無くなりましたが、それまで小さい子供を母で1人で育てるには、借金をしなければ生活できない事もありました。後、子供が野球部でチームが強くなるとうれしいのですが、遠征費の負担が毎回大変です。陸上でも遠征費がかかるので宮古⇄那覇間だけでも年に3、4回行くとなると今の収入では、とても貯金はできません。医療費も歯医者に行きたいのですが他の支払を優先してたら、現金が手元になく行けない事も良くあります。周りに相談できる人はいない訳ではありませんが、金銭の相談はしたくないのです。
- ・収入が多いことでサービスが利用できない時や、額が大きいのはどうだろうと思う。自分が今の地位に着くまでお金を使い（勉強等の経費）寝ることも惜しみがんばってきた。それなのに、県は収入が多い人から税金を多くとる。子供の夢や欲しい物を買うためにはさらに働かないといけないと思いつつ収入が増える。しかし税金も増える・・・。
- ・共働きでもやっとの生活で人なみの生活を子供達にはさせようとがんばってきたのに、夫も仕事が出来なくなり私一人の給与で4人の子供を育てるのがとても苦しく、毎日がその日ぐらしの生活です。朝から夕まで毎日仕事、仕事で子供のことはほったらかしで何も出来なくて特に下の2人は生まれて来て幸せなのかなあ〜と思う事があります。産んだ事を後悔する時があります。
- ・働くほど税金が高くなり家計に余裕がでない。そのため子どもにお金をまわせない。もっと子どもがいる世帯の税金を安くしてほしい。
- ・もっともっと残業でも何でも働いて収入を増やしたいが働けば働く程、税金でもっていかれるので意味がない。やる気がでない。
- ・ローン返済、教育費、税金、医療費、学費、交通費等支出が多く、収入を得るといふより、支出の為に働かせないという感じ・・・心によゆうやゆとりはありません。日々夢ばかり見て、宝クジ購入したりなど。旅行も行きたい。連れて行ってあげたいけれど・・・子育て

て応援基金みたいに20才になったら祝金として20万給付等あっても嬉しいかな。

- ・島での生活は不便に感じるが多々あります。一番は物価が高い。ネットで注文しても船が不定期の為、台風が多い時は1か月かかる場合がある。
- ・年々子どもを育てにくくなっている。沖縄の収入は低いのに生活するための出費が多い将来が不安である。
- ・将来、子どもの進学が経済的な面で心配。不安。・ぜいたくはできないが、そこそこ生きている。

◆ 経済（支援制度等）

- ・高校の通学費の負担を支援してほしい！！
- ・高校生の娘のバス代が高いです。
オキカになる前は、バス券があり、割引がたくさんありましたが、今はぜんぜんなく、長女の時に比べ3倍くらい高くなっています。
その分、親の送迎等、時間とガソリン代が大変です。
子供達の通学費について見直ししてもらいたいです。
- ・生活がギリギリでも、小さい子供がいると働きにでるのが困難である。給食や保育料の第3子無料とあるが、上の子の年齢に上限があるため年の離れた子供の家庭は該当しない事もあり、不平等だと感じる。中学の校区が広いが決まった地域しか通学バスがなく、路線バスを利用しているが、かなり負担が大きい。どの地域にも通学バスを通し、無料になるといいと思う。
- ・婚姻歴のない未婚の母でも寡婦控除のような制度が適応されたらよい。収入を得る→税金があがる→収入を安定させないといけない→仕事優先になってくる→結果、子供との時間が減る。結局、頑張れば頑張るほど、所得と一緒に納税負担上がるは、母子家庭手当は受けられないわとなる。働かない親の方が優遇されるばかりの制度がいっぱい。
- ・児童手当が中学から減額されるのはどうしてでしょうか。小学生までよりお金を使う事が多く、高額になっています。医療費も中学まで無償になると助かると思います。
- ・子どもが多く（5名）多子としていろいろ負担軽減があるといいなと思う。年収が平均より高く、公務員であるとほとんどケアが受けられない。将来の教育費など不安は大きい。ベーシックインカムのような一律給付制度を本格的に検討すべき。低所得層にとってもプラスではないか。子どもの貧困について抜本的に解消にむけて動くべき。負の連鎖が止まらない。むしろ拡大している。
- ・児童手当の金額の増額希望。兄弟が多いと、希望する習い事に行かせられない（ピアノ、ダンス）
- ・ひとり親の家庭に対する制度をあまり知らない。もっと周知できるようにしてほしい。あっても条件等があり、なかなか利用できない事がある。
- ・看護師です。母子家庭なので生計を立てるために夜勤もしていますが、夜勤をすることで

児童扶養手当が受けられなくなった。わざわざ身を削って子どもと過ごす時間をへらし
て収入を増やしても手当がなくなるのなら夜勤をしないで手当がほしい。思春期な
のでやはり親が側に居たほうがいいと思う。いったい年間収入がいくらまでなら扶養手
当がもらえるのか役所の方に相談したが分からなかった。役所の方も細かな計算まで教え
てくれたら助かると感じた。

ファミサポを利用したが高くて頻回利用は難しい。もっと利用しやすい制度をつくっ
てほしい。

- ・多子軽減制度の適用年齢の上限を伸ばしてほしい。
- ・児童手当を4か月分×3回を2か月×6回にしてほしい。
2か月に1回受給にしたら家計がもっと楽になる。
4か月に1回は長いかな…。
- ・①離婚する為に話し合いをしている。なかなか進まなく生活が苦しい。世帯も別、別居中。
児童扶養手当は受けられてないのか？何か支援があれば知りたい。(養育費 子ども2人
(小学)で5万)
- ・②就学援助に申請したが認定されなかった。ハードルが高いのではないかと感じた。母親
1人の給料で入学準備品をそろえるのはきびしい。
- ・③ファミサポの料金をもう少し下げると利用しやすい。1人親には大変助かる制度
サポートだが何度も利用となると…苦しい
- ・行政からの支援制度や支援策の一覧表をパンフレットにして作成し、各家庭に毎年配布し
てもらいたい。(制度の周知徹底) PTA 総会等を利用して制度の説明があればなお良い。
制度の行政手続きを簡素化できるようにしてもらいたい。(提出物が多いように思われる)
- ・子供が4人おり、末っ子の代の学費がまかなえるかなどの不安が漠然としてあるが、対応
策などは考えていない。困った時に援助を安心して受けられる制度がある事を調べてお
かないといけないと感じました。
- ・児童扶養手当等大変ありがたいのですが、現況届の提出日が「平日の日中のみ」対応とい
うのが改善できないかと思う(もっと土日祝を含めたり、夜20時まで等)少しでも長く
働きたいのに手続きのために仕事を休まなければならない。ちなみに私の職場は時間休
はありません。有給を利用する場合もあるが、出来る事なら休みは少しでも子供と過ごし
たい。
- ・子供には大学まで行かせた、でも奨学金とか子供に借金みたいなのはさせたくない思い
はあるが、母子家庭なので貯金とかも厳しい・・・子供には夢があるので、経済的理由
で諦めてほしくないので、制度や支援策の情報があれば利用してみたい。
- ・離島なので交通費をもっと安くしてほしい(飛行機の運賃)
- ・スポーツや文化活動時の派遣費負担が生活費を圧迫している。本島の子供達と同様にチャ
レンジさせてあげたくても飛行機運賃、宿泊費と食費以外負担が大変で支援願いたい

◆ 経済（医療費等）

- ・離島のため、専門医を受診しようとする交通費が大きな負担になる。村からは診療であれば年4回の補助があるが、経過観察で診療扱いにならないケースや、検査を受けるだけでは全額個人負担となり、経済的に厳しい。本格的な治療では年4回では不足することもある。村からの補助が受けられない部分で、県で交通費だけでも補助があると助かるのですが…。
- ・離島に住んでいるので出産の際、石垣島まで1ヶ月間でないと行けなく、出産の際兄弟等の小さな子供は病院内へ入る事も制限されている為、兄弟がいると父親は立ち会えない、船（定期便）が出ていない時間だと父親も病院にも来れず、子供も（兄弟）見れる人がいなく安心して出産に挑めない。何とかしてもらいたい。
- ・低所得者（世帯）などに支援など
沖縄本島への定期通院（子供のみ）への補助などをもう少しちゃんとしてほしいです。宮古島市の医療ではどうにもならない場合県外での通院、入院への金銭的な制度、支援がなかなかありません。難病指定以外でも受けられる制度がありません。
- ・中学生くらいまでは医療費をタダにしてほしい
- ・子供の医療費免除の年齢をもっと引き上げてほしい
- ・子供の医療費を無料にして欲しい。前住居地では、中3まで全て無料でした。かぜやケガなどした場合、言葉は悪いのですが、気軽に病院へ行けません。早急にするべきだと思います。
- ・子どもの医療費について
 - ① 窓口支払いをなくしてほしい（市町村によってバラつきがあります）
 - ② できれば小学校を卒業するまで無料化にしてほしい。同じ県でも市町村によって医療費の無料の年齢にバラつきがあるのが不満。18才まで無料の市があるが、引っこすことはできない。
- ・ランドセル、高額すぎるから廃止してもいいと思う。リュックの方が背負いやすいし、軽くて丈夫で安い。もしくは、県から新1年生にランドセルにかわるものをプレゼント（支給）してもらいたい。それ以降は各自でリュックを購入でもいい。革製のランドセルにかわる布製のランドセルの支給や、ランドセルの支給をしている県もあるが、全国的に統一してもらえないのだろうか。
保育園の入園待機中で働けません。どうかして下さい。
- ・子供の医療費について 小学生～中学生までの医療費を全額無料にしていただけると大変助かります。市町村によって差があるので何とかしてほしい。歯科矯正なども補助費などがあればありがたい。
- ・医療費はせめて中学生までは無料にするべき。医療費問題にかなり沖縄は消極的だと日々感じる。少子化もしていくと思う。最低賃金の低さもなんだか報われない現実。
- ・子供の医療費を早く全額負担してほしい（自己負担金なし）対象年齢を就学前からせめて

小学卒業まで助けてほしいです。

- ・中学生まで医療費が無料になって欲しい。(成長するにつれ風邪をひく事は少なくなったけど、アトピー性皮膚炎で通院中。イボが出来、完治するまで通院しないといけない。子供が病院へ行くのは風邪だけではないので、意外と出費が多い。
- ・子ども医療費助成制度(通院分)を小学校入学前までではなく、高校入学前ぐらいまでにしてほしいです。
- ・子どもの医療費を中学校まで無料にしてほしい。税金を安くして！子どもに優しい社会を作るなら子どもに対して発生する費用を減らして！祖父母などの協力があるから生活できてるけど、正直生活(出費が多く)が厳しい。
- ・子供の医療費が地域により無料であったり、なかったりしているので、是非中学卒業年齢までは無料化して欲しいと思います。又、インフルエンザの予防接種の無料又は補助に関しても地区でバラつきがあるので、子供達には無料で受けられるようにして頂けたら嬉しいです。

◆ 生活(全般)

- ・離婚する度、実家へ戻ったが、ずっと親元にいるわけにはいかないはずなのに、団地の申し込みへ行ったが住んでる所があるならだめですと過去に言われた事があり、賃貸でも見たりしてますが、そうこうしている間にいろいろ不便が出たりしてます。市や不動産業の方はそういった方や転勤される方を優先的に、もう少し支援とか、心使いがあれば地元の方は行き場を見つけやすくなるのではないのでしょうか？
私は今、新しいパートナー候補がいます。子どもつれて3人でゆうゆうのんびりできる所を探してます。団地申し込みは来年チャレンジしてみますが、私のような方が少しでも住みやすくなればと願ってます。よろしくおねがいします。
- ・収入内で生活するようにしていますが、子供の修学旅行が重なった年はとてもお金の工面が厳しくなります。毎年とは言いませんが、ケースに合わせた支援があればとても助かります。
- ・全て条件満たせず受けれていません。本当最低限の暮らしです。どんなに収入があっても一馬力では余裕ありません。ぜいたくは望まないが、子供の学生の間は色んな支援がほしいです。
- ・子育てサポートセンターで塾の送迎を頼んだが、途中で急に止められたので、大変困っているがサポートしてもらえていない。
急にサポートを辞めてもらうととても対処できずに困るので、しっかり制度を見直していただきたい。
- ・地域に応じて使用できる施設に限られるのが残念。ここは子供が少なく田舎なので、子供に全然予算が充てられず、利用施設は送迎しないと行けない距離です。ますます子供がいなくなり、悪循環だと思われれます。

- ・小学生の息子がいます。高齢出産しました。旦那とは別居中でまだ離婚していません。(養育費を少しもらってます。なので)

今、息子に出来る事はやってます。将来、いつまで私は働く事が出来るのか不安です。今、出来る事として児童手当を子供の学資保険にあててます。親子で病気することも多く病院も行きます。アトピーやアレルギー体質なので医療費もかかります。親はがまんできるところまでがまんして病院に行かなかったりします。ですが子供にはがまんさせられません。病院へ行きます。勝手ながら、私の希望ですが高校生まで義務教育で、医療費も無料にして頂きたいです。私の両親が今はいますので一緒にすませてもらってます。もしもの時、私と息子は住む所も心配です。不安な気持ちになる事がたまにあります。出来る事なら息子を大学まで行かせてあげたらいいのですが、今は周囲にあわせて生活を不自由なくすごすのがいっぱいいっぱいです。勉強不足です。良い方向にアドバイスがほしいです。

- ・市街地においては、公園などがまだまだたりず働いている親の子など子供達の居場所特に高学年の子供達の居場所やあそぶ場所が全く無いので友達の家にもってゲームをしたりTVでDVDをmチアリなどをするしかないのが現況です。

やはり、色んな空地を利用してバスケットコートや野球、テニスできるスペースなどを少しでも多く設置する事によりゲームやTVなどに依存しなくなるのではと思います。スケボー広場、小さいスペースを増やし子供達の育成につなげて欲しい。お金やゲームお金をかけなくても子供達同士で仲間の和を広げる町作りをして欲しい。お金が無くても人と交わりながらスポーツも出来るそんな空間？を作って欲しい

- ・公園の整備をして欲しい。(道具がこわれたまま…) 歩道の整備をして欲しい。(草が生い茂って歩けない…)

◆ 生活（子育て支援施設）

- ・金銭面での援助も必要ですが、施設自体がなかったり、使いにくければ意味がないと思うので、よろしくをお願いします。
- ・保育料2人分で月¥45000 小学生(学童)1人分月¥16500 計¥60500 保育料だけで6万以上毎月支払いするのが苦しいです！ 保育料無料にするとか、児童手当あまりにも少なすぎます。0~1才だとミルク代+おむつ代に届きません。子供産む=お金かかる。0~20才まで×子供の人数。これでは、少子化が加速するのも当たり前です。給与が上がらない、共働きでないと生活できない。昔の日本と違う時代になっているので、支援金を今の時代に合わせるべきです。特に沖縄は、サービス業界の仕事ばかり。公務員基準で考えられると生きていけません。
- ・子どもの居場所や無料塾がある事が分からないのもっと広めてほしい。利用したいと思う人が多くいると思う。
- ・保育料の負担を軽減する政策は進んでいるが、0歳~5才で保育園を利用している世帯は、

小 1～小 3, 4 くらいまで学童の利用が必要で、保育園と同じようにお金がかかるのに、そのことはあまり議論にならない。就学支援については、持ち家がある場合は使えない（基準を満たさない）と言われた。住宅ローンがあるので賃貸と同じようにお金はかかるし、家を買った後に、病気や事故で経済状況が変わることもあるのに。基準になる収入は一昨年前のもので、今、現在、お金が無くて困っていても助けてもらえない。

- こどもを学童クラブに預けているが利用料が高い。
夏休みの時こどもひとりでも利用できる施設が近くにあると助かる。
- 母子家庭で学童と施設はかなり助かる所なんです、月額が高い。
まず母子家庭（非課税世帯）は控除があると退園したと聞いて納得いかなかった。もっとアピールすべき（ホームページには調べてみたら案内はあった）
知らない人からしたら、学童や無認可保育園とかはこういった母子家庭の人たちの控除がないと認識していると思う。
なんでこんな案内をしてくれなかったのか（ほかに母子家庭の人がいてその家庭には直接園から声かけがあったそうです）聞いたら「そちらの世帯は非課税世帯じゃないと思った」と言われた。理由があまりにもヒドすぎる。ちゃんと世帯状況等の資料は出しているのに。
- 子供が 3 人います。保育料が第 3 子ではなく上の兄姉が年が離れているため第 1 子の料金で高額です。第 3 子として対応してほしいです。経済的に厳しいです。
- 離島には支援センターや学童、児童館などの施設がありません。子どもを安全に遊ばせる場所が少ないと感じます。今後子どもにとって安心安全に住める島になってほしいと思っています
- 伊平屋村には学童がないのであったら、利用したい。
- 家の近くに子供の居場所があると安心（お迎えに行かなくてもいいので）仕事の時間上お迎えが厳しいのでバスや近くだと助かります。時間が気になっては仕事が少し集中できないかも。人をお願いする事も少し気が引け、大変
- 政党が左右し差別があったりする地域です。放課後の支援等が体制的にありません。
最近、共働きの家庭が多く、子ども達は野放し状態で、老親が教員だと、親の職場が遊び場となり中学生の部活の邪魔をしても先生方は注意もせず、野放し、かえって部活を見ずに子守ですか？状態の時もあり、テニスコートは自転車乗り場？！みたいな状態です。
下手したら平気で授業中、廊下をうろうろし授業妨害します。ありえません。
- 西表島は保育所にこどもが 2 才からしか入れずお母さんが 3 年近く仕事が出来ない状況です。もう少し早い時期から預けられると仕事に復帰しやすいと思います。
夏休みや土日など、こどもだけで留守番にすることが多いので西表島にも児童館みたいなものがあれば安心して仕事が出来ると思う。お友達にお金を払って預けて仕事に行ったりすることもありました。
- 十分な生活をするためには両親が働かなくてはいけない。そうすると小さな子供をあずけ

る施設が必要。でも、人数の制限で利用できない。もう少し小さな子供をあずけられる施設が必要だと思います。

- ・ 子どもの居場所がもっと近所であれば是非利用させていただきたいと思う。
両親が帰宅するまでの時間安全に安心できる環境で過ごして欲しい。
- ・ 子供が住みやすい安全である生活が良い
施設など利用したいがお金がかかるので難しい。
子供が4人もいるので生活ができない
- ・ 共働き家庭で、小1の息子は普段学童に預けていますが、おとなしい性格のため、迎えに行くとき一人ボッチでいることが多いのがとても気になります。
活発な子は学童を楽しめているようですが、そうでない子も楽しめるような支援や工夫、支援員の増員などがあると親としても安心して預けられます。
また、支援員さんもアルバイトの学生もいる（夏休みだけかもしれません）ようで、子供達との関わり方に？と思うこともあり、できれば専門的な知識や資格を持った人が望ましいですが、それが無理であればバイト生の指導もしっかりしてほしいと思いました。
- ・ 浦添市のように放課後、子ども教室をボランティアによって開いてほしい。
(例) 三味線教室、おりがみクラブ、和だいきクラブ、絵画教室など(週1回でもいいので)
放課後、ボランティアによって無料塾を開いてほしい。
- ・ 1歳の子が保育園に入れず、仕事を辞めてしまい、経済的にも厳しくなり、自分の時間も持てなくなった。保育園、待機児童をなくしてほしいです。
- ・ 子どもが放課後過ごすことができる児童館の充実、無料で勉強を教えてくれるボランティアの塾(学校と連携)があったらうれしい
- ・ 支援センター(児童館)が少なすぎます。子供が友達と遊ぶ場所がだんだん少なくなっています。場所をお金で買って子供をそこで待たせる感じがします。子供を守らなくてはいけないはずなのにその場所さえもないのがとても困ります。
- ・ 共働きのうえ、地元ではないので(頼れる人が近くにいないので)放課後、1人にさせているのが不安である。弟がいるので、本人より弟たちを優先して子育てをせざるを得ないため、精神面や家庭学習を殆ど1人でさせている環境をどうにかしたいと思っているが、本人が学童の利用やクラブ活動を拒否するので、断念している。利用しやすい(子・親)施設があればいいなと思うが、料金が高いとあきらめてしまう。
- ・ 長期休か(夏休みなど)の時のみ利用できる学童があればいいなと思います。・ 子供だけが安心して遊べる場所が減ってるなと感じています。海や川などは危ないし、虫とりなども草村に入ったりハブが気になったり。遊具のある公園もいはいけれど、森林公園の様なものがあると嬉しいです。職場体験の様な感じで「大学体験」「高校体験」の様な近い未来をイメージできる制度(?)があればいいなと思います。
- ・ 学校で放課後2時間程度過ごせる(運動場・遊具・図書館)環境を取り戻すことが大事だと考えます。子どもの頃の一つの楽しみで、異年齢の子や友人たちとのコミュニケーション

ンを広げる場でした。その場が細かく分けられず、いろんな人と関わる経験を持つ意味で、大切な時間だったを感じています。現代なら、ボランティアを入れて多目的室(校内)で子どもの居場所作りをするなど新しい試みを実践している所もあり、良いなと思います。また、土曜日の4校時を再開することで、子どもたちの日々の学習時間の長さの負担を軽減できます。ひいては、集中力、効率のアップ→学力向上へとつながると思います。子どもたちはさまよっています。

◆ 生活（相談体制）

- ・仕事や子育てについて、1人親なので不安に感じる人が多いです。周りに頼りになる人や親族もいないので、相談する支援員さんが島にいてくれたらと思ったこともあります。
- ・気楽に相談に行けたり、ただ話ができる場所（寮母さんのような存在）があると、孤独な子育てが減ると思う。孤独な子育てが減ると虐待が減ると思う。
- ・制度や支援策も大切ですが、苦しいときや大変な時に支えが身近にあればもっといいと思います。私は別居の為、制度や支援を使う事ができませんが、支えてくれる人が身近に複数いるだけで子ども達・仕事も充実し楽しめます。子どもを含む(お父さん、お母さん)が個立しないように周りや地域が寄り添ってあげて欲しいです。
- ・子どもが学校での、教師との相性または感性が合わないらしく、時々学校へ行きたがらない時がある。「スクールカウンセラーや保健室は利用したくない」と言う場合、子どもに対してどう接したら良いかを悩む時がある。子どもが相談や雑談をしやすい様な場所をつくって欲しい。
- ・期限付きの「子どもの貧困対策予算」では、沖縄の貧困を含む 虐待等の「負の連鎖」を断ち切ることはできないでしょう。専門性の低い支援員を多く採用するよりも、社会福祉士や精神保健福祉士の資格のある人材を、給与面を保障し採用すべきである。貧困対策の予算で終了した後は、しっかり市町村の予算で採用すべきである。こどもの居場所作りは、重要だが、最も支援を必要とする世帯のこども達は、このサービスにはつながっていない。アウトリーチ含め、サービス提供が必要だが、サービスを求めない世帯に長期的に関わるシステムと人材、専門性が求められる。行政機関含め、民間の事業所・病院が連動して、活動できるシステムが求められる。「負の連鎖」を事務的に介入できる。母子包括支援センターを全ての市町村で実施し、保健師のみならず、生活支援を専門とするソーシャルワーカーをしっかりと配置すべきである。厚労省のモデルには、ソーシャルワーカーの配置が入っている中、市町村では、保健師のみを採用する傾向があり、専門職が偏らない様に県(?)は指導すべきである。
- ・発達障害の子への支援、援助があったらいいなと思います。毎日悩みや不安をかかえ、絶望的になる日もあります。発達障害児をかかえる親へ向けた相談窓口的なものがあれば利用していきたいです。現在、琉球病院へ相談したりしているのですが、遠くて、時間やコスト、交通費もかかるため、負担になります。よろしくお願いします。

- ・スクールカウンセラーへの相談受付についての手紙が届きますが、相談日が平日だと利用しづらい。事前の予約制で保護者が休みの日、時間帯に受けられるようにしてほしいと思うことがある。
- ・だんだん反抗的になってきて会話が续かなくなり、娘も私もヘトヘト…。仲は良い方だと思うんですが、こういう時に相談できるところってどこなんだろうって疑問！

◆ 雇用・労働

- ・仕事の職種がもっとあると、好きな仕事を選べて、働く意欲ややりがいを感じられると思う。もっともっと子育てを支援してくれる制度を、自分が住んでいる地域にも取り入れてほしい。
- ・子供をもつ母親の勤務時間について。働きやすい時間帯をもっと増やしてほしいです。休みも子供と過ごしたいので、土日祝がいいです。9:00-15:00, 9:00-14:00, 10:00-15:00, 10:00-14:00 等
- ・1日の労働時間が長く一緒に過ごすことができない。*現在仕事で人員不足が加速し、入社される方もいない状況です。
仕事の立場が役職ある以上責任が重圧となりなかなか帰れず帰宅が遅れる。平均夜7:00~8:00が続いている。
年間所得の引き上げをして欲しい(パートさんを会社が雇用して働いているが人手不足であっても出勤時間や日数を増やして対応してもらえない)時給は上がるのに対応する社員として働く私達は苦しい。
沖縄県は低所得なのに食費代(スーパーで購入する食材の値段等)や生活費(水道光熱費)が本土と変わらない。だから貧困から抜け出せないとニュース(新聞)でも聞いている。所得(賃金)にあったその他の出費や支出も含めて今後沖縄県の生活にあった金額を設定し、対応して欲しい。貧しいのは声に出しては言えません。歯を食いしばって働いている分、収入があるとみなされるので(私は子供手当を将来の子供の為にと思いずっと貯金しています。生活が苦しくても使わずやりくりしています。児童手当を支給して下さりありがとうございます。将来に活かしていきます。)
- ・高齢で出産し 主人も60代で、今までの様に体が思う様に動かなくなっている現状で、自営業のサポートのつもりで始めたパートも、短時間では大した収入にならず、子供の進学費用、夫婦の老後の生活費用、主人の病院代など今後必要となってくる金額を考えると、パート代だけではまかなえない為、体を無理してでも主人に現役を続けてもらえない。老後の家賃を払いつづける心配から、家を建てる事も考え貯金も少しはしたが、不動産バブルのようで、全く手が出ない。3つ仕事をかけもちしている為 家事もなかなか時間がとれないが主人も仕事のハードさと年齢のせいですぐ疲れを手伝いが期待できない 家事サービスを頼もうか考えたが料金面で無理だろうと・・・調べる腰も重い。仕事ばかりしていて、最近楽しい事がないと感じているが子供にこの様な姿を見せるのも

よくないと感じる

- 近年、特に感じたことは、幼稚園の学童廃止等、地域の特性に合っていないような事はしないでもらいたいです。特にうるま市。沖縄県では共働き世帯が多いのに対し、学童を廃止、幼稚園での延長、預かりサービスがあっても、定員人数の制限や土曜日は休みであるなど、働きたくとも上記サービスでは満足に働けず、結果経済的につらくなってしまふ。わざわざ状況の違う県外にあわせる意味がわからない。また子育てをしているお母さんの気持ち（イライラや不安）などアンケートを含め色々な方法で集め、知るのであれば保育園で「仕事が休みの日は子どもを預けないで」という今の状況を変えてほしい。その一日があるだけでも心のゆとりができ、子育てへのゆとりもでき、子どもとの関係も良くなると思います。
- 妊娠、出産の為に女性は仕事を辞めなければ行けなかつたりする人が多くいる中、その期間は一時的に収入が減少することが予想されます。経済的な理由で、妊娠、出産を考えさせらる事もあると思います。少子化をうたっている世の中ですが、女性に対する支援等が手薄いような気がします。
退職後（社会保険等のない場合）は、半年間でもいいので、国からの支援（希望は月5万くらい）があれば、精神的にも少し楽になるのになと思います。子ども手当とは別にないと厳しい。

◆ その他

- 現在、子どもとはいえ、ケイタイやネット、ゲーム機、物品にしろ、いい物をもっている子が多い。ゲームなんて、もっていないと、仲間に入れてもらえず 会話にもついていけない状況。なので イジメも嫌な思いをしない為、ゲームの購入をしてしまふ。部活もさせたいけど 物品の購入、休みの日の送迎などを考えるとさせきれない。子どもはやりたいと話をするが、共働きで時間がなくさせきれない。生活でいっぱい。
また、夫婦共働きでがんばっている。子どもとの時間を大切にしているので全部子どもに合わせて家事もしている。夫は夜遅く母子家庭みたいな生活。夫婦でぶつからないようにストレスを溜めまくり。一方、友人を見ると母子だけど、いい洋服、病院も気にせずつれて行ったり、お母さんも歯医者やはり灸、整骨院に気軽に行っている。「母子の人には、母子の方が保障手厚いよ～」と言われ、何度も離婚を考えたりする。
一番は継続するのが難しく、頑張っている人が バカを見るではないけど、離婚をうながしている制度にしかみえない。本当に大変な母子もいるとは思いますが、現状では、保障を手厚くするほど増えると思います。沖縄県なら、結婚が続いている人にも、焦点を当て欲しい。がんばって夫婦で子育てをして欲しいと応援するなら、夫婦支援金や低価であずけられる場所、お得なやり方を教えてくれる支援員など あと、会社の年休も少ないのに台風の時には安全の為 小学校から帰される。会社の休みの基準（労働基準）の中に、保育園、小学校、中学校、高校などが急遽休みになったら、すぐお迎えに行けるような対

策もとるべきだと考えます！

実際、理想論でなく本当にちゃんと子育てはしたいので本当に検討をお願いします！

- ・行政はこのようなアンケートで何を改善したいのですか？このアンケートで、5年後、10年後、私達の子育てに変化はありますか？私達も本気で頑張ります。行政側も本気で子育て支援など頑張ってください。今までの用な、形だけのアンケートなどはいりません。本気になって行政も頑張ってください。
- ・このようなアンケートに税金を使うより貧困対策等にもっと活かせるので無いでしょうか？
- ・結局生活が苦しくても豊かにない賭け手入れも、税金とられて母子家庭でも住民税の支払い来て、支払い出来ず困っていたら延滞料まで着いてきて請求されて、全く豊かになりません。この調査も意味ありますか？
- ・小6の次男がサッカークラブに入っていますが週末（土・日）の活動時間が長く（ほぼ丸1日）勉強や家族とのコミュニケーションが難しくなっています。週末の活動時間を県で制限してほしいです！
- ・親の勝手や認識不足などで子ども達が参加したい行事に制限をかける親が増えているように感じます。子ども達には多くの体験や経験をさせることが親の役目だと思います。面倒くさいの一言で、子ども達のせつかくのチャンスを潰すのは勿体ないです。地域行事や子供会などに参加しやすい制度があれば嬉しいです。例えば、自治会などに補助金を入れて地域行事の負担を減らし、楽しく参加できる仕組みがあれば良いかと常々思っています。地域が一つになると子ども達も元気になると思います。
- ・帰り道ですが農道を歩いて帰るので部活で帰りが遅くなった時暗くて自販機の明かりをたよりに小走りで帰ってくるそうです農道に明かり 街灯をつけてほしい
- ・＜街灯設置を増設＞
※学校の廻りや横断歩道にいたっては町中や学校でも、街灯が無く歩いて登下校？？
実現は夕方暗くて人道も無く危ない！
是非、早く必要な個所に街灯を設置してください。「子ども、老人、成人、運転している人」皆さんに安全な街づくりを！
学校教室にクーラーとかより早急に対応をお願いいたします。
子供の下校時は暗くて送迎をし、かつ暗く運転時町中でも横断者が見えなくてヒヤッとした事は何度もあります。この文書をご覧の方も同じ思いをした事あると思います。
- ・沖縄は交通の便が悪いので、車が運転できて当たり前みたいなどころがあり、私みたいに運転できないと、仕事も探すのが難しいし、”何で運転しないの？”って言われて少し嫌な思いをします。もう少しバスが使いやすかったら(安かったら)なあと思います。学童など働いてるお母さん・お父さんたちのための施設を充実させることも必要かもしれませんが、それよりも、お父さん・お母さんたちが安心して、子ども達ともっと一緒に時間を過ごせるような支援があればいいのになあと思います。経済的に働かないといけない

と無理とか、仕事が好きで辞めたくないとか、家庭それぞれだし、いろんな形があるのは分かっています。でも、子どもの成長はその子のその一瞬しかないし、その一瞬一瞬の積み重ねが未来の日本(又は世界)を作っていくと思います。親がいっぱいいっぱいになって、子どもに当たらなくてもいいように、心がゆとりが持てるようなそんな地域(社会)が増えてほしいです。

自由記述欄

【子ども】

◆ 教育（勉強）

- ・全然勉強が追いつけなく、学校に来て意味があるのかと思う。友達関係が怖い
ストレスで頭が真っ白になることがよくある
- ・全然勉強ができなくて、学級では級長だけど、自分は他人と違うのではと思ってます。一度、病院で検査したいくらいです。それから、勉強の仕方がわかりません。とつてもわかりやすく教えてくれる塾とかありませんかー？！
- ・僕は悩みがあります。それは親が頑張ってるのに成績をなかなか上げれなくて親を困らせていることです。
- ・自分に自信がない、本当の気持ちと言えない、友達にたくさんの嘘をついてしまった、自分が存在する意味が分からない
- ・自信のつけ方を教えてほしい。
- ・悩みコーナー 1つめ…家のころ、母が困っていたのを知らなくて、後悔している。シングルマザーで大変してたのに何も知らないで、寝たり、毎日普通に過ごしてた。ゴメン。2つめ…眉、濃ゆすぎ（笑）いじめられたりする。（友達に）自分も嫌いだから、いじらしてほしーけど、学校が…。ムリかもで。（泣） 3つめ…大学について。大学って高いんだよね??もって母に迷惑になるのかな?? 4つめ…最後。最終的には、大丈夫になった（笑） 5つめ…こんな相談で助かる人絶対います！応援してます！沖縄・日本が、とつてもよくなりますよーに！！
- ・今塾に通っているのですが、自分には塾があつていないと思うのです。
それは親は厳しい所良いと言って先生が厳しい塾へ通っているのですが、先生からの言葉などが厳しすぎて勉強が今まで以上に嫌いになったし、前よりも勉強ができなくなつたと思います。
親にやめたいといつても「大丈夫」としか言われなくて、部活でも怒られたりするのです。ストレスが溜まり精神的にちょっときついです。
今、本当にきついです。精神的にもヤバくて死にたいと思つたこともあります。本当に何もかもやめたいです。

◆ 教育（学校生活）

- ・今日、9/5(水)、英語の時間先生に、腹パンみたいなのをされた。（地味に痛かつた。）←それは、親に言えなかつたから、これに書きました。
- ・僕の担任の、先生が、（女の先生です。）理不尽で、殴つたり、愚痴を言つて休み時間を潰したりして、それなのに、表や他の先生には、良い顔をして、授業参観は、化粧もして、笑つて、殴らないから、殴つたり、大人や人が違つたと、態度を変えるのがイヤ。友達関係

でたまに仲間外れにされたり、殴られたり、(殴り返すけど、)されたり、笑いのためにされたりされるのがイヤ。

- 学校は楽しくない。先生も嫌な人が大半。楽しくない。友達楽しい。サッカーも楽しい。体罰する先生はいる。
- 学校で荷物をもうちょっと減らしてほしい
- 学校に教科書が置けない。かばんがとても重い。教科書+部活の道具だから重すぎる。
- ランドセルが重たいので必要な教科書だけを持ち帰り必要ではない教科書は学校に置いておいてもいいですか？
- 学校はランドセルじゃなくてリュックサックで通いたいです。
- 学校の教科書が重たく、登校がきついです。
- 教科書が重たいので、学校に置きたい。重すぎて登校がイヤだ！！かばんのひもが切れる。
- スマホの持ち込み、OK などこと、ダメなところがあり、全て同じにしてほしい。
- 先生たちの差別。・夏休みの宿題を減らしてほしい。・学校の身なりとか違反が結構厳しい。・髪型とかを大人が決めることはないと思う。・クーラーをつけてほしい。・携帯電話、スマホを持ってきてもいいと思う。今はそういう時代でもあるしもしなんかあったとき親とかに連絡とれないときとか不便。
- 学校のルールは厳しすぎると思う。子どもの不満や苦しんでいるのに、ルールにしばられて、子どもの未来や、本当の幸せに気づいていないと思う。
先生方は、子どもの未来を保障しないのにあまり口出ししないでほしい。
- 中学校は自由があまりないと私は思っています。
暑いのに制服を着て、先生には関係のない意味のない決まりにしばりつけられ、中1の頃から「受験」と「勉強」と「決まっているから」という3つの言葉を先生から聞かされています。正直学校は大きいです。そんな決まりがあるから、みんながイラついて弱い人をいじめてその人が不登校になるのだと私は思っています。なぜ、外国は決まりがないのに日本はあるのでしょうか？意味のないことばかりやっているから生意気な中学生に文句を言われるのは、ムカつくと思いますが、私はそう思っています。友達と勉強はきらいではありません。先生方のかたい頭がきらいです。「昔からそうだから」なんて言うけど、だから変えないといけないんでしょう？子供が楽しく学校に行けるように努力してほしいです。少しでもいいから自由にしてください。
- クーラーをつける時に先生がいないといけないのは、おかしい。先生は職員室でクーラーガンガンですずしいのに自分たちはだめなんておかしい。別に自分はきたくて学校にいつてるんじゃないし、強制的に行かされてるのだからそこらへんは自由にしてほしい。あとスマホをいいことにしてほしい。別に授業中にいじらせたくないのなら、その時はその時だと思う。別に自分の事はどうなろうと先生とかにはかんけいない、いねむりもそう思う。
- 普通、児童生徒の上に立ち教育をすべきの教育者、先生方が生徒に対し教育に悪いのでは

という言葉が発する場面が最近多く見受けられます。親身になってくれる先生もいらっしゃいますがそれが普通であるはずなのにそのような先生が少ないと感じます。暴言や罵倒を浴びせる先生と浴びてしまう生徒は一部で自分は言われたことはありませんがそのような場面に出くわし聞いていると胸糞悪いです。今、教育委員会や各学校ではいじめ対策を練られていると思いますが、生徒の教育ではなく、まず教師側への教育が必要ではないのでしょうか？正直自分の方が世の中をわきまえていると感じるときも沢山あります。何故学区で学校が勝手に別れ人間的に欠けている指導者から物事を教わらなければならないのでしょうか。いじめも生徒同士だけではなく先生に問題がある場合もあります。今一度教育指導を行うべきだと思います。学校行きたくないです。

- 先生を怒らせてしまったときに職員室に行って呼び止めて謝るのがめんどくさい。陽キャと陰キャへの対応が違いすぎる。(平等に接してほしい)。男の先生が距離が近い。授業中なのに廊下でめっちゃでかい声で怒鳴って怒るのはどうかと思う。(ほかのクラスの邪魔だし授業が進まない。しかるんだったら休み時間に別室でやれよって思う)
- 勉強がいみがわからないのでよくわかるようにしてほしい。
- 先生は人の話を聞かずにしかる。
- ケシゴム忘れたくらいで、電話する人(先生)がいる。• せんせいはうそつきだ!!
- 先生達の差別がある。
- 別に学校生活でイキってる訳では無いけど、教師に従いたくない。理由は、時期的な問題もあるかも知れないけど(思春期とか)単純に、生徒に学校の理想像を押し付けすぎ。表では、個性を生かす為だとか、将来の為だとか言ってるけど、校則が厳しすぎて逆に潰してるし、意味の分からない校則がある。その理由を聞いても、「私には分からない」だとか「校則だから」だとか使えない返答しか返って来ない。髪をストレートにする事の何が悪い。アホ毛などを抑える為に少し髪を固めて(クセ毛に悩んでいる人もたくさんいる)何が悪い。(アホ毛ビンビンの方が不潔)朝会とかの話も綺麗事だらけ。教師は分からないとは思いますが、クラス内でのスクールカーストとか普通にありますよ。皆言わないけど、雰囲気に従わずにはいられない。担任がそれに気づいたとしても、動かない(生徒を助けたとしても)もしくは、お金が変わることがないから関係ないんですよね。ムダな時間、めんどろな事としか思っていないんですよねw) ←本当にそう思っていたとしたら、教師やめろ。今、不安な生徒もイジメを受けている生徒も誰が手を差し伸べるの？クソ教師ばかり。
- 先生が私達への差別がひどいなと思いました。例えば…男の先生はカワイイ子には優しいのに男子には厳しいとか、女の先生は頭のいい生徒にしか成績を期待しないとかなどです。私はそんな世の中はいやだなと思います!!
- 連帯責任と学校で言われるが、正直めんどくさい。友達、クラスの人ならまだしも関係ない人のために自分の時間を使いたくない。授業妨害をしてくる人とクラスを分けてほしい。

- ・先生達が生徒にたいする差別をやめてほしい。
- ・学校の先生は、私達にルールを色々言うくせに自分達はそのルールを守らないことが多い
先生たちだけ休み時間コーヒーやお菓子を食べているからいんちき
冬場先生たちだけ体育の時間長そで長ズボンをつけている。からいんちき（私たちは半そで半ズボン（さむい））から。スパッツぐらいはつけさせてほしい。
勉強時間ぐらいせめてそんなに怒らないでほしい（大人へ） 全員
理由：大人が怒りすぎるとこっちが逆に集中力を無くしちゃうから
いっぱいほめてほしい（おとなへ） 全員
理由：そしたら、勉強の集中力もぐんと伸びて勉強しやすくてもっとやりたいという気持ちが高まるからたまには一緒に遊んでほしい。大人も動いて健康になってほしいから
- ・学校の先生がいや。もっと平等に、ひいきをしてほしくない。
- ・学校の先生の中で生徒の事を考えている人が少ない
目の前で生徒が悪い事をしてても注意しない（笑って見てる時もある）
→でも生徒に怒る時は「あなたたちが〜だから」「あなたたちが悪い」と、全て生徒のせいにしてるように思う。先生方の指導から見直してほしい。学校全体で個人的に良いと思う先生は2～3人ぐらい
- ・学校の先生はいじめられている人が目のまえにいても無視をし、注意をしない先生はたくさんいます。私はそれを見るととても残念だな、と思います。申し出にくいですが、こういう大人は、それなりのしよぶんが必要かと思います。また、教師の指導もしっかり行っていただけるとうれしいです。
- ・部活の休みの日を週1じゃなくてせめて週2にしてほしい。
- ・学校にクーラーをつけてください
- ・学校にクーラーをつけてくれてありがとうございます！！授業に集中しやすくなりました！！
- ・夏休みの宿題が多い。
- ・宿題をこの世から無くしてほしい。
- ・宿題を少なくしてほしい
- ・宿題を減らしてほしい。休みなのに宿題を出さないで欲しい。(個人で勉強はするので…。)
- ・勉強、少なくしてほしい。
- ・夏休みは休みの期間なのに宿題が多いのはなぜ。
- ・夏休み宿題を出すのはいいけど、部活もあって陸上もあるから、学校の日までに間に合いません。
- ・無理に給食を食べさせないでください。
宿題を減らしてください。※毎日、部活と学校とならい事があって忙しくて毎日苦しいです。
- ・宿題をすくなくしたり、あせらないでほしい、夏休みが休めない

- ・夏休みが長くなってほしい。部活がとっても楽しい。
- ・夏休みを増やしてください。
- ・夏休みをもう少し増やしてほしいです。
- ・学校の授業で会社などの仕事についてもっと学びたい。
- ・私のまわりで最近、吐き気がする人や体調が悪い人がけっこういます。一時的じゃなくてずっとです。私自身も特に学校にいるときによく吐き気がします。それって学校の周りの環境（酸素の量）とかと関係があるのかなと少し思っています、今年に入ってから急にです。保健の時間に酸素か二酸化炭素の量が少なくなると人間は吐き気などで体調が悪くなると習いました。ちなみに学校はA中学校です。もし、ちょっとでも気になったら少しでもいいので調べてほしいです。
- ・大人に自分たちの悩み(考え)を聞いてもらい解決してもらいたい。(例)自分たちの学年は1学級40人生徒がいるがその40人を減らしてほしい。理由、40人だと授業中騒がしくなり集中できなくなる。先生たちが一人一人に教えられない。
- ・子どもたちだけで計画して実行することをもう少し増やしてほしいです。
- ・もっと中部や北部の小学校との交流がしたい。・運動場に、もっと遊具を増やしてほしい。・それぞれの小学校で、地域の人でも来れる大きな祭りを、開催してほしい。
- ・放課後に(私が塾ない日)に先生が用事が無い日に勉強わからなかったところ教えてほしい!
- ・図書室の本を増やして下さい
- ・給食メニューがおいしくない。ごはんを牛乳と一緒に食べたくない。学校が6校時までは長すぎる。土曜日学校にしているのも毎日5校時にしてほしい。夏の運動会は練習も当日も暑くてつらい。冬の学習発表会と変えてほしい(子と話しながら親が記入してます)
- ・45分の長い休み時間に毎日エイサー練習があつて遊べないから週に2回ぐらいはエイサー練習をやらなくていいと思う。
- ・最近、築〇〇年の学校が増えてきており、もし地震や津波が来た時に、崩れたり、避難場所なのに利用できない、そんなことが起こったら嫌なので、修復してほしいな一っと思いました。交流学习とかやってみたい(県内で?)
- ・学校になんで行かないといけないの?トイレ汚い放送機器直して早く校舎建て替えて一!!学校なんかいきたくない。授業も楽しくない。勉強したくない。信頼できる友達はこのクラスにいない。みんなどうせ裏でコソコソしてるんでしょ一!!
- ・修学旅行も行きたくない。班なんでクラス限定なの?なんで自分がガマンしなきゃいけないの?皆ワガママばかり。なんなの?クラス関係なく自分の好きな友達といきたい…せつかく高い金出してるのに楽しめない——!!
- ・私はスクールカウンセラーをやったことがあります。なんでカウンセラーの人は話したことを誰にも言わないと聞いているのに先生には話すんですか?私は自分の言うことが変と

思われただけでおかしいと思います。私は先生に話されることが嫌なのでカウンセラーを受けるのをやめました。このことをお母さんに話したら「そっか〜、嫌なことがあったら無理しないで話してね！」と言われました。でも話せるか心配です。たぶん話せないと思います。

- ・ 大学に行くためのお金をもっと安くしてほしい
- ・ 放課後、授業で分からなかった所を教えてもらいたい。

◆ 教育（大人への思い）

- ・ 大人の方は子供にあいさつをしろというのに、大人は子供やいろいろな人にあいさつをしていないと思う。
- ・ 大人の方はよくあいさつしてとか言ってるけど、あいさつしても返されない時があるから、傷付くし、あいさつする気を無くしてしまい、やりたくなくなってくる。このアンケートは答えたくない所がなく、答えやすかったです。
- ・ 最近大人の方があいさつをしていません。子どもにお手本を見せてください。
- ・ 大人は信用できません。
- ・ 大人は嘘つき
- ・ 何故、大人は子どもに注意をするくせに、自分はそれをやっているんですか？理不尽だと思います。
- ・ なぜ大人は自分勝手なのか。
事件などを隠蔽するのか。
沖縄に基地を押し付けるのか。
子どもの考えを聞けないのか。
子をきちんとまっすぐな子に育てないのか。
問題だと思います。
- ・ 大人へ
言っていることとやっていることがちがいますよ。
ちゃんと自分の間違いを認めて。
なんで大人はすぐ態度が変わるの？なんで大人は1回決めたことをまた違うことに変えるの？なんで大人はいつも「大人だから〇〇〇できるんだよ！」「大人だから〜」って言うの？みんな同じ人間じゃないすか？でも、自分のために仕事で忙しい中頑張って塾の送り迎えや家事を同時にやるから感謝します。シングルマザーは大変だと思うけど私がバイトなどで働いてお金をもらって母に親孝行したいと思います。
- ・ 「大人は信用できる」という質問があったけど不審者情報や殺人もあるから信用できないにした。
- ・ 大人は、なんでも、自分が正しいと言うので、間違っていると思います。大人は、子どもには、間違っているのを認めなさいというけど、自分が間違ったら文句を言うので正しく

ないと思います。正しい人なら自分の間違いを認めて、手本を見せると思います。

- ・私は、大人はりふじんだと思います。私達の話を書いてくれないし、いわないといって、いいました。大人にはもう何もいいたくないし、信じられません。私達のことを考えてほしいです。自分も好きではありません。
- ・大人は子供を助けるとか言って助けてくれない。学校の先生も信用できるのは数名。親も自分の苦しさに気づいてくれない。
- ・大人の方は口で言うことは正論だけど行動を示さないことが多々あったりする
- ・大人の言いたいことは、子供がどういう風になりたいと思えるような人になってほしい（殺人とかが最近多いから）今の悩みは、ずっと一緒にいてくれる友達と思える人がいないこと。
- ・大人は嘘を平気でつくのにどうして子どもには「嘘をついたらだめ」というのか

◆ 生活（遊び場・居場所）

- ・私の地域にも子どもの居場所を作ってほしいです。朝ごはんが食べられない時とかに利用したいです。
- ・もっと町に楽しい遊具がある公園を作って
- ・ボールで遊ぶ所を増やしてほしいのと、自転車で遊べる所がほしいです。
- ・泡瀬に図書館がないので造ってください。高学年が遊べる所を作ってください。泡瀬は地震が来たら避難する所が近くに無いので避難できる高い建物を造ってください。
- ・なぜ、A市に児童館はないのですか。なぜ、居場所は自由に出入りできないのですか。なぜ、私は入れないのですか。
- ・辺土名に安心・安全な遊べる場所を作ってください。
- ・子どもの居場所のところおしえて（無料で食事が食べれる場所）

◆ 生活（家庭環境）

- ・お母さん、怒らないって言うてるのになんで怒るの？なんで叩いたりぶったりするの？
- ・お金がなさすぎて、お母さんがかわいそう。
- ・お母さんの姉妹の2人がイジわる。
- ・お父さんが病気で働けない。
- ・頭が悪過ぎて進路が心配。
- ・親友が心配。
- ・誰にも負けない何かが欲しかった。
- ・お母さんに迷わくになってないか心配。
- ・はやくバイトできる歳になりたい。
- ・友だちから嫌われてないか不安。
- ・なぜお母さんは義理のお父さんと結婚して一緒に暮らしているのか。なぜお父さんと同じ

学校に行かないといけないのか。

- たまにはおこづかいもらいたい。友達と遊ぶ時に行きたい所に行きたい。(A 町の中だったらどこでも) ゲーム機がほしい。(DS)(PSP)
- マッサージをしてあげているからおこづかいをくれ、おこづかいを増やせ〜。たまには好きなものを買わさしてくれ〜。誕生日プレゼントにゲーム機を頼ませてくれ〜。クリスマスプレゼントにゲーム機をたのましてくれ
- お父さんがいないから、祖母・祖父といっしょにすんでるけど、あれやれ！これやれ！がひどくて疲れる。別々に暮らしたいけど、お母さん1人と子供3人だから経済的に無理なので一緒にすんでる。
- 離婚した父が私と姉のために支払っているお金(児童手当)を私たちのためにではなく、私たちを養っている人のために養っている人が私たちにばれないようにお酒&煙草のためにお金を使っています。本当は沢山お金が貯金されているはずなのに数えられる程度にまで減っています。これは母と父で「私たちの進学のために使うお金」として父が支払ってくれているお金なのでお酒&煙草などといった約束と全然関係ないものに使われてることに対して「不安や怒り」などの気持ちがあります。どうすれば良いのですか。
- お母さんにお父さんと離婚していいよといったけど離婚したら毎日お父さんと会えないちょっとさみしい
- 私のお父さんが小さい頃に亡くなってお母さんは「お父さんの分も支えるからね。」と言っていたけどとてもつらそう。・ストレスが溜まりすぎてお母さんがたばこを吸っている。とっくに前から気づいていたけどそのことを隠し通すのが疲れる。電子タバコまでこの間買っていたのを見た。いつまで隠せばいいんだろう。
- お母さんに「なんでいつも、手伝いばっか頼んでくるのか」を聞きたいです。なぜなら、いつも私もやることがあるのに、いつも寝てばかりいて、食器洗い、洗濯たたみ、洗濯分け、洗濯洗い、洗濯干し、お茶作り、氷作り、夕飯作り、掃除機、食器片付け、机拭きを頼んでばかりいるから、勝手にきれてくる。弟がむかつく。
- 毎日がハードで正直家のことなど全部したくないと思うが、やらないと怒られるから、いつも睡眠がちゃんと寝れてないと思っています。
- とても大人が理不尽すぎて嫌になってくる。私は毎日家の手伝いをしています。毎日お手伝いをしているのに母がそれ以上を求めてきます。1日お手伝いを怠ったら母はとても怒りっぽい口調でいろいろ言ってきます。私は頑張っているのに母は私がやっている以上の事をお願いしてきます。押し付けるのはやめてほしいです。また、大人を怒らせたなら「出て行け」とか「生まれなければよかった」や「だからお前こんなだからだめなんだよ」とメチャクチャに言ってきます。それとこれとは全く関係無いことなのにいちいち言ってきます。そして、私には兄がいるのですが兄が家にお金を少し生活費として入れてくれるのですが、私たちにはいろいろやらしてとても怒られたりでびくびくしてるのにお兄ちゃんには何やっても怒らないし何も言わないのです。自分は家事もしないで仕事終

わったら遊びに行くのに私たちにだけは何でも言ってきます。とりあえず理不尽だしもう少し子どもの気持ちを尊重してほしいと思います。

- ・親に「どうしてうちには〇〇買ってくれないの？友達は買ってもらってたよ？」という、「他の子と比べないの。」と言われました。すると数日後、次は親が「〇〇ちゃんは家のお手伝い毎日してるってよ？どうしてあなたはやらないの？」といわれ、いやあなたも他の子と比べるじゃないですか。矛盾してますよ。ということはよくあるのでやめてください。そうじゃなければ本当のこと言ってほしいです。簡単に言うとお金が足りないという感じで…その他の例も一緒ですよ？やはり家族には本音を言うのが一番だと思います。
- ・大人は子供がはんこうきになったら、おこるからきらい はんこうきのときは、だまってやさしく子供の成長を見てほしい これじゃ子供のまんま成長できないよ ひどいよ 大人ってなんのためにいるの？

友達は、自分のなやみや意見を言いあって、おたがいなっとくするのが友達なの？やつあたりや、泣かせたりするのが友達？私は、友達みたいな人と一緒にいたら、長い間二人でいたら、どうしてもつらくかなしくふかいな思いになる 友達って必要なの？

親どうしのけんかで、子供にやつあたりして、ふかいなおもいにさせないでほしい。いつもぐちを言われて、でも言い返したらまたやつあたりされて…。親ってなんで子供にやつあたりするの？

どうして、子供を産んでからりこんするの？りこんしたら、子供がかわいそうだよ！つづかないなら、子供をうまないでくれる？りこんしたら、どっちかが子供をひきとるかでもめ、子供にやつあたりして、何かスッキリするの？りこんなんてしていいの？

◆ 生活（悩み）

- ・家も学校も過ごしにくくて、心身共に傷んできています。相談できる人も周りにいないため、「死」を考えるのが増えてきています。問24の場所がどこにあるかなど教えてくださいませんか？？？こういった相談ですいません。でも、このアンケートを通して、自分のことや将来について考えることができたのでよかったです。ありがとうございました。
- ・よく小さいころに、しにたいと思ったことがあります。いまでも、しにたいと思うことがたくさんあります。わたしは、自分がうつびょうかと思い、けいたい、しらべているとすべてがあてはまっており、うつびょうのことを母にそうだんするのが、どうしてもいえないため、どうすればいいか分かりません。外では、えがお、中では、泣く、ただそれだけです。けいたいのメモの中は、今までいやなことがあったらすべてメモの中に書きました。ほかにもこういう子がいた、しょうかいしてほしいです。おねがいします。あと、だれにもあいたくないし、1人のほうが、おちつきます。
- ・大人の人に言いたいこと（親） 暴力やめて、私は死にたいです。暴力振るなら、私を殺してください。
- ・私はXジェンダーというQ（クエスチョニング）のセクシャリティに入る中2の一応女子

です。服装や髪形を変えたいのですが親へのカミングアウトが出来ていません。中学卒業までには話して、自分らしい事が出来るようになりたいです。

- ・性別ってそんなに大事ですか スカートををはくのが辛い
 - ・言いたくても言えないこと（いじめ・人間関係）などがあります。言えないことがストレスでたまにリスカなどの自傷行為をする子がいますが、せめないで下さい。リスカをすることで精神面をギリギリ保てているので無理にやめさせるのではなく、しっかりと向き合い、親子でゆっくりなおしていくようにしてほしいです。
- また、この事を知らない人も多いので理解を広げるためにも、何とか、してほしいです。

◆ その他

- ・このアンケートで私たちのために何が出来るか考えてくれてうれしいなと思いました。こんな風に私たちの悩みを聞いてくれてありがとうございます。
- ・アンケートが終わって少し質問が長かった。だけど今いじめられてる人からしたら良い紙だと思ったし「あと半分頑張ってるね」とかの吹き出しは「あと半分だけなんだー！」とか分かったので良かったです。
- ・このアンケートは、最初体重など教えたくはなかったけど、最後の質問を見て信じて書きました。アンケートを解く時はとても楽しかったです。教えたくないって書かれてもいたけど、教えたくないが1つもなくて安心して書いて良かったです。
- ・自分の気持ちを、ふだん誰にも言えないことが書けるので、気持ちが楽になります。たまに、アンケートを取ったらいいと思います。こういうアンケートは必要だと思いました。
- ・このようなアンケートを作ってください、ありがとうございます。このアンケートを通し、とても気持ちが楽になりました。このアンケートを、もっと他の人達にもやってもらったらいいと思います。
- ・このようなアンケートがあつてとてもすっきりする人もいると思います。この世の中が気楽で、悩み事などが自分から言えるようになるといいと思います。私も、相談されたら答えられるように頑張り、悩み事があつたら周りの人に言って、解決できるようにします。
- ・このアンケートの内容を見て、私は安心しました。なぜなら、「親が子育てをできなくて子どもをすててしまう。」という人のために利用できる場所があると分かったからです。
- ・このようなアンケートを定期的に行うことはいいと思います。楽しかったです。悩んでいる人のために頑張ってください。沖縄の発展のため応援してます。
- ・このアンケートは学校の人や友達に見られる心配が無くとても書きやすかったです。
- ・アンケート思わずすぐにやっちゃった長かったけどがんばった。アンケート見られたくない先生見ないで。アンケート何でも書ける私の気持ち。
- ・問題の内容が具体的でわかりやすかった。
- ・わからない所があつたから、にいにいやお姉ちゃんに聞いて、意味がわかって、このアンケートには重要なことがかかれています。と思いました。

- ・こうゆう物があつたら、いじめがなくなる可能性があると思いました。大人だけではなく、子どもにもいろいろあるから、子どもなりに大変な事が人によってたくさんあると思いました。なので、ぜひ、いろんな学校でもやってほしいです。
- ・性別の所を男・女と分けないのが良い。
- ・LGBTQのアンケートをしてみた方がいと思う。
- ・最初の性別を選ぶもので「その他」「答えたくない」という選択肢があつて初めて見て、やっぱりこんな人もいるんだなと思った。すべてのものにこれをやつた方がいと思う。
- ・20分くらいだつたから長かつたです。
- ・このアンケートがプライバシーをとつても傷付けるアンケートだからもう少し直してほしい
- ・どうせ公表されるので書きません。過去に一度公表されないというアンケートで本音を書いたら皆の前で発表させられたことがあるので
- ・時々失礼な質問があつた。
- ・今までにこのようなアンケートを何度かしてきましたがそのアンケートが活かされてる気がまったくしません。何のためにこのようなアンケートをするのかわからないです。
- ・何のための調査なのかちゃんと教えてほしい
- ・なんのためにアンケートをとるのか書いておいてほしい。
- ・このアンケートを行い何をしたいのか。問1は問題にしない方がいと思う。
- ・報われるという言葉の意味がわかりづらかつた。あと半分だよ。がんばつてね！と書かれていて、励まされたのでやりやすかつたです。
- ・もっと選択肢を増やしたらもっと細かく答えられていた。
- ・無料で食事が食べれたり、勉強を教えてもらつるところつて沖縄県にもあるのですか？
- ・アンケートをして、すつきりした。自分が思つている事をしつかり書けた。あとアンケートで初めて知つた、「子どもの居場所」行つてみたいなと思つた。(友達を作りたいから) ”
- ・無料で食事とかが食べれるばしょがあると思つた。
- ・問7の⑤で部活動に入つていない人は楽しみではないに入れて良いでしょうか？
- ・なぜ身長や体重を教えなかつといけないのかが気になつた。
- ・体重、身長は聞かない方がいと思つます
- ・体重はあまり言いたくない。
- ・ぼくには、よむ力がなくて、きつい。
- ・①玉城デニーさん頑張つてほしい。翁長知事の志を受け継いでほしい。沖縄県民のためにがんばつてほしい。辺野古基地を1日1秒でもいち早く解決してほしい。→できれば、次の沖縄県知事に言つといて下さい。→願ひます。
- ②待機児童や養育放棄、虐待(子どもの)、そういうのに社会は目を向けてほしい。→あまりにも無関すぎる。→新聞かニュースで採り上げるべきだと思つ。→そして、解決に向

けて沖縄県民一同でがんばっていく。→そして、沖縄は、恵まれた環境に生まれ、作物もともて素晴らしいことを誇りに思いながら、生きてゆこう！！→沖縄県民で考えていきましょう。→がんばりましょう！！！！

② 番も①番も全部できれば、次の沖縄県知事に言っというて下さい 以上です！！”

- ・女の子とかは生理とか、成長する所があるから、もうちょっと何かあった時に言いやすい環境を作ってほしい
- ・税金の無駄遣いをやめてほしい・子どもの安心できる居場所づくり・基地を増やすな・自由をください・バイトしたい・新しい楽器が欲しい・いじめをなくしてほしい・9時に寝たい・子どもが主張できる場をつくってほしい・県全体で避難訓練をする・緑を増やしてほしい・子どものお手本となる大人を増やしてほしい・本心を一人一人が言える社会づくり・コミュニケーション作りのしやすい環境づくりをしてほしい・子どもの意見を聞いてほしい
- ・私は中学生です。このように、沖縄をもっとよくしていこうとする大人の方は本当にすばらしいと思うし、尊敬もします。ですが、大人は、大人としての自覚をもっとしっかりとしていただきたいと思います。私は先日友達と歩いている時、歩行者の道路で青なのにスマホを見ながら運転していた車とぶつかりそうになりました・また、歩きスマホ、自転車スマホをしている大人をよく見かけます。こんなことをしては子供もマネをしてしまいます。そして大事故をおこすこともあります。また、学校の先生はいじめられている人が目の前にいても無視をし、注意をしない先生はたくさんいます。私はそれを見るととても残念だな、と思います。申し出にくいですが、こういう大人は、それなりの処分が必要かと思います。また、教師の指導もしっかり行っていただけるとうれしいです。私は、もっともっと沖縄をよくしていきたいです。このようなことでしか、力になれなくてすいません。これからもいろいろ大変なことがあるかと思いますが、全力であきらめずにがんばって下さい。陰ながら応援しています！では、さようなら
- ・学校の近くにスナックが多くて登校している時に変なおじさんに絡まれるので怖い。スナック街をなくしてほしい。公園を増やしてほしい。遊ぶ場所がない。LIVE ができるようなコンサート会場をつくってほしい。学校の机を新しくしてほしい。いらぬ校則をなくしてほしい。モノレールをもっとすくってほしい。沖縄でも Suica を使えるようにしてほしい。マンションやビルばかりを建てないでほしい。本の発売日が遅れるのをやめてほしい。夏に祭りをもっと行ってほしい。
- ・道路交通法を守らない運転手が外に行けば必ず見るぐらいいるので何とかしてほしい。
(例：ウインカーをつけない。歩行者優先の場所を無視)
- ・たまに見るけど横断歩道わたる前に車が横断歩道の上に信号で止まってる時、歩行者を安全にしながらだと思いのに容赦なく止まっているのが本当にイライラする。学校の老朽化が進んで学校中の天井や壁が穴空いたりして建て替えをしたほうがいいのに地域の人が「○○の学校の評判が悪いから絶対にするな」っていうのを聞いたことがあって、親

は安全に帰ってきてほしいはずなのに評判だけで決めつけるのはよくないと思う。そして、災害が起こった時に学校が使えなくなった時に「おまえらのせいだからな」って言いたい

※ 自由記述については、原文のまま掲載しておりますが、個人が特定される恐れがある場合は、一部記載内容を修正・削除しております。

3. 単純集計

保護者向け調査

全体	小学1年生	小学5年生	中学2年生
----	-------	-------	-------

【保護者】Q1 調査票を受け取った子どもの学年...(S A)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	小学1年生	2362	35.0	2362	100.0	0	0.0	0	0.0
2	小学5年生	2276	33.7	0	0.0	2276	100.0	0	0.0
3	中学2年生	2107	31.2	0	0.0	0	0.0	2107	100.0
	無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	全体	6745	100.0	2362	100.0	2276	100.0	2107	100.0

【保護者】Q1-1 回答者の子どもからみた続柄...(S A)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	お母さん	5922	87.8	2106	89.2	1982	87.1	1834	87.0
2	お父さん	648	9.6	199	8.4	225	9.9	224	10.6
3	おばあさん・おじいさん	58	0.9	11	0.5	25	1.1	22	1.0
4	おじ、おばなど親戚	7	0.1	3	0.1	3	0.1	1	0.0
5	施設職員・里親	6	0.1	1	0.0	2	0.1	3	0.1
6	その他の人	5	0.1	0	0.0	3	0.1	2	0.1
	無回答	99	1.5	42	1.8	36	1.6	21	1.0
	全体	6745	100.0	2362	100.0	2276	100.0	2107	100.0

【保護者】Q3 子どもと同居している家族...(MA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	お母さん	6393	96.3	2251	97.1	2147	95.9	1995	95.8
2	お父さん	5542	83.5	2000	86.2	1880	84.0	1662	79.8
3	祖母	639	9.6	220	9.5	215	9.6	204	9.8
4	祖父	393	5.9	134	5.8	131	5.9	128	6.1
5	兄	2289	34.5	851	36.7	771	34.5	667	32.0
6	姉	2230	33.6	863	37.2	759	33.9	608	29.2
7	弟	2341	35.3	727	31.3	825	36.9	789	37.9
8	妹	2324	35.0	691	29.8	844	37.7	789	37.9
9	その他の親戚	126	1.9	48	2.1	38	1.7	40	1.9
10	その他	130	2.0	36	1.6	47	2.1	47	2.3
	無回答	18	0.3	5	0.2	7	0.3	6	0.3
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

【保護者】Q4 母親:現在の仕事の状況...(S A)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	働いていない	1083	16.9	432	19.2	349	16.3	302	15.1
2	正規の職員・従業員	1848	28.9	624	27.7	636	29.6	588	29.5
3	派遣社員・契約社員・嘱託	741	11.6	282	12.5	231	10.8	228	11.4
4	パート・アルバイト	2038	31.9	683	30.3	691	32.2	664	33.3
5	会社・団体等の役員	67	1.0	18	0.8	20	0.9	29	1.5
6	自営	368	5.8	131	5.8	130	6.1	107	5.4
7	内職	13	0.2	1	0.0	7	0.3	5	0.3
8	その他	62	1.0	16	0.7	27	1.3	19	1.0
	無回答	173	2.7	64	2.8	56	2.6	53	2.7
	全体	6393	100.0	2251	100.0	2147	100.0	1995	100.0

保護者向け調査

全体	小学1年生	小学5年生	中学2年生
----	-------	-------	-------

【保護者】Q4-1 母親:働いていない理由...(MA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	家事や育児に専念	860	79.4	369	85.4	283	81.1	208	68.9
2	おうちの人の介護や介助	89	8.2	22	5.1	34	9.7	33	10.9
3	病気療養	101	9.3	25	5.8	38	10.9	38	12.6
4	学生	15	1.4	8	1.9	4	1.1	3	1.0
5	年金など	4	0.4	0	0.0	1	0.3	3	1.0
6	家賃収入など	3	0.3	1	0.2	0	0.0	2	0.7
7	その他	138	12.7	48	11.1	38	10.9	52	17.2
	無回答	13	1.2	2	0.5	3	0.9	8	2.6
	全体	1083	100.0	432	100.0	349	100.0	302	100.0

【保護者】Q4-2① 母親:一週間の平均的な労働日数...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	1日	27	0.5	15	0.9	5	0.3	7	0.4
2	2日	56	1.1	21	1.2	24	1.4	11	0.7
3	3日	207	4.0	80	4.6	59	3.4	68	4.1
4	4日	526	10.2	159	9.1	185	10.6	182	11.1
5	5日	3426	66.7	1223	69.7	1153	66.2	1050	64.0
6	6日	792	15.4	229	13.0	279	16.0	284	17.3
7	7日	68	1.3	17	1.0	20	1.1	31	1.9
	無回答	35	0.7	11	0.6	17	1.0	7	0.4
	全体	5137	100.0	1755	100.0	1742	100.0	1640	100.0

【保護者】Q4-2② 母親:働いている日の平均的な労働時間...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	2時間未満	42	0.8	13	0.7	14	0.8	15	0.9
2	2~4時間未満	207	4.0	68	3.9	81	4.6	58	3.5
3	4~6時間未満	1021	19.9	335	19.1	357	20.5	329	20.1
4	6~8時間未満	1895	36.9	702	40.0	594	34.1	599	36.5
5	8~10時間未満	1735	33.8	569	32.4	617	35.4	549	33.5
6	10~12時間未満	178	3.5	49	2.8	59	3.4	70	4.3
7	12時間以上	37	0.7	11	0.6	11	0.6	15	0.9
	無回答	22	0.4	8	0.5	9	0.5	5	0.3
	全体	5137	100.0	1755	100.0	1742	100.0	1640	100.0

【保護者】Q4-2③ 母親:平日の日中以外の勤務...(MA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	早朝勤務(朝5~8時)	559	10.9	170	9.7	196	11.3	193	11.8
2	夜間勤務(夜8~10時)	463	9.0	158	9.0	143	8.2	162	9.9
3	深夜勤務(夜10~朝5時)	278	5.4	91	5.2	92	5.3	95	5.8
4	土曜出勤	2670	52.0	895	51.0	909	52.2	866	52.8
5	日曜・祝日出勤	1693	33.0	502	28.6	592	34.0	599	36.5
6	1から5にあてはまる勤務はない	1834	35.7	664	37.8	620	35.6	550	33.5
7	わからない	42	0.8	20	1.1	9	0.5	13	0.8
	無回答	140	2.7	47	2.7	46	2.6	47	2.9
	全体	5137	100.0	1755	100.0	1742	100.0	1640	100.0

保護者向け調査

全体	小学1年生	小学5年生	中学2年生
----	-------	-------	-------

【保護者】Q5 父親：現在の仕事の状況... (SA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	働いていない	73	1.3	31	1.5	16	0.8	38	2.2
2	正規の職員・従業員	3859	69.6	1483	70.6	1369	69.9	1163	66.5
3	派遣社員・契約社員・嘱託	276	5.0	120	5.7	80	4.1	94	5.4
4	パート・アルバイト	106	1.9	42	2.0	45	2.3	35	2.0
5	会社・団体等の役員	221	4.0	74	3.5	67	3.4	92	5.3
6	自営	852	15.4	301	14.3	316	16.1	271	15.5
7	内職	5	0.1	1	0.0	2	0.1	2	0.1
8	その他	63	1.1	18	0.9	31	1.6	18	1.0
	無回答	87	1.6	31	1.5	33	1.7	35	2.0
	全体	5542	100.0	2101	100.0	1959	100.0	1748	100.0

【保護者】Q5-1 父親：働いていない理由... (MA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	家事や育児に専念	9	12.3	5	16.1	2	12.5	4	10.5
2	おうちの人の介護や介助	1	1.4	0	0.0	0	0.0	1	2.6
3	病気療養	40	54.8	16	51.6	10	62.5	20	52.6
4	学生	3	4.1	2	6.5	0	0.0	1	2.6
5	年金など	8	11.0	1	3.2	2	12.5	5	13.2
6	家賃収入など	2	2.7	1	3.2	0	0.0	1	2.6
7	その他	12	16.4	5	16.1	2	12.5	7	18.4
	無回答	5	6.8	3	9.7	1	6.3	3	7.9
	全体	73	100.0	31	100.0	16	100.0	38	100.0

【保護者】Q5-2① 父親：一週間の平均的な労働日数... (SA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	1日	3	0.1	1	0.0	0	0.0	2	0.1
2	2日	12	0.2	5	0.2	4	0.2	3	0.2
3	3日	39	0.7	23	1.1	10	0.5	12	0.7
4	4日	53	1.0	24	1.2	14	0.7	21	1.3
5	5日	2613	48.6	1002	49.1	902	47.2	805	48.1
6	6日	2345	43.6	865	42.4	868	45.4	730	43.6
7	7日	260	4.8	96	4.7	91	4.8	85	5.1
	無回答	57	1.1	23	1.1	21	1.1	17	1.0
	全体	5382	100.0	2039	100.0	1910	100.0	1675	100.0

【保護者】Q5-2② 父親：働いている日の平均的な労働時間... (SA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	2時間未満	26	0.5	9	0.4	12	0.6	9	0.5
2	2～4時間未満	20	0.4	7	0.3	6	0.3	7	0.4
3	4～6時間未満	39	0.7	10	0.5	16	0.8	15	0.9
4	6～8時間未満	770	14.3	275	13.5	285	14.9	266	15.9
5	8～10時間未満	3084	57.3	1141	56.0	1125	58.9	970	57.9
6	10～12時間未満	989	18.4	399	19.6	326	17.1	280	16.7
7	12時間以上	395	7.3	180	8.8	125	6.5	102	6.1
	無回答	59	1.1	18	0.9	15	0.8	26	1.6
	全体	5382	100.0	2039	100.0	1910	100.0	1675	100.0

保護者向け調査

全体	小学1年生	小学5年生	中学2年生
----	-------	-------	-------

【保護者】Q5-2③ 父親:平日の日中以外の勤務...(MA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	早朝勤務(朝5~8時)	1278	23.7	521	25.6	435	22.8	380	22.7
2	夜間勤務(夜8~10時)	1403	26.1	578	28.3	484	25.3	381	22.7
3	深夜勤務(夜10~朝5時)	1007	18.7	435	21.3	342	17.9	270	16.1
4	土曜出勤	3689	68.5	1456	71.4	1287	67.4	1098	65.6
5	日曜・祝日出勤	3030	56.3	1202	59.0	1074	56.2	880	52.5
6	1から5にあてはまる勤務はない	896	16.6	308	15.1	312	16.3	310	18.5
7	わからない	101	1.9	29	1.4	44	2.3	32	1.9
	無回答	121	2.2	47	2.3	44	2.3	44	2.6
	全体	5382	100.0	2039	100.0	1910	100.0	1675	100.0

【保護者】Q6 その他:現在の仕事の状況...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	働いていない	699	10.5	180	7.8	259	11.6	260	12.5
2	正規の職員・従業員	134	2.0	36	1.6	49	2.2	49	2.4
3	派遣社員・契約社員・嘱託	51	0.8	11	0.5	19	0.8	21	1.0
4	パート・アルバイト	162	2.4	38	1.6	47	2.1	77	3.7
5	会社・団体等の役員	12	0.2	2	0.1	3	0.1	7	0.3
6	自営	59	0.9	21	0.9	18	0.8	20	1.0
7	内職	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
8	その他	28	0.4	3	0.1	8	0.4	17	0.8
	無回答	5495	82.8	2028	87.5	1835	82.0	1632	78.3
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

【保護者】Q6-1 その他:働いていない理由...(MA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	家事や育児に専念	31	4.4	7	3.9	17	6.6	7	2.7
2	おうちの人の介護や介助	14	2.0	2	1.1	5	1.9	7	2.7
3	病気療養	32	4.6	9	5.0	11	4.2	12	4.6
4	学生	424	60.7	99	55.0	154	59.5	171	65.8
5	年金など	149	21.3	46	25.6	57	22.0	46	17.7
6	家賃収入など	8	1.1	3	1.7	2	0.8	3	1.2
7	その他	59	8.4	15	8.3	25	9.7	19	7.3
	無回答	46	6.6	13	7.2	21	8.1	12	4.6
	全体	699	100.0	180	100.0	259	100.0	260	100.0

【保護者】Q6-2① その他:一週間の平均的な労働日数...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	1日	2	0.4	0	0.0	1	0.7	1	0.5
2	2日	15	3.4	5	4.5	3	2.1	7	3.7
3	3日	34	7.6	6	5.4	8	5.6	20	10.5
4	4日	37	8.3	9	8.1	11	7.6	17	8.9
5	5日	172	38.6	41	36.9	54	37.5	77	40.3
6	6日	135	30.3	36	32.4	49	34.0	50	26.2
7	7日	21	4.7	9	8.1	4	2.8	8	4.2
	無回答	30	6.7	5	4.5	14	9.7	11	5.8
	全体	446	100.0	111	100.0	144	100.0	191	100.0

保護者向け調査

全体	小学1年生	小学5年生	中学2年生
----	-------	-------	-------

【保護者】Q6-2② その他:働いている日の平均的な労働時間...(S A)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	2時間未満	4	0.9	1	0.9	2	1.4	1	0.5
2	2~4時間未満	24	5.4	6	5.4	5	3.5	13	6.8
3	4~6時間未満	64	14.3	13	11.7	22	15.3	29	15.2
4	6~8時間未満	139	31.2	36	32.4	42	29.2	61	31.9
5	8~10時間未満	157	35.2	43	38.7	50	34.7	64	33.5
6	10~12時間未満	18	4.0	5	4.5	6	4.2	7	3.7
7	12時間以上	17	3.8	5	4.5	5	3.5	7	3.7
	無回答	23	5.2	2	1.8	12	8.3	9	4.7
	全体	446	100.0	111	100.0	144	100.0	191	100.0

【保護者】Q6-2③ その他:平日の日中以外の勤務...(MA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	早朝勤務(朝5~8時)	57	12.8	11	9.9	15	10.4	31	16.2
2	夜間勤務(夜8~10時)	65	14.6	21	18.9	14	9.7	30	15.7
3	深夜勤務(夜10~朝5時)	45	10.1	15	13.5	11	7.6	19	9.9
4	土曜出勤	258	57.8	64	57.7	82	56.9	112	58.6
5	日曜・祝日出勤	190	42.6	50	45.0	62	43.1	78	40.8
6	1から5にあてはまる勤務はない	74	16.6	17	15.3	22	15.3	35	18.3
7	わからない	34	7.6	13	11.7	9	6.3	12	6.3
	無回答	32	7.2	5	4.5	13	9.0	14	7.3
	全体	446	100.0	111	100.0	144	100.0	191	100.0

【保護者】Q7 就学援助制度の利用状況...(S A)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	利用している	1373	20.7	410	17.7	478	21.4	485	23.3
2	利用していない	5143	77.5	1863	80.3	1730	77.3	1550	74.4
3	わからない	81	1.2	30	1.3	15	0.7	36	1.7
	無回答	43	0.6	16	0.7	15	0.7	12	0.6
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

【保護者】Q7-1 就学援助は学校にかかる経費をかゝってきているか...(S A)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	十分にかゝってきている	120	8.7	35	8.5	43	9.0	42	8.7
2	かゝってきている	660	48.1	207	50.5	224	46.9	229	47.2
3	あまりかゝってきていない	438	31.9	126	30.7	149	31.2	163	33.6
4	かゝってきていない	132	9.6	36	8.8	51	10.7	45	9.3
	無回答	23	1.7	6	1.5	11	2.3	6	1.2
	全体	1373	100.0	410	100.0	478	100.0	485	100.0

【保護者】Q7-2 就学援助についてどのように知ったか...(MA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	学校からの通知	1106	80.6	319	77.8	381	79.7	406	83.7
2	市町村からの通知	311	22.7	109	26.6	103	21.5	99	20.4
3	テレビやラジオのCM	290	21.1	115	28.0	98	20.5	77	15.9
4	街頭でのポスターやチラシ	52	3.8	23	5.6	18	3.8	11	2.3
5	知人からの紹介	228	16.6	83	20.2	68	14.2	77	15.9
6	その他	30	2.2	9	2.2	10	2.1	11	2.3
	無回答	32	2.3	4	1.0	18	3.8	10	2.1
	全体	1373	100.0	410	100.0	478	100.0	485	100.0

保護者向け調査

全体	小学1年生	小学5年生	中学2年生
----	-------	-------	-------

【保護者】Q7-3 就学援助を利用していない理由... (SA)

No.	カテゴリ名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	申請しなかった(必要ないため)	3142	61.1	1150	61.7	1062	61.4	930	60.0
2	申請しなかった(申請要件を満たしていなかったため)	962	18.7	335	18.0	289	16.7	338	21.8
3	申請しなかった(周囲の目が気になったため)	88	1.7	28	1.5	36	2.1	24	1.5
4	申請しなかった(手続きの仕方がわからなかったため)	146	2.8	58	3.1	54	3.1	34	2.2
5	申請しなかった(手続きが面倒であったため)	76	1.5	31	1.7	23	1.3	22	1.4
6	申請したが、認定されなかったため	329	6.4	110	5.9	116	6.7	103	6.6
7	就学援助制度を知らなかったため	197	3.8	80	4.3	81	4.7	36	2.3
8	その他	110	2.1	40	2.1	37	2.1	33	2.1
	無回答	93	1.8	31	1.7	32	1.8	30	1.9
	全体	5143	100.0	1863	100.0	1730	100.0	1550	100.0

【保護者】Q8A 子どもの所有物:本... (SA)

No.	カテゴリ名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	持っている	5827	87.8	2165	93.4	1988	88.8	1674	80.4
2	持っていない_必要だと思わない	295	4.4	41	1.8	89	4.0	165	7.9
3	持っていない_経済的に持てない	364	5.5	87	3.8	112	5.0	165	7.9
	無回答	154	2.3	26	1.1	49	2.2	79	3.8
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

【保護者】Q8B 子どもの所有物:部屋... (SA)

No.	カテゴリ名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	持っている	4467	67.3	1319	56.9	1565	69.9	1583	76.0
2	持っていない_必要だと思わない	806	12.1	432	18.6	231	10.3	143	6.9
3	持っていない_経済的に持てない	1255	18.9	538	23.2	400	17.9	317	15.2
	無回答	112	1.7	30	1.3	42	1.9	40	1.9
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

【保護者】Q8C 子どもの所有物:インターネットにつながるパソコン... (SA)

No.	カテゴリ名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	持っている	4286	64.5	1324	57.1	1475	65.9	1487	71.4
2	持っていない_必要だと思わない	1184	17.8	579	25.0	377	16.8	228	10.9
3	持っていない_経済的に持てない	1045	15.7	378	16.3	344	15.4	323	15.5
	無回答	125	1.9	38	1.6	42	1.9	45	2.2
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

【保護者】Q8D 子どもの所有物:専用の勉強机... (SA)

No.	カテゴリ名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	持っている	4664	70.2	1332	57.4	1659	74.1	1673	80.3
2	持っていない_必要だと思わない	1197	18.0	635	27.4	343	15.3	219	10.5
3	持っていない_経済的に持てない	694	10.5	324	14.0	211	9.4	159	7.6
	無回答	85	1.3	28	1.2	25	1.1	32	1.5
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

【保護者】Q8E 子どもの所有物:学習用品... (SA)

No.	カテゴリ名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	持っている	5244	79.0	1659	71.5	1842	82.3	1743	83.7
2	持っていない_必要だと思わない	861	13.0	407	17.6	248	11.1	206	9.9
3	持っていない_経済的に持てない	411	6.2	212	9.1	108	4.8	91	4.4
	無回答	124	1.9	41	1.8	40	1.8	43	2.1
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

保護者向け調査

全体	小学1年生	小学5年生	中学2年生
----	-------	-------	-------

【保護者】Q8F 子どもの所有物:ゲーム機... (SA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	持っている	4276	64.4	1127	48.6	1704	76.1	1445	69.4
2	持っていない 必要だと思わない	1805	27.2	958	41.3	398	17.8	449	21.6
3	持っていない 経済的に持てない	424	6.4	195	8.4	99	4.4	130	6.2
	無回答	135	2.0	39	1.7	37	1.7	59	2.8
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

【保護者】Q8G 子どもの所有物:多くの子どもが持っているおもちゃ... (SA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	持っている	4400	66.3	1846	79.6	1499	67.0	1055	50.6
2	持っていない 必要だと思わない	1435	21.6	261	11.3	480	21.4	694	33.3
3	持っていない 経済的に持てない	510	7.7	155	6.7	168	7.5	187	9.0
	無回答	295	4.4	57	2.5	91	4.1	147	7.1
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

【保護者】Q8H 子どもの所有物:自転車... (SA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	持っている	4007	60.3	1490	64.3	1371	61.3	1146	55.0
2	持っていない 必要だと思わない	1698	25.6	486	21.0	569	25.4	643	30.9
3	持っていない 経済的に持てない	723	10.9	281	12.1	224	10.0	218	10.5
	無回答	212	3.2	62	2.7	74	3.3	76	3.6
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

【保護者】Q8I 子どもの所有物:携帯電話・スマホ... (SA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	持っている	2465	37.1	337	14.5	881	39.4	1247	59.9
2	持っていない 必要だと思わない	3257	49.1	1674	72.2	1036	46.3	547	26.3
3	持っていない 経済的に持てない	735	11.1	263	11.3	246	11.0	226	10.8
	無回答	183	2.8	45	1.9	75	3.4	63	3.0
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

【保護者】Q8J 子どもの所有物:携帯音楽プレイヤー等... (SA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	持っている	1383	20.8	127	5.5	427	19.1	829	39.8
2	持っていない 必要だと思わない	4140	62.3	1870	80.6	1421	63.5	849	40.8
3	持っていない 経済的に持てない	866	13.0	266	11.5	292	13.0	308	14.8
	無回答	251	3.8	56	2.4	98	4.4	97	4.7
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

【保護者】Q9 小学校のクラブ活動・中学校の部活動や地域のクラブ活動の参加状況... (SA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	している	3175	47.8	324	14.0	1169	52.2	1682	80.7
2	していない	3427	51.6	1981	85.4	1055	47.1	391	18.8
	無回答	38	0.6	14	0.6	14	0.6	10	0.5
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

【保護者】Q10 習い事等の実施状況... (SA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	している	4027	60.6	1378	59.4	1474	65.9	1175	56.4
2	していない	2556	38.5	915	39.5	745	33.3	896	43.0
	無回答	57	0.9	26	1.1	19	0.8	12	0.6
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

保護者向け調査

全体	小学1年生	小学5年生	中学2年生
----	-------	-------	-------

【保護者】Q11 理想的には将来どの学校まで行かせたいか... (SA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	中学校まで	3	0.0	2	0.1	1	0.0	0	0.0
2	高校まで	351	5.3	100	4.3	112	5.0	139	6.7
3	専門学校まで	1016	15.3	281	12.1	337	15.1	398	19.1
4	短期大学・高専まで	202	3.0	60	2.6	66	2.9	76	3.6
5	大学まで	3928	59.2	1391	60.0	1340	59.9	1197	57.5
6	大学院まで	150	2.3	52	2.2	59	2.6	39	1.9
7	考えたことがない	65	1.0	35	1.5	23	1.0	7	0.3
8	決まっていない・わからない	831	12.5	360	15.5	275	12.3	196	9.4
	無回答	94	1.4	38	1.6	25	1.1	31	1.5
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

【保護者】Q12 現実的には将来どの学校まで行かせるか... (SA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	中学校まで	12	0.2	5	0.2	4	0.2	3	0.1
2	高校まで	1058	15.9	350	15.1	347	15.5	361	17.3
3	専門学校まで	1098	16.5	309	13.3	377	16.8	412	19.8
4	短期大学・高専まで	252	3.8	88	3.8	80	3.6	84	4.0
5	大学まで	2791	42.0	972	41.9	965	43.1	854	41.0
6	大学院まで	75	1.1	27	1.2	25	1.1	23	1.1
7	考えたことがない	82	1.2	44	1.9	29	1.3	9	0.4
8	決まっていない・わからない	1175	17.7	487	21.0	383	17.1	305	14.6
	無回答	97	1.5	37	1.6	28	1.3	32	1.5
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

【保護者】Q13① 子どもとの関係:よく会話をする... (SA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	あてはまる	4921	74.1	1806	77.9	1699	75.9	1416	68.0
2	どちらかというにあてはまる	1481	22.3	456	19.7	467	20.9	558	26.8
3	どちらかというにあてはまらない	193	2.9	43	1.9	61	2.7	89	4.3
4	あてはまらない	15	0.2	2	0.1	4	0.2	9	0.4
	無回答	30	0.5	12	0.5	7	0.3	11	0.5
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

【保護者】Q13② 子どもとの関係:十分時間を過ごす... (SA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	あてはまる	2879	43.4	1077	46.4	1039	46.4	763	36.6
2	どちらかというにあてはまる	2656	40.0	888	38.3	868	38.8	900	43.2
3	どちらかというにあてはまらない	959	14.4	304	13.1	291	13.0	364	17.5
4	あてはまらない	95	1.4	32	1.4	29	1.3	34	1.6
	無回答	51	0.8	18	0.8	11	0.5	22	1.1
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

【保護者】Q13③ 子どもとの関係:読んだ本の感想を話し合ったりする... (SA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	あてはまる	1390	20.9	636	27.4	444	19.8	310	14.9
2	どちらかというにあてはまる	1969	29.7	772	33.3	636	28.4	561	26.9
3	どちらかというにあてはまらない	2231	33.6	679	29.3	830	37.1	722	34.7
4	あてはまらない	981	14.8	213	9.2	307	13.7	461	22.1
	無回答	69	1.0	19	0.8	21	0.9	29	1.4
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

保護者向け調査

全体	小学1年生	小学5年生	中学2年生
----	-------	-------	-------

【保護者】Q13④ 子どもとの関係:小さいころ絵本の読み聞かせをした...(S A)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	あてはまる	3061	46.1	1114	48.0	999	44.6	948	45.5
2	どちらかというにあてはまる	1967	29.6	695	30.0	667	29.8	605	29.0
3	どちらかというにあてはまらない	1179	17.8	372	16.0	416	18.6	391	18.8
4	あてはまらない	387	5.8	123	5.3	142	6.3	122	5.9
	無回答	46	0.7	15	0.6	14	0.6	17	0.8
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

【保護者】Q13⑤ 子どもとの関係:一緒に図書館に行く...(S A)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	あてはまる	1255	18.9	588	25.4	399	17.8	268	12.9
2	どちらかというにあてはまる	1202	18.1	420	18.1	459	20.5	323	15.5
3	どちらかというにあてはまらない	1838	27.7	561	24.2	667	29.8	610	29.3
4	あてはまらない	2285	34.4	727	31.3	699	31.2	859	41.2
	無回答	60	0.9	23	1.0	14	0.6	23	1.1
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

【保護者】Q13⑥ 子どもとの関係:将来の夢をどう思っているか知っている...(S A)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	あてはまる	2923	44.0	1108	47.8	1020	45.6	795	38.2
2	どちらかというにあてはまる	2302	34.7	751	32.4	784	35.0	767	36.8
3	どちらかというにあてはまらない	1063	16.0	334	14.4	339	15.1	390	18.7
4	あてはまらない	298	4.5	103	4.4	81	3.6	114	5.5
	無回答	54	0.8	23	1.0	14	0.6	17	0.8
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

【保護者】Q13⑦ 子どもとの関係:信頼している...(S A)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	あてはまる	4878	73.5	1679	72.4	1668	74.5	1531	73.5
2	どちらかというにあてはまる	1527	23.0	559	24.1	501	22.4	467	22.4
3	どちらかというにあてはまらない	175	2.6	58	2.5	53	2.4	64	3.1
4	あてはまらない	16	0.2	5	0.2	4	0.2	7	0.3
	無回答	44	0.7	18	0.8	12	0.5	14	0.7
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

【保護者】Q14① 子育ての気持ち:不安行行などの感情を子どもに向けたことがある...(S A)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	あてはまる	3099	46.7	1147	49.5	1079	48.2	873	41.9
2	どちらかというにあてはまる	2386	35.9	819	35.3	774	34.6	793	38.1
3	どちらかというにあてはまらない	802	12.1	244	10.5	266	11.9	292	14.0
4	あてはまらない	311	4.7	96	4.1	108	4.8	107	5.1
	無回答	42	0.6	13	0.6	11	0.5	18	0.9
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

【保護者】Q14② 子育ての気持ち:子どもを育てるために我慢している...(S A)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	あてはまる	1157	17.4	407	17.6	385	17.2	365	17.5
2	どちらかというにあてはまる	1993	30.0	753	32.5	631	28.2	609	29.2
3	どちらかというにあてはまらない	2002	30.2	644	27.8	705	31.5	653	31.3
4	あてはまらない	1428	21.5	496	21.4	499	22.3	433	20.8
	無回答	60	0.9	19	0.8	18	0.8	23	1.1
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

保護者向け調査

全体	小学1年生	小学5年生	中学2年生
----	-------	-------	-------

【保護者】Q14③ 子育ての気持ち:自分一人で育てているという圧迫感を感じる...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	あてはまる	521	7.8	168	7.2	171	7.6	182	8.7
2	どちらかというにあてはまる	1028	15.5	372	16.0	328	14.7	328	15.7
3	どちらかというにあてはまらない	1991	30.0	712	30.7	672	30.0	607	29.1
4	あてはまらない	3048	45.9	1055	45.5	1051	47.0	942	45.2
	無回答	52	0.8	12	0.5	16	0.7	24	1.2
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

【保護者】Q14④ 子育ての気持ち:子どもの世話にはあまり関心がない...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	あてはまる	48	0.7	10	0.4	18	0.8	20	1.0
2	どちらかというにあてはまる	136	2.0	37	1.6	44	2.0	55	2.6
3	どちらかというにあてはまらない	1046	15.8	306	13.2	371	16.6	369	17.7
4	あてはまらない	5358	80.7	1953	84.2	1789	79.9	1616	77.6
	無回答	52	0.8	13	0.6	16	0.7	23	1.1
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

【保護者】Q15① 地域の行事に参加する...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	あてはまる	1320	19.9	486	21.0	449	20.1	385	18.5
2	どちらかというにあてはまる	1932	29.1	760	32.8	644	28.8	528	25.3
3	どちらかというにあてはまらない	1944	29.3	633	27.3	650	29.0	661	31.7
4	あてはまらない	1387	20.9	422	18.2	479	21.4	486	23.3
	無回答	57	0.9	18	0.8	16	0.7	23	1.1
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

【保護者】Q15② 学校の行事に参加する...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	あてはまる	4499	67.8	1813	78.2	1556	69.5	1130	54.2
2	どちらかというにあてはまる	1775	26.7	440	19.0	593	26.5	742	35.6
3	どちらかというにあてはまらない	246	3.7	36	1.6	58	2.6	152	7.3
4	あてはまらない	72	1.1	14	0.6	19	0.8	39	1.9
	無回答	48	0.7	16	0.7	12	0.5	20	1.0
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

【保護者】Q16① 心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人の有無...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	いる	5811	87.5	2089	90.1	1945	86.9	1777	85.3
2	いない	445	6.7	121	5.2	166	7.4	158	7.6
3	わからない	333	5.0	97	4.2	110	4.9	126	6.0
	無回答	51	0.8	12	0.5	17	0.8	22	1.1
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

【保護者】Q16② 気持ちを察して思いやってくれる人の有無...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	いる	5465	82.3	1966	84.8	1823	81.5	1676	80.5
2	いない	543	8.2	147	6.3	207	9.2	189	9.1
3	わからない	568	8.6	193	8.3	183	8.2	192	9.2
	無回答	64	1.0	13	0.6	25	1.1	26	1.2
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

保護者向け調査

全体	小学1年生	小学5年生	中学2年生
----	-------	-------	-------

【保護者】Q16③ 趣味や興味のあることを一緒に話して気分転換させてくれる人の有無... (S A)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	いる	5209	78.4	1857	80.1	1729	77.3	1623	77.9
2	いない	847	12.8	276	11.9	296	13.2	275	13.2
3	わからない	522	7.9	171	7.4	190	8.5	161	7.7
	無回答	62	0.9	15	0.6	23	1.0	24	1.2
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

【保護者】Q16④ 子どもとの関わりについて適切な助言をしてくれる人の有無... (S A)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	いる	5451	82.1	1958	84.4	1839	82.2	1654	79.4
2	いない	556	8.4	161	6.9	196	8.8	199	9.6
3	わからない	574	8.6	184	7.9	186	8.3	204	9.8
	無回答	59	0.9	16	0.7	17	0.8	26	1.2
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

【保護者】Q16⑤ 子どもの学びや遊びをゆたかにする情報を教えてくれる人の有無... (S A)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	いる	4867	73.3	1754	75.6	1631	72.9	1482	71.1
2	いない	847	12.8	271	11.7	291	13.0	285	13.7
3	わからない	858	12.9	279	12.0	289	12.9	290	13.9
	無回答	68	1.0	15	0.6	27	1.2	26	1.2
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

【保護者】Q16⑥ 子どもの体調が悪いとき医療機関に連れて行ってくれる人の有無... (S A)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	いる	5041	75.9	1759	75.9	1693	75.6	1589	76.3
2	いない	1322	19.9	476	20.5	457	20.4	389	18.7
3	わからない	221	3.3	67	2.9	72	3.2	82	3.9
	無回答	56	0.8	17	0.7	16	0.7	23	1.1
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

【保護者】Q16⑦ 留守を頼める人... (S A)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	いる	4715	71.0	1648	71.1	1607	71.8	1460	70.1
2	いない	1595	24.0	565	24.4	522	23.3	508	24.4
3	わからない	278	4.2	93	4.0	93	4.2	92	4.4
	無回答	52	0.8	13	0.6	16	0.7	23	1.1
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

【保護者】Q17回答者の健康状態... (S A)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	良い	3668	55.2	1376	59.3	1221	54.6	1071	51.4
2	どちらかといえば良い	1050	15.8	377	16.3	343	15.3	330	15.8
3	普通	1302	19.6	393	16.9	455	20.3	454	21.8
4	どちらかといえば悪い	512	7.7	142	6.1	191	8.5	179	8.6
5	悪い	54	0.8	11	0.5	15	0.7	28	1.3
	無回答	54	0.8	20	0.9	13	0.6	21	1.0
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

保護者向け調査

全体	小学1年生	小学5年生	中学2年生
----	-------	-------	-------

【保護者】Q17調査対象になっている子どもの健康状態...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	良い	5058	76.2	1846	79.6	1712	76.5	1500	72.0
2	どちらかといえば良い	802	12.1	250	10.8	279	12.5	273	13.1
3	普通	654	9.8	174	7.5	220	9.8	260	12.5
4	どちらかといえば悪い	78	1.2	28	1.2	19	0.8	31	1.5
5	悪い	9	0.1	3	0.1	1	0.0	5	0.2
	無回答	39	0.6	18	0.8	7	0.3	14	0.7
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

【保護者】Q18①心の状態:神経過敏に感じた...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	いつも	261	3.9	96	4.1	90	4.0	75	3.6
2	たいてい	498	7.5	197	8.5	152	6.8	149	7.2
3	ときどき	1437	21.6	517	22.3	468	20.9	452	21.7
4	すこしだけ	1494	22.5	508	21.9	501	22.4	485	23.3
5	まったくない	2853	43.0	972	41.9	999	44.6	882	42.3
	無回答	97	1.5	29	1.3	28	1.3	40	1.9
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

【保護者】Q18②心の状態:絶望的だと感じた...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	いつも	90	1.4	38	1.6	28	1.3	24	1.2
2	たいてい	162	2.4	48	2.1	64	2.9	50	2.4
3	ときどき	617	9.3	226	9.7	207	9.2	184	8.8
4	すこしだけ	1010	15.2	340	14.7	335	15.0	335	16.1
5	まったくない	4665	70.3	1639	70.7	1573	70.3	1453	69.8
	無回答	96	1.4	28	1.2	31	1.4	37	1.8
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

【保護者】Q18③心の状態:そわそわ落ち着かなく感じた...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	いつも	106	1.6	36	1.6	41	1.8	29	1.4
2	たいてい	200	3.0	86	3.7	63	2.8	51	2.4
3	ときどき	939	14.1	351	15.1	307	13.7	281	13.5
4	すこしだけ	1451	21.9	473	20.4	476	21.3	502	24.1
5	まったくない	3841	57.8	1345	58.0	1318	58.9	1178	56.6
	無回答	103	1.6	28	1.2	33	1.5	42	2.0
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

【保護者】Q18④心の状態:気分が沈み込んで何が起っても気が晴れないように感じた...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	いつも	152	2.3	48	2.1	56	2.5	48	2.3
2	たいてい	296	4.5	111	4.8	99	4.4	86	4.1
3	ときどき	1078	16.2	405	17.5	352	15.7	321	15.4
4	すこしだけ	1637	24.7	525	22.6	521	23.3	591	28.4
5	まったくない	3389	51.0	1207	52.0	1183	52.9	999	48.0
	無回答	88	1.3	23	1.0	27	1.2	38	1.8
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

保護者向け調査

全体	小学1年生	小学5年生	中学2年生
----	-------	-------	-------

【保護者】Q18⑤ 心の状態:何をするのも骨折りだと感じた... (S A)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	いつも	123	1.9	31	1.3	53	2.4	39	1.9
2	たいてい	248	3.7	94	4.1	77	3.4	77	3.7
3	ときどき	846	12.7	291	12.5	283	12.6	272	13.1
4	すこしだけ	1478	22.3	496	21.4	479	21.4	503	24.1
5	まったくない	3852	58.0	1384	59.7	1314	58.7	1154	55.4
	無回答	93	1.4	23	1.0	32	1.4	38	1.8
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

【保護者】Q18⑥ 心の状態:自分は価値のない人間だと感じた... (S A)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	いつも	153	2.3	49	2.1	58	2.6	46	2.2
2	たいてい	187	2.8	62	2.7	60	2.7	65	3.1
3	ときどき	615	9.3	216	9.3	218	9.7	181	8.7
4	すこしだけ	1044	15.7	347	15.0	345	15.4	352	16.9
5	まったくない	4546	68.5	1624	70.0	1523	68.1	1399	67.2
	無回答	95	1.4	21	0.9	34	1.5	40	1.9
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

【保護者】Q19 過去1年間に子どもを受診させなかった経験の有無... (S A)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	ある	1480	22.3	487	21.0	484	21.6	509	24.4
2	ない	4984	75.1	1759	75.9	1703	76.1	1522	73.1
	無回答	176	2.7	73	3.1	51	2.3	52	2.5
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

【保護者】Q19-1 過去1年間に子どもを受診させなかった理由... (S A)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	公的医療保険に加入しておらず、医療費の支払いができなかったため	7	0.5	4	0.8	3	0.6	0	0.0
2	医療機関での自己負担金を支払うことができなかったため	228	15.4	71	14.6	95	19.6	62	12.2
3	子ども本人が嫌だと言ったため	120	8.1	33	6.8	28	5.8	59	11.6
4	医療機関までの距離が遠く、通院することが困難であったため	19	1.3	5	1.0	5	1.0	9	1.8
5	忙しくて、医療機関に連れて行く時間がなかったため	589	39.8	190	39.0	186	38.4	213	41.8
6	子どもの様子を見て、受診させなくてもよいと判断したため	408	27.6	156	32.0	134	27.7	118	23.2
7	その他の理由	66	4.5	13	2.7	22	4.5	31	6.1
	無回答	43	2.9	15	3.1	11	2.3	17	3.3
	全体	1480	100.0	487	100.0	484	100.0	509	100.0

【保護者】Q20 子どもの母親の最終学歴... (S A)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	中学校	408	6.1	139	6.0	146	6.5	123	5.9
2	高校	2225	33.5	671	28.9	779	34.8	775	37.2
3	各種専門学校	1661	25.0	614	26.5	522	23.3	525	25.2
4	短大・高専	1182	17.8	380	16.4	416	18.6	386	18.5
5	大学・大学院	1003	15.1	468	20.2	320	14.3	215	10.3
6	その他	32	0.5	11	0.5	6	0.3	15	0.7
	無回答	129	1.9	36	1.6	49	2.2	44	2.1
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

保護者向け調査

全体	小学1年生	小学5年生	中学2年生
----	-------	-------	-------

【保護者】Q21 子どもの父親の最終学歴... (SA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	中学校	565	8.5	187	8.1	211	9.4	167	8.0
2	高校	2364	35.6	741	32.0	816	36.5	807	38.7
3	各種専門学校	1177	17.7	430	18.5	377	16.8	370	17.8
4	短大・高専	217	3.3	80	3.4	63	2.8	74	3.6
5	大学・大学院	1692	25.5	696	30.0	562	25.1	434	20.8
6	その他	69	1.0	21	0.9	25	1.1	23	1.1
	無回答	556	8.4	164	7.1	184	8.2	208	10.0
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

【保護者】Q22 住居形態... (SA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	持ち家	3235	48.7	1020	44.0	1138	50.8	1077	51.7
2	県営・市町村営の住宅	522	7.9	193	8.3	153	6.8	176	8.4
3	公社賃貸住宅	39	0.6	14	0.6	12	0.5	13	0.6
4	民間の賃貸住宅	2589	39.0	987	42.6	858	38.3	744	35.7
5	官舎・社宅	113	1.7	56	2.4	32	1.4	25	1.2
6	その他	93	1.4	36	1.6	29	1.3	28	1.3
	無回答	49	0.7	13	0.6	16	0.7	20	1.0
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

【保護者】Q23① 満足度:利便性の良さ... (SA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	不満	324	4.9	115	5.0	107	4.8	102	4.9
2	やや不満	895	13.5	302	13.0	331	14.8	262	12.6
3	やや満足	1948	29.3	645	27.8	670	29.9	633	30.4
4	満足	3407	51.3	1240	53.5	1108	49.5	1059	50.8
	無回答	66	1.0	17	0.7	22	1.0	27	1.3
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

【保護者】Q23② 満足度:子どもを遊ばせるスペースの十分さ... (SA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	不満	1012	15.2	342	14.7	372	16.6	298	14.3
2	やや不満	1622	24.4	608	26.2	534	23.9	480	23.0
3	やや満足	1924	29.0	665	28.7	631	28.2	628	30.1
4	満足	2002	30.2	685	29.5	672	30.0	645	31.0
	無回答	80	1.2	19	0.8	29	1.3	32	1.5
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

【保護者】Q23③ 満足度:遮音性... (SA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	不満	784	11.8	290	12.5	289	12.9	205	9.8
2	やや不満	1734	26.1	608	26.2	574	25.6	552	26.5
3	やや満足	2135	32.2	741	32.0	730	32.6	664	31.9
4	満足	1883	28.4	652	28.1	608	27.2	623	29.9
	無回答	104	1.6	28	1.2	37	1.7	39	1.9
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

保護者向け調査

全体	小学1年生	小学5年生	中学2年生
----	-------	-------	-------

【保護者】Q23④ 満足度:日当たりのよさ...(S A)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	不満	272	4.1	97	4.2	93	4.2	82	3.9
2	やや不満	740	11.1	252	10.9	262	11.7	226	10.8
3	やや満足	2036	30.7	701	30.2	676	30.2	659	31.6
4	満足	3521	53.0	1253	54.0	1176	52.5	1092	52.4
	無回答	71	1.1	16	0.7	31	1.4	24	1.2
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

【保護者】Q23⑤ 満足度:風通しのよさ...(S A)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	不満	382	5.8	137	5.9	137	6.1	108	5.2
2	やや不満	906	13.6	318	13.7	299	13.4	289	13.9
3	やや満足	2195	33.1	736	31.7	740	33.1	719	34.5
4	満足	3074	46.3	1105	47.6	1030	46.0	939	45.1
	無回答	83	1.3	23	1.0	32	1.4	28	1.3
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

【保護者】Q23⑥ 満足度:災害に対する安全性...(S A)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	不満	555	8.4	179	7.7	206	9.2	170	8.2
2	やや不満	1443	21.7	509	21.9	471	21.0	463	22.2
3	やや満足	2470	37.2	859	37.0	820	36.6	791	38.0
4	満足	2054	30.9	741	32.0	699	31.2	614	29.5
	無回答	118	1.8	31	1.3	42	1.9	45	2.2
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

【保護者】Q23⑦ 満足度:住宅の防犯性...(S A)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	不満	596	9.0	211	9.1	215	9.6	170	8.2
2	やや不満	1662	25.0	587	25.3	549	24.5	526	25.3
3	やや満足	2679	40.3	907	39.1	900	40.2	872	41.9
4	満足	1598	24.1	587	25.3	535	23.9	476	22.9
	無回答	105	1.6	27	1.2	39	1.7	39	1.9
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

【保護者】Q23⑧ 満足度:住宅に係る費用...(S A)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	不満	768	11.6	259	11.2	264	11.8	245	11.8
2	やや不満	1888	28.4	652	28.1	619	27.7	617	29.6
3	やや満足	2490	37.5	874	37.7	837	37.4	779	37.4
4	満足	1383	20.8	508	21.9	472	21.1	403	19.3
	無回答	111	1.7	26	1.1	46	2.1	39	1.9
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

【保護者】Q24 自家用車の保有状況...(S A)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	持っている	6418	96.7	2250	97.0	2166	96.8	2002	96.1
2	持っていない	177	2.7	59	2.5	58	2.6	60	2.9
	無回答	45	0.7	10	0.4	14	0.6	21	1.0
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

保護者向け調査

全体	小学1年生	小学5年生	中学2年生
----	-------	-------	-------

【保護者】Q25前年の家計の状況...(SA)

No.	カテゴリ名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	貯蓄ができています	1839	27.7	688	29.7	610	27.3	541	26.0
2	赤字である	2177	32.8	722	31.1	718	32.1	737	35.4
3	赤字でもなく黒字でもない	2293	34.5	814	35.1	782	34.9	697	33.5
4	わからない	254	3.8	75	3.2	101	4.5	78	3.7
	無回答	77	1.2	20	0.9	27	1.2	30	1.4
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

【保護者】Q25赤字の場合の対応...(SA)

No.	カテゴリ名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	貯金・預金のとりくずし	918	42.2	331	45.8	272	37.9	315	42.7
2	親や親族などからの仕送り	253	11.6	88	12.2	77	10.7	88	11.9
3	金融機関等からの借入	682	31.3	209	28.9	234	32.6	239	32.4
4	その他	261	12.0	72	10.0	105	14.6	84	11.4
	無回答	63	2.9	22	3.0	30	4.2	11	1.5
	全体	2177	100.0	722	100.0	718	100.0	737	100.0

【保護者】Q25子どもの将来のための貯蓄...(SA)

No.	カテゴリ名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	貯蓄をしている	3442	51.8	1274	54.9	1172	52.4	996	47.8
2	貯蓄をしたいが、できていない	3055	46.0	1003	43.3	1017	45.4	1035	49.7
3	貯蓄をするつもりはない	16	0.2	4	0.2	4	0.2	8	0.4
	無回答	127	1.9	38	1.6	45	2.0	44	2.1
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

【保護者】Q26 経済的な理由で経験したこと:半年間...(MA)

No.	カテゴリ名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	食費を切りつめた	2397	36.1	799	34.5	808	36.1	790	37.9
2	電気・ガス・水道などが止められた	252	3.8	72	3.1	88	3.9	92	4.4
3	医療機関を受診できなかった	524	7.9	164	7.1	187	8.4	173	8.3
4	国民健康保険料の支払いが滞ったことがある	607	9.1	177	7.6	216	9.7	214	10.3
5	国民年金の支払いが滞ったことがある	624	9.4	198	8.5	207	9.2	219	10.5
6	金融機関などに借金をしたことがある	931	14.0	276	11.9	314	14.0	341	16.4
7	クレジットカードの利用が停止になったことがある	367	5.5	130	5.6	124	5.5	113	5.4
8	新しい衣服・靴を買うのを控えた	2658	40.0	926	39.9	887	39.6	845	40.6
9	新聞や雑誌を買うのを控えた	1492	22.5	517	22.3	488	21.8	487	23.4
10	スマートフォンへの切替・利用を断念した	495	7.5	138	6.0	167	7.5	190	9.1
11	冠婚葬祭のつきあいを控えた	455	6.9	151	6.5	138	6.2	166	8.0
12	生活の見通しがたたくなくて不安になったことがある	1661	25.0	549	23.7	545	24.4	567	27.2
13	バスやモラルの利用を控え、自転車を使ったり歩くようにした	226	3.4	67	2.9	85	3.8	74	3.6
14	電話などの通信料の支払いが滞ったことがある	624	9.4	189	8.2	206	9.2	229	11.0
15	家賃や住宅ローンの支払いが滞ったことがある	560	8.4	187	8.1	182	8.1	191	9.2
16	趣味やレジャーの出費を減らした	2636	39.7	913	39.4	861	38.5	862	41.4
17	冷暖房の使用を控えた	1135	17.1	370	16.0	365	16.3	400	19.2
18	友人・知人との外食を控えた	2315	34.9	788	34.0	759	33.9	768	36.9
19	敷金・保証金等を用意できないので、住み替え・転居を断念した	432	6.5	160	6.9	139	6.2	133	6.4
20	理髪店・美容院に行く回数を減らした	2209	33.3	785	33.9	723	32.3	701	33.7
21	子ども部屋が欲しかったがくれなかった	757	11.4	277	11.9	247	11.0	233	11.2
22	1~21の項目には、どれにもあてはまらない	1729	26.0	628	27.1	603	26.9	498	23.9
	無回答	369	5.6	115	5.0	132	5.9	122	5.9
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

保護者向け調査

全体	小学1年生	小学5年生	中学2年生
----	-------	-------	-------

【保護者】Q27 経済的な理由で経験したこと:1年間...(MA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	子どもを医療機関に受診させることができなかった	436	6.6	145	6.3	155	6.9	136	6.5
2	子どもの進路を変更した	98	1.5	28	1.2	35	1.6	35	1.7
3	子どものための本や絵本が買えなかった	561	8.4	205	8.8	207	9.2	149	7.2
4	子どもにおこづかいを渡すことができなかった	892	13.4	233	10.0	307	13.7	352	16.9
5	子どもに新しい服や靴を買うことができなかった	987	14.9	307	13.2	335	15.0	345	16.6
6	子どもを学校の遠足や修学旅行へ参加させることができなかった	16	0.2	5	0.2	7	0.3	4	0.2
7	子どもを習い事に通わすことができなかった	1130	17.0	429	18.5	367	16.4	334	16.0
8	子どもを学校のクラブ活動に参加させられなかった	190	2.9	66	2.8	71	3.2	53	2.5
9	子どもを学習塾に通わすことができなかった	968	14.6	284	12.2	326	14.6	358	17.2
10	子どもの誕生日を祝えなかった	164	2.5	43	1.9	43	1.9	78	3.7
11	子どもにお年玉をあげることができなかった	406	6.1	111	4.8	142	6.3	153	7.3
12	子どもの学校行事などに参加することができなかった	143	2.2	34	1.5	44	2.0	65	3.1
13	子ども会、地域の行事の活動に参加することができなかった	204	3.1	55	2.4	71	3.2	78	3.7
14	家族旅行ができなかった	1596	24.0	495	21.3	508	22.7	593	28.5
15	1~14の項目には、どれにもあてはまらない	3333	50.2	1242	53.6	1137	50.8	954	45.8
	無回答	768	11.6	253	10.9	259	11.6	256	12.3
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

【保護者】Q28 世帯収入(合算値)...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	0円	37	0.6	12	0.5	14	0.6	11	0.5
2	1~50万円未満	80	1.2	23	1.0	24	1.1	33	1.6
3	50~100万円未満	129	1.9	37	1.6	43	1.9	49	2.4
4	100~150万円未満	304	4.6	77	3.3	114	5.1	113	5.4
5	150~200万円未満	392	5.9	132	5.7	141	6.3	119	5.7
6	200~250万円未満	514	7.7	176	7.6	169	7.6	169	8.1
7	250~300万円未満	627	9.4	224	9.7	218	9.7	185	8.9
8	300~400万円未満	1025	15.4	385	16.6	330	14.7	310	14.9
9	400~500万円未満	897	13.5	349	15.0	284	12.7	264	12.7
10	500~600万円未満	692	10.4	228	9.8	250	11.2	214	10.3
11	600~700万円未満	473	7.1	189	8.2	133	5.9	151	7.2
12	700~800万円未満	373	5.6	127	5.5	141	6.3	105	5.0
13	800~900万円未満	183	2.8	68	2.9	63	2.8	52	2.5
14	900~1000万円未満	95	1.4	30	1.3	32	1.4	33	1.6
15	1000万円以上	200	3.0	64	2.8	69	3.1	67	3.2
	無回答	619	9.3	198	8.5	213	9.5	208	10.0
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

【保護者】Q28-1①1 児童手当・児童扶養手当・特別児童扶養手当:受給状況...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	受給している	4944	74.5	1735	74.8	1676	74.9	1533	73.6
2	受給していない	408	6.1	156	6.7	141	6.3	111	5.3
3	不明	579	8.7	217	9.4	185	8.3	177	8.5
	無回答	709	10.7	211	9.1	236	10.5	262	12.6
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

【保護者】Q28-1②1 公的年金:受給状況...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	受給している	161	2.4	35	1.5	49	2.2	77	3.7
2	受給していない	4580	69.0	1700	73.3	1545	69.0	1335	64.1
3	不明	218	3.3	64	2.8	77	3.4	77	3.7
	無回答	1681	25.3	520	22.4	567	25.3	594	28.5
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

保護者向け調査

全体	小学1年生	小学5年生	中学2年生
----	-------	-------	-------

【保護者】Q28-1③1 生活保護:受給状況...(S A)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	受給している	36	0.5	10	0.4	12	0.5	14	0.7
2	受給していない	4885	73.6	1791	77.2	1645	73.5	1449	69.6
3	不明	48	0.7	11	0.5	14	0.6	23	1.1
	無回答	1671	25.2	507	21.9	567	25.3	597	28.7
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

【保護者】Q28-2 世帯収入に含まれている母親の年間収入...(S A)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	0円	942	14.2	390	16.8	301	13.4	251	12.0
2	1~50万円未満	382	5.8	142	6.1	139	6.2	101	4.8
3	50~100万円未満	1160	17.5	419	18.1	381	17.0	360	17.3
4	100~150万円未満	1198	18.0	382	16.5	415	18.5	401	19.3
5	150~200万円未満	677	10.2	227	9.8	217	9.7	233	11.2
6	200~250万円未満	473	7.1	176	7.6	150	6.7	147	7.1
7	250~300万円未満	325	4.9	109	4.7	107	4.8	109	5.2
8	300~400万円未満	391	5.9	148	6.4	137	6.1	106	5.1
9	400~500万円未満	214	3.2	78	3.4	75	3.4	61	2.9
10	500~600万円未満	99	1.5	16	0.7	41	1.8	42	2.0
11	600~700万円未満	41	0.6	15	0.6	11	0.5	15	0.7
12	700万円以上	30	0.5	8	0.3	10	0.4	12	0.6
13	世帯収入に含まれていない、または不明	69	1.0	21	0.9	23	1.0	25	1.2
14	お母さんはいない	48	0.7	13	0.6	19	0.8	16	0.8
	無回答	591	8.9	175	7.5	212	9.5	204	9.8
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

【保護者】Q28-3 世帯収入に含まれている父親の年間収入...(S A)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	0円	73	1.1	22	0.9	20	0.9	31	1.5
2	1~50万円未満	62	0.9	15	0.6	18	0.8	29	1.4
3	50~100万円未満	125	1.9	43	1.9	51	2.3	31	1.5
4	100~150万円未満	287	4.3	104	4.5	95	4.2	88	4.2
5	150~200万円未満	539	8.1	206	8.9	179	8.0	154	7.4
6	200~250万円未満	767	11.6	292	12.6	276	12.3	199	9.6
7	250~300万円未満	679	10.2	241	10.4	227	10.1	211	10.1
8	300~400万円未満	996	15.0	387	16.7	320	14.3	289	13.9
9	400~500万円未満	700	10.5	265	11.4	223	10.0	212	10.2
10	500~600万円未満	423	6.4	136	5.9	156	7.0	131	6.3
11	600~700万円未満	245	3.7	80	3.4	77	3.4	88	4.2
12	700万円以上	284	4.3	101	4.4	101	4.5	82	3.9
13	世帯収入に含まれていない、または不明	66	1.0	21	0.9	20	0.9	25	1.2
14	お父さんはいない	432	6.5	130	5.6	143	6.4	159	7.6
	無回答	962	14.5	276	11.9	332	14.8	354	17.0
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

保護者向け調査

全体	小学1年生	小学5年生	中学2年生
----	-------	-------	-------

【保護者】Q28-4 世帯収入に含まれているその他の年間収入... (S A)

No.	カテゴリ名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	0円	804	12.1	289	12.5	255	11.4	260	12.5
2	1～50万円未満	135	2.0	26	1.1	49	2.2	60	2.9
3	50～100万円未満	127	1.9	28	1.2	43	1.9	56	2.7
4	100～150万円未満	104	1.6	31	1.3	28	1.3	45	2.2
5	150～200万円未満	98	1.5	25	1.1	31	1.4	42	2.0
6	200～250万円未満	72	1.1	24	1.0	25	1.1	23	1.1
7	250～300万円未満	48	0.7	15	0.6	15	0.7	18	0.9
8	300～400万円未満	33	0.5	6	0.3	12	0.5	15	0.7
9	400～500万円未満	26	0.4	10	0.4	8	0.4	8	0.4
10	500～600万円未満	21	0.3	8	0.3	5	0.2	8	0.4
11	600～700万円未満	9	0.1	4	0.2	4	0.2	1	0.0
12	700万円以上	20	0.3	10	0.4	3	0.1	7	0.3
13	世帯収入に含まれていない、または不明	163	2.5	50	2.2	60	2.7	53	2.5
14	その他の方はいない	2851	42.9	1067	46.0	956	42.7	828	39.8
	無回答	2129	32.1	726	31.3	744	33.2	659	31.6
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

【保護者】Q29 1か月の平均的な支出... (S A)

No.	カテゴリ名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	支出はまったくない	176	2.7	58	2.5	64	2.9	54	2.6
2	1～5万円未満	240	3.6	81	3.5	73	3.3	86	4.1
3	5～10万円未満	596	9.0	208	9.0	208	9.3	180	8.6
4	10～15万円未満	1119	16.9	386	16.6	386	17.2	347	16.7
5	15～20万円未満	1355	20.4	513	22.1	458	20.5	384	18.4
6	20～30万円未満	1605	24.2	569	24.5	518	23.1	518	24.9
7	30～40万円未満	619	9.3	212	9.1	213	9.5	194	9.3
8	40～50万円未満	149	2.2	55	2.4	42	1.9	52	2.5
9	50万円以上	78	1.2	20	0.9	35	1.6	23	1.1
	無回答	703	10.6	217	9.4	241	10.8	245	11.8
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

【保護者】Q30 1か月の食費についての平均的な支出... (S A)

No.	カテゴリ名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	支出はまったくない	11	0.2	4	0.2	2	0.1	5	0.2
2	5千円～1万円未満	25	0.4	6	0.3	9	0.4	10	0.5
3	1万円～1万5千円未満	69	1.0	33	1.4	23	1.0	13	0.6
4	1万5千円～2万円未満	139	2.1	63	2.7	41	1.8	35	1.7
5	2万円～2万5千円未満	187	2.8	84	3.6	56	2.5	47	2.3
6	2万5千円～3万円未満	522	7.9	211	9.1	155	6.9	156	7.5
7	3万円～4万円未満	1027	15.5	405	17.5	334	14.9	288	13.8
8	4万円～5万円未満	1175	17.7	413	17.8	402	18.0	360	17.3
9	5万円～6万円未満	1052	15.8	369	15.9	348	15.5	335	16.1
10	6万円～7万円未満	704	10.6	243	10.5	250	11.2	211	10.1
11	7万円～8万円未満	501	7.5	144	6.2	189	8.4	168	8.1
12	8万円～9万円未満	242	3.6	66	2.8	82	3.7	94	4.5
13	9万円～10万円未満	245	3.7	71	3.1	83	3.7	91	4.4
14	10万円以上	193	2.9	51	2.2	73	3.3	69	3.3
	無回答	548	8.3	156	6.7	191	8.5	201	9.6
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

保護者向け調査

全体	小学1年生	小学5年生	中学2年生
----	-------	-------	-------

【保護者】Q31 1か月の住居費についての平均的な支出... (SA)

No.	カテゴリ名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	支出はまったくない	688	10.4	217	9.4	233	10.4	238	11.4
2	5千円～1万円未満	88	1.3	33	1.4	31	1.4	24	1.2
3	1万円～1万5千円未満	86	1.3	38	1.6	18	0.8	30	1.4
4	1万5千円～2万円未満	163	2.5	61	2.6	48	2.1	54	2.6
5	2万円～2万5千円未満	182	2.7	65	2.8	59	2.6	58	2.8
6	2万5千円～3万円未満	202	3.0	75	3.2	49	2.2	78	3.7
7	3万円～3万5千円未満	201	3.0	59	2.5	78	3.5	64	3.1
8	3万5千円～4万円未満	210	3.2	62	2.7	69	3.1	79	3.8
9	4万円～5万円未満	602	9.1	196	8.5	215	9.6	191	9.2
10	5万円～6万円未満	983	14.8	363	15.7	344	15.4	276	13.3
11	6万円～7万円未満	963	14.5	355	15.3	324	14.5	284	13.6
12	7万円～8万円未満	595	9.0	231	10.0	190	8.5	174	8.4
13	8万円～9万円未満	304	4.6	103	4.4	104	4.6	97	4.7
14	9万円～10万円未満	296	4.5	115	5.0	99	4.4	82	3.9
15	10万円以上	520	7.8	181	7.8	181	8.1	158	7.6
	無回答	557	8.4	165	7.1	196	8.8	196	9.4
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

【保護者】Q32 学校以外の教育にかかる1か月あたりの平均の支出... (SA)

No.	カテゴリ名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	支出はまったくない	1708	25.7	605	26.1	489	21.8	614	29.5
2	5千円未満	733	11.0	251	10.8	307	13.7	175	8.4
3	5千円～1万円未満	1284	19.3	472	20.4	522	23.3	290	13.9
4	1万円～1万5千円未満	966	14.5	407	17.6	331	14.8	228	10.9
5	1万5千円～2万円未満	728	11.0	210	9.1	186	8.3	332	15.9
6	2万円～2万5千円未満	350	5.3	119	5.1	98	4.4	133	6.4
7	2万5千円～3万円未満	223	3.4	70	3.0	75	3.4	78	3.7
8	3万円～5万円未満	197	3.0	60	2.6	81	3.6	56	2.7
9	5万円以上	56	0.8	12	0.5	22	1.0	22	1.1
	無回答	395	5.9	113	4.9	127	5.7	155	7.4
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

【保護者】Q33 市町村の支援員から支援を受けた経験の有無... (SA)

No.	カテゴリ名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	よく利用している	37	0.6	19	0.8	8	0.4	10	0.5
2	利用している	80	1.2	30	1.3	25	1.1	25	1.2
3	ほとんど利用していない	324	4.9	133	5.7	94	4.2	97	4.7
4	利用していない	4526	68.2	1566	67.5	1542	68.9	1418	68.1
5	そのようなサービスを知らない	1356	20.4	478	20.6	464	20.7	414	19.9
	無回答	317	4.8	93	4.0	105	4.7	119	5.7
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

【保護者】Q33-1 市町村の支援員から受けた支援の内容... (MA)

No.	カテゴリ名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	悩みごとの相談を聞いてもらうこと	45	38.5	22	44.9	6	18.2	17	48.6
2	生活に関する支援	30	25.6	14	28.6	6	18.2	10	28.6
3	福祉に関する支援	26	22.2	11	22.4	7	21.2	8	22.9
4	教育に関する支援	53	45.3	18	36.7	14	42.4	21	60.0
5	就労に関する支援	12	10.3	3	6.1	6	18.2	3	8.6
6	金銭に関する支援	5	4.3	1	2.0	1	3.0	3	8.6
7	住まいに関する支援	13	11.1	3	6.1	6	18.2	4	11.4
8	その他	9	7.7	5	10.2	2	6.1	2	5.7
	無回答	15	12.8	4	8.2	6	18.2	5	14.3
	全体	117	100.0	49	100.0	33	100.0	35	100.0

【保護者】Q34(1)ア 知っているもの:児童センター... (SA)

No.	カテゴリ名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	あてはまる	4531	68.2	1658	71.5	1541	68.9	1332	63.9
2	あてはまらない	624	9.4	206	8.9	192	8.6	226	10.8
	無回答	1485	22.4	455	19.6	505	22.6	525	25.2
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

【保護者】Q34(1)イ 知っているもの:放課後児童クラブ... (SA)

No.	カテゴリ名	n	%	n	%	n	%	n	%
-----	-------	---	---	---	---	---	---	---	---

保護者向け調査		全体		小学1年生		小学5年生		中学2年生	
1	あてはまる	4461	67.2	1718	74.1	1507	67.3	1236	59.3
2	あてはまらない	677	10.2	165	7.1	218	9.7	294	14.1
	無回答	1502	22.6	436	18.8	513	22.9	553	26.5
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

【保護者】Q34(1)ウ 知っているもの:子どもの居場所...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	あてはまる	1956	29.5	611	26.3	688	30.7	657	31.5
2	あてはまらない	2984	44.9	1171	50.5	975	43.6	838	40.2
	無回答	1700	25.6	537	23.2	575	25.7	588	28.2
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

【保護者】Q34(1)エ 知っているもの:無料塾...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	あてはまる	1371	20.6	385	16.6	431	19.3	555	26.6
2	あてはまらない	3524	53.1	1390	59.9	1203	53.8	931	44.7
	無回答	1745	26.3	544	23.5	604	27.0	597	28.7
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

【保護者】Q34(1)オ 知っているもの:放課後子ども教室...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	あてはまる	1929	29.1	568	24.5	765	34.2	596	28.6
2	あてはまらない	3001	45.2	1213	52.3	895	40.0	893	42.9
	無回答	1710	25.8	538	23.2	578	25.8	594	28.5
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

【保護者】Q34(2)ア 利用したもの:児童センター...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	あてはまる	2573	56.8	898	54.2	900	58.4	775	58.2
2	あてはまらない	1567	34.6	629	37.9	505	32.8	433	32.5
	無回答	391	8.6	131	7.9	136	8.8	124	9.3
	全体	4531	100.0	1658	100.0	1541	100.0	1332	100.0

【保護者】Q34(2)イ 利用したもの:放課後児童クラブ...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	あてはまる	2215	49.7	943	54.9	726	48.2	546	44.2
2	あてはまらない	1910	42.8	672	39.1	663	44.0	575	46.5
	無回答	336	7.5	103	6.0	118	7.8	115	9.3
	全体	4461	100.0	1718	100.0	1507	100.0	1236	100.0

保護者向け調査

全体	小学1年生	小学5年生	中学2年生
----	-------	-------	-------

【保護者】Q34(2)ウ 利用したもの:子どもの居場所...(S A)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	あてはまる	274	14.0	91	14.9	99	14.4	84	12.8
2	あてはまらない	1456	74.4	454	74.3	500	72.7	502	76.4
	無回答	226	11.6	66	10.8	89	12.9	71	10.8
	全体	1956	100.0	611	100.0	688	100.0	657	100.0

【保護者】Q34(2)エ 利用したもの:無料塾...(S A)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	あてはまる	168	12.3	41	10.6	35	8.1	92	16.6
2	あてはまらない	1054	76.9	303	78.7	349	81.0	402	72.4
	無回答	149	10.9	41	10.6	47	10.9	61	11.0
	全体	1371	100.0	385	100.0	431	100.0	555	100.0

【保護者】Q34(2)オ 利用したもの:放課後子ども教室...(S A)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	あてはまる	552	28.6	152	26.8	265	34.6	135	22.7
2	あてはまらない	1209	62.7	373	65.7	434	56.7	402	67.4
	無回答	168	8.7	43	7.6	66	8.6	59	9.9
	全体	1929	100.0	568	100.0	765	100.0	596	100.0

【保護者】Q34(3)ア 今後利用したいもの:児童センター...(S A)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	あてはまる	1748	26.3	878	37.9	562	25.1	308	14.8
2	あてはまらない	1833	27.6	462	19.9	599	26.8	772	37.1
	無回答	3059	46.1	979	42.2	1077	48.1	1003	48.2
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

【保護者】Q34(3)イ 今後利用したいもの:放課後児童クラブ...(S A)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	あてはまる	1165	17.5	744	32.1	272	12.2	149	7.2
2	あてはまらない	2527	38.1	598	25.8	963	43.0	966	46.4
	無回答	2948	44.4	977	42.1	1003	44.8	968	46.5
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

【保護者】Q34(3)ウ 今後利用したいもの:子どもの居場所...(S A)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	あてはまる	1035	15.6	467	20.1	352	15.7	216	10.4
2	あてはまらない	2932	44.2	1042	44.9	969	43.3	921	44.2
	無回答	2673	40.3	810	34.9	917	41.0	946	45.4
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

【保護者】Q34(3)エ 今後利用したいもの:無料塾...(S A)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	あてはまる	2228	33.6	876	37.8	753	33.6	599	28.8
2	あてはまらない	1965	29.6	679	29.3	652	29.1	634	30.4
	無回答	2447	36.9	764	32.9	833	37.2	850	40.8
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

保護者向け調査

全体	小学1年生	小学5年生	中学2年生
----	-------	-------	-------

【保護者】Q34(3) オ 今後利用したいもの:放課後子ども教室... (SA)

No.	カテゴリ名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	あてはまる	1718	25.9	829	35.7	570	25.5	319	15.3
2	あてはまらない	2318	34.9	694	29.9	770	34.4	854	41.0
	無回答	2604	39.2	796	34.3	898	40.1	910	43.7
	全体	6640	100.0	2319	100.0	2238	100.0	2083	100.0

【保護者】Q35 放課後児童クラブの利用状況... (SA)

No.	カテゴリ名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	利用している	1150	25.2	991	42.7	159	7.1	0	0.0
2	利用していない	2914	63.9	1105	47.6	1809	80.8	0	0.0
3	放課後児童クラブを知らない	40	0.9	25	1.1	15	0.7	0	0.0
	無回答	453	9.9	198	8.5	255	11.4	0	0.0
	全体	4557	100.0	2319	100.0	2238	100.0	0	0.0

【保護者】Q35-1① 学童保育のひと月あたりの利用料... (SA)

No.	カテゴリ名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	2,000円未満	65	5.7	50	5.0	15	9.4	0	0.0
2	2,000～4,000円未満	33	2.9	21	2.1	12	7.5	0	0.0
3	4,000～6,000円未満	67	5.8	48	4.8	19	11.9	0	0.0
4	6,000～8,000円未満	70	6.1	45	4.5	25	15.7	0	0.0
5	8,000～10,000円未満	139	12.1	109	11.0	30	18.9	0	0.0
6	10,000～12,000円未満	359	31.2	337	34.0	22	13.8	0	0.0
7	12,000～14,000円未満	203	17.7	191	19.3	12	7.5	0	0.0
8	14,000～16,000円未満	136	11.8	127	12.8	9	5.7	0	0.0
9	16,000円以上	57	5.0	50	5.0	7	4.4	0	0.0
	無回答	21	1.8	13	1.3	8	5.0	0	0.0
	全体	1150	100.0	991	100.0	159	100.0	0	0.0

【保護者】Q35-1② 利用料に対する負担感... (SA)

No.	カテゴリ名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	とても負担に感じている	246	21.4	224	22.6	22	13.8	0	0.0
2	少し負担に感じている	426	37.0	384	38.7	42	26.4	0	0.0
3	適正だと感じている	367	31.9	300	30.3	67	42.1	0	0.0
4	少し安いと感じている	33	2.9	27	2.7	6	3.8	0	0.0
5	安いと感じている	58	5.0	42	4.2	16	10.1	0	0.0
	無回答	20	1.7	14	1.4	6	3.8	0	0.0
	全体	1150	100.0	991	100.0	159	100.0	0	0.0

【保護者】Q36 学童保育を利用していない理由... (MA)

No.	カテゴリ名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	働いていないので利用する必要がなかった	572	19.6	301	27.2	271	15.0	0	0.0
2	放課後、子どもの面倒をみる大人がいるので必要ない	962	33.0	408	36.9	554	30.6	0	0.0
3	施設に空きがなく入れなかった	134	4.6	94	8.5	40	2.2	0	0.0
4	利用したかったが、利用料が高くてあきらめた	379	13.0	196	17.7	183	10.1	0	0.0
5	子どもだけでも心配ない	361	12.4	50	4.5	311	17.2	0	0.0
6	塾や習い事などをさせているから	821	28.2	218	19.7	603	33.3	0	0.0
7	他の子育て支援施設を利用している	166	5.7	88	8.0	78	4.3	0	0.0
8	放課後児童クラブを知らなかった	33	1.1	15	1.4	18	1.0	0	0.0
9	その他	493	16.9	147	13.3	346	19.1	0	0.0
	無回答	77	2.6	28	2.5	49	2.7	0	0.0
	全体	2914	100.0	1105	100.0	1809	100.0	0	0.0

保護者向け調査

全体	小学1年生	小学5年生	中学2年生
----	-------	-------	-------

【保護者】Q36-1 学童保育を利用できると思う金額...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%	n	%
1	2,000円未満	112	29.6	52	26.5	60	32.8	0	0.0
2	2,000~4,000円未満	101	26.6	44	22.4	57	31.1	0	0.0
3	4,000~6,000円未満	118	31.1	71	36.2	47	25.7	0	0.0
4	6,000~8,000円未満	19	5.0	11	5.6	8	4.4	0	0.0
5	8,000~10,000円未満	11	2.9	8	4.1	3	1.6	0	0.0
6	10,000~12,000円未満	2	0.5	1	0.5	1	0.5	0	0.0
7	12,000~14,000円未満	3	0.8	1	0.5	2	1.1	0	0.0
8	14,000~16,000円未満	3	0.8	3	1.5	0	0.0	0	0.0
9	16,000円以上	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	無回答	10	2.6	5	2.6	5	2.7	0	0.0
	全体	379	100.0	196	100.0	183	100.0	0	0.0

全体	小学5年生	中学2年生
----	-------	-------

【子ども】Q1 性別...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%
1	男	2018	46.0	1047	46.2	971	45.8
2	女	2253	51.4	1172	51.8	1081	50.9
3	その他	14	0.3	2	0.1	12	0.6
4	答えたくない	34	0.8	12	0.5	22	1.0
	無回答	67	1.5	31	1.4	36	1.7
	全体	4386	100.0	2264	100.0	2122	100.0

【子ども】Q2 学年...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%
1	小学校5年生	2264	51.6	2264	100.0	0	0.0
2	中学校2年生	2122	48.4	0	0.0	2122	100.0
	無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	全体	4386	100.0	2264	100.0	2122	100.0

【子ども】Q3 持っているものや使うことができるもの...(MA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%
1	本	3229	73.6	1694	74.8	1535	72.3
2	マンガ・雑誌	3185	72.6	1552	68.6	1633	77.0
3	子ども部屋	2850	65.0	1396	61.7	1454	68.5
4	インターネットにつながるパソコン	1635	37.3	719	31.8	916	43.2
5	運動用具	3438	78.4	1772	78.3	1666	78.5
6	ゲーム機	3141	71.6	1691	74.7	1450	68.3
7	自転車	2459	56.1	1329	58.7	1130	53.3
8	テレビ	3518	80.2	1819	80.3	1699	80.1
9	携帯電話	2056	46.9	1032	45.6	1024	48.3
10	スマートフォン・タブレット機器	2907	66.3	1204	53.2	1703	80.3
11	化粧品・アクセサリー	1090	24.9	471	20.8	619	29.2
12	習いごとなどの道具	1848	42.1	1086	48.0	762	35.9
13	自分で選んだ服	3432	78.2	1746	77.1	1686	79.5
14	キャラクターグッズ	2308	52.6	1275	56.3	1033	48.7
15	その他	693	15.8	368	16.3	325	15.3
16	あてはまるものはない	5	0.1	3	0.1	2	0.1
	無回答	63	1.4	32	1.4	31	1.5
	全体	4386	100.0	2264	100.0	2122	100.0

【子ども】Q4 将来の夢...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%
1	ある	3374	76.9	1895	83.7	1479	69.7
2	ない	937	21.4	330	14.6	607	28.6
	無回答	75	1.7	39	1.7	36	1.7
	全体	4386	100.0	2264	100.0	2122	100.0

【子ども】Q4-1 夢がない理由...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%
1	夢がかなうのがむずかしいと思うから	118	12.6	48	14.5	70	11.5
2	具体的に何も思いうかばないから	565	60.3	189	57.3	376	61.9
3	その他	53	5.7	20	6.1	33	5.4
4	わからない	167	17.8	59	17.9	108	17.8
	無回答	34	3.6	14	4.2	20	3.3
	全体	937	100.0	330	100.0	607	100.0

【子ども】Q5① 何かに失敗したときに、たすけてくれる人の有無...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%
1	いる	3295	75.1	1718	75.9	1577	74.3
2	いない	121	2.8	70	3.1	51	2.4
3	わからない	882	20.1	419	18.5	463	21.8
	無回答	88	2.0	57	2.5	31	1.5
	全体	4386	100.0	2264	100.0	2122	100.0

【子ども】Q5② がんばったときに、ほめてくれる人の有無...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%
1	いる	3608	82.3	1878	83.0	1730	81.5
2	いない	138	3.1	68	3.0	70	3.3
3	わからない	557	12.7	267	11.8	290	13.7
	無回答	83	1.9	51	2.3	32	1.5
	全体	4386	100.0	2264	100.0	2122	100.0

【子ども】Q5③ 一人ではできないときに、気持ちよく手伝ってくれる人の有無...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%
1	いる	3219	73.4	1675	74.0	1544	72.8
2	いない	182	4.1	91	4.0	91	4.3
3	わからない	888	20.2	434	19.2	454	21.4
	無回答	97	2.2	64	2.8	33	1.6
	全体	4386	100.0	2264	100.0	2122	100.0

【子ども】Q5④ 悩んでいるときに、どうしたらよいか教えてくれる人の有無...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%
1	いる	3252	74.1	1706	75.4	1546	72.9
2	いない	176	4.0	87	3.8	89	4.2
3	わからない	867	19.8	413	18.2	454	21.4
	無回答	91	2.1	58	2.6	33	1.6
	全体	4386	100.0	2264	100.0	2122	100.0

【子ども】Q6 参加したことがある地域の活動... (MA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%
1	近所のおまつり	3045	69.4	1488	65.7	1557	73.4
2	子ども会や町内会などが開いた運動会やクリスマス会などの行事	1771	40.4	969	42.8	802	37.8
3	公園や道路などのそうじ、地域の避難訓練	1126	25.7	508	22.4	618	29.1
4	どれにも参加したり、行ったりしていない	814	18.6	474	20.9	340	16.0
	無回答	125	2.8	62	2.7	63	3.0
	全体	4386	100.0	2264	100.0	2122	100.0

【子ども】Q7① 楽しみ度合_学校の体育・家庭科・音楽・図工・書道の授業... (SA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%
1	とても楽しみ	1539	35.1	967	42.7	572	27.0
2	楽しみ	1587	36.2	767	33.9	820	38.6
3	少し楽しみ	854	19.5	363	16.0	491	23.1
4	楽しみではない	276	6.3	89	3.9	187	8.8
	無回答	130	3.0	78	3.4	52	2.5
	全体	4386	100.0	2264	100.0	2122	100.0

【子ども】Q7② 楽しみ度合_学校の体育・家庭科・音楽・図工・書道以外の授業... (SA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%
1	とても楽しみ	754	17.2	480	21.2	274	12.9
2	楽しみ	1316	30.0	691	30.5	625	29.5
3	少し楽しみ	1437	32.8	725	32.0	712	33.6
4	楽しみではない	713	16.3	262	11.6	451	21.3
	無回答	166	3.8	106	4.7	60	2.8
	全体	4386	100.0	2264	100.0	2122	100.0

【子ども】Q7③ 楽しみ度合_学校の先生に会うこと... (SA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%
1	とても楽しみ	842	19.2	607	26.8	235	11.1
2	楽しみ	1296	29.5	743	32.8	553	26.1
3	少し楽しみ	1173	26.7	536	23.7	637	30.0
4	楽しみではない	893	20.4	269	11.9	624	29.4
	無回答	182	4.1	109	4.8	73	3.4
	全体	4386	100.0	2264	100.0	2122	100.0

【子ども】Q7④ 楽しみ度合_学校の友だちに会うこと... (SA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%
1	とても楽しみ	2777	63.3	1546	68.3	1231	58.0
2	楽しみ	983	22.4	450	19.9	533	25.1
3	少し楽しみ	353	8.0	129	5.7	224	10.6
4	楽しみではない	122	2.8	48	2.1	74	3.5
	無回答	151	3.4	91	4.0	60	2.8
	全体	4386	100.0	2264	100.0	2122	100.0

【子ども】Q7⑤ 楽しみ度合_学校の部活動...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%
1	とても楽しみ	1708	38.9	846	37.4	862	40.6
2	楽しみ	868	19.8	375	16.6	493	23.2
3	少し楽しみ	500	11.4	203	9.0	297	14.0
4	楽しみではない	662	15.1	370	16.3	292	13.8
	無回答	648	14.8	470	20.8	178	8.4
	全体	4386	100.0	2264	100.0	2122	100.0

【子ども】Q7⑥ 楽しみ度合_学校の休み時間...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%
1	とても楽しみ	2518	57.4	1399	61.8	1119	52.7
2	楽しみ	1129	25.7	519	22.9	610	28.7
3	少し楽しみ	413	9.4	177	7.8	236	11.1
4	楽しみではない	159	3.6	62	2.7	97	4.6
	無回答	167	3.8	107	4.7	60	2.8
	全体	4386	100.0	2264	100.0	2122	100.0

【子ども】Q7⑦ 楽しみ度合_学校の給食...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%
1	とても楽しみ	2039	46.5	1130	49.9	909	42.8
2	楽しみ	1269	28.9	625	27.6	644	30.3
3	少し楽しみ	663	15.1	308	13.6	355	16.7
4	楽しみではない	246	5.6	94	4.2	152	7.2
	無回答	169	3.9	107	4.7	62	2.9
	全体	4386	100.0	2264	100.0	2122	100.0

【子ども】Q7⑧ 楽しみ度合_その他...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%
1	とても楽しみ	998	22.8	567	25.0	431	20.3
2	楽しみ	953	21.7	439	19.4	514	24.2
3	少し楽しみ	574	13.1	263	11.6	311	14.7
4	楽しみではない	353	8.0	135	6.0	218	10.3
	無回答	1508	34.4	860	38.0	648	30.5
	全体	4386	100.0	2264	100.0	2122	100.0

【子ども】Q8 成績...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%
1	上のほう	502	11.4	263	11.6	239	11.3
2	やや上のほう	739	16.8	367	16.2	372	17.5
3	まん中あたり	1539	35.1	879	38.8	660	31.1
4	やや下のほう	795	18.1	395	17.4	400	18.9
5	下のほう	639	14.6	255	11.3	384	18.1
6	どれにもあてはまらない	57	1.3	32	1.4	25	1.2
	無回答	115	2.6	73	3.2	42	2.0
	全体	4386	100.0	2264	100.0	2122	100.0

【子ども】Q9 学校の勉強の理解度...(S A)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%
1	よくわかる	762	17.4	539	23.8	223	10.5
2	だいたいわかる	2327	53.1	1204	53.2	1123	52.9
3	あまりわからない	870	19.8	337	14.9	533	25.1
4	ほとんどわからない	213	4.9	68	3.0	145	6.8
5	どれにもあてはまらない	89	2.0	36	1.6	53	2.5
	無回答	125	2.8	80	3.5	45	2.1
	全体	4386	100.0	2264	100.0	2122	100.0

【子ども】Q10 学校の授業以外での1日の勉強時間...(S A)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%
1	まったくしない	170	3.9	35	1.5	135	6.4
2	30分より少ない	522	11.9	186	8.2	336	15.8
3	30分以上、1時間より少ない	1249	28.5	694	30.7	555	26.2
4	1時間以上、2時間より少ない	1251	28.5	730	32.2	521	24.6
5	2時間以上、3時間より少ない	584	13.3	267	11.8	317	14.9
6	3時間以上	286	6.5	161	7.1	125	5.9
7	わからない	227	5.2	134	5.9	93	4.4
	無回答	97	2.2	57	2.5	40	1.9
	全体	4386	100.0	2264	100.0	2122	100.0

【子ども】Q11 理想的な学歴...(S A)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%
1	中学校まで	36	0.8	31	1.4	5	0.2
2	高校まで	665	15.2	331	14.6	334	15.7
3	専門学校まで	763	17.4	393	17.4	370	17.4
4	短期大学・高専まで	133	3.0	57	2.5	76	3.6
5	大学まで	1627	37.1	752	33.2	875	41.2
6	大学院まで	184	4.2	131	5.8	53	2.5
7	考えたことがない	309	7.0	224	9.9	85	4.0
8	決まっていない・わからない	554	12.6	270	11.9	284	13.4
	無回答	115	2.6	75	3.3	40	1.9
	全体	4386	100.0	2264	100.0	2122	100.0

【子ども】Q12 現実的な学歴...(S A)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%
1	中学校まで	92	2.1	48	2.1	44	2.1
2	高校まで	1055	24.1	531	23.5	524	24.7
3	専門学校まで	671	15.3	351	15.5	320	15.1
4	短期大学・高専まで	173	3.9	98	4.3	75	3.5
5	大学まで	1369	31.2	655	28.9	714	33.6
6	大学院まで	86	2.0	59	2.6	27	1.3
7	考えたことがない	343	7.8	230	10.2	113	5.3
8	決まっていない・わからない	502	11.4	235	10.4	267	12.6
	無回答	95	2.2	57	2.5	38	1.8
	全体	4386	100.0	2264	100.0	2122	100.0

全体	小学5年生	中学2年生
----	-------	-------

【子ども】Q13 現実的な学歴の理由...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%
1	それが自分の希望だから	1781	40.6	906	40.0	875	41.2
2	ふつうその学校まで行くと思うから	489	11.1	259	11.4	230	10.8
3	自分の学力から考えて	678	15.5	313	13.8	365	17.2
4	親がそう希望しているから	162	3.7	96	4.2	66	3.1
5	自分が希望する学校まで進学する必要はないと親が考えているから	10	0.2	5	0.2	5	0.2
6	家庭に経済的な余裕がないから	48	1.1	19	0.8	29	1.4
7	その他	207	4.7	119	5.3	88	4.1
8	特に理由はない	874	19.9	468	20.7	406	19.1
	無回答	137	3.1	79	3.5	58	2.7
	全体	4386	100.0	2264	100.0	2122	100.0

【子ども】Q14 健康状態...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%
1	良い	2081	47.4	1035	45.7	1046	49.3
2	どちらかといえば良い	904	20.6	500	22.1	404	19.0
3	ふつう	1039	23.7	573	25.3	466	22.0
4	どちらかといえば悪い	224	5.1	91	4.0	133	6.3
5	悪い	45	1.0	12	0.5	33	1.6
	無回答	93	2.1	53	2.3	40	1.9
	全体	4386	100.0	2264	100.0	2122	100.0

【子ども】Q15 虫歯の本数...(数量)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%
1	0本	2859	65.2	1444	63.8	1415	66.7
2	0本超～2本未満	456	10.4	253	11.2	203	9.6
3	2～4本未満	540	12.3	292	12.9	248	11.7
4	4～6本未満	191	4.4	92	4.1	99	4.7
5	6本以上	78	1.8	38	1.7	40	1.9
	無回答	262	6.0	145	6.4	117	5.5
	全体	4386	100.0	2264	100.0	2122	100.0

【子ども】Q16-1 身長/cm...(数量)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%
1	125cm未満	18	0.4	18	0.8	0	0.0
2	125～130cm未満	79	1.8	79	3.5	0	0.0
3	130～135cm未満	309	7.0	303	13.4	6	0.3
4	135～140cm未満	490	11.2	472	20.8	18	0.8
5	140～145cm未満	609	13.9	547	24.2	62	2.9
6	145～150cm未満	534	12.2	347	15.3	187	8.8
7	150～155cm未満	682	15.5	176	7.8	506	23.8
8	155～160cm未満	509	11.6	28	1.2	481	22.7
9	160～165cm未満	383	8.7	14	0.6	369	17.4
10	165～170cm未満	217	4.9	3	0.1	214	10.1
11	170～175cm未満	97	2.2	0	0.0	97	4.6
12	175～180cm未満	18	0.4	0	0.0	18	0.8
13	180cm以上	7	0.2	1	0.0	6	0.3
	無回答	434	9.9	276	12.2	158	7.4
	全体	4386	100.0	2264	100.0	2122	100.0

全体	小学5年生	中学2年生
----	-------	-------

【子ども】Q16-2 体重/kg... (数量)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%
1	25kg未満	41	0.9	41	1.8	0	0.0
2	25～30kg未満	362	8.3	357	15.8	5	0.2
3	30～35kg未満	662	15.1	617	27.3	45	2.1
4	35～40kg未満	650	14.8	458	20.2	192	9.0
5	40～45kg未満	670	15.3	245	10.8	425	20.0
6	45～50kg未満	620	14.1	120	5.3	500	23.6
7	50～55kg未満	397	9.1	55	2.4	342	16.1
8	55～60kg未満	226	5.2	31	1.4	195	9.2
9	60～65kg未満	97	2.2	9	0.4	88	4.1
10	65～70kg未満	40	0.9	3	0.1	37	1.7
11	70～75kg未満	29	0.7	3	0.1	26	1.2
12	75～80kg未満	8	0.2	1	0.0	7	0.3
13	80kg以上	16	0.4	0	0.0	16	0.8
	無回答	568	13.0	324	14.3	244	11.5
	全体	4386	100.0	2264	100.0	2122	100.0

【子ども】Q17-1 平日の朝ごはんを一緒に食べる人... (MA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%
1	親	2034	46.4	1119	49.4	915	43.1
2	きょうだい	2686	61.2	1551	68.5	1135	53.5
3	その他の家族	194	4.4	115	5.1	79	3.7
4	ひとりで食べる	816	18.6	305	13.5	511	24.1
5	朝ごはんは食べない	109	2.5	25	1.1	84	4.0
6	その他	97	2.2	43	1.9	54	2.5
	無回答	71	1.6	42	1.9	29	1.4
	全体	4386	100.0	2264	100.0	2122	100.0

【子ども】Q17-2 平日の夕ごはんを一緒に食べる人... (MA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%
1	親	3440	78.4	1782	78.7	1658	78.1
2	きょうだい	2949	67.2	1568	69.3	1381	65.1
3	その他の家族	516	11.8	307	13.6	209	9.8
4	ひとりで食べる	198	4.5	63	2.8	135	6.4
5	夕ごはんは食べない	2	0.0	1	0.0	1	0.0
6	その他	145	3.3	87	3.8	58	2.7
	無回答	76	1.7	44	1.9	32	1.5
	全体	4386	100.0	2264	100.0	2122	100.0

【子ども】Q17-3 休日の朝ごはんを一緒に食べる人... (MA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%
1	親	2221	50.6	1276	56.4	945	44.5
2	きょうだい	2295	52.3	1345	59.4	950	44.8
3	その他の家族	267	6.1	186	8.2	81	3.8
4	ひとりで食べる	969	22.1	353	15.6	616	29.0
5	朝ごはんは食べない	265	6.0	83	3.7	182	8.6
6	その他	103	2.3	54	2.4	49	2.3
	無回答	78	1.8	47	2.1	31	1.5
	全体	4386	100.0	2264	100.0	2122	100.0

【子ども】Q17-4 休日の夕ごはんを一緒に食べる人... (MA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%
1	親	3634	82.9	1875	82.8	1759	82.9
2	きょうだい	2994	68.3	1576	69.6	1418	66.8
3	その他の家族	592	13.5	360	15.9	232	10.9
4	ひとりで食べる	150	3.4	51	2.3	99	4.7
5	夕ごはんは食べない	7	0.2	3	0.1	4	0.2
6	その他	128	2.9	75	3.3	53	2.5
	無回答	77	1.8	44	1.9	33	1.6
	全体	4386	100.0	2264	100.0	2122	100.0

【子ども】Q18① おうちの大人の人に朝、起こしてもらいますか... (SA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%
1	ほとんど毎日	1587	36.2	932	41.2	655	30.9
2	週に4~5回	583	13.3	317	14.0	266	12.5
3	週に2~3回	600	13.7	299	13.2	301	14.2
4	週に1回程度	261	6.0	125	5.5	136	6.4
5	月に1~2回	193	4.4	90	4.0	103	4.9
6	ほとんどない	540	12.3	232	10.2	308	14.5
7	まったくない	528	12.0	208	9.2	320	15.1
	無回答	94	2.1	61	2.7	33	1.6
	全体	4386	100.0	2264	100.0	2122	100.0

【子ども】Q18② おうちの手伝いをしていますか... (SA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%
1	ほとんど毎日	1069	24.4	573	25.3	496	23.4
2	週に4~5回	589	13.4	323	14.3	266	12.5
3	週に2~3回	982	22.4	499	22.0	483	22.8
4	週に1回程度	535	12.2	252	11.1	283	13.3
5	月に1~2回	436	9.9	230	10.2	206	9.7
6	ほとんどない	451	10.3	212	9.4	239	11.3
7	まったくない	203	4.6	98	4.3	105	4.9
	無回答	121	2.8	77	3.4	44	2.1
	全体	4386	100.0	2264	100.0	2122	100.0

【子ども】Q18③ おうちの大人の人に宿題をみてもらいますか... (SA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%
1	ほとんど毎日	790	18.0	714	31.5	76	3.6
2	週に4~5回	230	5.2	185	8.2	45	2.1
3	週に2~3回	316	7.2	226	10.0	90	4.2
4	週に1回程度	237	5.4	136	6.0	101	4.8
5	月に1~2回	260	5.9	113	5.0	147	6.9
6	ほとんどない	1065	24.3	442	19.5	623	29.4
7	まったくない	1348	30.7	356	15.7	992	46.7
	無回答	140	3.2	92	4.1	48	2.3
	全体	4386	100.0	2264	100.0	2122	100.0

【子ども】Q18④ おうちの大人の人と学校でのできごとについて話しますか... (S A)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%
1	ほとんど毎日	1589	36.2	923	40.8	666	31.4
2	週に4~5回	571	13.0	299	13.2	272	12.8
3	週に2~3回	713	16.3	317	14.0	396	18.7
4	週に1回程度	365	8.3	157	6.9	208	9.8
5	月に1~2回	274	6.2	127	5.6	147	6.9
6	ほとんどない	410	9.3	201	8.9	209	9.8
7	まったくない	352	8.0	170	7.5	182	8.6
	無回答	112	2.6	70	3.1	42	2.0
	全体	4386	100.0	2264	100.0	2122	100.0

【子ども】Q18⑤ おうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりしますか... (S A)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%
1	ほとんど毎日	577	13.2	422	18.6	155	7.3
2	週に4~5回	237	5.4	176	7.8	61	2.9
3	週に2~3回	535	12.2	387	17.1	148	7.0
4	週に1回程度	452	10.3	278	12.3	174	8.2
5	月に1~2回	570	13.0	264	11.7	306	14.4
6	ほとんどない	1020	23.3	418	18.5	602	28.4
7	まったくない	876	20.0	244	10.8	632	29.8
	無回答	119	2.7	75	3.3	44	2.1
	全体	4386	100.0	2264	100.0	2122	100.0

【子ども】Q18⑥ おうちの大人の人とニュースなど社会のできごとについて話をしますか... (S A)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%
1	ほとんど毎日	604	13.8	359	15.9	245	11.5
2	週に4~5回	455	10.4	243	10.7	212	10.0
3	週に2~3回	651	14.8	336	14.8	315	14.8
4	週に1回程度	532	12.1	246	10.9	286	13.5
5	月に1~2回	495	11.3	227	10.0	268	12.6
6	ほとんどない	841	19.2	459	20.3	382	18.0
7	まったくない	691	15.8	321	14.2	370	17.4
	無回答	117	2.7	73	3.2	44	2.1
	全体	4386	100.0	2264	100.0	2122	100.0

【子ども】Q18⑦ おうちの大人の人と文化活動をしますか... (S A)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%
1	ほとんど毎日	150	3.4	91	4.0	59	2.8
2	週に4~5回	61	1.4	36	1.6	25	1.2
3	週に2~3回	76	1.7	43	1.9	33	1.6
4	週に1回程度	155	3.5	97	4.3	58	2.7
5	月に1~2回	755	17.2	485	21.4	270	12.7
6	ほとんどない	1578	36.0	841	37.1	737	34.7
7	まったくない	1492	34.0	598	26.4	894	42.1
	無回答	119	2.7	73	3.2	46	2.2
	全体	4386	100.0	2264	100.0	2122	100.0

【子ども】Q18⑧ おうちの大人の人と一緒に外出しますか... (S A)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%
1	ほとんど毎日	710	16.2	479	21.2	231	10.9
2	週に4~5回	497	11.3	322	14.2	175	8.2
3	週に2~3回	1137	25.9	658	29.1	479	22.6
4	週に1回程度	939	21.4	399	17.6	540	25.4
5	月に1~2回	773	17.6	280	12.4	493	23.2
6	ほとんどない	162	3.7	53	2.3	109	5.1
7	まったくない	56	1.3	8	0.4	48	2.3
	無回答	112	2.6	65	2.9	47	2.2
	全体	4386	100.0	2264	100.0	2122	100.0

【子ども】Q19① 自分に自信がある... (S A)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%
1	とてもそう思う	521	11.9	351	15.5	170	8.0
2	どちらかといえばそう思う	1412	32.2	844	37.3	568	26.8
3	あまりそう思わない	1727	39.4	794	35.1	933	44.0
4	そう思わない	570	13.0	180	8.0	390	18.4
	無回答	156	3.6	95	4.2	61	2.9
	全体	4386	100.0	2264	100.0	2122	100.0

【子ども】Q19② 自分の考えをはっきり相手に伝えることができる... (S A)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%
1	とてもそう思う	747	17.0	410	18.1	337	15.9
2	どちらかといえばそう思う	1517	34.6	752	33.2	765	36.1
3	あまりそう思わない	1502	34.2	762	33.7	740	34.9
4	そう思わない	481	11.0	258	11.4	223	10.5
	無回答	139	3.2	82	3.6	57	2.7
	全体	4386	100.0	2264	100.0	2122	100.0

【子ども】Q19③ 大人は信用できる... (S A)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%
1	とてもそう思う	1194	27.2	845	37.3	349	16.4
2	どちらかといえばそう思う	1867	42.6	942	41.6	925	43.6
3	あまりそう思わない	855	19.5	287	12.7	568	26.8
4	そう思わない	310	7.1	92	4.1	218	10.3
	無回答	160	3.6	98	4.3	62	2.9
	全体	4386	100.0	2264	100.0	2122	100.0

【子ども】Q19④ がんばれば、むくわれる... (S A)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%
1	とてもそう思う	1562	35.6	936	41.3	626	29.5
2	どちらかといえばそう思う	1604	36.6	789	34.8	815	38.4
3	あまりそう思わない	730	16.6	328	14.5	402	18.9
4	そう思わない	321	7.3	103	4.5	218	10.3
	無回答	169	3.9	108	4.8	61	2.9
	全体	4386	100.0	2264	100.0	2122	100.0

【子ども】Q19⑤ 自分は価値のある人間だと思う... (SA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%
1	とても思う	802	18.3	489	21.6	313	14.8
2	どちらかといえば思う	1523	34.7	762	33.7	761	35.9
3	あまりそう思わない	1351	30.8	652	28.8	699	32.9
4	そう思わない	527	12.0	245	10.8	282	13.3
	無回答	183	4.2	116	5.1	67	3.2
	全体	4386	100.0	2264	100.0	2122	100.0

【子ども】Q19⑥ 自分は家族に大切にされている... (SA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%
1	とても思う	2360	53.8	1351	59.7	1009	47.5
2	どちらかといえば思う	1406	32.1	637	28.1	769	36.2
3	あまりそう思わない	335	7.6	130	5.7	205	9.7
4	そう思わない	120	2.7	51	2.3	69	3.3
	無回答	165	3.8	95	4.2	70	3.3
	全体	4386	100.0	2264	100.0	2122	100.0

【子ども】Q19⑦ 不安に感じることはない... (SA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%
1	とても思う	1004	22.9	598	26.4	406	19.1
2	どちらかといえば思う	1394	31.8	750	33.1	644	30.3
3	あまりそう思わない	1117	25.5	522	23.1	595	28.0
4	そう思わない	712	16.2	298	13.2	414	19.5
	無回答	159	3.6	96	4.2	63	3.0
	全体	4386	100.0	2264	100.0	2122	100.0

【子ども】Q19⑧ 孤独を感じることはない... (SA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%
1	とても思う	1551	35.4	878	38.8	673	31.7
2	どちらかといえば思う	1229	28.0	561	24.8	668	31.5
3	あまりそう思わない	852	19.4	384	17.0	468	22.1
4	そう思わない	580	13.2	334	14.8	246	11.6
	無回答	174	4.0	107	4.7	67	3.2
	全体	4386	100.0	2264	100.0	2122	100.0

【子ども】Q19⑨ 自分の将来が楽しみだ... (SA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%
1	とても思う	2003	45.7	1284	56.7	719	33.9
2	どちらかといえば思う	1237	28.2	501	22.1	736	34.7
3	あまりそう思わない	636	14.5	248	11.0	388	18.3
4	そう思わない	371	8.5	149	6.6	222	10.5
	無回答	139	3.2	82	3.6	57	2.7
	全体	4386	100.0	2264	100.0	2122	100.0

【子ども】Q20① 学校に行きたくないと思った... (S A)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%
1	よくあった	704	16.1	307	13.6	397	18.7
2	時々あった	1471	33.5	763	33.7	708	33.4
3	あまりなかった	911	20.8	486	21.5	425	20.0
4	なかった	1060	24.2	578	25.5	482	22.7
5	こたえたくない・わからない	108	2.5	55	2.4	53	2.5
	無回答	132	3.0	75	3.3	57	2.7
	全体	4386	100.0	2264	100.0	2122	100.0

【子ども】Q20② 1か月以上学校を休んだ... (S A)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%
1	よくあった	56	1.3	29	1.3	27	1.3
2	時々あった	41	0.9	18	0.8	23	1.1
3	あまりなかった	104	2.4	57	2.5	47	2.2
4	なかった	3911	89.2	2011	88.8	1900	89.5
5	こたえたくない・わからない	119	2.7	54	2.4	65	3.1
	無回答	155	3.5	95	4.2	60	2.8
	全体	4386	100.0	2264	100.0	2122	100.0

【子ども】Q20③ いじめられた... (S A)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%
1	よくあった	125	2.8	82	3.6	43	2.0
2	時々あった	395	9.0	255	11.3	140	6.6
3	あまりなかった	487	11.1	313	13.8	174	8.2
4	なかった	3019	68.8	1425	62.9	1594	75.1
5	こたえたくない・わからない	195	4.4	94	4.2	101	4.8
	無回答	165	3.8	95	4.2	70	3.3
	全体	4386	100.0	2264	100.0	2122	100.0

【子ども】Q20④ 夜遅くまで子どもだけで過ごした... (S A)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%
1	よくあった	91	2.1	40	1.8	51	2.4
2	時々あった	362	8.3	147	6.5	215	10.1
3	あまりなかった	599	13.7	245	10.8	354	16.7
4	なかった	3079	70.2	1689	74.6	1390	65.5
5	こたえたくない・わからない	106	2.4	55	2.4	51	2.4
	無回答	149	3.4	88	3.9	61	2.9
	全体	4386	100.0	2264	100.0	2122	100.0

【子ども】Q20⑤ 学校に遅刻した... (S A)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%
1	よくあった	178	4.1	118	5.2	60	2.8
2	時々あった	579	13.2	351	15.5	228	10.7
3	あまりなかった	820	18.7	446	19.7	374	17.6
4	なかった	2589	59.0	1226	54.2	1363	64.2
5	こたえたくない・わからない	80	1.8	39	1.7	41	1.9
	無回答	140	3.2	84	3.7	56	2.6
	全体	4386	100.0	2264	100.0	2122	100.0

【子ども】Q21 いやなことや悩んでいること... (MA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%
1	おうちのこと	367	8.4	147	6.5	220	10.4
2	学校や勉強のこと	1345	30.7	456	20.1	889	41.9
3	クラブ活動のこと	439	10.0	96	4.2	343	16.2
4	自分のこと	834	19.0	407	18.0	427	20.1
5	ともだちのこと	573	13.1	275	12.1	298	14.0
6	好きな人のこと	339	7.7	188	8.3	151	7.1
7	進学・進路のこと	1138	25.9	271	12.0	867	40.9
8	その他のこと	249	5.7	118	5.2	131	6.2
9	いやなことや悩んでいることはない	1307	29.8	830	36.7	477	22.5
10	わからない	494	11.3	297	13.1	197	9.3
	無回答	234	5.3	133	5.9	101	4.8
	全体	4386	100.0	2264	100.0	2122	100.0

【子ども】Q22 ふだんの放課後に一緒に過ごす人... (MA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%
1	おうちの大人の人	2057	46.9	1204	53.2	853	40.2
2	きょうだい	1583	36.1	946	41.8	637	30.0
3	おうちの人以外の大人	611	13.9	369	16.3	242	11.4
4	学童保育や児童センターの先生	165	3.8	156	6.9	9	0.4
5	学校のともだち	2137	48.7	1108	48.9	1029	48.5
6	学校のクラブ活動の仲間	1626	37.1	421	18.6	1205	56.8
7	学校以外のともだち	371	8.5	226	10.0	145	6.8
8	ひとりである	608	13.9	307	13.6	301	14.2
9	その他の人	147	3.4	94	4.2	53	2.5
	無回答	125	2.8	68	3.0	57	2.7
	全体	4386	100.0	2264	100.0	2122	100.0

【子ども】Q23 ふだんの放課後に過ごす場所... (MA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%
1	自分の家	2895	66.0	1566	69.2	1329	62.6
2	おばあちゃん・おじいちゃんの家	509	11.6	367	16.2	142	6.7
3	ともだちの家	576	13.1	397	17.5	179	8.4
4	塾	826	18.8	363	16.0	463	21.8
5	習いごと	887	20.2	609	26.9	278	13.1
6	学校	1876	42.8	571	25.2	1305	61.5
7	公園・広場	403	9.2	286	12.6	117	5.5
8	スーパーやショッピングモール	122	2.8	61	2.7	61	2.9
9	コンビニエンスストア	94	2.1	49	2.2	45	2.1
10	ゲームセンター	55	1.3	23	1.0	32	1.5
11	図書館、公民館、児童館など公共の施設	300	6.8	216	9.5	84	4.0
12	子どもの居場所	36	0.8	26	1.1	10	0.5
13	学童保育	126	2.9	121	5.3	5	0.2
14	その他	194	4.4	116	5.1	78	3.7
	無回答	124	2.8	66	2.9	58	2.7
	全体	4386	100.0	2264	100.0	2122	100.0

【子ども】Q24 子どもの居場所の利用状況...(S A)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%
1	利用している	337	7.7	208	9.2	129	6.1
2	利用していない	3891	88.7	1966	86.8	1925	90.7
	無回答	158	3.6	90	4.0	68	3.2
	全体	4386	100.0	2264	100.0	2122	100.0

【子ども】Q25 居場所を利用する理由...(MA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%
1	勉強するため	236	70.0	131	63.0	105	81.4
2	いると安心できるため	69	20.5	47	22.6	22	17.1
3	ごはんを食べるため	47	13.9	31	14.9	16	12.4
4	スタッフと話をするため	11	3.3	6	2.9	5	3.9
5	友だちと遊ぶため	135	40.1	101	48.6	34	26.4
6	家にいづらいため	13	3.9	2	1.0	11	8.5
7	家にだれもいないため	31	9.2	27	13.0	4	3.1
8	その他	21	6.2	13	6.3	8	6.2
	無回答	6	1.8	6	2.9	0	0.0
	全体	337	100.0	208	100.0	129	100.0

【子ども】Q26 居場所を利用しない理由...(MA)

No.	カテゴリー名	n	%	n	%	n	%
1	そのような居場所があることを知らなかったから	2040	52.4	1104	56.2	936	48.6
2	そのような居場所が近所にないため	1193	30.7	661	33.6	532	27.6
3	利用の仕方がわからないから	632	16.2	328	16.7	304	15.8
4	利用するのが面倒だから	561	14.4	198	10.1	363	18.9
5	利用したいが、クラブ活動や勉強で忙しいから	622	16.0	297	15.1	325	16.9
6	その他	789	20.3	371	18.9	418	21.7
	無回答	50	1.3	33	1.7	17	0.9
	全体	3891	100.0	1966	100.0	1925	100.0

子ども・保護者のみなさまに本調査にご協力いただきました。ご多忙の中快くお引き受けくださりご協力くださいましたことを、ここに厚くお礼申し上げます。

沖縄子ども調査事業（小・中学生期）
アンケート調査報告書

平成 31 年 3 月

公立大学法人 大阪府立大学 山野則子研究室